

又此ノ瓦斯用木炭ノ趣旨カラ考ヘテ見テモ、木炭ハ今ノ御話デ一通リ分ツタノデアリマ

ウ云フ時期ガ來ルノデアリマセウカ、薪ニモサウ云フ瓦斯用トカ何トカ專賣特許デモ

カ、木炭ノ瓦斯發生爐ニスルカト云フコトハ、確ニ是ハ問題デアリ、此ノ事ヲ御研究ニナ

炭ガ宜イカ、薪ガ宜イカト云フ問題ガ決定サレルト思ヒマス、ソレデモ吾々専門的ニ研

○田中政府委員 今御程モ御説明ヲ致シマシタガ、モウ専門家デオイデニナルヤウデ

ソコデ木炭ト薪炭トヲ同ジヤウナ意味ニ考ヘテ居ルノデアリマシカ、サウ云フコト

行カト云フコトハ、因策上重大ナ問題デアリマス、サウ云フコトヲ考ヘテ薪ノ必要

ガ、サウ云フコトニナルト、先刻ノ大臣ノ御説明ト矛盾シテ來ル、ナゼカト云フト、

○堀内委員 サウ云フ點ガドウモ吾々ノ考ト政府ノ考ニ非常ニ扞格ガアル、御話ノ通

○堀内委員 初メ是ハ私モドウカト思ツテ遠慮シテ居リマシタガ、局長ニ一ツ伺ツテ

○田中政府委員 只今技術上及ビ經濟上ノ問題ガ殘サレテ居ルノデ、一概ニ薪ガ宜イ

○田中政府委員 只今ノ所木炭ガケケ考ヘテ居ルト云フノハ勿論サウデアリマスガ、

○堀内委員 其ノ點私モ一ツ總カウト思ツテ居ワタノデスガ、一體此ノ法案ヲ作ルノ

○堀内委員 御話ヲ伺ヒマス、洵ニ結構ナヤウニ思ヒマスガ、如何ニシテ自動車ノ

○堀内委員 御話ヲ伺ヒマス、洵ニ結構ナヤウニ思ヒマスガ、如何ニシテ自動車ノ

○田中政府委員 只今ノ所木炭ガケケ考ヘテ居ルト云フノハ勿論サウデアリマスガ、

セルカト云フコトハ殘サレタル問題デアリマス、薪マデ極力專賣的ニテラセルカドウ

色々ナモノガ出テ來ルヤウデアアルガ、今ノヤウナ話デ、マルデ研究モシテナイ、薪モ他

○堀内委員 御話ヲ伺ヒマス、洵ニ結構ナヤウニ思ヒマスガ、如何ニシテ自動車ノ

○田中政府委員 只今ノ所木炭ガケケ考ヘテ居ルト云フノハ勿論サウデアリマスガ、

○堀内委員 其ノ點私モ一ツ總カウト思ツテ居ワタノデスガ、一體此ノ法案ヲ作ルノ

○堀内委員 御話ヲ伺ヒマス、洵ニ結構ナヤウニ思ヒマスガ、如何ニシテ自動車ノ

○堀内委員 御話ヲ伺ヒマス、洵ニ結構ナヤウニ思ヒマスガ、如何ニシテ自動車ノ

○田中政府委員 只今ノ所木炭ガケケ考ヘテ居ルト云フノハ勿論サウデアリマスガ、

○堀内委員 其ノ點私モ一ツ總カウト思ツテ居ワタノデスガ、一體此ノ法案ヲ作ルノ

○堀内委員 御話ヲ伺ヒマス、洵ニ結構ナヤウニ思ヒマスガ、如何ニシテ自動車ノ

○堀内委員 御話ヲ伺ヒマス、洵ニ結構ナヤウニ思ヒマスガ、如何ニシテ自動車ノ

○田中政府委員 只今ノ所木炭ガケケ考ヘテ居ルト云フノハ勿論サウデアリマスガ、

○堀内委員 其ノ點私モ一ツ總カウト思ツテ居ワタノデスガ、一體此ノ法案ヲ作ルノ

○堀内委員 御話ヲ伺ヒマス、洵ニ結構ナヤウニ思ヒマスガ、如何ニシテ自動車ノ

○堀内委員 御話ヲ伺ヒマス、洵ニ結構ナヤウニ思ヒマスガ、如何ニシテ自動車ノ

○田中政府委員 只今ノ所木炭ガケケ考ヘテ居ルト云フノハ勿論サウデアリマスガ、

○堀内委員 其ノ點私モ一ツ總カウト思ツテ居ワタノデスガ、一體此ノ法案ヲ作ルノ

○堀内委員 御話ヲ伺ヒマス、洵ニ結構ナヤウニ思ヒマスガ、如何ニシテ自動車ノ

○堀内委員 御話ヲ伺ヒマス、洵ニ結構ナヤウニ思ヒマスガ、如何ニシテ自動車ノ

○田中政府委員 只今ノ所木炭ガケケ考ヘテ居ルト云フノハ勿論サウデアリマスガ、

○堀内委員 其ノ點私モ一ツ總カウト思ツテ居ワタノデスガ、一體此ノ法案ヲ作ルノ

○堀内委員 御話ヲ伺ヒマス、洵ニ結構ナヤウニ思ヒマスガ、如何ニシテ自動車ノ

○堀内委員 御話ヲ伺ヒマス、洵ニ結構ナヤウニ思ヒマスガ、如何ニシテ自動車ノ

○田中政府委員 只今ノ所木炭ガケケ考ヘテ居ルト云フノハ勿論サウデアリマスガ、

斯ウ云フモノヲ拵ヘテ、サウシテ此ノ會社ノ株式ハ之ヲ見マスルト一般ノ公衆カラ募集シテヤルト云フコトニナツテ居ル、是ハ唯政府ノ四朱ノ補助ガアルケデスガ、四朱ノ補助デ會社ガ出來ル御見込ガアルト思フノデアリマス、此ノ點モ伺ツテ置キタ、是ガ政府モ半額出資スルト云フナラ別方面カラ此ノ株式ヲ募集ナサルノデスカ

○田中政府委員 此ノ株式ハ「パス」自動車業者及ビ生産者側ノ産業組合系統ノ方面カラ資本ヲ集メル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、是ハ既ニ御承知ト思ヒマスガ、今マデノ相談ニ於テサウ云フヤウナコトニ進ンデ來テ居ルノデアリマス

○堀内委員 産業組合ハ農林省ニ色々御關係モアルカラドウカ知レマセウガ、「パス」業者ナドハ是デ株ヲ持チマスモト思ヒマス、何方安心シテ、木炭デモ得ラレルトカ、何カ確乎タル方法ガアレバ別デスガ、私共ガ此ノ案ヲ見タダケデハ到底イカスト思ヒマス、デアリマスカラ是ハ先ニ經ツテ見ナケレバ分ラヌノデスガ、斯ウ云フヤウナ會社ガ出來テ、ソレデ中々圓滑ニ行クベキモノデモナケレバ、業者ト云フモノハ斯ウ云フ案ノ實行ヲ喜バナイ結果ニナルト思フノデアリマス、其ノ理由ハ私ガ今マデ御同シクヤウナコトデアリマスガ、若シ「パス」業者ガ假ニ之ニ應答ガナイトシテモ、産業組合ノ方ダケ十分御見込ガ付クノデアリマセウカ、併シサウ云フコトニナツテ「パス」業者ガ除外サレテ、之ニ關係ガナイト云フコトニナツテ見マス、木炭ノ價格ニ付テモ公道價格外ノ高價ニナル心配モアリ、又專賣特許ノ料金等モ出テ來マセウシ、色々

ノ問題カラドウ云フコトニナルカ、非常ニ高イ炭ヲ供給スルヤウナコトニナルノチヤナイカ、デアリマスカラ七分燒ノ炭ヲ拵ヘテ瓦斯ノ量ガ強イ、能率ガ上ルト云フコトニ於テ幾ラカ普通ノ木炭ヨリ經濟的價値ハ認メマスガ、値段ニ於テズツト別方ノ惡イモノニナルノデハナイカト思フノデアリマス、其ノ邊ハスツカリ御調査ニナツテ居リマス

○田中政府委員 既ニ御承知ノ通りデアリマシテ、現ニ取引サレテ居ル價デアリマス、普通木炭トノ見合ニ於テ此ノ値段ヲ決メナケレバ、其ノ生産ヲ確保スルト云フコトモ困難デアリマス、又消費者側ノ立場カラ見マシテモ、普通ノ木炭ヨリ事實ニハ高價ニナリマス、其ノ目的ヲ達シナイノミナラズ消費者側ニ不利ヲ齎シマス、其ノ邊ハ普通木炭、其ノ他供給關係、消費者ノ立場ト云フコトヲ考ヘテ價格ヲ協定シタイ、斯ウ思ツテ居ルノデアリマス、ソコデ此ノ會社ノ中心ガ消費者側ノ出資ニ依ツテ作リタイト云フ考モ其ノ點ニアルノデアリマス、一般ニ營利的ニ中間ノ利ヲ取ルルコト云フヤウナ考ヲ捨テ、消費者自ラノ團體ニ依ツテ消費方面ニ於テ不利ヲ來ナイヤウニ此ノ會社ヲ成立セテイト云フ考デ居ルノデアリマス

○堀内委員 最後ニモウ一點、先刻局長カラ御話ノ專賣特許料ノ問題ニ付キマシテ、是ハ此ノ株式會社ガ價格ヲ決メルヤウニナルノデアリマセウカ、サウ云フモノガ入ルカ入ラスカト云フコトデ、價格ニ等差ガアルヤウデアリマスガ、私ハ個人ノ資格デ二人ノ特許權アルカラ、是ハ中々役所デ押付ケル譯ニハ行キマスモ申上ゲタノデア

アリマスガ、役所ノ方デハ承認ガアルト云フ先刻御答辯デアリマスガ、承認ト云フコトハモウソレハ無料デ此ノ特許權ト云フモノハ提供セシメテ、此ノ會社ニ無料提供スルヲダト云フコトノ承認、サウ云フ風ニ解釋シテ差支ナイノデアリマス

○田中政府委員 先程承認ト申上ゲマシタハ、他ノコトデ申上ゲタノデアリマス、是ハ農林省ニ對シテ特許料ヲ取ラヌト云フコトニ取極ガアルト云フコトヲ申上ゲタ譯デアリマス

○堀内委員 ソレハ何デスカ、南サンハ今役所ニオ居デスカラサウデアリマセウガ、河内ト云フ人ノ特許權モ同様ト云フコトニ解釋致シテ宜シウゴザイマス

○田中政府委員 先程申シマシタヤウニ、今河内君ノ特許權使用ニ付テ河内君ノ承認ガアル、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○堀内委員 質問ハ是デ打切りマス

○坪山委員長代理 淺井サンニ御願シマス

○淺井委員 先ツ木炭飢饉ノ原因ニ付テ政府ノ方デハドウ云フ御考ヲ持ツテ居ルカ、此ノ二法案ニ致シマシテモ、若シ今回ノ木炭飢饉ノ原因十分探究シテ居ラマシタナラバ、此ノ二ツノ法案ガ果シテ必要デアラヤ否ヤト云フ決定ノ前提ニナルト思フノデアリマス、ソレハ飢饉ノ原因ニ付テ探究サレテ、此ノ二ツノ法案ノ提出ニナツタコトハ思ヒマスケレドモ、此ノ原因ヲ十分承ツテ置キマセウト、此ノ法案係屬ノ上ニ重大ナル影響ヲ與ヘテ來ルノデアリマス、或ハ政府ノ方カラモ今マデノ質問應答ノ中デ、其ノ原因ノ一部分ハ承ツタノデアリマス、或ハ製炭業者ガ少クナツタトカ、

或ハ需要ガ非常ニ増加シテ來タトカ、或ハ今マデ餘リナカツタ「ガソリン」代用ノ木炭ト云フモノガ進出シテ來タガ爲ニ、家庭用ノ木炭ヲ製シテ來タノダト云フヤウナ、色々原因ヲ承ツテ居リマスケレドモ、ソレダケデハ私ハナカラウト思ヒマス、日清、日露ノアノ兩戰役ノ際ニ於キマシテモ、木炭飢饉ト云フヤウナコトハ全然ナカツタサウデアリマス、然ルニ今回ハ支那事變ノ關係デアリマセウカ、本年ニ入りマシテ極端ニ飢饉ヲ招來シタ此ノ原因ト云フモノハ、何かソコニ特殊性ヲ持ツタモノガアリハシナイカト思フノデアリマス、聞ク所ニ依リマス、マダ産地ノ方、山元ノ方デハ澤山ノ木炭ガ堆積シテ居ルノダト云フヤウナ事實ノアリマスルコトカラ見テマシマシテモ、是ハ生産ノ方面ハ、或ル點マデ局長ノ御話ノヤウニ出來テ居ル地方モアリマセウ、又色々ノ原因ノ爲ニ生産減ニナツテ居ル地方モ現實ニアルノデアリマス、所ガ折角苦心ヲ致シマシテ生産ヲ致シマシタ木炭ガ山元ニアリ、或ハ停車場ニ堆積シテ居ルコト云フ此ノ事實ヲ考ヘテ見マス、是ハ餘程私共ガ此ノ二ツノ法案ヲ検討スル上ニ於テ考ヘナケレバナラス、サウ云フ事實ガアリマスルモノニ對シテ、ソレ等ヲ解決スル方法ヲ政府ガ何モ考慮セズニ置イテ、唯俄狼狽ヲシタヤウニ木炭會社ヲ作ツテ見ルトカ、或ハ特別會計十三都市ニ木炭ノ倉庫ヲ拵ヘテ、政府ガ買上ラヌルノダトカ云フヤウナコトヲ考ヘテ見マス、其ノ前ニ當ツテモウ少シ政府ガ眞面目ニ消費地ト生産地トノ連絡、或ハ調査ト云フモノヲセラレテ居リマスレバ、或ハ都會地ニ於ケル、即チ消費地ニ於ケル木炭ガ今日ヨリモ圓滑ニ配給

ヲ受ケ得タデハナカラウカト云フヤウナコトヲ切ニ考ヘルノデアリマス、唯木炭ノ開相場ガ行ハレテ居ルノダ、斯ウ云フコトヲ本會議アタリデモ盛ニ申サレテ居リマス、又現實ニ開取引ト云フモノモアルヤウデアリマスガ、中ニハ——私共ハ噂ニ過ギナイト思ヒマスケレドモ——輸送關係ノ不完備ノ爲ニ、例ヘバ貨車ガ少イト云フヤウナ爲ニ、折角停車場マデ搬出ハシテ參リマシタケレドモ、停車場デ其ノ炭ガ動カナクナツタ、ソレヲ早ク消費地ノ方ニ送ラウト思ヒマス、驛員ニ「コンミシ」ン」ヲ與ヘナケレバ、所謂ソレニ「サービ」ル」料ヲ出サナケレバ驛員ガ其ノ炭ヲ取扱ハナイト云フヤウナ噂マデモ聞クノデアリマス、サウ云フヤウナコトカラ考ヘテ見マス、此ノ木炭飢饉ノ重大ナル原因ハ、何處ニアルカト云フヤウナ確實ナル御調査ヲセラレテ居ルカドウカト云フコトヲ先ツ承ツテ見タイト思ヒマス

○田中政府委員 木炭飢饉ノ原因ト致シマシテ、御話ノヤウニ生産關係ニ於キマシテハ、生産條件ニ依ツテ從來ヨリモ生産増加ハアリマスケレドモ、需要ニ應ジテ生産ガドン／＼出來ルト云フヤウナ状態ニナイト云フコト、需要方面ニ於キマシテハ、今ノ御話ノヤウニ鑛工業用ノ需要、又家庭用ニ致シマシテモ、減ル部門ハ勿論アツタノデアリマス、勞働者ノ都會集中ニ依ル新シイ木炭ノ需要増加トカ、瓦斯用木炭ノ需要増加ト云フヤウナ、事變ニ因ル特殊ノ需要ト云フモノモ、相當豫想外ニ増加ヲ來シテ居ルト云フコト、配給關係ニ於キマシテハ御話ノヤウナ鐵道ノ輸送力ノ問題、是ガ他ノ物資、殊ニ御承知ノヤウニ米トカ

チ合ツタ、而モ從來ノ取引關係ガ、必ズシモ鐵道ノ合理的輸送ヲ前提トシテ居ナカツタ關係等々ノ輸送上ノ問題、更ニ配給ノ問題ト致シマシテ、各縣ニ於テソレ／＼ノ事情ニ依ツテ、縣内ノ需給ノ關係以テ、或ル程度ニ各縣ニ於テ制限ヲサレタト云フヤウナ配給ノ關係等、サウ云フヤウナ問題ニ依リマシテ木炭ノ飢饉ガ起ツタノデアリマス、勿論ソレニ付キマシテハ實力以上ニ不足感ヲ國民ニ與ヘタト云フコトモアリマセウガ、結局ハヤハリ需要ニ供給ガ追付イテ居ナイト云フコトガ根本ノ問題デアルト思ヒマス

(坪山委員長代理 淺井委員長代理 著席)

○淺井委員 只今ノ局長ノ御答辯ニ依リマシテ、唯需要ト供給ノ「バランス」ガ取レナカツタト云フコトガ原因デアルト云フ御話デアリマスガ、其ノ「バランス」ノ取レナイ、更ニ根本ノ原因ガアリハシナイカ、需要ガ非常ニ増加シテ來タニモ拘ラズ、ソレニ伴フテ生産ガ増加シナカツタト云フコトヲ申サレマスガ、何方爲ニ生産ガ需要ト同様ニ出來ナカツタカ、政府ニ於キマシテモ隨分木炭ノ増産計畫ト云フモノヲ立テマシテ、地方ノ方デハ獎勵サレテ今日マデ來タノデアリマス、昨年アタリモ一貫ニ對シマシテ一錢ダケノ獎勵金マデ出シマシテ、増産ノ獎勵ヲシタノデアリマシテ、是ガ爲ニハ或ハ獎勵金其ノ他ノ方法ニ依リ、或ハ地方長官ニ對シマシテ農林省ノ方カラ特別ニ増産ニ對スル努力ヲシロ、斯ウ言ツタ、ソレニ依ツテ各府縣ニ於キマシテハ、政府ノ命令デアリマスルカラ、ソレ／＼増産計畫ト云フモノヲ立テタノデアリマス、所ガ立テ

ニハ立テマスケレドモ、ソレガ單ニ獎勵金、其ノ他或ハ政府ノ命令ト云ツタヤウナコトニ依リマシテ、豫想的ノ數字ヲ作りマシテ、實際生産ノ出來ヌニモ拘ラズ、生産ノ出來マスルヤウナ數字ヲ政府ノ方ヘ御報告シテ居ルト云フヤウナコトモ承ルノデアリマス、サウ云フヤウナコトデ、所謂地方ノ實情ガ十分分ラナイノニ、地方カラ言ツテ來タ報告ノ數字ヲ基調ト致シマシテ、ソレニ依ツテ今マデハ増産ガ出來ウアルカノヤウニ政府ハ思ツテ居ツタノデアリマセウガ、サウ云フヤウナコトデ非常ニ今マデ獎勵シテ來マシタ増産計畫ト云フモノニ關係ヲ來シ、即チ需要ニ對シテ供給ガ完全ニ出來ナカツタト云フコトニ原因ガアリハシナイカト云フコトガ一點デアリマス、殊ニ斯ウ云フコトニ對シマシテ御研究サレテ居ルカドウカ、ソレハ木炭製炭業者ト云フモノハ釘付ケノモノデハナイ、現在ノ木炭製炭業者ノ統計ノ數字モ出テ居リマスガ、製炭業者ガ是ダケアルノダカラ、例ヘバ現在生産サレテ居リマスル六億五千萬貫ト云フ炭ハイツ何時デモソレダケノ數量ノモノガ確保サレルノダ、是等ノ製炭業者ハ何時モ木炭バカリ生産シテ居ルノダ、若シ政府ノ方ガ斯ウ云フヤウナ御見解デアリマシタナラバ、ソレコソ木炭ノ増産計畫ト云フモノハ如何ニ政府ガ獎勵金ヲ出サレテモ、是ハ到底出來ナイト私ハ斷言シテ置ラナイノデアリマス、或ハ來年度ノ御計畫ノ中ニハ、隨分色々方面ニ對シマシテ補助政策トカ、或ハ獎勵金トカ或ハ察ノ樂々者ニ對シマシテ補助金ヲ出ストカ云ツタヤウナ、有ニル間接的ノ獎勵ノ爲ニ相當巨額ノ金ヲ出シテ居リマスガ、若シ其ノ業者ガ何時デモ炭

燒ニ満足シテ居ルモノナリト云フ御考デ扱ツタナラバ、如何ニ獎勵金ヲ交付シマシデモ、ソレハ私ハ出來ナイト思ヒマス、殊ニ政府ハ低價政策ヲ堅持致シマシテ、今日マデ參ツクノデアリマスルカラ、木炭ニ對シマシテモ、或ハ現在ノ方針ハ變ヘルコトハナイト私ハ考ヘテ居リマス、若シ是ガナカツタナラバ、逆モ木炭ノ増産計畫ト云フモノハ出來ルモノデハナイ、殊ニ製炭業者ト云フモノガ常ニ炭燒デ居ルナラバ、ソレハ出來ルカモ分リマセウ、是ハ政府ノ計畫通り獎勵金デモ出スナリ、或ハ今マデ計畫ニナツテ居ルヤウナ方法ニ依リマシテモ、或ハ目的通りノ數量ヲ上ゲ得ラレルカモ分リマセウガ、御承知ノヤウニ此ノ木炭製炭業者、即チ炭燒ト云フモノハ直グ是ハ製炭業者ノデアリマス、一方ニ山間ニ於キマスル他ノ方面ノ事業ガ起リマシテ、ソレニ依ツテ收入ガ多クナツテ參リマスナラバ、炭燒ヲ焼イテ満足シテ居ルモノデハナイノデアリマス、直チニ他ノ方面、或ハ昨今木材ガ暴騰シテ參リマシテ、木材ヲ運搬シマスルコトガ、炭燒キマスルヨリモ、ヨリ以上収入ガ多イトナリマス、炭燒ヲ直グ投ガ捨テシマヒマシテ、木材ノ運搬業ニ從事スルノデアリマス、其ノ方ガ殆ド毎日ノヤウニ收入ガ上ツテ參リマスルカラ、現在ノ炭燒ノ業者ト云フモノハ至ツテ知識ノナイ者ガ多クアリマシテ、是ハ地方ニ居リマシテハ、ドウ云フヤウナ方ガヤツテ居ラレリマスガ、高知縣ノ者ハ炭燒ト云フ非常ニ輕蔑サレテ居ルノデアリマス、出來ルナラバ炭ハ燒キタナイ、何か金儲ケノ、他ノ日儲けデモ宜イカラ、炭ハ燒キタナイ

ト云フ心理状態ニ置カレテ居ル者バカリデ
アリマス、デアリマスカラ現在ノ低物價ヲ
其ノ儘踏襲シテ參リマシテ、ソレデ増産
ヲシトテ言フ所方、是ハ東北方面トカ、
或ハ四國トカ九州方面トハ非常ニ状況ヲ異
ニシテ居ルカモ存ジマセスガ、現在高知縣
方面デハ、山間地方ハ非常ニ好景氣デアリ
マス、今マデ山村破弊ト云フ聲ヲ隨分立テ
マシテ、高知縣ノ如キモノハ非常ニ貧困ノ
者ハ山間ノ住民ナリ、所謂山村救済ト云フ
聲ヲ隨分私共立テ參リマシタガ、現在ハ
ドウカト云フト、寧ろ平坦部ノ百姓ヨリハ、
遙カニ收入ノ多イ生活ヲシテ居ルノデアリ
マス、是ハ或ハ木材ノ暴騰、生絲ノ高
値、或ハ製紙原料ノ如キモノハ戰前ニ
比較致シマシテ、約七倍ト云フ暴騰ヲ示
シテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウニ
山村ノ人々ト云フモノハ、現在景氣ニ煽ラ
レマシテ、昔ノ山村民トハ全然異ツテ居リ
マス、其ノ山村ノ、下層ニハ居ルトハ言ヒ
マスモノノ、サウ云フヤウニ山間ニ收入
ノ多イ仕事ヲ積ミテ參リマシタカラ、炭
價現在ノ價格ヲ満足シテ、イツマデモ炭
價イテ生活ヲシヨウ、サウシテ村民カラ炭
ナリト輕蔑サレルヤウナモノニ從事スル筈
ハナイト私ハ思ヒマス、段々高知縣ノ製炭
額ガ減ツテ參リマスルト云フコトハ、其ノ
木炭製造業者ト云フモノガ、他ニ轉業スル
ト云フコトガ、大キナ原因デアルト思フノ
デアリマス、ソレデ生産減ト云フモノハ直
チニ、或ハ今マデ炭價ヲシテ居ツテ者ガ應
召サレタトカ、或ハ都會ノ方ヘ勞働者ヲ奪
ツテ行ツタ、サウシテソレガ爲ニ山間ノ勞
働者ガ少クナツタ、斯ウ申シマスルケレド
モ、サウチヤナイ、ソレモアリマセウケレド

ドモ、ソレヨリモ所謂炭價止メテ、他ノ
有利ナ勞働ニ從事シヨウト云フ風ノアリマ
スルコトハ事實デアリマス、デアリマスル
カラ、轉業スルト云フコトニ對シマシテハ、
何カ轉業ヲ防止、即チ他ノ仕事ヲサセナイ
ヤウニシテ置カナケレバ、如何ニ苦シシ
所方、増産計畫ヲ立テテ所方、ヨリ以上儲
カル仕事ガアリマスルト、其ノ方ヘ全部移
ツテシマウノデアリマス、デアリマスカラ、
是等ノ點ニ付キマシテハ、單ニ低物價政策
ヲドコモデモ堅持サレマシテ、是デ押進シ
テ行クカドウカ、木炭飢饉ノ救済ハ所謂増
産デアリマシテ、炭價ハ出來ルナラバ、此
ノ會社ノ必要モナケレバ、此ノ配給制ト
云フヤウナコトモ、十三大都市ニ木炭ヲ買
占メテドウト云フ必要ハナイノデアリマス、
要ハ増産デアリマスガ、果シテサウ云フヤ
ウナ、炭價ノ心理状態ト云フモノヲ十分ニ
御研究サレマシタ上デノ増産計畫ヲ立テテ
居ルノカドウカ、是ハ疑問デアリマス、併
シ只今申上ゲマシタヤウニ、斯ウ云フヤウ
ニ轉業スルト云フヤウナ地方ノ事實ヲ政府
ノ方デハ御検討サレタ上デ、此ノ増産計畫
ヲ御立テニナツテ居ルカドウカト云フ點ヲ
御尋シタト思フノデアリマス

○田中政府委員 御話ノヤウニ、御手許ニ
表ガアリマスヤウニ、專業木炭業者、副業
ノ木炭業者數ガ差上ゲデアリマスガ、何レ
ニ致シマシテ副業デアレバ、副業デア
ル者ガ減ル、專業ガ好ケレバ製炭ニ從事ス
モノデアリマスカラ、殊ニ簡單ニ轉業シ易
イ状態ニアルノデアリマシテ、勞働者ガ、所
謂製炭夫ガ方少クナツテ居ルト云フ事實
ガアリマスノデ、吾々ト致シマシテモ、之

ニ對應スル爲ニ製炭技術ノ向上ヲ圖リ、製
炭能率ノ増進ヲ圖リ、更ニ只今十五年度ノ
追加預算ニアリマスヤウニ、或ル程度ノ團
體的製炭ノモチニ加味シテヤルト云フヤウ
ヲ考ヘ方デ以テ進シテ居ルノデアリマス、
御話ノ製炭夫ノ減少ト云フコトハ、吾々ト
致シマシテ一番大キナ悩ミデアリマスノデ、
此ノ點ニ付キマシテノ對策ヲ致シマシテハ、
地方廳ノ指導者其ノ他ト協力ヲ致シマシテ、
實ハ苦心ヲシテ居ルノデアリマス

サセルト云フノデアリマシタラバ、或ハ是
ハ誰デモ出來マセウガ、實際ノ炭價ノ騰
ウナコトハ、中學ノ生徒ヤ何カニハ絶對ニ
出來スノデアリマス、サウシタナラバ、モウ
三割、多クテ五割マデハ歩止リハナイノデ
アリマス、深山ノ木材ヲドクノ、サウ云フ
方面ニ於テ唯灰ニシテシマフヤウナ、木炭
製造ヲ、而モ鹽々シク書立テラレマシテ、
其ノ上ニ木炭飢饉ト云フモノハ是ガ爲ニ解
消スルノダト云フヤウナコトヲ、宣傳シテ
居ルヤウナ風モアリマシタ、併シナガラ炭
價ト云フモノガ誰デモ直チニ出來ルカノヤ
ウニ言ツテ居リマスケレドモ、サウ簡單ニ
行クモノデハナイト云フコトハ、是ハ局長
モ能ク御存ジノコトト思フノデアリマス、
何十年來殆ド子供ノ時カラ炭價バカリヤツ
テ居ル者ニ聞イテ見マシテモ、ソレデモ自
分ガマダ炭價ノ研究ヲシテ居ルガ、長イ間
ノ經驗ニ依ツテモ、完全ニ炭價ノ騰コトガ
出來ナイノダト言ツテ、告白シテ居ルモノモ
アル位デアリマシテ、是ハモウ非常ニ面倒
ナ問題デアリマス、唯簡單ニ考ヘマシタラ
直チニ簡單ニ出來ルヤウニ思ヒマスガ、ソ
レハ實ニ炭價ノ苦心ハ一通リデハナイノデ
アリマス、今日ノヤウニ原木ガ高クナツテ
居リ、唯歩止リノ如何ニ依ツテ現在ノ安イ
値段デ炭價ガ相當ノ日儲貨ニナルカナラ
スカト云フコトニ付キマシテハ、要スルニ
其ノ技術ガデアリマス、其ノ際カラ出シマ
シタ炭價ガ成ベク歩止リノ良イダケ、ソレダ
ケ勞働ガ多クナルト云フコトニナリマスル
カラ、此ノ製炭業者ノ苦心ト云フモノハ一
通りデアリマシマス、是等ニ付キマシ
テハ今後ノ重大問題デアリマスカラ、局長
ノ方デハ特ニ研究サレテ居ルト思ヒマス

方、ヨリ以上ノ御注意ヲ私ハ拂ツテ置キタ
イト思フノデアリマス、次ニ運搬關係、即
チ搬出ノ不備ナコトヲ初メニ一寸申上ゲマ
シタガ、局長ノ方デモ御分リニナツテ居ル
ダラウト思ヒマスガ、是ハ産業組合ト一般
ノ企業者ト言ヒマセウカ、地方ニハ問屋ト
云フモノガアリマス、木炭移出業者トモ言
ツテ居リマスガ、サウ云フ方面トノ衝突ニ
依ツタコトガ消費地ニ對シマシテ圓滑ニ炭
ノ輸送ガ出來ナカツタ原因ノ一ツデハチカ
ラウカト私ハ思フノデアリマス、サウ云フ
ヤウナ點ニ付テ御研究サレタコトガア
ルノデアリマセウカ、ソレハ産業組合ガ進
出シテ參リマシテ、山元ヘ行ツテ木炭ヲ買
出シテ來ルノデアリマス、サウシテ一方木
炭移出業者モ山元カラ木炭ヲ集荷スルノデ
アリマス、二本建テ集荷致シマスルカラ、
其ノ集荷致シマシタ炭價ガ、或ハ船舶ニ依リ、
或ハ鐵道輸送ニ依リ、斯ウ云フコトニ相成
ツテ參リマス、兩方ガ炭價ヲ集メマシテ、其
ノ集マツタ炭價ハ又何レモ系統ガ違ツテ搬出
ヲシテ居ルノデアリマス、時ニハ産業組合
ノ方モ、或ハ一般移出業者ノ方モ鐵道便ノ
ミヲ利用シテ居ルモノモアリマス、其ノ利
用シテ居ルモノニ致シマシテモ、ソレガ一
貨車ニ雙方ガ集メテ居リマスカラ、一ツノ
貨車ニ滿載スルコトガ出來ナイ、或ハ一隻ノ
船舶ニ兩方ガ炭價ヲ集メテ居リマスル爲ニ、
滿載ニナラナケレバ船舶力カス講ニ參リマ
セス、サウ云フヤウナ關係デ此ノ産業組合
ノ進出ト、普通商人トノ競争ニ依ツテ完全ハ
消費地ノ方ニ輸送ガ出來ナイ、早ク撤消ニ
輸送ガ出來ナカツタト云フヤウナ事實モ多
ク私ハ聞イテ居ルノデアリマス、是ハ或ハ
全國的ニサウ云フヤウナ實例ガアルノデア

リマセウカ、サウ云フ風ニ産業組合ト商人
トノ衝突ノ爲ニ茲ニ輸送ノ方面ニマデシ
方影響ヲシテ居ル、斯ウ云フ事實ヲ研究サ
レテ居ルカ、或ハサウ云フ事實ガ全國的ニ
アルト御認メデアリマセウカ、其ノ點ヲ御
伺致シマス

云フモノハ、低物價政策ニ依リ、何處マデ
モソレヲ貫徹スルノダト言ツテ居リマス、
肝心ノ原木ハ値上リヲシテ居ルガ、其ノ薪
炭林ノ價格ヲ統制ハ拔キニ致シマシテ、安
イ品物ヲ造レト云ツタ所方、果シテ造リ得
ラレルデアリマセウカ、或ハ此ノ生産業者
ニ致シマシテモ、日常ノ必需品ト云フモノ
ハ、御承知ノ通り如何ニ政府ガ低物價ヲ言
ヒマシテモ、實際ハ値上リヲシテ居ルノデ
アリマス、サウ云フヤウニ一般物價ハ値上
リマスル、原木ハドクノ上ツテ來ル、出
來上ツタ炭價ガ此ノ位ノ値デナケレバ賣
レナイダト云ツテ、木炭ノ價格バカリヲ統
制ヲシテ行キマシテ、果シテ増産ガ出
來ルデアラウカ、要スルニ今回ノ木炭飢饉
ノ原因ハ此ノ統制ノ不徹底カラデアアル、
統制ヲヤルナラバ統制ノ何處マデモ強化致
シマシテ、統制ニ一貫性ガナイトイケ
ナイ、其ノ製品ニナルマデノ間、所謂原料
シテ置イテ、全面的ニ統制ヲシテ初メテ其
ノ統制ガ效果ガ現レルト思ヒマスケレド
モ、現在ノヤリ方ハ唯製品バカリノ價格ノ
統制ヲヤツテ、ソレデ政府ハ御満足サレテ
居ツタヤウデアリマス、併シソレガ今回ノ
木炭生産ノ減少ヲ來シタ原因デアアル、今回
増産計畫ヲ立テテ居ラレマスガ、此ノ一貫
シテ統制ヲ強化シナカツタナラバ、是ハ絶
對ニ出來ルモノデハナイト思フ、今回ハ政
府ノ方、ガソリンノ用ノ木炭ノ方デハ、原木
ノ供給ヲスルト云フヤウニマデ計畫サレテ
居リマスガ、此ノ薪炭林ヲ、何處マデモ價
格統制ヲ爲シ得ル御考デアアルカ、唯出來上
ツタ物ニ對シテ今マデ通りノ統制ノ方法デ
進シテ參ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付キ

他ノ消費地ニ運搬セラレテ居ルノダト云フ此ノ事實カラ考ヘテ見マシテ、此ノ中間業者ヲ今マデノ機構通り置クト云フテモ、ソレガ運用ガ出来ナクナツタ時ニ、増産計畫ト云フモノハ出来ルカドウカ、産業組合ヘドウ呼掛ケマシテモ、或ハ農事實行組合ヲドウ活動サセマシテモ、或ハ共同購入ニ對シマシテ特別ノ補助ヲ與ヘ資金ヲ融通スルト申シマシテモ、是ダケ多クノ一億二千万圓ニ近イ金ヲ動かシマシテ、木炭生産ニ關係ヲ持ツテ居リマスル此ノ中間業者ト云フモノヲ全然度外視シマシテ、八億万貫ニ近イ生産ガ爲シ得ルカドウカト云フコトハ、是ハ餘程私ハ考ヘテ戴カナケレバナラヌト思ヒマス、ソノ中間業者ト云フモノハ全然必要ハナイノダト——只今ハ申シマセスケレドモ、政府ノ今回ノキリマスルコトニ依ツテ事實ソレ等ノ者ガ除外サレテシマフ點カラ考ヘテ、私ハ此ノ増産計畫ガ爲シ得ラレルカドウカト云フコトヲ危ブム者デアリマスガ、是等ノ點ニ付キマシテハドウ云フヤウニ御考ニナツテ居ルノカ、此ノ點ニ付キマシテハ特ニ私ハ熱心ナル眞面目ナ御答辯ヲ戴キタイト思フノデアリマス、打明ケテノ御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

〔伊藤委員長代理退席、小申委員長代理著席〕

○田中政府委員 六億五千万貫ノ取引ニ更ニ増産分二億万貫アル譯デアリマスガ、數字のニ申シマスレバ、六億五千万貫ニ付テノ取引ハ從來通りト云フコトニナル譯デアリマス、残りノ二億万貫ノ問題ニ付テ、其ノ數字ガ吾々ノ考ヘテ居ル買上數字ト一致スル譯デアリマス、併シ是ハ形式的ナ數字上

ノ問題デアリマスルガ、事實上ニ於キマシテモ、御話ノヤウナ中央ノ買上ノ地方ノ買上ノ更ニ製炭業者ヘノ資金ノ供給ノアルコトモ事實デアリマス、併シシナカラ其ノ資金ハ必ズシモ中央ノ買上ノ資金ガ相宜アルノデアリマス、ソレカラ政府ノ買上ガマスノハ、場所ハ何レト致シマシテモ、買上ノ問題ヲ考ヘテ見マスルニ、假ニ中央ノ買上ノ地方ニ資金ヲ供給致シマシテ、而シテ其ノ結果炭ガ中央ノ或ル都市ニ流レルト云フコトニナリマスレバ、吾々トシテハ非常ニ結構ナコトデアリマシテ、政府トシテハソレニ依ツテ其ノ都市ノ需要ガ充サレルト云フコトデアレバ、ソレニ向ツテソレト競争シテ賣上ルコト云フヤウナコトハナイ譯デアリマス、所ガ其ノ炭ガ十分中央都市ニ流ラレトス致シマス、今度ハ他ノ都市ニ不足ヲ來ス、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、サウシマスレバ他ノ都市ニ向ツテ吾々ガ不足部分ニ對シテ或ル程度ノ緩和ノ賣上應ジマスルト云フヤウナ考テ居ル譯デアリマス、而シテ又公定價格ノ結果ト致シマシテハ、早ク買上ツテサウシテ長ク貯蔵スルト云フヤウナコトハ、恐ラタ當業者トシテモ出來ルダケ避ケタイト云フ希望ガアルコトト思ヒマス、現ニ公定價格ノ或ル意味ニ於テノ弊害デモアリマセウ、公定價格デアアルガ爲ニ長ク貯蔵スルコト云フコトガ出來ナイ爲ニ、其ノ場ノデ買上ム、ソレガ爲ニ配給ガ旨ク行カナイト云フ現象モ、現實ニ昨年アタリノ炭飢饉ノ時ニアツタト思ヒマス、其ノ不利益ヲ、政府デ買上ツテ置キマシテ、サウシテ都市ノ商人ノ方ノ必要ノ時ニソレヲ賣渡スト云フコトニ致シマスレバ、都市

ノ商人ノ方ト致シマシテハ倉敷、金利等ノ損失モナクシテ、割合ニ自分ノ思フ時期ニ或ル程度ノ炭ガ手ニ入ルト云フコトニナルノデアリマス、隨ヒマシテ、殊ニ消費地ノ都市ノ商人ノ方々ト致シマシテハ、相當此ノ炭飢饉ニ對シテハ手當ガ出來ズニ御困リニナツテ、ソレガ爲ニ配給ガ不圓滑ニナツタト云フコトモ御承知ノ通りデアリマシテ、吾々トシテハサウ云フヤウナ缺點ト云ヒマスガ、サウ云フ所ニ向ツテ商人ノ方ニ賣上テ行ク、サウシマスレバ、其ノ商人ノ方モ自分ノ得意方面ニ炭ガ適當ナ機會ニ手ニ入ツテ賣上ルコト云フヤウナコトニナリマス、商人ノ方トシテモ非常ニ便利デアアルト云フ風ニ考ヘルノデアリマス

○田中政府委員 適正價格ノ問題デアリマスガ、實ハ中ニハ不審要期ニハ値下シタラ宜イデヤナイカト云フヤウナ意見ヲ有シテ居ル方モアツタ位デアリマスガ、吾々トシテハ季節節ノ値下スルコト云フ意思ハアリマセケレドモ、只今ノ所ノ値上スルコト云フ考ハ持ツテ居ナイノデアリマス

○淺井委員 農林省デ御決定ニナリマシタ此ノ木炭ノ三段階ニ分レテ居リマスル「エー」、「ビー」、「シー」ノ價格ノ問題デアリマスルガ、此ノ三段階ニ價格ヲ分ケマシタガ爲ニ、表面カラ見マスルト如何ニモ合理的ニ是ハ出來テ居ルノデアリマス、私共ガ見マシテモ、或ハ「エー」格、「ビー」格、「シー」格ハ、所謂山元カラ買上ルニ渡リマスル價格ノ問題ガ又小賣ニ渡ス價格、或ハ小賣人方更ニ需要者ニ賣渡シマスル價格、此ノ三ツヲ決定シテ居リマスルカラ、是ガ此ノ儘デ運用サレマシタ時ニハ、實ニ是程立派ナ價格ノ決定ハナイノデアリマス、所ガ茲ニ此ノ三段階ニ分ケマシタコトガ却テ今日ノ市場價格ヲ混亂ニ陥レタノデハナカラウカト云フヤウナ懸念ガアルノデアリマス、ソレハ初メニモ少シ申上ゲマシタヤウニ、産業組合ガ進出シテ參リマシテ、産業組合ノ扱ヒマスルモノハドウ云フ扱ヒマシテ居ツタカ、是ハ其ノ「エー」、「ビー」、「シー」ノ三段階ノ價值段ガアリマスルニモ拘リマセズ、産業組合ハ委託販賣アルノデアアルト稱シマシテ、木炭ヲ製造シテ居リマスル山元ニ參リマシテ、其ノ實際ハ「エー」價格デ買上ルモノハ買上ハナケレバナイ價格ガアルニモ拘リマセズ、委託販賣ノ名ノ下ニ直接生産業者カラ「シー」價格ニ殆ド等シイ價值段、而モソレヲ前渡金ト稱シマシテ、二回ノ價格ヲ小賣價值ノ「シー」價格ガアルモノデアリマス、一圓八十錢位ノ金ヲ前渡スルノデアリマス、サウシテ山元カラ「シー」買上シテ來マスカラ、生産業者ノ炭ハ産業組合ノ方面ニ可ナリ流レ出タノデアリマス、其ノ結果ト致シマシテ産業組合ノ此ノヤルコトニ因リマシテ——折角三段階ニ農林省ノ方デ區分ヲ致シマシテ、如何ニモ合理的

ナ其ノ價格案ガ出來テ居ルニモ拘リマセズ、産業組合ガ斯様ニ山元ニ參リマシテ、直接委託販賣ト稱シテ之ヲ買出シマスルノダト云フコトニナリマシタカラ、自然其ノ影響ヲ受ケマシテ原木林ガ「シー」暴騰シタノデアリマス、ソレダケ山元デア高ク賣レルノデアラナレバ、原木モソレニ依ツテ値上ラシナケレバイケナイト云フヤウナコトデ、薪炭林ハ昂騰ヲシテ參リマスルシ、又初メニ申シマシタヤウニ、今マデ買上、所謂移出業者ト云フモノハ中央ノ買上筋カラ金融ヲ受ケマシテ、ソレニ依ツテ生産業者ニ或ハ米ヲ前渡ラシ、或ハ其ノ他日用必需品ヲ前渡ラシ、或ハ金ヲ貸付ケテマデ生産ラシテ居リマスルソレ等ノ業者カラモ、ドン／＼流レ出タノデアリマス、又炭焼ノ方ハサウ云フコトヲシテ平氣ノ平左デアアル、自分ガ或ル資本家カラサウ云フ援助ヲ受ケテ居ルト云フ義理合ト云フヤウナモノハ、餘リ深ク考ヘナイノデアリマス、一方ニ於テ産業組合ガ高ク買上ツテヤラウ、斯ウ云フヤウナコトニナリマス、ドン／＼其ノ方面ニ賣渡ラシタト云フヤウナ事實モ行ハレテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ點カラ考ヘテ見マス、此ノ産業組合ガ進出ラシテ參リマシテ、是ハ産業組合員デアリマス、其ノ産業組合員ノ製品ヲ委託ヲ受ケテ居ルコト云フ義理合ト云フヤウナモノトニナリマス、是ハ當然カモ分リマセズ、併シサウナリマスル折角農林省ノ方デ「エー」、「ビー」、「シー」ト分ケマシタ其ノ意味ガ何處ニアルカ、又眞ニ産業組合員ノ炭ガサウ云フ手段ニ依ツテ委託販賣サレラバ結構デアリマスケレドモ、中ニハ假令ソレガ組合員デナクテモ平氣ノ平左デアリ

炭ノ買出シラヤツテ居ルノデアリマス、サウ云フ點カラ見テミマス、私ハ此ノ「エー」、「ビー」、「シー」ノ三ツニ分ケマスコトガ、却テ市場價格ヲ混亂ニ陥レ、又産業組合ト一般商人ノ間ニ反産運動、或ハ商權問題ト云ツタヤウナ、却テ惡イ産業組合對商人トノ間ノ軋轢ヲ増成スルコトニモ相成ルト思フノデアリマス、デアリマス、是等ノ點カラ考ヘテ見マシテ、果シテ現在ノ産業組合ガ斯様ニ委託販賣ト稱シテ炭ヲ買上ツテ居ル此ノ事實カラ考ヘテ見マス、私ハ此ノ三ツノ段階ニ分ケマシタ此ノ木炭ノ公定價格ト云フモノヲ、變更スル必要ガアルデハナカラウカ、寧ロ三ツニ分ケマシタカラ斯ウ云フ問題ガ起ツテ參ツタノデアリマスカラ、之ヲ三ツニ分ケマセズ、即チ山元デ賣上ラシマシマスル適正價格ヲ作り、サウシテ小賣價值ノ適正價值ヲ作ツテ、其ノ中間ニ於ケル木炭ノ價格ト云フモノハ、其ノ差額ヲ作りマシテ自由ニ販賣サス、産業組合ト雖モ山元ニ於テソレ以上ノ價格ヲ買ハセナイ、或ハ又小賣相場ハ幾ラト、斯ウ決メテ參リマスナラバ、三ツノ價格ニ分ケマスコトヨリモ二本建ノ價格、即チ山元デ賣上リマス價格ト小賣相場ノ價格トニ決定シテ置キマス方ガ、却テ斯ウ云フ問題ヲ釀スコトナシニ済ムデハナイカト思フノデアリマスガ、此ノ二ツニ價格ヲ變更シマス點ニ付キマシテハ、將來此ノ法案ガ通過致シマシタナラバ、或ハ何カ御考究サレラドゴザイマセウカ、或ハ依然トシテ此ノ「エー」、「ビー」、「シー」ノ三段階ノ價格ヲ踏襲スル御考デアリマスガ、此ノ點ヲ御察致シマス

○田中政府委員 政府ノ買上ガ際ニ於キマシテハ、商人ニ對シテモ産業組合ニ對シテモ同ジ價格ヲ買上ツテ行クノデアリマス、價格ノ三段階ノ問題ハ、是ハ公定價格全面ノ問題トシテ、問題トナツテ居ル問題デアリマスガ、又二段階ニスルコト今度ハ御賣商ト小賣商ノ問題ガアルノデアリマス、實ハ其ノ邊ノ問題ガ中々面倒デアリマシテ、相當研究ヲ要スル問題デアリマス、今後ノ公定價格ノ決定ニ付キマシテハ此ノ點ヲ、比較シテ研究シテ見タイト思ヒマス

○小申委員長代理 如何デスカ、モウ時間ガ大分過ギマシタカラ、マダ御質問ガ相當アルヤウデシタラ、適當ノ所デ明日ニ御難シニナツタラドウデス

○淺井委員 宜ウゴザイマス、ソレナラモウツダケ……是ハ只今申シマシタ産業組合ガ進出シテ參リマシテ、山元ニドン／＼「シー」價格ニ近イ價格ヲ買上ラシテ來タ、サウ云フコトノ關係デ炭ノ消費地ニ搬出致シマスルコトガ、此ノ中間商人ガ殆ド手ヲ出スコトガ出來ナクナツタト云フヤウナコトデ、却テ消費地ノ炭ノ飢饉ヲ招來シタノデハナカラウカトモ思フノデアリマス、現ニ是ハモウ御存ジダラウト思ヒマス、東京市ニ於キマスル間相場、而モ是ハ諒解相場トモ一面稱シテ居リマスガ、東京府廳ニ於キマシテモ非常ニ此ノ木炭ノ飢饉ヲ心配ラシマシテ、何トカシテ木炭ノ買集メヲシヨウト云フヤウナコトデ、市内ノ商人ノ手ヲ經マシテ木炭ノ買上ラシタノデアリマス、サウシマスレバ實際生産地ヘ參ツテ見マス、産業組合ハ殆ド小賣相場同様ノ價デ今マデ賣上ラシテ居リマス、商人ガ行キマスト依然トシテ小賣價值ニ近イ價段デアリト生産業者ハ賣上ツテ與レナイ、デ

アリマスカラ已ムヲ得ズ東京ノ商人ト致シマシテモ産業組合ノ買上ツテ居リマス價值段買ハザルヲ得ナクナツテ來タ、ソレデ殆ド小賣相場同様ニ生産地カラドン／＼買集メテ參リマシテ、東京市内ニ炭ヲ積重ネテ居ル、所ガ小賣相場同様ニ生産地カラ買上ツテ參リマス、商人ト致シマシテ更ニ直接消費者ニ賣却致シマス時ニハ、ドウシテモソレ以上運搬トカ或ハ買上ツテ參リマシタ金利ト云ツタヤウナ方面ノ、幾ラカ口錢ガナクテハ、商人トシテハ唯犧牲的ニ働タト云ツタヤウナコトハヤレルモノデアリナイノデアリマス、デアリマス、商人ト小賣相場同様ニ山元カラ買上ツテ來タモノデアリマス、今度府廳デハ仕方ガナイカラ、オ前ノ方デ三十錢ナリ四十錢高ク賣レ、是ハ已ムヲ得ナイ、ソレダケノ運賃或ハ金利、サウ云フヤウナ意味ノ口錢ヲソレニ加ヘル、公定價格ト云フモノハチヤント決ツテ居ルノデアリマス、其ノ價格以上ニ三十錢、物ニ依レバ五十錢モノ口錢ヲ加ヘテ賣ル、普通ニ言ハバ是ハ間相場デアリマス、公定價格以上ニ三十錢、五十錢高ク賣ルト云フコトハ、是ハ絕對出來ナイ譯デアアル、ソレヲ府廳ガ承認ラシマシテ消費者ニ公然トソレヲ賣却ラシメタ、私ハ是程不都合ナコトハナイト思フ、如何ニ府廳ト雖モ、如何ニ炭ニ因ツタト雖モ、政府ノ監督下ニアリマス東京府自ラガ、公然公定價格ヲ破ルヤウナコトヲ致シテ居ル、地方ノ者ガ假令一錢ナリ五厘ナリデモ之ヲ高ク賣ルナリ、公定價格ヲ破ツテ居ツタ時ニハ、嚴罰ニ處シテ居ルノデアリマス、サウ云フノニモ拘ラズ、公然之ヲ認メテ賣上ツテ居ル、ソレヘ持ツテ行ツテ之ヲ知ラナクツタト警視廳ハ狼狽ヲ致シ

マシテ、開相場ドシ、商人ガ賣ツテ居
ルト言ツテ警視廳ハ憤慨ヲ致シマシテ、直
チニ是等ノ商人ヲ警視廳ノ地下室ニ抱リ込
ンダト云フ事實ガアリマス、サウシマス
今度ハ府會議員ガ非常ニ憤慨ヲ致シテ、以
テノ外ダ、是ハ府廳ガ承認シテ三十錢ナリ
五十錢ナリハ當然口錢ヲ與ヘルト言ツテ、
府廳ガ所謂公認ヲシタ、其ノ商人ニ對シテ、
警視廳ガ引張ルトハ何事ダト云フヤウナコ
トデ、警視廳ハ參リマシテ色々交渉シタ結
果、遂ニ警視廳ガ一札ヲ入レテ済シタト云
フ話ヲ私ハ聞イテ居ルノデアリマス、是ナ
ドハ政府ガ低物價ヲ何處マデモ強調シテ、
局長ノ方デモ將來ト雖モ木炭ノ價格ヲ上ゲ
ナイト言ツテ居リマス一方ニ於テ、斯様ニ
府廳ガ公然公定價格ヲ破ツテ商人ニ賣ラシ
タ、而モ警視廳ハ之ヲ開相場トシテ檢査シ
タ、其ノ結果府廳ト警視廳トノ間ニ軋轢ヲ
醸シタト云フヤウナ事實ハ、即チ産業組合
ガ進出致シマシテ、山元デ斯ウ云フ相場、
所謂消費相場ニ近イ價格デ買ツテ居リマス
ルカラ、斯様ナ大キナ問題ヲ私ハ惹起シタ
ノデハナカラウカ、是ハ政府ト致シマシテ
ハ斯ウ云フ事實ヲ御存ジデハナイカモ知レ
マセスガ、斯ウ云フコトガアリマシタナラ
バ、農林省トシテモ、折角作ツタ公定價格
デアリマスカラ、之ニ對スル何カ制裁ヲ與
ヘテ居ルデアラウト思ヒマスガ、斯様ナ事
實ガアツタコトヲ御存ジデアリマセウカ、
此ノ點ヲ御同致シタイト思ヒマス

ガ相當アルヤウデアリマス、或ハ商人ノ方
デサウ云フ關係カラ買進マレタト云フ關係
モアリマセウケレドモ、實ハ産業組合ノ木
炭ノ取引ハ非常ニ減ツテ居ルノデアリマス、
此ノ問題ハ御話ノヤウニ需給關係ガ非常ニ
逼迫シ、且ツ取引關係ガ複雑シテ居ルト云
フヤウナコトカラ、木炭ニ關スル吾々ノ豫
期シナイ色々ナ問題ガ起ツタコトハ、甚ダ
遺憾ニ思ツテ居ルノデアリマス
○淺井委員 ソレハ警視廳トノ間ニ私ガ只
今申上ゲマシタヤウナ事實ガアツタノデス
ガ、ソレハドウデスカ
○田中政府委員 其ノ點ハ私ハ聞イテ居リ
マセス
○小串委員代理 ソレデハ淺井サンノ質
問ハ留保シテ、本日ハ是デ散會致シマス
午後五時三十三分散會

衆議院昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)委員會議錄第十八回中正誤	頁
山岸局長	四三一
山岸政府委員	四三五
山岸政府委員	四三五
山岸政府委員	四三五

昭和十五年三月二十一日印刷

昭和十五年三月二十一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

○田中政府委員 自動車業組合が各地ニ出
來マスカラ、其ノ自動車業組合ヲシテ適當
ニ附帯業務等ヲ相當取扱ハセルト云フコト
ニテラウカト思ヒマス

○淺井委員 此ノ瓦斯用木炭ノ生産ヲ全然
分離シマシテ、或ハ衛生的の見地等カヲ考
ヘマシテ、一般家庭用ニ此ノ「ガソリン」用
木炭ガ使用サレルコトガ非常ニ有害デア
ル、ソレデアリマスカラ會社ガ此ノ「ガ
ソリン」用木炭ヲ全部購入ヲ致シマシテ、一
般家庭用ニ使用サレヌヤウニスルノコト、
斯ウ云フヤウナ御説明デアリマスカラ、此
ノ「ガソリン」用ノ現在使ツテ居リマスカ
ル木炭ノ製造者ト、家庭用、工業用ニ使用シ
マスカル木炭ノ製造者ト云フモノガ、全然
別個ノモノノヤウニ御考ナリテヤナカラウ
カト斯ウ思フノデアリマス、是ハ新シク出
來マシタモノデアリマシテモ、全然別個ノ
業者ガ此ノ製炭ヲヤツテ居ルノデアリマセ
ス、今マデノ家庭用ノ木炭ノ製造ヲシテ居
リマスカルモノ、而モ其ノ中デモ白炭ト稱シ
マスカル極上品ヲ製造シテ居リマスカル木
炭ノ製造業者ガ、多ク「ガソリン」用木炭ノ製
造ヲ始メタノデアリマス、デアリマスカラ
一全然生産業者ガ別個ノモノデアアル、即チ
一般木炭ノ生産量ガ六億五千萬貫ト云フ
テ居リマスカラ、其ノ六億五千萬貫ノ製造
業者ハ、新シク出來マスカル此ノ「ガソリ
ン」用ノ木炭ノ製造業者ト云フモノト同ジ
モノデアリマス、デアリマス爲ニ、若シ此
ノ會社ガ設立サレマシテ、運營ヲ開始メ
ルノ時ニテ來タ時ニハ、從來ノ家庭用木炭
生産業者ノ一部ノ生産業者ガ「ガソリン」用
ノ木炭生産業ニ従事スル譯デアリマス、サ
ウナツテ參リマスカルト、一方ニ於テハ二億

萬貫ニ近イ木炭ノ増産計畫ヲ立テ、一方ニ
於テハ又一億萬貫ノ「ガソリン」用木炭ノ確保
ヲシナケレバナラヌト斯ウ云フコトニナリ
マスカルト、果シテ生産業者ト云フモノハソ
レニ對應シマシテ、ソレダケノ業者ヲ確
保スルコトガ出來カドウカ、成程机上
デハ簡單ニ出來マスカラ、實際只今申上
マスカルヤウニ、生産業者ト云フモノハ同ジ
モノデアリマシテ、其ノ一例ヲ舉ゲテ申シ
マスカラ、高知縣ハ全國デ一番位ノ製炭地
デアリマスガ、其ノ高知縣ノ中デモ一番上
ノ製炭地デアリマスカラ、是ハ安藝郡ト云
ヒマシテ高知縣ノ製炭地ト云フモノガ、所
最近其ノ「ガソリン」用ノ木炭ガ盛ニ生産サ
レテ居ルニナリ、而モ其ノ價格ニ於テ家庭用ノ上
等ノ炭ヲ今マデ生産シテ居リマシタモノヨリ
モ、遙ニ「ガソリン」用ノ木炭ヲ生産スル方
利益ニナルト云フコト、此ノ安藝郡一郡ガ
殆ド「ガソリン」用ノ木炭生産ニ變ツテシ
マツタノデアリマス、ソレデアリマスカラ、現
在全国的ニ有名ナ製炭地トシテ、而モ一郡
相當ノ生産ヲ舉ゲテ居リマシタ安藝郡ノ如
キモノハ、殆ド家庭用ノ木炭ガナクナツテ
シマツタ、ソレデアリマスカラ衛生的ニ
非常ニ害ガアルト認メラレテ居リマスカル
「ガソリン」用ノ木炭ヲ、家庭用ニ使用
セザルヲ得ナクナツタ、非常ニ木炭ノ生産
地デアツタニモ拘ラズ、全然家庭用ノ木炭
ガナクナリマシタカラ、現在デハ其ノ「ガ
ソリン」用ノ木炭ヲ盛ニ家庭用ニ使用シ
テ居ルヤウナ實情デアリマス、サウ云フヤ
ウニ生産業者ト云フモノハ同一ノ生産業者
ニシテ、而モ「ガソリン」用ノ木炭ノ製造ニ當
リマシタカラバ、是ハ特許モアリマスカルヤ

ウニ多少ノ技術ヲ要スルノデアリマシ
テ、今マデ白炭ト云フヤウナ高級品ヲ燒イ
テ居リマスカルヤウニ——是ハ際ヲ冷ヤシ
ハ駄目ナノデアリマス、唯今マデノ製炭
ヲ燒イテ居リマスカルヤウナ木炭業者デハ、
直チニ此ノ生産ニ當ルコトハ出來ナイノ
デアリマス、若シ其ノ業者ガ「ガソリン」
用ノ木炭ノ製造ヲ始メマシテモ、是ハ相當
ノ講習ヲスルナリ、或ハ技術ノ講習ヲス
ナリシナケレバ、進モ完全ナモノハ出來
ナイノデアリマス、サウ云フヤウナ實情カ
考ヘテ見マシテ、双方ニ増産計畫ヲ立テ、
而モ此ノ會社ハ會社トシテ一億萬貫ノ確保
ヲシナケレバナラヌト、斯ウナツテ來
シタ時ニ果シテ其ノ兩方ノ計畫ガ——或ハ
増産計畫ニ當リマシテ林道ノ普及ヲスル
ナリ、或ハ際ヲ築クコトニ對シマシテ補助金
ヲヤルナリ、或ハ原木ノ共同購入ニ對シテ
助成金ヲ渡サナリ、色々方法ハ間接的ニ
リマセウケレドモ、生産致シマスカルモノハ
完全ニ同一ノデアリマスカラ、同一ノ
モノヲ双方ガ製造ノ獎勵ニ當リマシテ、果
シテソレダケノ生産業者ト云フモノヲ確保
スル御確信ガアルカドウカ、或ハ務務者
或ハ原木ヲ運搬スルカドウカ、燒キマシタ
山元カラ停車場ノ方ヘ搬出スルコト云フヤ
ウナ労働者、或ハ因人ヲ使フコトモ半島人
雇人レマスカルトモ出來カモ知レマセ
ウカト云フコトヲ非常ニ心配スルノデアリ
マスガ、其ノ見透シハドウデアリマセウカ
○田中政府委員 御説明尤モデアリマスガ、
一般増産計畫ノ遂行ノ問題ト致シマシテ、
御尤モ御懸念アルト思ヒマス、吾々ト

致シマシテハ、サウ云フヤウナ状態ニアル
關係カラ致シマシテ、此ノ會社ヲ作ツテ、
サウシテ此ノ會社ノ必要ナ木炭ハ資金關係
ヲ相當ニ潤澤ニシテ、原木ノ手當ナリ何
リヲシテ増産スルコト云フ計畫デアレバ
ラレド、御話ノヤウニ此ノ方ニ製炭夫ガ取
アル程、御話ノヤウニ此ノ方ニ製炭夫ガ取
ラレルノチヤナイカ、サウ云フコトニナル
譯デアリマスガ、併シ若シ此ノ方面ヲ抛
テ置キマスカラ、ヤハリ是ハ普通木炭ヲ
來通リニ消費サレルニ極ツテ居ル譯デア
リマス、隨ヒマシテ何レニシテモ、同ジ製
炭夫ニ向ツテヤハリ炭ノ種類コソ同ジデア
レ、自動車用ニ向ケルモノ、家庭用ニ向ケル
ト生産シナケレバナラヌ分量ハ同ジデア
ル譯デアリマス、唯今ノ御話ノヤウナ一郡
全部ガ「バス」用木炭ニ變ツテシマフコト
ヤウナ所ガ假ニアリト致シマスカラ、地方
ノ需給ニ相當影響ヲ及ボスコトモアラウカ
ト思ヒマスカラ、其ノ邊ノ所ハ今後指導
シマシテ——私ノ此處デノ考デアリマスガ、
「ブロック」的ニ出來得マスカラ割當テマシ
テ指導スル、ソレガ又集荷ノ方法ニモ非常
ニ便利ナ譯デアリマスカラ、バツ／＼ニ少
シツツ方々ヤラシテモ困ルシ、御話ノヤ
ウニ一地方皆羅マツテヤツテ、サウシテ普通
木炭ガ生産サレヌコトモ困リマスカラ、其
ノ邊ノ所ハ調整ヲ圖ツテ參リタイト考ヘ
テ居ルノデアリマス

○淺井委員 サウシマスト、「ブロック」ヲ
作ツテ政府ガ命令ヲシテ、ドノ地域ハ「ガ
ソリン」用ノ木炭ノ製造ニ従事シロ、或ハ
家庭用木炭ノ生産ニ當レ、ソレカラ其ノ生
産量ニ對シマシテモソレノ政府ガ指示
シマシテ、例ヘバ高知縣ハドノ位ノ生産ヲ

舉ゲヨ、而モ其ノ生産スル所ハドノ郡ナリ、
ドノ方面ト云フヤウニ政府ガチヤント豫
メ御指定サレル御意向デアリマセウカ、ソ
レハ將來ニ對シマシテ非常ニ重大ナ影響ヲ
與ヘル問題デアリマスカラ、モウ少シ詳シ
ク御説明願ヒタイ

○田中政府委員 命令ヲ以テドウト云フコ
トハ致ス積リハアリマセウケレドモ、或ル
程度指導ニ依リマシテ、其ノ地方ノ木炭ノ
生産能力ト需給トノ關係ヲ考ヘマシテ、割
當等ヲ致シマシテ、ヤハリ或ル程度責任ヲ
持ツテ燒イテ賣フコトモ、供給確保
ノ上カラ必要ト思ヒマスカラ、差支ナイ
限リサウ云フヤウナ方法ヲ進ンデ行キタイ
ト考ヘテ居ルノデアリマス

味デ、今日マデ之ヲ見テ居ツタノデアリマ
ス、所ガ會社ヲ作り、或ハ將來ニ對シマシ
テモ昨日來、或ハ薪ガ出テ來ルヤウニナツ
タ、木炭以外ニ薪マデモ使用スルカモ分ラ
ズ、其ノ研究ハ只今進行中ダ、斯ウ云フヤ
ウナ御見解デアリマスカラ、將來ニ於テモ
依然トシテ木炭ヲ使用シ、或ハ薪ヲ使用シ
「ガソリン」ハ自動車カラ一部ノモノヲ除ケ
シマフト云フ御考デアリマシテ居ルノ
デアリマスカ、サウスト物動計畫デ人造石油
ガ是位増産出來ルト、ハツキリ示シテ居
マスガ、其ノ數字等カラ考ヘテ見マスト、
吾々ハ近イ内ニ「ガソリン」ノ供給ハ完全ニ
受ケルモノト考ヘテ居リマス、若シソレヲ
受ケルコトガ出來ナイト致シマスカラ、物
動計畫ノ増産ト云フ意味ガ分ラヌコトニナ
ル、昨年秘密會人人造石油ノコトヲ伺ヒマ
シテ安心シテ居リマシタ、サウシテ「ガソ
リン」ガ意ノ如ク國民ニ供給サレルモノト
思ツテ居ルハ先ニ、又會社ヲ作ツテ何時マ
デモ木炭ヲ使用スル、或ハ薪ヲ使用スルカ
モ知レナイ、ソレ等ノ點ヲ研究シテ居ルト
云フコトカラ考ヘマシテ、若シ「ガソリン」
ガ豐富ニ供給サレル時代ガ來ルトシテモ、
依然トシテ農林省ハ自動車ニ木炭ヲ使用セ
シメル方針デアアルカ、其ノ點ガ分ラナイ
デアリマス、殊ニ現在「ガソリン」ハ少ナク、
高イノデアリマスガ、一軒走ルニ要スル費用
ヲ概算スルト、「ガソリン」デハ僅カニ一錢
五厘、木炭ヲ使用スルト四錢五厘掛カツテ
居ル、又木炭ヲ使用スルト其ノ自動車ノ耐
久力ハ長クテ三箇年シカ持タナイト云フ、サ
ウ云フ木炭車ハ將來改善サレ、新シイ方法
ニ依ツテ其ノ機械ノ故障ハナクナリマセウ
シ、或ハ進歩スル時代ガ來ルカモ知レマセ

ウガ、一面ニ於テ安イ「ガソリン」デ完全ニ
機械ノ故障モナシニ走レルヤウニ、「ガソリ
ン」ノ供給ガ受ケラレルト云フ計畫ヲ政府
ニ於テ根本的ニ立テラレテ居ルニ拘ラズ、
會社ヲ作ツテ木炭一億貫確保ニ努力シナケ
レバナラズ、而モ之ニ相當金ヲ出シ、會社
ノ人件費マデ出シテ居リマスガ、斯ノ如キ
コトヲシテ——交通業者モ忍バナケレバ
イナラ戦時體制下デアルト懸念シテ居ルニ
拘ラズ、ソレガ將來ニ於テモ、依然トシテ
之ヲ墨守シテ、假令豐富ニ「ガソリン」ガ提
供サレル時代ガ參リマシテモ、木炭、薪ヲ
使用スルコトヲ止メナイ御方針デアアルカ、
此ノ點ヲ御同致シマス

○田中政府委員 「ガソリン」ノ供給ガア
リテ程アツテ自動車ノ燃料トシテ木炭ヲ使
用スルコトガ不適當デアルト云フ時代ガ來
マスカラ、勿論「ガソリン」ニ變ヘル方ガ宜
イト思ヒマス、併シ吾々ノ知ル範圍ニ於キ
マシテハ來年ヤ再來年アタリノ間ニ「ガソ
リン」ガ豐富ニナツテ木炭ヲ使用シナイ狀
況ニナルヤウデアナイト存ジテ居リマス、
隨テ相當期間木炭自動車行カチケレバナ
ラナイト思ツテ居リマス、御話ノ一軒「ガソ
リン」デ一錢幾ラ、木炭デハ四錢幾ラト云フ
御話デアリマスガ、現在使ツテ居ル木炭ハ、
御承知ノヤウニ普通木炭ガ相當多イノデア
リマシテ、能率的ニ言ヒマシテモ低イ譯デ
デアリマス、隨ヒマシテソレダケ費用ガ當
デ居ルノデアリマスガ、専用木炭ニナリマ
スカラ、ソレ程ノ費用ハ掛ラナイノデア
リマス

○淺井委員 是ハ委員長ニ一寸申上
ガ、農林省ノ方ノ局長サンハ、サウ云フヤ
ウニ「ガソリン」ノ豐富ニ供給サレルコトハ、
ダ今後何年先カ分ラヌト云フヤウナ御答
デアリマスガ、是ハ物動計畫ノ中ニモ數字
ガハツキリ示サレテ居ルノデアリマス、此
ノ公開ノ席上デハ出來カモ知レマセウカ
ラ、此ノ終ヒノ時デ結構デアリマス、其ノ
物動計畫ニ依ル、或ハ物資増産計畫ニ依
人造石油ノ生産量、アノ計畫ノ内容ヲ御取
寄セ下サイマシテ、委員長ノ方カラ御示
ヲ願ヒタイト思ヒマス、サウシマセスト
ウモハツキリシマセス、是ガ私共ノ考ノヤ
ウニ、僅ニ二三年或ハ三四年後ニ——物動
計畫ニ依ルトソナニ長イコトデアリマス
セス、昭和十六年ガ十八年ニ延期サレテ居
リマスガ、近イ中ニ吾々ノ満足スルヤウナ
モノガ出來ルヤウニ私共解釋シテ居リマス
カラ、是ハ非常ニ見解ヲ異ニスルノデア
リマス、若シサウ云フヤウニ僅カニ二三年或ハ
四五年後ニ「ガソリン」ガ完全ニ供給サ
レタルト、此ノ會社ハ意味ヲ爲サナイ、何
ガ爲ニ此ノ會社ヲ作ルコト云フ根本問題ニ
ナツテ參リマス、ソレデモ、一年ナリ二
年ナリノ間ダケデモ會社ヲ組織シテ、ソレ
ニ依ツテ此ノ木炭ヲ確保シナケレバイケ
ナイト云フヤウナ御見解ニ相成ル譯デア
リマスガ、サウナツテ來マスト、此ノ會社法
ニ對スル根本觀念ガ違ツテ參リマスノデ、此
ノ點ハ是非適當ニ御取計ヒ願ヒマス、今
日本瓦斯用木炭株式會社ト云フモノハ、
全ク此ノ木炭飢饉ニ遭致シマシテ窮乏ノ
一策トシテ案出サレタ案デハナカラウカ
ト思ハザルヲ得ナイノデアリマス、若シ現在
ノ増産方面ノ機構ガ完全ニ出來テ居リマ
シテ、完全ニ増産ガ爲シ得ラレルノデア
ラバ、此ノ會社ガ出來ナクテモ或ハ衛生
的ニドウトカ申シマスガ、現在デモ家庭用

○淺井委員 根本的ノ觀念ガ一寸私ト又違
フ點ガ出來テ參リマスカラ、一體政府ハ木
炭自動車ト云フモノヲ非常ニ強化致シマシ
テ、而モ其ノ「ガソリン」用ノ木炭會社マデ組
織シテ、一億貫ノ確保ヲシナケレバ、完全ニ
木炭自動車ガ動カナイ、斯ウ云フヤウナ御見
解ノ下ニ今同ノ法案ガ出テ參ツテ居リマス
ガ、私共ハ物動計畫等カラ考ヘテ見マシテ、現
在木炭ヲ使用シナケレバナラナイト云フコト
ハ、此ノ戰時體制下ニ於ケレテ「ガソリン」ノ供
給ヲ受ケルコトガ出來ナイカラ、餘儀ナク木
炭ヲ使用シテ居ルノデハナカラウカ、或ハ
木炭ニ代リマスカル他ノモノモ澤山研究
サレツツアルノデアリマスガ、是等ハ要ス
ルニ「ガソリン」ガナイ、其ノ「ガソリン」
代リニ一時的ニ所謂暫定的ニ使ツテ居ルノ
ダ、斯ウ云フヤウナ解釋ノ下ニ今日マデ參
ツテ居ツタノデアリマス、デアリマスカ
ラ「ガソリン」ノ爲ニハ吾々國民ハ不便ヲ忍
バナクテハナラナイト云フヤウナ犧牲的意

第六類第五號 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀)應急措置ニ關スル件(委員會) 第二十一回 昭和十五年三月二十日

二九三

二九三

ノ木炭ヨリモ比較的ニ「ガソリン」用ノ木炭ノ方が高ク賣ラレテ居ルノデアリマス、ソレハ實際ニ値段ガ安イ、生産費カラ考ヘテ見マスト、造歩合ガ良イノデアリマスカラ、ソノ關係最近ハ「ガソリン」用木炭製造ニ轉業スル者ガ多クナツテ來タ、此ノ事實カラ考ヘテ見マシテモ、若シ品物サヘ多クレバ會社ヲ作ラナクテモ、生産業者カラ消費業者ノ手許ニ完全ニ流レ出ルモノト私ハ考ヘルノデアリマス、又此ノ法案ガ通過ヲ致シマシテ成立シタト假定致シマシタ時ニハ、配給マデ會社ノ手ニ依ツテヤリマスヨリモ、寧ろ生産ノ方面ニ主力ヲ注グ、斯ウ云フコトガ會社ノ建前デハナカラウカト思ヒマスガ、生産ヲシ配給マデスルノダ、直接會社カラ消費業者ノ手ニ渡スノダ、斯ウ言ヒマスガ、會社ノ主ナル使命ト云フモノハ生産ヲ確保スル一億萬貫或ハソレ以上ノ「ガソリン」用ノ木炭ヲ確保スルコト云フコトガ、會社ノ使命デハナカラウカト思ヒマスガ、此ノノ見解ハ如何デアリマスカ

○田中政府委員 木炭ノ増産計畫ノ遂行ハ再々御質問ガアリマシタヤウニ、吾等トシテモ非常ニ努力ヲ要スル問題デアリト思フテ居ルノデアリマシテ、中々容易ナラザル問題デアリマス、而モ一方ニ於テ需要ノ方ノ増加ハ吾等ト致シマシテハ供給以上ニアルト云フ推測ヲシテ居リマス、サウ云フ關係カラ致シマシテドウテシモ十分炭ガ出ル、有リ餘ツテ自由ニ流レルト云フコトガ考ヘラレマセヌノミナラズ、或ハ地方的ニ普通木炭ト瓦斯用木炭トノ價格ノ問題ニ於テハ、瓦斯用木炭ヲ餘計作ツテ普通木炭ヲ作ラナイト云フコトモアリ得マスノデ、其ノ邊ノ調整ヲ圖ルト共ニ、此ノ會社ヲシテ瓦斯用

木炭ノ生産ヲ確保一自ラ生産スルセヌハ別ト致シマシテ、確保スルト共ニ、其ノ配給ノ合理的ニシテ、萬國ナク均分サレテ消費業者ノ手ニ渡ル、サウシテ自動車ノ運行ヲ潤滑ニスルト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス

○淺井委員 私人聽イタノト一寸違ツテ居リマシテ、私ノ申上ゲタノハ會社ガ出來タ時ニ配給ヨリモ寧ろ生産ニ重點ヲ置イテヤルノガ會社ノ使命デハナカラウカ、斯ウ云フ意味デアリマシテ、其ノ點ハ多少同ジク増産計畫ノ御話ガアリマシタカラ結構デアリマスガ、サウ云フ見地カラ致シマシテ現在木炭自動車ヲ使用致シテ居リマス會社ナリ或ハ組合ナリト云フタヤウナ、所謂消費業者ノ組合或ハ個人的ニモアリマスガ、是等ノ消費業者ガ自分デ使フ炭ハ自分デ生産ヲ確保スルト云フヤウナコトヲサセマセヌコトガ、却ツテ御心配サレテ居リマス配給ガ潤滑ニ行キ、却ツテ其ノ方ガ多クノ金ヲ掛ケテ會社ヲ組織致シマスコトヨリモ、效果的デナカラウカト思フノデアリマスガ、今日ノ此ノ非常時突破ト云フヤウナ意味カラ考ヘテ見マシテモ、自分デ使フ炭ハ自分デ作ル、而モ現在兼合自動車業者ノヤウデゾル、ソレハ組合ヲ組織致シマシテ、其ノ組合ガ山ヲ買ツテ、組合員ノ使ヒマス木炭ヲ製造ヲウツテ居ル所モアルノデアリマス、併シサウ云フヤウニ組合ガヤツテ組合員ニ供給シヨウト致シマス、縣ノ方カラ或ハ警察ノ方面デ統制ノ名ニ隠レテ生産地カラ消費地ノ方ニ搬出ヲサセナイト云フヤウナ干渉等ガ起ツテ參リマシテ、折角自分デ使フ「ガソリン」用ノ木炭ノ生産ヲ自分カラヤツテ行カウト云フノデ、此ノ自力ノ考カラ需給ノ調節ヲ圖ツテ居ルニモ拘ラズ、是ガ

統制ノ名ニ依ツテ干渉ヲ受ケテ、其ノ目的ヲ達成セズ、ソレ等ノ「ガソリン」用製炭業者ガ、或ハ生産シタモノヲ山元ニ堆積シタ儘ニ置キ、或ハ製炭業者ニ失業ヲサセナオレバナラナイト云フヤウナ憂目ヲ見テ居ル者モアルノデアリマス、デアリマスカラ此ノ會社ガ建設出來マシテモ、自家用ノ木炭所請自分ガ使フ炭ヲ組合ナドヲ組織シテ自ラ生産スル、即チ會社ノ手ヲ經ズニ自ラヤルト云フヤウナコトハ、特別ニ認メルコトガ出來ナイノデアリマセウカ、何處マデモ會社ガ一本建ニナツテヤルノダト云フヤウナ方針ヲ進マレルノデアリマスガ、或ハ自家用電氣ト云フモノモアツテ、アレ位電氣ノ統制ヲ圖ツテ居リマシテモ、自家用ノモノハ許シテ居リマスガ、サウ云フヤウニ自ラ使用スル木炭ハ組合ニ依ツテ生産ヲ致シマスル時ニハ、ソレ等ノ組合ニ許シテヤルノダト云フヤウナ特別ノ設ケル御考ハナイノデアリマセウカ

○田中政府委員 自家用ノモノハ全然除外スルト云フコトハ、サウ認識シテ宜イ譯デスネ、次ニハ此ノ會社ガ出來マシテ、木炭ノ配給ヲ直接會社カラ消費業者ニ渡シヨラス、斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ、寧ろ其ノ配給ノ方法ヨリモ、兼合組合ト云フモノガアリマシテ、實際消費業者ガ自ラ作ツテ居ル組合デアリマスカラ、サウ云フ組合ノ手ニ木炭ヲ渡シマシテ、其ノ木炭ノ消費業者ノ手ニ渡スト云フヤウナ方法ヲ取ラレル、即チ會社ガ直接消費業者ニ渡シヨリモ、サウ云フ中間ノ組合ニ渡シテ、組合カラ消費業者ノ手ニ渡スト云フヤウナ御考ハナイノデアリマセウカ

○田中政府委員 先程申上ゲタヤウニ、サウ云フ方法ヲ行ク譯デアリマス

○淺井委員 若シ「ガソリン」用ノ木炭生産ガ意ノ如ク政府ノ考ヘテ居ラレマスヤウニ増産計畫ガ立タナカツタ場合ニハ、一般家

庭用ノ木炭ヲ使用セザルヲ得ナクナツテ參リマス、サウ云フヤウナ場合ニ、其ノ會社ノ業績ガ行カナカツタト稱シテ、家庭用ノ木炭ニ蠶食シテ行クト云フコトニナリマス、是ハ家庭用ノ木炭ノ饑饉ヲ再ビ招來スル虞ガアリマスガ、此ノ一億萬貫ノ「ガソリン」用木炭ノ確保ト云フコトニ付キマシテノ所謂増産計畫ト云フモノハ、政府ハ御確信ガアルノデアリマセウカ、此ノ點ヲ重ネテ御尋致シマス

○田中政府委員 現ニ專用木炭ガ十分出來テ居リマセヌノデ、一般ノ普通木炭ヲ自動車ニ使ツテ居ル譯デアリマスガ、隨テ急ニ十分製造スルト云フコトモ出來兼ヘルト思ヒマス、漸次瓦斯用木炭ヲ供給スルコトニナリマスノデ、其ノ間普通木炭ガドウシテモ使ハレルト云フコトニナルコトハ、已ムヲ得ヌト考ヘテ居ルノデアリマス

○淺井委員 昨日モ色々特許ノ問題ニ付キマシテ質疑應答ガ重ネラレタノデアリマス、是ハ個人ノ身上ニ係ル問題デアリマシテ、餘リ公開ノ席上デ論議シタクナイノデアリマシテ、政府ニ於キマシテモ此ノ點ニ付キマシテハ、モウ確證ト申シマセウカ、ハツキリトシタ材料ヲ農林當局ノ方デ御持チデナカラウカト思フノデアリマス、私共内々聞ク所ニ依リマス、殆ド當業者ノ前ヘ行ツテ公然話シテ居ルノデアリマス、現ニ農林省ハ陳情ニ參リマシタ當業者ニ對シマシテモ、相當ノ廣言ヲ吐イテ居ルノデアリマ

サウ云フ點ト、殊ニ是ハ噂カモ存ジマセヌガ、會社農林省ガ南校師ノ行動ニ對シマシテ、秘ニ御調査ヲ命ゼラレタト云フ事實ヲ聞クノデアリマス、斯ウ云フヤウナコトヲ餘リ申シタクナイノデアリマスガ、其ノ調査ヲ致シマシタ書類ガ農林省ニチヤント作ツテ置イテアル、斯ウ云フコトガ言ハレテ居ルノデアリマス、私ハ此ノ内容ヲドウスウ言ウテ御尋スル譯デアリマセヌガ、斯ウナコトガ當業者ノ耳ニ傳ハリ、或ハ口カラ口ニ傳ヘラレルトコトニナルト、山林局長ガ昨日カラ特許料ハ全然取ラナイト、如何ニ此ノ席上デ公言ヲ致シマシテモ、大阪方面ニ於テ色々當業者ト接觸致シマシテ話ヲシテ居リマシタコト而モ農林當局ガ内々其ノ行動ニ對シテ御調査サレタ其ノ調査書類ガ果シテ現在アルカドウカト存ジマセヌガ、斯ウナコトガ當業者ノ耳ニ入りマシト、少クトモ其ノ疑惑ヲ一掃シテ置キマセテ、如何ニ此ノ席上デ、斷ジテソナコトハナイト云ハレテモ、南氏ガ退官シタ後ノ行動ニ對シテ農林當局ハ私ハ御責任ヲ持ナイト思フノデアリマス、デアリマスカラ是等ノ點ニ付テ若シサウ云フヤウナ點ガアリマスレバ、此ノ際ハツキリト私ハ聽イテ置キタイ、如何ニ南氏ガ退官致シマシテ會社ニ就職スル、或ハ顧問トナリマシテモ、其ノ特許料ハ如何ナル名義ヲ以テモ一切取ラナイ、或ハ木炭ヲ入レル袋ニ對シテモ、俺ハ今マデ役人デアツタガ爲ニ特別ニ寛大ナル處置ヲ以テ袋ヲ使用サシタガ、今後ニ對シテハ自分ハ相當考ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ當業者ニ申シテ居ツタト云フコトヲ聞クノデアリマス、斯ウナコトデ段々當業者ノ間ニ於テ噂ニ傳フ生ミマシテ、吾等ハ

昨日來ノ色々懸念ヲ持ツザルヲ得ナクナツタノデアリマス、デアリマスカラ、若シ斯ウナコトデ調査デモセラレタト云フ事實ガアリマスナラバ、此ノ際其ノ全部ト云フノデアリマセヌガ、唯サウ云フ事ヲシタコトガアルカナイカト云フコトガ結構デアリマスカラ、御答辯願ヒタイト思ヒマス

○田中政府委員 サウ云フ調査ヲシタコトハアリマセヌ、ソレカラ此ノ實施ニ付テハ農林省ニ於テ實施スルコトニナル譯デアリマス、特許料ヲ取ルコトハナイノデアリマス

○淺井委員 何レ大臣ガ見エマシテカラ、其ノ時ニ總括的ノコトヲ二三點御尋スルマデニ致シマシテ、是デ私ノ質問ヲ大體打切リタイト思ヒマス

○小林委員 大臣ニ對スル質問今ヤツテ置イテ貰ツテ、ソレヲ政府委員カラ大臣ニ傳ヘテ貰ツテ、答辯ヲ受ケラドウデスカ

○淺井委員 大臣ガ來ラレレマデ保留シテ置キマス、若シ來ラレナカツタラ、ソレデ宜シウゴザイマス

○小林委員 長 サウデスカ、ソレデハ松尾君

○松尾委員 ソレデハ私ハ此ノ木炭ノ需給調節ノ特別會計ノ運用ニ付テ伺ヒタイ、是ハ前ニ他ノ委員諸君カラモ相當御質問ガアツテ、政府ノ御答辯ガアツタコトト思ヒマスガ、私ハ豫算委員會ニ出テ居リマシタ關係上、承ツテ居ラナイコトガアリマスノデ、重複ナ點ガアルカモ知レマセヌガ、洵ニ是ハ私勝手ナコトデアツテ恐縮デゴザイマスケレドモ、重複ノ所ハ要點ダケヲ御答辯ヲ

願ヘバ宜シウゴザイマスカラ、其ノ點ヲ先ツ御断リヲシテ御尋ヲ致シタイ、此ノ木炭需給調節特別會計ヲ運用致シマスルノハ、是ハ政府ガ商賣ヲスルト云フ資金ヲ特別會計ノ上ニ於テ認メタノデアリマス、今日マデ我國ノヤリ方トシテ物ノ需給調節ノ上ニ政府ガ商賣ヲスルト云フコトヲ認メタヤウナモノハ、殆ドナイヤウニ思フノデアリマス、偶々米穀需給特別會計ノ如キ、米穀需給調節ノ爲ノ特別會計ガ出來テ居リマスガ、是ハ其ノ法律ガ別ニ設ケラレマシテ此ノ會計ヲ運用スルノデアリマスガ、今回ノハ其ノ點ニ何等ノ法律ヲ持タズニ、唯單ニ此ノ會計ヲ運用サシテ、政府ハ木炭ヲ買入レテ持ツテ居ルノダ、斯ウ云フ建前ダケデアツテ、法律ノ力ハナイト云フコトニ付テハ、本會議デモ御質問申上ゲタノデアリマスガ、ドウモ御答辯ガ要領ヲ得ナイ、ソコデ之ヲ實際ノ問題ニ移シマシテ考ヘテ見マスルト、産地デ木炭ヲ仕入レテ消費地ニ持ツテ行ツテ、之ヲ需要者ニ賣ルト云フ建前ニナツテ居ル、ソコデ昨日モ農林大臣ニ對スル高田委員ノ御尋ニ引續イテ私御尋シマシタガ、途中デ退席致シマシタノデ、其ノ後大臣ニ對スル御尋ヲ能ウ致シマセヌデシタカラ、引續キ其ノ點ヲ御尋スルノデアリマスガ、大臣ハ産地デ出來タモノヲ買フノダト云ヒマスガ、産地デ製炭スルノニハ、今日我國ノ製炭上ノ實際ニ於キマシテハ、總テ是ハ資金關係ト取引關係ガ約束ケラレテ居ルノデス、詰リ炭焼スルノニ原木ヲ買フ金ハ必ズ消費地ノ商人カラ融通ヲ受ケテ來テ、サウシテ出來タ木炭ヲ代價ニ換算シテ返シテ行ク、斯ウ云フコトデアツテ居ルノデスカラ、連絡ガ全部斷ツテ居ルノガ

現狀デス、所ガ此ノ整ツテ居ル産地ト消費地ガリシク、制ノヤウニナツテ、長イ習慣デアリ此ノ範圍ニ喰込マズニ、二億方貫ノ増産ノ目的ヲ達スルコト云フヤウナ旨イコトガ出來ルカドウカ、此ノ點ガドウモ昨日ノ御話ヲ聽イテ居ツタケデハ、私ハ納得ガ出來ナイノデス、モウ一ツ其ノ點ニ付テ突込ンデ申上ゲマス、大臣ハ消費地ノ中殊ニ十三大都市ニ二億方貫ヲ供給スル爲ニ各府縣ニ割當テ、サウシテ各府縣ヲ買ハスノダ、斯ウ言ツテ居ラレマス、是ハ簡單ニ紙ノ上ノ「プラン」デ、各府縣ニ持ツテ來テソレヲ産地ニ割當テ見テ所ガ、産地デハ大抵原木ヲ買フ時分カラ炭ニナルマデノ連絡ガ約束付ケラレテ居ル、ソレデアリマスカラ之ヲ政府ノ方ニ買上ゲルノ、其ノ範圍ニ喰込マナケレバ方法ガ立タナイト思フ、而モソレハ大量ナモノデアツテ、全國ヲ通ジテ二億方貫ト言ヘバ、現在ノ生産額ノ三分ノ一ト云フ大キナ量デアリマス、斯ウ云フモノヲ此ノ「プラン」ノヤウニナツテ、現在約束付ケラレテ居ル範圍ニ喰込マズシテヤレルト云フ確信ガアルカ、若シアレバドウ云フ風ニシテ實際ヲラレノカ、其ノ點ヲ少シ詳細ニ伺ヒタイノデゴザイマス

モ、其ノ事ハ觀ハレルノデアリマシテ、來年八億五千萬貫假ニ生産スル、此ノ中カラ二億方貫ヲ増産スルト致シマスレバ、其ノ二億方貫ハ少トモ新シイ資金關係ニナルノデアリマス、サウ云フヤウナ關係カラ致シマシテ、必ズシモ從來ノ系統ト言ヒマスカ、系統ヲ破壊スルコトハナクシテ済ムト思フテ居ルノデアリマス、ノミナラズ必ズ生産地ノミデ買フコトヲ考モノイノデアリマシテ、市場ニ於テモ相當量ヲ買フコトヲ考ヘ方デ行ツテ居ルノデアリマスカラ、從來ノ系統ヲ紊スト云フコトハナイモノト考ヘテ居ルノデアリマス

モアリマスカラ、其ノ地方ノ資金關係デ製炭サレテ居ルモノハ地方販賣サレル、隨テ其ノ分ハヤハリ賣ル人ガアレバソレヲ買フ、ソレカラ新シイ豫算ヲ以テ公營製炭等モ考ヘテ居リマスカラ、其ノ方面カラモ或ル程度ニ買フコト云フヤウナコトデ行キマスレバ、中央カラ地方ヘノ資金ヲ出ス程ノコトハナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

目測シテ買フノデスカラ、伐採ヲシテカラ案内ニ數量ガアル場合ガアルシ、案内數量コトモアリマスカラ、立木ヲ目算シテ、買入レマスノハ相當ニ投機ノ所ガアリマシテ、現ニ行ハレテ居ル製炭業者ハ時ニ依ルト儲カルコトガアルノデスガ、時ニ依ルトエライ損ヲスルコトモアル、併シ損ヲシタ場合ニモ都會ノ消費地ノ商人カラ資本ヲ借りテヤツテ居ル時ニハ、今年ハ損ヲシテモ來年ハ埋合セスルノダト云フヤウナコトニシテ、ソコハ長イ得意先ト又長イ取引關係ノ間ノ親善ナル温カイ情實ノ關係ガ含まレテ此ノ取引ト云フモノハ圓滑ニナツテ居リマス、サウ云フ意味デ原木買モ相當頻繁ニ買フコトガ出來ル、デアリマスカラ資金ノ供給ハ受ケルコトハナイ、又一面ニサウ云フ「スキューレーション」デアアルコトヲ時ノ機會ヲ持タナイ、政府トノ取引デアアルコト云フコトニナリマスカラ、損ヲシタラアトカラ補ヒラ付ケテ買フ機會ガ起ラス、恐ラクサウ云フコトデアレバ、私ハ新シイサウ云フ方面ニ増産ヲ試ミラレルヤウナ從業者ト云フモノガ見出シクイト考ヘマス、モウ一點ハ今ノ御話ノ中ノ現ニ地方ニ於テ製炭業ヲヤツテ居ル者カラ買フノダ、斯ウ云フコトデアレバ、モウ既ニソレガ現在ノ機構ニ喰込ンデ居ル、今製炭業者ガヤツテ居ルモノ、賣ル所ガナクテヤツテ居ルノデハナイノデス、賣場所ト云フモノハ連絡付ケラレ、約束付ケラレテヤツテ居ル、唯自力デヤルカ、都會ノ商人カラ金ヲ借りテヤルカト云フコトダケデヤツテ居ルノデアツテ、炭ノ流レ方ト云フモノハ都會ノ消費地ニ約束付ケラレタ所ガアルノデス、ソレニ喰込マズニサウ

云フコトガ出來ルト云フコトハドウモ考ヘラレナイノデスガ、尙ホ此ノ點ハ餘リ諒クナリマスケレドモ、御考達ヒガナイカ伺ツテ置キタイ

增加シタト云フコト、此ノ二ツガ原因デアラウト思フ、ドウモソレ以上ニ考ヘラレマセスガ、ソコデ私ハ其ノ急ニ増加シタ瓦斯用木炭ノ生産ト工業用木炭ノ生産ガ確保セラレラレバ、一般ノ需要ニ毎年ノ需要ニ餘リ大差ノナイ所デアリカト思ヒマスガ、其ノ數字ニ過チガアリマスカドウカ一ツ伺ヒタイ

イ外ニ、需要ノ増加ト致シマシテノ先程申上ゲマシタ原因ハ、ヤハリ吾等トシテハ相當見テ居ル譯デアリマス

ナタノ言ハレルヤウナ觀察ノ仕方ガ正シイト私ハ思ヒマス、其ノ點ハ政府委員モ其ノヤウニ言ツテ居ルモノト私ハ聽イテ居リマス、唯特別ニ殖エタノハ最近起ツタ瓦斯用木炭、ソレカラ石炭價値ノ爲ノ工業用木炭、斯ウ云フ方面ニハ相當著シイ増加ガ見ラレテ居ル、斯ウ云フ風ニ大體松尾君ノ御覽ニナツテ居ル點ト政府ノ見テ居ル點ハ、違ツテ居ラスト聽イテ居リマス

○田中政府委員 先程モ御話申上ゲマシタヤウニ、數量的ニ言ヒマスレバ二億方貫モ餘計出ル譯デアリマスカラ、ソレデ又地方デ賣ル人モアル譯デアリマス、サウ云フヤウナ關係ガアリマスカラ、從來ノ取引ヲ遠スト云フヤウナコトハナイト思ツテ居ルノデアリマス

○田中政府委員 需要ノ増加ハ御話ノヤウニ石炭ノ規正ニ因ル家庭用ノ木炭需要ノ増加、或ハ本來ノ鑛工業ノ需要ノ増加ニ加フルニ、燃料トシテノ工場其ノ他ニ於ケル石炭規正ニ因ル需要ノ増加、瓦斯用木炭ノ需要ノ増加、更ニ都會ニ於ケル人口ノ集中ト、或ハ工場地帯等ニ於ケル人口ノ増加ト云フヤウナコトガ、從來其ノ他ノ燃料中間ニ合ツタ人々ガ相當木炭ノ消費ヲ増加セシメテ居ルト云フヤウナコト、或ハ自然ノ人口増加等モ勿論加ハリマセウガ、サウ云フ種々ノ原因ニ依ル需要ノ増加ガアル譯デアリマス

○松尾委員 種々ノ需要ノ増加ガアルト云フコトハ勿論アルデアリマセウガ、其ノ需要ノ増加致シマシタ割合ガ、一般大衆向ノ木炭ノ需要増加ト云フコトハ毎年ノ比率デハ先ツ三千万貫位ツツ殖エテ行ツテ居ルヤウニ思フ、詰リ五割カラ一〇割位ノモノデヤナイカト思ヒマス、頗ニ需要ノ殖エタモノハ瓦斯用木炭、ソレカラ工業用木炭、是ハハ瓦斯用木炭、ソレカラ工業用木炭、是ハハ争ハレナイト思ヒマスガ、其ノ點ハドウ御考ニナリマスカ、其ノ需要増加ノ割合ヲドウト思ヒマスケレドモ何ツテ置キタイ

○松尾委員 今ノ御説明デ私ノ考ヘテ居ルコトガ政府ノ御考ニナツテ居ルコトト一致シテ居リマスカラ能ク分リマシタ、ソコデ一ツ之ヲ三段ニ分ケテ考ヘテ見タイ、一般大衆向キ木炭ト工業用木炭ト瓦斯用木炭ハ今回ノ會社デ以テ特別ニ供給ノ道ヲ立テル、會社ノコトニ付テハ又更ニ伺ヒマセウガ、一應サウ云フ建前ニナツテ居リマス、サウスルト殘ル所ハ一般家庭向キノ木炭ト工業用木炭デアリマスカ、工業用木炭ト云フノハ特殊ナル木炭デアリマシテ、是亦一般家庭向キノハ少シ趣ヲ異ニシテ居ルノデアリマスカラ、工業用木炭ガドレダケ消費ガ起ルカト云フコトハ略、統計的ニ豫想ガ取レルト思フ、其ノ取レル部分ダケヲ特別ニ増産計畫ノ方ニ振向ケラレテ、一般大衆向キノ關係ハ今日マデノ流シ方デソレヲ調節シテ行クト云フ政府ノヤリ方ニ爲サツタラ、是ハ餘程ウマク行クノデハナイカト思ハレマスガ、其ノ點ニ對シテハドウ御考ニナラレマスカ

○田中政府委員 先程モ御話申上ゲマシタヤウニ、數量的ニ言ヒマスレバ二億方貫モ餘計出ル譯デアリマスカラ、ソレデ又地方デ賣ル人モアル譯デアリマス、サウ云フヤウナ關係ガアリマスカラ、從來ノ取引ヲ遠スト云フヤウナコトハナイト思ツテ居ルノデアリマス

○田中政府委員 需要ノ増加ハ御話ノヤウニ石炭ノ規正ニ因ル家庭用ノ木炭需要ノ増加、或ハ本來ノ鑛工業ノ需要ノ増加ニ加フルニ、燃料トシテノ工場其ノ他ニ於ケル石炭規正ニ因ル需要ノ増加、瓦斯用木炭ノ需要ノ増加、更ニ都會ニ於ケル人口ノ集中ト、或ハ工場地帯等ニ於ケル人口ノ増加ト云フヤウナコトガ、從來其ノ他ノ燃料中間ニ合ツタ人々ガ相當木炭ノ消費ヲ増加セシメテ居ルト云フヤウナコト、或ハ自然ノ人口増加等モ勿論加ハリマセウガ、サウ云フ種々ノ原因ニ依ル需要ノ増加ガアル譯デアリマス

○松尾委員 種々ノ需要ノ増加ガアルト云フコトハ勿論アルデアリマセウガ、其ノ需要ノ増加致シマシタ割合ガ、一般大衆向ノ木炭ノ需要増加ト云フコトハ毎年ノ比率デハ先ツ三千万貫位ツツ殖エテ行ツテ居ルヤウニ思フ、詰リ五割カラ一〇割位ノモノデヤナイカト思ヒマス、頗ニ需要ノ殖エタモノハ瓦斯用木炭、ソレカラ工業用木炭、是ハハ瓦斯用木炭、ソレカラ工業用木炭、是ハハ争ハレナイト思ヒマスガ、其ノ點ハドウ御考ニナリマスカ、其ノ需要増加ノ割合ヲドウト思ヒマスケレドモ何ツテ置キタイ

○松尾委員 今ノ御説明デ私ノ考ヘテ居ルコトガ政府ノ御考ニナツテ居ルコトト一致シテ居リマスカラ能ク分リマシタ、ソコデ一ツ之ヲ三段ニ分ケテ考ヘテ見タイ、一般大衆向キ木炭ト工業用木炭ト瓦斯用木炭ハ今回ノ會社デ以テ特別ニ供給ノ道ヲ立テル、會社ノコトニ付テハ又更ニ伺ヒマセウガ、一應サウ云フ建前ニナツテ居リマス、サウスルト殘ル所ハ一般家庭向キノ木炭ト工業用木炭デアリマスカ、工業用木炭ト云フノハ特殊ナル木炭デアリマシテ、是亦一般家庭向キノハ少シ趣ヲ異ニシテ居ルノデアリマスカラ、工業用木炭ガドレダケ消費ガ起ルカト云フコトハ略、統計的ニ豫想ガ取レルト思フ、其ノ取レル部分ダケヲ特別ニ増産計畫ノ方ニ振向ケラレテ、一般大衆向キノ關係ハ今日マデノ流シ方デソレヲ調節シテ行クト云フ政府ノヤリ方ニ爲サツタラ、是ハ餘程ウマク行クノデハナイカト思ハレマスガ、其ノ點ニ對シテハドウ御考ニナラレマスカ

○田中政府委員 先程モ御話申上ゲマシタヤウニ、數量的ニ言ヒマスレバ二億方貫モ餘計出ル譯デアリマスカラ、ソレデ又地方デ賣ル人モアル譯デアリマス、サウ云フヤウナ關係ガアリマスカラ、從來ノ取引ヲ遠スト云フヤウナコトハナイト思ツテ居ルノデアリマス

○田中政府委員 需要ノ増加ハ御話ノヤウニ石炭ノ規正ニ因ル家庭用ノ木炭需要ノ増加、或ハ本來ノ鑛工業ノ需要ノ増加ニ加フルニ、燃料トシテノ工場其ノ他ニ於ケル石炭規正ニ因ル需要ノ増加、瓦斯用木炭ノ需要ノ増加、更ニ都會ニ於ケル人口ノ集中ト、或ハ工場地帯等ニ於ケル人口ノ増加ト云フヤウナコトガ、從來其ノ他ノ燃料中間ニ合ツタ人々ガ相當木炭ノ消費ヲ増加セシメテ居ルト云フヤウナコト、或ハ自然ノ人口増加等モ勿論加ハリマセウガ、サウ云フ種々ノ原因ニ依ル需要ノ増加ガアル譯デアリマス

○松尾委員 種々ノ需要ノ増加ガアルト云フコトハ勿論アルデアリマセウガ、其ノ需要ノ増加致シマシタ割合ガ、一般大衆向ノ木炭ノ需要増加ト云フコトハ毎年ノ比率デハ先ツ三千万貫位ツツ殖エテ行ツテ居ルヤウニ思フ、詰リ五割カラ一〇割位ノモノデヤナイカト思ヒマス、頗ニ需要ノ殖エタモノハ瓦斯用木炭、ソレカラ工業用木炭、是ハハ瓦斯用木炭、ソレカラ工業用木炭、是ハハ争ハレナイト思ヒマスガ、其ノ點ハドウ御考ニナリマスカ、其ノ需要増加ノ割合ヲドウト思ヒマスケレドモ何ツテ置キタイ

○松尾委員 今ノ御説明デ私ノ考ヘテ居ルコトガ政府ノ御考ニナツテ居ルコトト一致シテ居リマスカラ能ク分リマシタ、ソコデ一ツ之ヲ三段ニ分ケテ考ヘテ見タイ、一般大衆向キ木炭ト工業用木炭ト瓦斯用木炭ハ今回ノ會社デ以テ特別ニ供給ノ道ヲ立テル、會社ノコトニ付テハ又更ニ伺ヒマセウガ、一應サウ云フ建前ニナツテ居リマス、サウスルト殘ル所ハ一般家庭向キノ木炭ト工業用木炭デアリマスカ、工業用木炭ト云フノハ特殊ナル木炭デアリマシテ、是亦一般家庭向キノハ少シ趣ヲ異ニシテ居ルノデアリマスカラ、工業用木炭ガドレダケ消費ガ起ルカト云フコトハ略、統計的ニ豫想ガ取レルト思フ、其ノ取レル部分ダケヲ特別ニ増産計畫ノ方ニ振向ケラレテ、一般大衆向キノ關係ハ今日マデノ流シ方デソレヲ調節シテ行クト云フ政府ノヤリ方ニ爲サツタラ、是ハ餘程ウマク行クノデハナイカト思ハレマスガ、其ノ點ニ對シテハドウ御考ニナラレマスカ

構ノ變更ヲシヨウト云フ意味カラ來テ居ルノデナイコトハ昨日申上ゲテ通りデアリマス、詰リ昨年ノ所謂木炭飢饉ト云ハレタ配給不調ノ事情ニ鑑ミマシテ、若シモ其ノ時ニ政府ガ管理シ自由ニ處分出來ル木炭ガ相當アリマシクナラバ、大消費地ニ於ケル木炭飢饉ハナカウツト思フ、所ガ政府ノ官有ノ山カラヤツテ居ル製炭ノ分量ハ非常ニ少イ、其ノ爲ニ色々ナリシテ、制カ種々ナコトヲ工夫シテヤリマシタケレドモ、ドウシテモ炭ノ配給ト云フモノガ皆ク行カナイノデアリマシテ、結局研究ヲシ考慮ヲシタ結果、炭ノ増産ト云フコトモヤラネバナラステレドモ、大消費地ニ對スル供給ノ開滑ヲ圖ル爲ニハ、政府ガ山元デ買フコトモアリマセウ、或ハ中央デ買フコトモアリマセウガ、兎モ角政府ガ相當ナ炭ノ分量ヲ保持シテ、ソレヲ必要ノ時期ニ流シテ行クコト云フ此ノシスデム、ガ出來テ居ルコトガ一番肝要ダト思フ、是ガ政府ノ特別會計ニ依リ一般家庭用ノ木炭ニ對スル緩和ヲスルト云フコトノ著眼點デアリマス、ソコデ生産者ノ部面ニ於テ色々ナ形デ組合ガヤリ、或ハ商人ガ企業的ニヤル、斯ウ云フヤリ方ニ付キマシテハソレハ一向妨ゲナイヤウニシテ、其ノ製造シタモノヲ政府ガ或ル程度買取取テ之ヲ消費地ニ於キマシテハ又現在ノ機構ヲ通シテ流シテ行カウ、ダカラ御實ニシマシテモ小賣ニシマシテモ——私ガ茲ニ説明ヲスル爲ニ圖ヲ持ツテ居リマスガ、現在ノヤリ方トチヨツトモ變ラナイ機構ニ於テ流シテ行クノダカラ、其ノ點ニ於テ卸賣方面小賣方面ノ人達ノ間ニ或ハ誤解ガアルノデハナイカ、政府ガ握ツテ居テ何カ特別ナ一元的ノ機構ノ下ニ炭ヲ賣ルノデハナイコト云フヤ

ウナ考ヘ方ガアツテ、ソレデハ卸賣モ開屋モソレニ依ツテ影響ヲ蒙ルノデハナイコト云フ考ヘ方ガアルヲシテデアリマスガ、其ノ點ハ全然政府ノ考ヘテ居ラスノデアリマシテ、小賣ノ價格ヲ大體ニ決メテ、其間ニ中間商人トシテ御買ガアレバ、其ノ卸賣機構ニ從ツテヤル、又直接ニ大口ノ需要デヤツテ居ル者ガアリマスレバ直接ニソレヲ流シテ行ク、斯ウ云ツタヤウナ考ヘ方デ、其ノ方ニ付テハ機構ヲ動かサナイ、唯政府ガ炭ヲ持ツテ居リマセスト、或ル一面ニ於テ非常ニ多イノニ片方ニハ炭ガナイ、斯ウ云フ方面ニ對シテ政府ハ自分デ持ツテ居ル炭ヲ何時デモ流シテ需要ニ應ズルコトガ出來ル、相當ノ賣力ノアル者デアリマシテ、田舎カラデモ何處カラデモ炭ヲ買集メルコトノ出來ル者ハ、或ハドウ云フ窮困ナ場合デモ木炭ノ供給ニ付テ不自由ヲシナイカモ知レナイケレドモ、サウデナイ消費大業、消費者全體ノ半分以上ノ者、是ハサウ云フヤウナ便宜方法ニ依ツテ炭ヲ得ルコトガ出來ナイノデアリマスカラ、サウ云フヤウナ方面ニ對シテハ何處カラカ炭ノ手ニ入ルヤウナ機關ガナケレバナラス、其ノ意味カラ致シマシテ、政府ガ相當ノ炭ヲ持ツ目標ハ、十三都市ヲ大體目標トシテ凡ソ二億貫、斯ウ云フ風ニ見テ居ルノデアリマスカラ、政府ガ二億貫悉ク買内メテヤラネバナラヌト云フヤウナ考ヘ方デハナイノデアリマス、特別會計ノ目標ハ二億貫トシテ居ルケレドモ、適當ナ量ニ買ハバ、ソレガ一億貫デ済ム、或ハ一億五千萬貫デ済ムノデアリマス、サウ云フコトデアレバ、實際ノ需要ガ一億貫、或ハ一億五千萬貫アツテモ、昨年ノ炭飢饉ノ状態カラ言ヒマス

付ケテ強制的ニデモ買上ゲル、サウシテ強制的ニ買上ゲタモノハ一元的ナ方法ニ依ツテ從來ノ機構ニ構ハズ流シテ行クノダ、或ハ小賣商ニ直接ヤルノダ、斯ウ云フ風ナ考ヘ方ヲシテハ居ラナイノデス、此ノ特別會計法ノ法律ガ政府ガヤル、是ハモツト違フ立法ニ依ラナケレバナラヌノデアリマスガ、大藏省ノ立案シテ居ル特別會計法案ニ依ツテ、此ノ法案ニアリマスヤウニ、政府ハ炭ヲ賣ツタリ買ツタリスル、斯ウ云フヤウニ一片ノ法律デヤルコトハ、非常ニ政府トシテハ自由ナ考ヘ方ヲ以テ出發シテ居ルノデアリマシテ、其ノ目的ハ、都會地ノ需要期ニ於ケル炭ノ飢饉ヲ防グコトニアルノデアリマス、今年ノ冬ニナツテ此ノ規定ガナカウツナラバ、私ハ又不調滑ガ來テ、昨年ト同ジヤウナコトガアルト思フ、サウシテ其ノ場合ニハ開相場モ行ハレバ、サウスト開相場ヲ取締ル官憲ノ所ニハ炭ガ入ラナイ、定價通りデハ炭ガ入ラナイカラ、取締ル者ハ寒イ思ヒヨシナケレバナラナイ、斯ウ云フコトガ必ズ此ノ冬ニハ起ル、此ノ事ヲ私ハ深ク信ズルノデアリマシテ、官有山林ニ於ケル炭ガ深山ニ出來マシレバ政府ガソレデ買ツテモ宜シイノデアリマスガ、官有林デ出來ル炭ハ非常ニ僅カナモノデアリマスカラ、ドウシテモ此ノ場合民有林其ノ他ノ方ニ於テ生産シタ炭ヲ、或ル程度ニ於テ買取リヨシテ賣渡シテヤルト云フ方法ヲ設ケテ置クコトガ安全デ、ソレ以外ニハ途ガナイヤウニ考ヘルノデアリマス、隨テ此ノ點ニ付テ何カ特殊ナ名案ガアツテ此ノ方法ヲ行ヘバ絕對ニ炭飢饉ノ虞ガナイト云フヤウナ案ガアレバ、サウ云フコトモ

時ニシテ見タイノデアリマスガ、ドウモ是マデ考ヘテ見タイノデハ、大消費地ニ於ケル炭飢饉ヲ防グノ途ハ、政府ガ出動シテ或ル程度ノ炭ヲ保有シテ、ソレヲ流シテ行ク、從來ノ機構ニ依ツテ政府ノ炭ヲ流シテ行ク、斯ウ云フ途ニ依ル外ニハドウモ途ガナイヤウニ、政府トシテハ考ヘテ居ル譯デアリマ

○長野委員 關聯シテ伺ヒマス、大體從來ノ炭ノ流レ方ヲ見マスルト、生産者カラ産地ノ開屋、ソレカラ消費地ノ開屋ヘ行ツテ、更ニ小賣商ニ行ツテ消費者ニ行ク、斯ウ云フ流レ方ニナツテ居ルノデアリマスガ、只今ノ特別會計法案ニ依リマス、之ヲ何處デ此ノ會社ガ受ケテ流スコトニナルノデアリマスガ、其ノ點ヲ一ツ伺ヒマス

○島田國務大臣 今ノ御尋ハ會社ノ方ノコトデスカ

○長野委員 イヤ、特別會計ノ方デス

○島田國務大臣 特別會計ノ方デ言ヒマス、アナタノ御話ニナリマス全體ガサウ云フ風ニナツテ居リマス、生産者、ソレカラ生産者ノ物ヲ買フ開屋、ソレカラ消費地ノ開屋ヘ行ツテ、ソレカラ小賣店ト云フヤウニナツテ居リマスガ、此ノ圖デ云ヒマス、開屋ト開屋ノ中間ニ政府ガ居ルコトニナリマス、併シナガラ生産者カラ開屋ヘ賣ラズニ生産者ガ直ダニ都會ノ開屋ヘ賣ラズモノモアリマセウ、其ノ場合ニハ生産者ト消費地デアル都會ノ開屋トノ間ニ政府ガ介在スルノデスガ、是ハ流レテモ宜シイノデス、直接ニヤレバ直接ニヤツテモ宜シイ、政府ハ其ノ間ニ立ツテ凡ソ二億貫ヲ目標トシテ、是ガ適當デアルト云フ炭ヲ政府ガ其ノ間ニ於テ買フノデアリマス、生産者カラ

間屋ニ行ク途ハ色々ト複雑ニナツテ居ルト思ヒマスガ、此ノ通りニ正確ニ行ツテ居ルモノトスレバ、生産者、開屋、ソレカラ政府、開屋、小賣店ト云フヤウニ、政府ガ其ノ間ニ介在スル、何故政府ガ介在スルカト云フト、政府ノ持ツテ居ル炭ガナケレバ駄目ナノデス、是ハ一般ノ中等以上ノ家庭ヨリモ、其ノ以下ノ生活ヲシテ居ル僅カノ炭ヲ買ツテ居ル家庭ニ對スル供給ト云フモノハ、政府ノ持ツテ居ル炭ガナケレバ開滑ニ行ク途ガナイ、絕對ニナイノデハナイガ、去年ノ經驗カラ言フト、政府ノ持ツテ居ル炭ガ必要ダ、其ノ政府ノ山ノ炭ヲ、去年ノヤウニ困ル時ニハ何万貫持ツテ來テソレヲヤル、ソレナラバ政府ノ炭デアラカラ、何依テ何處ヘヤレト云フコトガ出來、配給ガ出來ルケレドモ、政府ノ炭ガナケレバ此ノ炭ヲ何處ヘヤレト云フコトデモ出來マセス、是ハ私ノ實驗シテ居ルコトデスカレドモ、如何ニ命令シテモ是ハドウシテモ出來マセス、政府ガ或ル程度ノ炭ヲ持ツテ、開屋ヲ動かシ小賣ヲ動かシテ、政府ノ炭ヲ流シテ行クコト云フコトガ、炭飢饉ニ對スル一番安全ナ方法ダト思ヒマス、ソレデ從來ノ機構ハ少シモ動かスト云フ意思ハナイノデス

○長野委員 サウ致シマス、政府ハ産地ノ開屋ト消費地ノ開屋トノ間ニ立ツテ賣買ヲヤツテ行ク、サウナルト手數料ヲ御取リニナルノデアルカ、取ラナイノデアルカ、其ノ點ヲ一ツ伺ヒマス

○田中政府委員 所謂手數料ノ中カラ賣買ダケヲ政府ガ負擔スル、商人ノ手數料ノ中ニハ所謂企業利益ト云フヤウナモノモアルト思ヒマスガ、サウ云フモノヲ政府ガ取ルト云フコトハ勿論アリマセス

ト、東京ニ於テアノ場合若シ政府ノ管理スル炭ガ三千万貫カ五千万貫アツタラ、炭ノ飢饉ハ防グ得タト思フ、ソレヲ防グ途ガナカウツカラ、色々組合其ノ他ヲ督勵シ、府縣ノ方ニ言ツテヤツタケレドモ、結局「リ」シテ、制カ布イテモ中々窮困ニナツタ、サウ云フガ昨年ノ苦イ經驗デアリマスカラ、其ノ點ニ於テ二億貫ヲ目標トシテ、ソレヲ強制的ニデモ何デモ是非買上ゲル、斯ウ云フ風ナ窮困ナ考ヘ方ヲシテハ居ラナイ、買ツタ物ハ又ソレヲ端カラ賣ルノデアリマスカラ、ソレヲ需要ガ開滑ニ行ケバ、其ノ開滑ニ行ク程度ヲ以テ特別會計ヲ運用シテ行ケバ宜シイ、目標ノ最高限凡ソ二億貫ト斯ウ云フノ目安ガ何處カラ來タカト云フト、大體十三大都市、ソレカラ工礦業ノモノヲ加ヘテ三億六千万貫、其ノ中ノ一億二千万貫ハ先ヅ重工業用ノモノデ、是ハ御話ノ通りニソレハ「得意ガアツテヤツテ居ル、斯ウ云フソレハマデノヤリ方モアリマスカラ、ソレニ付テハ政府ガ世話ヲスル必要ガナイ、是マデノヤリ方デ餘キヤツテモ宜シイノデアリマスガ、先ヅ是ハ除外例デアリマス、アトノ二億四千万貫ニ付テハ、五、六、七、八、月ト云フ暑イ時期ニハ、木炭ノ飢饉ニ起ル譯ガアリマセスカラ、サウ云フ需要ノ多クナイ時期ノモノガ先ヅ二割位ハアルダラウ、斯ウ見テ、ソレデアトノ八割、即チ一億九千二百萬貫ヲ目安ニシテ政府ガ炭ヲ持ツテ居レバ、大消費地ニ對スル家庭用ノ木炭ニ付テハ不自由ヲサセナイデ済ム、斯ウ云フノガ見下コトデアツテ、政府ガ特別會計デ二億貫ヲ目標トシテ居ルカラ、二億貫ヲ各府縣ニ割

ノ儘ニ置イテアルノデスガ、餘リヒドイコトニモナラズニ行ツテ居ル、ソレヲ心配ヲシテ、今木炭ガ産地カラ消費地ニ流レテ行クノヲ政府ガ持ツテ居ラナケレバ、流レテ行クヤウニ思ハヌト御心配ニナリマシテ、何十年何百年ヤツテ居ル經濟機構ヲ根本カラ考ヘ直サナケレバナラナイトシテ、若シ木炭ヲ左様ニ心配スルナラバ、米モ其ノ通りニ心配ヲシナケレバナラナイヤウニナルト思フ、併シ其處ハ自然經濟ト云フカ、何ト云フカ、現在ノ自由經濟ノ建前ニ於キマシテハ、即チ需要供給ノ關係ハ自然ノ法則ニ從ツテ不足シタ所ヘ、剩ツタ所カラ流シテ行クヤウニナツテ居ル、其處ヘ手ヲ入レテ行カナケレバ心配ダト言ハレルナラバ、米マデヤラナケレバナラナイ、斯様ニ私ハ考ヘルノデス、之ヲ米穀ノ需給調節特別會計ヲ運用セラレヤウナ考ヘ方ニ於テヤラレト、斯ウ云フコトデアレバ、此ノ法案ニ對シテ又吾々ハ見直サナケレバナラナイ、先般來御説明ヲ聽キ、又色々ナ資料ヲ以テ考ヘテ見マス、十三大都市ニ要スル所ノ約二億萬貫、政府ガ確保シテ持ツテ居ラナケレバナラナイ、斯ウ云フコトニナレバ、十三大都市ノ消費スル木炭ヲ政府ガ持ツテ居ラナケレバナラヌ建前ニ總テガナツテ居ルノデスガ、今御話ノ中デハ敢テソレヲ強行スル必要モナイノダト云フヤウニモ話サレマシタ、其ノ所ハ中々大臣ハウマク話サレルノデ、話ニ段々魅セラレマシテ、蓋キ付ケラレテズツト入りマスレドモ、能ク考ヘテ見ルトサウ云フワイコトハ中々行カナイ、大臣ノ話ヲ聽イテ見ルト如何ニモ御尤モナト思ハレル、吾々トハ違ツテ話モ御上手デアリマス、剩ツタモノダケヲ掴ンデ行クヤウナ風

○長野委員 關聯シテ伺ヒマス、大體從來ノ炭ノ流レ方ヲ見マスルト、生産者カラ産地ノ開屋、ソレカラ消費地ノ開屋ヘ行ツテ、更ニ小賣商ニ行ツテ消費者ニ行ク、斯ウ云フ流レ方ニナツテ居ルノデアリマスガ、只今ノ特別會計法案ニ依リマス、之ヲ何處デ此ノ會社ガ受ケテ流スコトニナルノデアリマスガ、其ノ點ヲ一ツ伺ヒマス

○島田國務大臣 今ノ御尋ハ會社ノ方ノコトデスカ

○長野委員 イヤ、特別會計ノ方デス

○島田國務大臣 特別會計ノ方デ言ヒマス、アナタノ御話ニナリマス全體ガサウ云フ風ニナツテ居リマス、生産者、ソレカラ生産者ノ物ヲ買フ開屋、ソレカラ消費地ノ開屋ヘ行ツテ、ソレカラ小賣店ト云フヤウニナツテ居リマスガ、此ノ圖デ云ヒマス、開屋ト開屋ノ中間ニ政府ガ居ルコトニナリマス、併シナガラ生産者カラ開屋ヘ賣ラズニ生産者ガ直ダニ都會ノ開屋ヘ賣ラズモノモアリマセウ、其ノ場合ニハ生産者ト消費地デアル都會ノ開屋トノ間ニ政府ガ介在スルノデスガ、是ハ流レテモ宜シイノデス、直接ニヤレバ直接ニヤツテモ宜シイ、政府ハ其ノ間ニ立ツテ凡ソ二億貫ヲ目標トシテ、是ガ適當デアルト云フ炭ヲ政府ガ其ノ間ニ於テ買フノデアリマス、生産者カラ

間屋ニ行ク途ハ色々ト複雑ニナツテ居ルト思ヒマスガ、此ノ通りニ正確ニ行ツテ居ルモノトスレバ、生産者、開屋、ソレカラ政府、開屋、小賣店ト云フヤウニ、政府ガ其ノ間ニ介在スル、何故政府ガ介在スルカト云フト、政府ノ持ツテ居ル炭ガナケレバ駄目ナノデス、是ハ一般ノ中等以上ノ家庭ヨリモ、其ノ以下ノ生活ヲシテ居ル僅カノ炭ヲ買ツテ居ル家庭ニ對スル供給ト云フモノハ、政府ノ持ツテ居ル炭ガナケレバ開滑ニ行ク途ガナイ、絕對ニナイノデハナイガ、去年ノ經驗カラ言フト、政府ノ持ツテ居ル炭ガ必要ダ、其ノ政府ノ山ノ炭ヲ、去年ノヤウニ困ル時ニハ何万貫持ツテ來テソレヲヤル、ソレナラバ政府ノ炭デアラカラ、何依テ何處ヘヤレト云フコトガ出來、配給ガ出來ルケレドモ、政府ノ炭ガナケレバ此ノ炭ヲ何處ヘヤレト云フコトデモ出來マセス、是ハ私ノ實驗シテ居ルコトデスカレドモ、如何ニ命令シテモ是ハドウシテモ出來マセス、政府ガ或ル程度ノ炭ヲ持ツテ、開屋ヲ動かシ小賣ヲ動かシテ、政府ノ炭ヲ流シテ行クコト云フコトガ、炭飢饉ニ對スル一番安全ナ方法ダト思ヒマス、ソレデ從來ノ機構ハ少シモ動かスト云フ意思ハナイノデス

○長野委員 サウ致シマス、政府ハ産地ノ開屋ト消費地ノ開屋トノ間ニ立ツテ賣買ヲヤツテ行ク、サウナルト手數料ヲ御取リニナルノデアルカ、取ラナイノデアルカ、其ノ點ヲ一ツ伺ヒマス

○田中政府委員 所謂手數料ノ中カラ賣買ダケヲ政府ガ負擔スル、商人ノ手數料ノ中ニハ所謂企業利益ト云フヤウナモノモアルト思ヒマスガ、サウ云フモノヲ政府ガ取ルト云フコトハ勿論アリマセス

ト、東京ニ於テアノ場合若シ政府ノ管理スル炭ガ三千万貫カ五千万貫アツタラ、炭ノ飢饉ハ防グ得タト思フ、ソレヲ防グ途ガナカウツカラ、色々組合其ノ他ヲ督勵シ、府縣ノ方ニ言ツテヤツタケレドモ、結局「リ」シテ、制カ布イテモ中々窮困ニナツタ、サウ云フガ昨年ノ苦イ經驗デアリマスカラ、其ノ點ニ於テ二億貫ヲ目標トシテ、ソレヲ強制的ニデモ何デモ是非買上ゲル、斯ウ云フ風ナ窮困ナ考ヘ方ヲシテハ居ラナイ、買ツタ物ハ又ソレヲ端カラ賣ルノデアリマスカラ、ソレヲ需要ガ開滑ニ行ケバ、其ノ開滑ニ行ク程度ヲ以テ特別會計ヲ運用シテ行ケバ宜シイ、目標ノ最高限凡ソ二億貫ト斯ウ云フノ目安ガ何處カラ來タカト云フト、大體十三大都市、ソレカラ工礦業ノモノヲ加ヘテ三億六千万貫、其ノ中ノ一億二千万貫ハ先ヅ重工業用ノモノデ、是ハ御話ノ通りニソレハ「得意ガアツテヤツテ居ル、斯ウ云フソレハマデノヤリ方モアリマスカラ、ソレニ付テハ政府ガ世話ヲスル必要ガナイ、是マデノヤリ方デ餘キヤツテモ宜シイノデアリマスガ、先ヅ是ハ除外例デアリマス、アトノ二億四千万貫ニ付テハ、五、六、七、八、月ト云フ暑イ時期ニハ、木炭ノ飢饉ニ起ル譯ガアリマセスカラ、サウ云フ需要ノ多クナイ時期ノモノガ先ヅ二割位ハアルダラウ、斯ウ見テ、ソレデアトノ八割、即チ一億九千二百萬貫ヲ目安ニシテ政府ガ炭ヲ持ツテ居レバ、大消費地ニ對スル家庭用ノ木炭ニ付テハ不自由ヲサセナイデ済ム、斯ウ云フノガ見下コトデアツテ、政府ガ特別會計デ二億貫ヲ目標トシテ居ルカラ、二億貫ヲ各府縣ニ割

ノ儘ニ置イテアルノデスガ、餘リヒドイコトニモナラズニ行ツテ居ル、ソレヲ心配ヲシテ、今木炭ガ産地カラ消費地ニ流レテ行クノヲ政府ガ持ツテ居ラナケレバ、流レテ行クヤウニ思ハヌト御心配ニナリマシテ、何十年何百年ヤツテ居ル經濟機構ヲ根本カラ考ヘ直サナケレバナラナイトシテ、若シ木炭ヲ左様ニ心配スルナラバ、米モ其ノ通りニ心配ヲシナケレバナラナイヤウニナルト思フ、併シ其處ハ自然經濟ト云フカ、何ト云フカ、現在ノ自由經濟ノ建前ニ於キマシテハ、即チ需要供給ノ關係ハ自然ノ法則ニ從ツテ不足シタ所ヘ、剩ツタ所カラ流シテ行クヤウニナツテ居ル、其處ヘ手ヲ入レテ行カナケレバ心配ダト言ハレルナラバ、米マデヤラナケレバナラナイ、斯様ニ私ハ考ヘルノデス、之ヲ米穀ノ需給調節特別會計ヲ運用セラレヤウナ考ヘ方ニ於テヤラレト、斯ウ云フコトデアレバ、此ノ法案ニ對シテ又吾々ハ見直サナケレバナラナイ、先般來御説明ヲ聽キ、又色々ナ資料ヲ以テ考ヘテ見マス、十三大都市ニ要スル所ノ約二億萬貫、政府ガ確保シテ持ツテ居ラナケレバナラナイ、斯ウ云フコトニナレバ、十三大都市ノ消費スル木炭ヲ政府ガ持ツテ居ラナケレバナラヌ建前ニ總テガナツテ居ルノデスガ、今御話ノ中デハ敢テソレヲ強行スル必要モナイノダト云フヤウニモ話サレマシタ、其ノ所ハ中々大臣ハウマク話サレルノデ、話ニ段々魅セラレマシテ、蓋キ付ケラレテズツト入りマスレドモ、能ク考ヘテ見ルトサウ云フワイコトハ中々行カナイ、大臣ノ話ヲ聽イテ見ルト如何ニモ御尤モナト思ハレル、吾々トハ違ツテ話モ御上手デアリマス、剩ツタモノダケヲ掴ンデ行クヤウナ風

ニ關スルノデスガ、此ノ法案ハ其ノ通りニ
ナツテ居ラナイシ、又ソレデアレバ、是ハ
先程カラ私ハ大臣ノ御出席前ニ局長カラ聽
イタノデスガ、サウ云フモノヲナケレバ
ナラナイ必要ガアルカドウカ、現在産地カ
ラ消費地ニ流レテ居ル經濟機構ニ喰込マズ
ニ、新シク増産スルト云フコトダケノ建前
デ行カケレバナラナイ時ニ一方ニ又十三
大都市ニ供給目的トシタモノヲ確保シナ
ケレバナラナイヤウニ考ヘラレバ、ドウ
モ其處ノ所ハ私等ノ頭ガ違フノカ、キチン
ト機構ト數字ガ入ツテ来ナイ、ソコデ是ハ
米穀供給調節ノ會計ヲ運用シテ居ルモノト
全然建前ガ違フヤウニ思フノデアリマス、
新シイ初メテノ試ミダト思フノデスガ、大
臣ハ此ノ點ニハ中々政治上ノ御經驗ヲ持ツ
テ居ラレマシテ、果シテサウ云フ經濟機構
ニ今後日本ノ經濟機構ヲ建直シテ行クコト
フヤウナコトガ善イカ惡イカ、是ハ餘程考
ヘナケレバナラス、サウ云フコトニナルト
總テ國有デヤラナケレバ心配デアルト云フ
コトニナリマスカラ、此ノ瓦斯用木炭及ビ
工業用木炭ヲ特別ナル斯ウ云フ建前デヤル
ト云フコトハ、是ハ大イニ考ヘナケレバナ
ラスト思フノデアリマス、今現ニヤツテ居
ル一般家庭用ノ木炭ヲ、サウ云フコトデヤ
ルト云フコトニナレバ、米ノ配給モ心配ダ
カト云フコトニナル、モウ一ツハ成程昨
カラ今年ニ掛ケテノ木炭ノ飢饉ト云フモ
ノハ、都會ニハ非常ニ脅威ヲ與ヘタコトハ
事實デアリマス、併シナガラソレハ先程申
シマシヤウニ、十四年カラ十五年ヘノ持
越數量ト非常ニ減退シタト云フコトハ、特
殊ノ關係デアル、ソレハ何カト云フト、瓦
斯用木炭等ノ増加シタコト、工業用ノ木炭

ノ増加シタコト、ソコデ此ノ問題ノ二ツヲ
片付ケテモ、尙ホ一般用木炭マデ及ビデ
ウ云フコトヲナケレバナラヌカト云フ
コトハ、少シ是ハ昨年ノ飢饉ヲ除キモ與
限スルト云ヒマス、少シ恐レ過ギテ居ル
ノデハナイカト思フ、ソノナニ急激ニ國民
生活關係ノ木炭ノ需要ガ増加シタトハ考ヘ
マセスカラ、今ノ流シ方ヲウマク確保シテ
行クコトヲ方法デヤツテ行ク方宜イノデ
ハナイカ、斯ウ云フ經濟機構ニ大變革ヲ
起サウナ、商賣ヲ全部政府ガヤルト云フ
コトニナルナラバ、國民生活ニ於ケル、從
業者ト云フモノハ、全然政府ノ從業者ニナ
ツタ方宜イ、極端ニ言ヘバサウナル、是
ハ國家組織ノ上ニ於ケル非常ニ重大ナ問題
ダト思フ、此ノ點ニ付テ御經驗ガアラレマ
ス大臣カラ御意見ヲ承ツテ置キタイ

○島田國務大臣 此ノ木炭ニ對スル考ヘ方
ト、米ノ供給調節等ニ付テ考ヘテ居ル考ヘ
方ト、今申上ゲタ所デハ趣キ異ニシテ居ル
ノデアリマスガ、唯其ノ木炭ト云フモノガ
生活上ノ必需品デアリマシテ、日本ノ家庭
ノ生活ニ於テハ、今日ハ薪モ無論アリマス
ケレドモ、木炭ナシデ行ケルト云フ家庭ハ
ナイト云フヤウナ實情デアリマス、サウシ
テ殊ニ昨年ノ木炭飢饉ニ付テ政府ガ損若
クハ怯エテ居ルコトヲ御話モアリマシタ
ガ、是ハドウモ見解ノ相違カモ知レマセヌ
ガ、松尾君ノ御覽ニナツテ居ルノハ、ドノ
方面ヲ御覽ニナツテ居ルノカ知リマセヌ
ガ、是ハ私ハ怯エザルヲ得ナカツタ事情ガ
アルト思ヒマス、昨年ノ此ノ木炭ノ需給ノ
不調滑ト云フコトノ爲ニハ、例ヘバ警察ナ
シカハ取締ノ爲ニ、警察ヘナシカハ米炭ヲ
持ツテ来ナイ、開相場ナラ持ツテ来ルガ、

警察デハ開相場ハ出来ナイカラ持ツテ行カ
ナイ、ソレカラ又病院等ニ於テ相當數量ニ
必要ナ所ニモ申々木炭ガ行カナイ、病人ノ
アル家、子供ノアルナヤウ家デハ瀕レタ物
ヲ干スコトモ出来ナイ、お客ガ来テモ其
お客ニ火ヲ與ヘルコトガ出来ナイ、斯ウ
云フヤウナ事情ニアリマシテ、サウシテ
タマニ配給ヲ受ケレバ、一町内五世帯ニ對
シテ一俵ノ炭ノ配給ガアル、ソレデ分々様
ガナイ、炭ヲ持ツテ行クカ何カ物ヲ持ツ
テ行ケバ、紙袋ヲ持ツテ来イト云フヤ
ウナ話デアリマス、ソレハ實ニ涙ノ出
ルヤウナ「エピソード」ガアツタト云フコ
トハ、私ハ東京市民トシテ生活致シテ
居リマシテ、親シク見テ居ルノデアリマ
ス、之ヲ商賣人ノ罪デアルトカ、或ハ開屋
ガドウスルトカ、小賣ガドウトカト、サ
ウ云フコトヲ言ツテ、何處デドウ云フ風ニ
ナツタカト云フコトヲ穿鑿立テヨシテ見マ
スレバ、色々アルデアリマセウケレドモ、
斯様ナ事情ガ再ビ来ラナイヤウニ、其ノ同
ジコトハ来ナイカモ知ラスケレドモ、ソレ
ニ近イコトガ来ラザルヲ保スルコトガ出来
ナイ、万一左様ナコトニナツタ場合ニ於テ
ハ、是ハ政府トシテ國民ニ對シテ申譯ガナ
イ譯デアリシ、其ノ方法ガナケレバ是ハ仕
方ガナイ、政府ハ澤山ノ官有林ヲ持ツテ居
ルノデアルカラ、其ノ官有林ノ薪炭材ヲ出
セバ宜イト云フケレドモ、是ハ中々サウ簡
單ニ行タモノデモナシ、又ソレニハ努力等
ノ關係モアリマシテ、中々サウ云フ澤山ナ
需要ニ應ズルニハ行カナイ、ソコデ家庭
ヲ脅カス木炭ノ供給不調滑、或ハ不足ニ
不足ト云フ言葉ハ私ハ當ラスト思フ、現在
デモ先般協賛ヲ願ヒマシタ十四年度ノ追加

或ル程度ノモノニ付テハ政府ハ社會政策的
見地カラシテ、此ノ生活必需品ニ對シテハ
相當ナ世話ヲスル、政府自ラ乘出シテヤ
ネバナラヌ場合モアルヤウニ考ヘルノデア
リマシテ、只今ノ炭ト云フノハ即チサウ云
フ意味カラ来テ居ルノデ、炭ニ付テ飢饉ガ起
ツタカラ政府ハ速ニ馳セナガラ炭ノ世話ヲ
シヨウト云フノデアリマシテ、全部ノ炭ヲ
政府ガヤツテ專賣ニスルトカ管理ニシテソ
レデアラウ、斯ウ云フ考ヘ方トハ全ク出發
點ヲ異ニシテ居ルト云フコトヲ御諒承願ヒ
タイ、ソレデ瓦斯用ノ木炭ノコトニ付テハ
會社デヤルノガ宜イカ、他ノ方デヤルノガ
宜イカト云フコトハ議論ガアリマスガ、是
ハ一面ニ於キマシテハ專賣デヤルトカ云フ
ヤウナモノモアリマスガ、ソレハ衛生上等
ニ寄リ及ボス、ソレデヤラナケレバ酒ノ好
キナ人ガ酒ガ飲メナイト香水デモ飲ムト云
フヤウナモノデ、愈々炭ガナクナルト現ニ瓦
斯用木炭ヲ使ツテ害ヲ受ケタト云フヤウナ
コトモアリマスカラ、一方ニ家庭用木炭ニ
付テ供給ノ圓滑ヲ圖ルト同時ニ、他ノ方面
ニ於キマシテハ衛生上密ガアルヤウナモノ
ニ付テハ、之ヲ一般ノ需要家ニ持ツテ行カ
イヤウニ、ソレカラ又専門ノ目的ニ使ハシ
メルヤウニ、又使ヒ得ルヤウニスルト云フ意
味カラ、此ノ關係者ヲ社會社ヲ作ルヤウニ
致ス、サウシテ其ノ間ニ於テ專用ノ出来ル
ヤウニシヨウト云フ、是ハ全ク別ノ考ヘ方
カラ来ルノデアリマス、鑛工用ノモノニ付キ
マシテハ是ハ各企業家ガ自分ノ企業ノ目
的ニ向ツテ炭ノ生産確保ヲヤリマスカラ、
ソレニ對シテハ政府ガ或ハソレモ進んで世
話ヲスル必要ガ起ル時代モ来ルカモ知レマ
セヌガ、今日政府ノ狙ツテ居ル所ハソコデ

ハナイ、八億何千万貫カ——現在六億五千
萬貫、七億貫前後ノ炭ノ内、一般ノ消費
地デ炭ノ得ニキイ地方ノ小サイ都會地モア
リマスケレドモ、併シサウ云フ所ニハ近所
ニ炭ノアル所ガ多イノデアリマスカラ、大
消費地ニ於ケルモノヲ狙ツテ、其ノ大部分
若クハ其ノ或ル部分ヲ政府ガ用意ヲシテ、
必要ニ應ジテ流シテヤル、斯ウ云フコトニ
スル方法ニ出ルノガ、一番安全且ツ確實デ
アラウ、斯ウ云フ考ヘ方デアリマスカラ、
デオロギー——ト云フヤウナ意味ノ問題ハ、
茲ニ加味シテ居ラスト云フコトヲドウソ御
諒承願ヒタイト思ヒマス

○松尾委員 私ハマダアリマスガ、先刻高
田委員ガ農林大臣ガ御出席ニナツタ時ニ質
問ヲナサルト云フ御話デアリマスノデ、私
ハ是レ終リマス

○小林委員 午後大臣ニ出席ヲ願フコト
ニ致シマシテ、暫時休憩致シマス、午後ハ
一時半カラ開會致シマス

午後一時五十分開議

○小林委員 引續キ會議ヲ開キマス——
土田君

○土田委員 炭ヲ増産スル必要ニ付テハ先
般來承ツタノデアリマスガ、ソレガ減産ニ
ナツタノハドウ云フ理由デ減産ニナツテ居
ルカ、其ノ理由ヲ承リタイ

○田中政府委員 十四年度ニ於ケル減産ノ
理由トナリ得ルヤウナ事情ハ、中國地方ニ
於ケル旱害ガヒドクテ、努力其ノ他ガ其ノ
方ニ非常ニ奮ヘラレタト云フコト、ソレカラ
全國的ニ申上ゲマシレバ、製炭夫ガ少クナ
ツタト云フコト、輸送力關係デ、トラックノ荷

馬車、其ノ他ノ輸送力ノ減退、ソレニ伴フ
輸送賃ノ値上リ、地下足袋等ノ資材ノ入手
ノ困難ト云フヤウナコトガ、主ナル減産ノ
理由ト思ヒマス

○土田委員 減産ノ理由ハ、旱害ト製炭夫
ガ少クナツタ、ソレカラ色々ナ製炭夫ガ要
スル資材ガ缺乏シタ、主ナル點ハサウ云フ
風ニ承ツテ居リマスガ、製炭夫ガ少クナツタ
ノハドウ云フ理由カラ製炭夫ガ少クナツタ
ノデアリマスガ、其ノ點ヲ承リタイ

○田中政府委員 是モ釋迦ニ設法デアリマ
スガ、要スルニ他ニ労働ノ機會ガ多ク、而
モ其ノ労働條件ガ好イト云フコトデアルト
思ヒマス

○土田委員 只今ノ御答辯ニ依ツテ減産ニ
ナツタ理由ガ明瞭トナツタノデアリマスガ、
炭生産ニ對シマシテハ現在製炭業者ハ居ラ
ズノデス、只今御話ノ通り他ノ労働條件ガ
好ケレバ他ニ轉業スルト云フ狀況デアリマ
シテ、農山漁村何レノ方面カラ見マシテモ、
農閑期或ハ漁撈ノ閑散ナ期間、サウ云フ季
節ニ於テ副業的ニ炭ヲ燒ク、斯ウ云フノガ
現在日本ノ製炭業ノ慣習ダト思フノデアリ
マス、隨テ労働條件ガ他ノ副業或ハ他ニ出
稼ギスル方ガ製炭ヨリ採算ガ採レルコトニ
ナリマスレバ、製炭夫ガ他ニ轉業シテ少クナ
ニ付キマシテハ、其ノ製炭夫ニ對シテ採算
ノ採レルヤウナ條件ニナサル御意思ガアリ
マスカドウカ、其ノ點ヲ承リタイ

○田中政府委員 製炭夫ノ減少ハ事實以來
急激ニ来タノデアリマス、隨ヒマシテ一方
ニ於テハ製炭夫ノ増加ニ關スル色々ナ指導
施設モシテ来タ譯デアリマスガ、他方ニ於
キマシテ一昨年ノ公定價格カラ見マスレバ、

豫算ノ中ニハ八十何万圓ト云フモノガアツ
テ、本年度内ニ於テ山元ニアツテ雪ニ埋レ
テ居ルヤウナ炭、家庭ニ出テ来ナイ炭ニ對
シテ或ル助成ヲシテ、積出スト云フヤウナ
コトヲスル費用モ計上シテ御協賛ヲ得タヤ
ウナ譯デアリマシタガ、ソレダケノ金ガア
レバ或ル程度ノ炭ハ出ルガ、併シ燒イタモ
ノガ山元ニアツテモ中々出テ来ナイト云フ事
情デアル、之ヲ若シモ政府ガ八十萬圓出ス
代リニ、何百萬圓カノ金ヲ拂ツテ其ノ山元
ノ炭ヲ政府ガ所有シテ居ツタトスレバ、其
ノ炭ハ僅カノ費用デ直グ消費地ニ持ツテ来
テソレダケ防ゲルトカ、商人ノ手ニアリ
テ運賃掛ヲ損フスルヤウニナルカラ、出セ
レバドウシテモソレヲ出スコトガ出来ナイ、
又ソレヲ出セト云フノハ無理デアル、ソコ
デ物ガアルノニコツチニ飢饉ガ起ツテ居ル
ト云フ實情ガアルノデアルカラ、之ヲ救ウ
テ殊ニ中以下ノ家庭、小サイ家庭ノ分散シ
テ居ル澤山ナ大衆ノ木炭飢饉ニ對シテ圓滑
ニ供給ヲ圖ル、斯ウ云フ爲ニハ結局消費地ニ
對スル或ル部分ノモノヲ政府ガ持ツテ居ル、
斯ウ云フコトガ一番安全テソレガ爲ニ在來
ノ機構ヲ紊シタリ、ソレニ非常ナ影響ヲ與
ヘルヤウナコトナシ、政府ガ或ル機會、
或ル段階ニ於テ炭ヲ確保シテ居ルト云フコ
トガドウモ必要ダ、斯ウ云フノガ政府トシ
テ考ヘテ居ル點デアリマシテ、今御話ノヤ
ウナ其ノ式デ行ケバ、何デモ皆政府ガヤ
ネバナラヌデハナイカト云フヤウナ御話ニ
對シテハ、是ハ或ル意味ニ於テハ私ハ所謂
社會政策ト云フヤウナ程度ニ於キマシテハ、
是ハ何デモ世話ヲスルト云フノデアリナイガ、

デアリマスカラ、之ヲ政府が大イニ一ツカ
ヲ入レテ開放ニ努メサセレバ、個人持ノ原
木開放ト云フコトモ出来テ緩和サレテ來ル
ノデハナイカト思ツテ居リマスガ、是ハ今
マデドウ云フ状態ニ置カレテ居リマスガ、
ソレヲ御伺シタイ

出来ナイコトニナルト、所期ノ半分ノ成績
シカ上ラヌノデアリマス、左様ナ場合ニハ
ドウ云フ結果ニナルカ、伺ツテ置キタイ
○田中政府委員 二億貫ノ増産ハ成功スル
考デ居リマス、一億貫シカ出来ナカウツナ
ラバ對策ハ如何ト云フコトハ、サウ考ヘテ
ハ居ナイノデアリマスガ、足りナケレバ足
リナイイデ益々政府ノ操作ヲ強クシテ炭飢饉ニ
對處スル考デ居ルノデアリマス

ル月別ノ供給料ト云フモノガ「スミス」ニ
旨ク行ツテ居レバ、サシテ木炭飢饉ト云フ
コトモ來ナカウツニモ拘ラズ、ソレニ對ス
ル對策ヲ怠ツテ居リマシタ爲ニ、相當努力
シテ山元デハ炭ヲ焼出シテモ、一方ニ偏在
シテシマヒマシテ、一般家庭用ノ木炭ナド
ハ逼迫ヲ來シタイト云フ結果ガ生ジタノデ
ハナイカト思ヒマスガ、ソレニ對スル見方
ハ當局ハドウ云フ風ニ見テ居ラレマスガ、
之ヲ一ツ伺ヒタイ

マスカラ、國民ハ納得シテ我慢スルト思フ
ノデアリマス、併シナガラ一方ニ早ク買占
メテ者ハ何十依テモ物置ニ入レテ居ツテ知
ラヌ類シテ居ル、片方ハ少シモ行カス、或ハ
大工場ニ於テハ備メテ相當ノ數量ヲ倉庫ニ
積ンデシマツテ、春先マデ持ツ程蓄メテ居
ルト云フコトガアリマシタ場合ニ於テハ、
其ノ物資ノ偏在ニ對スル不平等ト云フモノハ、
是ハ非常ニ恐ルベキ思想的ナ影響ヲ持ツテ
來ルノデアリマスカラ、私ハ根本的ニ於テ
家庭的ノ物、工業用ノ物、總テノ物ニ對ス
ル「チケット」制度デモハツキリ今ノ中ニ決
メテ置キマシテ、サウシテ月別ノ消費量、
月別ノ供給量ト云フモノニ對スル配合ガシ
ツカリ付イテ居リマシタ良イト思フノデ
アリマス、現ニ政府ノ施設ヲ待切レマセヌ
デ、神奈川県ノ湯河原附近ノ町デアリマシ
タガ、新聞ニ出テ居ツタノヲ私見テ感心シ
タノデアリマスガ、アノ小サナ海岸ノ町デ
ドウシテモ静岡縣カラ來ル木炭ガ止ツテシ
マツテ駄目ダト云フノデ、自發的ニ町當局
ガ各町會ノ役員ト駐在所ノ巡查トガ相談ヲ
致シテ、各戸使テ消費量ヲ全部付出シテ、
ソシテ駐在所ニ行ツテ切符ヲ貰ツテ來テ少
シツツデモ分ケテ使ツテ居ルノガ旨ク行ツ
タト云フ經驗ガ新聞ニ載ツテ居リマシテ、
私ハ感心シタノデアリマス、是ハ小サクナ
レバ駐在所ト役場ト相談ヲシテソレダケデ
出來ルノデアリマスガ、政府ハ今カラ選
クハナイノデアリマスカラ、半年ガカリデ
今年ノ夏マデ行ケバ相當私ハ調査トカ何カ
出來ルト思フノデアリマス、各駐在所デモ
役場デモ、自分ニ直接ノ問題デアリマスガ
ラ、何ハ指イテモ此ノ基本調査ハスルト思
ヒマス、是ハ難シイ手數ダハナクテ、業半紙ニ

○田中政府委員 御料林ノ關係ハ先程申上
ゲタ通りデアリマシテ、吾々ノ方カラモ口
頭ヲ以テ或ハ書面ヲ以テ吾々ノ計畫ヲ御示
シテ、御料林ニ於カレマシテモ國有林ト同
ジ歩調ヲ進ムト云フコトデ、現ニ進ンデオ
イデニナル譯デアリマス、静岡縣ノ具體的
ノ事情ハ分リ難ナマスコトデ、ソレニ付テハ
何トモ申シマセヌガ、サウ云フヤウナ事情
デアリマス、原木ノ問題ニ付キマシテハ御
話ノヤウニ過去ニ於キマシテモ相當森林所
有者ノ方ニ原木ノ賣拂ニ付テ懸念シ、指示
ノ方面ニ於キマシテモ手紙ナリ下級ノ職員
ナリ、或ハ直接ニ個々別々ニ森林所有者ニ
御依頼スルト云フ方法デ、原木ノ供給ノ
懸念ヲシテ居ルノデアリマスガ、更ニ來年
ニ於キマシテハ各縣ニ原木ノ需給審査會等
ヲ設ケテ、森林所有者、營業者ノ方ニ御集
リヲ願ツテ計畫ノ拂下價格ノ點ニ付テモ
相談スル、更ニ市町村ニ於テモサウ云フヤ
ウナ計畫ニ從ツテ實行スル、其ノ點ニ於
テハ原木ガ問題デアラダケニ吾々トシテモ
極力努力シテ見タイト考ヘテ居ルノデアリ
マス

○山崎委員 原木ニ對スル當局ノ御熱意ノ
アル所モ瞭解出來ルノデアリマスガ、此ノ
點ハ何ト云ツテモ資料ガナケレバ出來ナイ
ノデアリマスカラ、十分ノ御協力ヲ願ヒタ
イト思フノデアリマス、次ニ二億貫ノ増産
ガ出來ナイ場合、例ハバ一億貫位シカ増産
ニ對ス

○山崎委員 其ノ點ハ私マダ局長サンノ御
答辯、御考ニ對シテ不満足デアリマス、今
日ハ慎重ニ御考ヲ下サレコトモ宜イノデア
リマスケレドモ、既ニ是ハ上ノ方ノ施設ヲ
待チ切レズニ、部分的ニ下デヤツテ居ル、已
ムニ已マレズ狀態デヤツテ居ルノデアリマ
ス、是ハ決シテ政府ガ強ヒタカラト云ウテ
不平ナドハ起リマセヌ、却テ國民ハ雙手ヲ
擧ゲテ喜ブノデアリマスカラ、喜ブベキ施
設ヲバドク、ヤツカラ宜イト思フ、大シク
金ハ掛ラズ、ソレハ十分ニ頭ノ良イ所デ御
協議下サツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ
邊デ實行ニ移シテ、今年ハ是非實行シテ、
鐵キタイト思ヒマス、次ニ私ハ木炭規格ノ
簡易化ト検査制度ニ付テ御考ヲ致シタイ、今
日努力ガ不足デアリマス爲ニ、非常ニ木炭
生産地帯ニ於テ、山ノ遠イ方ヘハ比較的入
ツテ炭ヲ焼カウトシナイ傾向ガ現レテ居ル
ノデアリマス、近クノ方ノ山ヲ伐ルト云フ
コトニナリマス、ウイ年代ヲ早ク伐ル、
暖イ所デスト十五年水ヲ上ゲテ居ルモノハ
直グ伐レルノデアリマス、併シ十八年代伐
ルトカ或ハ水上ゲ十九年代伐ルト云フコト
ニナレバ、同じ地域カラ出ル炭ノ石數ガ大
變違フテ來ルノデアリマス、隨ヒマシテ成
ベク今ノ所、若木早伐ヲサセナイト云フコ
トモ一ツハ増産ノ對策ニナルノデアリマス
ルガ、併シナガラ努力不足ト申シ炭ガタン
掛ケズニト云フ考ヘ方デ、山ノ淺イ所カラ
早伐ヲスルト云フ傾向ガ出テ參リマシタ、

ハ商人モサウ云フ意見ヲ持ツテ居ルジ、生
産者ハ餘計サウ云フ考ヲ持ツテ居ルト思フ、
規格ヲ簡易化シテ、成ベク座敷炭ト勝手炭、
鑛工業用ト三ツ位ニ分ケテ——餘リ粗悪ナ
モノハ因ルガ、木炭トシテ通用出來ルモノ
ハ、ドウセ割ツテ使フモノデアリマスガ
ラ、成ベク規格ナコトヲ言ツテ太サヤ何カ
縮メナイ方ガ宜イト思ヒマス、例ハバ例ヲ
申上ゲレバ、一ツノ縣ノ検査規定ニ依ツテ、
直徑五分カラ二寸六分マデノモノハ上物ナ
ラ上物ノ規格ニ入レルト云フコトニシテ、
其ノ中一吋二分カラ二吋マデナケレバイ
カスト云フ縣令以外ニ内規ヲ設ケテ、ソレ
ニ反スルモノハドンノ難ハ落ストカ何ト
カシテ規格ヲ一ツ落シテ、一室開ケタ中デ
一番口ノ端ヲモノヲ精選シテ、丸上ガ東
京ノ市場デ賣ラレタラト云フコトヲ目標
ニ考ヘルカラ、上物デナク、中物、下物ガ
澤山出テ來ル、サウスルト生産者ハ一室開
ケテ良イ物ガ二依、三依出來テモ、サウ云
フモノガ澤山出テ來ルノ結果ニナ
ツテ居ル、今日マデハ良イ炭、惡イ炭ト自
分デ選リ分ケテ生産者ノ儲ケルノ商人ガ
儲ケテ居ツタ、ダカラ検査制度ヲ嚴重ニシテ、
商人ノ儲ケル部分ヲ生産者ガ獲テニ於テ精
選スレバ、ソレダケ儲ケルカラト云フノデ、
此ノ検査制度ヲ嚴重ニサレタト云フコトヲ
聞イテ居ルガ、今日ハ選デアル、生産者ハ
ソレガ爲ニ良イ物ニ手ヲ掛チセテラレテ、
二三依ハ良イ物トシテ高ク賣レテモ、大多
數ハ安ク賣レマスカラ、検査制度ヲ嚴重
ニスレバスル程、生産者ガ損ヲ受ルコト云フ
コトニナツテ居ル、昨年モ其ノ統計ヲ申上
ゲタト思ヒマスカラ、茲ニハ申上ゲマセヌ、
少クトモ嚴重ニ検査制度ハ今日ノ増産ニ非

駐在所ノ巡查ノ判一ツ捺シタ物ヲ持ツテ行
ツテモ宜イト思フノデアリマス、サウシテシ
ツカリ國民ノ基礎的ナ消費量ト云フモノヲ知
ツテ、ソレダケハ、十三都市以外デナク、全日本
ノ家庭ノ何割何割ガ減ルケレドモ、必ず確保シ
テヤルゾト云フ一ツノ建前ヲ持ツテ行キマ
セスト、ヤハリ全國的ニ圓滑ニ需給調節ガ付
カスト私ハ思ツテ居ルノデアリマス、是以上
ハ意見デアリマスカラ申上ゲルコトヲ差控
ヘマスガ、全國的ニ此ノ際「ガソリン」ト同
ジヤウニ木炭ノ消費量ノ基礎調査ヤリ、
之ニ切符制度ヲ施行スルト云フ所マデ進ン
デ貫ヒタイト思ヒマスガ、當局ハドノ程度
マデ其ノ邊ヲ御考デゴザイマスカ、其ノ點
ヲ御伺シタイト思ヒマス

○田中政府委員 消費方面ノ對策ノ問題デ
アリマスガ、此ノ方策トシテ切符制度ノ如
キハ理想トシテハ非常ニ良イヤウニ思ヒマ
ス、併シ現段階ニ於キマシテ其處マデヤル
ベキカドウカト云フコトニ付キマシテハ、
相當考究ヲ要スルノデアリマス、殊ニ中央
ニ於テ全國的ニソレヲヤルベキカドウカト
云フコトニ付キマシテハ、慎重考慮ヲシナ
ケレバナラス問題デアルト思ヒマス、併シ
ナガラ御話ノヤウニ、大ナリ小ナリ分配ニ
付テノ或ル程度ノ施策ヲスルト云フコトハ
相當必要ガアリ、又御話ノ所以外ニ於キマ
シテモ、極々部分的デアリマスガヤウテ居
ル所モアルノデアリマシテ、ヤハリ來年ニ於
キマシテモコチカラ炭ヲ流スノヲ受ケテ
モノニ付テノ分配ニ付テハ、各町會ナリ何
ナリノ協力ニ依ツテ、其ノ炭ガ需要者ノ手
ニ行渡ルヤウニ、殊ニ金ノナイ貴シイ人々
ニ付テハ、特別ナルサウ云フヤウナ考ヘ方デ
以テ、場合ニ依ツテハ公共團體或ハ其ノ他

慈善團體等ニ於テ、特別ナ配給ヲ考ヘルト
云フヤウナコトハ、是ハ考ヘテ行カナケレ
バナラヌコトデアルト思ツテ居ルノデアリ
マス

○山崎委員 其ノ點ハ私マダ局長サンノ御
答辯、御考ニ對シテ不満足デアリマス、今
日ハ慎重ニ御考ヲ下サレコトモ宜イノデア
リマスケレドモ、既ニ是ハ上ノ方ノ施設ヲ
待チ切レズニ、部分的ニ下デヤツテ居ル、已
ムニ已マレズ狀態デヤツテ居ルノデアリマ
ス、是ハ決シテ政府ガ強ヒタカラト云ウテ
不平ナドハ起リマセヌ、却テ國民ハ雙手ヲ
擧ゲテ喜ブノデアリマスカラ、喜ブベキ施
設ヲバドク、ヤツカラ宜イト思フ、大シク
金ハ掛ラズ、ソレハ十分ニ頭ノ良イ所デ御
協議下サツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ
邊デ實行ニ移シテ、今年ハ是非實行シテ、
鐵キタイト思ヒマス、次ニ私ハ木炭規格ノ
簡易化ト検査制度ニ付テ御考ヲ致シタイ、今
日努力ガ不足デアリマス爲ニ、非常ニ木炭
生産地帯ニ於テ、山ノ遠イ方ヘハ比較的入
ツテ炭ヲ焼カウトシナイ傾向ガ現レテ居ル
ノデアリマス、近クノ方ノ山ヲ伐ルト云フ
コトニナリマス、ウイ年代ヲ早ク伐ル、
暖イ所デスト十五年水ヲ上ゲテ居ルモノハ
直グ伐レルノデアリマス、併シ十八年代伐
ルトカ或ハ水上ゲ十九年代伐ルト云フコト
ニナレバ、同じ地域カラ出ル炭ノ石數ガ大
變違フテ來ルノデアリマス、隨ヒマシテ成
ベク今ノ所、若木早伐ヲサセナイト云フコ
トモ一ツハ増産ノ對策ニナルノデアリマス
ルガ、併シナガラ努力不足ト申シ炭ガタン
掛ケズニト云フ考ヘ方デ、山ノ淺イ所カラ
早伐ヲスルト云フ傾向ガ出テ參リマシタ、

常ナル影響ヲ及ボシト云フコトハ事實ニ
 デアリマス、中ニハ、蓋ニスル粗糶ノ如キ
 ハ、私ハ輕ク見テ居ツタノデアリマスガ、
 是ハ夏デモ冬デモ葉ガ一ツ附イテ居ツテモ
 検査官ガ検査シナイ、是ハ笑フベキコトデ、
 枝葉末節ノヤウナコトデアリマスケレドモ、
 事實デス、仕方ガナイカラ殆ド葉ノ附イテ
 ナイ粗糶ヲ炭塊ガ外カラ買入レテ蓋ヲシナ
 ケレバナラス、検査制度ガアリマスカラ、
 検査員ニ氣ニ入ラナケレバ受付ケマセス、
 泣ク(山ニハ粗糶ガアルニ拘ラズ、葉ヲ
 一ムムシツテ取ツテ居タノデハ手間ガ掛ル
 カラ、葉ノナイモノヲ買ツテ來テ蓋ヲスル、
 斯ウ云フコトマデヤツテ居ルノデアリマス、
 是ハ私ハ木炭ヲ生産シテモ賣レナカク時
 代ノ遺物デアリ、各縣競争デ銷路削ツタ時
 代ノ遺物デアリト思フ、コナト生産者イデ
 メニ墮シテ居ツテ、何等増産ニ役立タヌヤ
 ウナ制度ハ極力簡易化スル、俵裝ノ如キモ
 都會ニ出ラドシ、新シイモノハ羅メテ、
 サウシテ農村ヘ送ツテ賣ヒタイ、二回三回
 ハ使ヘル、今日炭ハ二年三年倉ノ中ニ藏ツ
 テ居ルヤウナコトハナイノデアリマスカラ、
 ドン(使ヘル)デアリマス、權ノ如キモ
 殆ド今不足テ困ツテ居リマスカラ、サウ云
 フモノヲ再ビ炭塊ノ手ニ直接渡ルヤウニ配
 給シテ載ケバ、國費ヲ餘リ使ハナクテモ十
 分炭塊ガ悅シク燒タヤウニナルト思フノデ
 アリマス、質問ガ多岐ニ互ツテ恐縮デスガ、
 當局ハ此ノ際木炭規格及ビ検査制度ヲ改正
 シテ、惡質ナモノニ對シテハ嚴重ニスル必
 要モアリマスケレドモ、大體ニ於テ炭デア
 レバ宜イト云フ程度ノ検査制度ニ弛メテ、
 増産ニ資スルト云フ御考ハ持ツテ居ラレナ
 イカドウカラ伺ヒマス

○田中政府委員 検査ニ關スル御意見、大
 體ノ御趣旨ハ私モ賛成デアリマス、縣ニ
 依リマシテハ改メテ居ル所モアルノデアリ
 マスガ、靜岡縣ハ御話ノヤウニ改メテ
 ナイヤウデアリマス、商習慣ヤ其ノ他ノ關
 係ヨリ中々容易クハナイト思ヒマスガ、併
 シ公道價格等モ全國統一ノ方法デ以テ定
 メラレテ來テ居ルヤウナ關係デ、全國的ニ
 モ相當考ヘ得ルヤウニナリツツアリマス、
 又地方廳關係ニ於テモ出來ルダケ不合理ナ
 點ヲ改メル方宜イト思ヒマスカラ、サウ
 云フヤウニ指導シタイト思ツテ居リマス
 ○小林委員 今ノ山崎君ノ御質問ニナリ
 マシタ検査制度ノサウ云フ非常識ナ缺陷ハ、
 獨リ炭ノ検査ノミナラス、地方ノ検査ヲ實
 施スル上ニ於テ澤山アラウト思ヒマスガ、
 是ナド最モヒドイ例ダト思ヒマスカラ、政
 府ハ次官通牒トカ何カ速ニ府縣ニ對シテ通
 牒ヲ發セラレル御用意ガアリマセウカ
 ○田中政府委員 事務的ニハ何處ノ縣ノ檢
 査官宜クナイト云フコトハ分ツテ居ルト思
 ヒマスカラ、宜クナイト對シテハ注意ヲ
 與ヘタイト思ヒマス

○田中政府委員 既ニヤツタモノモアリマ
 スシ御話ノ點考慮シタイト思ヒマス
 ○山崎委員 静岡縣ノ例ヲ取ツタノデ、
 靜岡縣ガ特別ニ惡イヤウニ思ハレテハ困リマ
 スガ、農林當局ハ其ノ點能ク御分リノコト
 ト思ヒマス、靜岡縣ガ特別ニ惡イト云フ意
 味デ申上ゲタノデアリマセウカラ、其ノ
 點ヲ御承承願ヒマス、此ノ際次官通牒ヲ出
 サレルコトハ有難イト思ヒマスガ、一歩進
 メテ米ノ検査モ國營ニナルノデアアルカラ、
 此ノ際政府モ木炭検査ノ如キハ、炭、薪、
 米ト云フモノハ普通其ノ他ト同時ニ、殆ド
 必需品デアリマスカラ、此ノ際國營検査ニ
 シテモ大シテ變リガナイト思ツテ居リマス、
 將來一ツ此ノ準備ヲ進メテ載キテ、之ヲ機
 會ニ若シ出來レバヤツテ載キタイ、出來ナ
 ケレバ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス、之ニ
 對スル御考ヲ一ツ伺ヒタイ

○田中政府委員 此ノ機會ニハ豫算其ノ他
 ノ問題ガアリマスカラ、出來ナイト思ヒマ
 スケレドモ、將來ノ問題トシテハ考究致シ
 タイト思ツテ居リマス
 ○坪山委員 一寸此ノ問題ニ關聯シテ御伺
 致シマス、此ノ間農産物検査ノ説明ヲ聽イ
 タノデスガ、今日検査ヤツテ居ルノハ六
 十六種トカアルト云フコトデアリマス、若
 シ府縣デヤレバ、今度米麥ノ検査ハ國營ニ
 ナルノデスガ、其ノ爲ニ他ノ農産物ノ検査
 ニ縣ノ費用上支障ヲ來サヤウナ場合ガアラ
 ウト思ヒマス、或ハ炭ノ方ハ別箇ニナルカ
 モ知レマセウガ、多クハ炭務シテ居ルノガ
 多イ、例ヘバ米々検査員ガ外ノ検査員ヲヤ
 ツテ居ルヤウナノガ多イノデアリマス、府
 縣ノ希望ニ依ツテハ國ノ方デ別受ケテヤル
 ト云フ御説明ガアリマシタ、木炭ニ對シテ
 ハサウ云フ關係ハナイト思フノデスガ、若
 シ府縣デヤリ切レナイト云フ場合ガ出來タ
 時ニハ、ドウ云フコトニナリマスカ
 ○田中政府委員 木炭ニ付キマシテハ、實
 ハサウ云フ考ヲ持ツテ居ナカクワノデアリ
 マスガ、併シ具體的ノ問題デアリマスカラ、
 其ノ點ニ付キマシテハ農産物關係ノ當局ト

シテ、中々容易クデアリマセウケレドモ、御
 趣旨ハ私ハ賛成デアリマス、從來モ優良品
 生産主義ト云ヒマスガ、サウ云フ點ハ私
 モ同感デアリマシテ、實用的ナモノノ生産
 ニ對シテ規格ヲ付ケル、斯ウ云フコトハ私
 個人トシテハ大賛成デ、年來ノ主張デアリ
 マス
 ○山崎委員 次ニ資金ノ調達ニ對スル對策
 フ伺ツテ見タイト思ヒマス、是モ他ノ委員
 カラ既ニ質問ガ十分ニサレテ居ルト思ヒ
 マスガ、私カラ重テ御伺シテ見タイト思
 ヒマス、炭ノ生産ニ付テハ、御承知ノ如ク自
 分ノ山ヲ自分ノ手デ燒イテソレヲ賣ルモノ
 ト、元縮カラ資金、物品ヲ供與サレテ、燒
 子トシテ燒歩ヲ買ツテ燒イテ居ルモノト、
 ソレカラ官行木炭ノ如キ性質ノモノト大別
 サレテ來ルノデハナイカト思ツテ居リマス、
 自己資金ニ依ル製炭業者ノ問題ハ先ヅ一應
 措クコトト致シマシテ、今他ノ委員カラモ
 論議サレテ居リマシタガ、資金系統ニ付テ
 考ヲ致サナケレバ、確ニ増産ニ影響ノアル
 コトハ事實デアル、都會ノ間屋カラ地方ノ
 間屋ニ行キ、地方ノ間屋ガ山ヲ買ヒ、或ハ
 米、麥、蠶、一切ノ物資ニ至ルマデ之ヲ元
 縮トシテ供給シテ、燒子ニ一依何歩ト云フ
 燒歩デ燒カセマスガ、此ノ状態デ見マス、
 炭生産者ニ對シテハ餘程考ヲ變ヘテ載カナ
 ケレバナラスト思ヒマス、全ク燒子ノ状態
 ニ於ケル人達ハ検査制度ノ嚴重ニ泣イテ居
 ル、而モ其ノ點ニ付テハ隨分苦シク居リマ
 スケレドモ、如何セン直接掛ツテ行ク發言
 能力ガナイノデアル、是ハ外ヘ越シタクテ
 元縮ニ借金ガアリマシテ外ニ越セナイ、
 丁度元縮ノ燒子奴隷ノヤウナ状態ニナツテ
 居リマスカラ移動ガ出來ナイ、而モ検査ノ

苛酷ナ責任ハ皆自分ニ來ル、元縮ハ物ヲ供
 給シテ居ツテ、自分ノ方ニ出サセテ炭ハ自
 分ノ方ノ仕切デヤリ、供給シタ米ノ値段ト
 カ、依ノ値段トカ、或ハ繩ノ値段ハ非常ニ
 高ク見積リマシテ、非常ニ之ヲ搾取シテ居
 ルト云フヤウナ次第デアリマスカラ、検査
 ガ非常ニ苛酷デアツテモ、規格ニ對シテ煩雜
 デアツテモ、ソレニ關係ナイノデアリマス
 ガ、自分達ノ販賣スルモノハ成ベク荷口ノ
 揃ツタモノヲ威張ツテ取リタイカラ、此ノ
 場合ニ於テ燒子ノ燒ク炭ノ生産關係ト、自分
 ノ山ヲ自力デ燒イテ居ル炭ノ生産狀況ガ違
 ツテ來ルノデアル、之ヲ十分ニ頭ニ入レテ
 置イテ載キテ、少クとも自分デ炭ヲ燒クモ
 ノニ對スル對策ハ第二義トシテモ、元縮ヲ
 通ジテ炭ヲ燒ク燒子ニ對スル對策ヲ考ヘテ
 載カナケレバナラス、是ナクシテハ炭ノ増
 産ハ出來マセウ、サウ云フ状態デアリマス
 カラ、燒子ガ終ヒニハ嫌ニナツテ山ヲ逃ゲ
 テシマフ、最近私ハ東海道線ノ三島驛ニ降
 リマシタ所ガ、赤帽ガ帽子ヲ取ツテ丁寧ニ
 オ辭儀ヲ致シマスカラ、見タ所ガ私ノ伺ツ
 テ居ル炭塊ヲヤツテ居ツタ朝鮮人デアル、
 何ダ、君ハ赤帽ニナツテ、オモシク燒カナ
 イノカト言ツタ所ガ、炭ナンゾ燒イテ居ツ
 テモ元縮ニスツカリ儲ケラレテ、少シモ收
 入ガナイ、自分ト妻ト子供ト働イテモ一日
 一圓カ一圓二十錢ニシカナラス、ソレデハ
 今日連モヤリ切レスカラ赤帽ニナツタ、赤
 帽ニナレバ一日二圓以上ニナリ、而モ奇麗
 デ、寒イ思ヒモセズ、眞黒ニナラヌデ済ム
 ト云フ譯デアル、最モ程度ノ低イ生活ヲシ
 テ居ル朝鮮人ノ燒子ガ既ニサウデアル、私ハ之
 ヲ見テ炭ノ増産ガ成程出來スト云フコトヲ
 熟シ思ツタノデアリマス、是ハドウシテモ此ノ

燒子ヲ元縮ノ搾取ノ對象ニサセナイ方法ヲ
 ヘナケレバナラス、ソレヲ考ヘルニハ、資
 金ヲ潤澤ニ其ノ方ヘ廻シテ對策ヲ立テテヤ
 レバ簡單デアリマスケレドモ、中々其ノ點
 ガ皆行カヌヤウデアリマス、ドウシテモ
 元縮ヲ中心ニシテ行ク、元縮ヲ中心ニシテ
 行クコトニナレバ間屋ト間屋トノ結付キニ
 ナリマシテ、舊來ノ關係ヲ迪ルヨリ外ニ仕
 方ガナイノデアリマス、是ハ「チレン」デ
 リマスガ、是ガ廻リ廻ツテ生産増大ニナラ
 ナイ原因トナリマス、此ノ燒歩ニ依ツテ生
 活ヲスル炭塊人夫ノ生活確保ノ爲ニ、何等
 カ對策ヲ御考ニナツテ居ルカ、政府ハ勞働
 者ノ對策ハ直接各工場主ヲ通ジテ出來ル場
 合モアリマセウケレドモ、點々トシテ存在
 スル山ノ炭塊ニ對スル對策ハ難カシイモノ
 デアリマス、難カシイケレドモ、炭ノ増産
 セントスル場合ニ於テハドウシテモ之ヲヤ
 ラナケレバ炭塊人夫ガ集ツテ來マセウ、人
 手ノナイ所ニ如何ニ「チレン」ヲ拵ヘ金ヲ積
 上ゲマシテモ、皆行カヌノデアリマスカラ
 ラ、之ヲ何トカ旨イ工合ニ燒子ノ生活確保
 ヲヤツテ載キタイ、此ノ點ニ對シテ何等カ
 對策ガアレバ伺ヒタイ

○田中政府委員 事實御話ノ如キ問題ガア
 ル譯デアリマスガ、其ノ點ハ非常ニ難カシ
 イ問題デ、從來トモ地方々々ニ依ツテハ製
 炭組合トカ、或ハ産業組合ニ依ルトカ云フ
 ヤウナ、共同ノ力ニ依ツテ金融ノ途ヲ開ク
 コトヲヤツテ居ル譯デアリマスガ、併シ御
 話ノヤウニ、殊ニ移動性ノアル事業者ニ付
 テハ中々困難ナ問題デアリマシテ、信用ノ
 ナイ所ニ金融ガナイト云フ譯カラ致シマ
 シテ、直接ノ金融對策ハ非常ニ困難デアル、
 共同組織デモ出來マセウカ多ク途ガ開ケ
 マスガ、サウデナイト非常ニ困難デアル、
 隨テ吾々ノ思索ト致シマシテハ、金融ト云
 フコトガ中々困難デアル關係カラ致シマシ
 テ、窯ノ構築費ノ助成デアルトカ、簡易ナ
 製炭設備ニ對スル助成デアルトカ、或ハ移
 動ニ對スル助成デアルトカ、或ハ先程申上
 ゲタヤウナ原木ノ供給ニ付テノ斫炭デア
 トカ云フヤウナコトデヤル外、現在ノ所ハ
 一寸方策ガナイト思ヒマス、併シ満足シテ
 居ル譯デハナイノデアリマシテ、殊ニ製炭
 夫ノ減少シテ居ル今日デアリマスカラ、御
 話ノ點ニ付キマシテハ直接ノ金融ハ出來ナ
 イマデモ、製炭夫ノ製炭ニ付キマシテハ出
 來ルダケノ指導ヲシテ行キタイト考ヘテ居
 ルノデアリマス
 ○山崎委員 御當局ガ其ノ點ニ付テ頭ヲ悩
 マシテ居ルコトハ御察シスルノデアリマ
 スケレドモ、是ハ相當重大ナ問題ダト私ハ
 考ヘテ居リマス、自分ノ細カイ經驗バカリ
 申上ゲテ其ダ恐縮デアリマスケレドモ、十
 軒ナリ、十五軒ナリ、或ハ最大三十軒止リ
 位ノ炭塊部落ニ對シマシテ、部落團體ヲ基
 礎ニシテ共同テ物ヲ仕入レ、共同テ賣出ス、
 或ハ共同テ出荷スルコトガ宜イデハナイカ
 ト云フコトヲ動メマシタ所、宜カラウト云
 フノデ共同出荷ノ形ニ致シマシタガ、如何
 セン今日ハ共同出荷ニ對シテ縣ハ喜バチ
 イ、喜バナイト云フノハ、産業組合ガアル
 シ、外ノモノガアルカラ共同出荷ハ困ルト
 云フノデス、假ニ三十軒ノ炭塊ガ團體ヲ作
 リマシテ、東京ノ市場ニ送出すトカシテ、其
 ノ商取引ハ其ノ都市ニ届イテカラ初メテ卸
 賣價段デ賣ル、ソレハ小賣商ノ手ニ直接
 入レテモ宜イ、サウシレバ山元デ賣ルヨリ

モ相當ノ收入ガアリマスカラ、中間搾取ヲ省イテシマフコトガ出來ル、サウシヨウト考ヘテ計畫ヲ致シマシタガ、ヤハリ縣當局ハソレニ反對デアツテ、遠ソレガ出來マセシメシタ、仕方ガナイカラ、ソレデハ一人ガ働メテソレヲ他ニ持ツテ行ツテ、後、其ノ金ヲ分ケテラドウダト云フコトヲ申シマシタガ、是モ聞取引ニナル處ガアルカラ出來ナイコトデアリマシタ、都府團體ニ對スル活動ヲ促ス爲ニ、當局デハ都府團體組織ヲ強化スル特別ノ法律ヲ作ルコトヲ考テ居ラレマシタガ、若シ都府團體ト云フモノガ實際斯ク云フ場合ニ役立ツヤウニ組織サレテ居リマスカラ、其ダ都合ガ好イト思ヒマス、其ダ逸脱シタヤウデアリマスカラ、炭燒ニモ炭燒ノ共同出荷組合ナリ、共同生産者組合ガ出來テ居レバ、モット成績ヲ擧ゲルコトガアルカモ知レナイ、野菜ニ致シマシテモ、果實ニ致シマシテモ、他ノ農産物ハ全部共同出荷形態ヲ調ベテ、中央市場ニ持ツテ來レバ委託販賣ガ出來テドン、賣ル、ソレデ農具ヲ購入スル、箱ヲ購入スル、肥料ヲ購入スルコト云フコトニナツテ、可ナリ自治的ニ成績ヲ擧ゲテ居リマス、ソコニ中間搾取ガアリマセスカラ、農民ハ非常ニ儲ケテ居ル、獨リ炭燒ノミ依然トシテソレガ持テ居ル、産業組合ヲ通ジテノ金融ヲ受ケテ居ル、是ガ厄介ナモノデ、中々巧ク行キマセス、今マデノ産業組合モ宜イノデアリマスカラ、モウ一步進メテ都府活動ノ出來ルヤウナ組織ヲ炭燒ニ持ツテ設ケキタイ、若シソレガ出來ナイト云フナラバ、都府團體ヲ規定スル一ツノ法律ヲ作ツテ、之ニ炭燒ノ團體モ含メテ行クヤウニスレバ、他ノ農産物ノ生産或ハ販賣ト並ンデ炭燒モ非常

ニ宜クナツテ、ソレニ從事スル者モ元縮ニ縛リ付ケラレテ居ナクテモ、其ノ都府團體ノ共同ノ力ヲ確保サレル、原本ノ買入レ其ノ他ニモ巧ク當レルノデハナイカト思ヒマス、ソレデ御質問ガ少シ飛ブヤウデアリマス、木炭ノコトニ關シテ都府團體ニ對スル對策ヲ何等カ最近オヤリニナルヤウナ考ハ持ツテ居ラレヌノデアリマスカラ、或ハ研究中デアリマスカラ、今日ノ時局下ニ於テハ都府ヲ基礎トスル所ノ經濟活動單位ヲウシト強化シナケレバ、農産行政トシテハ行詰リガ來ル、斯様ニ思ツテ居リマスカラ、如何デアリマスカ

テモ難カシイ、出來ルナラバ私ハ此ノ際若シ問屋ガ駄目ダト云フナラ、相當ノ金ヲ補償シテヤツテ廢業セセラ宜イ、サウシテ生産者ガ直接消費者ヘ渡ス、ソレヲ政府ガ面倒見テヤレバ尙ホ宜シイ、ソレガ出來ナイカラ政府ガ節制セズニ、從來カラアル炭燒ノ團體ニモット力ヲ持ツテヤル、ドチカラカニシテ吳レナイト、中途半端デハ困ルノデス、政府ガ中間ニ入ツタト云フダケデ巧ク行ケバ宜シイノデスガ、國費ヲ使フタ割合ニ成績ガ上ラズ、成績ガ上ラナイノミナラズ、從來ソレニ從ツテ居ツタ業者ガ失業状態ニナツテ、甚ニ惡罵ヲ聽クコト云フヤウナコトニナツテハ、是ハ國家ノ爲ニ取ラザルモノト考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ出來得ルナラバ此ノ際生産者ノ便測ト云フコトヲ十分ニ考ヘテ、同時ニ山元ノ値段ヲ思切ツテ引上げテ、中間商賣シテ居ツタ業者ガヤツテ行ケナクナツタラドン、販メサセテ、必要ナ所ヘ直グニ炭ガ廻ツテ行クヤウナ政策ヲ強行スベキデアル、ソレデナケレバ炭燒ヲヤツテ行ク業者ガナクナリマスヨ、都會デ炭ノ聞取引ガ行ハレルノハ、山元ガイケナイカラダト云フノデ、隨分苛酷ナ取締ヲ受ケテ居リマス、五錢高ク賣ツタカラト云ツテドン、引張ラレテ、三日モ警察ヘブチ込ンデ、張倒シタリ何カシテ自由ヲ強要シテ、其ノ上デ今度ハ二日モ掛ラナケレバ行ケナイヤウナ選イ裁制所マデ引張リ出シテ、五錢ノ聞取引ヲシタ炭燒方眞手ヲシテ檢事ノ前デ罰金ヲ取ラレ、叱言ヲ言ハレテ居ルヤウナ狀況デアリマス、而モ其ノ生産費ト賣價ト比較シテ幾何ノ利益アリヤト云フト、一家中デ働イテモ一日ニ一圓カ一圓

十七八錢ニシカナラナイ状態デス、ソコデコンナコトヲシテ居ツテハ地モ堪ラス思フカラ、外ニ仕事ノナイ時ナラ兎モ角、アル時ニハドン、出テシマヒマス、今日ハ御承知ノ如ク土工ニ出テモ三面カ四圓ノ金ガ一日ニ取レマス、何ニシテモ外ニ商賣ガアルノデスカラ、ドン、ソチラヘ行ツテシマフ、サウナツタノデハ、ドンナニ獎勵シテモ私ハ巧ク行カスト思フノデアリマス、モット、山元ノ値段ヲ引上げテ置イテ、サウシテ聞取引ヲスル餘地ノナイヤウナ制度ト云フモノヲ強ク布イテ置イテ、生産者ヲ優遇スルコト云フ方法ヲ政府ニ取ツテ貰ヒタイト私ハ思フ、是ハ餘リ理窟張ツテ恐縮デアリマスカラ、斯ウ思ツテ居ルノデアリマス、若シソレニ付テ御意見ガアレバ、御方針ガアレバ御伺シタイノデアリマス

ニスル、或ハ最近成績ヲ擧ゲテ居リマスル二ツ連續サシテ炭燒燐アルトカ、或ハ百依以上一度ニ燒ケル大窯ヲ築イテ燒クト云フ設備モ上ヨリモ、セメントノ方ガ大變ニ能ク出來ルノデアリマスカラ、セメントノ配給ノ如キモ地下足袋ト併セテ非常ニ必要ナ資材トナツテ居リマス、之ニ對シテ何等カ特別ノ配給ト言ヒマスカ、特別ノ心配ヲシテ貰ヒタイト思フノデアリマスカ農林省ノ農村對策部アタリデ、其ノ點ヲ御考ニナツテイラツシヤルカドウカワ同ヒタイノデアリマス

○田中政府委員 今ノ資材ノ點ハ正確ニ分リ兼ねマスカラ、後デ御答辯致シマス
○山崎委員 次ニハ木炭ノ市場關係ニ付テノ御伺デアリマス、各府縣ニ於テ木炭ヲ集荷スル組織ハ整備サレテ居ルノデアリマスカ、ドウ云フ筋ヲ辿ツテ集荷スルコト云フコトニハ統一サレテ居ルノデスカ、マダ統一サレナイ各縣區々ノ状態ニナツテ居リマスカ、今マデノヤウナ問題縮小通ジテ集マルモノト、産業組合ヲ通ジテ集ルモノト色々アリマスカ、是ハ縣令其ノ他デ區區ニ集荷ノ系統ト云フモノヲ統一シタヤウニ聞イテ居リマスカ、其ノ點ハ如何ニナツテ居ルノデアリマスカ

○田中政府委員 縣ニ依ツテハ或ル程度ニ統一サレテ居ルモノアリマスカ、ヤハリ區々ノ状態デアリマス
○山崎委員 此ノ際全國的ニ集荷系統ト云フモノヲ整備統一シテ置カスト云フト、皆チ行カス、斯様ニ思ツテ居ルノデアリマス、或ル所デハ産業組合ガヤリ、或ル所デハ商人ガヤリ、其ノ間ニ競争ガアリマスカラ、商人ハ聞ヲヤツテ行ク、或ハ

○田中政府委員 縣ニ依ツテハ或ル程度ニ統一サレテ居ルモノアリマスカ、ヤハリ區々ノ状態デアリマス
○山崎委員 此ノ際全國的ニ集荷系統ト云フモノヲ整備統一シテ置カスト云フト、皆チ行カス、斯様ニ思ツテ居ルノデアリマス、或ル所デハ産業組合ガヤリ、或ル所デハ商人ガヤリ、其ノ間ニ競争ガアリマスカラ、商人ハ聞ヲヤツテ行ク、或ハ

間デナクテモ、都會カラ地下足袋ヲ買ツテ行ツテ、ソレヲ配ツテ歩イタリシテ、サウシテ御機嫌ヲ取ツテ、ソチラニ品物ヲ取ルヤウニスル、産業組合ハ出荷獎勵金トシテ一依ニ付テ四錢ナリ五錢ナリ後デ戻ス、ソレナラバ聞取引ト同ジヤウナモノデハナイカト言ツテ、片方ノ商人カラ文句ガ出ルト、ソレハ獎勵ガカラ公定違反ニナラナイト言ツテ、警察デモ困ツテシマフ、サウ云フ譯デオ五ニ集荷系統ニ於テ競リ合ツテ居ル傾向ガ、私ハ面白クナイ結果ヲ來シテ居ルノデハナイカト思ヒマス、私ハ此ノ産業組合ナラ産業組合、或ハ最近農林省ハ農會ニ大分力ヲ注ガレヤウデアリマスカラ、農家ナラ農會、或ハ從來ノ問屋ナラ問屋デ、從來商賣ヲヤツテ居ツタ者ダケハ認めルガ、其ノ地域以外デヤツテハイカス、ソレ以外デハ自家用以外ノ賣買ハ絕對サセス、サウシテ集マツテ來タモノハ必ずソレヲ適當ニ全國的ニ流通サウナ状態ニスルコトガ、必要デアルト思ヒマス、此ノ集荷設備ト、消費地ニ於ケル荷受ノ組織ト云フモノガ、シツク行ク旨ク食合ツテ初メテ配給調節モ圓滿ニ行クト思ツテ居ルノデアリマス、此ノ荷受ノ方面ニ對スル組織ハ次ニ何フコトヲシマシテ、此ノ際政府ハ集荷系統ノ統制ト云ヒマスカ、整備統制ト云フヤウナコトヲ言ヒマスカ、整備統制ト云フヤウナコトヲアリマスカ

○田中政府委員 集荷系統ノ統一ハ、事實下ニ於ケル色々ナ取引ニ付テ面白クナイ取引ガ行ハレル關係カラ致シマシテ、ヤレレバヤツタ方ガ宜イト思ヒマス、併シソレヤリマスト云フト却テ或ハ困難ヲ生ズルト云フヤウナコトニナリマスカ關係カラ致シマ

シテ、寧ロ品物ガ皆ク配給出來ナイト云フヤウナコトニナリマスカ、却テ其ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイト云フ關係ガアリマス、實ハ其ノ點ニ付キマシテハ、殊ニ局部的ニハ逆ニ從來ノ機構ヲ行クト云フコトヲ、寧ロ強調シタヤウナ場合モアル位デアリマス、其ノ點甚ダ遺憾デアリマスカ、レドモ、時局下ノ實情ニ於テ強クソレヲ統制スルコト云フ所マデ、實ハマダ考ヘテ居ナイノデアリマス

○山崎委員 集荷系統ノ統制ヲスルト云フデモ、私ハ從來ノモノヲ全部止メテシマヘト言フ譯デハナイノデアリマス、私ノ御伺致シマスノハ、産業組合ナラ産業組合ト、從來營業シテ居ル木炭業者ナラ木炭業者ダケハ認めルガ、アトハ他府縣カラ入ツテ來テ、ドン、買ツテ行ツタリ、或ハ他ノ地域カラ入ツテ來テ其處ノ山元ヲ混亂サセタリスルヤウナコトノナイヤウニスルニハ、ドウシテモ商人ニハ一定ノ地域ヲ持タセテ其ノ地域ヲ擴張ニサセル、産業組合モ申スニ及バナイ、サウシテアトニ新シク殖エタリ、ドウカシタリスルコトノナイヤウニ、其ノ系統ヲ皆ク統制セテ、サウシテ其處デ生産スルモノハ必ず其ノ筋ヲ通ツテ大體ニ於テ集ツテ來ル、ソレヲ統制シテ其ノ村デハ何處ニ賣向ケルカト云フコトヲ決メテ行ケバ宜イト思フノデアリマス、私ハ其ノ點ハ決シテ心配サレル程困難ナ問題デハナイヤウニ思ツテ居リマス、ソレガ餘リ統一サレテ居リマセスカラ、ソコデ私ハ御伺ヤスル譯デアリマス

トハ御承知ノ通りデアリマス、ソレニ付テハソレデ結構ダと思フノデアリマス
○山崎委員 此ノ際縣會デ議論シテ居ルノデアリマス、私ハ縣會デ議論シテ居ルノデアリマス、地方的ニヤツテ宜イコトハヤハリ農林省ガ先ニ立ツテ全國的ニ統一ヲ取ラセル所ニ、私ハ議會ノ妙味ガアルノデハナイカト思ヒマス、部分的ニヤツテ居ツテ成績ヲ擧ゲテ居ツテ、宜イコトナラバ是非農林省ガソレヲ率先シテ全國的ニヤツテ貰ヒタイト思フノデアリマス、ソレニ付キマシテモウ一步進メテ積極的ニ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ荷受ノ制度デアリマス、荷受制度ハ先程大臣、或ハ局長ノ御答辯ヲ伺ツテ居ルト、從來ノ制度ヲ其ノ儘使ツテ、ソレニ流シ込ンデヤル、斯ウ言ツテ居ラレマスカラ、其ノ全貌ハ分リマスカレドモ、是ハ問屋ト小賣商人程度ノ問題ニサレテ居ルノデアリカト私ハ思ヒマス、併シナガラ今マデモ問屋ト小賣商人ニ任セテ居ツテ皆チ行カナカツタノデアリマスカラ、之ニ炭ヲ流シ込ンデ見タ所デ、皆チ行クカドウカハ私ハ疑問ニ考ヘルノデアリマス、此ノ案ノ一番目立ツ所ハ、都會ノ問屋ガ買ヒ得ナイカラ、仕方ガナイカラ政府ノ力ヲ以テ買上ゲテ、サウシテ問屋ニ之ヲ與ヘテ、問屋小賣商人ノ筋ヲ流サセルト云フアリ來リノ今マデノ組織ヲ、其ノ儘使ヘバ皆チ行クト云フ御考デハナイカト思ツテ居リマス、ソレデハ私ハ物足りナイ、ドウシテモ此ノ際ハ從來ノ問屋、小賣制度ダケデナクテ、モウ少シ進歩シテ、町民ヤ或ハ町内、區内ノ人達マデ配ラヌ所ノ荷受分配ノ制度組織ト云フモノヲ、下ニ申請シテモ宜イノデアリマスカラ、作ラセナクテハナラス、斯様ニ

○田中政府委員 縣ニ依ツテハ或ル程度ニ統一サレテ居ルモノアリマスカ、ヤハリ區々ノ状態デアリマス
○山崎委員 此ノ際全國的ニ集荷系統ト云フモノヲ整備統一シテ置カスト云フト、皆チ行カス、斯様ニ思ツテ居ルノデアリマス、或ル所デハ産業組合ガヤリ、或ル所デハ商人ガヤリ、其ノ間ニ競争ガアリマスカラ、商人ハ聞ヲヤツテ行ク、或ハ

○田中政府委員 縣ニ依ツテハ或ル程度ニ統一サレテ居ルモノアリマスカ、ヤハリ區々ノ状態デアリマス
○山崎委員 此ノ際全國的ニ集荷系統ト云フモノヲ整備統一シテ置カスト云フト、皆チ行カス、斯様ニ思ツテ居ルノデアリマス、或ル所デハ産業組合ガヤリ、或ル所デハ商人ガヤリ、其ノ間ニ競争ガアリマスカラ、商人ハ聞ヲヤツテ行ク、或ハ

○田中政府委員 縣ニ依ツテハ或ル程度ニ統一サレテ居ルモノアリマスカ、ヤハリ區々ノ状態デアリマス
○山崎委員 此ノ際全國的ニ集荷系統ト云フモノヲ整備統一シテ置カスト云フト、皆チ行カス、斯様ニ思ツテ居ルノデアリマス、或ル所デハ産業組合ガヤリ、或ル所デハ商人ガヤリ、其ノ間ニ競争ガアリマスカラ、商人ハ聞ヲヤツテ行ク、或ハ

○田中政府委員 縣ニ依ツテハ或ル程度ニ統一サレテ居ルモノアリマスカ、ヤハリ區々ノ状態デアリマス
○山崎委員 此ノ際全國的ニ集荷系統ト云フモノヲ整備統一シテ置カスト云フト、皆チ行カス、斯様ニ思ツテ居ルノデアリマス、或ル所デハ産業組合ガヤリ、或ル所デハ商人ガヤリ、其ノ間ニ競争ガアリマスカラ、商人ハ聞ヲヤツテ行ク、或ハ

ガ之ヲ出シテ特殊會社ノ扱フスルト云フノハ、其ノ炭ノ使用ノ目的ガ限ラレテ居リマ...

バナノカ、私モ多數ノ自動車業者ニ就イテ...

ウテ居リマス、サウ致シマスレバ、此ノ増...

之ニ反對スルトカ云フヤウナコトニ付テ、...

○高田委員 大分長イ御説明デ、有難ウゴ...

更ニ伺ヒタイ事柄ハ、公定價格ノ問題デ...

○島田國務大臣 先刻高田君ハ、自分ノ瓦...

トイ何等カノ方法デ講ジナケレバナラヌデ...

タ時カラ問題ニシテ居ル、ドウシテモ飼料...

出ルナイケレドモ、蓋シ所謂適正ナル價格...

トイ何等カノ方法デ講ジナケレバナラヌデ...

ノ促進メバ日本ノ森林ト云フモノハ漸次...

○高田委員 大分長イ御説明デ恐縮シマ...

其ノ通リナラデスカ、何か私ハ農林省ニ...

トイ何等カノ方法デ講ジナケレバナラヌデ...

ノ促進メバ日本ノ森林ト云フモノハ漸次...

○島田國務大臣 ソレハ今申上ゲテ通り不...

日此ノ官制ガ發布ニナリマスカラ、ソレニ...

トイ何等カノ方法デ講ジナケレバナラヌデ...

ノ促進メバ日本ノ森林ト云フモノハ漸次...

○高田委員 私人會談ノ時ニ於テ木炭ノ問...

トイ何等カノ方法デ講ジナケレバナラヌデ...

トイ何等カノ方法デ講ジナケレバナラヌデ...

ノ促進メバ日本ノ森林ト云フモノハ漸次...

第六期第五號 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)委員會議錄 第二十一回 昭和十五年三月二十日

トイ何等カノ方法デ講ジナケレバナラヌデ...

トイ何等カノ方法デ講ジナケレバナラヌデ...

ノ促進メバ日本ノ森林ト云フモノハ漸次...

味ニ於テ、相當消費規正ヲ加ヘルト云フコトハ、是ハ言フヲ持タヌ必要ナコトト思ヒマス、私ハ節約スルコトガ必要デナイト御答シタト云フコトハ、是ハ私ノ考ヘテ居ナイコトデアリマスカラ、左様ナコトヲ言ツタ記憶ハアリマセヌガ、是ハ今御話シタ通り、之ニ對シテハ相當ノ規正ヲ加ヘテ、出來ルダケ木炭ノ要ヲナイ時ニ木炭ヲ使フト云フコトノナイヤウニサセナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、唯隨テ此ノ特別會計ノ法案ニ依ツテ、政府ガ或ル程度ノ木炭ヲ所有シテ運用スル場合ニ於キマシテハ、其ノ考ヲ持ツテ、此ノ法案ノ實施ヲ致シタ

表ガアリマスカラ、今後出マシタラ其ノ表ニ依ツテ農林當局ニ伺フコトガアルコトヲ御諒承ヲ願ヒマス
○山崎委員 私人ノ質問ハマダ盡キテ居リマセヌカラ、保留シテ置キマシテ、後ノ機會ニ御許ヲ願ヒマス
○小林委員長 ソレデハ、今御打合せシマシタヤウニ、各派共同ノ提案ノ決議案ガ済ミマシタラ、モウ一遍此處へ御集マリテ願ツテ、懇談會ナリ協議會ヲ開クコトニ致シタイト思ヒマス、ソレデハ暫時休憩致シマス
午後四時十分休憩
〔懇談會ヲ終リ散會〕

○高田委員 實ハ本會議ニ於ケル私ノ是ハドウシテモ消費規正カ節約ニ行カナケレバナラヌデナイト云フ實感ニ對シテ、ソウ云フ考ヘナイト御シヤウタヤウニ、私記憶シテ居リマス、是ハ私ノ記憶違ヒカドウカ分リマセヌガ、兎モ角モ只今御話ノ通り木炭消費ノ節約ヲスルト云フコトノ御答辯ヲ得マシテ洵ニ有難ク思ヒマス、但シ其ノ方法ハ中々種々様々ノ方法ガアルト思ヒマスカラ、ドウゾ適當ナル案ヲ立テテ、サウシテ國民ニ示シテ、森林ガ荒廢ニナラナイヤウニ進ムコトヲ希望致シマス、尙ホ私ハ木材ノ節約ニ付テ商工大臣ニ御伺シタイコトガアリマスケレドモ、今日ハ御出デニナリマセヌカラ、適當ノ機會ニ商工大臣ニ伺フコトニ致シマシテ、農林大臣ニ對スル私人ノ質問ハ是デ打切りマス、但シマダ出ナイ

昭和十五年三月二十一日印刷

昭和十五年三月二十一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

(第六類 第五號)

第七十五回帝國議會 院 昭和十二年法律第九十號中改正法律
案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)

委員會會議錄(速記)第二十二回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
木炭需給調節特別會計法案(政府
提出)第一〇五號
日本瓦斯用木炭株式會社法案(政
府提出)第一〇六號

(三〇六)

會議
昭和十五年三月二十一日(木曜日)午前十時
三十六分開議
出席委員左ノ如シ

委員長 小林 絹治君
理事伊藤 五郎君 理事坪山 徳彌君
理事淺井 茂猪君
高田 松平君 小泉 純也君
松尾 四郎君 長野 綱良君
高橋 義次君 助川啓四郎君
小笠原八十美君 平野 力三君
同日理事深澤吉平君ノ補闕トシテ山本兼吉
君理事ニ當選セリ

出席國務大臣左ノ如シ
農林大臣 島田 俊雄君

農林政務次官 岡田喜久治君
農林省山林局長 田中 長茂君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
木炭需給調節特別會計法案(政府提出)

日本瓦斯用木炭株式會社法案(政府提出)
○小林委員長 開會致シマス、深澤吉平君
ハ委員ヲ辭任サレマシタ、ソレデ理事ノ補
闕選舉ヲ行ハネバナリマセヌ、先例ニ依ツ
テ委員長ヨリ指名致シタイト存ジマス、御
異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○小林委員長 ソレデハ山本兼吉君ヲ指名
致シマス——暫時休憩致シマス

午前十時三十七分休憩
(休憩ノ儘散會)

第六類第五號 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)委員會會議錄 第二十二回 昭和十五年三月二十一日

第七十五回帝國議會

昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)

委員會會議錄(速記第二十三回)

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク) 木炭供給調節特別會計法案(政府提出)(第一〇五號) 日本瓦斯用木炭株式會社法案(政府提出)(第一〇六號)

會議

昭和十五年三月二十二日(金曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 小林 絹治君
- 理事伊藤 五郎君 理事山本 榮吉君
- 理事坪山 德彌君 理事淺井 茂猪君
- 高田 耕平君 小泉 純也君
- 高橋 義次君 松尾 四郎君
- 長野 綱良君 助川啓四郎君
- 小笠原八十美君 小串 清一君
- 河野 一郎君 山崎 毅二君
- 小野 謙一君 平野 力三君

同日委員河野一郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ世耕弘一君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

- 農林政務次官 岡田喜久治君
- 農林參事官 松本 弘君
- 農林省山林局長 田中 長茂君
- 燃料局事務官 柳原 博光君
- 委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
- 農林書記官 蓮池 公映君
- 農林事務官 藤卷 吉生君
- 農林事務官 森 茂雄君
- 農林技術師 南 時次君
- 農林技術師 三浦 辰雄君
- 農工事務官 齋藤 大助君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

木炭供給調節特別會計法案(政府提出) 日本瓦斯用木炭株式會社法案(政府提出)

第六類第五號 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)委員會會議錄 第二十三回 昭和十五年三月二十二日

○小林委員長 ソレデハ開會致シマス— 山崎君

○山崎委員 昨日ノ懇談會ニ於キマシテ可ナリ詳シク御伺シテ居リマスノデ、私ハ極ク簡單ニ二三點ヲ御伺致シタイト思ヒマス、是ハ國有林ノ拂下ナドニ當リマシテ、原木ヲドノ程度ノ價格デ出サレルカト云フ點デアリマス、此ノ點ハ増産ニモ非常ニ影響ガアリマスシ、同時ニ其ノ價格ヲ安クシテ、相當量放出スルト云フコトハ、民間ノ山林ヲ開放サセル上ニ於テモ、非常ニ便宜デモアルシ、公定價格ノ問題ニ關レズニ、尙ホ生産費ヲ引下ゲルコトニモナルノデアリマスガ、原木ヲ一俵燒キドノ位ノ程度ノ價格デ出サレル積リデアリマスガ、其ノ點ヲ御伺シタイト思ヒマス、殊ニ私ハ是ハ廣イ範圍ノ例デハアリマセヌノデ、全國的ナ例カラ言ヘバ當ツテ居ルカ當ツテ居ナイカ分リマセヌガ、是ハ伊豆炭ノ生産費調査ヲ、炭燒カラ取寄セテ見マシタ所ガ、斯ウ云フ表ガ出テ居リマス、年ニ現在七百俵ヲ一軒ノ家デ生産シテ居ルモノヲ基準ニ致シ、夏ニ二箇月ヲ休ミ十箇月トシテ一箇月七十俵製炭スル所ヲ基準ニシテ算出シタモノデアリマスガ、此ノ中百俵ヲ基準ト致シマス、原木代ガ六十五圓トナツテ居リマス、ソレカラ炭ヲ造ル人夫ガ三十人、ソレカラ炭燒小舎ノ屋根、窯用ノ「セメント」、其ノ他ノ諸式一切ヲ含メテノ費用ガ七十圓デアリマスガ、是レノ百俵ニ對スル割當ノモノ十四圓デアリマス、ソレカラ炭裝用ノ薪デアリマストカ權

デアリマストカ、口板デアルトカ云フモノガ九圓、ソレカラ鋸、鉋、斧、鎌、其ノ他器具價値金ガ一圓、炭山カラ受檢地城マデ平均ノ運搬費ガ二圓五十錢、證書荷票料及ビ人夫賃、檢査費二圓七十錢、之ニ一俵ニ對スル四錢ノ割合ノ資本利子ヲ計算致シテ居リマス、是ハ百俵ニ對シテ四圓、合計九十四圓二十錢ト云フ數字ガ出テ居リマス、是ガ丸上ノ公定價格ガ百五十五圓ト致シマス、一箇月七十俵ノ製炭ニ對シテ差引シテ金三十五圓五十六錢ノ一箇月純所得デアリマス、之レヲ平均ニシマス、一圓十八錢五厘、此ノ様ナニ日ニ一圓十八錢五厘ノ收入デハドウシテモ一家ヲ支ヘテ行ク上ニ於テ收支ガ旨ク行カヌデアリマス、殊ニ最近ノ經濟狀態ニ於キマシテハ、農村ノ副業トシテハ他ノ收入ガ非常ニ多イデアリマスカラ、炭燒ニ從事スル者ガ少クナル結果、増産ガ旨ク行カヌト云フ結論ニナツテ來ル譯デアリマス、是ハ伊豆地帯デハヨザイマセヌガ、静岡縣ノ西部ノ方カラ最近私ノ手許ニ届イタ手紙ニ依リマス、斯ウ云フコトヲ言ツテ來テ居リマス、「最近人足不足ノ爲木材運搬人足ガ山側方面デハ普通常備人足一人三、四圓、諸ヶ仕事ナラバ六、七圓モ取レ、周智郡奥邊リデハ女デモ三、四圓、繩ヲ糊ヘバ日ニ三圓位ハ取レル、今日政府デヤカマシク言ヘバ言フ程炭燒ヲ止メテ他ニ轉業スル、サウスレバ澤山ノ金ヲ取レルト云フコトヲ言ツテ來テ居リマス、私ハ斯ウ云フコトヲ言ツテ來テ居リマス、私ハ

其ノ業ニ就イテ居ル者カラ詳シク斯ウダト言ツテ同ジ縣デアリマスガ、ヤハリ縣ノ東西ノ異ルトシテ斯ウ云フ表ヲ寄越シテ居リマス、ソレニ依リマスレバ、「一日ニ付キ平均正味四圓目ノモノニ依シカ燒ケナイ、サウスルト一箇月ニ六十俵シカ燒ケナイ計算デアル、茅依一俵十錢、繩ガ五錢、二俵デ三十錢原木代ガ一俵五十錢、二俵デ一圓、計三圓三十錢デアルガ、公定價格ハ並並一圓三十八錢、荒上デ一圓四十八錢、丸並一圓五十錢、平均約一圓四十五錢、二俵デ二圓九十錢差引四十錢ノ損トナルカラ、已ムヲ得ズ聞取引ヲスルヤウニナルノダ」斯ウ云フコトヲ手紙デ炭燒カラ言ツテ來テ居ルノデアリマス、是ハ非常ニ各府縣ニ於テ事情ガ違ヒマスカラ、生産費等ニ於テ違ツタ點ガアルトハ思ヒマスガ、私ハ是等ノ引合ハナイト云フコトガ總テノ理窟ヲ超越シテ減産ノ原因ニモナツテ居ルノデアル、其ノ大部分ハ原木代ト云フコトニナリマスガ、今回ノ國有林ヲ拂下ゲルト云フ政策カラ行キマスルナラバ、此ノ原木ヲ安ク供給スルコトガ有力ナ増産對策トナルノデハナイカ、政府ハ一俵燒ニ付キ約ドノ位ノ程度デ原木ノ拂下ゲヲサレル積リデアルカ、勿論山ガ淺イトカ、深イトカデ違ヒマセウガ、其ノ點ハ大奮發シテ無償ト云フ譯ニハ行カヌデアリマセウガ、今マデヨリハ安ク澤山出シテ賣ヒタイト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ如何デアリマスカ

○田中政府委員 國有林ノ拂下原木ニ關シ

マシテハ、此ノ前モ申上ガマシタヤウニ、從來トモ山付ノ部落ニ對スル緣故拂下ト云フヤウナ特別ナル方法ヲ以テ拂下ヲシテ居ルモノ、ソレカラ一般公賣ノモノト、斯ウツクテ拂下アリマスガ、其ノ公賣ノ制度ヲ昨年其ノ附則ヲ以テ止メマシテ隨意契約ヲ以テ拂下ヲスルト云フ制度ヲ立テテ拂下ハ、而シテ其ノ國有林ノ原木ノ拂下ハ、木炭ニ付テノ公定價格ヲ設定サレマシク結果、立木ダケノ評價ト云フコトヲ以テ拂下ゲルコトガ適當デナイト云フコトヲ吾等ト致シマシテハ考ヘマシテ、木炭ノ公定價格ヲ見合ヒマシテ、ソレニ基準ヲ置イテ、立木價格ヲ決メテ拂下ヲスル、所謂一般公賣ノ拂下價格ヲ決メル、結局ハ中庸ノ市場價格ヲ標準ニシテ決メルト云フ理論ニナルヲアリマスガ、サウ云フヤウナ方法デヤツテ居リマスノデ、或ハ民間ノ原木ヨリモ安イノデハナイカ、又地方ニ依ツテ其ノ原木ノ所在地ニ依ツテハ原木ノ價格モ違フ、是ハ經濟理論カラ言ツテモサウダト思ヒマスガ、奥山ノ原木ハ安ク、里近イ原木ハ多少ソレヨリモ高イト云フヤウナコトニナツテ居ルノデアリマシテ、地方ニ依ツテ其ノ價格ヲ一律ニドウト云フコトハ言ヘナイノデアリマス

大局的ノ方針ヲ立テテ、強行シテ貫ヒタイト私ハ思ツテ居リマス
次ニ家庭用ノ木炭ヲ特定十三都市以外ニ不足シタ所ガアレバ廻スト云フコトデアリマスガ、大體十三都市ノ家庭用目標ニシテ木炭ヲ集メルト致シマス、今マデモ木炭ノ生産地デアリナガラ、木炭ノ不足ヲ來シテ困ツテ居ツタ例ガ澤山アルノデアリマス、一昨日ノ委員會デハ大臣ハ木炭ノ生産地ハ何トカ振合ガ付タララウト云フ御答ガアツタヤウデアリマスガ、私ノ今マデノ經驗ニ依リマス、木炭ノ生産地ノ中心ニ居リナガラ、木炭ガ手ニ入ラナイデ、實ニ困ツテ居ツタ例ガアルノデアリマス、是ハ木炭ヲ一總メニシテ外ヘドン／＼出シテシマウト云フコトガ非常ニ原因シテ居ルト思ヒマス、隨テ私ハ若シ此ノ法案ヲ實際ニ移シタ場合ニ於テ全國的ニ却テ木炭ノ逼迫ヲ來シ、十三都市ノ中心トスル地帯ハ木炭ノ確保ガ出來テモ、他ガ品薄ニナツテシマツテ困リハセスカト思フノデアリマス、若シ左様ナ場合ハ其ノ方面ニ廻スト言ハレマスガ、是ハ全國的ノコトデアリマス、サウ思ヒ切レルモノデハナイ、政府ノ手持木炭ニハ限度ガアルノデアリマス、左様ナ場合ニハ又別箇ノ方法ヲ考ヘラレルノデアリマス、或ハ全ク逼迫セセスト云フ御積リデアリマスガ、或ハ或ル程度ノ政府ノ手持ヲ豫想シテ行ケバ、其ノ操作ガ出來ルト云フ御見込デアリマスガ、其ノ點ニ一抹ノ不安ガアリマス、之ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○田中政府委員 十三大都市ガ此ノ計畫ノ目標數字デアリマシテ、目的ハ逼迫ノ甚シイ地方ニ對シテノ對策トシテヤル譯デアリマスカラ、此ノ逼迫ノ甚シイ地方ガアルト致シマスレバ、其ノ方ニモ廻ス、例ヘバ福岡市ハ十三大都市ノ中デアリマス、例ヘバ福岡市ハ八幡岡市ニ準ズベキモノデアリマスガ、ソレハ十三大都市ノ中ニハ入レテ居ナイ、ケレドモヤハリサウ云フヤウナ所ニ於テ逼迫セル狀態ガアレバ、其處ニモ廻ス、サウシテ置キマシテハ多ク益々辨ズルノデアリマス、吾等ノ考トシテハ一般的取引ニ於テ供給ガサレ、尙ホ不足ノ場合ニ於テ廻スト云フコトデ結構對策トシテハ立ツテ行クト云フ考デ居ル譯デアリマス
○山崎委員 ドウモ其ノ點ハ私達ハマダ不安ガ解消サレテ居リマセカレドモ、併シナガラ其ノ點ヲ押問答ハ見解ノ相違ニナツテ參リマス、サウシテモ、從來各府縣デ移出ヲ抑制シテ居リマシク制度ガアリマスルガ、アレハ此ノ特別會計法ノ實施ニ當リマシテハドウ云フ結果ニナリマスガ、アレノ制度ヲ其ノ儘置キ積リデアリマスガ、是等ニ付テノ按排ハマダ伺ツテ居リマセカレ、其ノ點ヲ伺ツテ見タイノデアリマス
○田中政府委員 アノ制度ハ此ノ對策ノ運用ト並行シテ段々緩和シテ行ク積リデアリマス、唯消費都市ニ於ケル配給關係ガマダ殘サレル譯デアリマス、其ノ範圍ニ於テハ或ル程度考ヘナケレバナイノト、鐵道輸送ノ關係ガアリマス、例ヘバ鹿兒島ノ炭ヲ東京ニドン／＼持ツテ來ナケレバナラスト云フコトデアリマス、關門海峡ノ船ノ問題ガアリ、近クノ高知縣デサヘ毛船脚ガナクテ困ツタヤウナ事情デアリマスカラ、其ノ輸送力ノ關係ヲモ見合ツテ、

鐵道省トモ相談ヲシテ、其ノ輸送力ノ上ニ於テモ自由ニ放任シテモ宜イト云フ時代ガ來マスレバソレハ廢メテモ宜イト思ヒマス、併シ並行シテヤツテ見テ段々緩和シテ行クコトガ適當デハナイカ、斯ウ考ヘテ居リマス
○山崎委員 瓦斯用木炭ニ對スル點デ質問ヲ申上ゲタイノデアリマスガ、此ノ瓦斯用木炭ノ生産ニ對シマシテハ相當ノ關心ヲ皆持ツテ居ルノデアリマスガ、何分ニモ一般ノ木炭ノ需要ガ激シイ爲ニ、瓦斯用木炭ニ頭ヲ注イデ居ル邊ガナカウツト云フ傾向モ從來ハ見ラレテ居ツタデアリマス、特ニ日本ノ國策トシテ木炭自動車ト云フモノヲ相當期間ニ互ツテ保有シナケレバナラスト云フコトニナツテ參リマスレバ、國策ノ線ニ沿フツ／＼産業トシテ可ナリナ保護ガサレナケレバナラスト思ヒマス、隨ヒマシテ、今市價販賣シテ居ル瓦斯用木炭ノ價格ト家庭用木炭ノ價格ト差ト云フモノガ非常ニ強イ爲ニ、業者モ木炭自動車ヲ使フテハ合ハナイト云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマス、是ハ若シ國策デアルトスレバ、瓦斯用木炭ヲ生産シタ者ニハ相當補助金ヲアルトカ何トカノ方法ヲ付ケテ増産ヲサセニハ、其ノ發生爐其ノ他ニ對スル補助ハ現ニ出サレテ居ルト思ヒマス、其ノ木炭ノ消費其ノモノニ對シテ獎勵ノ方法乃至補助ノ方法ト云フモノガ付イテ居ルノデアリマスガ、又付ケナケレバ私ハ工合ガ惡イノデヤナイカ、斯ウ思ツテ居リマスガ、其ノ點ニ對スル御考ハ如何デアリマス
○田中政府委員 瓦斯用木炭ノ生産者ニ對シテモ炭産ノ獎勵トカ其ノ他ノ助成施設ハ

ヤハリ均霑サレル譯デアリマス、更ニ補助デハナイノデアリマスケレドモ、此ノ會社ノ資金ヲ以テ原木ノ手當等ヲ致シマスレバ、相當原木ノ獲得ニ利便ヲ得ル、而モ其ノ生産サレタ炭ハ安心シテ此ノ會社ヲ引取ツテ行クト云フコトニナリマスレバ、ソレダケノ利益ガ生産者ノ方ニ參リマス、隨ヒマシテ特別ニ此ノ瓦斯用木炭ニ付テ其ノ他ノ施設ヲスルト云フ考ヘ方ハ今ノ所ナイノデアリマス、併シ價格ノ點ニ付テハ、是ハ普通木炭ト見合ヒマシテ、此ノ會社ガ出來マスレバ取引價格ト云フモノヲ決メナケレバナラスト考ヘテ居ルノデアリマス、消費方面ニ對シテノ助成ニ付テハ、一般木炭ニモゴザイマセシ、價格等ノ見合ヒニ依ツテ適切ニ價格ヲ決メルト致シマスレバ消費方面ニ於テサウ不利益ハナイト思ヒマス、只今ノ所ハソレヲ考ヘテ居ナイノデアリマス
○山崎委員 私ハドウモサウ云フ考ヘ方ガ物足ラナイデアリマス、國策デ以テ、餘リ使ツテ得デモナク、衛生上ニモ運轉手ガ健康ヲ害シタリスルヤウナモノヲ無理ニ使ハセルノデアリマス、ソレニ對シテ、使ツテ居ル者ニ對シテハ、ドノ位ノ消費量ニ對シテハドノ位ノ補助ト云ヒマスカ助成金ト云ヒマスガ、サウ云フモノヲ消費量ニ應ジテ與レル、生産スル方ニ對シマシテモ、特別ナ木炭ヲ燒クノデスカラ、ソレニ對シテ、一俵燒ケバソレニ對シテ五錢ナリ十錢ナリ與レルト云フコトニシテ行ケバ、瓦斯用木炭ノ生産量モ増大致シマス、同時ニ改良モサレテ行クシ、ソレヲ使フ方デモ、安ク付クノダシ、國家ノ爲ダシ、我慢ヲスルト思フノデアリマス、サウ云フ政策ガ加ツテ初メテ其ノ方面ノ業者モ喜ブシ、其ノ

方面ノ發達ガナサレルノデアリマスカラ、之ヲ單ニ國策キニシテ唯事務的ニ御扱ヒニナルノデハ中々苦情ガ百出デ旨行カスノデヤナイカ、斯様ニ思フ譯デアリマス、デスカラ此ノ點ハ一歩突込シテ、瓦斯用木炭ノ使用ヲ強制スルト云フコトガ一ツノ國策デアルト云フ點ニ立ツテ考ヘテ載キタイ、同時ニ瓦斯用木炭モヤハリ從來ノ木炭商其ノ他ヲ通ジテ自由ニ販賣サセルヤウナ御考デアリマスガ、或ハソレ／＼ノ自動車組合ト云フモノガ「トラクタ」乗用車、或ハ「バス」營業者ト云フヤウナモノガ全部別々ニナツテ居ルノデアリマス、是等ニ對シテ直接生産カラ消費ヘ廻シテヤルヤウナ工合ニ配給方法ヲ御考ニナラレルノデアリマスカ、其ノ點ト、ソレカラ、一般家庭用木炭ノ消費ノ方面ニ互リマシテ、荷受ノ組織ヲ問屋、小賣ヲ通ジテ是等ニ流シ込ムト言ハレマス、從來ノ行キ方デ行クト、其ノ問屋、小賣ニ任シタキリデハ一般ノ配給ニマデ果シテ適正ニ旨行カドウカニ對シテハ不安ヲ持ツテ居ルノデアリマス、既ニソレデハ駄目ナノデアリマスカ、ソレニ補ヒテ付ケル意味ニ於テ、荷受、消費、配給ノ機構ヲ整備シテ實ハナイト如何ニ生産シテモ駄目ダト思ヒマス、ソコデ其ノ點ニ付テ如何ナル御對策ヲ御持チデアリマスカ御考ヲ伺ヒタイ

○田中政府委員 其ノ點々御說明申上ゲマシタヤウニ、此ノ會社カラ自動車業ノ組合ニ直接配給シテ、自動車業組合カラ其ノ組合員ニ配給スル、ソレカラ一般ノ木炭ニ付キマシテハ、御話ノ點御尤モデアリマシテ、末梢ノ方ノ配給ニ付キマシテハ、ソレゾレノ地方ニ於キマシテ、例ヘバ東京市ナラ東京市ニ於テ、東京府ナラ東京市ナリガ從來モ考ヘテ居ル譯デアリマスガ、其ノ點ハ吾等トシテモ更ニ協力ヲ致シマシテヤル考デアリマスガ、或ハ御話ノ切實制度モアリマシタガ、ソレト同ジヤウナ效果ヲ齎スヤウナ、町會デ會内調ベテ、此ノ家ニハ此ノ位配給シタラ宜カラウト云フヤウナコトヲ、町會其ノ他デヤル、或ハ「カード」階級方面ニ於テハ方面委員ト云フヤウナ人達ガ協力ヲ致シマシテ、サウシテ需要方面ノ見透シヲ付ケテ配給スルト云フヤウナコトハ更ニ今後トモ一層ヤラナケレバナラスト考ヘテ居リマス
○山崎委員 時間ガ來マシタカラ私ハ是デ終リマス
○坪山委員長代理 小野君
○小野委員 昨日午前午後互リマシテ懇談會ヲ開キマシタノデ、私ノ質問モ非常ニ詳細シテ御答ヲ申上ゲタイト思ヒマス、先ツ需給調節ノ特別會計法案カラ御答シタイノデアリマス、私ハ二月二十四日ニ東北興業株式會社法案ノ委員會ノ際ニ、大臣ニ木炭ノ増産ニ對シテ御答シマシタ、其ノ際ニ農林大臣ハ前年ノ木炭飢饉ニ鑑ミマシテ不需要期ニ炭ヲ燒カシテ、之ヲ倉庫ニ保管シタリ、色々ノ方法デ増産ヲ圖ツテ、今年ハ需要者ニ對シテ窮屈ヲ掛ケタラナイト云フ考カラ、今適當計畫ヲ立テテ居ルガ、ソレガ決マレバ此ノ議會ニ豫算ナリ法律案ナリデ檢査ヲ願フカラト云フ御答ガアツタノガ、即チ此ノ二ツノ法案ニナツテ出來タノデアラウト私ハ思ヒマス、此ノ特別會計法案ハ本質的ニハ木炭ノ増産ニ關係ノナイヤウニ見エレルノデアリマスガ、併シ其

ノ運用操作ニ依ツテハ増産ト重大ノ關係ガアルコトハ、私ガ申上ゲルマデモナイコトデアルト思フノデアリマス、元來此ノ木炭ノ問題ハ、政府ガ先年來御心配ニナツテ居リマシタヤウナ増産ノ確保ガ完全ニ出來サヘスレバ、自然ニ解消スル問題デアリマシテ、政府ノ御計畫ガ本當ニ實現スルナラバ、其ノ手段方法ニシテ宜シキヲ得ルナラバ、私ハ斯ウ云フヤウナ法案モ今日ニ於テ出テ來タクテモ宜カウツタノデアリマス、斯様ニ考ヘテ居リマスガ、幾ラ政府ガ御心配ニナツテモ、政府ノ御心配ガ其ノ方法宜シキヲ得ナイ爲ト申上ゲテハ或ハ失禮カモ知レマセカ、ドウモ政策ノ適切性ヲ缺ク爲デアリマセウカ、政府ノ思フヤウニ増産ガ出來ナカウツコトハ、私共手許ニ頂戴シマシタ昭和十一年カラ十三年マデノ平均ノ木炭ノ生産數量ヲ見テマシテ一ツノ疑ヲ持ツノデアリマス、政府ハ昭和十一年、十二年、十三年、十三年、十四年、十四年ハマダ未完結デアリマセウガ、順ヲ追ウテ一箇年毎ニ統計ヲ取ツテ増産ニナツテ居ルカ減産ニナツテ居ルカト云フ數字ヲ私共ノ手許ニ配付シテ載ケバ、吾等ノ疑念モ隨テ氷解スルノデアリマスガ、平均數量ダケヲ出サレタト云フコトハ、政府ガ心配シタニ拘ラズ、此ノ昭和十一年ヨリ十一年、十二年ヨリ十三年、而モ十四年ハ相當ナ努力ヲ拂ウテ増産ノ施設ヲシタニ拘ラズ、豫期ノ成績ヲ得ナカウツト云フ結果カラ見ルト、政府ガ胡麻化シツテハ諸君ガアリマスガ、年々若干ノ増産ヲ見ズニ却テ減産ヲ見タノデアリマシタ云フコトヲ考ヘマシテ、十五年度ノ増産計畫ニ對シマシテモ大ナル疑惑ヲ持タザルヲ得ナイノデアリマス、又

昭和十四年度ニ政府方築案ニ對シテ助成アリマセシガ、現在ハ製炭業者ニ對スル政府ノ原木拂下ノ狀況ヲ聞イテ見マシテモ、實行組合ニハヤルガ、從來ノ技術ノ努力ヲ持ツ所ノ製炭業者ニハ思フヤウニ生産力ニ考ヘテ見マシテ、市町村ガ今度此ノ製炭事業ニ進出シマシムル結果トシテ、地方ノ營林業ノ一ツノ方法トシテ行フ所ノ市町村ノ製炭事業ニ對シテ先づ優先的ニ原木ノ拂下ヲシテ、然ル後ニ實行組合其ノ他ノ製炭業者ニ之ヲ與ヘルト云フコトニナリマシレバ、今マデ大シク經驗モナシ、又努力モ技術モ持ナイ所ノ市町村ノ仕事ハ、果シテ初年度カラ政府計畫ノヤウナ成績ヲ擧ゲ得ルカドウカト云フコトヲ疑ヒマシムル同時ニ、聊カニテモ一方ノ製炭能力ヲ抑ヘルヤウナ結果ニナリマシレバ、政府ノ計畫ハ却テ水泡ニ歸スルノデハナイカト云フ考ヲ以テマシシテ、是等ヲ併セ考ヘマシテ時ニ、私ハ政府折角ノ御努力モ此ノ年度ニ於テ八億五千万貫ノ大量ノ生産ヲ確保スルコトハ到底不可能ニ近イ結果ヲ見ルノデハナイカト云フコトヲ心配スルノ餘リニ、私ハ是等ノ點ニ對シテ政府ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイノデアリマシ。

○田中政府委員 生産數量ノ變遷ニ付キマシテハ、是ハ統計ノコトデアリマシケレドモ、御手許ニ昭和十一年カラ十四年度マデノ表ガ差上ゲテアリマシ、二ツ表ガアリマシテ一ツノ方ハ十三年度マデノ表デアリマシガ、ソレニ依リマシト十年ガ六億三千万貫、十一年ガ六億六千万貫、十二年ガ六億六千万貫、十三年ガ六億五千一百萬貫、斯ウ云フ風ニ多少出入リガアリマシガ、傾向トシテハ増産傾向ニナツテ居ル譯デアリマシ、國有林ノ拂下ニ付キマシテハ、増産ガ二億五千萬貫デアリマシカラ基礎ノ六億五千万貫ト云フノハ少クモ從來通りノ形式デ以テヤツテ載ク、其ノ上ニ更ニ増産分ニ付テ努力スル、斯ウ云フ譯デアリマシ、公營製炭ハ一般ノ民業ヲ以テヤレナイ所ヲ狙ツテヤル、サウデナイト競争デカラレテハ増産ニナリマシ、鬼ノ角公營製炭ト云フノハ已ムヲ得ズヤル最後ノ手段トシテ考ヘテ居ル譯デアリマシ、民業ヲ壓迫スルト云フヤウナ考ヘ方デハ指導シナイ積リデアリマシ。

○小野委員 ソコデ私ハマダ疑問ガアルノデアリマシ、政府ノ御方針ガサウデアツテモ、果シテ從來大シク經驗ノナイ者ガ山奥ニ入ツテ炭ヲ焼イテ、政府ノ狙ツテ居ル一億五千萬貫ノ増産ガ出來ルカ出來ナイカ、ココニ私ハ非常ニ大キナ疑問ヲ持ツノデアリマシガ、併シ是以上ハ或ハ議論ト仰シヤルカモ知レマセスカラ私ハ止メテ置キマシ、ソレカラ從來行ハレテ居リマシ所ノ政府ノ官製炭ハ二千萬貫ノ増産ノ問題ニナラナイ所ガ官有林カラ原木ノ供給ヲ受ケマシテ製炭シテ居ルモノト、民有林カラ原木ノ供給ヲ受ケテ居リマシモノトヲ見ル、民有林ノ原木材料トシテ製炭シテ居ルモノガ非常ニ多イ、サウシテ政府ハ官有林方面ニ力ヲ入レルト共ニ、民有林方面ニ對スル何等カノ御手配ヲサラナケレバ、私ハ豫期ノ増産ドウシテモ難カシト思フノデアリマシ、其ノ外政府ノ御答辯ニ依リマシト從來ノ數量ヲ抑ヘテ居ル上ニ二億五千萬貫ノ増産ヲ圖ツテ居ル、増産方面ニ力ヲ入レル、斯ウ云フヤウナ御説明デアリマシ、私共ハ本法ノ實施ニ依ツテ從來ノ製炭能力ニ却テ手違ヒガ來ルノデハ

ナイカ、斯ウ云フ風ニ心配シテ居ルノデアリマシ、其ノ國有林ニ原木ヲ仰グノハ先ツ之ヲ宜イト致シマシテモ、民有林ニ原木ヲ仰グ製炭業者ニ對スル何等カノ對策ヲ御持ニナツテ居ルカ、之ハ重大デアルカラ伺ツテ見タイ。

○田中政府委員 此ノ間カラ御説明申上ゲマシタヤウニ民有林ノ原木ノ供給關係ニ付キマシテハ民有林ノ原木ノ共同購入ニ對スル助成金、ソレカラ民有林ノ原木供給ニ付キマシテハ各府縣ニ木炭ノ原木ノ供給ノ審査會ト云フモノヲ置キマシテ、具體的ナ山ニ付キマシテ、其ノ供給其ノ他價格等ニ付キマシテ色々森林所有者側ノ方、當業者側ノ方等ノ御集リヲ願ツテ、計畫的原木ノ供給ノ手配ヲシテ、サウシテ實行上ニ於テハ地方長官或ハ林務關係ノ指動員ヲ動員致シマシテ、其ノ計畫ノ實行ニ極力當業者ノ方ト協力シテ從事スル、斯ウ云フヤウナ計畫デ居ル譯デアリマシ。

○小野委員 モウ一遍伺ツテ置キマシ、從來ノ基礎製炭額ノ六億五千万貫ト云フモノハ、民有林、國有林ヲ合セマシテ、從來ノ數量ニ對スル手配ハスツカリ出來テ居ルカラ、是ハ何等心配ナイト云フ風ニ御當局ハ此ノ席ニ於テ御言明ガ出來マシカ。

○田中政府委員 サウ云フヤウナ方法デア原木ノ供給確保ニ努力致シマシレバ、此ノ製炭業者ノ確保ガ出來ル考ヘテ居リマシ。

○小野委員 其ノ點ハハツキリシタト思ヒマシ、次ニ私ハソレデハ國有林ノ方ハ原木ノ拂下代金ガ安イカヲ宜イトシテ、今ノ御年度ノ中ニハ、公定價格ニ對スル原木ノ原價ノ協定ノヤウナモノモ、現在ノ公定價格ニ對シテ決定シテ公定價格ガ生産費ヲ超過

セザル意味ノ基礎ガ出來テ居ルカドウカト云フコトヲ、モウ一遍伺イヤウデアリマシガ伺ツテ置キマシ。

○田中政府委員 原木ノ價格ニ付キマシテハ、其ノ價格ノ公定價格ハ尙更デアリマシガ、協定價格ニ致シマシテ中々難カシイコトハ御承知ノ通りデアリマシ、隨ヒマシテ具體的ノ山ニ付キマシテ相談スル、サウシテ出來ルナラバ關係ノ當業者、或ハ關係指導員等ガ立會フト云フヤウナコトニ依リマシテ、生産費ヲ割ラナイヤウニ、原木ノ供給ニ付キマシテ努力シタイト考ヘテ居リマシ。

○小野委員 北海道カラ炭ヲ入レルト云フコトハ承知シテ居リマシガ、其ノ他ノ外地方面カラハ朝鮮臺灣等カラ炭ガ入ツテ來ルヤウナ御計畫ガアルノデアリマシカ。

○田中政府委員 臺灣方面ニ於キマシテハ實ハ軍ノ需要向ノ方ガ相當多イヤウデアリマシ、併シ吾々ノ方カラ臺灣ノ製炭技術ノ指導ニ、昨年ノ暮カラ本年ニ掛ケテ參リマシテ、臺灣ノ製炭技術ノ向上ヲ圖ツテ、相當效果ガアツト考ヘテ居リマシ、サウ致シマシレバ多少臺灣ニ於ケル増産モ行ハレルカト思ヒマシ、隨ヒマシテ大陸方面ニ輸出致シマシテモ、餘力ガアルト致シマシレバ多少少ハ入り得ルト思ヒマシ、現ニ本年ハ多少入りマシタ、朝鮮方面ニ於キマシテ同ジヤウニ、ナハリ大陸方面ヘノ輸出ガアリマシノデ、ソレモ内地向ハ困難ト思ヒマシガ、少量モ出來ルガ買入レルコトガ出來ルトスレバサウシタイト考ヘテ居リマシ。

○小野委員 此ノ薪炭、木炭ハ一體燃料デアツテ、當局ハドウ見テ居ラレルカ知ラヌガ、燃料ナラ商工省ニ燃料局ト云フモノガ

アリマシ、尤モ是ハ石炭、石油ヲ管理シテ居ル製炭ハ原料ガ農林省山林局ノ所管デアリマシ、併シ製炭シテシマツタ後ノ配給方面ノ關係ハ、ナハリ燃料トシテ取扱ワスレバ、燃料局ノ中ニ入りサウナモノニ私ハ素人ナガラ考ヘテ居ル、配給ノ方面カラ言ヘバ何カ商賣ノヤウナ風ニ考ヘラレルノデアリマシ、農林省カラ言フト、産業組合ト云フモノガアルカラ一本デ行クト云フヤウナ考ヘ方モ一ツノ考ヘ方デアリマセウガ、今度ノ此ノ法律ノ實施ニ當リマシテハ、從來ノ配給機構ヲ其ノ審認メテ、ナハリ間屋カラ小賣業者ニ流スト云フヤウナコトヲ御決メニナツテ居ルヤウデアリマシ、假令一時的ニセヨ全國産地ノ間屋、小賣業者、若クハ消費地ノ間屋若クハ小賣業者即チ業界ニ與ヘテ制戦、シヨツクハ相當大キカツタヤウニ考ヘルノデアリマシカラ、將來ノコトモアリ、是ハ農林省トシテハ共管ト云フ意味ノコトヲ御考ヘナラレタコトガアルカドウカ、又現在サウ云フヤウナ考ヲ持ツテ居ソレガ桑ノ葉ノガアルト思フノデアリマシ、例ヘバ桑ノ葉ノ管理ガケレドモ、ソレガ絲ニナツテ、是ガ織物ト云フコトニナルト、商工省ニナルト云フヤウナコトニナツテ變ツテ來ル、サウ云フヤウナ關係モアルヤウデアリマシガ、商工省ニ燃料局ト云フモノガアリ、而モ此ノ一方ノ方ノ瓦斯用木炭ニ對シテハ、既ニ委員會ノ席上燃料局ノ商工省若クハ鐵道省ノ共管ニスルヤウナ御話モ現ニ出テ居ツタノデアリガ、木炭ノ將來ニ對シテ、ナハリ從來通り農林省一本デ行クト云フ御考デアルカ、共管ト云フヤウナコトモ考ヘテ、生産ト配給トノ系

統ヲ分ケテ考ヘルト云フヤウナコトヲ考ヘラレタコトガアリマセウカ、又將來ニ於テサウ云フコトヲ御考慮ニナル御氣持ガアルカドウカト云フコトヲ一應承ツテ置キタイト思ヒマシ。

○田中政府委員 木炭モ一ツノ燃料デアリマシケレドモ、商工省ノ燃料局ニ於ケル燃料ハ、御承知ノ通り石炭トカ石油トカ燃料ヤウナモノデアリマシテ、木炭ハ燃料局關係ニ於テハ農林省ノ專管トシテ取扱ツテ居ルノデアリマシ、唯配給問題ニ於キマシテハ商工省ニ關係ガアリマシノデ、例ヘバ公定價格ノ決定等ニ付キマシテハ、農林省ト商工省ト兩方デ決定スルト云フヤウナ工合ニナツテ居ル譯デアリマシ。

○小野委員 私ハ諄イヤウデアリマシガ、此ノ法律案ノ本質ハ生産關係ハ一寸ナイヤウデ、配給方面ノ關係、詰リ流シ方ノ關係ヲ司ル法律ト思フノデアリマシガ、兎ニ角木炭ニ對スル國民ノ心配ハ、要スルニ根本ハ此ノ生産ヲ抑ヘル、生産ヲ確保ト云フコトガ主デラウト思フノデアリマシ、先達テ來ノ農林當局ノ御心配ハ私重々察シテ居ルノデアリマシガ、全體カラ見マシテ此ノ木炭ノ増産ニ對スル助成ト申シマセウカ。

(坪山委員長代理退席、委員長長考)

サウ云フモノノ金ハ至ツテ少イヤウデアリマシ、一依ニ二錢カ三錢位ノ助成金ヲ出スト云フコトデハ、現下ノ情勢ノ下ニ、此ノ一般ノ勞銀ノ騰貴ト製炭夫ノ生活狀態ト照シ合セテ見マシタ時ニハ中々當局ガ單純ニ御考ニナツテ居ルヤウナ結果ニハナリニタイト斯様ニ考ヘマシノデ、私ハ其ノ點ニマダ大ナル心配ヲ殘シテ居ルノデアリマシ、幸ニ私ノ心配ガ杞憂ニ終リマシレバ是程結構ナコトハナイト思ヒマシガ、併シ是以上ハ議論ニナルヤウデアリマシカラ、先ツ其ノ點ハ私ハ止メテ置キマシ。

第二ハ此ノ日本瓦斯用木炭會社ノ問題デアリマシガ、是ハ私共昨日ノ懇談會ノ席ニ於キマシテモ、大勢ハ其ノ取扱量ハ一萬貫位ノモノデアリシ、特殊ノモノデアリカラ、ナクテモ宜イト云フ議論モアリマシタガ、マアアツテモ宜カラウカト思フノデアリマシ、唯此ノ場合此處ニ南サンモ居デノヤウデアリマシガ、南サンノ關係デ農林省ヘ持込シテ、小熊式ト云フヤウナ瓦斯用木炭ノ製炭方法ガアル、是ハ農林省デモ試驗ニナツテ大變良イヤウナ話モ聞イテ居リマシガ、私ハ此ノ席デ申上ゲルコトハ此ノ程度デ止メテ置キマシ、農林省デモ之ヲ試驗ナサレテ、サウシテソレガ相當良イ成績ヲ擧ゲタト云フヤウナコトヲ伺ツテ居ルノデアリマシガ、サウ云フモノヲ採用ナサレ御考ガアルカナイカ、私ハ昨日ノ懇談會デハ此ノ南サンノ「パテント」ハ農林省ガ之ヲ無償テ取ツテ、此ノ會社ノ仕事トシテ南式製炭ヲヤル又ソレヨリモ良イモノガアレバ會社ガ進シテソレヲ購入シテモ宜イト云フヤウナ御話ヲ伺ツタノデアリマシガ、小熊式ヲ持込シテカラ一年トカ二年トカ試驗ヲサレテ、モウ少シ待ツテ果レトカ言ハレテ其ノ儘ニナツテ居ルトカ、又筆ヒニナツテ居ルトカ伺ツテ居ルノデアリマシガ、其ノ點ニ付テ山林局長ハ御承知デセウカ。

○田中政府委員 南式以上ノモノガ出マシレバ、勿論此ノ會社ガ利用シナケレバ困リマシカラ、ソレハ利用スルト云フコトハ再再申上ゲタ通りデアリマシ、今御話ノコトハ一寸能ク聽取レマセウシタガ……

○小野委員 小龍式ト云フノデス、局長ハ御存ジナイデスカ
○田中政府委員 小龍式ト云フノヲ少クトモ私ノ方ノ農林省デ試験スルト言ツタ記憶ハアリマセス、木暮式デアリマスト相當問題ニナツテ居リマス、此ノ前モ出マシタガ、御説明申上ゲマシタ通りデアリマス
○小野委員 私は是デ時間デスカラ止メテ置キマス
○小野委員 段々皆様ノ御質問ガアリマシタカラ、私モ極ク簡單ニ二三御伺シタイト思ヒマス、今小野君ガ言ハレタ通り、政府ノ増産計畫ガドウモ安心ガ出来ナイ、又信用ガ出来ナイト云フノガ私ハ本當デアルト思フノハ、今局長ノ御説明ノ通り是ニ昭和十二年カラ十三年マデノ木炭生産額ノ調査見テモ、十二年ノ六億七千六百萬貫、之ニ六億五千五百萬貫、是ニ於テ千五百萬貫ノ減産ヲ來シテ居ル、十三年度ノハ御發表ニナツテ居ナイ、或ハ其ノ御答辯ガアツタカモ知レナイガ、私ハ聽イテ居ラス、更ニ減産ヲシテ居ルヤウハ聞イテ居リマス、ソレデ一億何百萬貫ノ増産ヲスルト云フコトヲ布レテ、議會ニ於テ豫算ヲ請求シテ、サウシテ其ノ事ヲ執行ナサツテ居リナガラ、而モソレガ實際ニ於テハ減産シテ居リマス、コトヲ伺ツテ私ハ非常ニ心配シテ居リマス、是ハ小野サンガ既ニ御聽ニナツタノデ、ソレ以上言フノハワカシイノデスガ、是ニ斯ウ云フ實際ノ一ツ申上ゲテ見ヨウト思フノハ、ヤハリ取引「リ」ニナツテ居ルノデセウ、數日前茨城縣、福島縣、岩手縣、青森縣等ノ經濟保安課ノ者ガ、是ハ開取引ヤ色々ナコトガアリ、又サウ云フヤウナ配給ガ意ノ如ク行カヌ爲ニ調査ニ廻ツテ歸ツ

テ來タノデアリマスルガ、其ノ者等ノ報告ニ依ツテモ、此ノ政府ノ四縣下増産方針ハヤハリ前四箇年平均ノ基準ニ對シテ二割ノ増産案ヲ立テテ、是ハ細カク申上ゲマスト大變長クナリマスカラ簡單ニ申シマスガ、斯様ニシテ實行ヲシタノデアルケレドモ、而モ其ノ農林省ノ増産計畫ニ炭窯ノ補助トカ、炭炭ノ補助トカ色々アリマスガ、サウ云フコトヲヤツタニモ拘ラズ、今私ガ申上ゲタ此ノ四縣下ノ十二、三年度ノ生産額ヨリモ縣ニ依ツテ一割乃至二割ノ減産ヲ來シテ居ルト云フノガ實情ナノデス、是ハ勞力ガ他ヘ移動シテ不足シタトカ、或ハ農家ノ生計上他ノ方面ニ走ルト云フヤウナコト爲ニ、餘リ其ノ方ノ御炭ヲ熱心ニヤラヌト云フ人ガ多クナリ、原木ガ買ヘナカツタリ、殊ニ主トシテ官林ノ原木拂下ガ色々ナ手續ナリ、今ノ政府ノ考ヘ方ハドウカ知レマセヌガ、本當ニソレヲヤリタガツテ大騾キヲヤツテ居ル方ニマツテ可ニナラナイ、ソレガ爲ニ非常ニ遲レタ、又是等ノ炭燒ノ自家ノ最モ必要トスル所ノ、即チ山中ニ居ツテナクテハナラヌ所ノ地下足袋デアルトカ、石油デアルトカサウ云フ資材ノ不足シタト云フコトガ原因トナツテ、政府ガ頻リニ増産ヲ煽リ立ツテ居ルニモ拘ラズ實際ハ生産ガ非常ニ減ジテ居ル、ソレデ一方ニ於テハ是等ノ生産地デハ代用燃料ノ爲ニ木炭ガ石炭ニモ代用サレルヤウナ場合モアリ、其ノ需要モ工業用等ニ三割モ廻ツテ居ル、又一般家庭ニモサウ云フ風デ非常ニ炭ガ廻ツテ居ツテ、サウシテ他府縣ヘ移出スルコトガドウモ出来ナイ、ソレガ爲ニ本年ノ一月頃ハ汽車一車五百圓ノ「ブレミアム」ガ付イテ居ル、一依ニシテ一圓

當ノ移出制限ヲ行ハレタ關係カラ致シマシテ、消費都市ニ於テハ出廻リガ非常ニ惡クナツタノデアリマス、隨ヒマシテ已ムヲ得ズ寧ろ吾等ノ方トシテハ各縣ノ移出制限ヲ緩和スル、ソレカラ亂雜デアツタ輸送力ヲ或ル程度ニ合理化スル、併シソレハ從來ノ實額ニ即シテ考ヘマシテ、極ク少量ノ來ルド云フヤウナ、大輸送力ヲ阻礙セヌマデモ、申上ゲセウモナイ、昨年ノ暮ノ輸送状態ト云フコトカラ見マシテ、サウ云フ不合理ト云フバドウカ知リマセヌガ、輸送力ヲ減退セシメルヤウナ方面ノ「リンク」ヲ廢メタノデアリマシテ、サウ云フ關係カラ規則ヲ出シマシテ、吾等ト致シマシテハ出來ル限り各縣カラ出シテ貰フヤウニ指導員モ出シタ結果デアルト確信シテ居リマスガ、東京市ノ一例ヲ申上ゲマスト、十一月十二日非常ニ惡カツタノデアリマスガ、一月二日ニナツテ割合ヨク出タノデアリマス、サウ云フヤウナ事情ノ下ニアノ規則ヲ出シタノデアリマス、吾等ノ方ハ制限スル所デハナイ、消費市場ニ炭ガ出廻ランコトヲ今デモ希望シテ居ルノデアリマス
○小野委員 今御説明ノサウ云フ御考デオヤリニナツテモ從來ノ「ヤント」出來テ居ツタ機構ニ乗ツテ之ヲ適當ニ利用サレタノナラバ宜カクテレドモ、サウデナシニ、成程ソレハ長崎ノモノヲ取ルヨリ山梨縣ノモノヲ取ツテ來ルト云フ考ヘ宜イケレドモ、從來ノ關係ヲ或ル程度生カシテ行タト云フコトヲシナイデ、マルキリ新規ニサウ云フコトヲ計畫スルト云フコトハ、實際ニハ何ノ業デモサウデスガ微妙ノ關係ガアツテ、サウイカスト思フノデス、ソレヲ無理ヤリニ

二、三十錢位ニナツテ居ル、隨テ開取引ガ横行シテ居ツタヤウナコトノ報告ガアルノデアリマス、此ノ報告ヲ御認メニナルカドウカ知リマセヌガ、サウ云フヤウナ風デ、ドウシテモ此ノ木炭問題ヲ解決スルノ最重要點ハ、要スルニ増産ト云フコトガ伴ヘバ總テ議場デ數日間熱心ニオ互ニ御研究ナサツテ居ルコトガ解決サレルノデアリマス、所ガドウモ増産ガサウハ行カナイノミナラズ、之ニ要スル原木ガ段々高クナツテ買入ガ困難デアル、又民間ノ人々ノ持つテ居ル原木ガ段々少クナリ、値上リノ傾向ヲ持つ爲ニ賣ルコトヲ好マナイ、木ヲ賣ラズニ置ケバ木ガ太ルトノ價值ノ上ルノ兩方利益ガアル、斯ウ云フノガ現下ノ趨勢デアル、之ニ對シテ政府ハ此ノ計畫ニ依ツテ果シテ増産ガ出來ルト云フ御考デアルカドウカ、私ハ公營製炭其ノ他町村ヲ利用スルト云フヤウナコトガ新シイ案ノヤウニ思ヒマスガ、ソレガ爲ニコトニ依ツテ二億萬貫ノ増産ガ得ラレルト云フコトニ付テハ、私ハ農林當局ハ餘程責任ヲ感ゼラレナクテハナラナイト思フ、ソレハサウデモ是カラハ全國ノ「斯ウ云フ風デカラ増産ガ出來ルト云フ、其ノ増産ト云フ點ニ付テモ一週安心ノ付ク御説明ハ出來ナイモノデアリマセウカ
○田中政府委員 國有林ノ原木拂下ノ問題デアリマスガ、色々地方的ノコトガアルカモ知レヌト思ヒマスケレドモ、吾等ノ方ト致シマシテハ出來ルダケ原木ノ拂下ガ多カラシコトヲ希望シ、サウ云フヤウナ指導モシテ來タ譯デアリマス、唯從來トモ御承知ノ通りニ山元ノ緣故拂下ダケハ優先シテヤル關係ガアリマス、其ノ他ハ一般ニ拂下スル次第デアリマスガ、唯ドウモ便利ナ所ニ多

ク殺到サレマス、思フヤウニ原木ノ拂下ガ均霑シナイト云フコトハ是ハ已ムヲ得ナイ事情デアルト思ヒマス、少シ迷惑デモ奧ニ行ツテ拂下スルト云フ御考ヲ載ケレバ相當實ハ原木ガ出ル、申込以上豫定ガアルノデアリマシテ、隨ヒマシテ原木ノ拂下ニ付テ少シ我慢シテ載ケバ相當アルト云フコトヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、増産ニ付キマシテハ再々政府ノ施設或ハ十五年度現ニ御協賛ヲ願ツテ居リマス公營製炭ノ問題、或ハ製炭夫ノ移動助成ノ問題、原木ノ需給ノ審査會ノ問題等ニ付キマシテ御説明申上ゲタ譯デアリマスガ、更ニソレ以上ナケレバ難カシイヤナイカト云フ御話御尤モデアリマスガ、政府ト致シマシテハ既ニ申上ゲマシタ施設ニ依ツテ、極力指導員ヲ總動員致シマシテ増産ヲ圖リタイ、尙ホ瓦斯用木炭ニ付キマシテハ會社ノ方面ノ資金供給ニ依ル原木手當、其ノ他ノ増産計畫ヲ考ヘテ居リマスノデ、吾等ノ考ヘテ居ル計畫ハ出來ル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス
○小野委員 ドウモ只今ノ御説明デハ、私共ハ増産ノ安心ガ付カナイト思ヒマスガ、是ハ議論ニナリマスカラ措キマス、次ニ昨年十二月ニ農林省令トシテ御出シナツタ木炭ノ配給統制規則ト云フモノハ木炭其ノモノノ集荷移出ヲ妨害シテ居ルノデハナイカ、詰リ此ノ制度ヲ布カレタノモ、先刻申シタ府縣ノ例トシテモ確ニサウナノデアリマスガ、又關西地方アツタリデモ此ノ實例ガ非常ニアルヤウデス、鹿兒島、島根、宮崎、岡山、愛媛等ニ於テモ、産業組合ニ依ツテ一元化スルト云フノデアアルガ、統制令ニ依ツテ強化サレヨウトシテ居ル一方ニ

ハ、此ノ間モ此處デドナタカカラモ御質問ガアツタ通り、木炭ト云フ專業ガ資本關係ニ於テ中央地方ヲ通ズル「リ」ノ「ブレ」ントラストガ出來テ居ル、ソレヲ打壞シテ、農林省ノ御方ガ繪圖面ヤ机上ニ計畫サレタコトニ依ツテ統制ヲ圖ツタカラ苦情モ出ル、ソレガ爲ニイツモ矛盾ガ起ル、割當量ノ決定ニモ完全ノ方法ガ執レナカツタ、斯ウ云フヤウナコトガ續出シテ所ル地方ニハ滯貨ガ出來ル、或ル地方ニハ所謂炭ノ飢饉ヲ起シテ居ルト云フヤウナ風ニ、却テ偏在シタリ滯貨ヲ起シタリシテ結果デアルト云フヤウナコトガ、一般ノ人ノ考ヘ方デアルノデアリマス、隨テ少クモ現在ノ統制規則ハ餘リ用ニ立タナカツタト云フヤウナコトガ、私ハドウモ事實ノヤウニ思ハレル、ソコデ一體サウ云フ統制ヲナサルニハ、サウ云ツタヤウナ薪炭業者ト云フモノノ有ル方面ノ意見ヲ問ヒ、而モ政府ハ有ル方面ノ意見ヲ一遍ニ問フト云フコトハ出來マスマイケレドモ、少クモ業者ノ團體ノ意見ヲ多少取入レテ執行ナサツタナラバ宜カクナラナイカ、サウ云フヤウナコトデ、非常ニ木炭飢饉ノ原因ヲ招來シタノデハナイカ、ソレト共ニ生産額ノ愛護トカ其ノ他ノ諸縣ガ縣下ノ木炭不足ガ新聞紙上デ喧シタルト、縣外移出ヲ禁止メタト云フコトモ關係ガアリマシタノデスガ、要スルニ今ノ政府ガマダ生キテ居ル法制ノ運用ガ全然事實ニ即シテ居ナイト云フ議論ガ多クデアリマス、之ニ付テハ當局ハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居リマスカ
○田中政府委員 實ハアノ規則ハ昨年ノ暮押迫ツテ出シタノデアリマスガ、已ムヲ得ズ出シタノデアリマシテ、其ノ前ニ縣方相

當ノ移出制限ヲ行ハレタ關係カラ致シマシテ、消費都市ニ於テハ出廻リガ非常ニ惡クナツタノデアリマス、隨ヒマシテ已ムヲ得ズ寧ろ吾等ノ方トシテハ各縣ノ移出制限ヲ緩和スル、ソレカラ亂雜デアツタ輸送力ヲ或ル程度ニ合理化スル、併シソレハ從來ノ實額ニ即シテ考ヘマシテ、極ク少量ノ來ルド云フヤウナ、大輸送力ヲ阻礙セヌマデモ、申上ゲセウモナイ、昨年ノ暮ノ輸送状態ト云フコトカラ見マシテ、サウ云フ不合理ト云フバドウカ知リマセヌガ、輸送力ヲ減退セシメルヤウナ方面ノ「リンク」ヲ廢メタノデアリマシテ、サウ云フ關係カラ規則ヲ出シマシテ、吾等ト致シマシテハ出來ル限り各縣カラ出シテ貰フヤウニ指導員モ出シタ結果デアルト確信シテ居リマスガ、東京市ノ一例ヲ申上ゲマスト、十一月十二日非常ニ惡カツタノデアリマスガ、一月二日ニナツテ割合ヨク出タノデアリマス、サウ云フヤウナ事情ノ下ニアノ規則ヲ出シタノデアリマス、吾等ノ方ハ制限スル所デハナイ、消費市場ニ炭ガ出廻ランコトヲ今デモ希望シテ居ルノデアリマス
○小野委員 今御説明ノサウ云フ御考デオヤリニナツテモ從來ノ「ヤント」出來テ居ツタ機構ニ乗ツテ之ヲ適當ニ利用サレタノナラバ宜カクテレドモ、サウデナシニ、成程ソレハ長崎ノモノヲ取ルヨリ山梨縣ノモノヲ取ツテ來ルト云フ考ヘ宜イケレドモ、從來ノ關係ヲ或ル程度生カシテ行タト云フコトヲシナイデ、マルキリ新規ニサウ云フコトヲ計畫スルト云フコトハ、實際ニハ何ノ業デモサウデスガ微妙ノ關係ガアツテ、サウイカスト思フノデス、ソレヲ無理ヤリニ

時ニ圖ヲ引イテ、側ノ山ハ側ニ、遠クノモノハ遠クノ間ニ合セルト云フヤウナ譯ニイカスガラウト思フノデスガ、ソレ以上申上ゲテモ仕方ガアリマセヌカ、是ハ此ノ程度ニシテ置キマス、所デ今向ノ増産ト云フモノガ斯ウ云フ配給機構ニ依ツテ果シテ十分ニ行ハレルカドウカ、即チ非常ニ摩擦ヲ起シテ居ル、此ノ事ハ屢々指サシカテ御質問ガアリマシタガ、現ニ産業組合トカ或ハ問屋、仲買、小賣人トカ色々複雑ナモノヲ現在ノ健全カシテ御利用ナサルト云フコトデアリマスガ、私ハ是ハ容易ニ出來ナイコトヲヤナイカ、若シ其ノ考ヘ方ナラバ、現在ノ狀態ハ大體農林省ハ能ク分ツテ居ルベキ管デアルカラ、商工省トモ御相談ヲナスツテ寧ろ現在ノ機構ヲ強制的ニ所謂監督指導ヲシテ、サウシテ不當ノ利得ヲ取ル者ヤ不正ノ利益ヲ擧ゲヨウトスル者ヲ抑ヘ付ケルト云フ方ガ宜イデハナイカ、ヨク過去ノ實額トカ現在ノ實額ト云フコトヲ御シヤイマスガ、其ノ實額ガ明ニナツテ居ルナラバ、其ノ機構ヲ生カシテ、所謂總動員法ガ發布サレ、既ニ戰時體制ニナリマシタ今日デスカラ、之ヲ相當抑ヘテ行タト云フ方ガ宜イデハナイカ、茲ニ斯ウ云フ統制規則ヲ拵ヘテ一億九千二百萬貫ト云フ炭ヲ買上ゲテ現在サウ云フ業者ノ中デ巨利ヲ博スル者モアレバ、或ハ失業ヲシテ駄目ニナツテシマフ者モ出來テ大混亂ヲ捲起ス、私ハ細カイコトハ時間ガアリマセヌカ申上ゲマセヌガ、此ノ案ニ依ツテ豫定ノ如キ數量ヲ集メテ、サウシテ行タト云フ時ニハ少イ所ニ自由ニ流シテ行タト云フヤウナ旨イコトハソレコソ殆ド不可能ノコトデアルト確信

シテ居ルノデスガ、所謂現在ノ機構ヲ生カスト云フ方面ヲ御考ニナツテ斯ウ云フ獨占的ノ統制法ニ依ツテヤツテ行カウト云フコトヲ私ハ一方御考ニナル必要ガアリハシナイカト思フノデアリマスガ、果シテ此ノ統制ニ依ツテ大丈夫間途ヒナイ、先程申ス通り増産ハ二億萬貫出來ル、又一億九千萬貫ハ「ヤント」統制ニ依ツテ之ヲ買上ゲテ配給スルコトガ出來ルト云フ確信ガ持テレドモ、又假ニ持テルトシテソレ業者ノ壓迫ガナイト云フコトニ付テハ私ハ不安ニ堪ヘナイ、若シ何カ他ノ案ガ吾等カラ後カラデモ出レバ、政府モ少シ考慮ナサルト云フ御考ガアルカドウカ、之ヲ一ツ伺ヒマス
○田中政府委員 業者ノ壓迫ハ吾等トシテハナイト思ツテ居リマス、ト云フノハ、事情ヲ能ク御承知デアリマスカラ御説明申上ゲヌデモ宜イト思ヒマスガ、地方デ賣ラレル方モ勿論アリマスシ、消費市場デ賣ラレル方モ勿論アリマス、其ノ線ニ沿ウテ買ツテ行タノデアリマシテ、而モソレハ全數量デナイ、一億九千萬貫一部ノ數量デアリマスカラ、業者ノ方ヲ壓迫セヌノミナラズ、却テ公道價格デアリマスカラ、御承知ノ通り成ベク早ク賣ツテサウシテ資金化シテ更ニ買ツテ又賣ルト云フコトヲ希望ナサル方モ相當アルコトハ御承知ノ通りデアリマス、倉敷、金利、品損ミト云フヤウナコトヲスルヨリモ、早ク賣ツテサウシテ資金化シテ更ニ買フト云フコトノ方ガ宜イ場合ガ相當アル、ソレカラ消費都市ニ於テキマシテハ御承知ノ通り相當商人ノ方ガ炭ガ手ニ入ラナカツタ、吾等ガ統制規則ヲ出シテ各縣ニ「リンク」シテ割當デタニ拘ラズ申上ゲテ買ヘナ

ス、隨ヒマシテ少イナガラ吾々ノ方ニ於キマシテ炭ヲ公定價格ヲ賣ルト云フコトニナリマスレバ、商人ノ方モ昨年ヨリモ營業ガ開滑ニ行クト云フコトニナリマス、却テ喜バレルト云フヤウニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○小車委員 何時マデ伺ツテモ同ジデアリマスカラ次ニ移リマスガ、瓦斯用木炭ノ問題、即チ此ノ會社ノ問題デアリマスガ、私ハ現下ノ動力燃料トシテ瓦斯用木炭ノ必要ナコトハ國策上已ムヲ得ナイト思ヒマスガ、出來得ル限リ斯ウ云フ據ドコロナイ仕事ハ一刻モ早ク止メタイコトデアル、ト言フノハ瓦斯用木炭ナリ一般木炭ノ爲ニ無理ヲシテ製炭量ヲ増加スルコトニナレバ山林ノ産伐ニナリ、産伐ハ將來水害ノ危險ヲ增加シ、國土保安ヲ危クスルモノデアリ、私共朝鮮、滿洲等ヘ行ツテ、日露戰爭當時カラ感ジテ居ルコトハ大木ヲ伐ツタ跡バカリ、昔ハ虎ガ任ンデ居タト云フヤウナ深山モ悉ク伐ラレテ、水害、旱魃ニ屢襲ハレルト云フ状態、日本ノヤウナ惠マレタ國土ガ遂ニハソレト同ジ状態ニナルヲ慮ルルノデアル、此ノ間モ淺井君ノ言ハレタ通り、物動計畫ニ於テモ十八年頃ニナレバ自動車ノ燃料モ自給自足ガ出來ルト云フヤウナ目標ガアルニ拘ラズ、此ノ際一千万圓ノ會社ヲ設立シテ瓦斯用木炭ヲ大イニ造ラウト云フコトハ、私ハ單ニ其ノ問題ノミニ止マラズ國家將來ノ爲ニ洵ニ容易ナラザル問題デアルト思フ、餘リニ輕率デアリ、又無定見デハナイイカト考ヘルガ其ノ點ニ付テ御説明ヲ願ヒタイ、尙ホ瓦斯用木炭ニ付テハ先刻小野君ガ申サレタヤウニ、今色々應用ノ過程ニアツテ、サウシテ木炭ノ製造様式モ色々アルヤウニ

開イテ居リマス、今「パテント」ヲ持つテキヲウシヤルノハ南君ガサウデアリマスケレドモ、南君ノ「パテント」ヨリモ現ニ私ノ縣デヤツテ居ル木炭式ノ方ガ實際ニ瓦斯用木炭トシテ自動車ニ於ケル「キヤパシチ」ガ非常ニ強イ、山林局長ハ先刻一歩進ンダモノガアレバソレヲ採用スル、決シテ南式ヲ以テ新會社ヲ統制スルト云フ譯デアリナイト云フコトデアリマスガ、併シ他ノモノハ何レモ出願中等ノ實情ニアルノデ、結局南式ヲ採用スルコトニナルノデハナイカ、私ノ聞ク所ニ依レバ木炭式ト南式トハ同ジ役所ノ官吏デアリナガラ忌ムベキ争ヲ起シテ居ル、木炭式ノ瓦斯用木炭ノ「パテント」認可ハ二月二十日ニ公告期間ガ過ギテ認可ニナルコトニナツテ居ツタサウデアリマス、其ノ日ニ南君ノ方カラ異議ノ申立ヲシテ、只今警事官ニナツテ居ルヤウデアリマス、斯ウ云フモノハ私ハ本當ニ國家ヲ憂ヒ、官吏トシテ、技術家トシテ精進サレルナラバ、其ノ各、良イ所ヲ採ツテオ互ニ話合ツテヤルコトガ本當デアリナイカ、斯ウ云フヤウナコトデ、現ニ争ヲ起シテ、訴訟ノ問題ガ現ハレテ居ルト云フヤウナコトハ、甚ダ忌ムベキコトデアリナイカト思フ、ソレナラズ、此ノ方法モ、南式ト申シマスノハ、私ノ聞イテ居ル所ニ依ルト製炭方法ノ一ツノ特許デアリ、片方ハ製炭方法ニ關シテ特許デアリ、片方ハ製炭方法ニ關シテ特許デアリ、其ノ二ツヲ出願シテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ兩者ノ状態ヲ比較シテ見ルト、相當遠ツテ居ル、詳シク此ノコトヲ申上ゲルト、私ガ代辯者ノヤウニナリマスガ、或ハ木炭式ヨリモツト良イモノガ現ハレルカモ知レナイ、民間ノソレニ依ツテ飯ヲ食フ者ナラバ宜イケレドモ、少クトモ官吏ト云

フモノガソレニ依ツテ争ツテ居ルト云フコトハ、甚ダ遺憾ナコトダト思フ、構造ノ方法ガ違ツテ居ツテ異議ノ申立ハ收レルノデハナイカト思フガ、ソレヲ言フト長クナリマスカラ申上ゲマセス、唯一日ニ言フト、南式ハ窯カラ炭ヲ引出シテ硫酸「アンモニア」ヲ掛ケテ炭ノ中ニ孔ヲ作ツテヤル、木炭式ハ窯ノ中ニ池ヲ作ツテソレニ水ヲ注込ンデ窯ノ中デ消火スル、窯外消火ト窯内消火トデ全然違ツテ居ル、專門家ニ聽イタノデスガ、窯内消火スル方ガ瓦斯用木炭トシテハ能率ガ良イト云フコトヲ言ツテ居ル、私ハ自分デ試驗ヲシテハナイガ、現ニ最近性能試驗ヲシテ、林業試驗場デモ試驗ヲヤツタシ、大學デモ試驗ヲヤツタ、「キヤパシチ」ニ對スル「カローリ」カラ言ヒマス、南式ハ七百八十九、木炭式ハ八百五十八デアリ、一酸化炭素ハ南式ハ二一%、木炭式ハ二五%デアルト云フヤウナコトヲ色々澤山私ハ聽イテ居リマスガ、兎ニ角サウ云フ風ニ發明シ若クハ改良サレルモノヲ悉ク採入レテヤツテ實ヒタイ、斯ウ云フコトデ特許權ヲ争ツテ居ル、ソレハ民間ノ業者同士ナラ宜イケレドモ、甚ダ忌ムベキコトデアリナイカト思フ、監督ノ任ニアラレル山林局ニ於テ餘程御考ニナル必要ガアルノデハナイカト云フヤウニ考ヘルノデアリマスガ、要スルニ瓦斯用木炭ト云フモノノ利用ニ付テハ、私ガ言フ通り、成ベクナラズウ云フモノハ拵ヘタクナイガ、拵ヘルナラ成ベク原料ヲ使ハナイシ、一日モ早ク斯ウ云フモノハ廣メタイ、ダカラ結論トシテハ斯ウ云フモノノ生産ノ能率ノ上ルモノハ成ベク獎勵シテヤラセ、石炭會社ナシカララズ

モ、サウシテ置ケバ自動車業者モドウシテモ自然之ヲ使フノデス、現ニ私共ノ縣デモ今自動車會社ガ兩方使ツテ居リマス、南式モ配給ヲ受ケテ居リマス、木炭式モ、自分ノ縣デ出來ルノデスカラ、是モ配給ヲ受ケテ居リマス、其ノ使ツタ結果ハ、木炭式ノ方ガ良イト云フコトヲ自動車ノ運轉手ガ言ツテ居リマスカラ、斯ウ云フヤウナ點ヲ比較シテ製炭ノ成績ノ比較表モアリマスガ、是モ御答辯ノ材料ニ一之ヲ讀ムト面倒デアリマスカラ、ソレヲニ差上ゲテ速記録ニ載セテ載キタイト思ヒマス、是ハ重大ナ問題デアリマスカラ局長ニ於テモ能ク御考慮下サイマシテ善處シテ實ヒタイ、私ハドウチカト云ツタラ、會社ナシカ作ルヨリ、政府ガモウ少シサウ云フモノヲ獎勵シテ行ケバ、自動車ニハドウシテモナクテハナラナイ原料デスカラ、會社ハアルト思ヒマス、特ニ斯ウ云フ會社ヲ作ツテヤル必要ハナイデハナイカト云フヤウニ私ハ考ヘテ居リマス、此ノ點ニ付テ尙ホ御意見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○田中政府委員 木炭ノ増産ト森林ノ荒廢ト云フヤウナ御話、而モ木炭デ自動車ノ動力カト云フヤウナ問題、大體ノ趣旨ハモウ同様デアリマス、出來得レバ不便ナ木炭ヨリモ「ガソリン」デ動力シテ實ヒタイノデアリマス

尙ホ木炭式ノ問題デアリマスガ、是ハ個人的ノ問題デアリマスカラ、特許局デ御裁斷ニナルコトト思ヒマス、吾々トシテ之ニ關スル方宜カラウト思フテ御速處ラ致シマス

○小車委員 マダ色々希望等モゴザイマスケレドモ、三十分ト云フ時間ヲ委員長カラ決メラレマシテ、丁度二十八分經チマシタ

カラ、是デ質問ヲ打切りマス

○小林委員 今淺井君カラ委員長ヲ通ジテ政府ニ是ダケノコトヲ聽イテ呉ルト云フコトデスカラ御尋致シマス、地方ニ於テ自家用木炭ヲ製造シタモノヲ消費地ノ親戚、知己ニ發送スルコトヲ認メル意思ハナイカ、若シ之ヲ認メルトナレバ、都會ニ於ケル木炭飢饉ハ餘程緩和サレルコトト思フ、政府ノ所見ハ如何、以上デアリマス

○田中政府委員 其ノ趣旨ハモウ全然賛成デアリマス、隨ヒマシテ吾々トシテハ贈答用ハ一荷口五俵未滿ノモノハ送レルヤウニト云フコトヲ地方廳ニハ指示シテ居ルノデアリマス、又自家製炭デアリマスレバ、自家製炭トシテハリ持ツテ來テ實ヒタイト云フ考ヲ以テ實ハ指導シテ居リマスガ、地方ニ於テソレノ考デ、勿論地方長官トシテ責任ガアル關係カラ致シマシテ、ソレソレノ立場デ御制限ニナツテ居リマスガ、吾々ハサウ云フ趣旨ニ於テ賛成デアリマス

○小林委員 地方廳ノ縣外移出禁止ト云フコトハ、獨リ木炭ダケデアリマセスケレドモ、近來非常ニ極端ナヤリ方ヲシテ居ルノデ、之ニ對シテ政府トシテハ、何カ之ヲ緩和スルトカ、之ニ對シテ善處スルコトニ付テ御考ハナイデセウカ、或ハ此ノ儘放ツテ置イテモ宜イト云フ御考デセウカ

○田中政府委員 今一口申落シマシタガ、今ノ「パテント」外ノ縣デアリマシテ、「パテント」内ハ出來ルダケ持つテ來テ實ヒタイト思フテ居ルノデアリマス、全然善處ハ考ヘテモ居ナイノデアリマス

○小車委員 先刻同フ時ニ殘シマシタガ、「パテント」ガソリン「節約」木炭ノ代リニ今「アセチレン」瓦斯即チ「カーバイド」ヲ利用

スル、此ノ「カーバイド」モ今非常ナ減産ニナツテ居リマスケレドモ、是ハ石炭ト電氣ト石灰等内地ノ原料デ出來ルノデスガ、斯ウ云フモノヤ、此ノ間ドナカ御質問ニナツテ居リマシタ天然瓦斯ノ利用ト云フヤウナコトモ農林省ノ考デアリマセスケレドモ、少クトモ瓦斯用ノ木炭五千万貫ヲ三千万貫ニ減シ、二千万貫ニ減ス程宜イノデスカラ、斯ウ云フモノニ對シテ相當ナ關心ヲ持タレルコトガ必要ダト思フ、此ノ點ニ對シテ御意見ヲ伺ヒタイト思フ

○田中政府委員 吾々ハ非常ニ賛成デアリマシテ、例ヘバ御話ノ天然瓦斯ヲ使フモノガ出タト云フコトヲ聞キマシテ、其ノ發達ノ模様ヲ斷ズ聽イテ居ルヤウナ工合デアリマシテ、出來ルダケサウ云フモノガ出テ來マシテ、木炭ノ方面ノ負擔ガ輕クナルヤウニト念願ヲシテ居ルノデアリマス

○小林委員 ソレカラモウ一二點御尋致シタイデスガ、政府ノ持つテ居ル木炭ヲ流スニ付テハ、消費地ノ問題ニ向ツテ流スノダト云フ御答辯ガアツタノデアリマセケレドモ、其ノ點ヲモツトハツキリシテ置キタイト思フ、ハ、産業組合ヲ統制シテ、政府ガ専ラ流スト云フヤウナ考ヲ持つテ居ルノデハアルマイカト云フヤウナ心配ガ相當ニアルヤウデアリマスカラ、或ハ業者ノ間ニ組合デモ作ツテ、サウシテソレニ對シテ政府ガ流スト云フヤウナ方法デモ考ヘテ居ラレルカドウカ、併シナガラ從來産業組合ニ對シテ動イテ居ツタモノヲ、其ノ機構ヲスツカリ止メテシマフト云フ譯ニハ勿論行キマスマイガ、ソコラ「アセチレン」スルニ付テ衝突ガ起ラヌヤウナ、摩擦ガ起ラヌヤウナ方法ヲ政府ハ御考ニナツタ宜カラウ

ト思ヒマスガ、其ノ點ドウデスカ

○田中政府委員 産業組合ヲ通シテ流スト云フ考ハナイノデアリマス、再々申上ゲマシタヤウニ、問題小賣ガ相當リマスガ、稀ニ大口需要者ノ希望ガアリマスレバ、ソレニ炭ヲ賣ルト云フ考モ初メカラ申上ゲテ居ル通りデアリマス

○小林委員 産業組合ノ炭ノ値段ト業者ノ炭ノ値段ニ違ヒガアルト云フコトデスガ、其ノ點ハ將來ドウナリマセウカ

○田中政府委員 御話ハ委託販賣ニ付テノ産業組合ノ價值ノ問題デアリマスガ、政府ガ買フ場合ニ於キマシテハ商人ノ炭、産業組合ノ炭、共ニ平等ノ値ヲ買フ譯デアリマ

○淺井委員 簡單ニ一點ダケ伺ヒマス、日本瓦斯用木炭株式會社ノ第九條ニ「日本瓦斯用木炭株式會社ハ左ノ事業ヲ營ムモノトス」トアリマス中デ、第四項「前三號ノ事業ニ附帶スル事業」第五項「其ノ他本會社ノ目的達成上必要ナル事業」此ノ二ツノ事業ハドンナモノヲスル御考デアリマスカ

○田中政府委員 例ヘバソレハ御承知ノ通り瓦斯用木炭ニ付テハ紙袋モ要ル譯デアリマス、紙袋ノ購入費ヲスルト云フヤウナ仕事、ソレカラ試驗研究デアリマストカ云フヤウナ仕事、ソレカラ蒸化器ノ配給、斯ナル譯デアリマス、御心配ノ點ハ廣ク何デモヤルノチヤナイカト云フ御心配チヤナイカト思ヒマスガ、サウ云フコトハ考ヘテ居ラス、ヤハリ法律ノ解釋トシテハ御承知ノ通り附帶事業ト云フコトデ、ソレカラ目的達成上必要ト云フコトハ、此ノ會社ノ存在目的ガ瓦斯用木炭ノ買入、販賣ト云フコトデ

アリマスカラ、ソレニ即シタ仕事、斯ウ云フコトニナル譯デアリマス

○淺井委員 只今御説明ノ中ニ一寸出タヤウデアリマスガ、蒸化用ノ所謂瓦斯ノ發生器モ販賣費旋ニ入ル譯デスカ

○田中政府委員 發生爐ノ方デアリマセウ、噴霧器トカサウ云フヤウナモノデスガ、中ニハ當業者ノ中デ既ニ瓦斯發生爐マデモ此ノ會社ガ販賣スルノデハナカラウカト云フヤウニ非常ニ懸念ヲシテ居ル者ガアルノデアリマス、是ナドハ私共ノ耳ニ入リマスル所デハ、當業者ノ方デ非常ナ心配ヲシタリ、或ハ誤解ヲ持つタリ、或ハ中ニハ邪推ヲシテ居ルヤウナ位ニマデ考ヘテ居ルノデアリマシテ、此ノ前三號ノ事業ニ附帶スル事業、斯ウ云フノダカラ木炭自動車ニ關係ヲ持チマスル有ルモノヲ全部此ノ會社ガ一手ニ引受ケテ、製造モスルガ、又ソレ等ノ取次販賣、有ル轉輸ト云フコトヲセラレタナレバ、此ノ瓦斯用ノ木炭ヲ製造スルバカリデナク、所謂此ノ會社ニ依ツテ其ノ他ノ副次的ノ事業ヲ造カニ本來ノ目的以上ノ事業ヲセラレタナラバ、他ノ營業ニマデ支障ヲ來シテ來ルノダト云フヤウニ實ハ心配ヲシテ居ル、當業者ノ御話ヲ聽イタノデアリマスカラ、左様ナコトガナイト云フコトデアリマスレバ結構デアリマス

○田中政府委員 發生爐ノ製造、配給ト云フヤウナコトハ致シマセウコトヲハツキリ申上ゲテ置キマス

○小林委員 ソレデハ暫時休職致シマス、午後一時カラ開會致シマス、午後零時六分休憩

取引ノナイ所ニ「リンク」スルヤウナ形ニ
 ナツテ居ルカラ其ノ工合ガ悪イノデアリマ
 ス、ソコデアレハ從來ノ取引ノアツタ所ニ
 「リンク」スルト云フヤウニ改メテ御考ガア
 リマスカドウカ、其ノ點ヲ伺ヒマス。

○田中政府委員 買割等ノ問題ニ付テハ吾
 吾モ心配シテ居リマス、實ハ是ダケノ
 施設ヲシテ政府ガヤツテ呉レルノダト云フ
 安心ヲ與ヘマスレバ、其ノ買割モ非常ニ少
 タナツテ行クト云フヤウニ考ヘテ居リマス、
 買割ガ全然行ハレズニ消費節約ガ旨ク行ク
 トスレバ足りナイナガラモソレ程不安モナ
 イデセウガ、放ツテ置クト不安ガアルヤウ
 ニ昨年ノ經驗カラ見マス、サウ云フ關
 係ガアリマスカラ政府デ買割ヲ賣ルト云フ
 コトニナリマスレバ相當ノ安心ヲ與ヘル、
 スウ云フ風ニ思ヒマス、今「リンク」ノ問
 題ハ吾等トシテハ遊デアリマシテ、從來ノ
 取引系統ヲ基礎ト致シマシテ極ク一小部分
 ニ輸送力ノ關係其ノ他ノ關係カラ「リンク」
 ヲ認メタト云フ譯デアリマシテ、殆ト大部
 分ハ從來ノ取引系統ヲ迪ツテ「リンク」ヲシ
 タト云フ譯デアリマス。

○長野委員 次ニハ木炭ノ公定價格ノ問題
 デアリマスガ、是ハ自分ノ縣ノ相場ヲ例ニ
 取ルコトハ甚ダ悪イデスケレドモ、私ノ縣
 ノコトヲ知ツテ居リマスカラ其ノ例ヲ舉ゲ
 テ質問ヲシタイト考ヘルノデアリマス、大
 體關西ノ方ニ於キマシテハ土佐ノ木炭、大
 分縣ノ佐伯木炭ト云フモノガ一番大阪ヲ中
 心ニシテ市場デ名ガ高イ良イ炭ナンデス、
 ソコデ此ノ佐伯炭ト稱スル即チ大分縣カラ
 産スル炭ト云フモノハ、大體大阪ノ市場ニ
 於テ土佐ト一ニ争ツテ居ルノデアルカラ
 公定價格ヲ決メル上ニ於テモヤハリ從來ノ

取引ヲシテ居ツタコトガ其ノ儘現ハレテ行
 カナケレバナラヌデアラウト私ハ考ヘルノ
 デアリマス、所ガ之ヲ調ベテ見マスト第一
 回ノ公定價格ヲ取ツタ時分ニ大分縣産ノ樺
 小丸ハ二圓六十二錢デアリマシテ、ソレカ
 ラ隣リノ縣ノ宮崎縣産ハ二圓六十二錢同
 ジ格デス、ソレカラ樺ノ細丸ガ大分ノハ二
 圓七錢、隣リノ宮崎モ二圓七錢、樺ノ割ッ
 タモノハ大分縣ガ二圓三十七錢、宮崎ガ二
 圓三十七錢、樺ノ荒ハ大分縣ガ二圓九十七
 錢、宮崎縣ガ二圓二錢、五錢ダケ宮崎縣ガ
 高カウツ、ソレカラ樺ノ小丸ハ大分縣ガ一
 圓九十七錢、宮崎縣ガ一圓九十七錢、今度
 ハ樺ノ荒デス、是ハ大分縣ガ一圓六十七錢
 デ宮崎縣ガ一圓七十二錢、宮崎縣ガ五錢
 ダケ高カウツ、是ガ第一回ノ公定價格デア
 ル、所ガ第三次ノ公定價格表ニ依リマスト
 大變茲ニ差ガ現ハレテ來テ居ル、大分縣ノ
 樺小丸ト云フモノハ二圓八十二錢、宮崎縣
 ハ二圓九十五錢、十三錢ノ差ガ出來テ居ル、
 ソレカラ樺細丸ハ大分ガ二圓六錢、宮崎縣
 ガ二圓四十四錢、三十四錢宮崎縣ガ高クナツ
 テ居ル、ソレカラ樺ノ割ッハ大分縣ガ二圓
 五十七錢、宮崎縣ガ二圓七十錢、十三錢ノ
 開キ、ソレカラ樺ノ荒ハ大分縣ガ二圓二
 錢、宮崎縣ガ二圓五十三錢、是ハ五十一錢
 ノ開キガ出來テ居ル、ソレカラ樺小丸大分
 縣ガ二圓十六錢、宮崎縣ガ二圓三十二錢、十
 六錢ノソコニ開キガ出來テ居ル、ソレカラ
 樺ノ荒デス、是ハ大分縣ガ一圓八十一錢、
 宮崎縣ガ二圓四錢トナツテ二十三錢ノ開キ
 ガ出來テ居ル、ソレカラ樺ノヨミガ大分縣
 ガ二圓六十四錢、宮崎縣ガ二圓七十六錢、
 十二錢ノ開キガ出來テ居ル、樺ノヨミガ
 大分縣ガ一圓九十六錢、宮崎縣ガ二圓十六

錢、二十錢ノ開キガ出來テ參ツタノデアリ
 マス、大分縣ト宮崎縣ト云フモノハ最初ハ
 此ノ二ツノ種類ニ付テ五錢、即チ樺ノ荒ト
 樺ノ荒ニ付テ五錢ダケ宮崎縣ノ方ガ高カウ
 タノガ、第三回ノ公定價格ニ付テハ斯ウ云
 フ開キガ出來テ居ル、ソレカラ長崎縣ト之
 ヲ比較シテ見マス、樺ノ小丸ガ大分縣ハ
 第一回ノ公定價格ノ時分ニハ二圓六十二錢
 長崎縣ハ二圓十五錢、大分縣ガ四十七錢高
 カウツ、ソレカラ樺ノ細丸、大分縣ガ二圓
 七錢、長崎縣ガ一圓八十五錢、大分縣ガ二
 圓十二錢高カウツ、ソレカラ樺ノ割、大分縣
 ガ二圓三十七錢、長崎縣ガ一圓九十五錢、
 アツタ、樺ノ荒ハ大分縣ガ四十五錢、長崎
 ソレカラ樺ノ荒ハ大分縣ガ一圓九十七錢、
 長崎縣ガ一圓七十五錢、二十二錢大分縣ガ
 高カウツ、樺ノ小丸、大分縣ガ一圓九十七
 錢、長崎縣ガ一圓八十五錢、大分縣ガ十二
 錢、長崎縣ガ一圓八十五錢、大分縣ガ十二
 錢、長崎縣ガ一圓八十七錢、五錢アベコベ
 二大分縣ガ高カウツ、ソコデスカラ差引五
 十二錢、長崎縣ノモノガ高クナツテ來タ、
 斯ウ云フコトニナル、樺ノ細丸ハ大分縣ハ
 二圓六錢、長崎縣ハ二圓六十錢、第一回ノ
 時分ニハ大分縣ハ二圓六十錢、第一回ノ
 第三回ニハ五十四錢安クナツタ、ソレダカ
 ラ差引スルト七十六錢ノ差ガ出來ル、餘リ
 是ハ酷イト思フ、ソレカラ樺ノ割、大分縣
 ガ二圓五十八錢、長崎縣ガ二圓四十六錢、是
 モ大分縣ガ第一回ハ四十二錢高カウツノガ
 僅ニ十二錢ノ差ニナツタ、更ニ樺ノ荒、大
 分縣ハ二圓二錢、長崎縣ハ二圓三十錢、是

第三回目ニ中央ガ決メタ、斯ウ云フコトニ
 ナツテ居リマシテ、一回二回ノ價格ニ付テ
 ハ實ハ中央ハ關與シテ居ナイノデアリマス、
 併シ御話ノ點ニ付キマシテハ或ハ縣内一圓
 ニ決メタ關係上佐伯ノ炭ガ比較的關却サレ
 タト云フコトモ或ハアルカモ知レマセス、
 調査ヲ致シマシテ、今後問題ニナリマシタ
 ラ研究シタイト思ヒマス。

○長野委員 是ハ唯大分縣ノ例ダケデアリ
 マスガ、公定價格ヲ上ゲラレタ府縣ハ非常
 ニ幸デアリマスガ、公定價格ヲ低下サレタ
 府縣ニナリマス、中々容易ナコトデハナ
 イノデアリマス、ソコデ此ノ公定價格ハ最
 近ニ改メルノ意思アリヤ否ヤ、此ノ點ニ付
 テ一ツ伺ヒマス。

○田中政府委員 公定價格ヲ改メルカドウ
 カト云フコトニ付テハ、茲デ明言出來ナイ
 ノデアリマスガ、昨日ノ懇談會デモ御話ヲ
 致シマシタ通りノ考ヘ方デ進ンデ行キタイ
 ト思ツテ居リマス、御諒承ヲ願ヒタイト思
 ヒマス。

○長野委員 篤ト此ノ問題ニ付テハ一ツ御
 考慮ヲ願ヒマス、次ニ日本瓦斯用木炭株式
 會社法案ニ付テ少シ御質問申上ゲタイノデ
 アリマスガ、高橋サンガ特ニ御希望ガアリ
 マスノデ、私ハ此ノ程度ニシテ高橋サンニ
 御諒ヲ致シマス、唯大臣ガ出マシタ時分ニ
 少シ御諒シテ見タイコトガアリマスカラ、
 其ノ點ダケ保留致シテ置キマス。

○高橋委員 私ハ大消費地ト稱スベキ東
 京ノ現狀、而モ凄慘ナ現狀ト云フモノニ即
 シテノ御諒ヲ申上ゲタイ、昨日ノ懇談會ノ
 席上ニモ如何ニ此ノ寒風ニ曝ラレツツ、防
 寒ノ設備ニ困ジ、木炭ノ配給ノ缺乏ニ泣
 キ、忍ビ難キヲ忍ンデ居ツタ幾多ノ同胞ガ

アルト云フコトニ付テハ、或ル程度マデ御
 述ニナラレマシタカラ、私カラハ多クノ實
 例ヲ申上ゲルコトヲ此ノ場合致シタクナイ
 ノデアリマスガ、兎ニ角茲ニ二三ノ實例ヲ舉
 ゲテ、其ノ基調ニ基キテ御諒ヲ申上ゲタイ
 寒サハ寡ル、木炭ハナイ、結局病氣ニ
 ナル、入院ヲ申出テモ病院デハ木炭御持參
 デナケレバ入院セシメナイト言フノデス、
 御當局ハサウ云フコトマデ御慰ニナツテ居
 ルカドウカ分リマセヌガ、子供ガ肺炎ニ罹リ
 マシタ、ソコデ共同購入ニ依ル配給ヲ致サ
 シマシタガ、御承知ノ如ク町會ハ群ヲ單
 位トシテノサウシテ取扱ヲ致シテ居リマス、
 ソコデ子供ノ肺炎ニ泣キ悲シク居ル家庭ノ
 悲惨ナ狀況ヲ見ルニ忍ビナイ爲、抽籤券ヲ
 隣友ガ讓渡致シマシテ、漸ク其ノ悲惨ナ家
 庭ニ若干ノ木炭ガ集マルコトガ出來タ、其
 ノ木炭ノ集ツタ時ハ既ニ愛シク吾ガ兒ハ
 他界ヲシテ居ツタト云フ實例ガアルデス、
 或ル炭屋ハ夜半ニ戸ヲ叩イテ何事カ求ム
 ル者ガアツタ、起上ツテ聞クト、子供ノ肺
 炎デ困ツテ居ル、湯氣ヲ立テナケレバナラ
 スガ、煉炭デハ到底駄目、御醫者カラハ
 湯氣ヲ立テテコトノ治療ヲ爲セト命ゼラレ
 テ居ル、其ノ木炭ノ缺乏ニ困ツテ居ルガ何
 トカシテ呉レト云フ悲願ヲ叫ビデアツタト
 云フコトデアリマス、已ムヲ得マセヌカラ、
 炭屋ニ販賣スベキ炭ハナイノデ、炭箱ヲ傾
 ケテ炭ヲ與ヘテヤツタト云フコトデス、
 後ニ御禮ノ金ヲ持ツテ來タ、其ノ御禮ノ金
 ノオ釣スラモ貰ツテ歸ルコトヲ忘レル程
 血眼ニナツテ居ツタト云フコトデアリマス、
 最モ考ヘナケレバナラヌコトハ、瓦斯ヲ引
 イテ居ラナイ家庭デアリマス、御飯ガ炊ケ
 ナイ、三日モ四日モ御飯ヲ炊クコトガ出來

ズニ、自分ノ可愛イ子供ニハ飯屋カラ御飯
 ヲ買ウテ來テ三合ハセト云フコトデア
 リマス、サウシテ僅ニ親類カラ送ラレタ少
 量ノ炭ヲ風呂敷ニ包ンデ一時ヲ糊塗シタ、
 サウシタ眞ニ涙ヲ以テ考ヘテヤラナケレバ
 ナラナイヤウナ木炭飢饉ノ不氣味ノドソ底
 ニ置カレタ、是ハ主トシテ東京市デス、此
 ノ東京市ヲ基調トシテ私ハ御諒スルノデア
 リマスガ、一體御當局ハ斯ウシタ悲惨ナ狀
 況ニ置イテ置カナケレバナラナカウツタト云
 フ其ノ禍根ハ何處ニアルカ、ドウ云フ點ニ
 其ノ事情ト云フモノガアツタノカト云フコ
 トヲ、御當局ノ見ルアラン限リノ事項ニ互
 ツテ先ツ御諒ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス
 付テ御話申上ゲタノデアリマスガ、需給ノ
 均衡ヲ得テ居ナカウツタト云フコト、縣ニ於
 テ移出ノ制限ヲシタト云フヤウナコト、輸
 送力ニ付テモ中々容易デナカウツタト云フヤ
 ウナコト等色々ナ事情ガ幅濶致シマシテ、
 東京市ニ於ケル配給ガ困難デナカウツタノデ
 アリマス、御話ノヤウナ實ニ氣ノ毒ナ狀態
 ガ起リマシタノデ、吾等トシテモ已ムヲ得
 ズ木炭配給規制規則ヲ出シテ、サウシテ各
 縣ニ向ツテ出來ルダケノ指導員ヲ派シテ其
 ノ移出ノ勸奨スルト云フヤウナコトヲヤツ
 タ譯デアリマスガ、辛ウシテ二月ニ於キ
 マシテハ昨年ノ同期ヨリモ多ク木炭ガ
 入ツタノデアリマス、サウ云フ御話ノヤウ
 ナ經驗ニ基キテ、來年又再ビ斯ウ云フコト
 ガ繰返サレルト云フコトニナリマス、サ
 吾等トシテハ實ニ遺憾デアリマス、サ
 ウスレ爲ニハ吾等ノ手ニ付カナイカト云フ
 トドウモ人頼リニ色々御諒シタリ努力シタ
 リ致シマシテモ追ツ付カナイノデアリマス、

○田中政府委員 相當増産ヲ致シマシタケ
 レドモ、其ノ増産ガ此ノ前カラ申上ゲマシ
 タヤウニ吾等ノ計畫通りニ參ツテ居ナイト
 云フコトモ一ツデアリマスガ、他方ニ於テ
 御承知ノ通りノ石炭ノ規正ガ非常ニ大キク
 來、不幸ニシテ昨年ノ十月ニハ東京市デハ
 瓦斯ノ消費節約ガ各戸毎ニナシテト云フ
 ヤウナコト、サウ云フ關係ニ於ケル需要増
 ソレカラ鑛工業用ノ木炭ノ需要増、瓦斯用

木炭ノ需要増ト云フヤウナ需要方面ニ於ケル増加ガ吾々ノ豫想以上ニ參ツクト云フコト、斯ウ云フコトガ大キナ原因ノヤウニ考ヘテ居リマス

○高橋委員 既ニ是ハ燃料關係ハ御當局トシテハ相當遠大トマデハ行カスデモ、一年、半年ノ見透シヲ爲シタ上ニ之ヲ善處スルダケノ經驗ヲ御持チニナツテ居ラナレバナラナイト思フ、然ルニ只今豫想外ノ需要ノ増加ガアツタカラト云フコトヲ甚ダ受取レナイ御言葉デアルト思フノデス、ソコニ甚ダ御無禮デアリマスケレドモ、官僚ノ御考ト實行ガ常ニ伴ハナイト云フコトヲヤハリ吾々ヲシテマザクト感ゼシメラレルノデアリマス、現ニ東京府ニ於ケル配給協議會ノ共同購入デス、是ガ師走ノ空ノ最モ木炭ノ消費階級ノ渴望シテ居ル大事ナ十二月三十一日、正月ダケノ需要ヲ滿ス爲ニナンド最少限度二万俵ハ要ルンダト云フ所ニ與ヘタモノ僅ニ六千俵、ヤハリ塞キノ眞中ノ一月十九日僅ニ一万二千俵ホカ與ヘテ居ラナイ、況ンヤ二月、三月ノ百万俵計畫ニ對シテハ十六万五千俵、十二万俵、是ダケノ供給ホカ爲シテ居ナイ、斯ウ云フヤウナ實情デハ市民生活ト云フモノハ到底耐ヘ得ルモノデヤナイノデス、聞ク所ニ依レバ一部配給ヲシテ、相當茲ニ殘リヲ置イテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、是ハ單ニ仄聞デアリマスカラ、御當局ニ於テ此ノ點御承知ニナツテ居ルカドウカ、其ノ點ヲ承ツテ見タイ、殘リガ有ルカ無イカ、有ルトスレバドレダケ有ルカ、有ルモノハドウ云フヤウニナサレ御方針デアルカ

○田中政府委員 今ノ御話ハ東京府ノヤウタ計畫ニ付テマデ私共深ク關與シテナイノデアリマス、隨ヒマシテ其ノ殘リガドノ位アツテ、ドウスルカト云フコトニ付テハ私ノ方デハ一寸申上登ホマス

○高橋委員 只今マデノ御答辯ヲ承ツテ、私ハ政府ニ對シテ遺憾ノ意ヲ表シ、且ツ眞ニ眞劍ニ今後ノ經驗ノ上ニ實現サシテ鐵キタイト思フコトハ、目前ダケノ机上ノ整理ト云フコトダケデナシニ、本當ニ一年、半年ハ勿論、何年モノ出來得ルダケノ最大限度ノ見透シヲ付ケテ木炭對策ト云フコトヲ講ジテ貰ヒタイト云フコトガ、ソレカラ吾々ノ最モ寒心ニ堪ヘナイコトハ、各府縣群雜割據主義、封建政治主義ト云フコトノ儘ニ放任シテ置ク現在ノ政府ノ態度ニ私共ハ憤ラザルモノガアル、現ニ是ハ東京府デスカラアナタ方ノ管下デセウ、其ノ東京府ノヤウテ居ルコトガドウナツテ居ルカ分ラヌト云フコトデアレバ、吾々ハ實ニ心細イ限リデス、モウ少シドウデスカ、主務官廳トシテ地方ニ對シテ十分ノ御調ヲ統制ト云フモノヲ充實セシムル御氣持ハナイノデスカ、其ノ點何ツテ置キタイ

○田中政府委員 實ハ本炭問題ニ付キマシテハ、農林省トシテハ相當全國的デアリマシタケレドモ、特ニ大人口ヲ擁シテ居ル東京市ト云フモノニ付テ、殊ニ政治ノ中心都市デアリマスシ、又窮迫狀況ガ非常ニ大キカウツト云フコトカラ致シマシテ、東京府ヲ中心ニ相當木炭對策ヲ吾々ノ手ノ届ク範圍ニ於テハナツタノデアリマス、サウシテ東京府ニ炭ガ流レテ來ルト云フコトヲ極力ヤウツデアリマス、其ノ流レテ來タ炭ニ付テハ東京府デ相當ナリ願ハナイト、細カク吾々ノ足ヲナイ手デヤルト云フコトモ

○高橋委員 大體根本ノ趣旨ハサウ云フ趣旨デアリマス

○高橋委員 次イデ私ハ「リンク」制ノ是正ト云フコトニ付テ政府ノ御考ヲ明確ニ伺ツテ置キタイトデスガ、先程取引ノ傳統ヲ中心ニシテ「リンク」制ヲ布イタ、斯ウ御述ニナツテ居ラレルノヲ、他ノ委員カラノ御尋ニ對スル御答辯トシテ承リマシタ、私ハサウデハナイ實例ヲ持ツテ居ル、ソレハ鹿兒島、宮崎デス、鹿兒島、宮崎ハ數百萬俵ヲ年額トシテ東京ヘ移出致シテ居リマス、サウシテ其ノ炭質、關西ノ炭ト東京ニ於テ使用スル炭ノ質ガ違フ、一ハ白炭、一ハ黒炭、所ガ是ガ東京ニ「リンク」セラレザル爲ニ東京向ノ炭ト云フモノハ滯留シテ殘ツテ居ルコトヲ私ハ見聞シテ居ル、ソレカラ千葉縣ニ於ケル松炭、此ノ松炭ハ東京ニ於テ御承知ノ通り、工業用、特ニ銀冶用ニ使用シテ居ルト思ツテ居リマス、所ガ是ガ「リンク」セラレテ居ラナイ、僅ニ千葉縣ハ自動車用ノ炭ダケガ「リンク」セラレテ居ルト思フ、私ノ乏シキ取調ヲ以テモ局長サンノ御述ニナツタ御答辯ノ例外ヲ爲スモノハソレダケアル、モツト精密ナ調査ヲシテ私ハモツト多イト思フ、一體「リンク」制ニ對スル是正ノ御考ガアリマセウカ、アルトスレバ如何ニ是正スベキカト云フコトニ付テノ具體案ヲ明確ニ伺ツテ置キタイ

○田中政府委員 御話マデモナク、外ニモ例ヘバ兵庫縣ノ瓦前餅ヲ燒クニハ和歌山縣ノ炭ガ宜イトカ、京都ノ八ツ橋ニハ和歌山縣ノ炭ガ宜イトカ、色々特殊ノ用途ニ付テノ要求ハアルノデアリマス、併シサウ特殊ノ用途ニ付テ考慮ヲシテ居マス、中々主旨

○高橋委員 只今マデノ御答辯ヲ承ツテ、私ハ政府ニ對シテ遺憾ノ意ヲ表シ、且ツ眞ニ眞劍ニ今後ノ經驗ノ上ニ實現サシテ鐵キタイト思フコトハ、目前ダケノ机上ノ整理ト云フコトダケデナシニ、本當ニ一年、半年ハ勿論、何年モノ出來得ルダケノ最大限度ノ見透シヲ付ケテ木炭對策ト云フコトヲ講ジテ貰ヒタイト云フコトガ、ソレカラ吾々ノ最モ寒心ニ堪ヘナイコトハ、各府縣群雜割據主義、封建政治主義ト云フコトノ儘ニ放任シテ置ク現在ノ政府ノ態度ニ私共ハ憤ラザルモノガアル、現ニ是ハ東京府デスカラアナタ方ノ管下デセウ、其ノ東京府ノヤウテ居ルコトガドウナツテ居ルカ分ラヌト云フコトデアレバ、吾々ハ實ニ心細イ限リデス、モウ少シドウデスカ、主務官廳トシテ地方ニ對シテ十分ノ御調ヲ統制ト云フモノヲ充實セシムル御氣持ハナイノデスカ、其ノ點何ツテ置キタイ

○田中政府委員 實ハ本炭問題ニ付キマシテハ、農林省トシテハ相當全國的デアリマシタケレドモ、特ニ大人口ヲ擁シテ居ル東京市ト云フモノニ付テ、殊ニ政治ノ中心都市デアリマスシ、又窮迫狀況ガ非常ニ大キカウツト云フコトカラ致シマシテ、東京府ヲ中心ニ相當木炭對策ヲ吾々ノ手ノ届ク範圍ニ於テハナツタノデアリマス、サウシテ東京府ニ炭ガ流レテ來ルト云フコトヲ極力ヤウツデアリマス、其ノ流レテ來タ炭ニ付テハ東京府デ相當ナリ願ハナイト、細カク吾々ノ足ヲナイ手デヤルト云フコトモ

○高橋委員 只今マデノ御答辯ヲ承ツテ、私ハ政府ニ對シテ遺憾ノ意ヲ表シ、且ツ眞ニ眞劍ニ今後ノ經驗ノ上ニ實現サシテ鐵キタイト思フコトハ、目前ダケノ机上ノ整理ト云フコトダケデナシニ、本當ニ一年、半年ハ勿論、何年モノ出來得ルダケノ最大限度ノ見透シヲ付ケテ木炭對策ト云フコトヲ講ジテ貰ヒタイト云フコトガ、ソレカラ吾々ノ最モ寒心ニ堪ヘナイコトハ、各府縣群雜割據主義、封建政治主義ト云フコトノ儘ニ放任シテ置ク現在ノ政府ノ態度ニ私共ハ憤ラザルモノガアル、現ニ是ハ東京府デスカラアナタ方ノ管下デセウ、其ノ東京府ノヤウテ居ルコトガドウナツテ居ルカ分ラヌト云フコトデアレバ、吾々ハ實ニ心細イ限リデス、モウ少シドウデスカ、主務官廳トシテ地方ニ對シテ十分ノ御調ヲ統制ト云フモノヲ充實セシムル御氣持ハナイノデスカ、其ノ點何ツテ置キタイ

○田中政府委員 實ハ本炭問題ニ付キマシテハ、農林省トシテハ相當全國的デアリマシタケレドモ、特ニ大人口ヲ擁シテ居ル東京市ト云フモノニ付テ、殊ニ政治ノ中心都市デアリマスシ、又窮迫狀況ガ非常ニ大キカウツト云フコトカラ致シマシテ、東京府ヲ中心ニ相當木炭對策ヲ吾々ノ手ノ届ク範圍ニ於テハナツタノデアリマス、サウシテ東京府ニ炭ガ流レテ來ルト云フコトヲ極力ヤウツデアリマス、其ノ流レテ來タ炭ニ付テハ東京府デ相當ナリ願ハナイト、細カク吾々ノ足ヲナイ手デヤルト云フコトモ

○田中政府委員 東京市ニ對スル入荷關係ハ實ハ此處ニモ表ヲ持ツテ居リマスガ、昨年ノ十二月以來毎日東京市ノ入荷ノ炭ヲ毎日取ツテ、サウシテ是ト實ハ首引シテ配合ツクシテ來タヤウナ狀態デアリマス、御承知ノ通りヒタイト思ヒマス、隨テ各縣ノ移出ニ付キマシテハ、出來ルダケ之ヲ緩和シタイト云フコト、内務省方面トモ連絡ヲ取ツテヤウテ來ウアルノデアリマスガ、今後ニ於キマシテモ出來ルダケ此ノ移出制限ニ付キマシテハ緩和シテ貰ハナレバ吾々トシテモ實ニヤリコトイ、隨ヒマシテ若シ政府デ或ル程度炭ガ買ヘマシテ、相當配給ガ出來ルト云フコトニナリマスレバ、縣トシテモ相當緩和シテ行クノデハナイカ、吾々トシテモ緩和スルニ付テノヤリ方モアルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス

○高橋委員 其ノ緩和ノ具體案ヲ今持合セナラ御發表願ヒタイ

○田中政府委員 此ノ制度ヲ御協議願ヒマシテ、サウシテ其ノ運用ニ從ツテ順次緩和シテ行キタイト思ヒマス、尙ホ色々「リンク」制ノ問題ニ付キマシテハ御意見ガアルノデアリマスガ、兎ニ角何ハ差置イテモ縣カラ炭ヲ出シテ賣フト云フコトガ先デアリマスカラ、手ノ届ク限リ各地方ニ人ヲ派シテ、サウシテ各地方當局共相談ヲシテ、其ノ緩和方ヲ圖リタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○高橋委員 其ノ「リンク」制ニ付キマシテハ私共御力意見ガアリマスガ、其ノ緩和策ノ具體案ト云フモノガマダナイノデスカ、唯ドウニカ緩和策ヲ執リタイト云フ抽象的ノ御考ニ過ギナイノデスカ、其ノ點何ツテ置キタイ

○田中政府委員 要ハ制度トシテハ出ルヤウニナツテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、唯實際出シテ呉レルカ、許可ノ問題ガ問題デアルダケデアリマスカラ、各地方當局ニ相談シテ、コウチノ出シテ貰ヒタイト數量ニ付テ出スヤウニ御協力ヲ願フト云フコトヲヤリタイト思ツテ居リマス

○高橋委員 其ノ點ガ特ニ消費地ガ非常ニ心配ナシナンデスガ、唯御相談ツクデ出シテ貰フヤウニナリタイト、是ダケノコトナンデスナ、ソレデハ大變同ジコトヲ繰返スナ

○田中政府委員 要ハ制度トシテハ出ルヤウニナツテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、唯實際出シテ呉レルカ、許可ノ問題ガ問題デアルダケデアリマスカラ、各地方當局ニ相談シテ、コウチノ出シテ貰ヒタイト數量ニ付テ出スヤウニ御協力ヲ願フト云フコトヲヤリタイト思ツテ居リマス

○高橋委員 其ノ點ガ特ニ消費地ガ非常ニ心配ナシナンデスガ、唯御相談ツクデ出シテ貰フヤウニナリタイト、是ダケノコトナンデスナ、ソレデハ大變同ジコトヲ繰返スナ

ウニナリマスガ……

○田中政府委員 大體根本ノ趣旨ハサウ云フ趣旨デアリマス

○高橋委員 輸送力ノ關係上理想通りニハ行カナカウツト云フコトノ趣ノ御答辯ハ一應承致シマスガ、輸送力ト配合セテ今後展開セラルベキ途ガアレバ、需要地ト炭質トノ振分トヲ適切ニ「リンク」制ノ是正ヲスルト云フコトニハ政府ハ御異議ハナイノデスカ

○田中政府委員 必ズシモ此ノ需要期ニ於ケル「リンク」制ニ固執スル必要ハナイノデアリマスカラ、不審要期ニ付テハ不審要期トシテノ調査研究ニ依ツテ考ヘルコトガアルカモ知レヌト思ヒマス

○高田委員 一寸今ニ關聯シテデスガ、今「リンク」制ノ必要ニ付テハ色々ヤカマシイ問題ガ出テ居ルガ、今度若シ此ノ法律ガ此ノ通り施行サレルカ或ハ分量トシテ減ルカモ知レマセウガ、十三大都市ニ相當數量ノ政府所有ノ木炭ガアレバ「リンク」制ナドト云フヤカマシイモノハ要ラヌノデハナイカト思フガ、之ヲ殘スノデスカ、ドウモ吾々ト考ガ違フ

○田中政府委員 其ノ點ハ前々申上ゲテ居リマスルヤウニ、是ハ研究シテ漸次緩和シテ行キタイト思ヒマス、全然必要ガナクナラレバ止メマス、唯ヤハリ民間ノ取引ガアル譯デアリマスカラ、輸送力ノ問題ハヤハリ炭ガ動ク譯デアリマスカラ、其ノ點ハ鐵道省トモ色々相談シテ實際差支ナイト云フコトデアレバ、炭ガ必ズ入ルト云フコトデアリマスレバソレハ止メテモ宜イト思ヒマス

○高田委員 私共ハ政府ガ木炭ヲ相當量持ツテ之ヲ場合ニ依ツテハ相當ニ配給スルト云フコトナレバ「リンク」制ヲ廢スル目的デ

進シテ居ルト思フケレドモ、廢サレナイト云フコトハ——是ハ法律規則ガアルト商賣人ガ中々思フヤウニ仕事ガ出來ナイノデスカラ、私ハ木炭ノ需給特別會計ノ規則ガ通過シテ適當ニ消費地ニ木炭ガ入ル見込ガ付ケバ是ハ廢サレバナラヌト思ヒマスガ、マダ緩和トカ何トカ云ツテ預サイコトガアルト非常ニ商賣人ハ嫌ガル、ドウデスカ、私ハ廢スベキモノト思ツテ此ノ法律ヲ議シテ居ルガ、廢サナイナラ又考ガアルガ……

○田中政府委員 實際ノ運用ニ差支ナイト云フ確信ガ付ケバモウ廢メマス、其ノ點ハ一寸慎重ニ研究致シマシテ、確信ガ付ケバ吾々モ好シクヤル必要ガナイノデスカラ、唯各縣ノ移出制限ノ問題モアリマスシ、ソレト關聯シテ各縣カラハ相當テテウントヤハリ出シテ貰ハネバナラヌト思フ、吾々ノ持ツテ居ル炭ダケノ問題デアハナイノデスカラ、今現ニ相當テテ出シテ貰ヒタイト云フコトヲヤウツテ居ル譯デアリマスガ、其ノ目

的ヲ達シサヘスレバ廢メテ差支ナイト思フ

○山本委員 ココニ政府カラ道府縣別ノ木炭生産數量ノ調査資料出テ居リマスガ、各府縣ノ移出數量ノ調査ガゴザイマスガ、大分此ノ統計ハ遠ツテ居リマスガ、昭和十二年マデノ三箇年ノ平均デスカラマア是

○田中政府委員 其ノ移出數量ニ付テノ或ル程度ノ推定ハ出來ルト思ヒマス、唯出シ入レノ關係ガハツキリシマセウカラ正確ナ

○田中政府委員 御話マデモナク、外ニモ例ヘバ兵庫縣ノ瓦前餅ヲ燒クニハ和歌山縣ノ炭ガ宜イトカ、京都ノ八ツ橋ニハ和歌山縣ノ炭ガ宜イトカ、色々特殊ノ用途ニ付テノ要求ハアルノデアリマス、併シサウ特殊ノ用途ニ付テ考慮ヲシテ居マス、中々主旨

○高橋委員 只今マデノ御答辯ヲ承ツテ、私ハ政府ニ對シテ遺憾ノ意ヲ表シ、且ツ眞ニ眞劍ニ今後ノ經驗ノ上ニ實現サシテ鐵キタイト思フコトハ、目前ダケノ机上ノ整理ト云フコトダケデナシニ、本當ニ一年、半年ハ勿論、何年モノ出來得ルダケノ最大限度ノ見透シヲ付ケテ木炭對策ト云フコトヲ講ジテ貰ヒタイト云フコトガ、ソレカラ吾々ノ最モ寒心ニ堪ヘナイコトハ、各府縣群雜割據主義、封建政治主義ト云フコトノ儘ニ放任シテ置ク現在ノ政府ノ態度ニ私共ハ憤ラザルモノガアル、現ニ是ハ東京府デスカラアナタ方ノ管下デセウ、其ノ東京府ノヤウテ居ルコトガドウナツテ居ルカ分ラヌト云フコトデアレバ、吾々ハ實ニ心細イ限リデス、モウ少シドウデスカ、主務官廳トシテ地方ニ對シテ十分ノ御調ヲ統制ト云フモノヲ充實セシムル御氣持ハナイノデスカ、其ノ點何ツテ置キタイ

○田中政府委員 實ハ本炭問題ニ付キマシテハ、農林省トシテハ相當全國的デアリマシタケレドモ、特ニ大人口ヲ擁シテ居ル東京市ト云フモノニ付テ、殊ニ政治ノ中心都市デアリマスシ、又窮迫狀況ガ非常ニ大キカウツト云フコトカラ致シマシテ、東京府ヲ中心ニ相當木炭對策ヲ吾々ノ手ノ届ク範圍ニ於テハナツタノデアリマス、サウシテ東京府ニ炭ガ流レテ來ルト云フコトヲ極力ヤウツデアリマス、其ノ流レテ來タ炭ニ付テハ東京府デ相當ナリ願ハナイト、細カク吾々ノ足ヲナイ手デヤルト云フコトモ

○田中政府委員 東京市ニ對スル入荷關係ハ實ハ此處ニモ表ヲ持ツテ居リマスガ、昨年ノ十二月以來毎日東京市ノ入荷ノ炭ヲ毎日取ツテ、サウシテ是ト實ハ首引シテ配合ツクシテ來タヤウナ狀態デアリマス、御承知ノ通りヒタイト思ヒマス、隨テ各縣ノ移出ニ付キマシテハ、出來ルダケ之ヲ緩和シタイト云フコト、内務省方面トモ連絡ヲ取ツテヤウテ來ウアルノデアリマスガ、今後ニ於キマシテモ出來ルダケ此ノ移出制限ニ付キマシテハ緩和シテ貰ハナレバ吾々トシテモ實ニヤリコトイ、隨ヒマシテ若シ政府デ或ル程度炭ガ買ヘマシテ、相當配給ガ出來ルト云フコトニナリマスレバ、縣トシテモ相當緩和シテ行クノデハナイカ、吾々トシテモ緩和スルニ付テノヤリ方モアルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス

○高橋委員 其ノ「リンク」制ニ付キマシテハ私共御力意見ガアリマスガ、其ノ緩和策ノ具體案ト云フモノガマダナイノデスカ、唯ドウニカ緩和策ヲ執リタイト云フ抽象的ノ御考ニ過ギナイノデスカ、其ノ點何ツテ置キタイ

○田中政府委員 要ハ制度トシテハ出ルヤウニナツテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、唯實際出シテ呉レルカ、許可ノ問題ガ問題デアルダケデアリマスカラ、各地方當局ニ相談シテ、コウチノ出シテ貰ヒタイト數量ニ付テ出スヤウニ御協力ヲ願フト云フコトヲヤリタイト思ツテ居リマス

○高橋委員 其ノ點ガ特ニ消費地ガ非常ニ心配ナシナンデスガ、唯御相談ツクデ出シテ貰フヤウニナリタイト、是ダケノコトナンデスナ、ソレデハ大變同ジコトヲ繰返スナ

進シテ居ルト思フケレドモ、廢サレナイト云フコトハ——是ハ法律規則ガアルト商賣人ガ中々思フヤウニ仕事ガ出來ナイノデスカラ、私ハ木炭ノ需給特別會計ノ規則ガ通過シテ適當ニ消費地ニ木炭ガ入ル見込ガ付ケバ是ハ廢サレバナラヌト思ヒマスガ、マダ緩和トカ何トカ云ツテ預サイコトガアルト非常ニ商賣人ハ嫌ガル、ドウデスカ、私ハ廢スベキモノト思ツテ此ノ法律ヲ議シテ居ルガ、廢サナイナラ又考ガアルガ……

○田中政府委員 實際ノ運用ニ差支ナイト云フ確信ガ付ケバモウ廢メマス、其ノ點ハ一寸慎重ニ研究致シマシテ、確信ガ付ケバ吾々モ好シクヤル必要ガナイノデスカラ、唯各縣ノ移出制限ノ問題モアリマスシ、ソレト關聯シテ各縣カラハ相當テテウントヤハリ出シテ貰ハネバナラヌト思フ、吾々ノ持ツテ居ル炭ダケノ問題デアハナイノデスカラ、今現ニ相當テテ出シテ貰ヒタイト云フコトヲヤウツテ居ル譯デアリマスガ、其ノ目

的ヲ達シサヘスレバ廢メテ差支ナイト思フ

○山本委員 ココニ政府カラ道府縣別ノ木炭生産數量ノ調査資料出テ居リマスガ、各府縣ノ移出數量ノ調査ガゴザイマスガ、大分此ノ統計ハ遠ツテ居リマスガ、昭和十二年マデノ三箇年ノ平均デスカラマア是

○田中政府委員 其ノ移出數量ニ付テノ或ル程度ノ推定ハ出來ルト思ヒマス、唯出シ入レノ關係ガハツキリシマセウカラ正確ナ

(小申委員發言參照)
收炭率ヨリ見タル

木暮式製炭成績比較
南式製炭成績比較

一、瓦斯專用木炭生産量 五、〇〇〇万貫(昭和十五年農林省豫定)

木暮式(收炭率一九%)
資材量 二六三、一五八、〇〇〇貫
南式(收炭率二二%)
資材量 四一六、六六七、〇〇〇貫

資財量 七五七、八一八石
差引 資材價 五、五八二、二五六圓

資材林 一八、六〇七町
南式所用資材量ヲ木暮式製炭法ニ充當スル場合

資材量 四一六、六六七、〇〇〇貫
製炭量 七九、一六六、七三〇貫

増産量二九、一六六、七三〇貫
差引 増産率 五八%三強

金額 一四、五八三、三六五圓
以上ノ成績ニ徴シ收炭率ノ良否ガ如何ニ
國家經濟上影響スル所大ナルカラ窺知シ
得ベシ

昭和十五年三月二十三日印刷

昭和十五年三月二十四日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第七十五回帝國議會 院 昭和十二年法律第九十號中改正法律 案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)

委員會會議錄(速記)第二十四回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク) 米穀需給調節特別會計法案(政府提出)第一〇五號 日本及新用米炭株式會社法案(政府提出)第一〇六號

會 議 昭和十五年三月二十三日(土曜日)午後二時 開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 小林 絹治君
- 理事 伊藤 五郎君 理事 山本 条吉君
- 理事 坪山 徳彌君 理事 淺井 茂猪君
- 高田 松平君 高橋 義次君
- 松尾 四郎君 長野 綱良君
- 助川 啓四郎君 小笠原 八十美君
- 小中 清一君 世耕 弘一君
- 山崎 釧二君 小野 謙一君
- 平野 力三君

三月二十二日委員河野一郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ世耕弘一君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

- 農林大臣 島田 俊雄君
- 農林參事官 松木 弘君
- 農林省山林局長 田中 長茂君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

木炭需給調節特別會計法案(政府提出)

○小林委員長 開會致シマス、委員ノ懇談協議ノ爲ニ暫時休憩致シマス

午後二時一分休憩

午後四時三十分開議

○小林委員長 開會致シマス、保留質疑ヲ許シマス——平野力三君

○平野委員 私人極メテ簡單ニ本案ニ賛成

第六類第五號 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)委員會會議錄 第二十四回 昭和十五年三月二十三日

ノ意思ヲ表スル前ニ大臣ノ御言明ヲ得テ置キタイト思ヒマスノハ、本案ハ洵ニ微妙ナル案デアリマシテ、若シ其ノ運用宜シキヲ得ナイ場合ニ於キマシテハ、政府ノ意圖セラルル所ト相反スルヤウナ結果ニナルノデハナイカト云フ點ニ重大ナル疑義ガアルノデアリマス、隨テ大臣ヨリ本案運用ノ後ニ於キマシテ、現在ノ公定價格ノ問題ヲ基準トシテ生産業者ガ引合ハヌ結果減産ニナルト云フ此ノ憂ヲ除去シテ、眞ニ増産ニナルヲ得テ置キタイト思フノデアリマス

第二ハ、本案施行後木炭ノ卸及ビ小賣業者ガ其ノ商賣ノ上ニ非常ニ重大ナル影響ガアルト云フ點ガ本案ノ疑點ニナツテ居リマスノデ、斷ジテサウ云フコトニハナラナイノデアル、此ノ二點ニ付テ大臣ヨリ御言明ヲ得テ置キタイ、斯様ニ思フノデアリマス、

○島田國務大臣 平野君ノ御尋ノ増産ノコトニ付キマシテハ、屢々御答ラシタ點デアリマシテ、政府ニ於テハ此ノ特別會計ノ法律案ノ問題ト離レテ、別ニ本年度ニ於テ増産ノ計畫ヲ立テ、ソレハ豫算ノ要求ヲシテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、増産ノ計畫ハ必ズ實現ヲサセタイト考ヘテ努力スル積リデアリマス、尙ホ本特別會計設置ノ曉ニ於テ、小賣商或ハ卸賣商等ガ營業ノ上ニ迷惑ヲスルカモ知レヌト云フヤウナ懸念ニ付キマシテハ、是ハ屢々私ガ申上ゲマスヤウニ、只今ノ配給ノ機構ノ上ニ變更ヲ加ヘルト云フヤウナ考ヲ持ツテ居ラナイノミナラ

ズ、政府ノ所有ニ歸シタ炭ヲ賣渡ス場合ニ於キマシテハ、ヤハリ是マデノ機構ニ從ツテ之ヲ流シテ行クノデアツテ、特別ノ機構ヲ設ケテ賣出ヲスルト云フノデアリマセヌ、隨テ卸商又ハ卸商ノ團體カラ小賣商或ハ小賣商ノ團體ヲ經テ小賣ニ、斯ウ云フ各段階ノ機構ニ付テハ何等變更ヲ加ヘルノ意思ハナイノデアリマス、大口ノ販賣者、需要者、サウ云ツタヤウナ學校病院等直接ニ大口ノ供給ヲ受ケテ居ルヤウナモノニ對シテヤルヤウナヤリ方ニ付テモ、何等來ノモトヲ變更スルト云フヤウナ意圖ヲ持ツテ居リマセヌ、是ダケハ言明シテ置キマス

○平野委員 其ノ御言明ヲ信ジテ贊成ヲ打切りマス

○伊藤委員 私人木炭需給調節特別會計法案ノ討論ニ入ルニ先ダチマシテ左ノ如キ質疑ヲ試ミ、政府ノ所信ヲ質シタイト思ヒマス

政府ハ木炭ノ買入、賣渡ニ關シテハ、勅令ヲ以テ定ムベシ、勅令ノ内容ハ

- 一、買入ハ官行製木炭、府縣其ノ他公共團體製木炭及ビ産業組合ノ製炭ニ限ルモノトス、但シ商業組合其ノ他ヨリ申込アリタル場合ニ於テハ買入ルルモノトス
- 一、賣渡ハ消費地ニ於ケル卸商、小賣商、消費團體等ニ對シテ行フモノトス
- 一、前二項ノ價格ハ時價ニ依ルモノトス
- 右ノ點ニ付キマシテ島田農林大臣ノ所信ヲ質シタイト思ヒマス

○島田國務大臣 此ノ木炭ニ關スル法案ハ特別會計ノ法案デアリマシテ、賣渡等ニ關

スル規定ハ設ケテナイノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、何レ勅令ニ依リ若クハ其他ノ方法ニ依ル規定ヲ要スルコトガアラウト考ヘマスガ、勅令案ヲ以テ規定ヲ致シマス場合ニハ、只今伊藤君ノ御質問ニナリマシタ、舉ゲラレタ箇條ノ如キハ當然規定ヲ要スベキ點ト考ヘマスカラシテ、之ニ付キマシテハ、大體只今御指摘ニナリマシタ三點ニ付テハ御質問ノ趣意ニ從ツテ規定ヲシタイト思ヒマス

○小林委員長 是ニテ質疑ハ終了致シマシタ、是ヨリ木炭需給調節特別會計法案ヲ議題トシテ討論ニ付シマス、討論ハ通告順ニ依ツテ之ヲ許シマス——伊藤五郎君

○伊藤委員 私人立憲民政黨ヲ代表致シマシテ、次ノ各派共同ノ附帶決議ニ希望條件ヲ附シマシテ、本案ニ賛成ノ意ヲ表シタイト思ヒマス、附帶決議ヲ朗讀致シマス

政府ハ木炭ノ買入、賣渡ニ關シテハ勅令ヲ以テ定ムベシ、勅令ノ内容ハ

- 一、買入ハ官行製木炭、府縣其ノ他公共團體製ノ木炭及ビ産業組合ノ製炭ニ限ルモノトス
- 但シ商業組合其ノ他ヨリ申込アリタル場合ニ於テハ買入ルルモノトス
- 一、賣渡ハ消費地ニ於ケル卸商、小賣商、消費團體等ニ對シテ行フモノトス
- 一、前二項ノ價格ハ時價ニ依ルモノトス
- 希望條項ハ次ノ通りデアリマス

希望條項

- 一、政府ハ木炭増産ト生産費低下ノ爲官

國有林ノ大量拂下ト拂下手續ヲ簡易ニシ原木價格ノ引下ヲ圖リ實情ヲ統制スベシ

一、政府ハ木炭生産並ニ運搬ニ要スル資材(地下足袋、燈油、「ガソリン」、釘、針金、繩、鹽、酒、貨車、船舶)等ノ供給充實ニ最善ノ努力ヲ講ズベシ

一、政府ハ連ニ木炭檢査制度ヲ統一スル爲之ヲ國營トシ規格ヲ簡易化シテ、生産増大ニ資スベシ

一、政府ハ木炭消費者ニ對スル配給ノ圓滑ト公平ヲ期スルト共ニ消費ノ規正ヲ圖リ關取引ノ絶減ニ努力スベシ

一、政府ハ官行木炭、府縣其ノ他公共團體ノ生産ニ係ル木炭ノ買上ニ付キテハ生産地ノ需要ヲ拘束セザルヤウ注意スベシ

一、木炭價格ノ適正ヲ期スベシ
一、農林省令第六十八號ニ依リ道府縣「リシク」制ハ速ニ之ヲ撤廢スベシ
以上デアリマス

○世耕委員 政友會ヲ代表致シマシテ只今讀上セラレマシタ附帶決議並ニ希望條件ヲ附シテ本案ニ贊成シタイト思フデアリマス、本案ニ付テハ尙ホ不滿ノ點モアリマ

ス、木炭需給調節ハ時節柄適當ナル立案デアルト考ヘル建前カラ、特ニ贊意ヲ表スル次第デアリマス

○勳川委員 原案ニ贊成ヲ致シマス、伊藤君カラ御述ニナラレタ附帶決議並ニ希望條件ハ各派共同ノ提案デアリマスカラ是亦贊成シマス

○山崎委員 只今伊藤君カラ朗讀ニナリマシタ附帶決議並ニ希望條件ハ各派共同ノ提案デアリマスカラ、之ニ贊意ヲ表シ、併

セテ原案ニ對シテ贊成ノ意ヲ表シマス
○小野委員 私モ時局同志會ヲ代表シテ、只今伊藤君ノ朗讀サレマシタ附帶決議並ニ希望條件ヲ併セマシテ原案ニ贊成スル者デアリマス

○平野委員 私ハ木炭需給調節特別會計法案並ニ伊藤委員提出ノ各派共同附帶決議及ビ希望條件ニ對シテ贊成ノ意思ヲ表スル者デアリマス

○小林委員長 是ニテ討論ハ終局致シマシタ、是ヨリ採決ヲ致シマス、原案ニ贊成ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

(議員起立)
○小林委員長 起立議員(拍手)仍テ本案ハ政府原案ノ通り可決致シマシタ、次ニ伊藤君提出ノ各派一致ノ附帶決議並ニ希望條件ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

(議員起立)
○小林委員長 全會一致、附帶決議並ニ希望條件ハ伊藤君ノ提出ノ通り決シマシタ、是ニテ本案ノ審議ハ終了致シマシタ、委員諸君ノ連日ノ御勞苦、御熱心ヲ感謝致シマス——續イテ瓦斯用木炭會社法案ノ審議ヲ致ス管デアリマスガ、暫時休憩致シマス

午後四時四十五分休憩
(休憩ノ儘散會)

昭和十五年三月二十四日印刷

昭和十五年三月二十四日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第七十五回帝國議會 院

昭和十二年法律第九十號中改正法律 案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)

委員會會議錄(速記)第二十五回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク) 日本瓦斯用木炭株式會社法案(政府提出)(第一〇六號)

會議

昭和十五年三月二十四日(日曜日)午前十時 三十六分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 小林 絹治君
- 理事伊藤 五郎君 理事山本 条吉君
- 理事坪山 德彌君 理事淺井 茂猪君
- 高田 耘平君 高橋 義次君
- 松尾 四郎君 長野 綱良君
- 助川啓四郎君 小笠原八十美君
- 小中 清一君 世耕 弘一君
- 山崎 銀二君 平野 力三君

出席國務大臣左ノ如シ

- 農林大臣 島田 俊雄君
- 商工大臣 藤原銀次郎君
- 鐵道大臣 松野 鶴平君

出席政府委員左ノ如シ

- 企畫院總裁 竹内 可吉君
- 陸軍主計中將 石川半三郎君
- 農林參與官 松本 弘君
- 農林省山林局長 田中 長茂君
- 燃料局長官 東 榮二君
- 燃料局事務官 柳原 博光君
- 鐵道省監督局長 鈴木 清秀君
- 鐵道省運輸局長 長崎惣之助君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

日本瓦斯用木炭株式會社法案(政府提出)

○小林委員長 是ヨリ開會致シマス——坪山君

○坪山委員 私議事進行上一言申上ゲタイト思ヒマス、ソレハ昨日本院ヲ通過致シマ

第六類第五號 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)委員會會議錄 第二十五回 昭和十五年三月二十四日 三四一

シタ木炭供給調節法案アリマスガ、御承知ノ通りアノ案ニハ可ナリナ反對ガアリマシテ、委員會モ各員御承知ノ通りノ状態デアリマシタ、然ル所色々各派ノ交渉ノ都合モアリマシタラウガ、昨日適當ナ討論ノ機會ガナカッタ、是ハ即チ國民ニ本當ニ知ラシメル機會ガナカッタ、吾々ガアレバ如何ニ慎重ニ取扱ツタカ、斯ウ云フ爲ニ斯ウナツタト云フ結果ヲ表明スル機會ガナカッタノデアリマス、洵ニ吾々ハ遺憾ニ思フ、是ハ獨リ吾々バカリデナク、全部ノ黨派ガ甚ダ遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマス、會期モ切迫致シテ居ルノデ、色々都合モアリマシタラウガ、ドウカ委員長ニ於テモ、サウ云フ點ニ付テ今後深ク意ヲ用ヒラレコトヲ特ニ望ムデ置キマス、幸ニ議案ハ通過致シマシタガ、私委員長ノ手許ニ上ゲテアル書類ニ付テ意見ガアルノデアリマス、若シ事情ガ許スナラバ、委員長ノ許可ヲ得テ速記録ニダケデモ留メテ載キタイト思ヒマス

ソレカラ此ノ本日上程ニナツテ居ル議案デアリマスガ、是ハ大分期日モ切迫致シテ居リマス、併シナガラ吾々ハ之ヲ活カスカ殺スカ、謂ハバ右スルカ左スルカト云フ重大ナ岐路ニ立ツテ居ルノデアリマス、サウ云フ關係カラシテ、吾々委員ノ質問ニ對シテハ出來得ル限リ時間ヲ與ヘテ貰ヒタイ、吾々ガ贊否ヲ決スル一ツノ材料トナルノデアリマスカラ、政府當局者モ之ニ對シテハ眞劍ニ御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、私以上ノ希望ダケヲ申上ゲテ置キマス

○小林委員長 御尤モデアルト思ヒマス、昨日通過致シマシタ法案ニ付テハ本會議ニ於テモ十分討論ヲスルヤウニ委員長ニ於テモ期待致シテ居リマシタ所、何分會期切迫ノ爲ニ各派交渉會ニ於テ討論ヲ省クト云フコトヲ決セラレタサウデアリマシテ、其ノ點ハ洵ニ遺憾デアツタト思ヒマスガ、坪山君ノ提出サレマシタ討論セントサレタ草稿ニ付キマシテハ、事務當局ト打合せマシテ取扱上差支ナイト云フコトデアリマスレバ速記録ニ掲載スルコトニ致シマス、此ノ點ハ委員長ニ御任セ置キテ願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ坪山君ノ言ハレタヤウニ最早會期ガ切迫シテ居リマス、政府ガ若シ會期ヲ延長ナサラナケレバ本日ヲ以テ終ルノデゴザイマスカラ、此ノ法案ノ贊否ヲ決スルニ依ツテ此ノ法案ヲ是非通シテ貰ヒタイト云ハレルノカ、其ノ點ヲ明白ニ致シテ置キタイト思ヒマスカラ、政府ノ御考ハドウゾ十分ハツキリスルヤウニ御答辯ヲ願ヒマス

○平野委員 私ハ木炭ノ代用品トシテノ豆炭、煉炭ノコトニ付テ少シ御伺致シマス、豆炭、煉炭ト云フモノガ今日大體ドウ云フヤウナ情勢ニナツテ居ルカト云フ點ヲ聽キタイノデアリマス、ソコデ豆炭、煉炭ノ原料トシテ缺クベカラザル無煙炭ガ、從來大體朝鮮カラ移入サルモノヲ以テ材料トシテ居タ、斯ウ云フヤウニ承知スルノデアリマスガ、現在其ノ方面ハ依然トシテ參ツテ

居ルノデアアルカ、來ナクナツテ居ルノデアアルカト云フ點ヲ一ツ御聽カセテ願ヒタイ

○柳原政府委員 豆、煉炭ノ點デアリマスルガ、今御質問ノ點ハ石炭ヲ原料ニシタ豆、煉炭ト思ヒマスガ、豆、煉炭ニモ色々ゴザイマシテ、木炭ノ粉ヲ原料ニシマシタ家庭用ノ、俗ニ言フ豆、煉炭モゴザイマスガ、併シ今御質問ノ石炭ヲ原料ニ致シマシタ煉炭ノ原料デアアル無煙炭ハ、朝鮮カラ來テ居リマス、併シ是ハ主トシテ家庭用ノモノデアリマスカラ、無煙炭ニシテ、他ノ工業ニ特別ニ使ハナイヤウナ炭ヲ其ノ儘ニ使用シテヤルト云フコトガ經濟チヤナイカト思ツテ居リマス、併シ豆、煉炭ニハ無煙炭ヲ使ハナケレバナラヌ關係上朝鮮ノ炭ヲ使用シテ居リマス

○平野委員 朝鮮カラ來テ居リマスカラ、○柳原政府委員 内地ニヤハリ無煙炭ヲ入レテ居リマスカラ、ソチラノ方モ使用シテ居ルト思ツテ居リマス

○平野委員 併シ大體豆炭、煉炭ノ原料タル無煙炭ト云フモノハ、現在無クナツテ居ルト思フノデスガ、サウデナイノデスカ

○柳原政府委員 其ノ細カイ點ハ石炭部ノ方デゴザイマシテ、私ノ方ハ主トシテ其ノ他ノ燃料ヲヤツテ居リマスカラ、石炭部ノ方ニ能ク確メマシテ直グニ御返事致スコトニ致シマス

○平野委員 ソレカラ其ノ次ハ豆炭、煉炭ノヤハリ材料トシテ糖蜜ガ必要デアアル、糖蜜ハ從來佛領印度ト臺灣カラ入ツテ居リマ

スガ、佛領印度ノ方カラハ今日來ナクナツ
テ居ル、斯ウ云フヤウニ解釋シ居リマス、
臺灣カラ參ツテ居リマスモノ、糖蜜ハ無
水「アルコール」ノ原料トシテ非常ニ必要デ
アル爲ニ、殆ド是モ來ナクナツタ、故ニ豆
炭、煉炭ノ原料トシテ必要ナル糖蜜ハ今日
來ナイ、故ニ無煙炭ヲ中心トシテノ豆炭、
煉炭ト云フモノハ、製造スルコトガ出來ナ
クナツテ居ルト云フヤウニ思フノデアリマ
スガ、果シテサウデアラカ、サウデアリ
マセヌカ、一寸承リタイ

○柳原政府委員 糖蜜ノ臺灣カラノ移入デ
アリマスガ、私ハ主部チヤゴザイマセスケ
レドモ、私ノ聞イテ居ル範圍ニ於キマシテ
ハ、臺灣カラモ十五年度入ルヤウナ豫定ニ
開イテ居リマス

○平野委員 佛領印度支那ハ……
○柳原政府委員 佛領ノ方ハムツカシイ間
題チヤナイカト思ツテ居リマス、臺灣ノ方
ハ相當入ルヤウニ豫定シテ居リマス

○平野委員 只今ノ御説明ダト無煙炭モ大
體何トカナリ、糖蜜モ何トカナツテ、無煙
炭、糖蜜ニ依ル豆炭、煉炭ト云フモノハ相
當内地生産サレテ居ル、斯様ニ解釋シテ
宜シイノデスカ

○柳原政府委員 其ノ數量等色々ノ點ハ、
今主部ノ部長ノ方ニ聞カセニヤツテ居リマ
スカラ、其ノ返事ニ依リマシテ御答シタイ
ト思ヒマス

○平野委員 ソレデハ其ノ點ハ一ツ後程御
調ニナツテ御答辯願ヒマス、ソレダケデ宜
シウゴザイマス

○坪山委員 今其處ニ企業院總裁ガ見エテ
居リマスカラ、總裁ニ先ツ御答致シマス、
本法ノ賛否ヲ判斷スルニ一審必要ナ案件デ

アリマスガ、謂ハバ交通運輸上ヨリ見タル
「ガソリン」其ノ他ノ燃料ノ將來ノ見透シデ
アリマス、之ヲドウカ詳細ニ御答願ヒタ
イト思ヒマス、一部ニハ或ハ「ガソリン」ガ近
ク交通運輸上ノ方面ニモ潤澤ニナツテ來ル
ノチヤナイカト云フヤウナ論ヲシテ居ル者
モアルノデアリマシテ、サウ云フコトガ即
チ本案ヲ審議スル上ニ於テ色々ナ疑念ヲ抱
カレル原因デハナカラウカト思フノデアリ
マシテ、其ノ見透シガハツキリ付ケバ自ラ此
ノ法案ノ解決ト云フコトハ判明スルノデア
リマスカラ、サウ云フ立場カラ一ツ御答願
ヒタイト思ヒマス

○竹内政府委員 自動車其ノ他ノ内燃機關
用ノ燃料ノ問題ハ極メテ重要ナ問題デゴザ
イマス、勿論液體燃料ノ自給自足ト云フコ
トヲ圖ツテ行カケレバナラヌノデアリマ
スガ、昭和十二年デゴザイマシタカ、液體
燃料ニ關スル國策ガ大體決定サレマシタ
際ニ申上デテ居リマスコトハ、昭和十八年
マデノ大體ノ計畫ガアノ時立テマシテ、人
造石油ノ振興ヲ大ニ圖ルト云フコトニナ
ツテ居リマス、併シ其ノ當時ノ計畫ニ致シ
マシテモ、自給自足ニハ至ラナイノデアリ
マス、ソコデ其ノ儘事變ニナツタ譯デアリ
マスガ、御承知ノ通り昭和十三年度カラ四
箇年間ノ生産擴充計畫ト云フモノガ樹立サ
レマシテ、今其ノ計畫ノ實施ノ半バニアル
譯デアリマスガ、之ニ依リマシテモ、液體
燃料ノ自給自足ト云フコトマデニハ、實ハ
行キ兼ねテ居ルノデアリマス、是ハマア大
體ノ前提トシテ御考ヲ願ハナケレバナラヌノ
デアリマスガ、サテ現在ノ事情ニ即シテ當
分ノ間ノコトヲ考ヘテ見マス、ガソリン

ノ輸入ヲ相當増加シテ、サウシテ端のニ申シ
ドウ云フ風ニ軍ヲ御考ヘニナツテ居ルノデ
アリマスガ

○石川政府委員 液體燃料ノ生産増加ト云
フコトニ付キマシテ、日本デハ極力努力シ
テ居ラレマスケレドモ、ヤハリココ暫ク
間ハ無論輸入ニ仰ガナケレバ液體燃料ヲ取
得スルコトガ出來ヌト云フ狀況ニゴザイマ
ス、假令事變ガ收マリマシテモ輸入ト云フ
モノヲ出來レバ抑制シテ、代用ノモノヲ以テ
當テルト云フコトハ、ヤハリ今ト同ジヤウ
ナ考デ繼續シテ行カケレバナラヌモノデ
ハナイカト考ヘテ居リマス

○淺井委員 一寸關聯シテ御同致シマス、
只今軍ノ話ニ依リマス、戰爭ガ濟ンデモ
尙且ツ石油ノ規正其ノ他ノ必要カラ木炭ヲ
使用スルヤウナ御意見デアリマシタガ、政
府ノ立テテ居リマスル物動計畫ヲ拜見致シ
マシテモ、外國カラ原油ノ供給ヲ受ケナク
トモ、人造石油ニ依リマシテ、相當ノ石油
ハ製造ガ出來ルヤウナ計畫ニナツテ居ルヤ
ウニ伺ツテ居ルノデアリマス、デアリマス
カラ現在ニ於キマシテモ、「ガソリン」ヲ使
用致シマスルノト、木炭ヲ使用致シマスノ
トハ其ノ費用ガ著シク違ツテ居リマシテ、
寧ロ現在ノヤウニ高價ナ「ガソリン」ヲ使用
致シマシテモ、木炭ヲ使用スルヨリハ安イ
ノデアリマス、其ノ上將來ニ於キマシテ、
木炭ガ非常ニ改善サレマシテ、其ノ使用
ニ依ツテ機關部ノ破損ト云フヤウナコトガ
ナイヤウニナル時代ガ何時來ルカ知レマセ
ヌガ、現在ノ研究ガ十分デアリマセヌノデ、車體
未ダ其ノ研究ガ十分デアリマセヌノデ、車體
ハ先ツ三箇年以上ハ絕對保ツコトガ出來ナ
イト言ツテ居リマス、其ノ上ニ木炭ヲ使用
致シマスルト、「ガソリン」ヲ使用致シマス

マシナラバ瓦斯用木炭ガ其ノ需要ニ對シテ
相當ニ變化ラヌデアラウカ、斯ウ云フヤウ
ナ見地カラ考ヘテ見マスト私共ノ見透シト致
シマシテハ、中々サウ云フ工合ニハ行カナイ
ノデアツテ換言スレバ、「ガソリン」ノ輸入ガ
相當ニ増加スルト云フコトハ、當分困難デア
ラウ、隨テ之ニ代ルベキ代用燃料ト云フモ
ノニ、此ノ際力ヲ入レテ行カケレバナラ
ナイ、斯ウ云フ風ニ實ハ考ヘテ居ルノデア
リマス、隨テ此ノ法案ニ付キマシテハ、政
府部内ニ於テ研究ヲ致シマシタ際ニ、企業
院トシマシテモ、目下ノ事情ニ即シマシ
テ、此ノ法律ハ極メテ必要ナモノデアルト
云フ風ニ企業院ハ意見ヲ決定シテ、此ノ法
案ノ成立ニ協力ヲシテ居ルヤウナ譯デゴザ
イマス

○坪山委員 吾々ノ考デモ現在ノ此ノ世界
情勢カラ考ヘマシテ、「ガソリン」ノ消費ガ
減ルト云フヤウナコトハ毛頭ナイト思ヒマ
ス、隨テ交通運輸業者、謂ハバ自動車業者
等ニ對シテモ、餘程「ガソリン」ハ減額ヲ迫
ル一方デハナイカト考ヘル、隨テ其ノ代リ
ニハ瓦斯用木炭、是以外ニハ途ハナイノチ
ヤナイカト考ヘルノデアリマスガ、然ラバ
此ノ瓦斯用木炭以外ノ何方代用燃料ニ付テ
見透、研究等ハドウナツテ居リマスガ

○竹内政府委員 代用燃料ト云フ言葉ニ當
リマスカドウカ知リマセヌガ、内燃機關用
ノ必要ナ燃料トシマシテハ、天然石油ノ外
ニ、日本ノ國情カラ言ヒマス、ドウシテ
モ人造石油事業ノ振興ヲ圖ツテ行クト云フ
コトニ努メナケレバナラナイト考ヘテ居リ
マス

○坪山委員 若シ不幸ニシテ、本法案ガ不
成立ニ終ルヤウナ場合ガアツタトシタナラ

バ、ソレニ對シテノ何方對應スベキ御考ヲ
企業院トシテ持ツテ居リマスガ

○竹内政府委員 私共ハ此ノ法案ハ御協賛
ヲ願ヘルグラウト云フコトヲ今マデ思ツテ
居ルノデアリマスルカラ、此ノ法案ガ若シ
不成立ニ終ツタ場合ノコトヲ一寸今御答ス
ルダケ儘ツテ持ツテ居リマセヌ

○坪山委員 私人企業院ニ對スル質問ハ此
ノ程度デ打切りマス

次ニ陸軍ノ關係者ガ御見ニナツテ居リ
マスカラ御等致シマス、軍部、殊ニ陸軍ト
シテ本法案ニ對シテノ御關心、如何ナル御
決心ヲ持ツテ居ラレマスガ

○石川政府委員 陸軍ト致シマシテハ、是
非本案ノ成立ヲ希望致シテ居ルノデアリマ
ス、今企業院總裁ノ御話モアリマシタヤウ
ニ、此ノ液體燃料ハ輸入品ニ期待シテ居ル
所ノモノガ多イノデアリマスガ、値段ガ先
高デゴザイマシテ、物動計畫デ割當テラレ
テ居ル所ノ金デ以テ輸入ヲ致サウト致シマ
ス、値段ガ高クナレバ自然ニ分量ガ少ク
ナツテ來ルト云フコトニナツテ來ルノデア
リマスガ、軍ハ今後必要ナ「ガソリン」ハ是
非供給ヲ確保シテ戴キマシテ、サウシテ自
ラ使フ所ノモノハ、無論出來ルダケ消費ノ
節約モ致シマススケレドモ、今ノ現況ニ於キ
マシテハ、相當ノ分量ヲヤハリ確保シテ置
カケレバナラヌノデアリマス、隨ヒマシ
テ一般交通事業等ノ燃料ト致シマシテハ、
出來ル限リ他ノ資材、即チ木炭ノ如キモノ
ニ依ツテ充足シテ賅ヒタイト思フノデアリ
マス、若シ本案ガ成立致シマセヌト、ソコ
ニ一般交通上ニ缺陷ガ起ルノデアリマス、サ
ウ云フコトガ圓滑ニ行キマセヌト、國內ガゴ

見地カラ致シマシテ、軍當局ハ何時マデモ
木炭ヲ使用ニ依ツテ「ガソリン」ノ節約ヲ
ヤリニナルノデアリマセウカ、ソレトモ他
ノ方面ノ發達或ハ研究ノ結果ニ依リマシテ
ハ、木炭ヲ棄テテ其ノ進歩シタ方面ノモノ
ヲ使用サレレバ時代ガ來ルノデアリマシタ
トモ考ヘラレマスガ、此ノ點ニ付テノ御所
見ハ如何デアリマセウカ

○石川政府委員 私人セウ云フ技術ノコ
トハトント知識ガゴザイマセヌノデ、今ノ
御尋ニ係ルヤウナコトニ付キマシテ、御理
解ヲ得ルヤウナ答辯ノ出來ヌコトヲ甚ダ遺
憾ニ思フノデアリマスガ、燃料國策ノ問題
ニ付キマシテハ、燃料局ノ方デ御答辯ヲ願
フコトニシタイト思フノデアリマス、事變
ノ終局ト申シマシテモ、何時ガ終局カト云
フコトハ、ドウモハツキリ致シマセヌシ、
汪政權ガ成立シタカラト云フツテ、事變ガ終
局ト云フ譯ニモ參リマセヌノデ、先ヅココ
暫ク漫然ト考ヘルヨリ外致シ方ナイデハナ
イカト思フノデアリマス、其ノ見地カ
ラ致シマシテ、物動計畫ノ十八年ト云フ
コトヲ先ヅ標準ト致シマシテ、ココニ三
年ノ間ト云フモノハ「ガソリン」ノ供給ハ十
分ニ得ラレマセヌカラ、成ベクソレヲ
節約スルコトニシテ、代用シ得ルモノハ代
用スルコトニシテ賅ヒタイト思フノデアリ
マス、尤モ木炭ニ代ルベキ他ノモツト良イ
モノガ出來ルカ知レマセヌガ、其ノ邊ノ
コトニ付キマシテハ、現在如何ニ研究セテ
レツツアルカト云フコトニ付キマシテ御理
解ノ行クヤウナ御答ハ私ハ致シ難キノデア
リマシテ、燃料局ノ方カラ御答ヲ願ヒタ
イト存ジマス

○柳原政府委員 只今ノ御質問ニ付キマシ

ヨリハ約三倍ノ價格ヲ要スルト云フコトヲ
當業者ガ言ツテ居ルノデアリマス、サウ云
フ點カラ考ヘテ見マス、若シ事變ガ終
局致シマシテ、政府ノ計畫サレテ居リマ
スヤウナ人造石油ガ盛ニ生産サレレコトト
ナツテ、「ガソリン」ノ供給ガ豐富ニナツタ
ナラバ、何ヲ苦シテ耐久力ノ少イ木炭ヲ使
フコトガアルデアラウカ、是ハ又再ビ「ガソ
リン」ヲ使用スルヤウニナルデアリマシタウカ
ト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ上ニ現在
ノ科學ノ發達ニ依リマシテ、木炭ヲ使用ス
ルヨリハ電氣ヲ使用シ、或ハ「アセチレ
ン」ヲ使用スルト云フヤウナ方面ノ研究ガ相
當旺盛ニナツテ參リマシテ、現在軍當局ニ
於ケレマシテモ「アセチレン」ヲ使用スル自
動車ヲ公認致シマシテ、之ヲ實用化スルト
云フ研究マデ出來テ、既ニ其ノ會社モ創設
サレテ居ルヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、
シテ見マス、瓦斯用木炭ノ使用量ト、家
庭用ノ木炭ノ今年アタリノ飢饉ノ現狀カラ
見マシテモ、私ハ寧ロ他ノ方面ノ木炭ニ代
ル研究ニ依リマシテ、例ヘバ「アセチレン」
ヲ使用致スコトニ依ツテ木炭ノ使用ガ少ク
ナリ、即チ瓦斯用ノ木炭ヲ生産シナイト假
定致シマスレバ、ソレダケノモノガ家庭用
木炭ノ生産ニ掛カル、斯ウ云フ風ニナツテ參
リマスカラ、木炭飢饉ハ當然解消サレルノ
デアリマシタウカト云フヤウナ見地カラ致シ
マシテ、他ノ方面ノ研究ガ完成スル現在
ノ狀態デアリマスガ、其ノ方面カラ考ヘ
テ見マス、木炭使用ノ壽命ハ至ツテ短イ
期間デハナカラウカ、他ノ方面ノ研究ガア
ル以上——現在ノ木炭瓦斯使用ノ自動車ヨ
リハ、ヨリ以上ノ好結果ヲ現在既ニ研究ノ
結果完成シテ居ルノデアリマスガ、此ノ

見地カラ致シマシテ、軍當局ハ何時マデモ
木炭ヲ使用ニ依ツテ「ガソリン」ノ節約ヲ
ヤリニナルノデアリマセウカ、ソレトモ他
ノ方面ノ發達或ハ研究ノ結果ニ依リマシテ
ハ、木炭ヲ棄テテ其ノ進歩シタ方面ノモノ
ヲ使用サレレバ時代ガ來ルノデアリマシタ
トモ考ヘラレマスガ、此ノ點ニ付テノ御所
見ハ如何デアリマセウカ

○石川政府委員 私人セウ云フ技術ノコ
トハトント知識ガゴザイマセヌノデ、今ノ
御尋ニ係ルヤウナコトニ付キマシテ、御理
解ヲ得ルヤウナ答辯ノ出來ヌコトヲ甚ダ遺
憾ニ思フノデアリマスガ、燃料國策ノ問題
ニ付キマシテハ、燃料局ノ方デ御答辯ヲ願
フコトニシタイト思フノデアリマス、事變
ノ終局ト申シマシテモ、何時ガ終局カト云
フコトハ、ドウモハツキリ致シマセヌシ、
汪政權ガ成立シタカラト云フツテ、事變ガ終
局ト云フ譯ニモ參リマセヌノデ、先ヅココ
暫ク漫然ト考ヘルヨリ外致シ方ナイデハナ
イカト思フノデアリマス、其ノ見地カ
ラ致シマシテ、物動計畫ノ十八年ト云フ
コトヲ先ヅ標準ト致シマシテ、ココニ三
年ノ間ト云フモノハ「ガソリン」ノ供給ハ十
分ニ得ラレマセヌカラ、成ベクソレヲ
節約スルコトニシテ、代用シ得ルモノハ代
用スルコトニシテ賅ヒタイト思フノデアリ
マス、尤モ木炭ニ代ルベキ他ノモツト良イ
モノガ出來ルカ知レマセヌガ、其ノ邊ノ
コトニ付キマシテハ、現在如何ニ研究セテ
レツツアルカト云フコトニ付キマシテ御理
解ノ行クヤウナ御答ハ私ハ致シ難キノデア
リマシテ、燃料局ノ方カラ御答ヲ願ヒタ
イト存ジマス

○柳原政府委員 只今ノ御質問ニ付キマシ

見地カラ致シマシテ、軍當局ハ何時マデモ
木炭ヲ使用ニ依ツテ「ガソリン」ノ節約ヲ
ヤリニナルノデアリマセウカ、ソレトモ他
ノ方面ノ發達或ハ研究ノ結果ニ依リマシテ
ハ、木炭ヲ棄テテ其ノ進歩シタ方面ノモノ
ヲ使用サレレバ時代ガ來ルノデアリマシタ
トモ考ヘラレマスガ、此ノ點ニ付テノ御所
見ハ如何デアリマセウカ

○石川政府委員 私人セウ云フ技術ノコ
トハトント知識ガゴザイマセヌノデ、今ノ
御尋ニ係ルヤウナコトニ付キマシテ、御理
解ヲ得ルヤウナ答辯ノ出來ヌコトヲ甚ダ遺
憾ニ思フノデアリマスガ、燃料國策ノ問題
ニ付キマシテハ、燃料局ノ方デ御答辯ヲ願
フコトニシタイト思フノデアリマス、事變
ノ終局ト申シマシテモ、何時ガ終局カト云
フコトハ、ドウモハツキリ致シマセヌシ、
汪政權ガ成立シタカラト云フツテ、事變ガ終
局ト云フ譯ニモ參リマセヌノデ、先ヅココ
暫ク漫然ト考ヘルヨリ外致シ方ナイデハナ
イカト思フノデアリマス、其ノ見地カ
ラ致シマシテ、物動計畫ノ十八年ト云フ
コトヲ先ヅ標準ト致シマシテ、ココニ三
年ノ間ト云フモノハ「ガソリン」ノ供給ハ十
分ニ得ラレマセヌカラ、成ベクソレヲ
節約スルコトニシテ、代用シ得ルモノハ代
用スルコトニシテ賅ヒタイト思フノデアリ
マス、尤モ木炭ニ代ルベキ他ノモツト良イ
モノガ出來ルカ知レマセヌガ、其ノ邊ノ
コトニ付キマシテハ、現在如何ニ研究セテ
レツツアルカト云フコトニ付キマシテ御理
解ノ行クヤウナ御答ハ私ハ致シ難キノデア
リマシテ、燃料局ノ方カラ御答ヲ願ヒタ
イト存ジマス

○柳原政府委員 只今ノ御質問ニ付キマシ

見地カラ致シマシテ、軍當局ハ何時マデモ
木炭ヲ使用ニ依ツテ「ガソリン」ノ節約ヲ
ヤリニナルノデアリマセウカ、ソレトモ他
ノ方面ノ發達或ハ研究ノ結果ニ依リマシテ
ハ、木炭ヲ棄テテ其ノ進歩シタ方面ノモノ
ヲ使用サレレバ時代ガ來ルノデアリマシタ
トモ考ヘラレマスガ、此ノ點ニ付テノ御所
見ハ如何デアリマセウカ

○石川政府委員 私人セウ云フ技術ノコ
トハトント知識ガゴザイマセヌノデ、今ノ
御尋ニ係ルヤウナコトニ付キマシテ、御理
解ヲ得ルヤウナ答辯ノ出來ヌコトヲ甚ダ遺
憾ニ思フノデアリマスガ、燃料國策ノ問題
ニ付キマシテハ、燃料局ノ方デ御答辯ヲ願
フコトニシタイト思フノデアリマス、事變
ノ終局ト申シマシテモ、何時ガ終局カト云
フコトハ、ドウモハツキリ致シマセヌシ、
汪政權ガ成立シタカラト云フツテ、事變ガ終
局ト云フ譯ニモ參リマセヌノデ、先ヅココ
暫ク漫然ト考ヘルヨリ外致シ方ナイデハナ
イカト思フノデアリマス、其ノ見地カ
ラ致シマシテ、物動計畫ノ十八年ト云フ
コトヲ先ヅ標準ト致シマシテ、ココニ三
年ノ間ト云フモノハ「ガソリン」ノ供給ハ十
分ニ得ラレマセヌカラ、成ベクソレヲ
節約スルコトニシテ、代用シ得ルモノハ代
用スルコトニシテ賅ヒタイト思フノデアリ
マス、尤モ木炭ニ代ルベキ他ノモツト良イ
モノガ出來ルカ知レマセヌガ、其ノ邊ノ
コトニ付キマシテハ、現在如何ニ研究セテ
レツツアルカト云フコトニ付キマシテ御理
解ノ行クヤウナ御答ハ私ハ致シ難キノデア
リマシテ、燃料局ノ方カラ御答ヲ願ヒタ
イト存ジマス

○柳原政府委員 只今ノ御質問ニ付キマシ

見地カラ致シマシテ、軍當局ハ何時マデモ
木炭ヲ使用ニ依ツテ「ガソリン」ノ節約ヲ
ヤリニナルノデアリマセウカ、ソレトモ他
ノ方面ノ發達或ハ研究ノ結果ニ依リマシテ
ハ、木炭ヲ棄テテ其ノ進歩シタ方面ノモノ
ヲ使用サレレバ時代ガ來ルノデアリマシタ
トモ考ヘラレマスガ、此ノ點ニ付テノ御所
見ハ如何デアリマセウカ

テ燃料局カラ御答致シタト思ヒマス、瓦斯用木炭ヲ使ヒマシテ自動車ヲ運行シテ参リマス、即チ薪炭ニ依リマス自動車ノ點ハ、一時的カ永久的ニ考ヘテ居ルカト云フ問題ニ付テ、先ツ御答ヲ致シタト思ヒマス、私共ノ見解トシテハ斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、先程企業院總裁カラ御答ガアツタノデアリマスガ、石油ノ自給自足ニ依ツテ自動車ヲ運行スルコト云フ點ハ、人造石油ノ振興計畫ガ完成シテモマダ難カシイ、隨テ代用燃料ニ依リマシテ運行シテ行クコトガ必要デアルト云フコトヲ先程御答ニナツタノデアリマスガ、木炭ヲ使ツテ参リマス點ハ、是ハ私共ノ考カラ言ヘバ、モツト前ニ日本ニ於テ發達シテ居ツタナラバ、今日石油ノ燃料政策カラ非常ニ有利デハナカウツタカ、即チ今マダ多量ノ石油ガ海外カラ入ツテ海外ニ日本ノ資金ガ流レテ居ツタノデアリマス、併シ我國ノ木炭ヲ現在ノヤウニ發達シタ装置ニ依リマシテ使ヒマシタナラバ、資金ハ海外ニ流レズニ濟ンダ譯デアリマス、而シテ昭和九年カラ薪炭瓦斯發生爐ノ裝置ニ付キマシテ政府ハ獎勵シテ参リマスガ、其ノ當時ハマダ其ノ裝置ガ十分發達シテ居リマセズ、忌憚ナク申上ケレバ、使用ニハ差支ナイノデアリマスケレドモ、併シマダ十分發達シテ居ル狀況デアリマセズ、其ノ後裝置ニ付テ色々研究致シテ参リマシタ所ガ、昭和十二年ノ事變以來石油ノ消費規正ガ強化サレテ参リマシタ關係上、ドウシテモ代用燃料ニ依ラナケレバナラス、隨テ瓦斯發生爐ニ付キマシテモ、速急ニ其ノ製造業者モ熱心ニ研究シ、又政府ノ方モ之ニ付テ十分技術上ノ指導モ致シマシテ、今日ノ狀態デハ非常

ニ進歩シタ狀況デゴザイマス、隨テ木炭ニ依リマス發生爐ハ運行ニ於キマシテ大體ガソリソリト變テナイ狀況ニナリマシテ、昨年モ私ノ方ノ後援指導ノ下ニ民間ノ薪炭自動車ヲ一班、二班、三班、四班ト分ケテ全圖ヲ廻リマシテ、一班ガ二千、キロ以上ノ距離ヲ突破致シマシタ、殆ド日本全國木炭自動車ヲ運行シ得ルコト云フ只今ノ狀況デゴザイマス、所デ燃料政策カラ申シマス、人造石油ガ出テ参リマス、或ハ石油モ亦使ヒマス、併シ是ハ各限度ガアリマシテ、木炭ハ私ノ方ノ燃料政策カラ申シマス、先ツ無限資源ト云ツテ宜イ資源デゴザイマス、石炭ハ石油ノ有限資源ガ限リガゴザイマス、現在ハ亞米利加デハ石油約一億四千萬噸年ニ使ツテ居リマスガ、御承知ノ通り石油ハ二十億噸或ハ三十億噸ト云フヤウナ狀況デ、是ハ地質ノ方ノ技術者ニ色々意見ガゴザイマスガ、石油ハヤハリ二十年位デ亞米利加モ無クナリハセスカト云フヤウナ色々意見モゴザイマス、併シ木炭ハ殆ド我國ニ於テ將來永久ニ使ヒ得ル燃料デゴザイマシテ、其ノ木炭ニ技術上ノ尙未進歩發達ヲ圖リマシテ、木炭自動車ニ使ヒ得ルヤウナ十分有效ナ木炭ヲ造ツテ之ニ使ツテ参リマスコトハ、自動車政策ノミナラズ、燃料政策ノ見地カラ申シマシテモ、非常ニ必要ナモノト考ヘテ居リマス

○高田委員 今燃料局ノ方カラ御話ヲ伺フタノデスガ、第一木炭自動車ニ付テ燃料局ガ試驗ヲシタ結果ト云フノハ、所謂普通木炭ヲ云フノデスカ、南式瓦斯用木炭ヲ云フノデスカ、ソレヲ伺ヒマス

○高田委員 今燃料局ノ方カラ御話ヲ伺フタノデスガ、第一木炭自動車ニ付テ燃料局ガ試驗ヲシタ結果ト云フノハ、所謂普通木炭ヲ云フノデスカ、南式瓦斯用木炭ヲ云フノデスカ、ソレヲ伺ヒマス

○田中政府委員 燃料局長ノ御話ハ、私モ或ル程度ニ同意デアリマシテ、恐ラタ其ノ無限ト云フ意味ハ、石油石炭デアリマス、是ハ私共人デアリマスケレドモ、段々減耗シテ行ク、併シ木炭デアリマスレバ、其ノ補給或ハ伐採ノ關係ニ於テ合理的ナ方法デ以テ行キマシレバ、永久ニ木炭ガ生産サレテ、或ル限度ノ木炭ハズツト燃料

百年モ今後繼續サレルカモ分ラス、併シサウ云フ見地ニ於キマシテ、燃料局長官トシテ、木炭ガ或ハ木材ガ無限デアル、所謂木炭ノ利用ト云フコトハ無限ニ使用サレルト云フヤウナ御見解ノ下ニ於テ、此ノ燃料政策ヲ考ヘマシルト云フコトハ是ハ國土保全ノ點カラ考ヘテ如何カト考ヘルノデアリマス、又只今御意見ニ依リマシテ、非常ニ木炭利用ト云フモノガ發達致シマシテ、今マデニナイ記録ヲ示シタト云フヤウナ御意見ガアリマシタガ、唯平坦部ヲ走リマス自動車ハ完全ニナツタカモ分リマセズ、現在「トラクタ」ナドニ使用致シマス木炭瓦斯ガドレダケノ力ヲ持ツテ居ルカドウカ、山間地方ニ於キマシテハ、殆ド木炭ヲ使用致シマシテ力ハナイノデアリマス、之ヲ改良發達ヲ致シマシテ、或ハ近い將來ニ於テハサウ云フ方面ニマデ出來ル時代ガ出來ルカモ分リマセスケレドモ、非常ニ進歩サレタト只今申サレマス現在ニ於キマシテハ、山間方面ニ於ケル「トラクタ」ニハ全ク使用ノ出來ナイヤウナ現在ノ發達ノ過程ニ置カレテ居ルノデアリマス、デアリマス一面ニ於テ、木炭ニ代リマス「アセチレン」瓦斯ヲ利用致シマスモノハ遠ニ木炭ヨリモ力ヲ持ツテ居ル、或ハ軍當局ニ於テモ、或ハ燃料局ニ於キマシテモ、此ノ「アセチレン」利用ノ自動車ニ對シマシテハ、既ニ之ヲ補償サレテ居ル、斯ウ云フヤウナコトモ承ツテ居リマスガ、私ハ無限ノ薪炭林ヲ利用致シマシタコトヨリモ、他ノ方面ニ於テ化學的ニヨリ以上進歩致シマシタ、所謂燃料代用物ノ發見、即チ是等ヲ利用致シマスコトガ私ハ國土保全ノ上カラ考ヘテ見マシテ、ヨリ以上燃料局ト致シマシテモ考究シナケレバナラス

問題チヤナカテウカ、單ニ我國ガ木炭使用ガ遅カウツタ、モウ少シ早く使用シテ居リマシタナラバ、我國ノ此ノ燃料問題ハヨリ以上早く解決サレテ居ツタト申サレルカモ分リマセスケレドモ、私ハ現在ノ我國ノ燃料代用ノ發達ノ經過ヲ眺メテ見マシテモ、木炭ヨリモ他ノ方面ニ進ニ優秀ナルモノガアルト致シマシタナラバ、何方故ニ木炭ニ執著ヲ持タナケレバナラスノデアリマセウカ、燃料局ト致シマシテモ、是等ノ點ハ十二分ニ御研究サレテ居ルコトト申スノデアリマス、斯ウ云フ見地カラ致シマシテ、モウ少シ私ハ木炭他ノ方面ニ於ケル燃料代用物ノ研究ニ對シマシテ、長官ヨリ御意見ヲ承ツテ見タト思フノデアリマス、又山林局長ニ對シマシテモ、只今ノ御説明デハドウモ附ニ落チナイノデアリマス、唯無限ノ木炭ノ生産ト云フコトハ、サウ云フヤウニ更新サレル、木炭ハ幾ラデモ出來ルンダ、斯ウ云フヤウナコトハ誰デモ分ツテ居ル、是ハ山林局長カラ聽カクテモ、木炭ト云フ數量ノ點ヲ考ヘズニ、木炭ハ何時マデモ出來マスト云フヤウナ見解デアリマシタナラバ、ソレハ子供デモ分ツテ居リマス、斯様ナコトヲ言ハズニ、現在ノ薪炭林ノ保有ト現在ノ用木炭ノ要求サレテ居リマス見地カラ、果シテ此ノ要求ヲ滿スノニ現在ノ薪炭林ガ完全ニ無限ニ是ガ供給ヲサレルカト云フコトヲ私ハモウ少シ具體的ニ、専門的ニ御説明ヲ願ヒタト思ヒマス

○柳原政府委員 先程私ガ自動車ニ使ヒマス木炭ハ我國ト致シマシテハ相當長ク使ヘル、無限ト云フ言葉ハ少シ言葉ガ強ク御感ジニナツタカモ知レマセウカ、無限大ト云フモノノデモゴザイマセウカ、石油、石炭カ比較致シマシテ、自動車ノ燃料ト致シマシテ、木炭ガ非常ニ重要デアルト云フ點デス、又日本ニ取リマシテハ、此ノ利用スル點ガ非常ニ重要ノ點デアリ、又將來ニ於キマシテモ、決シテ一時的デヤナイト云フ點ヲ限度ノゴザイマシテ石油ニ比較シテ申上ゲテ次第デゴザイマス、勿論石油モ色々開發等助成モ致シマシテヤツテ参リマスガ、私共ノ只今ノ見解デハ石油ハ相當ニハマダゴザイマスガ、併シモウ限度ガアルト申スツテ居リマス、併シソレニ比較致シマシレバ、木炭ノ方ハ色々ノ方面ニ於テ使ツテ居リマスカラ、限度ニ於テハ非常ニ差ガアルノデアリナイカ、斯ウ考ヘテ居ルノデ先程申上ゲテ次第デアリマス

又代用燃料ノ點ニ付キマシテハ、只今御話ノ通り勿論研究シテ参ラナケレバナラス點デゴザイマシテ、當局ト致シマシテハ、アセチレン、瓦斯ノ代用燃料ニ付テ研究致シテ居リマス、又天然瓦斯ノ點ニ付テモ研究致シマシタ、ソレカラ又石炭カテ出テ参リマス「コークス」ニ付テモ研究致シマス、又電氣自動車ニ付テモ研究致シマシタ、アセチレン、瓦斯ニ依リマシテモノハ、御承知ノ通り元ハ石炭デゴザイマス、隨テ石炭カラ「カーバイド」ヲ造ツテ参リマスガ、只今石炭ニ於キマシテモ外ニ十分使ハレテ居リマス、ソレカラ又「カーバイド」ヲ造リマシテ出テ参リマスモノハ、専ラ工業用ニ非常ニ使ハレテ居リマスノデ、マダ自動車ノ方ニ十分參ル狀況ニナツテ居リマセズ、併シ「アセチレン」瓦斯ヲ使ヒマシテ、運行致シマス點ニ付キマシテハ、當局ハ認メテ居リマス、ソレカラ天然瓦斯ヲ利用致シマス

トシテ使ヘルノダ、サウ云フ意味デ無限デアルト、斯ウ云フ御考デ御話ニナツタコトト思ヒマスガ、私共ノ意味ニ於テ木炭ノ使用ト云フコトハ、段々ト技術ノ發達ニ依ツテ木炭自動車ガ或ル程度ニ相當永久的ニ使用ガ出來ルト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○淺井委員 ヤハリ關聯致シマシテ、燃料局長官ト山林局長ニ御答致シタト思ヒマス、只今高田先輩カラモ色々御質疑ガアリマシタガ、無限ト云フ言葉ハ成程山林局長ノ御話ノ通りカモ知レマセズ、併シ其ノ使用量ノ點カラモ多少考察シナケレバナラス問題デアリマシテ、單ニ木炭ノ生産ト云フモノハ、或ハ薪炭林ノ更新ニ依リマシテ、二十箇年毎ニ更新ニ依ツテ、理想的ノ木炭ノ薪炭林ノ保有ハ出來ルカモ分リマセウカ、併シ其ノ薪炭林ノ現在利用サレテ居リマス、又家庭用木炭ノ生産、或ハ「ガソリン」用木炭ノ生産等ノ方面ノ需要ガ激増シテ居リマスル見地カラ考ヘテ見マシルト、現在是等ノ需要ヲ満足セシメルダケノ日本ニ薪炭林ガ保有サレテ居ルカ、現在官有林ノ薪炭林ハ百万町歩ト言ツテ居リマス、民間ノ面積ハ五百萬町歩ト稱シテ居リマスガ、是等限定サレタ面積デ、而モ薪炭林ノ面積ト云フモノハ分ツテ居ルノデアリマス、而モソレガ二十年毎ニ更新サレテ採採スルト致シマシテモ、現在ノ需要ノ激増シテ居リマスル此ノ木炭ノ方面カラ見マシテモ、速ニ之ヲ無限ト見テ其ノ生産ニ當リマスルコト云フコトハ、是ハ國土ノ保全ノ上カラ考ヘマシテモ、單ニ炭ヲ生産スル見地カラ考ヘマシテモ、只今申上ゲマシタヤウナ理由ニ依ツテ木炭ハ何千年モ何

モゴザイマスケレドモ、マア都合ニ依ツテハ大蔵大臣ノ出席モ要求シマスガ、先ヅ以テ此ノ間農林大臣ノ御答辯デハ、若シ申込ガアレバ考慮スルト云ハレルガ、若シデハナイ、必ズアル、故ニ必ズアルトスレバ、政府トシテハ或ル程度ノ補償金ヲ豫算ニ計上シナケレバ法律ノ實行ガ出来ナイ、斯ウナルト思ヒマスケレドモ、此ノ點ハ農林大臣ハドウ御考ニナツテ居ラレルノデアリマスカ

○島田國務大臣 privat 御答シタノハ、高田君ノ只今ノ御質問ノ中ノ、此ノ會社ニ對シテ買ツテ賣ヒタイト云フコトヲ申出タ場合ニハ買フト云フノハ製造シタ品物ノコトヲ言フノデアツテ、會社自體ハ此ノ勅令ニ規定スル除外例ノ一ツニ、此ノ間參考書類ニシテ御覽願ツタ中デ、自動車會社ガ自分デ山ヲ持ツテ炭ヲ採ヘテヤルヤウナ場合ニハ、假ニ此ノ特許ノ式ニ依ツテヤツテ居ル場合デモ、ソレハ其ノ會社ヲシテヤラシメル、是ハ入ラナイ、ソレカラ其ノ他特別ノ事由ノアル場合ニハ、尙ホ此ノ式ノ製造、所謂瓦斯用木炭ヲ採ヘテヤルヤウナ場合ニハ、建前ニナツテ居リマスカラ、隨テ只今御話ノヤウナ會社ガアルトシマス、其ノ會社ガ從來一ツノ會社ヲ作ツテヤツテ居ル、假ニ會社デナクテモ從來營業シテ居ルト云フヤウナ場合ニハ、ソレハ所謂特別ノ事情アルモノトシテ之ヲ除外シテヤルカラ、其ノモノガ自分ノ採ヘテ炭ヲ採ル方ヘ賣リタイト云フヘバソレハ買取ツテヤル、斯ウ云フ意味デアツテ、會社ヲ買潰スト云フヤウナ意味ハ含ンデ居ラス、ソレナコトヲシナイデモ此ノ會社ハ成立ツテ行ク、斯ウ云フ意味デアリス、其ノ點ハ此ノ間懇談會ノ時ニアノ

除外例ノモノヲ御覽ニナツテ御分リニナツテ居ルト私ハ思ツテ居リマス、アノ除外例ノモノヲモウ一遍御覽ニナレバ、其ノ點ハハツキリシテ居リマス

○高田委員 餘リニ強強附會ナコトデス、除外例ノコトハ私ハ聽カナイデモ知ツテ居ル、サウチヤナイ、自動車會社ガ製造スルノデハナイ、大阪自動車木炭製造會社デスヨ、自動車會社ガ製造スルノデハナイ、アナタノ話ハ全然違フ、配給會社デスヨ、即チ南式ノ瓦斯用木炭ヲ買ツテ之ヲ營業シテ居ル會社ガアル、アナタガ言フノトマルテ違フ、ソレナ僕ガ知ツテ居ル位ノコトヲイッテモアナタハ答ヘルカライカス、南式ノ木炭ヲ販賣シテ之ヲ營業シテ居ルモノガアル、是ハ當然買収シナケレバイヤカス、他ニモ是ト同ジヤウナモノガアル、デスカラ相當ナ豫算ガ伴ツテ此ノ法律ヲ施行スル場合ニ於テハ、專賣ニ依ツテ全然營業權ヲ奪フノデス、營業權ヲ奪フ時ニハ考慮スルト云フツタデハナイカ、若シアレバト云フガ、若シチヤナイ、必ズアルニ決ツテ居ル、今日或人ハ此ノボロ會社ヲ買收スル爲ニ農林省ガ案ヲ立テタト云フツテ居ル者モアル、是ハ噓デセウガ、サウ云フ人モアル、無論此ノ會社ト云フモノハ一千万圓ノ會社ガ出来レバ是ハ併合スルモノデモウ、併合スルデセウケレドモ、兎ニ角併合シナカッタ場合ニハ、此ノ會社ノ權利ト云フモノハ一切ヲ買ハナケレバナラス、ソレデナケレバ專賣ニナルノダカラ營業權ヲ政府ガ攫奪スル譯ニハナケレバ、此ノ案ノ執行ガ出来ナイト云フ風ニナルト思ヒマスガ、其ノ點ハドウデスカ

○田中政府委員 今ノ御話デアリマスガ、其ノ會社ガ此ノ法律デ假ニ指定致シマス瓦斯用木炭ヲ採ツテ居ルト致シマスレバ、此ノ會社デ買ヒマスシ、必ズシモ瓦斯用木炭ダケデモナイト思ヒマスガ、其ノ木炭ニ付キマシテハ、會社カラ自由ニ賣レル、自動車業者ノ方ガ買ツテ、ソレヲ使フト云フコトニナラウカト思ヒマス

○高田委員 サウスルト此ノ會社カラ買ヒマスガ、專賣ニナルノデハナイデスカ、ソレナラ會社ヲ作ル必要ハナイチヤナイデスカ

○島田國務大臣 小車君ハ此ノ委員會ニ御出デニナツテ御尋ノコトハ初メデアリマスガ、民間デ從來ヤツテ居リマスモノニ對シテハ、無論特許料ヲ取ツテ居ラス、今後此ノ會社ガ出来テモ外デヤツテ居ル場合ニハ何等特許料ト云フモノヲ支拂フ必要モナシ、取ル意思モナシ取りハシナイ、此ノ會社ヲヤルト云フコトノ考ヘ方ノ必要ナ點ハドウ云フコトカト云フト、詰リ「ガソリン」ノ代用ニスル木炭ノ相當量ノモノヲ計畫的ニ得ルコトガ出来ナケレバ、燃料國策ノ上カラ見、又只今鐵道省ノ政府委員カラモ言ハレタヤウニ、鐵道省ナドノヤウナ深山ノ瓦斯用木炭ナリ、或ハ「ガソリン」代用ノ各種ノ燃料ヲ用ヒテヤラネバナラスモノニ對シテハ、相當權ツタ大口ノ供給ニ應ズルコトノ出来ルモノガナイト、實際ニ於テ非常ニ困却ヲスル、自分デ山ヲ持ツテ自分デ炭ヲ採ヘテヤツテ居ルヤウナ會社ハ、是ハ差支ナイカモ知レヌガ、サウデナイ、只今高田君ノ言ハレルヤウナ小サイ會社ガ集メテ炭ノ供給ヲ受ケテヤツテ居ルヤウナ、小サイ資本ヲ以テヤツテ居ルヤウナモノニ對シテハ、供給會社ガ出ルルコト云フコトガ今ノ急ヲ救フノニ、圓滑ヲ圖ルノニ一番宜シイデアリマス、其ノ意味ニ於テヤルノデアラカラシテ、高田君ノ言ハレルヤウナ會社ガ假ニアリマシテ、ソレガ集メテ居レバ、其ノ集メタ炭ヲ此ノ會社ガ更ニ買ツテ供給シテモ宜シイ、特殊ノ事情ガアレバ其ノ事情ノアルモノノモ之ヲ許シテ其ノ會社ニヤラシテモ宜シイシ、或ハ此ノ會社ガ出来タ場合ハ此ノ會社ニ吸收スルナリ合併スルナリシテモ宜イ、政府ガ金ヲ出シテヤ

ハ取上ゲラレナイト思フ、其ノ點ハドウデスカ

ル必要ハナイ、即チ豫算ヲ要求スル必要ハナイ、又此ノ會社ハ南式ヲ用ヒルト云フケレドモ、南式ノミヲヤル譯デハナイ、外ノモノデアリマシテモ「ガソリン」代用ノ木炭デアリマスレバ、ソレヲ買ツテ行ツテ供給シテ差支ナイ、瓦斯用木炭ヲヤルト云フ所以ハ、是ハ相當取締ヲシナケレバ人體ニ害ガアルト云フヤウナ結果ノ起ルモノデアアルカラ、之ニ付テハ之ヲ一定ノ所ニ買集メテ或ル制限ノ下ニ賣買サセルト云フ風ニスルコトガ必要ダ、斯ウ云フ意味カラ其ノ會社ニ賣リ、又會社ヲシテ賣ラシメルガ、特別ヲ設ケテ、從來ヤツテ居ルモノ、ハ其ノモノヲシテヤラシテ差支ナイ、又其ノ從來ヤツテ居ルモノガ集メタ炭若クハ採ヘタ炭ヲ此ノ會社ニ買ツテ賣レト云ヘバ買ツテ差支ナイ、買ツテ賣シイ、ソレデハ會社ハ必要ハナイノデハナイカト云フケレドモ、會社ノ必要ト云フモノハ今申上ゲルヤウニ、サウ云フモノデナイ以外デ——其ノモノ等ヲ含メテモ宜シイガ、其ノ以外ノ鐵道省デアルトカ、或ハ小サイ炭ノ供給ニ困ルヤウナ、一般ニ木炭ヲ使ハナケレバヤレナイヤウナ事情ニアルモノニ對シテハ、此ノ瓦斯用ノ木炭若クハ瓦斯用木炭會社ニ於テ集メタ炭ヲ適當ニ供給シテヤルコトガ必要ダ、是ガ此ノ會社ノ仕事デスカラ、特許權ニ絡ンデ民間デヤツテ居ルノヲ特許料ヲ取ルノデアリナイカト云フヤウナコトハ何カノ誤解デス、ソレナコトハナイ、政府ニ對シテ無料ヲ供給シテ居ル、又政府ノ役人ガ發明シタノダカラ、是ハ此ノ會社ガ起ル場合ニハソレヲ使フトハ差支ナイ、現在モ差支ナシニヤツテ居ル、其ノモノニ何等制限ヲ加ヘル意味デハナイ、其ノ點モ何カ小車君ハ

誤解ガアルノチヤナイカト思ヒマス

○小車委員 只今ノ大臣ノ御言葉デスカ、私ハサウ云フコトモ起ルダラウト云フコトヲ申上ゲタノデス、今ノ瓦斯用木炭ハ——先刻大臣ハオ居デニナリマセヌデシタガ、先達テモ是ハ私言ツタノダケレドモ、普通ノ炭ヲ燒キヨリモ燒キ方ガ樂ナノデス、ソレデ寧ロ此ノ儘ニ放任スレバ瓦斯用木炭ノ生産ガ非常ニ増加スルト云フコトハ、是ハ南式トカ木炭式トカ、マダ外ニ良イ式ノモノガアルサウデスカ、最近素人ノ調ベタモノデスカレドモ、又實際ニ神奈川縣デ現在ヤツテ居ルモノデモ、百七十ノ小サイ窯ガアル、此ノ中ニ學生勤勞者仕ノモノガ七十バカリアルノデスカ、ソレダケデモ一月カラ五月マデニハ十五萬袋出來得ル見込ガ立ツテ居ル、サウシテハハヤハリ只今ノ所デハ價格ノ制限ガアルノデスカ、此ノ炭ノ山デ燒イタ瓦斯用ノ木炭ハ詰リ一ツノ窯一箇月ニ三百六十袋出來ル、一袋ハ即チ一駄デアリマス、ソレデ現在ノ市價デ賣リナガラ、青年ヤ部落デヤツテ居ルモノハ、一窯ニ對シテ五十錢ヅツノ貯金ヲ現ニシテ居ル、是ハ普通ノ家庭ノ炭ヲ燒キヨリ大變得ナノデス、ソレデ神奈川縣デハ縣更ニ獎勵スルト云フコトデアリマスガ、今ノ發明サレタ木炭式位ノ程度ノモノハ、五千圓ノ窯ガアレバ、即チ今農林省ノ鐵道省到ル處デ要求サレル木炭ノ供給ハ優ニ出來得ルト云フコトヲ、斯ウ云フ方面ノ仕事ヲシテ居ル者ハ言ツテ居ル、左様ナ譯デアリカラ此ノ會社ニ依ツテ特ニ或ル者ヲ保護シテ製造スルト云フコトニ依ラナクテモ、今ノ競争状態カラ行ケバ相當量ノ供給ガ出來ル、若シ急速ニヤリタイト云フナラバ、寧ロ政府ガ

此ノ方面ニ少シ働キ掛ケテ面倒ヲ見テヤツタラ宜イ、現在使ツテ居ルノデスカラ、是ガ良イトカ惡イトカ云フコトハ分ツテ居ル、私共ハ狭イ範圍デスカ、東京、神奈川邊リノ「トラック」業者、又兼合何カデ炭ヲ使ツテ居ル方面ノ説明ヲ聽イテ見マス、唯是ガモウ少シ深山出來テ與レナケレバ困ルト云フコトヲ言ツテ居リマス、普通ノ家庭用ノ炭ヨリハ能率ガ非常ニ良イカラ、是ガ早ク出來テ與レバ宜イト云フコトヲ言ツテ居ルケレドモ、私ハサウ云フ關係カラ考ヘテ見ルト、斯ウ言ツタヤウナ會社ヲ作ツテ特ニヤラナクテモ、現在ノ機構ニ於テモ十分出來ルノデハナイカ、現在モサウ云フコトヲ考ヘテ色々ヤツテ居ルモノガ、今度此ノ會社ガ出來タラ、今ノ大臣ノ御答辯ニ依レバ差支ナイト云フコトデアルケレドモ、ヤハリ相當サウ云フオ得意ガ出來ルニ決ツテ居ルモノガ、今度一ツノ會社ト云フ「プール」ヘ納メナケレバナラス、此ノ會社ガ其ノモノノ營業ヲ捉マヘテ行クト云フコトニナレバ、先刻私ノ申シタ通り、サウ云フモノヲ吸收シテ、自分ノ配下ニ入レルカ何カソコニ面倒ヲ見ナケレバ、ヤハリ一ツノ營業トシテ成立ツタモノヲ骨カサレルト云フ結論ニナルダラウト思フ、何レニ致シマシテモ、サウ言ツタ譯デ、瓦斯用木炭ハ今ハ生産量ハ少イケレドモ、詰リ普通ノ家庭用木炭ヨリモ製造方法ガ樂ダカラ、隨テ之ヲ適當ナル價格デ面倒ヲ見テヤレバ、交通方面ノ代用燃料トシテ發達シ得ルモノナリト思フ、然ラバ是ガ出來ナケレバ、急速ニ出來カト云フコト、私ハサウ云フ風ニハ考ヘナイ、現在著々サウ云フ風ニ芽吹キツツアル、サウシテ炭ト云フ

ノ禁退ニハナラス、本會議ニ於ケル政府ノ説明ト今ノ大臣ノ御説明トハ非常ニ矛盾シテ居ルヤウニ思フケレドモ、一般取引ヲ禁退セントスル」ト云フノハドウ云フコトデスカ

○島田國務大臣 一般取引ノ禁退ト云フ言葉ハ強過ギルト云フヤウニ御感ジニナツテ居ルト云フコトハ御尤モ存ジマスガ、此ノ所謂一般取引ト云フコトノ意味ハ、政府トシテ申シテ意味ハ、家庭用等ニ瓦斯用木炭ガ入ツテ行クト云フヤウナ實例ガアリマシタカラ、斯ウ云フヤウナコトハ、保健衛生上良クナイカラ、此ノ方面ニ對シテハ制限スルト云フ意味デアル、隨テ瓦斯用木炭ハ「ガソリン」代用ノ意味、即チ自動車等ノ用途ニ向ツテノミ之ヲ使用セシメルト云フヤウナ方針ヲ持ツテ居ルト云フ意味デアリマス、隨テ實際出來タ會社ノ運營ノ場合ニ於テ、又此ノ瓦斯用木炭ニ對スル取締ト言ヒマスガ、制限等ニ付テハ、先般命令事項トシテ定メテアル、例外ノ規定ノ箇々ニ付テ兩々相對シテ御覽下サレバ、此ノ言葉ノ意味ガハツキリシテ來ルノデアリマスガ、一般取引ヲ禁止スルトカ禁退スルト云フ言葉ガ強過ギルト云フコトデアレバ、ソレハ或ハ強過ギルカモ知レマセスガ、政府ノ言ツテ居ル言葉ノ意味ハサウ云フ意味デアリマス

○高田委員 洵ニ驚キ入ツタル御答辯デアリマス、速記録ニハ斯ウ書イテアリマス、「交通事業ニ於ケル重要燃料タル瓦斯用木炭ノ供給ヲ確保スルト共ニ、保健上衛生上有害ナル此ノ種木炭ノ一般取引ヲ禁退セントスル」ト云フコトハ一般取引ヲ禁止スルト云フコトデスコ、サウスルト詰リ民間各方

面ニ瓦斯用木炭ノ製煉所ガアル、ソレヲ、或人ガ買ツタリ賣ツタリスル共ノ取引ヲ禁止スルコトニナルノデハナイカ、此ノ點ハ大臣ガ幾ラ答辯ヲシテモ全然專賣デアルモノト私ハ思ツテ居ル、而シテ中間業者ヲ何名モ認メルト云フコトデハ、應會社ヲ作ツテ値段ヲ公正ニスルト云フ意味モ何モナクナツテシマフ、私ハ本會議ニ於ケル説明ハ全然專賣ノ意味ト解シテ居ルノデアリマス、又ソレデナケレバ效果ガナイ、是ハ意見ノ相違デアリマスカラ、私大臣ニ是以上申上ゲマセス

○島田國務大臣 是ハ意見ノ相違デハナイデアリマス、言葉ノ使ヒ方ニ付テ御議論ガアレバ、或ハ本會議ヲ言ツタ言葉ノ使ヒ方ニ付テハ之ヲ訂正スル必要ガアルカモ知レナイガ、政府ガ此ノ會社ヲ作ルコト云フコトノ意味ハ、繰返シ申上ゲマスヤウニ、專賣特許ニ依ル南式ノ木炭ノミト云フ意味デハナイ、是ハ其ノ他ノ意味カラ致シマシテモ、一手ニヤルコトガ必要デアリカラ、ソレヲスルノデアリガ、之ニ付テハ自家用ノ場合共ノ他ニ付テ例外ヲ認メテ居ル譯デアリマスカラ、其ノ意味カラ言ヘバ、所謂專賣デアルト云フハレガ、所謂專賣會社ヲ作ルト云フヤウナ意味デナイコトハ會社ノ組織自體ヲ見テモ明カデアリマス、本會議ニ於テ使ツタ言葉ニ付テ御意見デアレバ、ソレハ寧ろ其ノ言葉ノ方ヲ訂正スベキデアツテ、政府ガ所謂一般取引ヲ禁退スル云々ト云フ強イ言葉ヲ使ツタ點ハ、言葉ノ使ヒ方ガ宜クナカツタ、斯ウ云フ風ニ御解釋願ツタ方適當デアラウト思フガ、此ノ會社法案自體ノ目的ハ、法案自體ヲ御覽ニナツテモ、政府ハ出資セズ、唯、或ル程度ノ

配當保證ヲスルト云フ程度デヤラウト云フノデアリマスカラ、左様ナ此ノ會社ヲ以テ專賣式ノモノト認メテ取引ヲ禁退スル、專賣行ク云フコトヤウナ意味ノ言葉ヲ使ツタコトハ、ドウモ言葉ガ強過ギタノダラウト思ヒマス

○高田委員 大臣ガ自分ノ代理ニ政府委員ニ説明ヲ、而モ書イテ持ツテ來タモノヲ讀マセテ、ソレガドウモ言葉ガ惡イカ何ト云フコトハ意味ヲ成サスト思フ、何ト申シテ宜シイカ、モウ批判ハ致シマセスガ、途方モナイコトヲ言ハレタモノダト思フ

○山本委員 今ノ關聯デスガ、大臣ノ御説明ニ依ルト、此ノ第十八條ハドウ云フコトナルノデアリマセウカ、此ノ第十八條ノ規定ガアルカラ、政府ハ保健衛生上有害ナル此ノ種木炭ノ一般取引ヲ禁退スルト云フコトガ出テ來ルノデハナイカ、此ノ第十八條ノ規定ニ付テ、政府ハ非常ナル強權ヲ以テ所謂專賣同様に命令ガ發セラレ、サウ云フ意味デ政府ハ斯ウ云フコトヲ言ツテ居ルノデハナイデスカ

○島田國務大臣 第十八條ノ規定ハ御覽ノ通り「賣渡スベキコトヲ命ズルコトヲ得」ト云フ規定デアリマス、隨テ此ノ得ルモノニ付テハ、ドウ云フモノニ對シテドウ云フ命令ヲスルカト云フコトハ、所謂命令ノ内容ノ事項トシテ差上ゲテアル所デ、此ノ規定ニ依ツテ除外ヲ認メルトニナル譯デアリマス、ソレハ協力參考資料トシテ差上ゲテアル所デ、此ノ間懸議ノ時ニモ此ノ規定ニ付テハ申上ゲタト思ツテ居リマス、此ノ第十八條ニ規定スル木炭ハ、蒸化法ニ依ル瓦斯用木炭デ、其ノ外除外例トシテ、自己ノ消費ニ充ツル爲木炭ヲ生産スル場合、ソレカラ特別

ノ事由ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ受ケタ場合、是ハ除外スル規定ニナツテ居ル、十八條カヲ除外ノ規定ガ出テ來ル譯デアツテ、此ノ會社ガ專賣デナイ意味ハ其ノ點カラ了解セラレルデアラウト思ヒマス、唯禁退ト云フコトハ強過ギルト云フ、意味ニ付テ御非難ニ對シテハ、此ノ言葉ニ付テハ緩和シタ意味ガ現ニ法律ニ置イテアリマスカラ、是ハ緩和シタ意味ト云フコトニ誤解ヲ願ヒタインデアリマス、左様ナ意味ニ於キマシテ、此ノ法案ノ全體ヲ御覽下サルト、是ガ專賣會社トカ、サウ云フヤウナ形式ノモノデナイト云フコトハ御了解ヲ願ヘルト思フ、全體ノ機構ガサウ云フヤウニ出來テ居ルノデアリマスカラ、是ハ御覽下サレバ御了解願ヘルト思フデアリマス、ソレカラ此ノ會社ヲ拵ヘタ意味ハ、ココニ除外シテアルヤウナモノニ付テハ初カラ目的ニシテ居ラスノデアリマス、其ノ他ニ此ノ瓦斯用木炭ノ會社ノ動キヲ見テ居ル點ハ何處カト云フト、度、申上ゲタヤウニ、大體ハ一番大キキ需要者トシテハ鐵道省、サウ云フ風ニ見テ居ルノデアリマス、又其ノ次ニハ小サイ規模ニ於テ經營シテ居ル所ノ運輸業者ヲ見テ居ル次第デアリマス、其ノ問題ニ付テ議論サレテ居ルヤウナ、特許權ニ付テ特許料ヲ取ルトカ、大規模ナ營業ヲシテ居ル方面ニ於テ他ノ品物ヲ使ツテ居ル、斯ウ云フヤウナモノニ對シテ何等特殊ナル影響ヲ及ボスモノトハ思ハナイ、唯此ノ會社ガ成立シテ營業スル上ニ於テハ、或ハサウ云フヤウナ方面ニ於テモ此ノ會社ヲ利用シ、又此ノ會社ノ扱ツテ居ルモノヲ供給ヲ受ケ得ルト云フヤウナ考デ、此ノ會社ノ仕事ニ特異ナル仕事ガ殖エテ行クコトガアルカモ知レヌガ、在

來ノモノニ對シテ大シク影響ヲ及ボスモノトハ思ハナイ、及ボサナイデ、成立出來ルモノト政府ハ固ク信ジテ居ルノミナラス、此ノ際私ハ此ノ會社ノコトニ付テ更ニ一言附加ヘテ申上ゲテ置キタイコトハ、是ハハリ今日ノ木炭ノ需要カラ致シマシテ、需給調節特別會計法案ハ既ニ御通過願ツタデアリマスガ、之ニ依ツテ増産スベキ普通木炭ト云フモノハ、何等カノ方法ヲ設ケテ瓦斯用木炭、ガソリン代用ノ木炭ニ付テ供給スルノ制度ガアリマセスト一般ノ家庭用木炭或ハ其ノ他ノ木炭ニ對シテ瓦斯代用ノ木炭ト云フモノガ相當食込シテ來テ、其ノ方面カラ需給ノ關係ヲ窮屈ニスルト云フ虞モアルト考ヘルノデアリマス、ソレ故政府ト致シマシテハ、是ハ自家用ノ木炭ニ對スル需給調節ノ特別會計ト兩々相對シテ效力ヲ發揮セシムルコトガ最モ適當ダ、斯様ニ考ヘルノデアリマシテ、字句ノ問題、言葉ノ使ヒ方ト云フヤウナ問題ニ付キマシテハ、政府トシテハ之ヲ是正スベキコトハ是正モシ、又御希望ナリ御註文ガアレバ、ソレ等ニ付テモ十分聽キマスガ、此ノ會社ヲ拵ヘテ或ル程度ノ瓦斯用木炭、ガソリン代用ノ燃料ニ付テ一番大キキ部分ヲ占メテ居ル所ノモノニ付テ、需給ノ關係ヲ潤滑ニスルノ方法ヲ執ルト云フコトハ、自分ハ此ノ際トシテ最モ必要ダト考ヘマスカラ、是ハモウ諸氏ノ質問ハ大分盡サレテ居ルヤウニ思ヒマスケレドモ、尙ホ此ノ點ハ最初ニ歸ツテ特ニ申上ゲテ置ク次第デアリマス

○小林委員長 之ヲ以テ暫時休憩致シマシテ、午後二時カラ再開シタイト思ヒマス、案ノ審議ノ進行ノ模様ニ依リマシテハ採決ヲシナケレバナラスカモ知レマセスカラ、

ドウカ委員ノ諸君ハ席ヲ御保子下サルヤウニ特ニ御願致シマス
午後零時三十二分休憩

午後二時五十分開議

○小林委員長 是ヨリ開會致シマス

○山本委員 政府委員モ見エヌヤウデアリマスシ、本日ハ豫算ノ本會議モ開カレテ居リマスカラ、質問ヲ留保シテ今日ハ散會セラレンコトヲ望ミマス

(賛成)ト呼フ者アリ

○小林委員長 只今ノ動議ニ御異議アリマセスカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○小林委員長、ソレデハ本日ハ是ニテ散會致シマス
午後二時五十一分散會

○高田委員 大臣ガ自分ノ代理ニ政府委員ニ説明ヲ、而モ書イテ持ツテ來タモノヲ讀マセテ、ソレガドウモ言葉ガ惡イカ何ト云フコトハ意味ヲ成サスト思フ、何ト申シテ宜シイカ、モウ批判ハ致シマセスガ、途方モナイコトヲ言ハレタモノダト思フ

○山本委員 今ノ關聯デスガ、大臣ノ御説明ニ依ルト、此ノ第十八條ハドウ云フコトナルノデアリマセウカ、此ノ第十八條ノ規定ガアルカラ、政府ハ保健衛生上有害ナル此ノ種木炭ノ一般取引ヲ禁退スルト云フコトガ出テ來ルノデハナイカ、此ノ第十八條ノ規定ニ付テ、政府ハ非常ナル強權ヲ以テ所謂專賣同様に命令ガ發セラレ、サウ云フ意味デ政府ハ斯ウ云フコトヲ言ツテ居ルノデハナイデスカ

○島田國務大臣 第十八條ノ規定ハ御覽ノ通り「賣渡スベキコトヲ命ズルコトヲ得」ト云フ規定デアリマス、隨テ此ノ得ルモノニ付テハ、ドウ云フモノニ對シテドウ云フ命令ヲスルカト云フコトハ、所謂命令ノ内容ノ事項トシテ差上ゲテアル所デ、此ノ規定ニ依ツテ除外ヲ認メルトニナル譯デアリマス、ソレハ協力參考資料トシテ差上ゲテアル所デ、此ノ間懸議ノ時ニモ此ノ規定ニ付テハ申上ゲタト思ツテ居リマス、此ノ第十八條ニ規定スル木炭ハ、蒸化法ニ依ル瓦斯用木炭デ、其ノ外除外例トシテ、自己ノ消費ニ充ツル爲木炭ヲ生産スル場合、ソレカラ特別

ノ事由ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ受ケタ場合、是ハ除外スル規定ニナツテ居ル、十八條カヲ除外ノ規定ガ出テ來ル譯デアツテ、此ノ會社ガ專賣デナイ意味ハ其ノ點カラ了解セラレルデアラウト思ヒマス、唯禁退ト云フコトハ強過ギルト云フ、意味ニ付テ御非難ニ對シテハ、此ノ言葉ニ付テハ緩和シタ意味ガ現ニ法律ニ置イテアリマスカラ、是ハ緩和シタ意味ト云フコトニ誤解ヲ願ヒタインデアリマス、左様ナ意味ニ於キマシテ、此ノ法案ノ全體ヲ御覽下サルト、是ガ專賣會社トカ、サウ云フヤウナ形式ノモノデナイト云フコトハ御了解ヲ願ヘルト思フ、全體ノ機構ガサウ云フヤウニ出來テ居ルノデアリマスカラ、是ハ御覽下サレバ御了解願ヘルト思フデアリマス、ソレカラ此ノ會社ヲ拵ヘタ意味ハ、ココニ除外シテアルヤウナモノニ付テハ初カラ目的ニシテ居ラスノデアリマス、其ノ他ニ此ノ瓦斯用木炭ノ會社ノ動キヲ見テ居ル點ハ何處カト云フト、度、申上ゲタヤウニ、大體ハ一番大キキ需要者トシテハ鐵道省、サウ云フ風ニ見テ居ルノデアリマス、又其ノ次ニハ小サイ規模ニ於テ經營シテ居ル所ノ運輸業者ヲ見テ居ル次第デアリマス、其ノ問題ニ付テ議論サレテ居ルヤウナ、特許權ニ付テ特許料ヲ取ルトカ、大規模ナ營業ヲシテ居ル方面ニ於テ他ノ品物ヲ使ツテ居ル、斯ウ云フヤウナモノニ對シテ何等特殊ナル影響ヲ及ボスモノトハ思ハナイ、唯此ノ會社ガ成立シテ營業スル上ニ於テハ、或ハサウ云フヤウナ方面ニ於テモ此ノ會社ヲ利用シ、又此ノ會社ノ扱ツテ居ルモノヲ供給ヲ受ケ得ルト云フヤウナ考デ、此ノ會社ノ仕事ニ特異ナル仕事ガ殖エテ行クコトガアルカモ知レヌガ、在

第六類 第五號

第七十五回帝國議會 院 昭和十二年法律第九十號中改正法律 案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)

委員會議錄(速記)第二十六回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク) 日本瓦斯用木炭株式會社法案(政府提出)(第一〇六號)

(三三六)

會議 昭和十五年三月二十五日(月曜日)午前十時五十七分開議

出席委員左ノ如シ 委員長 小林 相治君 理事伊藤 五郎君 理事山本 条吉君 理事坪山 德彌君 理事淺井 茂猪君 高田 耘平君 小泉 純也君 高橋 義次君 木槍三四郎君 長野 綱良君 助川啓四郎君 小笠原八十美君 小串 清一君 世耕 弘一君 川俣 清吾君 小野 謙一君 平野 力三君 同日委員山崎銀二君及松尾四郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ川俣清吾君木槍三四郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ 農林參事官 松本 弘君 農林省山林局長 田中 長茂君 燃料局事務官 柳原 博光君 本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ 日本瓦斯用木炭株式會社法案(政府提出) ○小林委員長 開會致シマス、暫時休憩致シマス

午後三時十九分開議 ○小林委員長 開會致シマス ○高田委員 一寸資料ノコトニ付テ伺ヒタイト思ヒマス、私ハ此ノ木炭ニ關スル委員會議ノ即日、各種ノ資料ノ提出ヲ政府ニ

第六類第五號

昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)委員會議錄 第二十六回 昭和十五年三月二十五日

三五五

要求シタルデゴザイマス、就中私が最も重大ナル問題トシテ要求シタルハ、今日マデ政府ニ出來マシタル國策會社ノ内容ノ問題デゴザイマス、東北振興株式會社創立以來、多數ノ國策會社が出來テ居ルノデゴザイマス、其ノ内容ヲ檢討スルコトハ、本案ヲ審議スルニ當ツテ私ハ最も重大ナル資料ト存ジテ居ツタノデゴザイマス、然ルニ多數ノ國策會社ノ中、吾々が再々要求シタルニモ拘ラズ、私ノ手許マデ參リマシタルモノハ僅ニ三種ニ過ぎマセズ、其ノ一ハ東北振興株式會社、其ノ二ハ日本發送電株式會社、其ノ三ハ日本礦業株式會社トシテデゴザイマス、其ノ他ノ多數ノ國策會社ノ内容ニ付テハ、何故か私ノ手元ニハ參リマセズ、諸君ノ手元ニモ無論參ラスカラウト思ヒマス、私個人トスレバ、今日ノ場合ニ於テ經濟統制ガ必要ナルト信ジテ居ルノデゴザイマス、併シナガラ唯經濟統制ヲスルコトニ依ツテ、果シテ其ノ產業ガドウナルカ、會社ノ内容ガドウナルカト云フコトニ付キマシテ、從來成立シタル國策會社ヲ檢討スルコトハ、吾々議員トシテ最も執ラナケレバナラヌコトデアルト固ク信ジテ居ツタカラ、第一ニ要求シタルデゴザイマス、然ルニ今日マデ僅カ三ツデゴザイマス、是ニ於テ政府ニ伺ヒマスガ、其ノ他ノ資料ハ何時マデニ御出シナルカ、一寸御返答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○田中政府委員 御話ノ國策會社ノ資料ニ付キマシテハ、實ハ出來タモノカラ順次差

上ゲルト云フコトニ致シマシテ、御話ノヤウニ三部タケ三會社ニ付テ差上ゲテ譯デアリマスガ、出來次第差上ゲル積リデ、今日マデ來テ居ツタ譯デアリマス

○高田委員 隨分急ツテ居ルト思ヒマス、私共ガ開會傍頭ニ要求シタル資料ヲ、今尙ホ提出出來ナイト云フコトハ、私ハ何トシテモ其ノ點ニ付テハ政府ノ御誠意ガナイト思ヒマス、國策會社ヲ通過セシメントスラバ、少クとも國策會社ノ内容ヲ吾々ニ示シテ、サウシテ吾々ニ贊成ヲ求メルノガ當然デアルニ拘ラズ、今尙ホ御提出ニナリマセズ、ノミナラズ内容ハ申シマセズガ、大臣ノ御說明ノ中ニモ矛盾ノ點モアツタヤウニ存ジマス、故ニ私ハ政府ガ私ノ要求シタル資料ヨリ外ニ、マダ小串君其ノ他ノ要求シタル資料モアルヤウニ思ヒマスカラ、參考資料ノ全部出揃フマデ、而シテ大臣ノ御答辯ニ矛盾ノ點等モアリマスカラ、是等ノ點ニ付テ私共ハ能ク研究シタイト思ヒマスカラ、ソレマデ本委員會ヲ延會シタイト云フ動議ヲ提出致シマス

(贊成ト呼フ者アリ)

○小林委員長 何デスカ、モウ一度……

○高田委員 要點ハ斯ウデス、吾々ガ要求シタル必要ナル資料ガマダ御提出ニナリマセズ、是ガ第一ノ理由デゴザイマス、ソレデ資料ノ出ルマデ延會致シタイ、又大臣ノ御答辯ノ中ニ、前後矛盾等ノ點モアルヤウニ思ヒマス、是等ノ點ニ付テモ私共尙ホ能ク速記録ヲ調べテ見タイト思ヒマスカラ、

此ノ二ツノ理由ニ依リマシテ本日ハ其ノ資料ヲ揃フマデ、延會シタイト云フ動議デゴザイマス ○小林委員長 只今ノ動議ニ御異議アリマセスカ (異議ナシ)「異議ナシ」「反對」ト呼フ者アリ ○小林委員長 多數——ソレデハ其ノ通り決シマス 午後三時三十分延會

第七十五回帝國議會 院 昭和十二年法律第九十號中改正法律 案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)

委員會會議錄(速記)第二十七回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク) 日本瓦斯用木炭株式會社法案(政府提出)(第一〇六號)

(三四二)

會議 昭和十五年三月二十六日(火曜日)午前十一時二十分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 小林 絹治君
- 理事伊藤 五郎君 理事山本 条吉君
- 理事坪山 德彌君 理事淺井 茂猪君
- 高田 耘平君 小泉 純也君
- 高橋 義次君 木村三郎君
- 長野 綱良君 助川啓四郎君
- 小笠原八十美君 小中 清一君
- 世耕 弘一君 川俣 清吉君
- 小野 謙一君 平野 力三君
- 村上 元吉君

出席政府委員左ノ如シ

- 農林省山林局長 田中 長茂君
- 燃料局事務官 柳原 博光君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

日本瓦斯用木炭株式會社法案(政府提出)

○小林委員長 開會致シマス

○世耕委員 此ノ開會東ヲシテ置イタノデ

スガ、商工大臣ハオ出デデスカ

○小林委員長 今呼ビニ行ツテ居リマス

資料ニ付テ政府ニ要求シテ置キマシタガ、

何カ出來マシタカ

○田中政府委員 昨日高田委員カラ御叱言

ヲ頂戴シタノデアリマスガ、直接本法案ニ

關係アル資料デ、吾々ノ方デ可能ナモノハ

實ハ非常ナ苦勞ヲ致シマシテ提出致シタノ

デアリマスガ、唯會社ノ貸借對照表、損益

計算書ダケガ、多クノ國策會社ゴザイマ

スノデ、一部ノ資料シカ提出出來ナカウタ
コトハ遺憾デアリマスガ、其ノ外ノ資料ハ
殆ド御要求ニ應ジマシテ提出シテ置イタ譯
デアリマス

○小中委員 今資料ノ御話ガ出マシタガ、

實ハ私ハ途中カラ參加シタノデアリマシテ、

參加スルト同時ニ資料ノ請求ヲシテ、既ニ

他ノ人カラ要求ガアツテ出テ居レバソレデ

宜シイト云フコトデ、二三ノ資料ヲ要求シ

マシタ、其ノ中ノ一ツハ瓦斯用木炭ト云フ

モノノ製法ハ、今非常ニ色々ナモノガアツ

テ、コトバテントノアルモノモアルシ、又ソ

レガナクテモ非常ニ優秀ダト稱セラレモ

ノモアル、現ニ私ノ開イテ居ルノハ木炭式

デアルトカ、或ハ三好委員カラ聞イテ、名

前ハ忘レマシタガ、熊本ハ炭ノ産地デ、瓦

斯用木炭ヲ造ルモノニ非常ニ良イ式ガアル

ト云フコトヲ聞イタ、兎ニ角ヤウ云ツタ時

代デアリシ、是ダケノ一千万圓ノ會社ヲ作

ルカラニハ良イノガアレバ良イノヲ使フト、

政府ニ於テモ言明サレテ居ル以上ハ斯ノ如

ク色々ノ式ガアツテ、單ニ空論トシテ行ハ

レテ居ルノデナク、實際ニ炭ヲ燒キ、其ノ

炭ヲ使ツテ居ルト云フ状態デアルカ、一

應農林當局トシテ、是ダケノ會社ノ案ヲ御

出シニナル以上ハ、サウ云フ基礎ノ調査ガ

アツテ、是ハ斯ウ云フ風ダケレドモ、コロ

ニ缺點ガアル、是ハ斯ウ云フ風デ賞揚スベ

キ點ガアル、サウ云フコトハ一應ハ吾々ニ

示シテ戴カナレバナラヌト思フ、假ニ民

間デ吾々ガ會社ヲ發起シテ、一千万圓ノ會

社ヲ拵ヘル時ニ、其ノ會社ノ事業ヲ如何ナ

ル點ニ決メタルコト云フコトハ、容易ナラザ

ル問題ダト思フ、然ルニソレニ對シテ良イ

ノガアレバ、ドレデモヤルト云フヤウナ方

法ニ依ツテヤルノハドウカト思フ、併シテ

ガラ議論ハ第二ト致シマシテ、私ノ請求シ

タモノハ、農林當局ノ方ニナケレバナラス、

其ノ第一ノモノダケハ是非出シテ貰ヒタ

イ、此ノ點重ネテ要求致シテ置キマス

○木村委員 昨昨日委員ニナリマシタノ

デ是マデノ經過ハ詳シクハ分リマセスガ、

皆サンノ審議ノ速記録ヲ見マシテ如何ニモ

當局ノ説明矛盾シタ點ガアルノデアリマ

ス、隨テ高田委員カラ資料ノ要求ヲサレタ

ノモ、國策會社ヲ立テラナラバ相當ニ見透

シガナケレバナラヌト云フ點カラ、國策會

社ノ資料ノ要求ヲシタノデアラウト私ハ

思フノデアリマス、ソコデ私ハ當局ニ一ツ

御伺スルノデスガ、一體政府ノ役人ハ國策

會社ヲ立テラナラヌト云フハ、殊ニ今日ハ

モノガナケレバナラヌト思フ、殊ニ今日ハ

戰時體制デス、普通ノ場合トハ違ツテ居ル

ノデアリマス、戰線ニ立ツテ居ル者モアレ

バ、銃後ニ於テ相當ノ重稅ヲ拂ツテ居ル者

モアル、此ノ戰時體制下ニ於テハ、國民ガ

一致シテ戰爭ノ目的ヲ達スル爲ニヤツテ居

ル、國策會社ヲ立テラナラヌト云フハ、前途

ニシツカリシタ見透シガナケレバナラヌ、

ソコデ一番良イ例外ダト思フテ居リマスノ

ハ、日本發送會社ノ結果ハドウデスカ、

是ハ總理大臣モドウシテモ遂行シナレバ

ナラス、陸軍大臣モ之ヲヤラナケレバ戰時

體制ニ差支ヲ生ズルトマデ言ツテ居ル、所

ガ之ヲ實行シタ結果ハドウデスカ、委員ノ

中ニハ三宅委員ノ如キハ此ノ日本發送會社

社ヲ拵ヘルニ付テハ、從來ノ經濟機構ヲ

破壊スルカラ、新シイ段階ニ入ルニ付テ

ハ、其ノ間電力ノ減量ガアリハシナイカト

質問シテ居ル、之ニ對シテ永井運信大

臣ハ、ソレハ心配ナイト云ツテ居リ、

其ノ他有田政府委員モ心配ハナイト云ツテ

居ラレタノデス、是等ノ人々ハ國策ト

シテ、電力ノ統制ヲ必要ナリトシテ、之ニ

熱意ヲ持ツテ居ル人デアラガ故ニ之ヲ心配

シ、從來ノ經濟機構ヲ壞シテ、所謂國家統

制ノ下ニ新段階ニ入ルノダカラ、其ノ間ニ

電力ノ減量ヲ來シヤシナイカト云フコトマ

デ質問シテ、心配ナシト云フ答辯ガアツタ、

所ガ御承知ノ通り昨年ノ夏カラ軍需工業ト

云ハズ、平和工業ト云ハズ、外國ノ行ク品

物ヲ出サウトシテモ動力ガ足ラヌト云フ有

様デ、内外ニ對スル迷惑ト云フモノハ容易

ナモノデハナイ、之ヲ通サナケレバ戰時體

制ガ困ルトマデ軍需大臣ハ言ツテ居ルガ、

ソレニハ相當見透シガナケレバナラヌ、私

共ノ心配スルノハ戰時體制下ニ於テハ少

シデモ際ガアツテハナラヌ、私共ハサウ云

フ點ヲ心配スル、此ノ日本發送會社株式會社

ト云フモノガ、假令理窟ハドンナニ宜クテ

モ、石炭買入ガ不十分デアツタ爲ニアノ狀

態ヲ來シタ、其ノ結果ハ商工省カラ小樽ヤ

室蘭ヤ、若松ニマデ人ヲ派シテ炭ノ積込ヲ

爲スト云フヤウナ状態デアル、更ニ又此ノ頃ハ石炭ニ對シテハ、低物價政策ヲ維持スル爲ニ獎勵金ヲ一應ニ付給スルコト云フヤウナコトマデヤツテ來テ居ル、是ハ何ガ原因ヲ成シタカト云フト、所謂革新案ト稱スル國家新制ノ電力國家管理案ト云フモノガ、其ノ道程ニ於テ是ダケノ炭ノ買入ニ於テ手違ヒヲ生ジテ來、其ノ結果ガ戰時體制ニ大ナル迷惑ヲ掛ケテ居リ、平和産業ニマデ外貨ヲ獲得ルコトノ出來ナイヤウナ迷惑ヲ掛ケテ居ル、是ハ爲政者トシテハ此ノ間違ヒヲ致シテ責任ハ、昔ナラバ腹ヲ切ツテ御詫ヲシナケレバナラス、所ガ時ノ電氣廳長官デアリ、其ノ後選任次官ニナツタ大和田君ノ如キハ、之ヲ強調シテ國家ノ爲ニ非常ニ良イ案ダトシテ力説シタ、其ノ結果ニ於テ是ダケノ迷惑ヲ戰時體制ニ與ヘテ居ツテ、而モ不然而シテ其ノ位置ニ止マツテ居ル、爲政者ト云フモノハ戰時體制ニ於テハ、コンナコトデハイカス、國民ニ眞劍ニ就後ノ務ヲシロト云フカラニハ、至誠ヲ以テ國策トシテ信ジタモノナラバ、之ヲ遂行シ、ソコニ間違ヒガアツタナラバ相當ナ責任ヲ執ラナクテハナラス、所ガ殆ド無責任デス、國策會社ト云フモノハ總テ皆然リデス、東北振興會ニシテモ大臣ニナル一ツノ道程デ、吉野君ノ如キハ此ノ地位ニ著イテ、東北振興會社ノ實ヲ上ゲル爲ニ相當ナ人材ヲ得タト云フテ喜ンデ居ルト、腰ヲ掛ケタト思フト、大臣ノ招請ガアレバ直グ移ルト云フ譯デ殆ド信念ガナイ、國家ノ爲ニナルノデハナクテ、唯自己ノ一身ノ都合デヤツテ居ル、今日ノ戰時體制ニ於テハ、ソシテ馬鹿ガタコトデアツテハナラナイ、サウデスカラ私共ガ心配スルノハ國策會社ノ案ヲ拵ヘテヤ

ルノニハ金ガ要ル、ソレハ役人ハ懐ロカラ纏一文モ出シハシマセヌ、所謂國民ノ血ヲ搾ツタ其ノ金デセウ、ソレデスカラ計畫ヲ立テタナラバ、少クモ此ノ計畫ハ本當ニ間違ヒノナイト云フ是ダケノ眞劍味ヲ持タナケレバナラス、電力國家案ノ如キハ一番革新政策トシテ新シイ政治家ニ歡迎サレタ案デセウ、而モソレガ道程ニ於テ唯石炭ノ買入レ方ガ惡カツタト云フ問題デス、是ハ事實ガ物語ツテ居ル、發送電會社ガ石炭ノ買入ガ惡イ爲ニ海軍カラモ石炭ヲ借りタ、陸軍カラモ借りタ、鐵道省カラモ借りタ、外ノ方ノ會社デハ、石炭ガナクテ營業ヲ休ンデ居ルナント云フコトハアリマセヌ、總理大臣初メ軍部大臣其ノ他當局ノ大臣マデガ書書ヲシテ、之ヲ通サナケレバ戰爭ガ出來ヌト云フ位マデ言ツタモノガ、此ノ通リノ態度、今日ニ於テモ政府ノ役人ハ一人モ責ヲ負フ者ハナイ、農林省ハ南式ノ特許ヲ以テ之ヲ中心トシテ會社ヲ作ルト言フ、御經驗ノアル相當ナ役ニ居ラレル方ガ案ヲ具シタニハ違ヒナイガ、此ノ質問應答ヲ見ルトマルデナツテハ居ナイ、私共ハ之ヲ見ルト却テ「ガソリン」代用木炭ト云フモノハ缺乏ヲ來シハシナイカ、會社ガ出來テ此ノ事實ノ手ニ依ツテ、民間ノ臺所ニ要スル方ガ却テ壓迫ヲ受ケハシナイカ、斯ウ云フヤウナコトマデモ私共ハ感ズル位デス、サウデスカラ政府當局ガ之ヲ本當ニナルナラバ——人間デスカラ少シノ間違ヒハアリマセウガ、少クモ是ハ國家ノ爲ニ間違ヒナイト云フダケノ確カナル見透シガアルナラ宜イケレドモ、今申シタヤウニ日本發送電會社ガ成立シテ、其ノ道程ニ於テ而モ心配ハアリマセヌト裏書ヲシタ役人ガ、不然而シテ

ナケレバナラス、一役人ノ名前ニシテ之ヲ取ツテ、而モ之ヲ中心ニ木炭會社ヲ拵ヘル、其ノ事ガ既ニ出發ガ間違ツテ居ル、是デハ官吏程宜イモノハナイ、國家ノ祿ヲ食ンデ發明工夫ヲシテ、自分ガ權利ヲ得、是デ以テ利益ヲ得ルノダ、斯ウ云フコトニナツテシマツタラ、洵ニ公私ノ區別ト云フモノハ何處ニアリヤ、洵ニ疑ハザルヲ得サウナ譯デアル、サウデスカラ私共ハ此ノ一千万圓ノ會社ヲ拵ヘテ參ラウト云フモノハ、國家ノ見地カラ見ナクテヤナラス、政府當局方國家ノ爲ニ國策會社トシテ御提案ニナツタニハ違ヒナイガ、吾々ハ國家ノ爲ニ是ガ良イカ惡イカ、正邪善惡ヲ判斷シテ、良ケレバ之ニ賛成シ、惡ケレバ之ヲ否決シテ行ク、或ハ出直シテ頼フト云フコトニ行カナケレバナラスト私共ハ思ツテ居ル、唯政府案ガ出サヘスレバ吾々ハ之ヲ通シテ行クト云フ役目デヤナイ、ソコ今マデ議會ニ於テ私共ガ協賛ヲ致シテ參リマシタ國策會社ト云フモノハ、モウ總テガ裏切ラレテ居リマス、政府當局ノ言フ所ハ實現ヲ致シマセヌ、即チ爲政者ト云フモノハ責任ナシ、無責任ノ境地ニ立ツテ國家ノ金ヲ使フト云フヤウナ状態ニ今日ナツテ來テ居ル、高田委員方國策會社ノ總テノ成績ヲ見タイト云フモノ、亦此處ニアルト私共ハ思ツテ居ル、ソレデスカラ、私ハ政府ノ此ノ案ヲ御組ミニナツタ人ニ特ニ才德キシタイノハ、南式トカ木炭式トカ云フヤウナ同業ノ發明ガ出來テ居ルヤウデスガ、斯ウ云フヤウナモノガアル中ニ獨リ南式ヲ拵ヘテ是ダケヲヤル、其ノ見透シハ何處ニアルノカ、私共ノ考ハ却テ斯ウ云フモノガ出來ヌト民間ノ木炭ノ需要ト云フモノガ壓迫サレヤシナイ

カ、斯ウ云フコトマデ思ツテ居ル、サウデスカラ故ニ官僚ノ手ガ伸ビテ民間ノ此ノ方面ノ事業家ト云フモノハ萎縮シテシマツテ、現在ヨリハ木炭ノ製造ト云フモノハ量ヲ減ラシテ來ヤシナイカト私共ハ思ツテ居ル、一方ニハ炭焼ト云フモノハ他ノ業者トハ違ヒマシテ、非常ニ移動性ノ早イモノデアリマスカラ、算盤ガ合ハヌカラ詰ラヌ、現在デモ炭ノ公定價格ト云フモノガ安過ぎルカラ止メテ、皆薪デ出シテ居リマス、生薪ヲ出シテ、其ノ生薪ガ下ノ方ニ行クト、學生ナドガソレヲ買ツテ平地デ炭ヲ燒イテ居ル、現在斯様ナ状態ニナツテ居ルノハ何カト云フト、政府ノ低物價政策ト云フモノガソコニ矛盾ヲ與ヘテ居ルノデハナイカ、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘマシテ、此ノ一千万圓ノ會社ト云フモノガ、政府提案ノヤウニ目的ヲ果スト云フト、民間ノ木炭業者ノ製造ガ却テ萎縮シヤシナイカ、私共ハ斯ウ云フ考ヲ以テマシテ、政府ノ此ノ案ハ却テ逆效果ヲ呈シヤシナイカト思フ、今日ノ所デハ民間ノ「バス」會社ノ人達ナドハ皆銘々山ヲ買ツテ、自分ノ會社ヲ要スルモノハ燒イテ居リマス、全部トハ申シマセヌガ、私共ガ知り得ル大キナ會社ハ大概サウツテ居リマス、ト云フノハウルサイ政府ノ統制ノ下ニナラレルヨリハ自分ノ手デ燒ク方ガ宜イト云フノデ、ソレ東横會社其他「バス」ヲ餘計ヤツテ居ル所ハ自分デ燒カセテ居リマス、斯ウ云フヤウナ譯デアリマスカラ、政府ガ故ラ國策會社ト稱シテ「ガソリン」用ノモノヲ拵ヘテ見テ所デ、其ノ範圍頗ル狭小デアル、所謂「バス」ヲ營業トシテ居ルモノハ、自給自足ノ建前ニ立ツテヤツテ居リマス、是ガ出來ルナラバ寧ロ放任シ

テ置イタ方ガ宜イ、此ノ位ニ私共ハ思ツテ居ル、ソレデスカラ此處ニ大臣ノ居デニナリマセヌカラ、山林局長ノ御意見ガ確ニ所定ノ方針ニ依ツテ増産ガ出來、民間業者ノ木炭需要ヲ壓迫スルコトナク、サウシテ御計畫ノヤウニ採算ガ取レルト云フコトガ、本當ニ保證ガ出來ルカドウカ、斯ウ云フヤウナ點ヲ特ニ私ハ御同ヲ致シテ自分ノ意見ヲ決メル資料ニ致シタイト思ツテ居リマス、今日ハ戰時體制下デアリマスカラ、政府ガ金ヲ使フ上ニ付テハ、厘錢ノ微ト雖モ無駄ヲシナイヤウニシテ行カナケレバナラス、今マデ幾度カ國策會社ト云フモノハ誤ラレテ居リマス、斯様ナ譯デアリマスノデ、是ダケノコトヲ一寸御結キ申シテ、政府提案ノ目的ハ本當ニ日本發送電ノヤウナ馬鹿ガタ間違ヒガナク進行出來ルモノデアルカ、其ノ見透シト云フヤウナ點ニ對シテ一寸御同致シマス

○田中政府委員 本會社ノ設立後ニ於テ、本會社ノ運営ガドウカ、寧ロ木炭ノ減産ヲ來タシハシナイカト云フ御話デアリマスガ、吾々ハ本會社ニ付キマシテハ、早急ニ目論ムンダノデハナイノデアリマシテ、相當研究致シマシテ、且ツ交通事業上、ドウシテモ效率ノ良イ木炭ヲ生産シテ、サウシテ自動車業者ニソレヲ供給スル、他方ニ於テ家庭用木炭ノ供給ヲ阻礙シナイヤウニスルト云フヤウナコトヲ考ヘテ、ヤツテ居ルノデアリマシテ、本會社ガ出來マセバ、自動車業者ニ對スル木炭ノ供給ガ十分且ツ效率ノ良イ物ガ供給出來ル、若シ本會社ガ設立サレナイト致シマセバ、此ノ會社ノ事業ノ内容カラ度々御説明致シマシタ通り、原本木炭ノ對スル資金ノ供給或ハ手當等出來兼ネル

○田中政府委員 委員會ニ於テ、其ノ點ハソレノ燃料局ノ方カラノ政府委員、其ノ他カラ再々御答申上ガタ通りデアリマシテ、吾々ノ役所デ以テ總テノ問題ヲ研究スルコトハ可能デモナシ、又スベキモノデモ

○世耕委員 一寸御同致シテ——今局長サシノ御話デハ、一年以上モ掛ツテ研究ナサツタト云フ非常ニ御熱心ナ態度ハ敬服致シマスガ、木炭ダケノ研究デアリマスカ、外ノ方ノ代用燃料——「カーバイド」或ハ天然瓦斯、薪其ノ他ニ付テモ今御説明出來マスカ

○田中政府委員 木炭以外ノ代用燃料ニ付キマシテハ、燃料局ノ政府委員カラ御答シタ方ガ宜イト思ヒマス

○世耕委員 ソレデハアナタノ研究ハ唯木炭ダケト云フコトニナルノデスカ

○田中政府委員 吾々ト致シマシテハ、燃料局ト常ニ連絡ヲ取ツテ、各、其ノ専門ニ依ツテ研究且ツ事務上ノ連絡ヲ圖ツテ進ンデ居ル譯デアリマス、隨ヒマシテ吾々トシテハ十分瓦斯木炭ヲ使用シテ自動車ヲ運行シナケレバナラスト云フ確信デ進ンデ居ルノデアリマス

○世耕委員 サウシマスト、先程ノ御話ガ少シ狂ヒガ生ジテ來ルヤウニ思フノデスガ、有エルモノヲ綜合シテ研究シテ結果、木炭ガ最高ナリト云フ結論ヲ與ヘタノデナクシテ、外ノ人ノ意見ヲ聽イテ、ソレモ宜カラウ、是モ宜カラウト云フヤウナ風デ、宜イ加減ヲ御調査ニナツタト云フ結論シカ得ラレナイノデスガ、其ノ點ハドウデスカ

○田中政府委員 委員會ニ於テ、其ノ點ハソレノ燃料局ノ方カラノ政府委員、其ノ他カラ再々御答申上ガタ通りデアリマシテ、吾々ノ役所デ以テ總テノ問題ヲ研究スルコトハ可能デモナシ、又スベキモノデモ

○小林委員 木炭會社カラ資料ニ付テ御要求ニソレニ關聯シテ御質問ガアリマシテ、御質問中ニハ多ク御尤モナ點モアツタト思フノデアリマス、ソレニ付キマシテ此ノ際委員長ノ意見ナリ、希望ト申シマスカラ申上ゲテ、議事進行ヲ圖リタイト思フノデアリマス、ソレハ今朝ノ何處カノ新聞デアツタト思ヒマスカ、資料ノ要求ガ恰モ差當リ必要デナイ資料ヲ要求シテ、ソレガ爲ニ審議ガ遅レテ居ルカノ如キコトヲ言ツテ居ルノガ、アリハシナイカト思フノデアリマス、ソレハ資料要求スル委員ノ考ト大イニ違ツテ居ルト思ヒマス、委員諸君ハ此ノ法案ヲ審議ニ掛リマシテカラ、既ニ九回ノ委員會ヲ開イテ、今日ノ如キモ一人ノ缺席モナク熱心ニ審議ヲ續ケラレテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フヤウナ誤解ガ世間ニ若シアリト致シマスカラ、ソレハ當該委員ノ考デモナシ、又議會ノ權威ニモ關スルコトデアリマスカラ、一言致スノデアリマス(ヒヤ／＼)資料ヲ要求スル委員ノ立場カラ致セバ、此ノ資料ガナケレバ審議ガ出來ナイ

審議ヲ進ムルニ最重要ナル資料デアルト云フ考テ要求スルノデアリマスガ、併シナガラ資料ヲ提出スル方ノ側カラ申セバ、資料ガナクテモ直接是ガナケレバ審議ガ出ルト思フデアリマス、國策會社ノ業績ニ關シマシテ、只今本會社カラ御意見ノ御陳述ガアリマシタガ、洵ニ御尤モナ點ガ多クアルト思ヒマス、同性質ノ此ノ國策會社ヲ作ラントスル所ノ本法案ノ審議ニ當ツテハ、大切ナ資料デアルト思ヒマス、併シナガラソレハ又今申ス通り反面ニ於テハ、必ズシモ發送會社トハ同ジモノデアリマセスカラ、其ノ資料ガナケレバ、審議ヲ進メナイデ置クト云フ譯ニモ行カスト云フ見方モアラウト思ヒマスカラ、政府ニ於テモ熱心ニ今日マデ出セルダケノ資料ヲ出サレタ、委員トシテハマダ資料ノ御不足ノ點ガアラウト思ヒマスガ、出來レバ資料ハ政府ノ出シ得ル程度ニ止メマシテ、審議ヲ續行サレルヤウ希望致シタト思フデアリマス、尙又是ハ御諸君ノデアリマスケレドモ、最早九回モ委員會ヲ開キマシテ、相當ニ審議ヲ盡シタデアリマスシ、今日ハ殊ニ最終日ノコトデアリマスカラ、出來レバ保留質疑ノ形ニナツテ居リマス所ノ質疑ヲ打切ツテ、討論ニ御入りニナツテ戴クヤウニシタト思フデアリマス、ソレハ保留質疑デアリマスカラ、或ハ簡單ニシテ良イトカ、惡イトカ云フ議論ハアリマセナイ、良イ先例ナラバドソノ作ツテ行ツテ宜イト思フデアリマス、審議ノ精神ニ於テ、最モ熱心ニ此ノ法案ヲ審議シヨウト云フ委員諸君ノ熱誠ヨリシテ出來レバ須ク

討論ニ御入りニナルヤウニ審議ヲ進メタイト思ヒマス、是ハ一言委員長ノ希望トシテ申上ゲテ置キマス
 ○世耕委員 今委員長ノ御説明ノ中ニ、委員ガ要求シタ資料モ政府ガ直接ハ必要ナイカラ出サナクテモ宜イト云フ判斷ヲ下スト云フ風ナコトガ一寸私ノ耳ニ觸ツタノデアリマス、若シサウダトスルト、委員ガ要求シタ資料モ政府ノ方デハ必要ナイカラト言ツタラ出サナクテモ宜イト云フヤウナ結論ガソコニ出テ來ルノデアリマスガ、私ガ其ノ事ニ聽キ聞達ヘタカ知レマセヌガ、此ノ點ハハツキリサセテ戴キタイト思ヒマス、少クとも委員ガ要求シタ資料ハ、政府ハ出ス義務ガアル、ソレハ本法案審議ノ上ニ當然ナコトデアルト思フデアリマス、若シソレガ出ス必要ガナイト認メタ場合ハ、此ノ委員會ヲ通ジテ其ノ意思表示ヲサシメテ、然ル後決定スル方ガ議事其ノ他ノ關係上、私ハ圓滿ニ行クノデアリカト考ヘルノデスガ、其ノ點モウ一遍御尋シテ置キマス
 ○小林委員長 世耕君ニ御答致シマス、政府ハ今日マデ要求サレタ資料ヲ熱心ニ蒐集シテ、先刻政府委員ノ御話デハ非常ニ苦勞シテ出シタト云フヤウナ御話デアリマシタ、私ガ申シタノハ政府ニ代ツテモアラシテ居ルノデアリマセヌ、資料ヲ出セト云フ方ト出ス方トノ心境ヲ比較シテ、デアアルカヲ世間ノ人ガ見タナラバドウモ無理ナ要求ヲスルト云フヤウナコトヲ、既ニ新聞ナカニモ書イテ居リマスカラ、ソレハ委員會カニモ書イテ居リマスカラ、ソレハ委員會ヲ侮辱スルモノデアアル、議會ノ權能ト致シマシテ政府ニ資料ヲ要求スルノハ當然ナ話ダ、併シナガラ出ス方カラ言ヘバドウモサ

ウ云フ滑溜ナモノハ中々此ノ短時日ニ出來ナイ、ソレ位ノコトハハツツテ與レテモ宜ササウナモノダト云フ心境ヲ申シタノデアリマス
 ○小車委員 議事進行ニ付テハ先刻私ハ自分ノ資料ノ要求ノコトニ付テ申上ゲマシタガ、別段當局カラ御答ガナイノデスケレドモ、此ノ木炭會社ノ目録見書ヲ見、サウシテ設立シテ色々買ツタリ賣ツタリ或ハ白製製造シタリスルニ付テ、一番重大ナル、ポイントヲナスモノハ、即チ此ノ木炭ノ造リ方デアルト思フデアリマス、ソレハ先刻申スヤウニ色々ナモノガアルノニ、山林局長ハ此ノ木炭ニ關スル限りハ有ユルモノヲ研究シテアルト言フ、研究シテアルモノナラバ、私ノ尋ネタヤウナ、民間ニ是レノモノガアルケレドモ、是ガアアグトカスウダトカ云フ其ノ生産數量トカ、其ノ範圍ト云フモノニ付テ、事前ニ吾々ノ手ニ參考ニナルモノガナケレバナラヌ、デナケレバ是ダケノ良イモノガアル、良イモノガアレバドレデモ買フノダカラ宜イデヤナイカ、サウ云フモノガアレバアチコチ探シ歩イテ拾ヘル所ノ會社ダト云フコトニナルト、是デハ私共ハ贊成シテ宜イカドウカ分ラナイ、ダカラ其ノ資料ヲ要求シタノデス、今日今頃ニナツテ意地惡イ考ヲ以テ無理ニ急ニ要求シタノデアリナイ、今委員長ガ御シヤル通りデハ、熱心ニ皆サン——私モ此ノ委員會ニ加ハツタ時カラ言ツテ居ルノデ、チツトモ大晦日ニナツテ要求シタノデモ何デモナイ、意地ノ惡イ新聞ガ書イタコトハ怪シカラヌ、本當ニ眞面目ニナツテ要求シテ居ルノデス、ソレガ研究シテナケレバ、マルキリ是ハ社撰ナモノダ、委員トシテハ審議ガ出

來ナイト云フコトヲ言ツテモ差支ナイ、其ノ資料ハ出セルカ出セナイカ、又調ベテアルカナイカハツキリ御答辯ヲ願ヒタイ
 ○田中政府委員 私共ノ考ヘテ居ル範圍ニ於キマシテハ、此ノ南式ノ專賣特許ヲ受ケテ居ル瓦斯用木炭ガ、最モ宜イト考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ間カラ小車委員ノ御話ノ木炭式モ考ヘラレテ居リマスルガ、目下專賣特許出願中デアリマス、是ガ專賣特許ニナリマスレバ、是モ勿論採用スルト云フコトハ此ノ前カラ申上ゲテ居ル通りデアリマス
 ○小車委員 詰リサウスルト、資料ハ南式ガ宜イト云フコトガ分ツテ居ルダケデ、アトノモノハ專賣特許ニナラナイカラ、外ニ色々ナ製法ガアツテモ、サウ云フコトハ調ベル必要ガナイカラ調ベナクツタ、サウ云フ風ニ諒承シテ宜イデスカ
 ○田中政府委員 吾々ノ調ベテ居ル限りニ於キマシテハ、ソレ以上ノモノハナイト思ツテ居リマス
 ○高橋委員 私議事進行ニ付テ發言ヲ致シタイト思ヒマスガ、只今委員長ノ御述ニナツタ希望ノ御意見ハ、或ル程度吾々委員トシテモ御尤モデアルト考ヘサセラレルモノデアリマス、併シナガラ此ノ委員會ニ現ハレタ現象トシテ最モ重大視スベキコトハ、吾々委員ノ審議權ト云フモノヲ政府委員ノ考ヘ方デ以テ最後の判斷ヲ下スカノ如キ結論ニ到達スルトヲ、私ハ容易ニ肯定スルコトハ出來得ナイノデアリマス、何トナレバ委員ガ審議ニ必要ナリト信ジテ當局ニ向ツテ資料ヲ請求スル、政府ハ其ノ委員ノ要求資料ニ對シテ、該法案審議ノ上ニ直接必要ガナイト認定スル、是デ以テ資料

ノ要求ト云フモノハ打切ラレテ、質疑ヲ其ノ儘ニ進行セラルルコトデアツタナラバ、其ノ結果ハドウナルコトデアツタナラバ、考ヘナケレバナイト思フデアリマス、凡ソ物ノ考究ハ其ノ物本體ニ對シテ直接タルト間接タルトヲ問ハズ、綜合的一括ノ結論ニ於テ、何トシテモ結局ノ目的ヲ把握スルニ必要ナリト考ヘラレルモノハ、其ノ人ノ立場ニ依ツテ各、異ルト言ハナケレバナリマセヌ、隨テ委員ノ要求スル資料、特ニ只今小車君ノ御要求ニ係ル資料デス、ソレハ申スマデモナク南式以外ニ、特許ヲ得テ居ルト得テ居ラヌト問ハズ多數アル、此ノ多數ノ間ニ政府ガ處シテ具體的ニ其ノ長所短所、之ヲ檢討シタカドウカ、檢討シタナラバ、其ノ經過ヲ此處ニ明ニセヨト云フ尤モ御考ニ依ル資料ノ請求デス、是モ政府委員ハ、直接ニ本案ニ關係ガナイモノダトシテ其ノ資料ヲ御出シニナラナイト云フコトハ、本案審議ノ上ニ對シテ大キナ暗影ヲ與ヘルモノデアルト深ク信ジマス
 ソレカラ高田委員ノ御要求ニナツテ居ル此ノ各國會社ノ貸借對照表其ノ他ニ對スル點、是モ國策會社トシテ同一デアアルカ同一デアナイカト云フコトハ其ノ人ノ考ヘ方デス、國策會社トシテ一括セラレタルモノ、此ノ施設經營ニ對スル政府當局ノ態度、ヤリ方ト云フモノニ對スル大キナ觀點カラ、他ノ會社ノソレヲ比較對照シテ考究スル爲ニ資料ヲ要求セラレルト云フノナラバ、是亦妥當ナ要求デセウ、ソレカラ世耕君ニ對シテデアツタト思ヒマスガ、代用燃料ノ各種ノモノニ付テノ具體的ニ調査研究シテ居ル、成程他ノ部面トノ御提携ニ依ル綜合研究ヲナサルコトガ必要デセウ、其ノ經過

ヲナゼ具體的ニ明瞭ニナサヌカト云フコトデス、唯南式ガ宜イト考ヘタト云フ漠然タルコトデハ、委員會ハ斷ジテ信賴スルコトハ出來マセヌ、本當ニ委員ヲシテ納得セシメルニ足ルダケノ、綜合デモ宜イシ、提携研究デモ宜イシ、其ノ具體的ノ經過ヲ明瞭ニスルコトニ依ツテ、初メテ委員會ハ之ヲ納得スルコトガ出來ルト思フデアリマス、吾々ハ本當ニ眞實ニ此ノ問題ニ對シテ審議ヲ加ヘテ、サウシテ是ナルモノナラバ是ナリトシテ可決ヲ致シタイト云フ氣持ヲ持ツテ居ル、併シナガラソレガソコマデ到達シナケレバ已ムヲ得マセヌ、到達セシムルカドウカト云フコトハ專ラ政府委員ノ方寸、胸中ニアリト言ハナケレバナリマセヌ、此ノ意味ニ於テ私ハモウ少シ政府ニ反省ヲ促シタイト思ヒマス
 ○小林委員長 高橋君、政府ハ其ノ資料ガ要ルダノ要ラスダト云フコトヲ言ツテ居リマセヌ、私聽イテ居リマセヌ、又ソレナコトヲ言フ政府ガアツタラ承知致シマセヌ、言フ管モアリマセヌ、唯今朝ノ新聞ニアア云フコトガ載ツテ居リマシタカラ、デスカラ委員會ガ無理ヲ言ウテ居ルヤウナ風ニ世間ガ誤解シテハイカヌカラ、ソレデアレダケノコトヲ私ガ申シタノデアリマス、私ノ申シタコトヲ能ク玩味シテ御聽ニナツテ戴イタラ分ル、ムツカシク言ヘバ是ハムツカシク言ヘル譯デスガ、極々常識的ナモノデ、サウ云フコトヲ世間ニ誤解サセナイヤウニシタイト云フ考デス
 ○高橋委員 委員長ノ御胸中ハ口頭ニ申上ゲタ通り能ク諒解シタノデス、諒解致シマシタカラ委員長ノ御胸中ニ付テ見ヤ角私ハ申シテ居リマセヌ、唯資料ノ要求ニ付テ、

委員側ハドウシテモナケレバナラヌト云フ考ヲ以テ要求シテ居ル、政府ハ直接必要ガナイカラ、其ノ資料ノ要求ハ、此ノ程度デ打切ルベシトノ御考ヘ方デアラナラバ、ソレハ甚ダ委員會ノ審議權ヲ無視スルモノダ、此ノ點ヲ明瞭ニシテ置イテ戴キタイ、少シハツキリシナイ點ガアルト思ヒマシタカラ……
 ○小林委員長 政府ハサウ云フコトヲ言ツテ居リマセヌ、私ノ發言ハ速記録ヲ御覽ニナツテ、サウシテ御氣ニ入ラヌ點ガアツタラ御相談致シマス
 ○世耕委員 數日前ニ燃料國策上ノ質問ニ付テ、特ニ木炭瓦斯會社ト關係ノアル「カーバイド」ノ問題ニ付テ、商工大臣ニ出席ヲ求メテ御回答ヲ願フヤウニ御相談申上ゲタタノデスガ、本日ノ委員會ニ御出席ニナツテ居リマセヌガ、委員長ハドウ云フヤウナ御取計ヒヲ願ヒマシタカ
 ○小林委員長 商工大臣ハ貴族院ノ石炭カ何カノ會議ニ出席スルノデ、御約束ハシタケレドモ、出ラレナイカラ、一ツ政府委員デ御答辯ヲシタイト云フコトデスカラ、ソレデ宜シケレバドウゾ質疑ヲシテ下サイ
 ○世耕委員 事情ガサウ云フコトデアレバ致シ方ゴザイマセヌガ、ソレデハ燃料局長ニ御尋致シマスガ、實ハ是カラ質問申上ゲタイコトハ、燃料國策上極メテ重大ナ問題デアルト思フデアリマス、仍テ政府委員ガ御説明ニナル、或ハ御答辯ニナルコトガ大臣ト同様ナリト認定シテ差支ナイカドウカ、豫メ御諒解ヲ願フテ置キタイノデス、尙ホ申上ゲテ置キマスガ、私ハ決シテ無理ナ御答辯ヲ願ハウト思フデアリナイノデア

リマス、唯アナタガ責任ヲ負ハレル範圍ニ於テ御聲明ヲ願ヒタイ、其ノ御聲明ハ同時ニ大臣ノソレト同様ニ解釋サセテ戴イテモ差支ナイカ、若シ少シ差支ノアルヤウナ斷斷御答辯ガ出來ニクイヤウナ場合ガアレバ、御答辯ガナクテモ差支ゴザイマセヌ、私ハ決シテ無理ナ御注文ヲ申上ゲル積リハナイノデスカラ、其ノ點ヲドウカ御諒解置キヲ願ヒタイト思ヒマス、先ヅ第一ニ御尋致シタイコトハ、商工省ハ此ノ木炭瓦斯會社法案ヲ議會ニ提出スル前ニ、ナゼ「アセチレン」自動車獎勵會社ヲ作ラナクツタカ此ノ點ニ付テ先ヅ一點伺ヒタイノデアリマス
 ○柳原政府委員 只今ノ御質問ニ付キマシテ、私ノ申上ルコトガ大臣ト同ジダト云フ點ニ付テ、私ハ兎ニ角政府委員トシテ任命サレテ居リマスノデ、其ノ範圍ニ於テ申上ゲナケレバナラヌト思ツテ居リマス、併シテ私ノ受持ツテ居リマスコトハ、大臣ノ命ニ依ツテ行政上ツツテ居リマスカラ、其ノ範圍ト御諒承願ヒマセヌト、ソレヲ超エテ僭越ナコトハ私トシテ致シ難ネルト思ヒマス、「アセチレン」自動車ノ點ニ付テ申上ゲル前ニ、代用燃料ニ付テ今色々御質疑ガアリマシタガ、實ハ昨日モ、ソレカラ此ノ前ノ日曜ノ懇談會ニ於キマシテモ、私ハ全面的ニ申上ゲタヤウニ記憶シテ居リマス、隨テ甚ダ重複シテ恐縮デゴザイマスガ、尙ホ私カラ申上ゲタ方ガ適當デハナイカト考ヘテ居リマス、代用燃料ト致シマシテ使ツテ居リマスルノハ、即チ代用ト云フ言葉ハ、今日デハ私カラ申シマス、少シ適當デハナイヤウニ思フデアリマスガ、是ハ白動車其ノ他液體燃料即チ石油ヲ本ニシテ今

ツテ談判ニ行ツク所ガ、實ハ「カーバイド」ハナイノダ、サウ云フコトナラ一ツ工業組合ニ行ツテ談判シテ下サイ、私ノ名刺ヲ上ゲルカト云フノデ技師ノ名刺ヲ貰ツテ工業組合ニ行ツテ理事長ニ會ツク、理事長曰ク「結論ダケ申上ゲマス、値サハ上ゲテ載ケレバ幾ラデモ御造リ致シマス、結論ハソレダ、値段ハ幾ラカ、三圓六十錢、三圓六十錢デハ一圓損ヲシテ造リマスカ、居ル、商賣人ガ一圓損ヲシテ造リマスカ、造レト言フ方ガ無理デセウ、而モ命令ダカラ三圓六十錢デ造ラナクテハナラヌ、ハドウシテ造ツテ居ルカト云フト、仕事ヲシテ餘ツタ時ニ其ノ電氣ハ餘ツタカラ造レト言ツテ造ツテ居ルノガヤツト今日配給サレテ居ル「カーバイド」デアル、ダカラ團取引ハ二十八圓、三十圓シテ居マス、ソレデモアリマセウ、ドウスルノデス、而モ金ヲ産スル所ノ金山ニ於テ「カーバイド」ガナイ爲ニ、石油ガナイ爲ニ、何ヲ燈シテ今日鑛山業ヲヤツテ居リマスカ、又漁業用ハ勿論ノコト、熔接機ガ行詰ツテ居ルデセウ、電氣デアルノハ大キイ仕事ナラ宜イケレドモ、小サイ仕事ハ「カーバイド」デヤラナケレバナラヌ、自動車ガ一寸壞レタカラト云ツテモ「カーバイド」ガナイカラ「カーバイド」ヲ持ツテ來ナケレバシテヤラヌト云フ状態デハアリマセウカ、電氣ガ足リナイト云フナラ承知シマセウ、ソノナコトヲ言ツタツテ私チヤント證據ヲ持ツテ來テ居ル、茲ニ色々商工省ト折衝シ、色々ノ御配慮ヲ願ツテ、「カーバイド」ハ使用者ノ委託製造ナラ宜イ、ソコデ結論ハ是ハドウ云フコトカト云フト、朝鮮デ註文シタ、五圓ナラ幾ラデモ入ツテ來マス、差當リ五百

マシタノデ、代用燃料ヲ使ツテ參リマス點ニ付テハ十分各方面ニ付テ研究モシ、又取扱モ考ヘテ參ラナケレバナラヌ、併シ只今ハモウ實行ノ時期ニ入ツテ居リマス、私モ「アセチレン」瓦斯ノ自動車ニ關シマシテハ先般マデ關係モ致シテ居リマシテ、決シテ輕ク見テ居ル譯デハゴザイマセウ、其ノ點ヲ十分御諒承願ヒマス

○世耕委員 「カーバイド」自動車ノ性能ガ木炭自動車ヨリモ遙ニ優秀ダト云フコトハ既ニ燃料當局ハ御承認ダカラ、是レ以上ハ追求シテ御尋致シマセウガ、昭和十三年ノ十月ニ陸軍自動車學校研究部主催ニテ箱根、三島、富士五湖地方ニテ七日間試驗ヲシテ居リマス、ソレカラ立會ハ陸軍自動車學校ノ小田技師、吉澤技師其ノ他多數立會ツテ居リマシタ、ソレカラ昭和十四年四月ニ商工省燃料局主催ニテ東京、箱根、大磯海岸ニテ四日間往復試驗シテ居リマス、立會官吏ハ商工省ノ選任技師、磯部中佐其ノ他デアリマス、其ノ他公私ノ性能試驗數十回ニ及ンデ居ルヤウデアリマス、ダカラ性能ニ付テハ申上ゲルマデモナイト云フコトニナル、而モ原料ハ内地ノミナラズ、朝鮮デ豐富ニ出來ル、唯結論シテ申上ゲマラ御考ハナイカ、五圓ニシテヤレバ明日カラデモ一萬臺分デモ二萬臺分デモ出來ル、現ニ四十ト云フ大キキ會社ガ遊ンデ居ルデヤアリマセウカ、二十ガ休業デ二十ノ會社ハ今日細々ト仕事ヲシテ居ルヤウナラ有様デアル、サウシテ「カーバイド」ガ足リナイ、電氣ガ足リナイト云フ、嘘ダト思フナラ、ソ「カーバイド」工業組合ノ理事長ナリ責任者ヲ引張ツテ來テ談判イテ御覽ナサイ、本當

ニ原料ガ足リナクテ、石炭ガ足リナクテ、其ノ他ノ費用ガ足リナクテ出來ナイノカ、私ハ調ベテ來タ、突然チヤナイ、陸軍省ノ紹介ヲ得テ私ハ會ツテ調ベテ來タ、ダカラ三圓六十錢ノ公定價格ヲ、燃料國策ノ大切ナ時デアラカラ、軍事上、經濟上重大デアラカラ、此ノ際重點主義ヲ採ツテ直チニ低物價政策カラ除外スルト云フ聲明ヲ發スルダケノ勇氣アルカドウカト云フコトヲ御尋シテ置キマス、私ハ大臣ニ披露シテ結論ヲ得タイト思ツク所ハソコナラヌ、除外出來ナケレバ、今ノ不合理ナ三圓六十錢ノ値段ヲモウ少シ引合フヤウニシテヤラナケレバ、電氣ガ足リナイトカ、石炭ガ足リナイトカ業者ハ申シマセウ、參考ノ爲ニ契約書ニ依リ朝鮮ノ三陸會社ノ計算ニ基イテ一應當リノ原價計算ヲ此ノ際議上ゲマス、「カーバイド」製造「ビー」級適當リ、「ビー」級ト云フノハ一般工業用デアリマス、「エス」ト云フノハ「ビー」級ト云フ風ニ分レテ居リマスガ、其ノ中ヲ取ツテ「ビー」級ノ標準ヲ茲ニ申上ゲマス、生石灰一應二十圓、石炭一應三十一圓五十錢、電極費〇・〇九錢、三十一圓五十錢、ソレカラ電力費、動力ヲ含メテ三千八百、キロワット、ガ單價一錢一厘五毛デ四十三圓七十錢、ソレカラ給料總掛費六圓八錢、工費四人デ單價一圓五十錢デ六圓、ソレカラ諸材料費、是ハ消耗品費モ含ンデ居リマスガ、三圓五十錢、ソレカラ修繕費ガ三圓、分析費ガ五十錢、變電所費ガ三圓七十五錢、ソレカラ償却、十二年間年償却製造能力ト致シマシテ二萬四千圓デ是ガ適當リ十五圓六十三錢、利潤十八圓七十五錢、雜費三圓七十一錢合計百七十二

圓十二錢、一應ニ付キ四十四圓、ソレヲ平均致シマス、三圓九十一錢ノ原價計算デアリマス、是ハ商工省トシテ御理解ノアル取扱ニ依ツテ、自動車工業組合ガ其ノ組合ダケデ使フ「カーバイド」ヲ三陸會社ニ委託製造シテ手ニ入レルト云フ契約ノ下ニ行ツタ行キデアリマス、是ハ運賃諸掛五圓ニナル、ダカラ物價ガ上ツテ來タラドウカ分リマセウガ、平均シテ五圓ニナレバ引受ケテ一般ノ會社ガ造レルト思フ、「カーバイド」ハ今日有ニル方面ニ用ヒラレテ居ルモノデアラカラ、差當リ是ガアナタ方ノ御方針デ御決定ニナレルモノナラバ大變結構ナコトデアル、現ニ「カーバイド」ノ自動車ガ動イテ居ルシ、漁船モ今「ガソリン」ノ石油ヲ使ツテ居ルノガ「カーバイド」デ動ケルノデアラカラ、是ハ農林省ノ方モ能ク聽イテ置イテ戴キタイ、又山間デ木炭瓦斯デ仕事ヲシテ居ルノモ「カーバイド」デ其ノ代リヲシテ行ケル、「カーバイド」ハ殆ド今日ノ工業ノ原動力ナリト斷定シテモ少シモ差支ナイ位ナ大キキ力ヲ持ツテ居ルノニ、其ノ「カーバイド」ノ製作ガ今失敗シテ居ル、此ノ三圓六十錢ト云フノハ命取リデアリマス、之ヲ所謂時價相場ニ引直ス御考ハナイカ、現在ハ開相場デ二十八圓乃至三十四圓デアリマス

○柳原政府委員 「カーバイド」工業ノ生産ニ對シマスル價格ノ問題ニ付テハ私ノ方カラ御答致シ兼ネルノデアリマス、其ノ點御諒承願ヒマス

○小林委員 世耕君答ガ出來ヌト云フノデスガ宜イデスカ

○世耕委員 分リマシタ、ソレナラバ大臣ニ御相談シテ戴イテ閣議デ是非至急御決定

ヲ願ヒタイ、重大ナ問題デアリマス、價格ガ寧ろ禍シテ居ルノデアラカラ、其ノ價格ヲ時價ニ直ス考ガアルカドウカ、アナタ方ダケデ御決定ガ出來ニクイト云フコトハ御尤ダト思ヒマスカラ、若シ商工大臣ガ獨斷デ行ケルナラバ商工大臣ヨリ明日ニデモ御發表願ヒタイシ、商工大臣行ケナイナラ閣議ヲ開イテ此ノ重要國策ノ一ツヲ御決定願ヒタイ

○柳原政府委員 其ノ價格ノ點ニ付キマシテハ私ハ主務者デアリマセウカラ、當局ノ方面ニ其ノ旨ヲ申傳ヘテ置キマス

○世耕委員 念ノ爲ニ申上ゲテ置キマスガ、ソレガ重大問題デアリマス、是ガアレバ瓦斯用木炭會社ノ問題モ片付キマシテ、所謂憂慮セラレルコトモ是デ解消セラレルノデアリマス、ソレノミナラズ是ハ工業用ニモ漁業用ニモ使ハレ、或ハ農村ニ於テモ重大問題ダカラ、國策ノ一ツトシテ特ニ閣議ニ掛ケテ御決定ヲ願ツテ速ニ其ノ適正價格ヲ御發表願フヤウニ御取計ヒ願ヒタイト云フコトヲ、特ニ委員長カラモ御傳言願ヒタイト思ヒマス

○小林委員 世耕君ノ御希望ノ通りニ取計ハラレントヲ希望致シマス

○助川委員 質疑ハ此ノ程度デ打切りマシテ休憩セラレントヲ希望致シマス

(反對ト呼フ者アリ)

○高橋委員 唯休憩ナラバ賛成デアリマシタ、質疑打切ニハ反對デアリマス

○小林委員 助川君、ハツキリシテ居リマセウカラ、モウ一遍願ヒマス

○助川委員 質疑ハ此ノ程度デ打切りマシテ、暫時休憩セラレントヲ希望致シマス

○小林委員 只今助川君ヨリ、質疑ヲ打切ツテ休憩スベシト云フ動議ガ出マシタ、此ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

(賛成者起立)

○小林委員 少數、否決——暫時休憩致シマス

午後零時四十分休憩

休憩ノ健散會

第七十五回帝國議會 院 鑛業法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第一回

委員會成立

本委員ハ昭和十五年二月二十四日(土曜日)議長ノ指名ヲ以テ左ノ通選定セラレタリ

- 櫻井兵五郎君 澤田 利吉君
中井川 浩君 松尾 三藏君
山本 厚三君 手代木隆吉君
岡野 龍一君 內藤 正剛君
村松 久義君 小柳 牧衛君
森下 國雄君 長野 長廣君
卯尾田毅太郎君 山田 順策君
篠原 義政君 小山田義孝君
西田 鏡吉君 井阪 豐光君
木暮武太夫君 久山 知之君
鶴 惣市君 石井徳久次君
原口初太郎君 箸本 太吉君
東條 貞君 松尾 孝之君
依光 好秋君 瀧澤 七郎君
川俣 清音君 松本治一郎君
加藤 鏡造君 朴 春 琴君
小池 四郎君 長谷 長次君
坂本宗太郎君 岩瀬 亮君

同月二十六日(月曜日)午前十時四十分委員長理事互選ノ爲委員參集ス

其ノ氏名左ノ如シ

- 櫻井兵五郎君 澤田 利吉君
中井川 浩君 松尾 三藏君
山本 厚三君 手代木隆吉君
岡野 龍一君 內藤 正剛君
小柳 牧衛君 森下 國雄君
長野 長廣君 篠原 義政君
小山田義孝君 井阪 豐光君

久山 知之君 鶴 惣市君
石井徳久次君 原口初太郎君
松尾 孝之君 依光 好秋君
瀧澤 七郎君 川俣 清音君
松本治一郎君 加藤 鏡造君
小池 四郎君 長谷 長次君

○原口投票管理 先例ニ依リマシテ私ガ年長ノ故ヲ以テ投票管理者トナリ、是ヨリ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒマス
○篠原委員 此ノ際投票ヲ用ヒズ、櫻井兵五郎君ヲ委員長ニ御推薦シタイト思ヒマス
(贊成々々)ト呼フ者アリ
○原口投票管理 篠原委員ノ意見ニ御異議ナイト認メマス、仍テ櫻井兵五郎君ガ委員長ニ御推薦ニナリマシタ
(拍手起ル)
○櫻井委員長 御推薦ヲ蒙リマシテ委員長ノ職ヲ汚シマス、不行届勝チト思ヒマスガ、ドウゾ各位ノ御協力ヲ蒙リマシテ、任務ヲ全ウ致シタイト存ジマス、宜シク御願ヲ致シマス(拍手)引續キ理事ノ互選ヲ行ヒマス
○篠原委員 理事ハ其ノ數ヲ七名トシテ、委員長ニ於テ御指名セラレシコトヲ望ミマス
(贊成々々)ト呼フ者アリ
○櫻井委員長 篠原君ノ御意見ニ御異議ナイモノト認メマス、仍テ理事ノ指名ヲ致シマス

以上七名ヲ理事ニ御願致シマス

昭和十五年二月二十六日(月曜日)午前十時四十二分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 櫻井 兵五郎君
理事 澤田 利吉君 理事 中井川 浩君
理事 松尾 三藏君 理事 篠原 義政君
理事 小山田義孝君 理事 依光 好秋君
理事 川俣 清音君
理事 小池 四郎君
理事 長谷 長次君
出席政府委員左ノ如シ
商工政務次官 加藤 鏡造君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
鑛業法中改正法律案(政府提出)
砂鑛法中改正法律案(政府提出)
○櫻井委員長 ソレデハ是ヨリ會議ヲ開キマス、本委員會ニ付託サレマシタル案ハ鑛

付託議案
鑛業法中改正法律案(政府提出)
砂鑛法中改正法律案(政府提出)

業法中改正法律案外一件デアリマス、先ツ政府ノ提案理由ヲ説明ヲ求メマス
○加藤政府委員 鑛業法中改正法律案及砂鑛法中改正法律案ノ理由ヲ御説明致シマス、右ノ二法案ヲ立案致シマシタル根本趣旨ハ、本會議ニ於テ申述ベマシタ通りデアリマスルガ、茲ニ本法案ノ内容ニ付テ其ノ大綱ヲ御説明申上ゲ、是ガ提案ノ理由ヲ具體的ニ明ニ致シタイト存ジマス
先ツ鑛業法中改正法律案ニ付テ申上ゲマスガ、其ノ第一ハ試掘權制度ニ關スルモノデアリマス、現在鑛業權ハ試掘權ト採掘權トニ分レテ居リマス、試掘權ハ單ニ採掘ノ價値アリテ是ノ調査ヲ其ノ内容トスルモノデアリマスルカラ、試掘權ハ採掘權ト其ノ取扱ヲ異ニシ、是ガ設定ヲ簡易ニ致シマスルト共ニ、其ノ負擔ノ輕減ヲ圖フテ居ルノデアリマス、此ノ試掘及採掘ノ二本建ノ制度ハ、探鑛獎勵等ノ見地カラ極メテ適當ノ制度デアルト認メラレルデアリマスルガ、第三十三ノ二ノ規定ニ依リマシテ、試掘權者ガ試掘權ノ存續期間滿了後十日以内ニ同種ノ鑛物ニ付更ニ鑛業ノ出願ヲ爲シタルトキハ舊試掘權區ニ係ル部分ニ付テハ他ノ出願人ニ對シ優先權ヲ有スルコトナツテ居ル爲ニ、試掘權ハ法律上二箇年ノ期間ヲ附セラレテ居ルニモ拘ラズ、之ヲ殆ド無期限ニ延長シ得ルコトナリ、試掘權區デアリナガラ、事實ハ其ノ期間内ニ試掘ガ行ハレナイト云フ實情ガ極メテ多イデアリマス、右ノ如キ實情ニ鑑ミマシテ、本法案ニ於キ

マシテハ、試掘權ノ期間ハ之ヲ延長シテ四年ト致シマスルト共ニ、第三十三條ノ二ノ規定ハ之ヲ削除スルコトヲ致シタノデアリマス、即チ正當ナル試掘行為ハ十分ニ之ヲ保護スルト共ニ、其ノ權利ノ濫用ハ嚴ニ之ヲ防止セントスルノデアリマス

以上ガ試掘權制度改正ノ要點デアリマスルガ、斯ル改正ノ實施セラレタル際ニハ、試掘權ノ存続期間中ニ、殊更ニ廢棄シ、然ル後直チニ再度出願ヲ爲シ、以テ實質上權利ノ延長ヲ圖リ、本改正ノ趣旨ヲ洩却スルガ如キ弊害ヲ招來スルコトヲ豫想セラレレドデアリマス、隨テ本法律案ニ於キマシテハ、試掘權ガ其ノ存続期間満了前ニ消滅シタル場合等ニハ、其ノ殘存期間内ハ同種ノ鑛物ノ鑛業出願ヲ許可セザルコトヲ致シタノデアリマス、試掘權ハ要スルニ採掘ノ價值アリヤ否ヤノ調査ヲ保護スル爲ノデアリマスルカラ、採掘ノ結果價值アルモノハ速ニ之ヲ採掘權ニ轉ゼシメルコトガ必要デアリマス、隨テ本法律案ニ於キマシテハ、採掘ノ價值アリト認メタ場合ニハ、試掘出願人ニ對シテノミ採掘ノ出願ヲ命ジ得ルコトヲナツテ居リマスル現在ノ制度ヲ改メテ、試掘權者ニ對シテモ採掘ノ出願ヲ命ジ得ルコトヲシタ次第デアリマス

尙ホ本法案施行當時、現ニ存スル試掘權ノ存続期間ハ、本法案施行ノ日カラ四年トスルコトニ致シマシタ、唯石油ニ付キマシテハ、現在政府ニ於キマシテ石油試掘五箇年計畫ヲ樹立シ、鑛區毎ニ目標ヲ定メテ其ノ實現ヲ期シテ居ル次第デアリ、旁、石油ノ試掘ハ技術的ニモ非常ニ困難デアリマスルカラ、是等ノ事情ヲ斟酌致シマシテ、本法案施行當時現存スル石油ノ試掘權ニ付テハ、

主務大臣ノ認定ニ依リ四年以内ノ期間ヲ延長シ得ルコトヲ致シタノデアリマス
第二ハ法定鑛物ノ追加ニ關スルモノデアリマス、昭和九年ニ鑛業法ヲ改正シテ、「ニッセル」鑛、「コバルト」鑛、「石膏」及「重晶石」鑛ヲ鑛業法上ノ鑛物ニ追加致シタノデアリマス、其ノ後ノ調査ニ依リマスレバ、現在鑛業法ノ適用ヲ受ケザル鑛物ノ申出モ明ニ在リ、螢石、石棉ノ如キハ、既ニ現在ニ於テモ或ル程度ノ產出ヲ見テ居リマスルノミナラス、近イ將來ニ於テ相當ノ產出ヲ期待シ得ルコトガ判明シテ參リマシタノデ、本法律案ニ於キマシテハ、此ノ際ニ鑛物ノ鑛業法所定ノ鑛物ト爲シ、以テ鑛業法ノ保護監督ノ下ニ其ノ開發ヲ促進セントスルモノデアリマス

次ニ現行鑛業法ニ於キマシテハ、含油層ト密接ナル關係ヲ有スル可燃質天然瓦斯ノミハ、石油ト看做サレテ鑛業法ノ適用ヲ受ケテ居ルノデアリマス、併シナガラ最近ニ於キマシテハ含油層ト密接ナル關係ヲ有スル可燃質天然瓦斯ニ限ラズ、廣ク炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯一般ニ涉リ其ノ利用法ガ大ニ開拓セラレルニ至ツタノデアリマシテ、其ノ爲メ地下ニ埋藏スル炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯ハ、地下資源トシテ極メテ重大ナル意義ヲ有スルニ至ツタノデアリマス、斯ル實情ニ鑑ミマシテ、炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯ハ、含油層ト密接ナル關係ヲ有スルコトヲ否トシ拘ラズ、之ヲ全部石油ト看做スコトヲ致シタノデアリマス、尙ホ本法案ニ於キマシテハ、新ニ追加スル鑛物ニ付テ、其ノ事實上ノ採掘行為ヲ尊重スル趣旨ノ下ニ特別ノ經過規定ヲ設ケタノデアリマス

第三ハ異種鑛物ノ鑛業權ニ關スルモノデアリマス、現行鑛業法ハ鑛物ヲ鑛床ニ依ツテ區別シ、同一鑛床中ニ存在スル鑛物ハ一ノ鑛業權ヲ以テ之ヲ採掘シ得ルコトトシ、異種ノ鑛床ニ存在スル鑛物ヲ採掘スル爲メハ、別箇ノ鑛業權ヲ必要トスル建前ニナツテ居ルノデアリマス、隨テ本來カラ申シマテ居ルノデアリマス、同一區域ニ數箇ノ鑛業權ガ併存シ得ル譯デアリマスルガ、現行法第三十條ニ依リマスルト、鑛區ニ重複シテ異種ノ鑛物ノ出願ガアル時ハ、之ヲ鑛業權者ニ通知シ、鑛業權者ガ出願スレバ、其ノ鑛業權者ガ優先權ヲ得ルコトヲナツテ居ルノデアリマス、其ノ結果、既存ノ鑛業權者ガ眞ニ當該鑛床ヲ開發スル意思ナキニ拘ラズ、徒ニ鑛業權ヲ取得スルコトヲ生ズルノデアリマス、斯クテハ資源開發促進ノ趣旨ニモ背反スルモノト云ハネバナラスノデアリマス、ソコデ本法案ニ於キマシテハ、鑛業出願地ガ他人ノ異種ノ鑛物ノ鑛區ト重複スル場合ニ於テハ、他人ノ鑛業ニ妨害ナシト認メラルル限り之ヲ許可スルコトヲ致シタノデアリマシテ、之ニ依リマシテ資源開發ノ趣旨ヲ徹底セシメントスルモノデアリマス、唯斯ノ如ク改正致シマスル時ハ、異種鑛物ノ採掘獎勵ト云フ見地カラハ洵ニ結構デアリマスルガ、同時ニ其ノ反面ニ於テ既存ノ鑛業權者ノ作業ノ妨害ニ對スル調整方策ヲ講ズル必要ガアルノデアリマス、隨テ本法案ニ於キマシテハ、鑛業權ノ登録ノ後ナル者ハ、先ナル者ノ承諾ガナケレバ其ノ重複スル部分ニ於テハ鑛業ヲ爲シ得ザルコトヲ致シマスルト共ニ、鑛業權ノ登録ノ先ナル者ハ正當ノ理由ナクシテハ承諾ヲ拒ミ得ザルコトトシ、尙ホ此ノ承諾ニ付テハ裁決申請

ノ途ヲ開イタノデアリマス、尙ホ登録ノ日ガ同日ナル場合ニハ、其ノ重複部分ニ於ケル鑛業ニ付テハ協議ヲ爲スベキコトトシ、此ノ協議ニ付テモ裁決申請ノ途ヲ開イタノデアリマス

以上ノ規定ニ依リマシテ異種鑛物ノ鑛業權者間ノ作業ノ調整ヲ圖ルノデアリマスルガ、何分ニモ鑛業ハ地下作業デアリマスルカラ、斯ノ如キ手續ヲ經テモ、後日ニ至リ其ノ作業ガ他人ノ鑛業ニ妨害ヲ及ボス場合ナキヲ保シ難イノデアリマシテ、斯ル場合ニハ主務大臣ハ鑛業權者ニ其ノ妨害ノ排除、又ハ鑛業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得ルモノトシ、尙ホ此ノ命令ニ從ハザル場合ニハ、鑛業權ヲ取消スコトヲ得ルコトヲ致シタ次第デアリマス

右述バマシタ事項ノ外ニモ、本法案ハ鑛業警察ノ重大性ニ鑑ミマシテ、現在届出事項トナツテ居リマスル施業案ヲ認可事項ニ改メ、尙ホ鑛業權者ガ危害防止ノ義務ヲ負フ期間ヲ、鑛業權消滅後五箇年間マデ延長スルコトトシ、以テ危害ノ豫防ニ遺憾ナキヲ期スルコトヲ致シ、更ニ罰則ニ付テモ現在ノ事態ニ對應スルヤウ刑罰ヲ適當ニ改メ、其ノ規定ヲ整備シ、此ノ方面カラモ法ノ遵守ヲ確保スルコトヲ致シタノデアリマス

模モ次第二大ナラントスル情勢ノ下ニ於キマシテハ、銘々ノ土地所有者ヨリ承諾ヲ受ケルト云フコトハ、出願人ノ立場カラモ、亦之ヲ處理スル官廳側ノ立場カラモ極メテ煩雜ナコトデアリマシテ、是ガ爲メ砂鑛權ノ許可ガ著シク遲延スル結果トナルノデアリマス、ノミナラス現行法ニ於キマシテハ、此ノ場合ノ土地所有者ノ出願ニ優先權ヲ附與シテ居ルノデアリマスルガ、斯ノ如ク土地所有者ノ銘々ニ砂鑛採取ノ權利ヲ附與スルコトハ、砂鑛ノ開發促進上極メテ不合理ト云フベキデアリマス、一面ニ於テ土地所有者等ノ利益ガ十分尊重セラレ、他面ニ於テ砂鑛權ノ設立ノ手續ガ簡易ニナルコトハ、最モ望マシイコトデアリマスルカラ、本法案ニ於キマシテハ第九條ノ規定ヲ改正シマシテ、砂鑛權ノ出願ガアツタ場合ニハ、鑛山監督局長カラ土地所有者及ビ關係人ニ其ノ旨ヲ通知スルコトヲ致シ、土地所有者ノ承諾ヲ必要トシナイコトニ改メタ次第デアリマス、鑛山監督局長ヨリ通知ヲ受ケタ土地所有者及ビ關係人ハ、砂鑛採取ノ開始ナル場合ニハ、砂鑛法第十二條以下ノ規定ニ從ツテ補償金ヲ請求シ得ル譯デアリマスルガ、本法案ニ於キマシテハ砂鑛ノ採取ヲ終ツタ場合ニハ、砂鑛權者ハ土地ノ原狀ニ復シ、又ハ原狀ニ復セザルニ因リテ生ズル損失ニ對シ補償金ヲ拂渡スベキコトトシ、土地所有者及ビ關係人ハ之ニ對シテモ相當ノ擔保ヲ供セシムルコトヲ得ルモノトシ、砂鑛權者ノ義務ヲ特ニ明確ナラシメタ次第デアリマス

改正ノ第二點ハ、砂鑛業ノ助長及ビ監督ニ關スルモノデアリマス、砂鑛業ハ最近マデ比較的小規模ニ行ハレテ居ツタノデアリマス、昭及九年ニ鑛業法ヲ改正シテ、「ニッセル」鑛、「コバルト」鑛、「石膏」及「重晶石」鑛ヲ鑛業法上ノ鑛物ニ追加致シタノデアリマス、其ノ後ノ調査ニ依リマスレバ、現在鑛業法ノ適用ヲ受ケザル鑛物ノ申出モ明ニ在リ、螢石、石棉ノ如キハ、既ニ現在ニ於テモ或ル程度ノ產出ヲ見テ居リマスルノミナラス、近イ將來ニ於テ相當ノ產出ヲ期待シ得ルコトガ判明シテ參リマシタノデ、本法律案ニ於キマシテハ、此ノ際ニ鑛物ノ鑛業法所定ノ鑛物ト爲シ、以テ鑛業法ノ保護監督ノ下ニ其ノ開發ヲ促進セントスルモノデアリマス

一層質疑ガ多クナルト思ヒマスガ、資料ノ如キハ今カラ十分ニ準備ヲシテ置カレマシテ、要求サレテカラ多クノ時日ヲ費シテ御提出ニナルヤウデハ、ドウシテモ審議ヲ速ク進メルコトガ出來ナイ結果ニナルグラウト思ヒマス、本法案ニ直接ノモノハ勿論、此ノ委員會ニ於テ將來起ルベキ質疑等ニ關スル資料ニ付テハ相當細カクイモノマデ豫メ御準備下サイマシテ、成タケ早ク御提出アラントト望望致シマス、本日ハ是ニテ散會ヲ致シマス、次會ハ明日午後一時ヨリ開會致シマス

午前十一時二分散會

第七十五回帝國議會 院 鑛業法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第二回

付託議案
鑛業法中改正法律案(政府提出)
(第六二號)
砂鑛法中改正法律案(政府提出)
(第六三號)

會議

昭和十五年二月二十七日(火曜日)午後一時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 櫻井兵五郎君

理事澤田 利吉君 理事中井川 浩君

理事松尾 三藏君 理事篠原 義政君

理事小山田義孝君 理事川俣 清吾君

山本 厚三君 手代木隆吉君

岡野 龍一君 內藤 正剛君

小柳 牧衛君 森下 國雄君

西田 銳吉君 井阪 豐光君

木暮武太夫君 鶴 惣市君

原口初太郎君 東條 貞君

依光 好秋君 松本治一郎君

長谷 長次君 坂本宗太郎君

岩瀬 亮君

二月二十六日委員松尾孝之君辭任ニ付其ノ補闕トシテ森田福市君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

商工參事官 喜多壯一郎君

商工省鑛產局長 小金 義照君

商工書記官 山本 茂君

商工書記官 椎名悦三郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左如シ

鑛業法中改正法律案(政府提出)

砂鑛法中改正法律案(政府提出)

櫻井委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、直

チニ質疑ニ入りマス、質疑ハ通告順ヲ以テ

之ヲ許シマス——山本厚三君

○山本委員 私ハ茲ニ提案サレタ鑛業法中

改正法律案ニ付キマシテ質疑致シタイコト

ガ各方面ニ付テアリマスガ、主トシテ第三

十三條ノ二ヲ削除スルコト、即チ多年行ハ

レテ來タ試掘權優先權廢止ノ問題ニ付テ伺

ヒタイト思ヒマス、之ニ付キマシテハ本會

議ニ於テ大體ノ御説明ガアリ、又質問應答

ガ相當詳細ニ行ハレテ居リマスカラ、大體

政府ノ意ノアル所ハ示サレテ居ルデアリ

マスガ、ドウモ當時ノ政府委員ノ御答辯ガ、

極ク單調ナ皮相ノ御答辯デアリマシテ、ド

ウシテモ了解スルコトガ出來ナカウツノデ

アリマスカラ、尙ホ突キ進シテ御答辯致ス

ノデアリマス、其ノ第一ニ伺ヒタイコトハ、

改正案中ノ最モ主ナルモノト思ハレル此ノ

試掘制度ノ改正ノ本當ノ御趣意ハ何處ニア

ルノカ、何ガ目的デ改正ヲナサレタノカ、

之ヲ端的ニ伺ウテ置キタイト思ヒマス

○喜多政府委員 他ノ政府委員カラ答辯致

シマス

○小金政府委員 鑛業法第三十三條ノ二ノ

削除、即チ試掘權ガ滿了シタ後十日以内ニ

出願ヲスレバ其人ニ優先權ヲ認メルト云

フ、此ノ趣旨ノ條文ヲ削除致シマシタ趣旨、

即チ試掘權制度ニ付テ改正ヲ行フ趣旨ニ付

テノ御質問デアリマスガ、是ハ試掘權其ノ

モノノ本質ニ顧ミマシテ、現在ノヤウナ制

度デ置クコトハ、試掘權カラ大分離レタ内

容ニナリ、又離レタ取扱ニナツテ居ル、斯
ウ云フ實情ヲ矯正スル意味デアリマス、御
承知ノ通り試掘權ハ、本來ノ鑛業權デア
ル所ノ採掘權ヲ設定スル爲メ準備行爲ヲ内容
トスル權利デアリマス、隨ヒマシテ此ノ試

掘權制度ヲ認メテ居ル如何ナル立法ニ付テ
見マシテモ、大體ニ於テ一年トカ二年ト云
フヤウニ期間ガ限定サレテ居リマス、試掘
ニ依ツテ、鑛業ノ價值アリヤ否ヤ、即チ採
掘權ヲ設定スル價值アリヤ否ヤヲ試掘權
云フノガ、權利ノ内容デアリマスノデ、此
ノ鑛業法ノ建前カラ觀察致シマシテモ、試
掘權ハ其ノ鑛區稅ガ安イカ、或ハ其ノ權
利ノ設定ニ付テ手續ガ簡易ニシテアルト云
フヤウナコトニ相成ツテ居リマス、其ノ代
リ擔保權ノ内容ニナラナイト云フヤウナ制
限モアリマス、斯ウ云フヤウナ現行法ノ建
前カラ致シマシテモ、試掘權ハ元々一定ノ
期間内ニ試掘ヲ爲サシメルト云フ建前ニナ
ツテ居ルノデアリマス、此ノ鑛業法ガ明治
三十八年ニ法律第四十五號トシテ公布セラ
レ、實施セラレタ當時ニ於キマシテハ、試
掘權ハ明瞭ニ二年デ打切ラレタノデアリマ
ス、其ノ後法律ノ改正ニ依リマシテ、第三
十三條ノ二ガ加ツテ、二年間ノ期間ノ滿了
後十日以内ニ同種ノ鑛物ニ付テ更ニ鑛業ノ
出願ヲ爲ス時ハ、舊試掘權區ニ係ル部分ニ
付テハ他ノ出願人ニ對シテ優先權ヲ有スト
云フ風ニ、第三十三條本來ノ先願主義ニ重
大ナル變革ヲ加ヘマシテ、試掘權保護ノ立
場カラ、相當行キ過ギタト言ハレルヤウナ
現象ガ、此ノ爲メ隨分現ハレテ居ルノデア
リマス、サウ云フヤウナ現狀ニアリマスノデ、
此ノ第三十三條ノ二ヲ取扱ニ付キマシテ
ハ、隨分前カラ其ノ存否ニ付テ研究ガセラ
レ、議論ガ行ハレタノデアリマス、ソレデ此
ノ改正法律案ニ於キマシテモ、鑛業法改正

調査委員會ニ於テ十分御審議ヲ經タ結
果、商工大臣ニ對シテ、第三十三條ノ二ハ
削除シテ、試掘權本來ノ立場ニ歸ツテ、試
掘權ハ一定ノ期限デ打切ルノガ然ルベキデ
アル、斯ウ云フ趣旨ノ御答申ガアツタノデ
アリマス、ソコデ此ノ試掘權制度ヲ改メマ
シテ、試掘權ハ一回シカ許サレナイト云フ
コトニナリマスルト、兎ニ角此ノ試掘權ヲ
設定セラレタ者ハ、其ノ期間内ニ何トカシ
テ試掘ヲ行ツテ、採掘權ヲ設定スル價
値アリヤ否ヤヲ判斷シナケレバナイ、價
値ヒ其ノ方面カラ試掘ヲ急グ、即チ日本ノ
國カラ見マスルト、早ク試掘セシムレバ採
掘權ヲ設定スルヤ否ヤヲ判斷シ、國全體ノ
鑛物ノ大體ヲ早ク知ルコトガ出來ル、元來
試掘權ノヤウナモノハ權利デアリマスガ、
色々ノ制限ガアリマシテ、擔保ニ供スルコ
トガ出來ナイノデ、寧ろ是ハ單純ナル物權
的權利ト見ルヨリモ、其ノ與ヘラレタル
期間内ニ於テ採掘或ハ試掘ヲ實際ニ行フ義
務ヲ伴フモノデアルト云フ風ニ見ルノガ、
寧ろ本來ノ試掘權ノ見方デアリマス、即チ
試掘權ハ權利デアルト同時ニ、サウ云フ風
ニ義務付ケラレタ内容ヲ持ツテ居ルト云
フ議論ガ相當行ハレテ居リマスガ、其ノ意
味カラ改正ヲ致サントスルモノデアリ
マス

○山本委員 此ノ間御聽シタ通りノコトデ

別ニ變ツタコトハアリマセスガ、唯一ツ鑛

業法改正調査委員會ニ付議シタ所ガ、斯ウ

云フ答申ガアツタト云フコトデアリマス、

ソレハドウ云フ人物ガ其ノ委員ニナラレタ

ノカ分リマセヌカラ批判ハ出来ヌガ、ソレ
ハドウモ官廳トシテハ順序ヲ守ルニナツ
タト云フダケデ、實際ノ事情ト合ハナイ御
改正ノヤウニ言ハレテ居リマス、是ハ私一
人ノ意見ヲ申上ルノデナク、非常ニ世間
ニ反對ガアル、表面ノ理由ハ、本制度本来
ノ趣旨ニ戻スノデアルト云フコトデ、是ハ
御尤モデアリマス、其ノ點ハ能ク分リマス
ガ、同時ニ時局ニ直面シテ増産獎勵ノ目的
デアリ、又一方鑛業獎勵ノ目的デアリ、生
産擴充促進ノ目的デアル、斯ウ云フ風ニモ
併セテ御考ニナツテ居ルノデアリマセウカ、
此ノ點モ伺ヒマス

○小金政府委員 此ノ改正ノ結果、鑛物ノ
生産擴充ノ促進ニモ資スル所ガ相當アルト
云フ風ニ考ヘテ居リマス、但シソレハ此ノ
試掘權制度ノ改正ノミニ依ツテ増産ヲ期待
スルモノデアリマセヌガ、サウ云フ趣旨
モ考ヘテ居リマス

○山本委員 趣旨モ考ヘテ居ルト仰シヤル
ガ、増産ノ目的ガ改正ニ依ツテドウシテ達
セラレルカ、二箇年ノモノヲ四箇年ニ殖ヤ
シテ、四箇年内ニ必ズヤラナクハレバナラヌ
ト云フガ、先願權テ争ツテ賣買シテ居ルノ
ガ多クイデアリマスガ、ソレハ別ト致シマ
シテ、アノ高イ税金ヲ拂ツテ試掘權ヲ獲得
シテ者ガ、唯權利ノ上ニ眠ツテ、探掘ヲシ
ナイト云フコトハ、或ハアルカモ知レマセ
ヌガ先ツ少シ、平素デアリマスル、ドウ
モ色々ナ關係ヲ探掘スルコトガ出来ヌモノ
ガカラ、引合ハスカラヤラヌノデアリマス
ガ、今日デアリマス、相當ノ準備ガ整ヘ
バ探掘スル方ガ非常ニ儲カルノデアリマ
ス、儲カラヌ山ハ別デアリマスガ、儲カル
山ガ澤山アルニ拘ラズ探掘シナイ、是ハ唯

眠ツテ居ツテシナイノミデナク、元來利益
ノ爲ニ働イテ居ルノデアリマスカラ、其ノ
利益ガアルノニ躊躇シテ遅キトシテ居ルト
云フコトハ無イ管デアリマス、ソレデアリ
マスカラ、之ヲ御改正ニナツタカラ、急ニ
權利ガナクナルカラ大騒ギヲシテ探掘ヲス
ル、今マデハ權利ガ繼續出来ルカヲ儲カル
コトモヤラナイデ、戰爭ノ済ムマデ待ツテ
安閑トシテ居ツタノダ、斯ウ云フ風ニ御覽
ニナルト、サウ云フ議論ニナルト思ヒマ
ス、事實ハ吾々以上ニ御調ニナツテ居リマ
セウガ、實際ニ於テ出来ルモノナラヤリタ
イ、ソレガ出来ナイカラヤラナイト云フノ
ガ實情ノヤウニ私ハ思ヒマスガ、實際今日
ノ我國ノ各方面ノ鑛業ガ探掘手續ヲシナイ
デ放ツテ置クノガ多クイカラ、斯ウ云フコト
ヲオヤリニナルト云フ御考デアリマスルカ、
其ノ邊ハドウ云フ御考デアリマスカ

○小金政府委員 鑛山ノ探掘ニ付キマシテ、
現在探掘ヲシテ鑛物ヲ出セバ儲カルカラ誰
シモヤリタイ、斯ウ云フ風ナ部分モ相當ア
ルト思ヒマス、併シナガ、今日試掘權ヲ設
定シテ居ツテ鑛山ノ探掘ヲシナイ所ノ相當
大キナ原因トシテハ、儲カル儲カラスト云
フヨリモ、計畫ガ立タナイト云フコトガ非
常ニ大キイヤウニ私共ハ見テ居リマス、ソレ
ハ試掘權ノ願出ノ數ト探掘權ノ願出ノ數トガ
餘リニ開キガ大キ過ル、其ノ探掘ヲ爲サナ
イ理由ハ、人ノ不足トカ資料ノ不足トカ云
フヤウナ色々ナ點モアリマセウガ、其ノ根本
ニ懸ツテ、鑛山ノ開發ノ計畫ガ立タナイト云
フコトガ非常ニ多クイデアリマス、ソレハナ
ゼカト申シマスル、試掘ガ十分先ニ行ハ
レナイ爲ニ、ドノ程度ノ開發計畫ヲ立テテ
宜シイノカ、ソレニ非常ニ難點ガアルヤウニ

私共ハ考ヘテ居リマス、實ハ鑛山ノ本格的
ニ開發シナイ理由トシテハ色々舉ゲラレテ
居リマス、又私共モ其ノ個々ノ山ニ付テ考
ヘマス、色々ナ原因ナリ理由ガアリマス
ケレドモ、吾々ガ一番遺憾ニ思ツテ居リマ
スコトハ、試掘ヲ十分ヤラナイ、即チ探掘
ガ行ハレナイト云フコトニアルヤウニ考ヘ
マス、ソコデ成ベク早く試掘ヲシテ鑛物ノ
存在ニ其ノ保存状態、鑛量等ヲ大體ノ見
當ラ付ケテ、日本國家全體トシテ計畫性アル
鑛山ノ開發ヲ爲シテ行カナクハレバナラヌ、
斯ウ云フヤウナ立場カラモ、之ニ依ツテ試
掘ガ促進サレルナラバ、非常ニ鑛山開發上
ノ資スル所ガアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル
ノデアリマス

得ルノデアリマスカラ、今別ニ試掘權ノ期
限ヲ縮メナクテモ、今マデノヤウナソノンベ
シタラリニシテ置イテモ、良イ者ハ出来
ル、又之ヲオヤリニナツタ所ノ微力ナ者ハ
出来ハシナイ、吾々民間ノサウ云フ方ノ話
バカリヲ聞イテ居ル者カラ感ジテ申上レマ
スレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレド
モ、指導シテ引スル點ガ行届カヌ所ガア
ルガラウト思ヒマス、是ハ仕方ガアリマセ
ヌ、今日ノヤウナ何層倍ニナツテ居ル所デ
アリマス、此ノ不平ハ非常ニアルノデアリ
マス、ソレヲ或ル程度オヤリニナレバ、民
間デアルヨリ能ク分ルノデアリマスカラ、
經費モ大分今度ハ出来マシタシ、探掘ヲオ
ヤリニナツテ、オ前ノ所ハナゼヤツテ居ラ
ヌカ、早く探掘シタラドウダ、斯ウ云フ風
ニ探掘ヲ促進スルヤウナ方針ヲ御執リニナ
レバ、之ヲオヤリニナラヌデモ出来ルノデ
アリマス、所ガ實際問題ヲ見ルト、サウ促
進ヲナサナイデ、一方デハ何トカ探掘シ
タイト思ツテ夜ヲ日ニ繼イデ金ヲ出シ計畫
ヲ立テテ、企業院トカアナタノ方ノ御願ヲ
シテモ中々探掘ノ運ビニ至ラヌモノガ澤山
アリマス、是ハ何モアアナタノ方ガ非常ニ
情ケテ居ルト云フデアリマセヌ、晝
夜兼行デヤツテ居ラレルコトハ認メテ居リ
マスガ、事實ハサウデアリマス、サウ云フ
モノヲ手ヲ引イテヤラヌ、困ツテ居ル者ハ
澤山アル、又金ヲ出ス人モ澤山アルガ、ド
ウモ商工省ノ調ト企業院ノ計畫ガ立タヌカ
ラドウシタラ宜イカト云フモノガ澤山ア
ル、併シソレニ付テハアナタノ方ノ調ト
當業者ノ調トニ齟齬シタモノガアルカラ、
違ツタモノニ探掘サセルコトハ出来マセ

ス、此ノ點ハ事理ヲ明ニシナクハレバナリマ
セヌガ、是ガ非常ニ行届イテ居ラヌト思
フ、經費ガ要ルモノナラバモツト御要求ニ
ナツタラドウカ、前議會會御要求ニナツタ
アンナ金額デトモ調査ガ出来ルモノデハ
アリマセヌ、今日千五百萬位ノモノハ
紙屑ノヤウナ世ノ中デアルカラ——是ハ餘
談デアアルガ、私ハ豫算總會デモ石油問題
デ大臣ニ、紙ヲ發行スルノデアルカラ一年
ニ六百三十萬位デシク、其ノ十倍ノ六千万
圓位ノ金ヲ出シテ石油ノ探掘ヲオヤリニナ
レバ、何處カニ當ルダラウト云フコトヲ相
當ナ人ガ言ツテ居ルガト云フコトヲ申上レ
タ、一般鑛物ノ探掘ニ付テモモウ少シヤレ
バ促進スルト思フ、ソレヲ此ノ儘ニシテ御
置キニナツテ、虎ノ子ノヤウニシテ居ル試
掘權ヲ四年デ打切ツテシマフコト云フコト
ハ、ドウモソコニ齟齬シタ點ガアリハシナ
イカト思フ、ソレカラ先日ノ政務次官ノ御
答辯、即チアナタノ方ノ御答辯ニ依リ、
此ノ改正案ハ眠ツテ居ル者ニハ少シ困ルカ
モ知レヌケレドモ、本當ニ探掘、探掘ヲ爲
ス者ニハ差支ナイ話デアル、斯ウ仰シヤツ
タノデアアルガ、本當ニ探掘ヲスル者デモ、
是ハ中々困ル問題ナラヌ、本當ニ探掘ヲ
スル者ト云フノハドウ云フモノノ御覽ニオ
ルカモ知レマセヌケレドモ、サウ云フ者ハナ
イノデス、初メハ變ナ權利ノヤウナ先願權ヲ
買ツテ、自分デ金ヲ掛ケテ買ハ試掘ミタイナ
コトヲヤル、ソコデ宜イト見テ本當ニ試掘ニ
掛ル、初メハハハリ空デアリマセヌ、相當
ナ金ヲ掛ケテ色々苦心慘情シ、是ハ確カダ
ト云フコトデ探掘ヲ得ル——サウデナク
山師ノニヤル人モ澤山アリマセヌケレドモ、
本當ニ探掘ヲシテ探掘ニ掛ルト云フノデア

サマシテ、初メカラ探掘ヲヤツテ見ヨウト
云フノハ餘程限ラレタ僅カナモノデアリマ
ス、サウ云フ者ニハ迷惑ハナイカモ知レナ
イガ、大體鑛山ノ發見ト云フコトハ餘程御
獎勵ニナラヌト増産ナドハ出来マセヌ、鑛
山發見ノコトナドハ無論御承知デアリマセ
ウガ、大體ニ於テ生命懸ケテス、殊ニ樺太
北海道邊リデハ熊ノ害ガアリ、雪害モアリ、
南方ヘ行ケバ毒蛇ノ害ト云フヤウナ非常ニ危
險ヲ冒シテ、何ノ爲ニサウ云フコトヲスル
ノカト言ヘバ、小サキハ一万、大キイノハ
五十萬、百万ヲ夢見テ居ルノデアツテ、國
家ノ爲ニヤツテ居ル人ハ少イ、所謂一攫千
金ノ爲ニヤツテ居ル、危險ヲ冒シテ居ル、
サウ云フモノガ集ツテ石コロヲ持ツテ來タ
モノヲ都會地ニ住ンデ居ル山師ガ見テ、ソ
レヲ資本家ニ持ツテ行ツテ賣付ケルト云フ
順序ハ御承知ノ通りデアル、所ガ斯ウ云フ
批評ヲスレバ少シ面白クナイ山師ノヤウナ
人、所謂賣物屋ト云ハレテ居ル人ガ皆鑛
石ヲ發見シテ居ルノデアツテ、商工省御自
身デ御發見ニナツタモノハ主ナ所ダケデア
ル、或ル地方ニ於テハ水銀、ニッケルハ起
對ニナイ、クロームニナドハ幾ラ骨ヲ折ツ
テモ、北海道デ一番大キキヤツテ居ル者デ
モ、命懸ケデヤツテ居ツタノガ戰爭デ漸ク
芽ヲ吹イタ位ノモノデ、其ノ間ノ苦心ハ非
常ナモノデアアル、何デモ、試掘權ヲ握ツテ
眠ツテ居ルモノハイケナイト云ヒ、表面ハ
睡眠鑛山ヲ征伐スルノデアリナイト云フケレ
ドモ、事實ハサウナル、私共ノ見ル所デハ、
石炭ノ新鑛區ヲ發見スルノハ、政府ノ力デ
ハナク、サウ云フ者デアアル、深山幽谷、五
尺六千尺ノ山奥ニ入ツテ、熊ニ食ハレテ死
シタ者モ相當アル、其ノ結果ガ今日ノ時勢

ニ打突カツテ居ルノデアリマスカラ、其ノ
苦勞ヲ認メテ、試掘權モサウ一概ニ法律デ
御取締ニナルノハドウカト思フ、此ノ點ハ
モウ御認ニナツテ居ルト思ヒマスカラ、御
返事ハ求メマセヌ

○山本委員 出願人ハ非常ニ多數デアリマス
ガ、此ノ中カラ試掘權ヲ得タ者、是モ相當
ノ多クイデアリマス、其ノ者ガ此ノ改正ニ
依ツテ試掘ヲ促進スル、此ノ改正ガナイト
云フト、試掘ヲ怠ツテ居ル、即チ今度ハ四
箇年ニ限ラレテシマツタカラ、否デモ應デ
モ試掘ヲ促進シテヤルカラ、探掘ニ近ツイテ
來ル、即チ増産ノ一端ニナルト云フ御說明
テ、民間ノ微力ナ者デハ試掘ヲ完全ニヤル
コトハ事實甚ダ至難デアル、是ハ大キナ資
産家バカリニヤラセレバヤリマス、併シ是
ハ御承知ノ通り斯ウ云フ者コソ有望ナ鑛區
ハ皆買收シテシマツテ、二十年モ三十年モ
四十年モ持ツテ來タノデス、政府ニ於テ之
ヲ御改正ニナラナクテモ、十分地質調査ナ
リ何ナリ大變ナ設備ヲ御持チニナツテ居ル
カラオヤリニナツテ、宜シイト云フ所ハ探
掘ヲ御命ジニナレバ、探掘權ノ出願ヲサセ

ソコデ試掘權者ガ探掘ニ至ラザル、若クハ
探掘ガ遅延スル理由ヲ申述ベテ御考ヲ伺ヒ
タイト思フ、私ノ見ル所デハ、色々アリマ
スガ、其ノ一ハ調査ガ中々進行致サナイコト
デアル、ソレハ簡單ニ仰シヤルガ、事實ヤツ
テ御覽ニナルト分ル、此ノ位困難ナモノハ殆
ドアリマセヌ、第一道路モ何モナイ深山幽
谷デアアルカラ、是カラシテ、第一至難デア
ル、探掘シロ、探掘シロト仰シヤツタ所デ
石炭ノ露頭ミタイナ所ハ簡單デアアルガ、ボ
ーリングナドハ絕對ニ個人デ出来ルモノ
デハアリマセヌ、今ハ出来ルガ、平素ハ出
來マセヌ、政府ノ御助ケモ前申ス通りデ、
思フヤウニハヤツテ下サラス、是等ノ爲ニ
採掘計畫ハ容易ニ立ツモノデアリナイ、是ガ
一番根本ノ遅延スル理由デアラウト思ヒマ
ス、其ノ第二ハ交通ノ關係デアリマス、四
年間ト仰シヤルケレドモ、今マデ僅カノ粗
末ナ道路シカナイ所ニ今度道ガ出来、ソレ
ガ縣道ニナリ、トラクタガ通り、ソレデ漸ク
何トカナルノデスガ、ソレダケデハ運搬ス
ルコトハ出来ヌカラ、ドウシテモ汽車ガ必
要デアリマス、所ガ汽車ノ出来ヌノニ探掘
ニ掛ツタ所デ何モ出来マセヌ、小鑛業家ノ
コトハ御覽ニナレバ分ルガ、此ノ交通ノ便
ガナケレバ探掘ハ絕對ニ出来ルモノデア
リマセヌ、所ガ今ハナイケレドモ一年經テ
バ、或ハ二年、或ハ四年經テバ必ズ鐵道ガ
附近マデ來ル、其處マデ「トラクタ」道路ヲ作
ルト云フ計畫ニナツテ居ルモノヲ、ソレガ

ナイ内ニ探掘ニ掛ツタ所デ採算ハ合ハナイ
カラヤル人ハアリマセヌ、此ノ交通ノ便ガ
今ハナイガ、近い將來出来ルカラト云フノ
デ見送ツテ居ルノデアツテ、唯眠ツテ居ル
ノデアリナイ、サウ云フ人モ澤山アリマス、
第三ハ鑛物ノ需給關係ヲ御考ニナラナク
レバ駄目デス、今日日本各地デ實ニ驚クベ
キ程ノ鑛石ガ各所ニ發見サレテ居ルガ、是
ハ殆ド滿洲事變以來少シ色ガ付イテ來タ、
此ノ支那事變ガナクツタラ、鑛山バカリカ、
石炭ニシテ所デ、ツイ此ノ支那事變前マデ
ハ、死ンダ礦村君ノ如キハ、年中石炭ノ運
賃ヲ低減シロト云フ議論ヲ社會デモ議會デ
モヤツテ居ツタガ、ソレデナクハ立行カ
ヌト云フノデ、炭鑛會社ハ丸潰レノヤウナ
恰好デアツタ、ソレガ今度斯ウ云フヤウニ
ナツテ利益ヲ匿スノニ困ツテ居リマス、是
ハ何カラ來タカト云フト、需給關係カラデ
アル、アア云フ日本一、世界一ト云フヤウ
ナ炭鑛デモサウデアアルカラ、普通ノ中以下
ノ微力ナル鑛業者ニ至ツテハ、需給關係ガ
ナカツタヤル人ハアリマセヌ、ソレデハ
サウ云フモノガドン／＼權利ヲ取ツテ何處
ニ移ルカト云フト、抽籤ヤルト云フ御話
デアアルガ、何處ヘ行クカ分ラヌ、今マデサ
ンザン苦勞シテ持ツテ居ツタガ、需給關係
デヤラズニ居ツタモノヲ取上ゲテ、ソレヲ
何モ關係ノナイ者ハヤツテシマヒ、新シク
出直セト云フコトデハ、ドレ程個人ニハ迷
惑デアリ、國家ノ損失デアルカ知レマセ
ヌ、昭和十年以前ノコトヲ能ク御考ヘニ
ナルト、需給關係デナケレバ探掘ガ出来ナ
イ、幾ラ御獎勵ニナツテモ——又御獎勵
モ其ノ時ハシナカツタ、第四ノ關係ハ資
金デアリマス、資金ガ一万二萬ノモノナラ

場合ハ非常ニ稀デアリマシテ、澤山技術者ガ有リ餘ツテ居ルヤウナ時ニ、ドン／＼派遣シテ人ノ鑛區ヲ試掘シテヤル、或ハ探鑛シテヤル、ソレカラ又探掘ノ價値アリヤ否ヤヲ見テヤルト云フヤウナコトガ出來マス...

ツハ經費ガナイ、人ガナイと言ハレバ是ハ仕方ガナイデアリマスガ、相當ナモノデアツタナラバ、其ノ法規ノナイ今日ト雖モ出來ルダケ相當ニヤツテ御居デニナリマ...

同一人間ガ試掘權ヲ持ツテ居ツテ、繼續的ニソレヲ願出ヲシテ受ケテ居ル、斯ウ云フモノニ付テ鑛種別ニ何年以上、四年以上ノ...

シテ、是等ノ統計ヲ取ルコトニ依ツテ出願處分ノ方ガ非常ニ遅レマスノデ、只今ノ所ハ事變後ノ狀況ニ付テ、事變前ト事變後ニ...

ガ出來ルナラバ、此ノ委員會ノ開會中ニ御提出アラシコトヲ願ツテ置キマス、ソレカラ是ハ此ノ改正案ニ直接關係ナイコトデアリ...

ニ於テ同意ヲ與ヘラレナカツタ場合ニ於キマシテハ、是ハ公益上許シ難イコト云フ理由ヲ附ケテ不許可ノ處分ヲ致シテ居リマス、...

ニ著手シテ居ル所モアル、其ノ豫定線ヲ少シ變更スレバ非常ニ鑛業ノ開發ノ出來得ルヤウナ所モ見受ケル、其ノ豫定線及ビ鐵路...

デアリマスガ、取敢テ資料ヲ一ツ御願シテ置キマス、ソレハ日本産金振興株式會社及ビ帝國鑛業開發株式會社、兩社ノ營業開始以來ノ實績ガ知リタイノデ、之ニ關スル資料...

第七十五回帝國議會 院 鑛業法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第三回

付託議案

鑛業法中改正法律案(政府提出)
鑛業法中改正法律案(政府提出)
(第六三號)

(1111)

會 議
昭和十五年二月二十八日(水曜日)午後二時
十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 櫻井兵五郎君

理事澤田 利吉君 理事中井川 浩君

理事松尾 三藏君 理事篠原 義政君

理事依光 好秋君 理事川俣 清吾君

山本 厚三君 手代木隆吉君

岡野 龍一君 内藤 正剛君

小柳 牧衛君 森下 國雄君

長野 長廣君 匹田 銳吉君

井阪 豐光君 木暮武太夫君

久山 知之君 石井徳久次君

原口初太郎君 東條 貞君

松尾 孝之君 瀧澤 七郎君

加藤 謙造君 朴 春 琴君

小池 四郎君 長谷 長次君

坂本宗太郎君 岩瀬 亮君

出席國務大臣ノ如シ

商工大臣 藤原銀次郎君

出席政府委員左ノ如シ

商工事務次官 加藤銀五郎君

商工參事官 喜多壯一郎君

商工省鑛産局長 小金 義照君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

鑛業法中改正法律案(政府提出)

砂鑛法中改正法律案(政府提出)

○櫻井委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、前

會ニ引續キ質疑ヲ繼續致シマス、手代木隆

吉君、一寸手代木君ニ申上ゲマスガ、大臣

ハ今貴族院ノ豫算委員會ニ出テ居ラレマス
ノデ、大臣ニ對スル質疑ヲ留保セラレマス
テ、ドウゾ……

○手代木委員 承知致シマシタ、昨日匹田

君ノ質疑ノ時ニ私席ヲ外シマシタノデ、如

何ナルコトヲ質疑サレタカ一寸分リマセ

ノデ、場合ニ依リマスト聊カ重複スルヤウ

ナコトガアルカモ知レマセ、其ノ點ハ豫

メ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ノ第一

ニ御尋致シタイト思ヒマスコトハ、是ハ山

本君カラノ質疑ニ對スル答辯ノ中ニモ、幾

分ハ含マレテ居ルヤウデアリマスケレドモ、

マダ確然トシテ居ラナイヤウナ感ジガ致

ノデアリマス、ソレハ偶然デアルカ知レ

セマスガ、偶、此ノ事變ノ最中ニ此ノ法律ノ改

正ヲスル以上、恐ラシク此ノ事變關係ノ色々

ナ問題モヤハリ考慮セラレテ此ノ改正ガ行

ハレテ居ルモノダラウト考ヘルノデアリマ

ス、ソレハ所謂生産擴充ノ立場カラ見マシ

テ、此ノ法律ノ改正ガ其ノ生産擴充ト云フ

コトニドレ程力ヲ致サレルノデアルカ、生

産擴充ノ前提トシテハ所謂物動計畫ト云フ

モノガ伴フト思フノデアリマス、ヤハリ一

ツノ法律ヲ改正致シマスルノニハ、國家ト

シテ有ユル點カラ之ヲ検討シテ法律ノ制定

ヲスベキモノデアルト思ヒマス、隨テ此ノ

鑛業法ヲ改正スル上ニ於テハ、所謂物動計

畫ニ照シ、我國ノ將來ノサウ云ツタコトモ

ヤハリ一ツノ對象トシテ、即チ生産擴充ガ

斯ウ云フ點ニ於テ行ハレ得ル、此ノ點ヲ運

用スレバ斯ウ云フコトニナルト云フヤウナ

所ガ、此ノ改正法ノ中ノ何處カニ儼然トシ

テ現ハレコトナラバ誠ニ結構ダト思ヒマ

スガ、若シ此處ニドレト云ツテハツキリソ

レガ現ハレテ居ラヌト云フナラバ、此ノ改

正ノ是レノ點ガ大體ソレヲ狙ツテ居ル

ノダトカ云フコトガアルデアリマセウカラ、

サウ云フ點ニ付テノ御意見ヲ御伺致シタイ

ト思ヒマス

○小金政府委員 提案ニナリマシタ此ノ鑛

業法中改正法律案竝ニ砂鑛法中改正法律案

ノ兩法案ヲ今改正スル以上ハ、是ト時局ト

ノ關係ヲ能ク配合セテアルカ、殊ニ生産擴

充計畫ノ方ニドレ程進マレテ居ルノカ、

テアルカト云フヤウナ御質問デアリマスル

ガ、此ノ兩法案ノ改正ニ付キマシテハ、昨日

山本君ノ御質問ニ御答申上ゲマシタ通

リ、鑛業法改正調査委員會ニ於キマシテ十

數回ノ審議ヲ重ネテ御答申ガアリマシタ、

其ノ御答申ヲ骨子トシテ法文化シタモノデ

アリマス、勿論現在及ビ將來ノ時局ニ對シ

テ斯ク改正シタ方ガ、行政上モ望マシイト

云フ立場カラ改正案ガ出來上ツタノデアリ

マス、的確ニ此ノ條項ガ生産擴充計畫ノ

配合セテアル、此ノ條項ガ物資動員計畫ノ

一部ト配合セテアルト云フコトハ、是ハハ

ツキリ致シテ居リマセ、其ノ一例ヲ申シ

マス、例ハ、試掘權制度ヲ從來ノヤウニ、

殆ド無期限ニシテアツタノヲ今回四年ニ打

切ルト云フコトガドレダケ鑛物ノ開發ヲ爲

ニ役ニ立ツカト云フコトハ、相當期待ハ致

シテ居リマスルケレドモ、之ニ依ツテ鑛物

ノ増産ヲ期スルト云フヤウナコトハ考ヘテ

居ラナイノデアリマス、然ラバ是ハ時局カ

ラ見テ何等ノ關係ガナイカト申シマス、

必ズシモサウデハナイ、相當此ノ法律ノ改

正ニ依リマシテ鑛業ノ開發ヲ綜合的ニ促進

スルト云フ意味ガ多分ニアルノデゴザイマ

ス、試掘權制度ノ改正ノ如キモ、間接的ニ

ハ四年間ニ早ク試掘ヲシテシマハナイト、

重ネテ其ノ地域ニ付テ試掘權ヲ取ルコトハ

困難デアルト云フヤウナコトハ、勢ヒ鑛業權

者ヲ驅ツテ試掘ニ邁進セシムルコトニナリマ

ス、ソレカラ又次ニ計畫ヲ立テテ鑛業ヲ開

發セシムル方ノ立場カラ言ヒマス、之ニ依

ツテ諸般ノ基本的資料カラ大體明ニナル、斯

ウ云フノデアリマス、ソレカラ又手續ヲ數

箇所簡單ニ致シテ居リマス、是ハサナキダニ

官廳ノ事務處理ガ遅イト云フヤウナ非難モ

ゴザイマス、是等ノ官民協力シテ、例ハ、

六十日ト期限ガ切ツテアルノヲ、今日ノ交

通其ノ他ノ狀況カラ見テ三十日内ニ打切ツ

テ差支ナイト云フヤウナコトカ、或ハ相

續ノ外ニ死亡ニ因ル共同鑛業權者ノ脱退ト

云フヤウナコトモハツキリシテ置クトカ、

或ハ共同鑛業權者ノ場合ニ於キマシテ、其

ノ代表者ノ取扱ノ問題ト云フヤウナコトヲ

一々細カク申上ゲルト相當アルノデアリマ

スガ、斯ウ云フヤウナ事柄モ含メマシテ、

今回鑛業法改正調査委員會ノ議モ經マシテ

提出シタ次第デアリマス

○手代木委員 サウシマス、今ノ御話ヲ

同ヒマシテモ、間接ニ何カ増産ニナル點ガアルカノ如キ御説明アリマス、今ノ三十三條ノ二ヲ削除シタコトニ付テ昨日ノ御話...

トカ探鑛トカ云フコトヲ十分ニシテ貰フヤウニ仕向ケルコトモ、是亦極メテ不十分デアリマス、ソコヲ試掘ト云フヤウナ所有權...

ス、ソコデ此ノ法律ヲ改正シヨウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、手代木委員...

尙將來ノ増産計畫ノ基本資料ハ、ドウシテモ何等カノ方法ヲ得テ置カナケレバナラ...

豫算方面カラ研究致シテ居ル次第デアリマス、大綱ニ申上ゲマス、サウ云フ風ニ...

一體本氣デ御話ノコトデアリマセウカ、中央デサヘモ技術者ヲ機關ガナクテ困ルコト...

スカラ、御承取ヲ願ヒタイト考ヘマス、手代木委員...

マ、手代木委員、ソレカラ在來ハ試掘期間中其ノ試掘得タル鑛物ノ處分ハ、許可ヲ得...

○小金政府委員 只今政府ニサウ云フ中央的ナ機關ヲ設ケマシテモ、其ノ技術的方面...

○手代木委員 今ノ試掘ノ問題ニ付テハ、昨日モ山本君カラ大分詳細ナ質問ガア...

○小金政府委員 試掘鑛區稅ハ一千坪ニ付テ三十錢、探掘鑛區稅ハ一千坪ニ付テ六十...

○手代木委員、ソレカラ在來ハ試掘期間中其ノ試掘得タル鑛物ノ處分ハ、許可ヲ得...

例が多クゴザイマス、ソレハ調査ヲスル技術者トカ、或ハ測量スル技術者トカ云フヤウナモノガ大變不足シテ居ツタノデアリマス、其ノ點ニ鑑ミマシテ、今度相當ノ増員モ著キヤツテ來マシタシ、大變其ノ點ハ緩和シツツアルト存ジマス

モウ一ツ關係方面、即チ關係官廳方面ト交渉ナドモ相當ゴザイマスシ、ソレカラ又圖面ノ不完備ト云フヤウナコトナドガアリマシテ、採掘權ヲ設定スルノニ相當手間ガ取ラト云フコトハ御指摘ノ通りデアリマス、殊ニ或ル地方ノ如キハ基本トナルベキ圖面モ整備シテ居ナカッタト云フヤウナコトガ手傳ヒマシテ、大變御迷惑ヲ掛ケタコトト存ジマス、此ノ法律ヲ改正シテ、四年間テ試掘權ガナクナル、サウスルト自分ハ採掘ニ適スルト思フテ採掘ノ願ヲ御出シニナル向モ相當アルト存ジマス、サウ云フ場合ニ於キマシテハ法律施行ノ期日方何時ニナルカ、相當準備ニ日ニチガ掛ルト思ヒマスガ、其ノ期間ト、ソレカラアトノ四年間トヲ加ヘマシテ出來ルダケ官廳方面ノ圖面トカ、調査ノ書込トカ云フヤウナコトヲ完備致シマシテ、非常ニ御急ギノ分ハ願ニ其ノ方カラ採掘權設定ノ調査ナリ、手續ナリヲ進メマシテ、採掘ノ價值アリトスルモノニ對シマシテハ、採掘權ノ設定ヲ致シ、ソレカラ又直チニ採掘事業ニ取掛リタイト云フヤウナ向ニ對シマシテハ、色々ノ御世話モシテ行キタイ斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○手代木委員 今ノ御話ノ中ニ關係方面トノ事務ノ連絡ノ敏捷ヲ圖ルト云フ御話デアリマスガ、此ノ點ガ又當業者トシテ隨分迷惑スル場合ガアル、其ノ土地ガ國有林デア

ルトカ、或ハ御料林デアルトカ云フヤウナ場合、試掘ヲスルニシテモ許可ヲ得ナケレバ出來ナイ、其ノ許可ヲ得ルノニ三年モ五年モ引張ツテ居ルヤウナノガアル、其ノ内ニ試掘權ノ期限ガ來テシマフヤウナコトガ實際ニハ生ズルト思ヒマス、今御話ノヤウニアナタノ方ダケウマクヤラウト御考ニナツテモ、私ハ官廳ノ中ニハ意地ニナツテ何時マデモ引延シテ居ルカト思フヤウナ例ガ澤山アルノデアリマス、サウ云フヤウナコトガアツテ、アナタノ方デバカリ幾ラドウトカ斯ウトカ御考ニナツテモ是ハ出來ナイ、サウ云フ場合ニハ其ノ土地ノ使用ノ許可モ得ナイ内ニ期限ガ來ルヤウナコトガ屢アルト思フ、間ニデハアリマセス、私ハ屢アルト考ヘルノデスガ、其ノ點ニ付テハ如何ニ御考ニナルノデスカ

○小金政府委員 ソレハ採掘權設定ニ付キマシテ土地使用トカ何トカ云フ問題ハ起リマス、唯採掘事業ヲスル場合ニハサウ云フコトガ起リマスガ、權利ノ設定ニ付テマシテ關係方面トノ交渉ナド遅レタ場合ニ於キマシテモ、先願主義ヲ採ツテ居リマスカラ、採掘權ノ第一番目ノ願デアリ限リニ於キマシテハ、假令日ニチガ延ビタト假定致シマシテモ、其ノ先願權ヲ持ツテ居ルト云フ地位ハ失ハナイコトニナリマス

○手代木委員 ドウモ今ノ御話ハ私一部分了解出來ナイ點ガアルノデスガ、假令試掘ヲナル場合デモ、試掘權ヲ得タカラト云フテ勝手ニ入地ヲサセナイ場合ガ實際ニアルノデアリマス、御料林トカ國有林ニシテモ勝手ニ權利ヲ得タカラト云フテ直チニ試掘ハ出來ナイ、其ノ點ハドウナルデスカ

○小金政府委員 試掘權ヲ得テ實際上試掘

ガ出來ナイト云フヤウナコトガアリマスルト、ソレハ此ノ試掘ノ期間ヲ一定ノ年限テ打切ル場合ニ於テ困リマスノデ、サウ云フ試掘權ヲ設定シナガラ其ノ地域ニ立入りモ出來ナイ、試掘モ出來ナイト云フヤウナ試掘權ハ、設定ノ際ニ十分注意ヲ加ヘナケレバナラス性質ノモノト思ヒマス、只今マデサウ云フ試掘權ガアルトスレバ、其ノ點ハ至急解決ヲ要スベキ問題ト思ヒマス

○手代木委員 ソレカラ此ノ試掘權ヲ四年デ打切ラレル爲ニ非常ナ不利ヲ來ス場合ガアル、其ノ一ツハ斯ウ云フ場合ダト思フデアリマス、例ヘバ茲ニ十試掘權ヲ一轄ノ之ヲ賣力ノアル者ナラバ十試掘權ヲ一轄ニ手ヲ著ケテ四年間ニ試掘ヲ終ツテ、採掘ノ願ガ出來ルデアリマセウレドモ、賣力ノナイ者ハ此ノ一試掘權ダケモヤツト試掘ヲシテ、採掘ノ願ガ果シテ出來ルカ出來ナイカト云フコトデヤツテ居ル場合ニ、其ノ内ニ期間ガ來テシマフ、サウスレバ茲ニ一試掘權ハ拾テナケレバナラス、サウスレト茲ニ別ノ變ツタ者ガ出願ヲシテ、此ノ九試掘權ノ今度ハ結論ニ於テ甲乙丙丁ト云フ者ガ之ヲ所有スルヤウニナリマスレバ、此ノ十試掘權一團トシテコソ企業ノ價值ガアルガ、一試掘權ナラハモウ出來ナイト云フヤウナ場合ガアル、或ハ又此處マデ掘ツテ來テ、此ノ隣ノ試掘權ニ確ニアルト思フノニ、其處マデ達シナイ中ニ失ツテシマフ、斯ウナツテ分散シテ一ツノ企業ガ出來ナイコトニナレバ當局ノ御考ニナツテ居ルヤウニ、將來ハ是ガ大イニ増産ノ基礎ニナルノダト仰シヤツテモ、分散シテ居ル爲ニ却テ是ガ手ヲ著ケラレナイト云フコトニナル場合ガ

ナイト云フヤウナ——地下ノコトデ分ラヌモノデスカラ、只今ハ必要ハナイガ、所謂保護鑛區トシテ其ノ周圍ヲ持ツテ居ルト云フ例ガ非常ニ多イデアリマス、ソレハ前申上ゲマス通り、其處ヲ一團ニシナケレバ本當ニ仕事ガ出來ナイト云フコトカラ來ルノデスカラ、若シ之ヲ削ツテ四年キリ認メナイト云フコトニナルナラバ、其ノヤウナコトガ何カ其ノ折衷案トシテ考ヘラレルモノトダト思フノデスガ、サウ云フコトニ付テノ御研究ガアツタノデアリマスガ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○小金政府委員 只今御説ニ出マシタ事柄ハ鑛物ノ種類ニ依ツテモ自ラ違フト思ヒマス、脈狀ヲ成シテ居ルモノノ背斜軸ヲ成シテ居ルモノ、或ハ交代鑛床、接觸鑛床ト云フコトデ違フト思ヒマス、併シナガラ只今手代木君ノ御指摘ニナリマシタヤウナコトヲスルコトガ、具體的ニ極メテ合理的デア

ル、或ハ地質學的、或ハ其ノ他ノ方面カラ検討シテ毫モ疑ガナイノダト云フ場合、即チ具體的ノ場合ニ付テソレハ處置ヲスルコトガ出來ルト存ジマス

○手代木委員 次ニ今ノ産金振興會社及ビ帝國鑛業開發會社、此ノ機能ニ付テ御同致シマスガ、昨日資料ヲ要求シテ置キマシタガ、マダ御配付ニナリマセス、マダ出來ナイノカモ知レナイガ、出來ナケレバ出來ナイデモ宜シウゴザイマス、兎ニ角ハ餘リ評判ノ好イ會社デハゴザイマセス、率直ニ申上ゲマスガ、一體何ノ爲ニアア云フ會社ヲ拵ヘタカ、産金振興會社ヲ拵ヘテ、是ハ大金ガ果シテ出ラレタ増シタノデアリカ、是ハ大體分ツテ居リマスガ、露骨ニ申上

ゲマセス、ソレカラ帝國鑛業ノ方ハ、是ハ開設日モ淺イコトデアリマスカラ、マダ本當ノ實績ガ擧ツテ居ラヌト思ヒマスケレドモ、兎ニ角兩會社トモ民間ノ者ガ之ニ接觸シテ、皆頗ル不満足ナ感ジヲ持ツテ居ル、不満足ナ感ジヲ持ツテ居ルダケ、其ノ會社ハ何等此ノ時局ニ役ニ立ツテ居ラヌト云フコトヲ、私ハ斷言シテ宜シイト思フ、ドウモ産金會社ノ方ニ行クト、恰モ銀行ノヤウナ、所謂世ニ言フ山師ト言ハレル所ノ鑛山業者ヲ相手ニ金ヲ貸付ケルトカ、色々ナ仕事ノ便宜ヲ與ヘルト云フコトハスツカリ没却シテ、興業銀行トモ朝鮮ノ殖産銀行アタリト何モ變ツタコトガナイ、銀行家ノ頭デ以テ取扱ハレタノデハ、何等ノ便宜ヲ得ルモノデハナイ、申込デカラ何箇月經ツテモ沙汰モナイヤウナ状態デ、既ニモウ他カラ資金ノ融通ヲ受ケタ時ニ呼出ヲ受ケテ、逆ニ斷リテ言ウテ、借リル方カヲ拒絕シヤウナ實例ガアル、ソナヤウナコトデ、是ハ商工省ガ嚴重ニ監督ササツテ居ルノデアリカ、是ハ確ニ監督怠慢デアリマス、斯ウ云フ點ニ付テ私ハモツト是ハ引續メテオヤリニナラスト、今マデノ御言葉ノ中ニ屢、此ノ兩會社ヲ活動サシテ、サウシテ大ニ此ノ法律ノ運用ノ上ニ役立タセルヤウナ御話ガアリマスケレドモ、今ノヤウナヤリ方デオヤリニナルナラバ、ソレハ口先ダケノコトデ、何等ノ實效ヲ擧ゲ得ナイト斷定シテモ宜イト私ハ思フノデアリマス、モウ少シ何トカ監督指導ナサル上ニモツト放棄ニシテヤラセムヤウニシナケレバナラナイト思フ、法律ノ示ス所ニ依ツテ、官民各半額出資シテ、サウシテ拂込ノ五倍ヲ發行スルコトガ出來ル、損失ハ國家ガ其ノ尻

ヲ拭フト云フヤウナコトモアル、配當ニ付テモ國ガ取ラヌデモ株主ニ先ニヤル、斯ウ云フ特別ノ取扱ヲ受ケテ居ルノハ何ノ爲デアリカ、産金ガ必要ダカラ、其ノ爲ニドンナ犧牲デモ國家ガ拂フト云フヤウナ所カラ來テ居ル、其ノ他ノ重要鑛物ノ開發ニ付テモ同様デアリマセウ、併シナガラ何等其ノ趣旨ヲ表現シテ居ラナイ、私ハ北海道デアリマスガ、北海道ノ如キモ産金會社カラ何ボ金ヲ借リテ居ルカト云フト、大キナ會社ガ少シ難ツタ金ヲ借リマシテ、アト四ツ五ツノモノハ合計漸ク今マデニ二十萬圓ニ足ラナイモノヲ貸付ケラレテ居ルダケデス、ソナ小産金ダケハ何ニモナリマセス、相當ナ金ヲハリ放膽ニ貸付ケテ、假ニ一千万圓ノ金ヲ捨テテモ、一ツノ立派ナ鑛山ガ發見サレテ物ニナルナラバ、埋合セガ付クデアリマセスカ、私ハ此ノ會社ハサウ云フ氣持デヤルベキデ、銀行ノ業務ノヤウナ氣持デ、堅實ニ一方デヤルナラバ、コンナ會社ハ必要アリマセス、有害無益デス、之ニ對シテハ責任ヲ負ハシテ、兩方ノ會社ガ民間ト協力シテヤルノデアリカラ、自分等ハ幾ラカ肩ガ輕クナツタヤウナ考ヲ持タレラケテ密ニナル、私ハ此ノ二ツノ會社ニ對シテモツト極

消的ニ監督ヲシ、而シテヤハリアナタノ方ノ權力ヲ以テサウ云フ點ハ能ク行届イタコトヲオヤリニナラスト、民間ノ鑛業者ノ呪ノ的ニナル、生チツカスウ云フモノガアル爲ニ、頼リニシテ居ル其ノ頼リガ、サツバリ頼リニナラスト云フコトニナルト、アトハ怨ムダケデス、此ノ會社ノ設立ノ趣旨ハ固ヨリサウ云フ趣旨デアナイコトハ分ツテ居ルガ、國家ガ損失マデモ負擔スルト云フ其ノ精神ヲ能ク融入レテオヤリニナラストイカ

スト思フノデアリマスガ、今マデノ實績ナドニ付テ一體ドウ云フ御考ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、相當ナ成績ヲ擧ゲテ居ルト御覽ニナツテ居ルノデアリマスガ、是ハ資料ヲ要求シテアリアマスカラ、資料デ大體ノコトハ分ルカ知レマセスガ、其ノ資料ニ依ラナイデモ分ル大體ノコトヲ承リタイト思ヒマス

○小金政府委員 日本産金振興株式會社、帝國鑛業開發株式會社ノ事業ノ概要ハ、今日事務局ノ方ニ資料ヲ差出シテアルサウデアリマスガ、何レ近ク御手許ニ來ルコトト存ジマスガ、ソレヲ待ツマデモナク、只今其ノ兩會社ノ營業方針ニ付キマシテ御批判ガゴザイマシタガ、相當ナ御不滿ノ點モアルコトト存ジマス、此ノ兩會社ノ經營部、事業部ニ付キマシテハ、篤ト只今ノ御言葉ヲ拜承致シマシテ、十分參考ニ致シタイト思ヒマス、唯是等ノ特殊會社ヲ作ツタカラ、ソレニ吾々ノ責任ヲ轉嫁シテ安キヲ倫ムト云フコトハ絕對ニアリマセス、殊ニ此ノ兩會社ノ監督ニ付キマシテハ私モ責任ガゴザイマスカラ、十分御注意ヲ體シテ注意スルコトニ致シマス

○手代木委員 御話デ一應諒承致シマスガ、監督官マデモ設ケテヤツテ居ルノデアリカラ、實際其ノ機能ヲモウ少シ十分ニ發揮シテ裁カケレバイカスト考ヘルノデアリマス、而シテ最後ニ一點伺ヒタイコトハ、此ノ法律ヲ改正シテ將來ニ備ヘルコトハソレモ一ツノ方法カモ知レマセスガ、私ハソレヨリ先ヅ日本ニ一體ドウ云フ資源ガアルカラ早目ニ知ル緒ヲ見付ケレバ、ソレヲ土臺ニシテ十分ニ研究デモ何デモ出來マスノデ、何トカ鑛物ノ發見者ニ對シテ何カ特別

鑛學方面カラ見テモ違ツテ居ル場合ニハ、ソレハ大シク差障リハナイカト思ヒマスガ、要ハ鑛物ノ存在ヲ確認シテ鑛業權ヲ設定スルダケデ能事終リテハナクシテ、如何ニシテ之ヲ開發スルカト云フコトガ問題ノ要點デアリマスノデ、特ニ其ノ點取扱ノ注意ヲ致シマス、尙ホ全然別ノ鑛床デ二ツノ鑛業權ガ同時ニ活動シテモ差障リガナイト一應學術的又實際的ニ見ラレテモ、地下資源ノコトデアリマスカラ、ドウ云フ變化ガ中ニアルカ分ラナイノデアリマス、サウ云フ際ニモ備ヘマシテ、何等カノ調整ヲスル必要アル場合ニハ、進ンデ之ヲ調整スルト云フ規定モ今度併セテ設ケタノデアリマス

○濶澤委員 此ノ點ハ尙ホ能ク考ヘルト云フ御話デアリマスガ、尙ホ吾々ガ實際ニ携ハツテ居ル者ノ常識的考ヲ十分入レテヤツテ裁クナケレバナラス、唯學者ガ地質學的ニヤルヤウナコトデ、學者ノ言ツク通りニヤツテ掘ツテ見タラナカツク、常識デヤツタラアツタト云フヤウナコトガアリマスカラ、是ハ常識的ニ考ヘテ御取扱ヲ願ヒタイト考ヘマス

○森田委員 分リマシタ、ドウゾサウ云フ風ニ願ヒタイ、シタイト思フト云フノデナシニ、スルト云フコトニ解釋ヲ致シテ宜シウゴザイマスカ

○濶澤委員 ソレカラモウ一ツ、是ハ御願ダカ何ダカ譯ノ分ラスコトデアリマスケレドモ、私ハ前カラ局長ニモ御話シタコトガアリマシタガ、中々實際問題トシテ實現ガ困難デアリマス、例ヘバ此ノ中ノ鑛鑛ニ致シマシテモ、段々外國カラ來ルモノハ困難ヲ生ズル、支那カラ來ルモノデモ困難ヲ生ズルガ、日本内地ヲ開拓スレバマダ中々アルノダ、ダカラ之ヲ開發シ助長セシムベク、例ヘバ日本製鐵會社デアルトカ、日本製鐵會社デアルトカ云フモノヲ動員シテ之ニ本當ニ助力セシムルコトガ必要デアリ、又此ノ鑛石ヲ使用セシムルコトガ必要デアリ、私ハ素人考デアアルガ、例ヘバ南洋カラ六十ノ鑛石ヲ入レルナラバ、日本内地ノ四十ノ物ヲ合セテ、半々ニ使用シタラバ五十ニナルカラ、五十ノ鑛鑛デアラナラバソレハ事業化スルコトガ出來ルト云フコトヲ伺ツテ居リマスケレドモ、兎ニ角良イ鑛石ガアルハ良イ物バカリ使ツテ、惡イ物ハ中々使ハナイノデス、サウシテ助長シテ呉レナイ、ソレカラ今日ノヤウニナツテ參リマス、今度ハ價值高クナリマス、ソレハ「ガソリン」ナドガ無クナツテ運搬費ガ今マデ一應一

出來ナイ、鐵道運賃ノ方ハ非常ニ勉強シテ安クナツテ居ルケレドモ、「ガソリン」ガナイ爲ニ運搬スルコトガ出來ナイデ非常ニ困ツテ居ルノデアリマス、マア護送足袋ノ如キハ當然ノコトデ、是ハ殖産スト云フコトデスカラ、是以上申上ゲマセスガ、「ガソリン」ニ非常ニ困ツテ居ル、ソレカラ「カーバイト」ガアリマセス、是ハ今日例ヘバ朝鮮カラ來ル「カーバイト」ハ五十四錢デ、コチラノ「建値」ハ三圓何十錢デスガ、此ノ朝鮮ノ「カーバイト」ガ入ツテ、吾々モ事業上幾ラカ、配給ヲ受ケテ居リマスガ、是等ニ付テモ朝鮮カラ來ルト云フヤウナコトデアリマスレバ、斯ウ云フモノヲ鑛山ノ爲ニ入レテ載イテ、蠟燭ヲ付ケテヤルヤウナコトデナクヤツテ貰ヒタイ、是ハ直接ノ事柄デアリマス

○濶澤委員 一才關聯シテ……私ハ私ノ番ガ廻ツテ來タ時ニ又改メテ質問致シマスガ、今濶澤君ノ質問サレタ一二ノ點ニ關聯シテ御答申上ゲタイト思ヒマス、一ツハ只今御申シテ置イタ新舊法律ノ對照表ヲ速ニ出シテ貰ヒタイ、ソレカラ今ノ試掘權ノコトデ濶澤君ト鑛産局長トノ間ノ質疑應答ヲ聽イテ居ツタノデアリマスガ、今度ノ改正ニ依ツテ試掘權ヲ持ツテ居ル人ハ非常ニ不安ニナツテ來テ居ル、然ルニソレハ今言ハレル通り、相當長年試掘料ヲ拂ツテ來、現ニ調査ヲシテ居ル現狀デアリマス、サウ云フ風ニ金ヲ掛ケテヤツテ居ルガ、サウシテ試掘料ヲ納メテ居ルカラ、期限ガ切レテモツイウツカリシテ居ルコトガ今後屢アルト私ハ思フ、一ツ此ノ點ハ試掘權ノ切レサレテ、君ノ試掘權ハ何日切レルゾト云フコトヲ通知ヲ御出シナルヤウニセラレタラドウデアラウカ、ソレデ忘レテ居ル者ハ已ムヲ得ス、諸メロヨリ仕方ガナイガ、ソレ位ノ通知ハ一ツ張込シテ貰ヘルヤウニシタラバドウデスカ、一寸事業報告ガ遅レテモ、不都合ト云フ手紙ガヤツテ來ル、是ハ官カラ民ニ對スル何カ知ラヌガ、通知ガ遅

○濶澤委員 只今ノ御話ノ通り是ハ其ノ當時ノ局長ニモ御話申上ゲテ、サウ云フ風ニナツタト思ツテ居リマスガ、獨立シタ會社ガ出來マシテモ、中々助成シテ呉レナイ、サウシテ實際ニヤツテ行キマス、良イ物ガ出テ居ルニモ拘ラズ、協力ヲシナイ、是ハ甚ダ私ハ遺憾ニ存ジマスカラ、ドウカ其ノ當局ノ御方ニ十分ニ御話ヲシテ戴イテ、日本製鐵會社ノ如キハ、唯製鐵會社ノ利益ノミデナク、日本全體ノ利益ノ上ニ活動ヲシテ貰ヒタイ、斯ウ云フコトヲ重ネテ御願ヲ致シマス

○濶澤委員 只今大臣ヨリノ御答辯デ御願ハ御趣旨ニ於キマシテハ如何ニモ御尤モト存ジテ居リマス、此ノ點ニ付キマシテハ政府ニ於キマシテモ何トカ之ヲ是正シテ、産金ノ目的ヲ達スルヤウニ致サナケレバナラナイト云フ積リヲ以チマシテ、大藏當局ト色色協議ヲ致シテ居ル譯デアリマスカラ、ドウゾ左様御承知ヲ願ヒマス

又サウ云フ相談ヲスルヤウナ場所ガアリマシテモ、私立ノ人デアルトカ、當ニナラナイト云フヤウナコトデスガ、實際此ノ法ヲ運用シテ、本當ニ鑛業ノ發達ヲ期スルニハ、唯地質調査デアルトカ、サウ云フコトデナク、直接鑛山ヲ發見シテ、ソレヲ如何ニシテ尙ホ探鑛スルカ、或ハ如何ニシテ之ヲ開發スルカト云フ實際ノ問題ニ對シテ相談スル場所ガナイノ非常ニ遺憾ト存ジテ居リマス、私ハ何カ斯ク云フヤウナ機關トシテ鑛業相談所、若クハ指導所ト云フヤウナ部ヲ鑛山監督局内ニ設ケラレルカ、或ハ適當ナ所ニ御置キニナツテ、サウシテ是等ノ人ノ顧問ニナリ、指導者ニナラレルヤウナ施設ヲシテ戴キタイト思フデアリマスガ、之ニ關シテ御考ハ如何デアリマスカ

○小金政府委員 鑛業相談所或ハ鑛業指導所ト云フヤウナモノヲ各鑛山監督局ニ設置シタナラバ、是ハ極メテ成績ヲ得ルコトト存ジマスガ、色々ナ都合デマダ實現スルニ至リマセヌ、併シナガラ鑛山監督局ニハ、ソレノ監督局長ノ責任ト申シマスガ、監督局長ノ取計ヒテ相談部トカ、或ハ指導部トカ云フ意味ノ働キヲスルヤウナ機關ト機關ト云フト一寸大袈裟デアリマスガ、サウ云フヤウナ係ノヤウナモノヲ設ケテ居ル所モアルヤウデゴザイマス、御説ノ通り直接鑛山ニ付テ實際問題ヲ指導シテ、其ノ鑛山開發上ノ問題ヲ解決シテ行クコトハ、是ハ仰セノ通り極メテ大切デアリマスノデ、其ノ役所ガ直接サウ云フ風ニヤツテ居ル施設ノ外ニ、色々御非難ヲ蒙ルノデアリマスガ、日本産金振興株式會社トカ、帝國鑛業開發株式會社トカ云フヤウナモノニ、其ノ會社ノ性質上當然サウ云フヤウナ働キヲ

爲サシメルヤウニ仕向ケツツアルノデアリマスガ、何レモマダ半世紀ツカ経タナイトカ、或ハ一年半カソコラデアリマスノデ、技術者モサウ云フ方面ノ仕事ニ十分慣レテ居リマセヌシ、技術者ノ數目體モサウ十分デナイノデ、サウ云フ民間ノ御要望ニ直チニ應ズル譯ニハ行キマセヌガ、吾々ノ氣持トシテハサウ云フヤウナ役割ヲ果サセタイト存ジマス

○加藤委員 ソレデハ已ムヲ得マセヌ
○櫻井委員 或ハ此ノ法案ノ終ルマデノ間ニ、外部へ發表出來ナイコトデ是非尋ネタイト思フコト、或ハ政府ノ方カラ秘密會デモ要求シテ其ノ場合御説明ヲ願フコトモアリ得ルカモ知レマセヌカラ、御含ミヲ願ヒタイト思ヒマス、明日ハ午後二時ヨリ開會致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス
午後四時二十二分散會

今鑛山監督局ノ經費ニ付テ御心配ガアリマシタガ、實ハ昭和八入リマシテモ鑛山監督局ノ經費程悲惨ノ運命ニ遭ツタモノハゴザイマセヌ、是ハ寧ロ何ノ爲ニ役所ヲ置クカト云フコト程ヒドイ削減ヲ年々受ケテ居リマス、鑛山監督局ノ爲ニ使ツタ金ハ、昭和四年ニ於キマシテハ僅ニ五十八萬一千圓、昭和七年ニハ四十九萬圓、是デ日本全國ノ鑛山ノ監督ナリ、指導ナリガ一體ドウシテ出來タカ、屢々御指摘ニナル通りニ出來テ居リマセヌ、地質調査ハ恩力、是デハ災害ガ起キテモ職員ガ出張スルノニ旅費ガ無カツタ、サウ云フ狀況ガ昭和七年デアリマス、ソレカラ多少ノ増額ハアリマシタガ、昭和十二年マデ位、即チ事變ノ發生マデハ殆ド目ボシイ經費ハナカツタデアリマス、隨テ優秀ナル技術者ヲ澤山保有シテ置クナドト云フコトハ、夢ニモ思ハレヌコトデ、如何ニシテ探鑛治金ノ技術ヲ整理スルカト云フコトガ、行政官廳ノ行政ノ眼目デアツタト云フヤウナ、悲惨ナ狀態ニ在ツタノデアリマス、ソレガ鑛山ノ開發ガ必要デアルカラト云ツテ、サウ云フ役所デアリナガラ、何ガ無イカニガ無イト云フ御小言ヲ非常ニ受ケテ居リマス、是ハ内輪話デアリマスガ、サウ云フ狀態デアツタカラ、吾々何モ今マデシナカツタト云フコトハ決シテ申シマセシナカツタト云フコトハ決シテ申シマセ

○加藤委員 一寸資料ノ請求ヲシテ置キタイト思ヒマス、第一ニハ過去二十年間ノ我國内地ノ銅生産高ト其ノ價額及ビ量、第二ハ今申シタモノノ輸出高、其ノ價額及ビ量デアリマス、第三ハ主要鑛山別産銅高ノ増減、是モ二十年間ノ分ヲ御願致シマス、ソレカラ同ジク銅ノ事變以來ノ需要量、ソレカラ大ハ其ノ不足ノ手當量、次ニ鑛業法所定ノ重要鑛物別ノ鑛産高、是ハ過去十年間デ宜シウゴザイマス、次ニ鐵、石炭、石油、其ノ他鑛業法所定ノ産業上、軍事上特ニ必要ナ鑛物ノ輸入高、是ハ製造品ヲモ含メタモノヲ御願シタイト思ヒマス
○小金政府委員 只今御指摘ニナリマシタ鋼其ノ他ノ鑛業法上ノ鑛物ノ統計ハ、遺憾ナガラ全部資料トシテ提出出來ナイコトニ相成ツテ居リマス、殊ニ軍用資源秘密保護法ト申シマスガ、ソレニ係ルモノガ相當アリマスノデ、是ハ一寸御諒承願ヒタイト思ヒマス
○加藤委員 ソレデハ輸入高デモ宜シイガ、ソレモイケマセヌカ
○小金政府委員 事變發生以來ノ輸入高ハ一寸私共ハ取計ヒ兼ネマス、御諒承願ヒマス

第七十五回帝國議會 院 鑛業法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第四回

付託議案 鑛業法中改正法律案(政府提出) 第六三號

(1110)

會 議 昭和十五年二月二十九日(木曜日)午後二時 十六分開議

出席委員左ノ如シ 委員長 櫻井兵五郎君 理事澤田 利吉君 理事松尾 三藏君 理事篠原 義政君 理事依光 好秋君 理事川俣 清吉君

山本 厚三君 手代木隆吉君 內藤 正剛君 森下 國雄君 長野 長廣君 山田 順策君 木暮武太夫君 鶴 惣市君 石井徳久次君 原口初太郎君 著本 太吉君 東條 貞君 森田 福市君 瀧澤 七郎君 小池 四郎君 長谷 長次君 坂本宗太郎君

出席政府委員左ノ如シ 企畫院總裁 竹内 可吉君 商工政務次官 加藤敏五郎君 商工省鑛産局長 小金 義照君 本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

鑛業法中改正法律案(政府提出) 砂鑛法中改正法律案(政府提出) ○櫻井委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、前會ニ引續キ質疑ヲ繼續致シマス ○澤田委員 資料ノ要求ヲ致シマス、一、日本製鐵株式會社開業以來實驗研究ヲ行ヒタル事項、費額及ビ其ノ成績、二、日本製鐵株式會社ニ於テ今後實驗研究セントスル事項、三、日本製鐵株式會社法第九條ニ基

キ政府ニ於テ同會社ニ命令シタル事項、四、日本製鐵株式會社法第十七條中同法第九條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ爲シタル命令ニ依リ生ジタル損害額及ビ其ノ事項、ソレダケヲ御願致シマス ○長谷委員 私人ハ外デモアリマセスガ、私ノ質問ノ際ニ於キマシテ、是非御立會ヲ願フテ御答辯ヲ願ハナケレバナラス所ノ他ノ官廳ノ役人ガ欲シイノデアリマス、ソレハ此ノ埋藏物ノ開發ニ對シマシテ、何時モ他官廳トノ間ニ權利ノ齟齬ガアリマシテ、其ノ爲ニ非常ニ支障ヲ來シテ居ル現在ノ實情ヲ、何トカシテ除キタイト云フ立場カラ質問ヲ致シタイト思ツテ居リマス、ソレデ私竝ニ外ノ委員各位カラモ質問ガアルカト考ヘテ居リマスカラ、以下申上ゲル所ノ各官廳ノ役人ヲ、出來ルコトナラベ同ジ日ニ同ジ席ヘ御出マシテ願フヤウニ御取計ヒテ願ヒタイト思ツテ居リマス、先ヅ内務省ノ土木局長、ソレカラ農林省ノ水産局長、ソレカラ帝室林野局長、ソレカラ國立公園ニ關スル所ノ厚生省ノ當該役人、ソレカラ農林省ノ國有林野ニ關スル當該役人、是ダケデアリマス、ドウソ御取計ヒテ願ヒタイト思ヒマス

○櫻井委員長 長谷君ニ申上ゲマス、政府委員ノ方ハ何時デモコチカラ御呼ビ致シマスガ、政府委員以外ノ方ハ何レ政府ト御打合セラ致シマス——石井徳久次君 ○石井委員 私人質問ヲ致シタイト考ヘマ

スガ、今回御提出ニナリマシタ改正案其ノ

モノニ直接關係ノナイコトデアリマスケレドモ、御許ヲ願ヒタイト思ヒマス、鑛業法全般ニ付キマシテ、内容ニ付テ四五ノ點ヲ質問致シタイト考ヘマス、鑛業法ノ第三十二條並ニ第三十九條ニ依リマスルト、三十三條ハ「公益ヲ害スルモノト認メタルトキハ鑛業ノ價值ナシト認メタルトキハ鑛業ノ出願ヲ許可セズ」是ハ出願ニ關スル問題デアリマス、三十九條ハ「鑛業公益ヲ害スルモノト認メタルトキハ主務大臣ハ鑛業權ヲ取消スヘシ」斯ウ云フコトニナツテ居リマス、更ニ第四十一條ニハ「鑛業權者第七十二條若ハ第七十四條ノ四第三項ノ命令ニ從ハサルトキハ主務大臣ハ鑛業權ヲ納メサルトキハ主務大臣ハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得」斯ウ

ナツテ居リマス、七十二條ハ「鑛業上危險ノ虞アリ又ハ公益ヲ害スルノ虞アリト認メタルトキハ主務大臣ハ鑛業權者ニ其ノ豫防又ハ鑛業ノ停止ヲ命スヘシ」斯ウナツテ居リマス、總テ公益ヲ害スルヤウナ行爲ガアル場合ニ於テハ出願モ許可シナイ、同時ニ又實際ニヤツテ居ツテモ鑛業權ヲ取消スコトガアルカモ知レズ、或ハ又公益ヲ害スルコトガアレバ豫防ノ設備ヲ命ズルコトガ出來ル、斯ウ云フ風ニ鑛業法ニ於テハ明カニ明示サレテ居リマスルガ、此ノ公益ト云フノハ一體ドウ云フモノヲ指シテ居ルノデアルカ、之ヲ此ノ際ニ應御答辯ヲ得テ置キタイト思ヒマス

○小金政府委員 鑛業法中ニ「公益」ト云フ文字ヲ以テ表示シテ居リマス場合ハ何ガ公益デアるか、其ノ内容ニ付テ明瞭ナ内容ヲ定メテ解釋ノ規定ヲ置イテ居リマセズ、ソコデ國家的施設トカ或ハ社會公衆ノ生活ヲ大體其ノ内容トシテ居ルモノト、斯ウ云フ風ニ解釋シテ法ヲ運用シテ居ルヤウデアリマス、此ノ鑛業法ノ中ニ於キマシテモ第十條トカ第十一條トカ云フヤウナモノガ公益的ナモノヲ指示シタ規定ノ一ツト云フ風ニ解釋サレテ居リマス、具體的ノ場合ニ鑛業ガ公益ヲ果シテ害シテ居ルカドウカト云フコトヲ認定スルコトニナツテ居リマス

○石井委員 此ノ公益ト云フモノノ解釋ニ依リマス、是非非常ニ色々ナ關係ヲ及ボシテ參ルノデアリマシテ、從來御承知ノ通りニ鑛業ニ關スル問題、國民ノ生活ニ關スル問題、或ハ他ノ産業ニ關スル問題、斯ウ云フ問題ノ間ニ種々ノ軋轢ガ生ジ、結局昨年ノ議會ニ於キマシテハ鑛業法ガ改正ヲチレテ、鑛業被害ニ關スル所ノ原則ガ決ツタノデアリマス、併シナガラ此ノ公益ト云フモノノ解釋次第ニ依リマスルト、色々又運用ノ上ニ於キマシテモ問題ヲ生ジマセウシ、又之ヲ以テ解決出來スコトガ多クアルト考ヘルノデアリマス、例ヘテ申上ゲマスルナラバ、成程十條或ハ十一條ト云フモノハ斯ウ云フコトガ書イデアリマスルガ、是ハ大體ニ於テ同ジ公益ニ致シマシテモ非常ニ範圍ノ廣イ公益ト云フヤウナコトニ見ラレルノデアリマスルガ、或ハ國民生活ニ直接ノ影響ガアル飲料水ノ缺乏、或ハ鑛業被害ト稱セラレテ居リマスル家屋ガ倒塌ヲスル

トカ、田面ノ陥没デアルトカ、斯ウ云フヤウナモノハ私共カラ申上ゲマスルナラバヤハリ公益ノ中ニ入ルモノダ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、可ナリ長イ間ノ鑛業法デアリマスルガ故ニ種々具體的ノ問題ヲ取扱ヒ、或ハ又具體的ノ問題ニ直ニセラレタコトガアルト考ヘルノデアリマス、是ハ新シク出来タ法律デアリマス、相當今日マデニ於テ公益ト云フモノハドウ云フモノデアリカ、其ノ點ニ對スル所ノ實際ノ取扱、實際ノ解釋、斯ウ云フモノハ商工省ニ於キマシテハ相當アル管デアリマス、モウ少シ具體的ニ御示ヲ願ヒタイト思ヒマス

○小金政府委員 國家公共團體等ノ施設デ國民施設或ハ國民生活ニ直接ノ關係アル事項トノ關係ニ於キマシテ如何ナル線ヲ引イテ之ヲ公益ト爲シ是以下ノ公益ヲ害サナイト爲シテ、公益ヲ害スルモノト害サナイモノヲ判然區別シテ申上ゲルコトハ只今申上ゲマシヤウニ不可能デアリマシテ、具體的ノ事實問題ニ付キマシテ認定スルヨリ外ナイデアリマス、例ヘバ國民生活ニ關係シテ居ルモノデアリマシテ、飲料水ガ鑛山ヲ開發スル爲ニ缺乏スルト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、是ハ或ル意味ニ於テ公益ト云フ見方モ出来ルデアリマス、又他人ノ家屋ニ影響ヲ及ボス或ハ又田畑ニ影響ヲ及ボスト云フヤウナ場合モ公益ト云フヘナイコトハナイカト存ジマスガ、是ハ寧ろ他人ノ財産、或ハ生活ノ資料ト直接關係アル問題ト云フニ解シテ居リマス、唯都會生活ト申シマスガ、多數ノ國民ノ生活シテ居ル水道ノ水源地ヲ斷ツ場合ガアル、或ハ非常ニ深山人家ノ密集シテ居ル所デ、而モ其ノ方面ノ土地ノ陥落等ガ起ツタ場合

ニハ非常ニ深山ノ方々ノ共通ノ利益ヲ害スルト云フヤウナ處ノアル場合ニハ、公益ヲ害スルト云フ風ニ、大體今マデ取扱ツテ居リマス

○石井委員 公益ト云フ問題ニ付キマシテハ幾ラ論ジテモ切リガナイト思ヒマスガ、第七十三條ニ「鑛業上危險ノ虞アリ又ハ公益ヲ害スルノ虞アリト認めタルトキハ主務大臣ハ鑛業權者ニ其ノ豫防又ハ鑛業ノ停止ヲ命スルヘシ」所謂豫防ノ命令デアリマス、之ニ對シマシテハ從來實際上ノ問題トシテ私ハ豫防ノ命令ヲ出サレタコトハ比較的少イト考ヘテ居リマスガ、實際ノ取扱ハドウ云フ風ニナツテ居リマシタカ、御伺シタイト思ヒマス

○小金政府委員 鑛業ガ鑛業上危險ヲ發生スル虞アル場合ニ付キマシテ特ニ第七十二條ノ危險豫防ノ命令ヲ出シタコトハ比較的稀ダト思ヒマス、概ニ採掘ノ場合ニ於キマシテハ鑛業案ヲ出シマスノデ、其ノ施設案ノ變更ヲ命スルトカ、或ハ其ノ施設案ノ作リ方ニ付テ適當ニ指導スルト云フヤウナ方面カラ實際上豫防措置ヲシテ目的ヲ達シツツアリマス、大部分ハ鑛業案ノ方デ取締ヲ致シテ居リマス、併シナガラ第七十二條ノ規定ノ適用ヲ全然除外ニ置イテ居ルト云フコトハゴザイマセ

○石井委員 第七十二條ノ前段ハ所謂鑛業其ノモノガ直接危險ノ虞ガアル、斯ウ云フヤウナ場合ノコトヲ豫想シタコトト考ヘマシマス、其ノ次ノ公益ヲ害スルト云フノハ直接ニ鑛業其ノモノデハナクシテ公益ニ關スル問題ト考ヘマス、其ノ公益ヲ害スル虞ガアル、斯ウ云フヤウナ時ニ對スル豫防ノ命令ト云フヤウナコトヲ御發シニナツタコトガ

アルカドウカ、此ノ點モ一ツ御示シ願ヒタイト思ヒマス

○小金政府委員 鑛業ガ公益ヲ害スル虞アリト認めテ其ノ豫防命令ヲ出シタ例ハ、現在マデノ所極メテ稀デアルト思ヒマス、只今申上ゲマシヤウニ、概ニ施設案ニ依リマシテ其ノ豫防措置ヲ豫メ講ジサセルト云フ取扱ヲ爲シテ居リマス、實例トシテハ鑛業法改正トカ何トカ云フ問題モ比較的少ナカツタノデアリマス、斯様ニ實ハ考ヘルデアリマス

ソコデ尙ホ進ンデ御尋申上ゲタイト考ヘマスガ、御承知ノ通り昨年鑛業法改正ニナリマシテ、色々ノ鑛業賠償ニ關スル問題ガ決ツタノデアリマスガ、其ノ中ノ第七十四條ノ二デアリマス「鑛物採掘ノ爲ノ土地ノ掘鑿、坑水廢水ノ放流、捨石鑛滓ノ堆積又ハ坑水、廢水ノ意義デアリマスガ、此ノ坑水廢水ノ中ニハ、例ノ洗炭ニ依リマシタ所ノ水質モ入ツテ居ルカドウカ、之ヲ一ツ聽イテ見タイト思ヒマス

○小金政府委員 廢水ノ中ニハサウ云フモノモ包含サレテ居ルト考ヘマス

○石井委員 入ツテ居ルト思ヒマスデハドウモ甚ダ不明瞭ニ思ヒマス、入ツテ居ルナラ入ツテ居ルトハウキリ仰シヤツテ載キタイト思ヒマス

○小金政府委員 入ツテ居ルト解シマス、最近石炭ノ不足カラ、所謂石炭ノ量ノ何デモ宜イト申上ゲテハ失禮デアリマスケレドモ、サウ云フヤウナ意味カラ、例ノ洗炭ト云フモノガ非常ニ出来テ來タノデアリマス、是ハ御承知ニナツテ居ルコトト思ヒマス、詰リ古イ時代ニ採掘シテ棄テテアツタ、吾々ノ地方デボト山ヲ更ニ崩シテ、サウシテ極メテ品位ノ低イ、カローリ分ノ少イモノデアリマスケレドモ、ソレヲ採ツテ、サウシテソレヲ販賣ニ供シテ居ルノデアリマス、其ノ洗炭ヨリ生ジテ居リマスモノガ公益ヲ害シテ居ル、斯ウ云フコトニ付テハ當局ハ御認識ニナツテ居ルト考ヘルノデアリマスガ、是ハ私共承ル所ニ依リマス、鑛業法ノ取締ノ中ニハ入ラス、何ニ依ツテ取締ツテ宜イノカ分ラヌト云フヤウナコトヲ承ツテ居ルノデアリマスガ、併シ此ノ洗炭カラ起ツテ來ル被害、所謂公益ヲ害スルト云フコトハ非常ニモノガアルノデアリマス、極メテ簡單ナ設備ニ依ツテ洗炭ヲ洗ツテ居ルノデアリマス、隨テ其ノ洗ヒ落サレマス所ノ土砂ハ、是非非常ニ多イノデアリマス、其ノ土砂ガ川ノ中ニズツ流レ込ンデシマフノデアリマス、ソレガ爲ニ附近ノ田地ハ今マデ非常ニ乾イテ居ツタ、所謂乾田デアツタノガ水田ニナツタ、サウ云フ例ガ澤山アルノデアリマス、ソレ等ニ對シマシテ如何ニ抗議ヲ申込シテモ、取締ル途モナクデドウスルコトモ出来ヌ、斯ウ云フ状態デアリマス、一體此ノ洗炭ハ何ニ依ツテ取締ルノデアリカト云フコトヲ一應伺ツテ置キ

タイト考ヘマス

○小金政府委員 洗炭設備ノ取締ハ鑛山監督局デ之ヲ實行スルコトニナツテ居リマス、其ノ炭ヲ洗ツタ所謂汚レタ水ヲ放流スル場合ニ於キマシテハ、洗炭設備ノ附屬設備トシテ、洗ツタ水ヲ清澄ナラシメテ放流スルト云フ風ヲ建前ニナツテ居ルノデアリマス、唯實際問題トシテハ非常ニ出炭ヲ急イデ居ルヤウナ際ニ、十分清澄ナラシメルダケノ餘裕ナクシテ放流サレテ居ルモノガアラウカト存ジマスガ、其ノ場合ニ於キマシテ、實害ガ生ジタナラバ、第七十四條ノ二ニ該當スルモノト思ヒマス

○石井委員 實際現地ヲ御承知ニナツテ居ルカドウカ存ジマセマスガ、大キイ炭坑デアルトカ、大キイ設備ヲシテ居ル所ノ所謂可ナリ大キイ鑛業者デアルトカ、或ハ相當ナ設備ヲヤツテ居ル鑛業者デアラナラバ、ソレハ相當ニ徹底シテ施設モヤツテ居ルカト存ジマスケレドモ、最近ニ於テ、此ノボト山ノ崩シテ、サウシテソレヲ洗ツテ居ルト云フヤウナ連中ハ、ソレハマアサウ申シテハ甚ダ失禮デアリマスケレドモ、極メテ資力ノ薄弱ナ、其ノ日限リノ仕事ヲヤツテ居ルノデアリマス、隨テサウシテ清澄設備ガドウト云フヤウナ問題デハ決シテナイノデアリマス、所謂黒イ滓ノ滴ルヤウナ炭坑デアリマス、皆土デアリ、砂デアリ、サウ云フモノヲ洗ツタ水ヲドウノ川ノ中ニ棄テテシマフノデアリマス、其ノ甚シイ實例ヲ申上ゲマス、折角昨年マデ掛ツテ排水設備ヲヤリ、工事ノ復舊シテ陥落シタ地方デアリマスガ、其ノ地方ニ行ツテ調べ見マス、其ノ上ノ方カラ流レテ來ル溝ノ水ヲ取ツテ炭ヲ洗ツテ其ノ水ヲ流

シテ居ル、其ノ爲ニ其ノ溝ガ其ノ洗ハレタ泥ヤ砂ノ爲ニヌツカリ埋ツテシマヒ、殆ド道路ト同ジヤウニナツテ居ル、幾ラ喧シク言ウテモ、私共ノ承ル所ニ依リマス、鑛業法ノ取締ノ範圍以外ノモノダト云フヤウナコトデ鑛山監督局アタリデモ取締法ガナイ、結局何トモ仕様ガナク、内務省ノ方ノ取締ニ依リヨリ外ナイト云フヤウナコトヲ承ツテ居ルノデアリマスガ、ソレデハ甚ダ徹底シナイ、ドウシテモ鑛業警察ト云フヤウナ方デ十分ナ取締ヲヤルノデナケレバ、此ノ害ヲ除クコトハ出来ナイダラウト思ヒマス、今ノアナクノ御話ハ、炭坑トシテノ設備ヲシテ洗炭ノ問題デアルト考ヘマス、私ノ申上ゲルノハサウデハナイノデ、ボト山崩シノ洗炭ノコトデアリマス

○小金政府委員 ボト山自體ガ崩レテ他人ニ損害ヲ及ボシタト云フ時ニハ、是ハ鑛業法第七十四條ノ二ニ該當スルモノデアリマス、ボト山ノボトノ棄テ方ニ付キマシテハ、是ハ鑛山監督局モ相當嚴重ニ取締ツテ居ルヤウデアリマスガ、只今石井君サウシテ指摘ニナリマシタ其ノ棄テ方ボトノ山ヲ崩シテ、他人ニ迷惑ヲ及ボシタト云フヤウナコトハ、ドウモ直接鑛業カラ來ルコトノミトハ斷定出来ナイデハナイカト思ヒマス、此ノ間ノコトニ付キマシテハ、事實上御迷惑ガ掛ツテ居ルト云フコトハ甚ダ遺憾デアリマスガ、私共ノ方デモ、果シテボト山ノ崩シテ、之ニ依ツテ何等カノ商賣スルト云フヤウナモノガ果シテ鑛業ニ入ルモノカドウカ、ソコ等ノ點ヲ一ツ研究致シマス、鑛業ニ入ルヤウデアレバ、或ハ又ボト山ガアルカラコソ、サウ云フコトガ起ルノデアルト云フヤウナ點デ、ボト山ノ處置マデ考

ヘナケレバナラスカト存ジマスガ、サウ云フヤウナ點カラモ研究致シマス、唯此ノボト山ガ果シテ廢鑛又ハ鑛滓ト云フ風ナモノニナリノ所謂廢鑛又ハ鑛滓ト云フ風ナモノニナルノカ、ソコノ點モ具體的ノ場合ニ付テ少シ研究サセテ載キタイト思ヒマス

○石井委員 能ク實情ガ御分リニナツテ居ナイヤウデアリマス、是以上申上ゲマシテモドウカト考ヘマスガ、是非至急ニ調査シテ載キマシテ、此ノ委員會ノ終了セヌ中ニ一ツ何分ノ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、今申上ゲルヤウニ、承ツテ居ル所ニ依リマスト、鑛業法デハ取締ガ出来ヌノダ、斯ウ承ツテ居リマスガ、是非至急ニ鑛業地方ニ行キマス、最近ニ於キマシテハ殆ド何處ニ行ツテモ妙ナ設備ヲシテヤツテ居ルノデアリマス、殆ド十數年來棄テテアツタヤウナ家ノ下ノ石垣ニ數イテアルヤウナモノマデ崩シテ、最近デハソレヲ割ツテ石炭トシテ賣ツテ居ル、斯ウ云フヤウナ状態ニナツテ居ル事情デアリマス、ソレガ今申上ゲルヤウニ耕地ニ對スル非常ニ被害ヲ及ボシテ居ルノデアリマス、或ハ河川ニ對スル被害ヲ及ボシテ居ルノデアリマス、實ハ縣廳アタリデモ困ツテ居ルノデアリマス、ドウゾ一ツ事情ガ分ラズニ居ルナラバ至急御取調下サイマシテ、本委員會ノ終了スルマデニ其ノ方針ヲ御示シ願ヒタイト思ヒマス、是ダケ私希望ヲ申上ゲテ置キマス

○川俣委員 關聯質問ヲ致シマス、今石井君サウシテ廢鑛ノ處理ニ關スル御質問ガアツタノデマスガ、私共ハ斯ウ解釋シテ居リマス、此ノ解釋ニ付テ誤リガアレバ御訂正ヲ願ヒマス、廢鑛ハ御承知ノヤウニ製鍊シタモノデアリナイ、鑛滓ハ製鍊カスデアアル、斯ウ云

フヤウニ解釋シテ居リマス、尙ホ鑛滓及ビ廢鑛ニ付テハ、土地ノ所有權者ニ屬スルモノカ、或ハ採掘鑛業權者ニ屬スルモノカト云フコトハ、鑛業關係ニ於テハ大分議論ガアルヤウデアリマスケレドモ、鑛区内ニ於ケル鑛滓及ビ廢鑛内ニ於ケル廢鑛ハ實質サレテ居ルヤウニ承ツテ居リマス、隨テ是ハ鑛業者ニ於テ責任ヲ負フベキモノト考ヘルノデアリマシテ、假令實質サレマシタモノデモ、鑛業權者ハ其ノ責任ヲ負フベキモノト解釋シテ居リマスケレドモ、之ニ對スル見解ヲ異ニシテ居ラレルカドウカ、伺ヒタイト思ヒマス

○小金政府委員 鑛区内ニアル廢鑛又ハ鑛滓ニ付キマシテハ、是ハ大體鑛業權者ノ責任ニ任セ得ルノダト解釋シマスガ、鑛区外ニアル廢鑛又ハ鑛滓ニ付キマシテハ、必ずシモソレト同様ニ取扱フカドウカ今ハウキリシタコトハ申上ゲラレナイト思ヒマス

○川俣委員 サウシマシレバ實際デハ恐ラク其ノボト山ト云フモノハ實質サレタモノデアルト考ヘマス、隨テ是ハ鑛滓、廢鑛ノ處理ニ關スル事情ト思ハレルノデアリマス、ハナリ鑛業權者ガ責任ヲ負フベキモノト考ヘマスガ、之ニ付テ御同致シマス

○小金政府委員 其ノ點ハ後程研究致シマシテ御答致シマス

○石井委員 其ノ問題ハ其ノ程度ニ致シマシテ、豫防設備ニ關スル問題ニ付キマシテ、モウ少シ御尋申上ゲタイト思ヒマス、實ハ私昨年鑛業法ノ改正ニナリマス際ニサウシテ希望ヲ持ツテ居リマシタケレドモ、昨年私病氣ノ爲ニ出席出来ヌ、残念ニ考ヘテ居リマスガ、頻々トシテ起ツテ參リマスアノ鑛業ノ被害ト、云フモノニ對シマシテ、事

後ノ處理ニ對シテハ立派ナ法律ガ出來
マシテ、是ハ救済サレルヤウデアリマスガ、
斯ウ云フヤウニ事後ニ起リマシタ問題ヲ救
済スルト云フコトハ、極メテ私ハ消極的ナ
コトデアリマス、起ラスヤウニサセテ方宜
イデハナイカ、寧ロ此ノ方第一義デアリカ
ツタカト考ヘルノデアリマス、此ノ法文ニ
示サレテ居ル豫防ノ命令ガ十分ニ行カス
デアラナラバ、被害ノ起ラスヤウニスル方
ガ本當ノ行キ方デアリマス、斯様ニ考ヘル
ノデアリマス、人ガ死ンデカラ悔ンデモ仕
方ガナイノデアリマス、死ナス前ニ健康ニ留
意スルト云フコトガ本當デアリカト思ヒ
マス、サウ云フ意味カラ考ヘテ見マシテ、
アア云フ陥落トカ何トカ云フヤウナコトヲ
起キヌヤウニ、相當ノ設備ヲサセ、豫防ヲ
サセル、斯ウ云フ風ニ進ンデ行カレルコト
ガ本當ノ指導ノ仕方デアリカ、斯様ニ考
ヘルノデアリマスガ、之ニ對スル御見解ハ
如何デアリマスカ

○小金政府委員 御説ノ通りデアリマシテ、
鑛業ノ爲ニ被害ヲ發生スルヤウナコトガナ
イヤウニ、豫メ豫防設備其ノ他ノ手段ヲ講
ゼシムルノガ本筋——デアリマス、其ノ爲
ニ鑛業警察規則ヲ成ベテ嚴格ニ厲行致シマ
シテ、被害發生ノ機會ヲ極力少カラシメン
ト致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ鑛
業ハ何分ニ地下作業デゴザイマスルノト、
現代ノ科學ヲ動員シテモ完全ニ鑛業カラ發
生スル所ノ被害ヲ防止スルコトガ出來ナイ
現狀デアリマス、ソレトモウツ、極端ナ
安全率ヲ採リマス、結局地下ニ埋藏サレ
テ居リマスル鑛物ヲ十分活用サセル譯ニ行
カナイト云フヤウナ、謂ハバ「デレンマ」ニ

陷ルヤウナコトモゴザイマス、即チ鑛業開
發上遺利ガ非常ニ大キタルト云フヤウナ
點モアリマス、希冀トシテハ、或ハ理
想トシテハ被害ナカラシメンコトヲ期シテ
居ルノデアリマスガ、ドウモ今日ノ科學知
識デハ如何トモシ難イ點モ、正直ニ申上ゲ
マス、トゴザイマス、ソレ等ノ點ヲ考慮シテ、
先ヅ人智ノ及ブ限リ豫防設備等ヲ致シマシ
テモ、尙且ツ災害ガ起ツタ場合ニ於キマシ
テハ、普通ノ我國ノ法律常識カラ言フ過失
責任制度カラ一步ヲ出マシテ、所謂無過失
損害賠償責任、所謂結果責任ト言ハレル法
制ヲ立テマシテ、現實ニ起ツタ問題ヲ解決
シテ行クト云フコトヨリ外ナイト存ジテ居
ルノデアリマス、併シナガラ損害賠償ノ制
度ガアルカラ、豫防ナリ、鑛業警察規則ノ
取締ナリヲ疎カニシテ宜シト云フノデハ
ナイノデアリマス、益、此ノ方面ヲ強化シ
タイト云フ意味ニ於キマシテ、鑛山監督局
ノ機構ヲ出來ルダケ整備シツツアルノデア
リマス

○石井委員 石炭掘採ノ爲ノ土地ノ掘鑿ニ因リテ生スヘ
キ損害ノ賠償ヲ擔保スル爲其ノ掘採シタル
石炭ノ數量ニ應ジ毎年一定額ノ金銭ヲ供託
スヘシト云フコトニナツテ居リマシテ、此
ノ供託金ハ要スルニ損害ノ賠償ヲ擔保スル
目的ヲ達スル程度ノ金額ニナル、斯ウ云フ
風ニ解釋シテ居リマス、今御尋ノドノ位ノ
金額ニナツテドウ云フ風ニナルカト云フコ
トハ、主管局デアリマス燃料局ノ方ニ答辯
ヲ願フコトニ致シマス

○石井委員 實ハ關聯シテ一緒ニ聽キタイ
ト考ヘルノデアリマス、モウ一度御要求ヲ
願フテ置キタイト思ヒマス

○櫻井委員 今モ要求ヲ致シマシタ、併
シ時間ガ一寸マダ分リ難キマスカラ、出來
ルナラバ留保セラレマシテ、次ニ見エタ時
ニ又發言ヲ願ヒマス

○石井委員 ソレデハ別ノコトヲモウ少シ
承ツテ見タイト思ヒマス、昨年ノ法律ノ改
正ニ依リマシテ、積立金制度ト云フモノガ
出來タノデアリマス、是ノ施行令ヲ見テミ
マス、一應當リ五十錢以内ヲ蓄積スル、
斯ウ云フコトニナツテ居ルヤウデアリマス
ガ、大體此ノ積立金制度ト云フヤウナ問題
ニ付キマシテハ、相當意見ガアツタノデア
リマス、私共ハ寧ロ積立金ト云フコトヨリ
ハ、保險制度ノヤウナ意味ヲ以テ進ンダ方
ガ宜イト云フヤウナ見解ヲ持ツテ居リマシ
タガ、結局此ノ積立金ト云フヤウナ制度ニ
ナツタノデアリマスガ、一應五十錢以内
ト云フモノヲ積ンデ參リマシテ大體ドウ云
フコトニナルカ、所謂積立金ノ計畫ト申シ
マセウカ、一應五十錢ノ金ヲ積ンデ行ツテ
一體ドウ云フコトニナルカ、斯ウ云フ實際
ノ五十錢ヲ計算サレマス場合、五十錢ト
云フモノノ基礎トシテ定メラレマシタ場合
ノ御計畫等ガアリマスナラバ承ツテ見タイ
ト思ヒマス、一年ニ一體ノ位ノ積立金ガ
出來ル、サウスルト何年スレバドノ位ニナ
ル、此ノ位ノ被害ガアツテモ大丈夫ト云
フヤウナ、大體ノ目安ガアルダラウト思ヒ
マス、ソレヲ一ツ承ツテ置キタイト思ヒマ
ス

○石井委員 序ニ稅ノ問題ヲ御尋申上ゲマ
スガ、御承知ノ通り今回ハ鑛産稅ト云フモ
ノノ廢セラレタノデアリマス、ソレカラ鑛
業ニ對シマス營業稅ト云フモノハ、今マデ
免除サレテ居ツタノガ營業稅ガ課カルヤウ
ニナツタノデアリマス、隨ツテ此ノ鑛業法
ニ規定サレテ居リマスソレ等ニ對スル所ノ
規定、八十二條八十八條ト云フヤウナモノ
ハ、當然是ハ廢止ニナルモノデアリカト
思ヒマスガ、今度ノ改正案ニハ出テ居ナイ
ヤウデアリマスガ、コレデ差支ナイノデア
リマスカ

○石井委員 序ニ稅ノ問題ヲ御尋申上ゲマ
スガ、御承知ノ通り今回ハ鑛産稅ト云フモ
ノノ廢セラレタノデアリマス、ソレカラ鑛
業ニ對シマス營業稅ト云フモノハ、今マデ
免除サレテ居ツタノガ營業稅ガ課カルヤウ
ニナツタノデアリマス、隨ツテ此ノ鑛業法
ニ規定サレテ居リマスソレ等ニ對スル所ノ
規定、八十二條八十八條ト云フヤウナモノ
ハ、當然是ハ廢止ニナルモノデアリカト
思ヒマスガ、今度ノ改正案ニハ出テ居ナイ
ヤウデアリマスガ、コレデ差支ナイノデア
リマスカ

○石井委員 實ハ關聯シテ一緒ニ聽キタイ
ト考ヘルノデアリマス、モウ一度御要求ヲ
願フテ置キタイト思ヒマス

○櫻井委員 今モ要求ヲ致シマシタ、併
シ時間ガ一寸マダ分リ難キマスカラ、出來
ルナラバ留保セラレマシテ、次ニ見エタ時
ニ又發言ヲ願ヒマス

○石井委員 ソレデハ別ノコトヲモウ少シ
承ツテ見タイト思ヒマス、昨年ノ法律ノ改
正ニ依リマシテ、積立金制度ト云フモノガ
出來タノデアリマス、是ノ施行令ヲ見テミ
マス、一應當リ五十錢以内ヲ蓄積スル、
斯ウ云フコトニナツテ居ルヤウデアリマス
ガ、大體此ノ積立金制度ト云フヤウナ問題
ニ付キマシテハ、相當意見ガアツタノデア
リマス、私共ハ寧ロ積立金ト云フコトヨリ
ハ、保險制度ノヤウナ意味ヲ以テ進ンダ方
ガ宜イト云フヤウナ見解ヲ持ツテ居リマシ
タガ、結局此ノ積立金ト云フヤウナ制度ニ
ナツタノデアリマスガ、一應五十錢以内
ト云フモノヲ積ンデ參リマシテ大體ドウ云
フコトニナルカ、所謂積立金ノ計畫ト申シ
マセウカ、一應五十錢ノ金ヲ積ンデ行ツテ
一體ドウ云フコトニナルカ、斯ウ云フ實際
ノ五十錢ヲ計算サレマス場合、五十錢ト
云フモノノ基礎トシテ定メラレマシタ場合
ノ御計畫等ガアリマスナラバ承ツテ見タイ
ト思ヒマス、一年ニ一體ノ位ノ積立金ガ
出來ル、サウスルト何年スレバドノ位ニナ
ル、此ノ位ノ被害ガアツテモ大丈夫ト云
フヤウナ、大體ノ目安ガアルダラウト思ヒ
マス、ソレヲ一ツ承ツテ置キタイト思ヒマ
ス

○石井委員 序ニ稅ノ問題ヲ御尋申上ゲマ
スガ、御承知ノ通り今回ハ鑛産稅ト云フモ
ノノ廢セラレタノデアリマス、ソレカラ鑛
業ニ對シマス營業稅ト云フモノハ、今マデ
免除サレテ居ツタノガ營業稅ガ課カルヤウ
ニナツタノデアリマス、隨ツテ此ノ鑛業法
ニ規定サレテ居リマスソレ等ニ對スル所ノ
規定、八十二條八十八條ト云フヤウナモノ
ハ、當然是ハ廢止ニナルモノデアリカト
思ヒマスガ、今度ノ改正案ニハ出テ居ナイ
ヤウデアリマスガ、コレデ差支ナイノデア
リマスカ

○石井委員 序ニ稅ノ問題ヲ御尋申上ゲマ
スガ、御承知ノ通り今回ハ鑛産稅ト云フモ
ノノ廢セラレタノデアリマス、ソレカラ鑛
業ニ對シマス營業稅ト云フモノハ、今マデ
免除サレテ居ツタノガ營業稅ガ課カルヤウ
ニナツタノデアリマス、隨ツテ此ノ鑛業法
ニ規定サレテ居リマスソレ等ニ對スル所ノ
規定、八十二條八十八條ト云フヤウナモノ
ハ、當然是ハ廢止ニナルモノデアリカト
思ヒマスガ、今度ノ改正案ニハ出テ居ナイ
ヤウデアリマスガ、コレデ差支ナイノデア
リマスカ

○依光委員 局長ノ今ノ御説明ヲ承ツテ意ヲ強ウシテデアリマスルガ、尙ホ一ツ、是ハ興發會社ニ大キナ金ヲ國家ハ負擔シテ出シテ居ルノデアリマスガ、ソレハ私共ガチヨイノ斯ウ云ツタ半官半民ノ會社ニ參リマシテ、色々事情ヲ聽キマシタリ、又御頼ミシテ見テモ、中々商工省ノ御考ヘニナツテ居ルヤウニハ手取早タイイカナイノデアリマス、殆ド何ト申シマスカ銀行ノヤウナ

組織ニナツテ、中々官僚化シタト申シマスト語弊ガアルカモ知レマセマスガ、民間會社ト思ヘナイヤウナ點ガアリマシテ、私共其ノ點ハ非常ニ不滿ニ思ツテ居ルノデゴザイマスガ、何ト申シマシテモ國家ガ是カラ進ンデ鑛業ヲ開發スルトスレバ、特別ナ技術者ヲ養成サレテ、サウシテ、其ノ豫算ヲ政府ハ澤山取ツテ宜シイ、又吾々モ喜ンデ之ヲ協賛シテ宜シイ、サウシテ現ニ角民間ノ需メニ應ジテ直ニ調査ヲシ、責任アル調査報告ヲ作ラセ、此ノ山ガ有望デアルト認めタナラバ、資金ヲ出ス者ハ斯ウ云フ熱ニ動かサレテ澤山アルノデアリマスカラ、現ニ角サウ云ツタ方面ヲ政府自體ガ作ラレルト云フコトガ、最モ今日ハ好イ機會デアルト斯ウ思フノデアリマス

○依光委員 鑛山會社デス
○竹内政府委員 鑛山會社ノ方ハ設立勿クデアリマシテ、マダ配當ハ致シテ居リマセヌノデアリマス、今ノ一割ノ問題デスト、是ハ滿洲重工業會社、所謂滿業ノコトカト存ジマスガ……

○依光委員 局長ノ今ノ御説明ヲ承ツテ意ヲ強ウシテデアリマスルガ、尙ホ一ツ、是ハ興發會社ニ大キナ金ヲ國家ハ負擔シテ出シテ居ルノデアリマスガ、ソレハ私共ガチヨイノ斯ウ云ツタ半官半民ノ會社ニ參リマシテ、色々事情ヲ聽キマシタリ、又御頼ミシテ見テモ、中々商工省ノ御考ヘニナツテ居ルヤウニハ手取早タイイカナイノデアリマス、殆ド何ト申シマスカ銀行ノヤウナ

スガ、ココ三年バカリ鑛山監督局ノ機構擴充ニ付キマシテ、相當數ノ技術者其ノ他ノ職員ヲ配置シテ參ツテ居リマス、ソレカラ尙ホ必要ガアリマスレバ、此ノ法律施行ノ準備或ハ施行シテカラモマダ四年間ゴザイマスガ、此ノ施行準備ニ際シテ必要ト認めラレ、且ツ技術者ガ出來ルト云フ見込ガアリマスレバ、其ノ經費ハ是非御願シタイト存ジマス、只今ノ所デハ今度ノ金ノ方面ノ豫算ニ於テ相當ノ經費ノ増額及ビ職員ノ増加ヲ御願シテ居リマス、是ハ金バカリヲ目的トスルノデハナクテ金ヲ主ニシテヤリマスガ、金銀銅鐵ト云フモノモアリマスシ、又金ヲ目的トスル鑛區デアリナガラ他ノ鑛物ノアルコトモ澤山アリマスシ、要スルニ鑛山監督局或ハ商工省ノ其ノ方面ノ職員ヲ増シマシテ、出來ルダケ其ノ方面カラ鑛業權者ノ便宜ヲ圖ツテ鑛山ノ開發ニ資スル、斯ウ云フ考デアリマス、尙ホ日本産金振興株式會社ト帝國鑛業開發株式會社ト設立ノ使命ニ鑑ミマシテ、此ノ方面ノ人的要素ノ充實ヲ圖ツテ、只今依光サンガ仰セノヤウナ場合ニ十分身輕ニ相談ニ應ジ、又其ノ調査ニ伺ヘルト云フ風ニ指導致シタイト只今考ヘテ居リマス、尙ホ其ノ實行ニ著々今當リツツアリマス

○依光委員 局長ノ今ノ御説明ヲ承ツテ意ヲ強ウシテデアリマスルガ、尙ホ一ツ、是ハ興發會社ニ大キナ金ヲ國家ハ負擔シテ出シテ居ルノデアリマスガ、ソレハ私共ガチヨイノ斯ウ云ツタ半官半民ノ會社ニ參リマシテ、色々事情ヲ聽キマシタリ、又御頼ミシテ見テモ、中々商工省ノ御考ヘニナツテ居ルヤウニハ手取早タイイカナイノデアリマス、殆ド何ト申シマスカ銀行ノヤウナ

○依光委員 鑛山會社デス
○竹内政府委員 鑛山會社ノ方ハ設立勿クデアリマシテ、マダ配當ハ致シテ居リマセヌノデアリマス、今ノ一割ノ問題デスト、是ハ滿洲重工業會社、所謂滿業ノコトカト存ジマスガ……

○依光委員 局長ノ今ノ御説明ヲ承ツテ意ヲ強ウシテデアリマスルガ、尙ホ一ツ、是ハ興發會社ニ大キナ金ヲ國家ハ負擔シテ出シテ居ルノデアリマスガ、ソレハ私共ガチヨイノ斯ウ云ツタ半官半民ノ會社ニ參リマシテ、色々事情ヲ聽キマシタリ、又御頼ミシテ見テモ、中々商工省ノ御考ヘニナツテ居ルヤウニハ手取早タイイカナイノデアリマス、殆ド何ト申シマスカ銀行ノヤウナ

付テ、滿洲國內ニ此ノ會社が投下シタ資本ニ對シテ利益ガ惡イ場合ニハ、滿洲國政府カヲ補助金ヲ出ス、大體投下資本ニ對スル六分ニ當ル金額ヲ補助金トシテ出ス、但シ是ハ其ノ後利益ガ多イ場合ニハ廢スルト云フ建前ニナツテ居リマス、大體斯ウ云フコトニナツテ居リマス、少シ餘額ニナリマスガ今ノ滿洲國會社ガ非常ニ成績ヲ擧ゲマシテ、立派ナ配當ガ出來ルヤウニナレバ、滿洲國トシテハ其ノ補助金ハ要ラスコトニナルト斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○依光委員 只今御話ヲ承ツテ居リマス、大體ノ豫定デアツテ、マダ現在ハ配當モ何モナクコトデアリマスガ、一體重工業ノ子會社ハ幾ツアルノデゴザイマスカ

○竹內政府委員 滿洲重工業會社ハ御承知ノ如ク滿洲ニ於ケル重工業ノ綜合的開發ヲ云フ使命ヲ以テ設立サレタモノデアリマス、自ラ仕事ヲ直營セズ、大體特殊會社トシテ滿洲國ノ重工業開發ヲヤルト云フ建前ニナツテ居リマス、現在子會社トシテ一番大キイノハ御承知ノヤウニ昭々要綱所、ソレカラ滿洲炭礦會社、此ノ二ツガ最も重要ナ子會社デアリマス、其ノ他ニモ今問題ノゴザイマシタ滿洲鑛山會社デアリマス、其ノ他數ニ致シマシテ十近クノ子會社ガ既ニ出來テ居ル、一番大キイモノハ鐵ヲヤツテ居リマス、昭々要綱所ト滿洲炭礦會社、ソレカラ申シ運レマシタガ、先般本溪湖ノ煤鐵公司ト云フ製鐵會社モ、ヤハリ此ノ滿洲ノ投資會社ニナツテ居リマス

○依光委員 サウ致シマス、此ノ子會社ニモ配當保證ガ付テ居リマス

ノ供給ニ對シマシテハ、御承知ノ如ク學校卒業生ハ就職ノ制限ヲ受ケル一制限ト云フカ所謂就職先ノ配當ヲ行ツテ居リマス、要スルニ日本全體或ハ日滿支全體ヲ通ジテ、技術者ノ不足ト云フ關係ガアルノデスガ、私共トシテハ日本ニ對シテ出來ル限り多數ノ技術者、是モ既成ノ技術者ハ現在ノ情勢ニ於キマシテハ、内地カラ得ルコト云フコトハ中々困難デアリマス、學校ノ新卒業生ヲ出來ルダケ多數割愛シテ貰ヒタイト云フ希望ヲ從來カラ持ツテ居リマス、是ハ既ニ昨年學校卒業生ノ配當制度ガ行ハレテカ外、ソレカラ滿洲支那、斯ウ云フ風ニ其ノ年ノ卒業生全體ノ中カラ、幾ラ滿洲ニヤルト云フコトニ付キマシテハ、企業院ノ厚生省ガ中心ニナリマシテ決定致シマシテ、サウシテ滿洲ニ對シテハ是レノ人數ヲナルト云フコトニ致シマス、滿洲國ハ滿洲國政府ガ中心ニナリマシテ、日本カラ得ラレル新卒業生ヲ、ドノ會社ニ幾ラヤルト云フ配當ヲ致シテ居ルノデアリマス、此ノ配當ヲ致スニ當リマシテハ各社毎ニ詳細ナリ現在幾人ノ技術者ヲ持ツテ居ル、本年ノ事業ヲヤルノドレダケノ技術者ガ要ルト云フ、詳細ナ調書ヲ提出シテ命ジマシテ、能フ限り公平ニ之ヲ與ヘ、ルト云フ風ニナツテ居リマス、又從業者ノ待遇ニ付キマシテモ、大體非常ナ好イ待遇ヲシテ、技術者ヲ或ル一會社ニ集中セシムコト云フコトハ適當ナコトデアリマス、待

○依光委員 只今御話ヲ承ツテモ、マダ十分デアリマシタリマスガ、ドウモ民間會社ガ非常ニ人ガ足りナイデ居ルコトハ私共ノ耳ニ屢々入リマス、其ノ結果ガ結論カラ申シマシテ、所謂重工業子會社ノ方ノ待遇ガ餘リ好イノデ、是ガ爲ニ惹付ケラレル、サウ云フヤウナ非難ヲ屢々聞クノデアリマスガ、此ノ點ヲ當局ハ能ク御留意下サイマシテ、滿洲ノ產金ニ致シマシテモ、石炭、錫、鐵ニ致シマシテモ、重工業ノ子會社ヲ持ツテ居ルモノ以上ニ民間ノ持ツテ居ルモノガ多イノデゴザイマスカ、之ヲ開發スルコトハ刻下ノ急務デアリマス、フノデアリマス、ドウカ大イニ民間ノ方ニモ力ヲ入レラレテ、重工業子會社トシテウナ待遇ニマデ引上ゲテ戴ク、斯ウ云フコトヲ私ハ希望シテ止マナイノデアリマス、尙ホ最後ニ御尋シタイノハ、滿洲國デハ只今一般ノ產金ニ對シテドウ云フ方法ヲ御執リニナツテ居ルカ、例ハ一瓦ニ付テドウ云フ風ニ補助シテ居ルカ、此ノ點ヲ御伺シタイ

○竹內政府委員 子會社ニ對シテハ配當保證ハ一切ゴザイマセズ、隨テ子會社ノ成績ヲ法定買入値段ハ一瓦三圓八十五錢デアリマス、ソレカラ其ノ他ニ、先般内地產金獎勵金ノ制度ヲ作リマシタガ、ヤハリアレト同建前デ増産獎勵金ヲ出ス、金額ハ少シ違ツテ居ルと思ヒマスガ、大體同趣旨デ產金獎勵金ノ方ハ決メテ居リマス、尙ホ一般ノ產金ニ付テハ滿洲國ト致シマシテモ、能フ限り產金額ヲ増加サセタイ、斯ウ云フ方針ヲ執ツテ居リマス

○依光委員 私ノ聽キマシタ所ニ依ルト、五十五錢ノ獎勵金ト、尙ホ前年同期ニ比シテ増産分ノモノニ對シテ三十八錢ヲ支出シテ居ル、斯ウ云フ風ニ承リマシタガ、其ノ點ニ付テ確メテ置キタイ

○竹內政府委員 今ノ數字ハ手許ニ資料ガゴザイマセズガ、其ノ通りダト考ヘテ居リマス、若シ間違ツテ居リマシタラバ、後程訂正シマス

○依光委員 サウ致シマス、斯ウ云フ結果ニナルデアラウト思フノデアリマス、重工業關係ノ會社ハ、之ニ對シテヤハリ同ジヤウナ配當、保證ヲ受ケテ居ルノデアリマス、重工業會社ノ分ノ一瓦ト云フモノハ、一般會社カラ見マスルト非常ニ大キナ補助ヲ受ケテ居ル結果ニナリマシマセスカ、此ノ點ハ如何デゴザイマスカ

○竹內政府委員 產金ノ補助トシテハ同建前デ行ツテ居ル譯デアリマスガ、唯滿洲鑛山會社、先程御話ノ滿洲重工業ノ子會社デアアル鑛山會社自體ニハ、別段特別ノ補助モ行カナイ譯デアリマス、結果ニ於テ、或ハ御話ノ如ク滿洲重工業會社ガ先程ノ一種ノ配當、保證ト申シマスガ、利益補助ト申シマスガ、斯ウ云フ特典ヲ與ヘラレテ居ルカラ、ソチラノ方ガ有利ニナリマセスカ

ト云フコトモ考ヘラレマスガ、子會社デアリマス所ノ、詰リ金ノ開發ヲヤツテ居リマス、滿洲鑛山會社自體トシテハ、特別ノ援助ヲ受ケテ居ラヌ譯デアリマス、尙ホ滿洲重工業會社ノ方モ非常ニ莫大ナ配當保證トカ利益補助ハナイノデアリマス、先程申上ゲマシタ如ク、滿洲國內ニ投下シタ資本ニ對スル六分マデノ利益ノ補助、此ノ程度デアリマス

○依光委員 私ノ質問ハ大體是デ打切りマス

○櫻井委員長 次ハ川俣清君

○川俣委員 私ハ鑛業全體ニ付テ、有ユル角度カラ質疑ヲ致シタイと思ヒマス、ソレハ此ノ法律ノ改正ヲ必要トサレマシタノハ、説明ニ依リマス、鑛山ノ開發ヲ期シテ以テ増産ヲ圖リタイト云フ趣旨デアラウト考ヘマス、唯此ノ程度ノ改正ニ依ツテ能ク其ノ目的ガ達成サレルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、私共莫大ノ疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマス、寧ロモト積極的ナ法制ノ完備ト、其ノ指導ト方策ヲ以テ爲サナケレバ、恐ラク解決ガ付キ得ラレナイ状態ニアルノデハナカラウカト考ヘルノデアリマス、政府ニ於テ既ニ計畫ハ有リデアラウト思ヒマス、増産ニ對スル對策トシテ考ヘラレマス、所謂總テノ物資ノ増産ニ必要ナル不可缺ノ條件ガ存在スルノデアリマス、此ノ點ヲ云フモノガ考ヘラレマス、即チ増産ノ人的要件、指導技術員、或ハ勞務者、物的要件トシテ資金、資材、而シテニ政治的條件ガ加ハリ、是ガ圓滑ニ運用サレテ初メテソコニ増産ガ期シ得ラレルモノト思フノデアリマスガ、此

ノ政治的方策ト云フ點ニ付テ、先ツ御尋ヲ致シテ行キタイと思フノデアリマス、政治的ナ要件ニハ指導トカ保護トカ、或ハ獎勵、監督ノ機能デアルトカ云フ問題デアリマス、ケレドモ、政府全體ノ建前ガ政治機構全體ガ一定ノ増産ノ出來ルヤウナ目標ニ向ツテ構成サレ、其ノ機能ガ擴大強化サレナケレバ、私ハ此ノ増産ト云フコトハ期シ得ラレナイと思フノデアリマス、今日鑛物ノ増産ニ關シテソレヲ希望シテ居リナガラ、日本ノ政治全體ガ果シテ鑛物ノ増産ニ必要ナル體勢ニ向ツテ居ルカドウカト云ヘバ、私ハ其ノ點ニ付テ甚ダ疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソコデ私ハ日本ノ鑛業ノ發達進歩ト云フコトニ付テ、本當ニモウ一度回顧シテ見タイと思フノデアリマス、非常ニ無駄ナコトノヤウデアリマスガ、是ハモウ一度回顧シテ見テ、日本ノ鑛業ニ對スル再出發ヲ要スル時機デハナカラウカト私ハ考ヘルノデアリマス、我が日本ノ鑛業ノ發達ト云フモノハ、相當古カラモノデアリマス、之ニ付テハ諒ク申上ゲルコトノ必要ハナイノデアリマスガ、即チ元明天皇和銅年間カラ始マツテ居ル、ソシテ此ノ和銅年間ニ出來タノガ和銅開闢ト云フ一文錢デスカ、アレガ抑、日本ノ貨幣ノ初リデアラ、隨テ其ノ頃カラ銅ノ產出ガアリ、隨テソレ以來歷代ノ朝廷ニ於ケレバ引續キ錢ヲ作ルト云フ錢ノコトニ相當ノ考慮ヲ拂ハレテ居ルノデアリマス、隨テ歴史ニ依リマシレバ和銅年間ノ後ニ於キマシテモ、元明天皇ノ時デアリマス、隨テ錢ノ製造ヲシテ、或ハ官位ヲ以テ鑛業開發ノ功勞者ヲ優遇スル等、官位ヲ以テ優遇スルノ途ヲ拓キ、官吏トシテ引上ゲル、斯ウ云フヤウナ優遇

黒部破産山、日本モ破産ハ相當者カラ出テ居リマス、所謂足利義滿ガ唐へ使ヲ遣シマシテ、物ヲ送ツタ中ニモ破産ヲ送ツテ居ル位デ、破産モ相當出テ居ル、又飛騨ノ神岡鑛山ハ茂住銀山、或ハ美濃ノ國ノ畑佐銀山、或ハ播磨ノ川上銅山、常陸ノ赤澤銀山、ソレカラ陸中ノ白根銀山、是ハ今三菱探鑛シテ居リマス所ノ尾去澤鑛山、伊豫ノ別子銅山、或ハ伊豆ノ榑地金山、今日相當開發サレテ居リマス、鑛山ノ最初ハ既ニ徳川時代以前ニ開發サレテ居ルノデアリマス、今ノ法制ガ出來テ新シク開發サレテ居ルヤウナ鑛山ハ、勿論アリマスルケレドモ、其ダ少イ、ソレハ一體ノ位過去日本デ金銀銅ガ出來タモノカト云フコトヲ相當歴史ヲ以テテ調ベテ見マス、是ハ餘リナイノデアリマスルケレドモ、漸ク探シテ見マス、本朝實業用事略ニ新井白石ガ研究シテノ載セテ居リマス、是ハ新井白石ガ丁度「インフレ」ニ備マサレマシテ「デフレ」政策ヲ執ラントシタ時ニ、ドレ位程度ノ海外流出ガアルカト云フコトヲ調ベタノデアリマス、ソレニ丁度時世ガ似テ居ル、ソレデハ僅カノ年數デアリマスルケレドモ、享保年間カラ寶永年間六十餘年ノ間ニ長崎カラ海外ニ金ノ流出ガアルカト、是ガ二百三十九万七千六百兩デアリマス、相當ナ金デアリマス、同年間銀ニシテ三十七万四千二百九十貫、寛文三年カラ寶永五年ノ間約四十六年間ニ流出サレマシタ銅額ガ一億一千四百四十九万八千七百斤、夥シイ數字デアリマス、ヤハリ此ノ位產出サレテ居ル、是ガ明ノ金ト日本ノモノガ精鍊方法ニ於テ缺ケル所ガアリマシタ爲ニ相當ノ流出ヲ致シ、貿易關係ニ於キマ

シテ日本カラハ金塊ヲ持出、銀塊ヲ持出、租銅ヲ持出テ行ツテ向フカラ普通ノ金取ルコト云フコトデ「パランス」ノ取レナイ流出ヲ致シタノデアリマセウケレドモ、其ノ結果所謂惡性「インフレ」ガ起リマシテ、「デフレ」ヲナカレバナラヌヤウナ状態ニ立到ツテ居ルノデアリマスガ、隨テ斯ウ云フ過去ノ歴史ヲ考ヘテ見マス、決シテ無策デ鑛石ガ出テ來タノデアリマセウ、ヤハリ其ノ中テ政治上ノ危懼ヲ孕ンデ居ツタノヲ打開シタノガ、私本會議デモ申述ベマシタヤウニ豊臣秀吉ノ時代デアリマス、斯ウ云フ歴史ヲ考ヘテ見テ、單ニ其ノ法律ノ末節ダケヲ直サウト云フヤウナ考ヲ持ナイデ、モト根本的ニ一ツ日本ノ鑛業開發ト云フモノヲ調ベテ見マス、其ノ鑛業開發ト云フモノヲナケレバ駄目デハナイカト云フコトヲ私ハ第一ニ御尋シタイと思ヒマス

○小金政府委員 洵ニ御尤デアリマシテ、此ノ改正法律案中ニ盛ラレテ居リマスル改正條項ダケ決シテ満足スベキモノデナイコトハ御説ノ通りデアリマス、唯只今御述ニナリマシタヤウニ鑛山ノ基本ノ指導精神、之ニ則ツテ如何ナル根本的改正ヲ行ヒ、又施設ヲ行フカト云フコトニ付キマシテハ、尙ホ相當ニ調査研究ニ日時ヲ要スルノデアリマス、斯ウ云フ際ニ調査サレナイノデアリマシテ、出來ルダケ速ニ出來ルダケ效果的改正ヲ行ヒタイ、斯ウ云フ趣旨カラ出テ致シマシテ鑛業法改正調査委員會ノ議ニ付セラレマシテ、其ノ答申ヲ骨子トシテ此ノ改正ヲ致サレル次第デアリマス、根本的ニモウ少シ突進シテ眞ノ地下資源開發ノ指導精神ヲ更ニ磨イテ、ソレヲ鑛業法ニ盛ル

ト云フコトニ付キマシテハ十分考慮スベキ御意見トシテ承リタイ存ジマス
○川俣委員 私人モツト詳シク申上ゲタイト思ヒマスルケレドモ、資料ガ出テ參リマセヌデ、何レ秘密會時ニ御尋シタイト思フノデアリマス、銅其ノ他ノ軍需品ノ資材ノ窮迫ハ相當程度ニマデ危懼ニ立至ツテ居ルノ想像サレルノデアリマス、隨テ其ノ輸入關係或ハ生産量關係ハ秘密ヲ要スルコトデアリマスガ、是ハ相當重大ナコトダト考ヘマス、ソレ程重大ナ時期ニ至ツテ居リナガラ、ソレニ對スル對策ガマダ十分デナイト云フヤウナコトニナリマス、國家全體ノ建前カラ非常ナ不安ヲ感スルノデアリマス、此ノ點ニ付テハ何レ秘密會ヲ求マシテ御尋シタイト思ヒマスルケレドモ、斯ル状態ニ立至ツテ居リマスノニ、法文ノ末節デ以テ僅カナガラ増産ヲ圖ラウト云フヤウナコトハ中々容易ナコトデハナイ、何時ノ場合デモ、必要ニ迫ラレタル程度ノ改正ト云フモノデアアル、尙常ニ反對ヤ苦情ノ多イモノデアアル、隨テ餘程ノ決心ト細心ノ注意ヲ以テ此ノ改正ニ當ラナケレバナラヌト思フノデアリマスルケレドモ、先ツ試掘鑛區四年ニ改正ノ點ニ付テ考ヘテ見タイと思フノデアリマス、是ハ本法改正ノ要點デアリマス、之ニ對スル反對ヲ賛成ガ色アルヤウデアリマス、併シナガラ反對中ニモ意味ノナイ反對モアリマス、背ケル反對モアリマス、此ノ反對ノ急所ハ何處デアルカト云ハバ、恐ラク此ノ點ニアルノデアリカト私ハ思ヒマス、即チ今マデ試掘鑛區期限ハ二箇年、日本坑法時代ハ一箇年、ソレガ二年ニナリ、二年ガ永續的性質ヲ持ツタモノデアルト致シタノニ、ソレガ四箇年期限

ニ限定サレルコトニナツテ何處ニ弊害ガアルカト云フト、ソレハ色々感情上ノ問題モアリマセウケレドモ、増産ト云フ點カラ見ルト、何處ニ缺點ガアルカト云ハバ、所謂試掘鑛ガ賣買サレル、取引サレルト云フ所ニ、利息ヲ追求スルト云フ所ニ、ソレガ鑛山ヲ發見シ、鑛脈ヲ發見シ、鑛床ヲ發見スルト云フ力ヲ生ムノデアリマス
(委員長退席、澤田委員長代理者席)
別言スレバソレガ高ク賣買サレル、ソレデ資産モ作ラレルト云フ譯デ、發見者モ出テ來ルシ、或ハ開發者モ出テ參リマス、是ガ四箇年期限ト云フコトニナリマスレバ、ドウモ高ク賣レサウモナイダラウト云フヤウナ氣分ガ出テ參ル、サウスレバ發見熱ノ開發熱ガ幾分薄ラダ、此ノ點ヨリ外ニ反對ノ理由ハナイと思フ、隨テ此ノ反對ヲ十分緩和出來ルヤウナ方針ヲ執レバ此ノ案ハ非常ニ必要ナモノデアルト思フ、何故ナラバ今日ノ弊害ハ何處ニアルカト云ハバ、徒ニ山師ト云フ形ニ於テ鑛山ガ開發サレテ居ル、日本ノ最初ノ鑛山心得、鑛業條例ノ時代カラ、鑛山ニ理解アル者ノミニ鑛山ヲ開發サセルト云フ建前ヲ執ツテ居ツタ、如何ニ金ヲ持ツテ居ツテモ、鑛山ニ對スル理解ガナケレバ鑛山事業ハヤラセナイト云フ建前ヲ執ツテ居ツタ、隨テ所謂山師ト云フヤウナ者ガ今日相當ニ金融界——財界社會ニ對シマシテ、色々毒ヲ流シテ居リマス、是ハ鑛石ヲ掘出スト云フコトヨリモ、鑛山ニ知識ノナイ者ノ金ヲ狙ツテ居ル、鑛山界デ謂フ開掘リ、人ノ懷中ヲ掘ル、鑛山界ガナイデハアリマセウ、今日出來テ居ル鑛山會社ノ中ニハ、鑛山ヲ經營致スヨリモ人ノ懷ヲ掘ツテ居ルモノモ相當多イノデアリマス、隨

テ國家ノ最モ必要トシテ居ル地下資源ヲ開發スルト云フコトヨリモ、單ナル利益ヲ得タイト云フコトデ所謂インチキナ會社ヲ作ツテ、試掘鑛ヲ賣買シテ、寧ろ社會一般ニ惡毒ヲ流シテ居ルト云フ點ヲ矯正スル上カラモ、私ハ四箇年期限ニスルコトハ確ニ必要ナコトト考ヘテ居リマス、併シナガラ一方ニ於テソレ等ノ發見者、開發者ノ熱意ヲ阻害スル點モアリマス、其ノ熱意ヲ阻害スル點如何ニシテ矯正シ、指導獎勵スルカト云フコトヲ考ヘナイデ、唯四箇年期限ニスルナラバ鑛山ハ開發サレ、採掘サレルト云フヤウナ考ダケデ四箇年期限ニナサレバ、私ハ是ハ失敗デアルト思フ、ソコデソレニ對スル必要ノ開發、必要ノ發見ト云フモノニドレダケノ準備ヲシツツ四箇年期限ニスルカ、其ノ點ガ缺ケテ居レバ、私ハ四箇年期限ニシタ意味ガナイと思フ、此ノ點ヲ御尋シマシマス

力申上ゲル、斯ウ云フ制度モ今マデ略其ノ緒ニ就イテ參リマシタノデ、ココデ試掘鑛制度ヲ改メマシテモ宜シイデアラウ、斯ウ云フ見透シヲ付ケテ居リマス、尙ホ只今ノ施設ダケハ十分デアリマス、今後モ國家施設及ビ國家的ノ施設ノ擴充整備ヲ圖ル積リデアリマス、四年ニ試掘鑛ヲ制限サレマス、賣買ト云フヤウナ方面ハ確ニ窮屈ニナル部分モアル存ジマ、隨テ發見シタ人ガ自分デ眞ニ其ノ試掘鑛ヲ實行スルト云フヤウナ決意ヲ持タルナラバ、有ル國家機關、或ハ國家的機關ガ之ニ協力シテ、サウシテ發見者自ラニ開發ヲ指導方針デゴザイマス、此ノ試掘鑛制度ヲ改メマシテ、四年間一應打切り、是ハ取上ルヤウニ解サレテ居リマスガ、取上ルノデハナクシテ、四年間ニ鑛業ノ價值アリヤ否ヤヲ判斷シテ欲シイ、サモナケレバ四年間デ其ノ鑛業ノ價值アリヤ否ヤヲ試掘スル獨占權ヲ失フ、斯ウ云フ意味デアリマス、此ノ試掘鑛制度ヲ改正スルコトニ依リマシテ、是ハモウ川俣君十分御承知ノコトデアツテ、此處デ申上ゲル必要ハナイト思ヒマスガ、試掘トカ探鑛ヲ促進スル、ソレカラ此ノ試掘トカ探鑛ヲ促進スルコトハ日本全體ノ鑛山開發カラ見マス、基礎的資料ヲ早ク蒐集スルコト云フ結果ヲ招來スルノデアリマス、是等ノ基礎的資料ガ缺ケテ居リマシテハ、重要鑛物増産法ノ活用ナドモ思フヤウニ參リマセウ、殊ニ國家的ナ計畫乃至ハ鑛物ノ増産ニ關スル國家的施設ハ實行ガ困難ニナル私共ハ考ヘルノデアリマス、又個人的ノ立場カラ見マシテモ、一面四箇年ニ鑛業ノ價值アリヤ否ヤヲ

早判定スル資料ヲ得ナケレバナラナイト云フコトハ、如何ニ窮屈ナヤウニ見エルトデアリマスガ、併シナガラ四年間ニ試掘鑛完了若クハ終了スルナラバ、所謂假ノ權利デアアル所ノ試掘鑛ガ眞ノ鑛業權デアアル所ノ採掘權ニ變ヘ得ルト云フヤウナ利益モアルノデアリマス
○川俣委員 政府ノ說明ハ尤モナノデス、併シナガラ私ハ其ノ尤モナコトヲ、尤モノヤウニ實行サレナケレバナラヌト云フ、鑛業モツト御尋シタイと思ヒマス、鑛業權ハ鑛區ニ於テ採掘シ、之ヲ取得スルノ權利デアツテ、他ニ賣買スル權利デアナイト云フコトモ明瞭デアアル、或ハ唯採掘ニ適當デアアルカドウカト云フコトヲ調査探鑛スルコトガ、試掘鑛ノ目的デアルトモ明瞭デアアル、其ノ明瞭ナ點ヲ、如何ニ四年間ニ實行サセルコトガ出來ルカト云フコトガ要點ダト私ハ思フ、問題ハ其處ナンデス、ソコデ今マデノ試掘鑛ハ、ドウ云フモノデアルカト申シマスレバ、其ノ四年間ニ於テ探鑛ヲ終レト云フノデアリマス、自然ソレニ對スル對策ガ變ツテ來ナケレバナラヌ、ケレドモ其ノ變ツテ來ル點ニ付テハ何等觸レテ居ナイ、例ハ鑛區稅カラ言ツテモサウデアアル、外ノ税金ト違ツテ、鑛區稅ハ前納主義ヲ採ツテ居ル、前年ニ納メ、是ガ永續的ナモノデアレバ、前納主義デモ宜シウゴザイマセウ、併シナガラ四年間デ切ラレルトナルト當然ハ考ヘ直サナケレバナラヌ點デアアル、サウ云フコトハ何等考慮ヲ拂ツテ居ナイ、又今マデハ試掘鑛ト云フモノハ本來ノ目的ガアツタノデアラカラ、試掘鑛ニ繼續サレテハ困ルト云フ所カラ、試掘鑛ニ抵當權ヲ設ケテナカウツテセウケレド

モ、四年ト云フコトニナレバ、金融ヲ圖ル途カラ云ツテモ、抵當權ヲ認メルト云フコトモ當然考ヘナケレバナラヌコトデアアル、試掘鑛内ニ於テ忠實ニ探鑛セシムルト云フコトデアリマス、當然ソレニ抵當權ヲ設定サシテ、サウシテ金融ノ途ヲ開イテヤルガケノ努力ヲ拂ハナケレバナラヌ、唯四年内ニ探鑛セヨ、四年内ニ採掘ニ適スルヤ否ヤヲ十分調査セヨ、ソレガ必要ナンデ、斯ウ言ハレテモ、ソレニ付テ必要ナンデガ出來テ居ナケレバナラヌ、私ハ四箇年期限ヲ、或ハ三箇年間デモ宜イト思ツテ居リマス、併シソレニ付テガケノモノヲ附ケテヤラナイデ、唯漫然トシテ居ツタノデアラ、所期ノ目的ガ達成サレナイと思フ、寧ろ鑛區稅ナドニ付テモハ半減シテ宜イ、改正前ナラ相當永續性ガアルカラ高クテモ宜イガ、今度ハ四年間トニ打切ラレルヤウ形ニナツテ値下ツタヤウナモノデス、税金ナドモ其ノ價值カラ云ツテモ當然下ツテモ宜イノデアリカト考ヘル、サウ云フコトハ別ト致シマシテモ、今日ノ重要鑛物開發ノ目的カラ云ツテ、鑛區稅ヲ先取リシナケレバヤラセナイト云フヤウナコトデハ、開發ノ目的デアルカ、税金ヲ取ルコトガ目的デアルカト云フヤウナコトニ付テノ意思ガ明瞭デアナイと思フ、此ノ點ニ付テ御意見ヲ伺ヒマス

○小金政府委員 試掘鑛制度ヲ改メマシテ、漫然ト四年トシタノデハゴザイマセウ、試掘鑛ハ本來ノ試掘ノ制度ニ立歸ラシムル、此ノ本來ノ趣旨ニ立歸ラシムルコトニ依リマシテ、只今川俣君ガ大體仰シヤウツタヤウナ現象モ現ハレルト信ジテ居ルノデアリマス、唯是ト致シテ何等カノ施設ヲ考ヘナイナラバ、ソレハ失敗ニ終ルノデアリカト云フ御説デアリマスガ、洵ニ御尤モデアリマシテ、之ヲ四年ニ打切ルト云フ制度ヲ立テマスル同時ニ、此ノ前モ申上ゲタト存ジマスガ、有ル角度カラ鑛山開發ニ付テ國家自身又ハ國家的ノ施設ヲ動員シテ鑛山ノ開發ニ協力セシメル、サウシテ眞ニ鑛山ノ開發ニ當ラントスル熱意アル人ニ對シテハ國家及ビ國家的機關ガ協

ト云フコトニ付キマシテハ十分考慮スベキ御意見トシテ承リタイ存ジマス
○川俣委員 私人モツト詳シク申上ゲタイト思ヒマスルケレドモ、資料ガ出テ參リマセヌデ、何レ秘密會時ニ御尋シタイト思フノデアリマス、銅其ノ他ノ軍需品ノ資材ノ窮迫ハ相當程度ニマデ危懼ニ立至ツテ居ルノ想像サレルノデアリマス、隨テ其ノ輸入關係或ハ生産量關係ハ秘密ヲ要スルコトデアリマスガ、是ハ相當重大ナコトダト考ヘマス、ソレ程重大ナ時期ニ至ツテ居リナガラ、ソレニ對スル對策ガマダ十分デナイト云フヤウナコトニナリマス、國家全體ノ建前カラ非常ナ不安ヲ感スルノデアリマス、此ノ點ニ付テハ何レ秘密會ヲ求マシテ御尋シタイト思ヒマスルケレドモ、斯ル状態ニ立至ツテ居リマスノニ、法文ノ末節デ以テ僅カナガラ増産ヲ圖ラウト云フヤウナコトハ中々容易ナコトデハナイ、何時ノ場合デモ、必要ニ迫ラレタル程度ノ改正ト云フモノデアアル、尙常ニ反對ヤ苦情ノ多イモノデアアル、隨テ餘程ノ決心ト細心ノ注意ヲ以テ此ノ改正ニ當ラナケレバナラヌト思フノデアリマス、是ハ本法改正ノ要點デアリマス、之ニ對スル反對ヲ賛成ガ色アルヤウデアリマス、併シナガラ反對中ニモ意味ノナイ反對モアリマス、背ケル反對モアリマス、此ノ反對ノ急所ハ何處デアルカト云ハバ、恐ラク此ノ點ニアルノデアリカト私ハ思ヒマス、即チ今マデ試掘鑛區期限ハ二箇年、日本坑法時代ハ一箇年、ソレガ二年ニナリ、二年ガ永續的性質ヲ持ツタモノデアルト致シタノニ、ソレガ四箇年期限

早判定スル資料ヲ得ナケレバナラナイト云フコトハ、如何ニ窮屈ナヤウニ見エルトデアリマスガ、併シナガラ四年間ニ試掘鑛完了若クハ終了スルナラバ、所謂假ノ權利デアアル所ノ試掘鑛ガ眞ノ鑛業權デアアル所ノ採掘權ニ變ヘ得ルト云フヤウナ利益モアルノデアリマス
○川俣委員 政府ノ說明ハ尤モナノデス、併シナガラ私ハ其ノ尤モナコトヲ、尤モノヤウニ實行サレナケレバナラヌト云フ、鑛業モツト御尋シタイと思ヒマス、鑛業權ハ鑛區ニ於テ採掘シ、之ヲ取得スルノ權利デアツテ、他ニ賣買スル權利デアナイト云フコトモ明瞭デアアル、或ハ唯採掘ニ適當デアアルカドウカト云フコトヲ調査探鑛スルコトガ、試掘鑛ノ目的デアルトモ明瞭デアアル、其ノ明瞭ナ點ヲ、如何ニ四年間ニ實行サセルコトガ出來ルカト云フコトガ要點ダト私ハ思フ、問題ハ其處ナンデス、ソコデ今マデノ試掘鑛ハ、ドウ云フモノデアルカト申シマスレバ、其ノ四年間ニ於テ探鑛ヲ終レト云フノデアリマス、自然ソレニ對スル對策ガ變ツテ來ナケレバナラヌ、ケレドモ其ノ變ツテ來ル點ニ付テハ何等觸レテ居ナイ、例ハ鑛區稅カラ言ツテモサウデアアル、外ノ税金ト違ツテ、鑛區稅ハ前納主義ヲ採ツテ居ル、前年ニ納メ、是ガ永續的ナモノデアレバ、前納主義デモ宜シウゴザイマセウ、併シナガラ四年間デ切ラレルトナルト當然ハ考ヘ直サナケレバナラヌ點デアアル、サウ云フコトハ何等考慮ヲ拂ツテ居ナイ、又今マデハ試掘鑛ト云フモノハ本來ノ目的ガアツタノデアラカラ、試掘鑛ニ繼續サレテハ困ルト云フ所カラ、試掘鑛ニ抵當權ヲ設ケテナカウツテセウケレド

モ、四年ト云フコトニナレバ、金融ヲ圖ル途カラ云ツテモ、抵當權ヲ認メルト云フコトモ當然考ヘナケレバナラヌコトデアアル、試掘鑛内ニ於テ忠實ニ探鑛セシムルト云フコトデアリマス、當然ソレニ抵當權ヲ設定サシテ、サウシテ金融ノ途ヲ開イテヤルガケノ努力ヲ拂ハナケレバナラヌ、唯四年内ニ探鑛セヨ、四年内ニ採掘ニ適スルヤ否ヤヲ十分調査セヨ、ソレガ必要ナンデ、斯ウ言ハレテモ、ソレニ付テ必要ナンデガ出來テ居ナケレバナラヌ、私ハ四箇年期限ヲ、或ハ三箇年間デモ宜イト思ツテ居リマス、併シソレニ付テガケノモノヲ附ケテヤラナイデ、唯漫然トシテ居ツタノデアラ、所期ノ目的ガ達成サレナイと思フ、寧ろ鑛區稅ナドニ付テモハ半減シテ宜イ、改正前ナラ相當永續性ガアルカラ高クテモ宜イガ、今度ハ四年間トニ打切ラレルヤウ形ニナツテ値下ツタヤウナモノデス、税金ナドモ其ノ價值カラ云ツテモ當然下ツテモ宜イノデアリカト考ヘル、サウ云フコトハ別ト致シマシテモ、今日ノ重要鑛物開發ノ目的カラ云ツテ、鑛區稅ヲ先取リシナケレバヤラセナイト云フヤウナコトデハ、開發ノ目的デアルカ、税金ヲ取ルコトガ目的デアルカト云フヤウナコトニ付テノ意思ガ明瞭デアナイと思フ、此ノ點ニ付テ御意見ヲ伺ヒマス

第六類第六號 鑛業法中改正法律案外一件委員會議錄 第四回 昭和十五年二月二十九日

ル所ニ付キマシテハ、十分研究致シタイ
ト存ジマス、ソレカラ又試掘權ヲ四年間ニ
打切ルト云フナラバ、其ノ試掘ヲ唯早ク濟
マセルト云フヤウナコトハ不十分デア
テ、何等カ早ク出来ルヤウナ方法ヲ講ズ
ヘバ、試掘權ヲ設定セシメルトカ、其ノ他金
融ノ途ヲ開イテヤルト云フコトモ考ヘタカ
ト云フヤウナ趣旨ノ御質問デアリマスガ洵
ニ御尤モデアリマス、私共モ試掘權ヲ抵當
權ノ目的トスルコトノ可否ニ付キマシテ、
一應ノ調査ヲシタノデアリマスガ、併シテ
ガラ試掘權ハ鑛物ガ有ルカ無イカヲ試掘ス
ルコトヲ内容ト致シマスノデ、之ニ抵當權
ヲ設定セシムルト云フヤウナ方法ヲ講ジマ
スト、中々弊害モ生ズルノデアリマス、殊
ニ一般金融ノ方面ニ認メルコトニナリ
マス、相當ニ混濁モ来ス虞ガアリハシナ
イカ、併シテナガラ是亦見方ニ依リマシテハ、
多少ノ混濁ガアツテモ、斯ウ云フ日本ガ直
面シテ居ル、又將來モ相當クデアラウ所
ノ此ノ時局ヲ乘切リマスル爲ニ、其ノ程度
ノコトハ思切ツテヤツタラドウカト云フ御
説モアルコト存ジマス、ソレモ御尤モデ
アリマスガ、ソレ等ノ點ヲ考慮致シマシ
テ、色々御小言ガ出テ居ルノデアリマスガ、
兎ニ角日本産金振興株式會社トカ、或ハ帝
國鑛業開發株式會社トカ云フヤウナモノ
ヲ、モト活動範圍ヲ擴張マシテ、只今川
俣サシノ御指摘ニナリマシテヤウナ方面カ
ラ、試掘ノ完了ニ付キマシテ協力致サセタ
イト云フ風ニ考ヘテ居リマス、鑛山ノ開發
ノ爲ニ設ケテ戴キマシタ只今ノ兩會社ノ活
動ニ付キマシテハ、兎角ノ御批判ハアルカ
ト存ジマスガ、是ハ何ト云フテモマダ價レ

テ居リマセヌノデ、今後出来ルダケ此ノ方
面ニ協力サセタイト云フ、指導方針ヲ進ミ
タイト存ジマス

○川俣委員 試掘權ニ抵當權設定ノ議論
ハ、普通ノ採掘權ニ付テハ、十七條ニ於テ
當然認メラレテ居ルノデアリマスガ、試掘
權ニハ抵當權ノ設定ハ認メテ居リマセヌケ
レドモ、是ハ法律ノ保護ガ無イダケデア
テ、世ノ中ニハ實際ニ行ハレテ居ルノデ
アリマス、寧ロソレガ無イニ行ハレテ居
ル所ニ弊害ガアルノデアツテ、四年ト云フ
工合ニ試掘權ノ年限ガ規定サレタノデア
ルカラ、寧ロ明文化スル方ガ弊害ガ少イデハ
ナカラウカト私ハ考ヘル、炭礦ニ於ケル斤
先掘ノ如キハ、是ハモウ鑛山監督局自
ニ認メニナツテ居ルコトデ、實在シテ居
ル、是ナドニ付テモ十七條ノ法文カラ見
シテ出来ナイコトニナツテ居ル、是ハ私ガ
論ズルマデモナク、一般ニ使用貸借、及ビ
貸借ノ目的トナルコトガ出来ナイカラ、
是ハ問題ハナイ、併シテナガラ實際ハ岩坑地
方ニ於テハ行ハレテ居ル、契約ハ無効デア
ル、ソコニ寧ロ今日ハ弊害ヲ生ズル居ル、
石炭ノ開採引、或ハサウ云フ石炭需給ノ窮
迫シテ事應カラ、寧ロサウ云フコトハ惡イ
結果ヲ生シ、鑛業ノ完全ナル所謂正シキ發
展ヨリモ、正シカラザル弊害ヲ生ミツツア
ルノデハナイカ、寧ロ此ノ際十七條ヲ適當ニ
改正サレマシテ、監督ノ國內ニ置ク方ガ正
當ナル發達ヲ遂ゲルモノデハナカラウカト
考ヘルノデアリマス、モウ一應此ノ點ヲ御
答辯願ヒタイト思ヒマス

○小金政府委員 御説ノヤウナ御議論モ私
共拜聴致シマシタ、併シテナガラサウ云フ根
本ノ問題トカ、或ハ現狀ニ付テ之ヲ如何
ニ法制化スルカト云フヤウナ問題ニ付キマ
シテハ、マダ十分調査ガ出来タトハ申上
ゲラレナカウツノデ、今回ノ改正案ニハ是
ハ織込ニテナカウツノデアリマスガ、私共
鑛業行政ニ關係スル者トシテハ、十分研究
ヲ積ケテ参リタイト存ジマス

○川俣委員 尙ホ御尋致シタイト思ヒマス
ガ、四年ニナリマス爲ニ起ル弊害ガモウ一
私ハ考ヘラレ、此ノ點ヲハリ相當今カ
ラ考慮サレテ、細心ノ注意ヲ拂ツテ、其ノ
弊害ガ起ラザルヤウニ考ヘナケレバ、ドウ
シテモ目的ガ達セラレナイト思フカラ、私
ハ此ノ點ヲ御尋致シタイト思ヒマス、試掘
權ハ、是ハ私ガ説明スルマデモナイノデア
リマスガ、試掘權者ノ負ハサレテ居ル義務
ハ、試掘設計書、採掘權者ノ採掘實施案ト
云フモノヲ以テ採掘ヲシ、或ハ試掘スルノ
デアリマスケレドモ、四年期限ト云フコト
ニナリマス、或一定ノ計畫ヲ立テマシ
テ、内容ノ適當アルカドウカト云フコト
ハ別問題ニシテ、形式上ノ書類ガ出来上リマ
シテ、採掘權ヲスルト、恐ラク採掘ヲ許可
サレレデアラウト云フコトハ、大體吟味
サレレデアリマセウケレドモ、兎モ角モ採
掘出来ルヤウニナルト世間デハ見テ居ル、
隨テサウ云フ試掘カラ採掘ニシテ、
リスルモノガ出テ来マス、鑛區ヲ失フコト
ガ恐ロシイ爲ニ、採掘權者ガ相當多クナル、
サウスルト今マデノ採掘權ト新シク變上
シタ採掘權トハ自ラ實質ガ違フノデアリマ
ス、本來ノ採掘權ト云フモノハ、鑛業案ヲ持
ツターツノ採掘事業ヲ行フ爲ニ必要ナ實體
ト機能ガ有シテ居ル所ノ採掘權デアル、今
度ハ保護鑛區或ハ豫備鑛區ト稱セラレル試
掘權カラ上ツタ所ノ、採掘ノ適當、不適當

ハ別ニシテ、書類上ハ適當ニ持ヘルノデア
リマセウケレドモ、内容ノ伴ハナイ所ノ採
掘權ガ生レテ来ル、サウ致シマスレバ、施
業案ヲ持ツタ採掘開發ニ必要ナル所ノ採掘
權ト、所謂保護鑛區ノ採掘權、豫備鑛區ノ
採掘權トハ自ラ異ルノデアリマスケレドモ、
之ヲ一律ニ取扱フト致シマスレバ、私ハ施
業案ニ對スル監督ニ付テ鑛山局或ハ商工省
ガ万全ヲ期シ得ラレナイ虞ガアルノデハナ
カラウカト考ヘルノデアリマス、之ニ對ス
ル御答辯ヲ得タイト思ヒマス

○小金政府委員 大變實際ニ即シマシテノ
御尋デアリマスガ、確ニ或ル意味ニ於テ從
來ノ採掘權ト同ジヤウナ内容ヲ伴ハナイ採
掘ノ出願ガ殖エルカト存ジマス、ソコデ是
ハ本會議ニ於テ言明ニモナラレタコト存
ジマスガ、保護鑛區トカ豫備鑛區ト云フモ
ノハ、是ハ鑛業ノ計畫ノ開發ヲ爲ス爲ニハ
ドウシテモ必要デアリマスノデ、此ノ點ニ
餘リ窮屈ナコトヲサセナイト云フコトハ、是
ハ川俣君モ十分實情カラ御承知ノコトデア
ルト存ジマス、ソコデ、只今施業案其ノ他
ノ取締ヲ嚴シナイト弊害ガ起ルト云フ御
言葉ハ御尤モデアリマシテ、今回ノ改正案
ニ於キマシテモ、ソレ等ノ點ヲ考慮致シマ
シテ、施業案ハ認可制度ニ致シタノデアリ
マス、從來トテモ、届出デアリマスガ、
必要ガアレバ變更ノ命令ガ出来マス位デア
リマシテ、十分納得ガ行ク程度ニ此ノ施業
案ナルモノヲ鑛山監督局デハ審査致シテ居
リマス、今後モ尙ホ其ノ點ニ付キマシテハ
十分監督ヲ致シタイト存ジマス

(澤田委員長代理退席、委員長著席)

○川俣委員 ソレハ私ハ御尤モナコトダ
思ヒマス、所謂完全ナ採掘ノ目的ニシテ施

業案ヲ有スル採掘權ト、採掘ヲ保護スル爲
ニ必要ナ採掘權ト、或ハ豫備採掘權ト、三
ツガ出来ルト云フヤウナコトハ、是ハ當然
ナコトダト思ヒマス、ソコデ、サウ致シマ
スレバ、私ハ鑛區稅トニ付キマシテモ、
皆一様ニ上セテ、位一級ヲ上ゲタト云フコ
トデ、税金ヲ取ルコトガ目的ノヤウニモ考
ヘラレ、サウ云フ趣旨デアナイト云フコト
ハ説明ヲ要シナイ、併シテナガラ稅ノ方カラ
行クト、サウ云フ稅ヲ求メタサニ上ゲタヤ
ウナ形ニナルヤウナ不合理ヲ伴フノデア
リマシテ、此ノ點ニ付テハ十分是ハ考慮シ
ケレバナラスト思ヒマスノデ、採掘鑛區稅
ヲ半減スルヤウニ商工省ハ努力サレルコト
ガ必要デアナイカト思ヒマスケレドモ、之
ニ付テノ御所見ヲ伺ヒタイ

○小金政府委員 鑛區稅ノ高ニ付キマシテ
ハ、色々研究モ致シ、又今後モ研究致シタ
イト存ジマスガ、只今ノ所差當ツテ採掘鑛
區ノ鑛區稅ヲ半減スルコト云フヤウナ意味
ニ於ケル輕減策ハ今具體的ニハ考ヘテ居
マセ、鑛物ノ増産ヲ促進スル爲ニ、鑛業
ノ實際ニ經營サレル方面ニ付キマシテハ、
他ノ例ヘバ採掘獎勵金トカ、採掘場トカ製
鍊場ノ建設助成金、其ノ他色々ナ方法デア
来ルダケ負擔ヲ輕クシテ行キタイ、斯ウ云
フ風ニ今ノ所見ヲ居リマス

○川俣委員 採掘權ニ付テハサウ云フ御説
明モ出来ルト思ヒマスケレドモ、試掘權ト
云フノハ、先程モ御話申上ゲマシタヤウニ、
又御意見ヲ承ツタヤウニ、全ク是ハ鑛山ノ
所謂試掘權ト云フモノノ本質ハ、採掘ニ適
スルカドウカト云フコトヲ見極メルノダト
云フコトガ、是ガ表面ノ解釋デアル、併シ
實情ハドウカト云フト、試掘權ト云フモノ

ヲ設定スルト云フコトハ、是ハ鑛床ヲ發見
サセルト云フコトノ方ガ本當ノ目的ダト私
ハ思フ、形式上ハソレハ確ニ採掘ニ適スル
カドウカヲ探査セセルノダト云フ法文ノ形
式ニナルノハ當然ダト思ヒマス、併シソレ
ガ世ノ中ニ現レタ場合ニハ何カト云ヘバ、
發見シタ者ノ權利ヲ認メテヤル、是ダケデ
アル、隨テ寧ロ鑛區稅ト云フモノヲ安クシ
テヤル程發見ト云フモノハ可能ニナツテ来
ル、誰ガ發見スルカト云ヘバ、現在試掘權
者トナツテ居ルヤウナモノモ發見致シマス
ケレドモ、寧ロ試掘權ノ發見者トナリマス
ガ發見者デアリマス、採掘權者トナリマス
ト云フモノヲ、モウ少シ保護スル建前ヲ執
ルナラバ、或ハ發見ト云フモノヲ寧ロ助成
サセルト云フ考ヲ執リマスルナラバ、獎勵
サセルト云フ建前ヲ執リマスルナラバ、私
ハ試掘權ト云フモノニ付テハ、半減デ
ハナクシテ十分ノ一位ニ引下ゲルベキデハ
ナカラウカト思フ、一體此ノ鑛區稅トカ登
録稅其ノ他ノ税金ニ相當ナ收入ヲ得過ギテ
居ルト私ハ思フ、是ハ煙草ノ專賣トカ云フ
様ナ國ガ利益ヲ得ル爲ノ稅デアナイノデア
リマス、併シテナガラ相當ノ利益ヲ上ゲテ居ル、
寧ロ其ノ利益ニ伴フダケノ獎勵施設ガ出来
テ居ラナイト云フヤウナモノハ、一ツノ國
家ノ利益ヲ上ゲル爲デアナイ、發見ヲ希望
スルノダト云フ建前カラ言ツテモ、モウ少
シ私ハ鑛區稅登錄稅ニ付テ、大藏當局ニ對
シテ御考慮願ヒナケレバ、商工省ガサウ云
フ態度ヲ執ラナケレバ、發見ヲサセテ上ゲ
マストカ、或ハ増産ヲ圖ルカト云フヤウナ
コトハ、是ハ私ハ鑛山當局ガ思ヒ切ツテ言

ヘナイコトダト思ヒマス、大藏省ノ希望シ
テ居ラレルヤウナ、金及ビ銅其ノ他ノ増産
ヲ期セラレル爲ニハ、寧ロ其ノ點ニ付キマ
シテ再考ヲ商工省ガ求メルダケノ態度デナ
ケレバナラスト私ハ思フ、鑛山ノ鑛床ヲ發
見ト云フヤウナコトハ、偶然ニ出来テ行ク
ノデアナイ、是ハ多大ノ努力ヲ拂ハナケレ
バナラヌノデアル、此ノ點ニ付テモウ一應
承リタイ

○小金政府委員 御趣旨ハ能ク分リマシ
タ、今後鑛區稅、或ハ鑛業權者ノ負擔額ニ
鑛山發見ノ端緒トナルベキ色々ナ施設ニ付
テハ、十分考慮ヲシタイト思ヒマス

○川俣委員 之ニ附隨シテ私ハモウ一ツ鑛床
發見ニ關スル點カラ改正ヲ要望シ、相當ノ
考慮ヲ求メタイノハ、所謂九十四條ノ鑛
ニ關スル規定デス、鑛業權ヲ有セシテ鑛物
ヲ採掘シタル者又ハ許爲ノ所爲ヲ以テ鑛業
權ヲ得タル者ハ二年以下ノ重罰額又ハ千圓
以下ノ罰金ニ處ス、此ノ後ノ方ノ「許爲ノ
所爲ヲ以テ鑛業權ヲ得タル者」ハ私ハ論ジマ
セ、鑛業權ヲ有セシテ鑛物ヲ採取シタ
ル者ヲ罰金ニ處スル、或ハ二年以下ノ禁錮
ニ處スルト云フ解釋ニ付デアリマス、最
近鑛山方面ニ於キマシテ或ハ鑛山監督局邊
リデモ、鑛物ヲ發見シタル者ハ獎勵金ヲヤ
ルト云フヤウナ建前ヲ以テ、昔ノ舊幕時代
ニ採ラレタヤウナ主旨ノ「ボスター」ヲ相當
ニ採ラレタヤウナ主旨ノ「ボスター」ヲ相當
見テ居ラレマス、是ハ鑛業權ガナクテ發
見ヲスルノデス、最初ニ發見ヲスル人ハ、
大體鑛業權ガナイ人デス、サウシテ鑛床
ヲ發見シタリ露頭ヲ發見シテ試掘權ヲ登錄
ヲ申請シ又ハ採掘權ヲ登錄ヲ申請スルノ
デアリマス、隨テ鑛業權ヲ有セシテ鑛
物ヲ採取シタル者ヲ罰金ニ處スルト云フコ

トニナツテ居リマスカラ、鑛業ニ對スル
知識ノナイ所ノ司法官吏ナドハ、誠茶苦
茶ニ之ヲ處罰スル、危クテ山ヘ入ツテ歩
ケナイト云フヤウナコトスラアル、一方ニ
於テ採掘ヲ獎勵シナガラ、一方ニ於テハ處
罰ノ規定ヲ置イテ居ルヤウデハ、其ノ目的
ハ達成シナイト思フ、是ハ昔カラ鑛業界ノ
道德ト致シテ居ル所ノモノハ、確行ヲ致シ
テ居ル山ニ入ツテ鑛石ヲ採出シテモ、
ハ盜鑛ニナル、併シテナガラ私ハ又豐臣秀吉
ヲ出シマスルケレドモ、其ノ時代カラ確行
シテ居ナイ山ニ入ツテ鑛石ヲ採出シテモ、
是ハ盜鑛ニナラナイノガ、鑛業界仲間ノ道
德デス、ナゼカト云フト鑛石ト云フモノ
ヲ盜シテ損害ヲ與ヘルカ、人ノ鑛山ニ入
ツテ鑛石ヲ盜シタ場合ニ、其ノ鑛山ニ損害
ヲ與ヘルト云フノガ普通ノ人ノ考ヘ方ナシ
ス、併シテナガラ採掘ト云フモノニハ相當ノ
費用ガ掛ル、會テ三年バカリ前ニ私ノ子分
デアル鑛夫ガ私ノ家ヘヤツテ来テ、實際川
俣サシ非常ニ残念ナコトガアル、自分ハ折
角良イ鑛脈ノ露頭ヲ見付ケテソレヲ掘出シ
テ吠ニ入レテ一ツカ一ツ半バカリ持ツテ行
テ賣ツタ所ガ、是ガ盜鑛ト云フコトニ依
テ警察デ處分ヲ受ケタ、斯ウ云フコトガ今
ノ世ノ中ニアルカラ鑛夫ナドヤル者ガナク
ナルト云フテ憤慨シテ居ツタ、是ハ私ハ尤
モダト思フ、鑛夫ノ道德ニ於テハ、確行シ
テ居ル山、事業ヲ營ンデ居ル山ニ入ツテ鑛
石ヲ採ルト云フコトハイケナイ、併シ林
ノ採掘ノ實權ヲ棄テテ居ル山、斯ウ云フ山
カラハ鑛石ヲ採ツテモ罪ニナラナイト云フ
ノガ鑛夫ノ間ノ道德デアル、何故カト云フ
トソレハ鑛石ノ一塊十二塊盜ラレテモ損害

モ持ツテ居ル、長火鉢モ持ツテ居ルカラ
レハ駄目グラウト言ツタモノダ、所ガ吾々
ハサウ言フノダケレドモ、一般ノ會社ノ下
ノ者ハ、何ダ坑夫ノ薪ニ筆算ヲ持チ、鏡ヲ
持チ、茶箱ヲ持チ、長火鉢ヲ持ツテ贅澤
ダト言フ、ダカラ其ノ山ニ居居カセヨウト云
フ考ヘ方ナカ、唯贅澤ト言ツテ非難スル
考ヘ方ナカ、其ノ吐ガ決ラヌ今日マデ
坑夫ヲ使ツテ居ツタ、殊ニ地下労働ト云フ
モノハ、サウ簡單ナモノデハナイノデス、
又或人ハ此ノ頃健康保險法ヲ支拂フ所ノ金
方殖エテ困ルト言フ、ソレハ何ヲ意味スル
ノデアルカ、ソレダケ健康保險法ヲ社會社
負擔シナケレバナラス金方殖エタト云フコ
トハ、結局ハ災害方殖エタト云フコトデ
ス、唯徒ニ出費方殖エタト云フハ、ソレ
ニ伴フ所ノ災害方殖エタト云フコトノ
認識ガ足ラヌ、此處ノ山ノ坑夫ハ此處ノ山
ノ坑夫デハナイ、ヤハリ何處カヘ行ツテ掘
ル所ノ坑夫デアルカラ、坑夫全體トシテ日
本全體トシテノ労働力ノ保有、培養、育成
ト云フコトヲ考ヘナイデ、俺ノ山デ使ツ放
シノ奴ハ何處ヘ行ツテモ駄目ダ、或ハ使ツ
山デ使ツテ疾病サセテシマヘバ、ソレデ事
足リルト云フヤウナコトニナリマスレバ、
日本全體ノ労働力ノ減退ヲ來ス、殊ニ地下
労働ノ減退ヲ來スコトニナル、地下労働者
ハ中々得ラレナイ、餘程是ハ育成培養シ、
鑛業界ニ留メテ置カナケレバ、ナラナイ、
ナゼ飛行家ニナルカト云フ、是ハ子供
等ハ飛行家ニナリタガル者ガ澤山アル、ソ
レハ飛行家ニナレバ賃銀ガ良イトカ何トカ
云フコトヨリモ、一ツノ名譽ニナル、坑夫
デモヤハリ同ジデス、賃銀ダケデハ逆モ駄
目デス、名譽ヲ與ヘ將來ヲ保證スレバ私ハ

坑夫ト云フヤウナモノモ本當ニ責任アル坑
夫ガ生レテ來ルト思ヒマス、坑夫ト云フモ
ノハ斯ウ云フ苦境ニアレバコソ坑夫道徳ト
云フモノハ非常ニ固イ、坑夫仁義ト云フモ
ノハ固イノデス、私ハ恐ラク世ノ中ニ於テ
仁義ノ固イノ坑夫ノ右ニ出ヅル者ハナイ
ト思フ、是ダケオ五同志ガ手ヲ握リ合ツテ
オ五ニ助ケ合ハナケレバ坑夫ト云フモノハ
存在シ得ナカッタダケニ、徒ニ私ハ唯賃銀
ヲ上ゲナケレバドウダトカ上ゲレバドウダ
トカ云フコトヲ考ヘナイデ、モツト根本的
ナ坑夫對策ヲ商工省ガ御考ニナラナケレバ
ナラナイ、其ノ産額ノ六割、七割ガ坑夫ノ
力ニ依ラナケレバナラナイノデアリマスカ
ラ、私ハ坑夫對策ヲ練シテハ増産ガ出來
ナイト思ヒマスレドモ、此ノ點ニ付テ
御所見ハ如何デアリマスカ、同ヒタイ

○小金政府委員 地下労働ヲ本體トスル所
ノ鑛山労働ノ特殊性ニ付キマシテ、色々參
考ニナル御話ヲ承ツタノデアリマス、殊ニ
私共鑛山行政ノ方カヲ見マスル、如何ニ
モ工場労働ト鑛山労働、或ハ工場經營ト鑛
山經營トハ本質的ニ違ツテ居ル、ニ拘ラ
ズ、動トモスルト混同サレルトコトニ付テハ
非常ニ遺憾ニ考ヘテ居リマス、其ノ點ハ全
ク同感デゴザイマス、尙ホ其ノ地下労働
基本トスル鑛山労働ノ特殊性ニ付テハ、其
ノ坑夫ヲ如何ニ保護シテ、ソレカラ坑夫ニ
能率ヲ如何ニ發揮シテ貰フカト云フコ
トニ付キマシテハ、十分考ヘテ見マス、是
ハ所管ハ厚生省ト云フコトニナツテ居リマ
スガ、重要鑛物ノ増産ヲ確保スルコトヲ見
地カラ、ドウシテモ鑛夫ノ問題ヲ、所管ガ
違フカラト申シテ、輕視スル譯ニ參リマセ

スノデ、此ノ點ハ色々研究モシ、又考ヘテ
見マス、厚生省ト協力致シマシテ、出來ル
ダケノ施設ヲ致シタイト考ヘテ居リマス
○川俣委員 私ハ増産ト全ク不可缺ナ問題
ト思ヒマス、石炭方面ニ於キマシテハ、人
間一人殖エレバ半殖出ル、隨テ一人見付ケ
レバ半殖ト云フノデ、寧ろ労働者ノ募集
ニ全力ヲ擧ゲテ居ルト云フ状態デアリマ
ス、鑛山ニ於キマシテモ同様デアリマス、
隨テ労働對策ニ付キマシテハ、十分考慮
ヲ拂ハナケレバドウダト云フコト、十分考慮
デアリマスガ、唯考慮スルダケデハ心細イ
ト思フノデアリマシテ、特ニ最近ノヤウニ
銅産額ノ増産ニ付テ、相當考慮シナケレバ
ナラナイ事態ニ立チ至ツテ居ル時ニ於キマ
シテハ、鑛山ニ付キマシテモ相當ノ考慮ヲ
拂ハナケレバナラナイ事態ニ至ツテ居ル
デアリマスカラ、十分ナル施設ヲモラレン
コトヲ要望スルノデアリマス、尙ホ此ノ際
御尋致シタイノハ、私ハ石炭山ト銅山トノ
比較ヲ申上ゲタイト思フノデアリマスレド
モ、時間ガアリマセスカラ詳シクハ申上ゲ
マセスガ、燃料局ノ人モ御居デデアリマ
スガ、何故石炭ノ方ガ喧シクナツテ、銅ガ喧
シクナラナイカト云フコトニ付テ不思議ニ
思ツテ居リマス、當然ノヤウデアリナガラ
當然デアリト思フ、昔ハ鑛業界ノ王者ハ産
銅者デアツタ、住友、古河、日立、藤田、
三菱、三井ト云フヤウニ銅ヲ生産シテ居ル
者ガ鑛業界ニ於ケル有力ナ地位ニアツタ、
所ガ今日デハ寧ろ産銅界ト云フモノハ何レ
ノ會社ト雖モ赤字ダト思フ、赤字デアナイ會
社ガアレバ、ドウ位アルカ又赤字ヲ出シテ
居ルノガ下ノ位アルカト云フコトハ明瞭
ニ分ルト思ヒマスカラ、寧ろ此ノ際名前

ハ出サナイデモ宜シウゴザイマスガ、説
明ガ出來レバ御示シテ願ヒタイ、ナゼカ
ト云フト、生産シテ居ル物ヲ民間ニ出シ
テ居ナイ、指定サレタ所ニ出シテ居ル、
即チ公定値段アル、所ガ炭山ノ方ハナ
ンデ儲カルカ、何處ニ共販會社ニ對スル
反對ガアルカト云フト、アレハ金融關係
ダト云フ、尤モテ話、小山ノ連中、アウツサ
イダー、ガ共販會社ニ反對スル原因ハ二ツ
アル、一ツハ金融關係、尤モデス、金融ガ
得ラレナケレバ小山ハヤレナイカラ尤モ
ス、其ノ裏ハ何カト云フト、勸業銀行ノ金
融ノ興業銀行ノ金融ハ形式上難カシイカラ
困ル、サウ云フ金融デナク、個人金融、十
萬圓ノ鑛山ニ對シテ十二萬圓モ貸シテ呉
ル、間ヲ含ンダ金融、ソレガ小山ノ人々ガ
喜ンデ居ル金融デアル、ソレガ共販會社ニ
ナルト正當ナ金融ヲシナケレバナラス、過
分ノ金融ハ得ラレナイカラ困ルト云フノデ、
小山ノ連中、所謂「アウツサイダー」ノ共販
ニ對スル反對ガアル、次ニ共販ニ流レ込ム
コトニナルト正當ナ取引ヲシナケレバナラ
ス、今日石炭ガ儲カルノハ正當ナ取引デナ
イ爲ニ儲カツテ居ル、所ガ銅山ノ方ハ正當
ナ取引ヨリ許サレナイ形ニ於テ軍需工業ニ
行ツテ居ル、從テ計算ガ出來ルノデス、石
炭ノヤウニ計算ノ曖昧ナモノデアナイ、石炭
ノ山ハ赤字デアルカナイカ、算盤ト裏トア
リマスカラ決定シ難イ、銅ハ明ニ分ル、隨
テ今日ノ産銅界ハ相當ナ利益ヲ擧ゲテ居ル
カドウカ、或ハ相當危険ナ状態ニアルカド
ウカ、會社ノ名前ハ言ヘナイデセウガ、全
體トシテ御指摘出來ルト思ヒマスカラ御尋
シタイ

(委員長退席、澤田委員長代理著席)

○小金政府委員 純然タル國內産銅鑛石カ
ラ製鍊スル電氣銅ノ建値ガ一應ニ付キマシ
テ千圓デアリマシタ最近マデノ状況ノ概
括的ニ申上ゲマスル、川俣サノ御説ノ
通り、個々ノ鑛山ニ付キマシテハ、品位ノ
良イ所ハ採算有利デアリマシタガ、大體ニ
付キマシテ昨年ノ後半期ニ於テハ殆ド一
イパイソレカラ赤字ガ殖エタ、或ル會
社如キハ一營業年度ニ百數十萬圓ノ收入減
ヲ來シテ居リマス

○川俣委員 銅ノ生産額ガサウ云フ危殆ニ
陥ツテ居ツテ、放任シテ置イテ宜イモノカ
ト云ヘバ、然ルベキモノデアイト思フ、以
前ナラバ銅ノ鑛業界ト云フモノハ非常ナ努
力ガアツタノデアリマスカラ問題ニナリ得
タ、所ガ今日ノ事態ハ一般ノ民需ノ方ニ餘
リ廻ル性質ノモノデアナイ、軍需工業ノ必要
ノ爲ニ使ハレテ居ツテ比較的ニ是方表面ニ出
ナイデ、民需ニ對ツテ居ル所ノ石炭ハ世ノ
中ガヤカマシイカラ、補助金ト獎勵金デー
億一千万圓モ出サウ、内容ハト云フト、他
ノ鑛業界ヨリモ寧ろ石炭ハ宜イ方デス、決
シテ惡クハナイ、燃料局ト鑛山局ト分レテ
局ト競争シテ獎勵金ノ奪合ヒヲセヨトカ、
補助金ノ取合セヨト云フコトヲ勸メル
ノデモアリマセス、必要デアナイモノデアリ
マスナラバ別デアリマスレドモ、是ハ相
當危險ニ瀕スルト言ツテハ語弊ガアルカモ
知レマセスガ、相當注意ヲ要スベキ事態デ
ハナカラウカト思ヒマスカラ、此ノ點ニ付
テモウ一度若シ此處デ御答辯出來ナケレバ、
何レ秘密會ニ於テ十分御尋シタイト思ヒマ
スガ、其ノ點御同致シタイ

○川俣委員 銅ノ生産額ガサウ云フ危殆ニ
陥ツテ居ツテ、放任シテ置イテ宜イモノカ
ト云ヘバ、然ルベキモノデアイト思フ、以
前ナラバ銅ノ鑛業界ト云フモノハ非常ナ努
力ガアツタノデアリマスカラ問題ニナリ得
タ、所ガ今日ノ事態ハ一般ノ民需ノ方ニ餘
リ廻ル性質ノモノデアナイ、軍需工業ノ必要
ノ爲ニ使ハレテ居ツテ比較的ニ是方表面ニ出
ナイデ、民需ニ對ツテ居ル所ノ石炭ハ世ノ
中ガヤカマシイカラ、補助金ト獎勵金デー
億一千万圓モ出サウ、内容ハト云フト、他
ノ鑛業界ヨリモ寧ろ石炭ハ宜イ方デス、決
シテ惡クハナイ、燃料局ト鑛山局ト分レテ
局ト競争シテ獎勵金ノ奪合ヒヲセヨトカ、
補助金ノ取合セヨト云フコトヲ勸メル
ノデモアリマセス、必要デアナイモノデアリ
マスナラバ別デアリマスレドモ、是ハ相
當危險ニ瀕スルト言ツテハ語弊ガアルカモ
知レマセスガ、相當注意ヲ要スベキ事態デ
ハナカラウカト思ヒマスカラ、此ノ點ニ付
テモウ一度若シ此處デ御答辯出來ナケレバ、
何レ秘密會ニ於テ十分御尋シタイト思ヒマ
スガ、其ノ點御同致シタイ

○川俣委員 銅ノ生産額ガサウ云フ危殆ニ
陥ツテ居ツテ、放任シテ置イテ宜イモノカ
ト云ヘバ、然ルベキモノデアイト思フ、以
前ナラバ銅ノ鑛業界ト云フモノハ非常ナ努
力ガアツタノデアリマスカラ問題ニナリ得
タ、所ガ今日ノ事態ハ一般ノ民需ノ方ニ餘
リ廻ル性質ノモノデアナイ、軍需工業ノ必要
ノ爲ニ使ハレテ居ツテ比較的ニ是方表面ニ出
ナイデ、民需ニ對ツテ居ル所ノ石炭ハ世ノ
中ガヤカマシイカラ、補助金ト獎勵金デー
億一千万圓モ出サウ、内容ハト云フト、他
ノ鑛業界ヨリモ寧ろ石炭ハ宜イ方デス、決
シテ惡クハナイ、燃料局ト鑛山局ト分レテ
局ト競争シテ獎勵金ノ奪合ヒヲセヨトカ、
補助金ノ取合セヨト云フコトヲ勸メル
ノデモアリマセス、必要デアナイモノデアリ
マスナラバ別デアリマスレドモ、是ハ相
當危險ニ瀕スルト言ツテハ語弊ガアルカモ
知レマセスガ、相當注意ヲ要スベキ事態デ
ハナカラウカト思ヒマスカラ、此ノ點ニ付
テモウ一度若シ此處デ御答辯出來ナケレバ、
何レ秘密會ニ於テ十分御尋シタイト思ヒマ
スガ、其ノ點御同致シタイ

午後五時二分散會

○川俣委員 銅ノ生産額ガサウ云フ危殆ニ
陥ツテ居ツテ、放任シテ置イテ宜イモノカ
ト云ヘバ、然ルベキモノデアイト思フ、以
前ナラバ銅ノ鑛業界ト云フモノハ非常ナ努
力ガアツタノデアリマスカラ問題ニナリ得
タ、所ガ今日ノ事態ハ一般ノ民需ノ方ニ餘
リ廻ル性質ノモノデアナイ、軍需工業ノ必要
ノ爲ニ使ハレテ居ツテ比較的ニ是方表面ニ出
ナイデ、民需ニ對ツテ居ル所ノ石炭ハ世ノ
中ガヤカマシイカラ、補助金ト獎勵金デー
億一千万圓モ出サウ、内容ハト云フト、他
ノ鑛業界ヨリモ寧ろ石炭ハ宜イ方デス、決
シテ惡クハナイ、燃料局ト鑛山局ト分レテ
局ト競争シテ獎勵金ノ奪合ヒヲセヨトカ、
補助金ノ取合セヨト云フコトヲ勸メル
ノデモアリマセス、必要デアナイモノデアリ
マスナラバ別デアリマスレドモ、是ハ相
當危險ニ瀕スルト言ツテハ語弊ガアルカモ
知レマセスガ、相當注意ヲ要スベキ事態デ
ハナカラウカト思ヒマスカラ、此ノ點ニ付
テモウ一度若シ此處デ御答辯出來ナケレバ、
何レ秘密會ニ於テ十分御尋シタイト思ヒマ
スガ、其ノ點御同致シタイ

○川俣委員 銅ノ生産額ガサウ云フ危殆ニ
陥ツテ居ツテ、放任シテ置イテ宜イモノカ
ト云ヘバ、然ルベキモノデアイト思フ、以
前ナラバ銅ノ鑛業界ト云フモノハ非常ナ努
力ガアツタノデアリマスカラ問題ニナリ得
タ、所ガ今日ノ事態ハ一般ノ民需ノ方ニ餘
リ廻ル性質ノモノデアナイ、軍需工業ノ必要
ノ爲ニ使ハレテ居ツテ比較的ニ是方表面ニ出
ナイデ、民需ニ對ツテ居ル所ノ石炭ハ世ノ
中ガヤカマシイカラ、補助金ト獎勵金デー
億一千万圓モ出サウ、内容ハト云フト、他
ノ鑛業界ヨリモ寧ろ石炭ハ宜イ方デス、決
シテ惡クハナイ、燃料局ト鑛山局ト分レテ
局ト競争シテ獎勵金ノ奪合ヒヲセヨトカ、
補助金ノ取合セヨト云フコトヲ勸メル
ノデモアリマセス、必要デアナイモノデアリ
マスナラバ別デアリマスレドモ、是ハ相
當危險ニ瀕スルト言ツテハ語弊ガアルカモ
知レマセスガ、相當注意ヲ要スベキ事態デ
ハナカラウカト思ヒマスカラ、此ノ點ニ付
テモウ一度若シ此處デ御答辯出來ナケレバ、
何レ秘密會ニ於テ十分御尋シタイト思ヒマ
スガ、其ノ點御同致シタイ

○川俣委員 銅ノ生産額ガサウ云フ危殆ニ
陥ツテ居ツテ、放任シテ置イテ宜イモノカ
ト云ヘバ、然ルベキモノデアイト思フ、以
前ナラバ銅ノ鑛業界ト云フモノハ非常ナ努
力ガアツタノデアリマスカラ問題ニナリ得
タ、所ガ今日ノ事態ハ一般ノ民需ノ方ニ餘
リ廻ル性質ノモノデアナイ、軍需工業ノ必要
ノ爲ニ使ハレテ居ツテ比較的ニ是方表面ニ出
ナイデ、民需ニ對ツテ居ル所ノ石炭ハ世ノ
中ガヤカマシイカラ、補助金ト獎勵金デー
億一千万圓モ出サウ、内容ハト云フト、他
ノ鑛業界ヨリモ寧ろ石炭ハ宜イ方デス、決
シテ惡クハナイ、燃料局ト鑛山局ト分レテ
局ト競争シテ獎勵金ノ奪合ヒヲセヨトカ、
補助金ノ取合セヨト云フコトヲ勸メル
ノデモアリマセス、必要デアナイモノデアリ
マスナラバ別デアリマスレドモ、是ハ相
當危險ニ瀕スルト言ツテハ語弊ガアルカモ
知レマセスガ、相當注意ヲ要スベキ事態デ
ハナカラウカト思ヒマスカラ、此ノ點ニ付
テモウ一度若シ此處デ御答辯出來ナケレバ、
何レ秘密會ニ於テ十分御尋シタイト思ヒマ
スガ、其ノ點御同致シタイ

○川俣委員 銅ノ生産額ガサウ云フ危殆ニ
陥ツテ居ツテ、放任シテ置イテ宜イモノカ
ト云ヘバ、然ルベキモノデアイト思フ、以
前ナラバ銅ノ鑛業界ト云フモノハ非常ナ努
力ガアツタノデアリマスカラ問題ニナリ得
タ、所ガ今日ノ事態ハ一般ノ民需ノ方ニ餘
リ廻ル性質ノモノデアナイ、軍需工業ノ必要
ノ爲ニ使ハレテ居ツテ比較的ニ是方表面ニ出
ナイデ、民需ニ對ツテ居ル所ノ石炭ハ世ノ
中ガヤカマシイカラ、補助金ト獎勵金デー
億一千万圓モ出サウ、内容ハト云フト、他
ノ鑛業界ヨリモ寧ろ石炭ハ宜イ方デス、決
シテ惡クハナイ、燃料局ト鑛山局ト分レテ
局ト競争シテ獎勵金ノ奪合ヒヲセヨトカ、
補助金ノ取合セヨト云フコトヲ勸メル
ノデモアリマセス、必要デアナイモノデアリ
マスナラバ別デアリマスレドモ、是ハ相
當危險ニ瀕スルト言ツテハ語弊ガアルカモ
知レマセスガ、相當注意ヲ要スベキ事態デ
ハナカラウカト思ヒマスカラ、此ノ點ニ付
テモウ一度若シ此處デ御答辯出來ナケレバ、
何レ秘密會ニ於テ十分御尋シタイト思ヒマ
スガ、其ノ點御同致シタイ

午後五時二分散會

第七十五回帝國議會 鑛業法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第五回

鑛業法中改正法律案(政府提出) 第六號 砂鑛法中改正法律案(政府提出) 第六號

會議

昭和十五年三月二日(土曜日)午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 櫻井兵五郎君
- 理事 澤田 利吉君 理事 松尾 三藏君
- 理事 篠原 義政君 理事 小山田 義孝君
- 理事 依光 好秋君 理事 川保 清吾君
- 山本 厚三君 岡野 龍一君
- 小柳 牧衛君 長野 長廣君
- 卯尾田 毅太郎君 山田 順策君
- 西田 鏡吉君 木暮 武太夫君
- 久山 知之君 鶴 惣市君
- 原口 初太郎君 箸本 太吉君
- 東條 貞君 森田 福市君
- 瀧澤 七郎君 松本 治一郎君
- 加藤 敏造君 小池 四郎君
- 長谷 長次君 坂本 宗太郎君
- 岩瀬 亮君

出席國務大臣左ノ如シ

出府國務大臣 藤原 銀次郎君

出府政府委員左ノ如シ

出府省鑛產局長 小金 義照君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

鑛業法中改正法律案(政府提出)

砂鑛法中改正法律案(政府提出)

○櫻井委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、前會ニ引續キ質疑ヲ繼續致シマス——東條貞君

○東條委員 試掘鑛區ハ試掘鑛區トシテ無論一ツニ見ラレルノデアリマセウケレドモ、

第六類第六號 鑛業法中改正法律案外一件委員會會議錄 第五回 昭和十五年三月二日

實質カラ言ヒマスト色々事情ガ違フヤウニ思ハレルノデゴザイマスガ、之ニ付キマシテ當局ハドンナ風ニ御覽ニナツテ居リマセウカ、同ジ試掘鑛區デアリマシテモ、例ヘバ俗ニ申シマスル保護鑛區ト云フヤウナ性質ノモノモアリマセウシ、又交通機關等ノ關係カラ非常ニ立派ナ鑛物ヲ埋藏シテ居リマスル鑛區デアツテモ、今直チニ採算ノ探レナイ鑛區、或ハ又實際ニ探算ヲヤツテ居リマシテモ、地質的ナ關係カラ本當ニ企業ヲ致シマスルニハ大丈夫ト云フ見据ガツカスノデ、長イ年月ヲ試掘ニ要シテ居リマスルモノモアルト云フ風ニ、試掘鑛區ニモ實質的ニ言ハバ色々種類ガアラウト思ヒマス、是等ヲ一様ニ扱ヒマスルコトハ無理ガアルノデハナイカト思フノデアリマスガ、當局ハ是等ニ付テドウ云フ風ニ御覽ニナツテ居リマスルカ

○小金政府委員 洵ニ御尤モ御質問デアリマシテ、一口ニ試掘鑛區ト云フケレドモ、第一ニ其ノ鑛物ノ種類ニ依ツテ非常ニ簡單ニ探算ガ出來ルモノモアリマスルシ、又相當所謂試掘行爲ヲ進メテ行カナケレバ鑛物ノ狀態ガ分ラナイヤウナモノモアリマスルシ、ソレカラ又面積モ金屬ハ五千坪以上、石炭ハ五万坪以上ト云フコトニナツテ居リマシテ、何レモ百万坪ヲ超エルコトガ出來ナイヤウニナツテ居リマスガ、面積ニ付テモ相當ナ相違ガアリマシテ、一口ニ試掘鑛區ト云フケレドモ、其ノ方面カラ見マシテ相當ナ差違ガゴザイマス、其ノ上ニ尙ホ從

來保護鑛區トカ豫備鑛區トカ云フヤウナモノガ、試掘鑛區ノ形デ或ル程度マデ保持サレテ參リマシタ、所ガ其ノ保護鑛區トカ豫備鑛區ト云フヤウナモノハ、鑛物ノ狀態ヲ調べルコトナクシテ、即チ試掘權ヲ設定シタダケデ放置サレテ居ツタノガ多イノデアリマス、又相當程度ノ試掘ヲ進メタモノモ勿論相當デゴザイマスケレドモ、漫然ト試掘權ヲ一遍獲得シテ、ソレヲ第三十三條ノ二依リマシテ、隨時期間ガ來ルト通知シテ行クト云フヤウナモノアリマス、此ノ改正ニ依リマスルト、サウ云フ鑛區ト雖モ一應四年間ニ探算シテ、ソレカラ採掘ノ價值アリキヤ否ヤ判定スル、採掘ノ價值ガアルナラバ探掘鑛區トシテ保護鑛區、或ハ豫備鑛區ト云フヤウナ勸キヲ爲スノデアリマス、其ノ場合ニ於キマシテ、勿論探掘鑛區ニ致シマシタカラト云ツテ、直チニ探掘ヲ具體的ニ計畫シナケレバオラスト云フコトハ、法律ノ第四十條ガアリマスケレドモ、ソレハ強要出來ナイノデアリマス、致サヌ積リデアリマス、ヤハリ一定ノ計畫的鑛山開發ヲ行ツテ行キマス爲ニハ、相當程度ノ豫備鑛區モ必要デアリマスシ、保護鑛區モ必要デアリマス、唯鑛物ノ存在ガハツキリシナイデ、其ノ豫備鑛區或ハ保護鑛區ト云フヤウナコトデ置キマスルト、今後ノ鑛山開發ニ計畫性ヲ持タセルト云フ見地カラ見マシテ、此ノ儘ニシテ行クト行詰ル虞モゴザイマス、ソコデ此ノ法律第三十三條ノ二ヲ削除シテ、其ノ代リ試掘權ノ期間ハ一舉ニ

シテ四年間ヲ與ヘル斯ウ云フ趣旨ニ致シタノデアリマス、ソレカラ又採算ノ取レナイ鑛區或ハ探掘ハシテ居ルケレドモ果シテ之ニ採掘權ヲ設定シテ企業ヲ具體化スルト云フヤウナ見透ノ付カナイ場合モアラウト思ヒマス、サウ云フ場合ヲ顧慮致シマシテ、鑛山監督局ノ職員ヲ出來ルダケ增加致シマス、尙ホ今後モ必要ニ應ジテ計畫的ニ增加シテ行キタイト存ジマスガ、相當此ノ方面ノ職員ヲ增加致シマシタ、尙ホソレダケハ勿論探掘ノ結果ヲ企業化シ、或ハ具體的ニ鑛山ヲ經營開發シテ行クト云フ方面カラ不足デアリマスノデ、其ノ場合ニ於キマシテハ、先般設立セラレマシタ日本產金興業株式會社及ヒ帝國鑛業開發株式會社ノ活動範圍ヲモウ少シ擴張シ、其ノ活動ヲ敏活ナラシメルヤウニ考慮シテ居リマス、隨ヒマシテ探掘ヲモラレルニ付キマシテモ亦試掘ヲ實行サレントスルニ際シマシテモ、是等ノ會社ヲ利用スルコトニ依リマシテ、或ハ共同鑛業權者或ハ探掘權デアル場合ニ於キマシテハ之ヲ擔保ニシテ、是等ノ共同シテ開發ニ當ツテ貰フ、斯ウ云フ處置ヲ講ズルノデアリマス、尙ホ試掘ノ期間ハ大體日本ノ交通狀態及ヒ地質ノ概況等カラ見マシテ、大體百万坪以下デアルナラバ四年間ノ中ニハ相當ナ探掘ガ出來ルデアラウ、斯ウ云フ見地デ其ノ期間ヲ四年ト定メタノデアリマス

○東條委員 探掘權ハ永久權デアルト云フコトヲ伺ツタノデアリマス、併シ一年以内ニ施業案ヲ提出サシテ、而モ今度ノ御改正

別別ニ於ケル三菱等ガヤラレタノ大炭田
六、四十万圓ヲ採掘サレテ、結局斷層ガア
ルト云フコトト、其ノ質ガ餘リ良クナイト
云フコトト爲ニ地業サレタノデアリマス、
ソレカラ又最近ノ例ヲ見マシテモ、私共ノ
方ニハ御承知ノ金礦ガ澤山アリマスルガ、
既ニ今日マデ五六萬年ノ日子ヲ費シ、三四
十萬圓ノ經費ヲ投ジテ採掘ヲ致シテ居リマ
シテ、サウシテ今日例ノ手掘デハ採掘ガ容
易ナイト云フコトト、特ニ補助ヲ貰ツテ
電力ノ配線ヲ致シテ採掘ヲ繼續スルコトト
ナツテ居リマスルガ、是等モ現在ノ所デハ
マダ採算ガ取レルマデニナツテ居ラス、唯
極ク最近ニ大變大キキテ採掘ヲ致シマシ
タ、併シ是モ品位ノ關係カラサウ十分ニ行
カナイ、更ニ之ヲ開發スルダケノ資本ヲ掛
ケテ設備スルノニハ、下部ニドレダケアル
カト云フコト明ニシケレバ相當ノ資本ヲ
投ズルコトハ出來ナイ、今度下部ノ採掘ヲ
スルト云フコトトナツテ居リマス、是等ハ
三年モ四年モ相當ニ金ヲ掛ケテ一生懸命
ツテ居リマスレドモ、到底四箇年間デハ
本當ニ、實際稼業ニ堪ヘ得ルカドウカト云
フコトノ判定ガ付カナイデ、マダ採掘ヲ續
ケテ居ルノデアリマス、斯ウ云フモノハ澤
山アルダラウト思ヒマス、實際ニ採掘ヲヤ
ツテ居リナガラ四箇年間デハ本當ニマダ大
丈夫ト云フ所マデ到達ヲシナイ、併シ投
テシマフベキ山デハナイト云フヤウナモノ
對シテハ、ドウ云フコトトナリマスカ

○小金政府委員 試掘中或ハ探掘中ニ四年
間ガ経過シタ場合ノ措置ニ付キマシテハ、
私共色々研究致シマシテ、今東條サンノ仰
セノ通り下部ノ採掘ヲ十分ニ行ハナケレバ
其處ニ大キキ施設ヲシテ宜イカドウカ分ラ

スト云フ場合モアリマセウシ、又「ストラ
イキ」モ「ディップ」モモウ少シ調べナケレ
バ本當ノ鑛山ノ設備ヲシテ宜イカドウカ分
ラスト云フヤウナ場合モアラウト思ヒマス、
併シナガラ四箇年間モ眞面目ニ探掘シテ全
然無ク出會ハナカウタカ、或ハ鑛物ガ極
メテ貧弱デアツテ到底價值ガナイト云フヤ
ウナ場合ニ於キマシテハ、是ハ別デアリマ
スガ、或ル程度鑛物ノ状態ガ分リマシテ、
唯今後下部ノ採掘ヲ更ニ十分ニスル必要ガ
アル、或ハ「コイブ」ニ沿ウテ、或ハ「スト
ライキ」ニ沿ウテモウ少シ探掘シナケレバ
ナラスト云フヤウナ程度ノモノデアリマス
レバ、私ハ探掘ノ設定ガ可能デアルト考
ヘテ居リマス、探掘ノ設定致シマスレバ、
ソコニ又探掘權ヲシテノ擔保力カ色々ナ
モノガアリマス、ソレハ他ノ協力ヲ得
テ次ノ下部ノ探掘トカ、或ハ第二第三ノ鑛
床ノ探掘ヲ併セテ行ツテ行ツト云フヤウナ
コトガ却テ樂ニナリハシナイカ、少クトモ
他ノ施設ノ協力ヲ得テナラバソレガ出來テ
行クト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○東條委員 段々御説明ヲ伺ヒマス、結
局探掘權ト現在ノ試掘權ト云フ二ツノ認
テ居リマス權利ノ中デハドウモ満足ハ出來
ナイ、試掘權ト云フモノノ實際ノ内容ガ、
本當ニ探掘ヲシテ居ル者モアルシ、シナイ
デ唯投ゲテ置ク者モアルノデアルカラ、其
ノ中デドウカ斯ウカ見込ノ立チサウナモノ
ハ探掘權ノ方ニ入レテヤウナ宜イチヤナ
イカ、ソレカラ見込ノ立チサウナモノハ結局
ソノ權利ヲ取消シテ消滅サセテシマツテ、
サウシテ其處ニ又新ナル者ガ出テ又ソレ
ガ探掘スルナラバソレバ宜イノデ、要スル
ニ試掘權ト云フモノハ、今マデハ苦勞ヲシ

テ發見ヲシタ、發見者ノ艱難辛苦ト云フモ
ノヲ保護スル意味ガ非常ニ強カウタノガ、
今度ハ其ノ發見者ノ勞苦ヲ保護スルコト云フ
コトニ重キヲ置カナイコトニナツテ、誰ノ
發見シタモノデアラウト、其ノ者ハ權利ヲ
失ツテモ誰カ力ノアル者ガ來テヤレバ宜
ンダ、斯ウ云フ風ニ試掘權ト云フモノニ付
テノ見方ガ轉向サレタヤウナ感ジガスル
デアリマスガ、サウ云フ御氣持ガアルノ
セウカ

○小金政府委員 試掘權ノ見方ヲ轉向スル
ト云フ意味ハ私共ハナイト思ヒマス、即チ
發見者ノ勞苦ヲ輕視シテ、一應發見者ガ試
掘權ヲ取ルケレドモ、ソレハ四箇年間ダケ
勝手ニヤレト云フヤウナ意味デハゴザイマ
セソノデ、發見者ガ更ニ試掘ヲサレト云
フヤウナ場合ニ付キマシテハ、是ハ國策會
社ナリ、或ハ官廳ナリガ協力シテヤリマス
カラ、其ノ點ハ發見者ヲ決シテ輕視スル意
味ト云フヤウナコトハ毛頭ゴザイマセス、
寧ロ發見者ニ對シテ四年以内ニ他ノ協力ヲ
得テ鑛山ノ開發ヲ繼續サレルノダ、探掘
權ト云フ行クダト云フヤウナ、却ツテ試掘權
ヲ眠ラセテ置クコトモ有效ニ國家的ニ鑛山
ガ働イテ來ル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル
デアリマス

○東條委員 國策會社ノ協力ト云フコトノ
御話デアリマスレドモ、政府ハ其ノ方
針ヲ國策會社ヲ指導監督シテ居ラレト云
フコトハ十分諒解致シマスルガ、實際ト致
シマシテ見、茲ニ斯ウ云フ鑛物ノ存在ヲ見
テ出願ヲシタカラ、探掘權ヲアルノ一ツ御
協力ヲ願ヒマスと言ヒマシタ所デ、到底ソ
レハ全部ニ應ズルコトハ出來ナイノガ現在
マデノ實情デモアルシ、又將來トモサウ

シテ、斯ウ云フ法律ノ改正ヲヤツテ、其ノ
既得權ヲ取ツテシマハレル以上ハ、最前モ
申上ゲタ通り、他ニモ斯ウ云フ實例ガア
ルノデアリマスカラ、何等カノ方法ヲ以テ
特ニ之ヲ御考ニナラナケレバイカヌモノ
ラウト思ヒマス、少クトモ現在マデニ登錄サ
レ、改正マデニ登錄サレテ居リマスル部分
ニ對シテハ、官廳ナリ或ハ國策會社ナリガ
全部ニ對シテ一應ノ探掘ヲシタル位ノ御
考ガナケレバナラナイモノダト思フノデア
リマスルガ、之ヲ伺フト、先程ノ御答辯ニ
依レバトモソレダケノコトハ出來サウモ
ナイ、法律ノ改正ニ依ツテ探掘ヲ促進シテ、
サウシテ開發スルノダト云フ御趣旨ハ能ク
諒解致シマスレドモ、然ラバ法律ヲ改正
シタ通りニ探掘ガ出來ルカト云フト、ソレ
ハ出來スノダト云フ事實ヲ認識シテ居ラレ
ル、此ノ點私ト致シマシテハ諒解ニ苦シム
ノデアリマス、サウ云フ御趣旨ヲ實現サセ
ル爲ニ法律ノ改正ヲサレト致シマシテモ、
モウ少シ改正ノ仕方ガ他ニアツタノデハナ
イカト思ヒマスガ、何かサウ云フ點ニ付テ
色々御考ニナツタコトハナイノデアリマス
カ

○小金政府委員 鑛物ノ開發ガ現在及ビ將
來ノ急務デアルト云フ見地カラ色々ナ方策
モ考ヘマシタシ、又是テ足レリトハ考ヘテ
居リマセス、色々諸般ノ方法ヲ講ジマシタ
ガ、其ノ一ツトシテ免ニ角權利ヲ持ツ者ハ
或ル程度ニ於テ其ノ權利ノ内容ニ依ツテ義
務付ケラレラレト云フコトヲ試掘權
ニ付キマシテ如實ニ感ズルノデアリマス、
即チ試掘權ト云フ一ツノ排他的權利ヲ所
有權カラ離レテ與ヘラレト云フコトハ、即
チ其ノ權利ヲ持ツ人ハ其ノ定メラレタ期間

グト思ヒマス、ソレカラ又自分ガ鑛山生活
ノ經驗ヲ持ツタ鑛夫ナドガ鑛物ヲ發見致シ
タ場合ニ、自分トシテノ信念ヲ持ツテ居リマ
シテ、一ニノ技師ガ來テ、是ハ見込ガナイ
カラ止メト云フヤウナコトヲ言ツタカラ
ト言ツテ、決シテソレダ見込ガナイト思フ
ノデハゴザイマセス、唯地上ヲ見タ位ノ鑑
定ヲ受ケタ所デ、承知ヲ致シマセス、又實
際ノ結果カラ見マシテモ、幾多ノ技術者ガ
行ツテ、駄目ダト云フモノガ、熱心ナル
鑛夫ナドノ實際家ガコソト探掘ヲシテ、
遂ニ立派ナモノヲ發見シタ實例モ御承知ノ
通り澤山ニアルノデアリマス、國策會社ニ
協力ヲ願ヒマシテモ、政府ニ協力ヲ願ヒマ
シテモ、到底試掘權ヲ持ツテ居リマス者ガ
安心ガ出來、承知ノ出來ルヤウナ探掘ハ決
シテソレニ依ツテハ得ラレルモノデアナイ
ノデアリマス、更ニ最近鑛業ノ兩國策會社
ニ依ツテ、私共ノ知ツテ居リマス範圍デモ、
頻リニ協力ヲ願ツテモ協力ガ與ヘテレナク
テ困ツテ居リマス者モ随分多イノデアリマ
ス、結局斯ウ云フコトトナリマス、十分
探掘スル實力ノナイ者ガ發見ヲ致シマシ
テモ、結局四箇年自分ノ權利ガアルト云フ
ダケデ以テ、到底自分ノ手デ探掘スル譯
ニハ行カナイ、御承知ノ通り是ハ鑛業權、
試掘權ヲ持ツテ居ル者ガ皆サウ言ツテ居ル
ノデアリマスガ、斯様ナコトハ申シタナ
イノデアリマスレドモ、相當有力ナ會社
デモ例ヘバ鑛區區ナリトシテ取ツテ置ク
ベキ區域ニアリマスモノデモ、ヤハリ取
トスレバ成ベク安ク取リタイ、又一方權利
ヲ持ツテ居リマス者ガ成ベク高ク賣リタイ
ト云フノガ人情デアリマスルカラ、意見ガ
一致ヲシナイ、ソレガ爲ニ非常ニ長イ間イザ

コザラシテ、終ヒニハ訴訟マデ起シテ争ツ
タリスルヤウナ實例モ隨分アルノデアリマ
ス、小サナ、力ノナイ者カラ言マスルト、
有力ナ會社ガ當然取ルベキ部分ヲ取ラズニ
投テ置イテ、サウシテ税金ガ拂ヘナクナツ
テ、競賣ニサレルヤウナ風ニ持主ガ困ツテ
居ル所ヲ見テ、手ヲ廻シテ安ク取ルト云フ
ヤウナ狡猾ナヤリ方ヲアルト云フコトヲ皆
言ツテ居リマスルガ、私共ノ經驗カラ致シ
マシテモ、サウ云フ事實ハ絶無トハ言ヘナ
イノデアリマス、所ガ今マデノ狀態デアレ
バ、ソレデモ價值ノアルモノナラバ持ツテ
居レバ、何時カハ必要ニナツテ來ルカラ、
相當ノ値買ヒモスルシ、賣リモスル、四
年スレバソレデ全然權利ガナクナツテシマ
フト云フコトトナリマス、本當ニ人跡未
踏ノ山ニ入ル、中ニハ猛獸ノ居ル地方モア
リマセウ、又サウ云フ所デ交通機關ガア
ルデハナシ、食物モ餘計ニ持ツテ行カレ
ナイ、山ニアリマス何カ食ヘル物ヲ嚙リナ
ガラデモ、探掘スルト云フヤウナ熱意ガ
ナクナツテ、本當ノ資源開發ノ上カラ、詰
リ今登錄サレテ居リマスヤウナ鑛區ノ探掘
ハ多少促進サレルモ知レマセケレドモ、
今後ニ於テ未知ノ鑛物ヲ發見スルト云フ努
力ガ非常ニ薄ライデ來ルノデアリカ、此
ノ點ニ付テノ御考ヲ伺ヒタイノデアリマス

○小金政府委員 未知ノ鑛物ヲ發見ニ付キ
マシテハ、試掘權ガ四年デアルカラ、大イ
ニ減退スルダラウト云フコトハ私共ハ考ヘ
ラレナイノデアリマス、ヤハリ優先出願
一番目ノ出願者ニ權利ヲ與ヘラレノデアリマ
スカラ、其ノ點ハ私共ハ心配ナイト思ヒマ
スルシ、殊ニ第三十七條ノ改正等ニ依リマ
シテ、寧ロ鑛物發見ノ端緒ヲ刺戟スルコト

ニナルノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リ
マス、唯四箇年間デ何トカ探掘スルカ、左モ
ナケレバ試掘權トシテ期間完了ヲ待ツカ、何
トカシナケレバナラスト云フコトハ多少窮
屈ト存ジマス、ソレニ付キマシテモ、只今
御指摘ニナリ、又其ノ他色々御非難モゴザ
イマスガ、國策會社ノ活動、ソレカラ官廳
方面ノ、殊ニ中小ノ鑛山ニ對スル出來ルダ
ケノ指導ト云フヤウナコトト相俟ツテ行カ
ナケレバナラヌコトト存ジマス

○東條委員 是ハ水掛論デアリマシテ、國
策會社ト官廳ト何トカスルト云フ御話デ
アリマスレドモ、私共ハソレハ絕對ニ出
來スト思ヒマス、併シ今後ノ出願ト云フモ
ノガ假ニ法律ガ改正サレトスレバ、其ノ
法律ヲ承知シテ出願スルノダカラ、マア
宜イト假定致シマシテモ、現在マデノ法律
ニ依ツテ愈々本當ニ駄目デアルト云フコト
ガ、ハツキリシテ投ゲルマデハ自分ノ權利
デアツテ、其ノ間ニ一生懸命ニ探掘シテ、
何年掛ツテモ物ニスルコトハ宜イ、或ル程
度ノ鑛物ガアルカナイカト云フコトバカリ
ニ依ツテ決マルノデアリマセス、御承知ノ
通り有ニル鑛物ヲ埋藏シタ鑛區ガツイ最近
此ノ事變勃發マデハ誰モ顧ミナイ、何處ヘ
行ツテモ相手ニサレナイ、中ニハモウ思切
ツテ、ソレノ放棄ヲシ、又減額ヲシテ、肝
腎ノ一番良イ所ダケ漸ク殘シテ置イタナド
テ云フモノガ、此ノ御時世カラ皆浮ビ上ツ
テエライコトトナツテ居ル、鑛物ガ有ルカ
無イカト云フコトバカリデナク、時世ノ變
遷ニ依ツテ立派ナ鑛物ガアツテモ、誰モ相
手ニスル者ノナイ時代モアルノデアリマス
カラ、其ノ間ノ苦心慘境、税金ヲ拂ツテ
今日マデ持堪ヘテ來タト云フモノニ對シマ

午後一時三十九分開議

○櫻井委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、前
會ニ引續キ質疑ヲ繼續致シマス——森田福
市君

○森田委員 私ハ本法改正ノ骨子デアル試
掘權ノ問題ト會社ノ法人ノ區別ノ問題ト二
點ニ付テ、簡單ニ御致シマス、試掘權ヲ
四箇年ニ延バシタ代リ、今度ハ前ノ試掘
權ヲ持ツテ居ル者ニ許サズニ、新シイ者ニ
許スト云フ方針ヲシナイノデアリマスガ、ソ
レニ付テハ今マデ他ノ委員諸君カラ色々御
質疑ガアツタコトト察シマスガ、私ハ兎角
稅制ノ委員會ニ出テ居ツテ、詳シク聽イテ
居ナイノデアリマスガ、要スルニ政府ガ斯
ウ云フ改正ヲシナケレバナラスト云フコト
ハ、試掘權ヲ採掘權ニ直シテ、國庫ノ増收
ヲ目的ニヤツタノデアルカ、或ハサウデハ
ナクテ、試掘ノ許可ヲ與ヘテ置イテモ、其
ノ期間内ニ試掘權者ガ採掘ヲシナイカラ、

午後一時三十分休憩

○櫻井委員長 ソレデハ是ニテ休憩致シ、
午後一時半カラ會議ヲ續行致シマス

○東條委員 私ハ本日ハ此ノ位ニ止メ、ア
ト八月曜日ニ留保致シマス

○櫻井委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、前
會ニ引續キ質疑ヲ繼續致シマス——森田福
市君

○森田委員 私ハ本法改正ノ骨子デアル試
掘權ノ問題ト會社ノ法人ノ區別ノ問題ト二
點ニ付テ、簡單ニ御致シマス、試掘權ヲ
四箇年ニ延バシタ代リ、今度ハ前ノ試掘
權ヲ持ツテ居ル者ニ許サズニ、新シイ者ニ
許スト云フ方針ヲシナイノデアリマスガ、ソ
レニ付テハ今マデ他ノ委員諸君カラ色々御
質疑ガアツタコトト察シマスガ、私ハ兎角
稅制ノ委員會ニ出テ居ツテ、詳シク聽イテ
居ナイノデアリマスガ、要スルニ政府ガ斯
ウ云フ改正ヲシナケレバナラスト云フコト
ハ、試掘權ヲ採掘權ニ直シテ、國庫ノ増收
ヲ目的ニヤツタノデアルカ、或ハサウデハ
ナクテ、試掘ノ許可ヲ與ヘテ置イテモ、其
ノ期間内ニ試掘權者ガ採掘ヲシナイカラ、

他ノ者ヲシテ其ノ試掘ノ許可ヲ取ラセテ採掘ヲセヨウト云フノカ、此ノ二ツノ中ダト思フノデアリマスガ、其ノ中ノドチラデアリマスカ

ナルコトガ出来ズ、採掘ニ掛カラウニモ色々ナ事故ガアツテ掛カレナイ、其ノ反對ニ何處ノ誰レガ願フテ居ル試掘權ハ宜イモノデアルト云フノデ組ツテ居ル人ハ、其ノ期限ノ切レル日ニ同時刻ニ競願スルモノト見ナケレバナラヌト私ハ思フ、サウスルト抽籤ノ結果偶々其人ニ當ラヌトハ何人モ保證スルコトハ出来ナイカラ、其ノ人ニ當ルノデス、サウスルト四箇年間納メテ、其ノ抽籤ノ結果大變損ヲスル、私ハ此ノ間期限ガ切レタ時ニハ繼續願ヒサヘスレバヤハリ前ノ者ニ許スガ、唯前ノヤウニ十日間トカ云フ餘裕ヲ與ヘテ置カズニヤラナケレバナラヌダケダト聞イテ居ツタカラ、ソレナラバ注意ヲ與ヘサヘスレバ宜イノダ、注意ヲ喚起シテ、其ノ期限ノ切レサウナ時ニハ、君ノハ何時切レルソト監督局カラ言イノダト思フテ居ラサウデハナイ、切レタ日ニ出シテモ、他ノ競願者ガ其ノ日ニ同時ニ出シテ居レバ、ソレガ多クモ多イ程抽籤ニナルカラ、當ル率ガ少ナツテ行クノデアリマス、四箇年ノ出資損ニナルト云フコトヲ聞イタモノデアリマスカラ、若シサウナラバ我國ノ礦業生産ノ擴充ヲ圖ルドコロデハナイ、却テサウ云フ犠牲ヲ拂ウテ調査ヲスル人ガアルカラ、生産ノ擴充ガ出来ルノデアルニ今度ハ較イ人間ニ得ラズツト調ベテ歩イテ、一善良イヤウナ、試掘ノ中デ手ヲ著ケテ居ラヌモノハ悉ク同ジ日ニ出願スルモノト見ナケレバナラヌ、試掘ノ場所ヲ、前ニ試掘ノ本當ノ權利ヲ取ツテ居ル人ハ直接自分見テ歩タカ、或ハ金

ヲ出シテ見テ歩カスカ、其ノ何レカニ依ツテ、努力ト金トヲ掛ケテ試掘ノ許可ヲ取ツテ居ル、次ノ試掘ノ競願ヲシヨウト云フ人ハ一ツモサウ云フ苦勞ヲシヨウレバ、金モ掛ケズ、唯一片ノ試掘ノ登錄ヲ見テ置イテ、手ヲ著ケテ居ラヌモノデ期限ノ來テ居ル所ヲ見テ歩イテ、アノ所ハマダ手ヲ著ケテ居ラヌト云フ所ヲ悉ク競願シテ行ケバ、十組ツテ一ツ當ルカ幾カ當ルカ知レヌガ、兎モ角モ相當ナ試掘ノ權利ヲ得ラレルコトハ私ハ易々タルモノデアルト思フガ、局長ハ此ノ點ヲドウ御考ニナリマスカ

及スルコトハ工合ガ惡イト云フノデ、サウ云フ例ヲ破ラウトシタ昨年ノ礦業及ビ船舶ニ對スル課稅デモ、議會ニ於テハ修正ヲ加ヘタ、週及シテハイカスト云フコトニナツタ、今日マデ何十年手ヲ著ケズニ試掘權ヲ拂ツテ居ル人ガアルデアラウト思フ、ソレガ今度此ノ法律ノ施行サレタ日カラ四箇年目ニハ否ヤガ應デモ其ノ人ノ權利ハ一應消滅シテシマフ、抽籤ノ結果其ノ人ニ當レバ洵ニ結構デアルガ、當ラヌ時ニハ今マデ大變ナ金ヲ掛ケテ居ル人ハソレヲ損ヲシ、全然一錢一厘ノ投資モセズ、單ニ礦業代書人ヲ頼ンデ競願ノ届出ヲシタ者ダケニ得セシメルヤウナ結果ニナル、今後此ノ法律ニ依ツテサウ云フコトヲヤツテ歩クノハ所謂競願「ブローカー」、礦山「ブローカー」ヲツテ歩クコトデ、本當ノ仕事ノヤツテ歩クコトデハナイ、此ノ競願「ブローカー」、礦山「ブローカー」ヲシテ、サウ云フ風ニ變ラヌコトガ善イカ惡イカハ本當ニ非常ニ考慮ヲ要スルコトデアルト思フ、ソレガ是ハ試掘權ヲ持ツテ居ラヌ手ヲ著ケテ居ナイモノハ、ヤハリ何カ礦山監督局當局ガ實情ヲ調べ見テ、全ク經過期間中ニ手ヲ著ケラレナカツタ理由デモ明ニナレバ、ソレヲ繼續サセテナルトカ何トカ、救済ノ途ガ立カヌニ

○小金政府委員 試掘權制度ノ改正ハ國庫ノ増收ヲ圖ル目的デハゴザイマセズ、ソレカラ又外國ノ立法ニハ一過試掘權ヲ持ツテ二箇年經ツタナラバ、其ノ同一人ニハ再ビ其ノ土地ニ付テ採掘權ヲ設定シナイト云フコトヲ禁止シテ居ル、即チ同一人ニ重ネテ試掘權ヲ設定シナイト云フ建前ノ法律モゴザイマスガ、此ノ礦業法ノ改正デハサウ云フ趣旨ハ毛頭アリマセズ、本人ガ再ビ其ノ土地ニ付テ同ジ内容ノ試掘權ヲ持ツコトモ可能ニナツテ居リマス、唯他人ガ同時ニ出願シテ、同日同時刻ノ出願デアレバ抽籤デ決メルコトニナツテ居リマス、ソレコデ他ノ者ニ試掘權ガ行クト云フコトハアリマスガ、必ズ本人ニ持ツテハイカナイト云フ趣旨ハ繰リ込メテゴザイマセズ、要ハ試掘權者ノ試掘權ヲ實行シテ貫ヒタイト云フ所ニアリマス、ソレガ爲ニハ期間ヲ限ルコトガ、而モ相當ナ年限ヲ與ヘテ、サウシテ之ヲ繼續サセナイト云フコトガ宜シイ、斯ウ云フ趣旨デ改正案ガ出来テ居リマス

○森田委員 サウ云フ趣旨ノコトハ何時カノ礦業稅ノ委員會ノ時ニモアツタカモ知ラズ、ソレハ私ハ見テ居リマス、ソレガ若シサウ云フ方法ヲ御採リニナルトスレバ、四箇年間試掘稅ヲ納メテ、サウシテ其ノ期間ニ色々ノ事情ノ爲ニ採掘出来ナイ者ハ試掘權ヲ失フ、ソレデハ試掘獎勵モ出来ズ、今日試掘權ヲヤラウニモ試掘權ヲヤラウニモ商工當局ハ此ノ事情ハ酸イ程知ツテ居ラレ、商工當局アリマス、ソレコデ試掘權ヲヤラウニモ

○森田委員 サウ云フコトデ運用シテ行クト仰シヤツテモ、今言フヤウニ試掘權ヲ採掘ニ直サウニモ今日ノ狀態デハ勞働者モ居ラズ、ソレカラ御承知ノヤウニ資材モナシ、ソレガ出来ヌノガ今日ノ狀態デハナイデアリマセウカ、ソレカラモウ一ツハ、今日ノヤウナ方法ヲ行クト現在試掘ノ權利ヲ持ツテ居ル人ニ週及シテ行クコトニナル、要スルニ從來ノ法律ノ建前ト云フモノハ既往ニ週

ナルトカ何トカ、救済ノ途ガ立カヌニ此ノ法律ヲ通シテシマフコトハ、私ハ過去ノ既得權ヲ持ツテ居ル人ニ及ボズ損害ハ非常ナモノデアルト思フ、又斯ウ云フ例ヲ以テ法律ヲ作ツテ行クコトニナルト、今後トモ法ハ總テ週及シ得ラレルモノデアルト云フ觀念ヲ國民ニ與ヘテシマフコトニナルト、落著イテ事業ニ精進スル人間ガナクナルノデハナイカト私ハ思フ、此ノ問題ハ私ガ此ノ間極ク簡單ニ聽イテ居ル範圍ノ問題ト、

○森田委員 サウ云フ趣旨ノコトハ何時カノ礦業稅ノ委員會ノ時ニモアツタカモ知ラズ、ソレハ私ハ見テ居リマス、ソレガ若シサウ云フ方法ヲ御採リニナルトスレバ、四箇年間試掘稅ヲ納メテ、サウシテ其ノ期間ニ色々ノ事情ノ爲ニ採掘出来ナイ者ハ試掘權ヲ失フ、ソレデハ試掘獎勵モ出来ズ、今日試掘權ヲヤラウニモ試掘權ヲヤラウニモ商工當局ハ此ノ事情ハ酸イ程知ツテ居ラレ、商工當局アリマス、ソレコデ試掘權ヲヤラウニモ

○森田委員 サウ云フ趣旨ノコトハ何時カノ礦業稅ノ委員會ノ時ニモアツタカモ知ラズ、ソレハ私ハ見テ居リマス、ソレガ若シサウ云フ方法ヲ御採リニナルトスレバ、四箇年間試掘稅ヲ納メテ、サウシテ其ノ期間ニ色々ノ事情ノ爲ニ採掘出来ナイ者ハ試掘權ヲ失フ、ソレデハ試掘獎勵モ出来ズ、今日試掘權ヲヤラウニモ試掘權ヲヤラウニモ商工當局ハ此ノ事情ハ酸イ程知ツテ居ラレ、商工當局アリマス、ソレコデ試掘權ヲヤラウニモ

○森田委員 サウ云フ趣旨ノコトハ何時カノ礦業稅ノ委員會ノ時ニモアツタカモ知ラズ、ソレハ私ハ見テ居リマス、ソレガ若シサウ云フ方法ヲ御採リニナルトスレバ、四箇年間試掘稅ヲ納メテ、サウシテ其ノ期間ニ色々ノ事情ノ爲ニ採掘出来ナイ者ハ試掘權ヲ失フ、ソレデハ試掘獎勵モ出来ズ、今日試掘權ヲヤラウニモ試掘權ヲヤラウニモ商工當局ハ此ノ事情ハ酸イ程知ツテ居ラレ、商工當局アリマス、ソレコデ試掘權ヲヤラウニモ

○森田委員 サウ云フ趣旨ノコトハ何時カノ礦業稅ノ委員會ノ時ニモアツタカモ知ラズ、ソレハ私ハ見テ居リマス、ソレガ若シサウ云フ方法ヲ御採リニナルトスレバ、四箇年間試掘稅ヲ納メテ、サウシテ其ノ期間ニ色々ノ事情ノ爲ニ採掘出来ナイ者ハ試掘權ヲ失フ、ソレデハ試掘獎勵モ出来ズ、今日試掘權ヲヤラウニモ試掘權ヲヤラウニモ商工當局ハ此ノ事情ハ酸イ程知ツテ居ラレ、商工當局アリマス、ソレコデ試掘權ヲヤラウニモ

○森田委員 サウ云フ趣旨ノコトハ何時カノ礦業稅ノ委員會ノ時ニモアツタカモ知ラズ、ソレハ私ハ見テ居リマス、ソレガ若シサウ云フ方法ヲ御採リニナルトスレバ、四箇年間試掘稅ヲ納メテ、サウシテ其ノ期間ニ色々ノ事情ノ爲ニ採掘出来ナイ者ハ試掘權ヲ失フ、ソレデハ試掘獎勵モ出来ズ、今日試掘權ヲヤラウニモ試掘權ヲヤラウニモ商工當局ハ此ノ事情ハ酸イ程知ツテ居ラレ、商工當局アリマス、ソレコデ試掘權ヲヤラウニモ

○森田委員 サウ云フ趣旨ノコトハ何時カノ礦業稅ノ委員會ノ時ニモアツタカモ知ラズ、ソレハ私ハ見テ居リマス、ソレガ若シサウ云フ方法ヲ御採リニナルトスレバ、四箇年間試掘稅ヲ納メテ、サウシテ其ノ期間ニ色々ノ事情ノ爲ニ採掘出来ナイ者ハ試掘權ヲ失フ、ソレデハ試掘獎勵モ出来ズ、今日試掘權ヲヤラウニモ試掘權ヲヤラウニモ商工當局ハ此ノ事情ハ酸イ程知ツテ居ラレ、商工當局アリマス、ソレコデ試掘權ヲヤラウニモ

○森田委員 サウ云フ趣旨ノコトハ何時カノ礦業稅ノ委員會ノ時ニモアツタカモ知ラズ、ソレハ私ハ見テ居リマス、ソレガ若シサウ云フ方法ヲ御採リニナルトスレバ、四箇年間試掘稅ヲ納メテ、サウシテ其ノ期間ニ色々ノ事情ノ爲ニ採掘出来ナイ者ハ試掘權ヲ失フ、ソレデハ試掘獎勵モ出来ズ、今日試掘權ヲヤラウニモ試掘權ヲヤラウニモ商工當局ハ此ノ事情ハ酸イ程知ツテ居ラレ、商工當局アリマス、ソレコデ試掘權ヲヤラウニモ

○森田委員 サウ云フ趣旨ノコトハ何時カノ礦業稅ノ委員會ノ時ニモアツタカモ知ラズ、ソレハ私ハ見テ居リマス、ソレガ若シサウ云フ方法ヲ御採リニナルトスレバ、四箇年間試掘稅ヲ納メテ、サウシテ其ノ期間ニ色々ノ事情ノ爲ニ採掘出来ナイ者ハ試掘權ヲ失フ、ソレデハ試掘獎勵モ出来ズ、今日試掘權ヲヤラウニモ試掘權ヲヤラウニモ商工當局ハ此ノ事情ハ酸イ程知ツテ居ラレ、商工當局アリマス、ソレコデ試掘權ヲヤラウニモ

○森田委員 サウ云フ趣旨ノコトハ何時カノ礦業稅ノ委員會ノ時ニモアツタカモ知ラズ、ソレハ私ハ見テ居リマス、ソレガ若シサウ云フ方法ヲ御採リニナルトスレバ、四箇年間試掘稅ヲ納メテ、サウシテ其ノ期間ニ色々ノ事情ノ爲ニ採掘出来ナイ者ハ試掘權ヲ失フ、ソレデハ試掘獎勵モ出来ズ、今日試掘權ヲヤラウニモ試掘權ヲヤラウニモ商工當局ハ此ノ事情ハ酸イ程知ツテ居ラレ、商工當局アリマス、ソレコデ試掘權ヲヤラウニモ

○森田委員 サウ云フ趣旨ノコトハ何時カノ礦業稅ノ委員會ノ時ニモアツタカモ知ラズ、ソレハ私ハ見テ居リマス、ソレガ若シサウ云フ方法ヲ御採リニナルトスレバ、四箇年間試掘稅ヲ納メテ、サウシテ其ノ期間ニ色々ノ事情ノ爲ニ採掘出来ナイ者ハ試掘權ヲ失フ、ソレデハ試掘獎勵モ出来ズ、今日試掘權ヲヤラウニモ試掘權ヲヤラウニモ商工當局ハ此ノ事情ハ酸イ程知ツテ居ラレ、商工當局アリマス、ソレコデ試掘權ヲヤラウニモ

○森田委員 サウ云フ趣旨ノコトハ何時カノ礦業稅ノ委員會ノ時ニモアツタカモ知ラズ、ソレハ私ハ見テ居リマス、ソレガ若シサウ云フ方法ヲ御採リニナルトスレバ、四箇年間試掘稅ヲ納メテ、サウシテ其ノ期間ニ色々ノ事情ノ爲ニ採掘出来ナイ者ハ試掘權ヲ失フ、ソレデハ試掘獎勵モ出来ズ、今日試掘權ヲヤラウニモ試掘權ヲヤラウニモ商工當局ハ此ノ事情ハ酸イ程知ツテ居ラレ、商工當局アリマス、ソレコデ試掘權ヲヤラウニモ

○森田委員 サウ云フ趣旨ノコトハ何時カノ礦業稅ノ委員會ノ時ニモアツタカモ知ラズ、ソレハ私ハ見テ居リマス、ソレガ若シサウ云フ方法ヲ御採リニナルトスレバ、四箇年間試掘稅ヲ納メテ、サウシテ其ノ期間ニ色々ノ事情ノ爲ニ採掘出来ナイ者ハ試掘權ヲ失フ、ソレデハ試掘獎勵モ出来ズ、今日試掘權ヲヤラウニモ試掘權ヲヤラウニモ商工當局ハ此ノ事情ハ酸イ程知ツテ居ラレ、商工當局アリマス、ソレコデ試掘權ヲヤラウニモ

○森田委員 サウ云フ趣旨ノコトハ何時カノ礦業稅ノ委員會ノ時ニモアツタカモ知ラズ、ソレハ私ハ見テ居リマス、ソレガ若シサウ云フ方法ヲ御採リニナルトスレバ、四箇年間試掘稅ヲ納メテ、サウシテ其ノ期間ニ色々ノ事情ノ爲ニ採掘出来ナイ者ハ試掘權ヲ失フ、ソレデハ試掘獎勵モ出来ズ、今日試掘權ヲヤラウニモ試掘權ヲヤラウニモ商工當局ハ此ノ事情ハ酸イ程知ツテ居ラレ、商工當局アリマス、ソレコデ試掘權ヲヤラウニモ

○森田委員 サウ云フ趣旨ノコトハ何時カノ礦業稅ノ委員會ノ時ニモアツタカモ知ラズ、ソレハ私ハ見テ居リマス、ソレガ若シサウ云フ方法ヲ御採リニナルトスレバ、四箇年間試掘稅ヲ納メテ、サウシテ其ノ期間ニ色々ノ事情ノ爲ニ採掘出来ナイ者ハ試掘權ヲ失フ、ソレデハ試掘獎勵モ出来ズ、今日試掘權ヲヤラウニモ試掘權ヲヤラウニモ商工當局ハ此ノ事情ハ酸イ程知ツテ居ラレ、商工當局アリマス、ソレコデ試掘權ヲヤラウニモ

○森田委員 サウ云フ趣旨ノコトハ何時カノ礦業稅ノ委員會ノ時ニモアツタカモ知ラズ、ソレハ私ハ見テ居リマス、ソレガ若シサウ云フ方法ヲ御採リニナルトスレバ、四箇年間試掘稅ヲ納メテ、サウシテ其ノ期間ニ色々ノ事情ノ爲ニ採掘出来ナイ者ハ試掘權ヲ失フ、ソレデハ試掘獎勵モ出来ズ、今日試掘權ヲヤラウニモ試掘權ヲヤラウニモ商工當局ハ此ノ事情ハ酸イ程知ツテ居ラレ、商工當局アリマス、ソレコデ試掘權ヲヤラウニモ

○森田委員 サウ云フ趣旨ノコトハ何時カノ礦業稅ノ委員會ノ時ニモアツタカモ知ラズ、ソレハ私ハ見テ居リマス、ソレガ若シサウ云フ方法ヲ御採リニナルトスレバ、四箇年間試掘稅ヲ納メテ、サウシテ其ノ期間ニ色々ノ事情ノ爲ニ採掘出来ナイ者ハ試掘權ヲ失フ、ソレデハ試掘獎勵モ出来ズ、今日試掘權ヲヤラウニモ試掘權ヲヤラウニモ商工當局ハ此ノ事情ハ酸イ程知ツテ居ラレ、商工當局アリマス、ソレコデ試掘權ヲヤラウニモ

マ、ソレカラ現地ニ居テ明瞭ニ其ノ方
ヲ擔任スル理事トカ取締役、是ハモウ百三
條ノ規定ガ掛ツテ居リマス、本社トカ其ノ
他ニアツテ知ラナイ重役ガ之ニ掛リハシナ
イカト云フヤウナ御質疑ト思ヒマスガ、是
ハ代表取締役アラウガ社長アラウガ、
當該事務ノ分擔者デナイ限リハ責任ハ參リ
マセズ、當該事務ノ分擔者テ居ラレバ、
東京ニ居ラレテモ行クコトガアルカモ知レ
ヌ、斯ウ云フコトヲ御諒承願ヒタイト思ヒ
マス、尙ホ礦業警察規則ニ於キマシテハ、
鑛山保安ノ點ニ關シマシテ技術管理者ト云
フノガ大抵居リマス、其ノ技術管理者ガ全
責任ヲ負フコトニナツテ居リマス、ノデ刑
事責任モ亦技術管理者ガ全部負フ建前ニナ
ツテ居リマス、此ノ點ハ舊法ト變リアリマ
セヌ

一端トシテ衆議院カラ代表者ガ出テ居リ
マス、貴族院カラモ代表者ガ出テ居リマス
ト言ツテモ、實際ハ斯ウ云フコトデ、ソレ
等ノ代表者ハ殆ド之ニ參畫スルコトナク
出來上ツテシマフ、ダカラ私ハ此ノ點ハ特
ニ當局ニ申上ゲテ置ク、多クハ出テ居ナイ、
幸ニ諸君ノ邪魔ニナル程ハ出テ居ラス、小
人數ナシカラ、皆集メテ、サウシテ斯ウ
云フ重要ナ時ニハ協議ヲシテ貰ウテ宜イ
デハナイカ、強ヒル譯デハナイ、急ガシイ
ノダカラ別ニ出テ行キタイコトハナイガ、
唯一年ニ一回ヤツテ、其ノ日ニ差支ガアツ
テ行ケナカウツト云フ時ニハモウ決ツテシ
マフト云フヤウナ状態デアルルガ、モウ少
シ御親切ニ扱ハレタイト云フコトヲ申上ゲ
テ、私ノ質問ハ何レ先ニ行ツテ試掘權ノ問
題ガ出タ時申上ゲタイト思ヒマス、是デ私
ハ終リマス

イト云フヤウナ所ノ方面ノ人ガ非常ニ此ノ
四年間デハ無理デヤナイカト云フヤウナ考
ヲ起スノデアリマス、サウ云フコトニ付キ
マシテ商工省ノ方デハドウ云フ風ナコトヲ
御考ニナツテ居ルカ、御説明願ヒタイト思
ヒマス

ノ點ハ相當重要ナ問題ト存ジマス、現在
ノ鑛物ノ價格ト申シマシテモ、其ノ鑛物ノ
種類、ソレカラ埋藏状態等ニ依リマシテ一
様デハゴザイマセヌノデ、鑛物ノ價格程、
適正價格ト申シマスカサウ云フモノヲ定メ
ルノ困難ナモノハナイヤウニ實ハ私モ考
ヘマス、ソコデ或ル程度ノ目途ヲ置イテ、
ソレガ概ニ適正價格デアラウト云フヤウナ
判斷ガ出來レバ、ソレヲ適正價格トスルヨ
リ外非常ニ困難デヤナイカ、例ヘバ工場生
産ニ於キマシテハ原料ノ問題カラ或ハ其ノ
他ノ加工賃、税、償却等ヲ加ヘマシテ、一
定ノ率デ運轉シテ行クコトガ出來ルノデア
リマス、鑛山ノ方ハ品位ガドンク、變ルト
カ、或ハ鑛床ノ状態ガ變ルトカ、水ガ出ル
トカ、瓦斯ガ出ルトカ云フヤウナコトガ起
リマスノデ、其ノ點ハ非常ニ難カシイ問題
ダト思ツテ居リマス、現在各鑛物ニ付テノ
ソレレノ公定價格、或ハ協定價格ト云フ
ヤウナモノガアルト存ジマスガ、之ニ付テ
ハ十分考ヘル必要ガアルト存ジマス、一
ニ是ガ安過ギル、或ハ十分デアルト云フヤ
ウナコトハ一寸マダ申上ゲラレマセヌ

○森田委員 ソレカラ尙ホ砂鑛法ニ付テハ
昨年カラ私等ハ屢々出シテ下サイト言ツテ
居ツタノデアリマシテ、今回御出シニナツ
タノデスカラ別ニ質問ハゴザイマセヌ、是
ハ結構ナコトデアリ、當然ナコトデアルト
考ヘマス、ソレカラ商工省ノ中ニアル鑛業
法ノ改正調査委員會ノ問題デアリマス
ガ、是ハ特別委員會ト云フモノハ十數回
御開キニナツタノデスカ、所ガ他ノ委
員ハ「オプゼーバート」シテ出ヨウト思ヘバ
出テ來テモ宜イト云フ通知ガアルケレド
モ、マカカ傍聴ニダケ、恰好ノ惡イ、誰モ出
テ行ク者ハナイト思フ、來テモ宜イト云フ
ヤウナコトニスルヨリモ、特別委員デナク
他ノ委員モ二度ニ度トカ三度ニ度ハ呼
ンデ協議ヲシタラモツト廣イ意味ノ調査ガ
出來ルノデアリナイカト思フノデスカ、唯單ニ
議會デ法律ヲ通ス爲ノ「カムフラージュ」ノ

○櫻井委員 鶴巻市君
私ハ極々簡單ニ御質問申上ゲマ
ス、鑛業法ノ三十三條ノ二ヲ今度削除サレ
ルコトニナリマシテ、從來試掘權者ガ二箇
年後ニハ優先的ニ又繼續スルコトガ出來得
タノデアリカラ、其ノ氣候、風土ノ變ル所
ノ鑛業權者ガチツトモ不安ハアリマセヌ
デシタガ、之ヲ今度四年ニ延長サレマシテ、
全國一律ニ此ノ法ヲ施行サレル風ニナリマ
スレバ、例ヘバ北海道トカ樺太トカ東北方
面ノ非常ニ寒イ場所、斯ウ云フ所ガ一律ニ此
ノ法ヲ適用ヲ受ケルコトニナリマスレバ、
寒イ方面ハ局長サンモ御存ジノ通りニ恐ラ
ク半年以上ハ雪ノ爲ニ仕事ガ出來ナイ、ソ
レデ先ツ三百六十五日試掘、探掘ヲ爲シ得
ラレル所ノ人ニ反シテ、斯ウ云フ風ニ雪ノ
多イ一箇年ノ内、殆ド半分モ仕事ノ出來ナ

○小金政府委員 政府ガ隨分力ヲ入レテ居
ル割合ニ鑛産物ノ產出狀況ガ不振デア
ル理由ハ價格ノ不引合モ有力デアルト思
フト云フヤウナ御説デアリマシタガ、價格
ノ引合ハハ又別ニ考ヘナケレバイカスト思
ヒマス

○長野委員 御尤モノコトニ存ジマスガ、
ソレダケノ御説明デ諒承シマシタ、然ルニ
此ノ事業ハ我國ノ財政ノ根本ニ關スル重大
問題デアリマシテ、殊ニ我國ガ大陸方面ニ
大發展ヲ爲サナケレバナラス此ノ機運ニ於
テ、一層我國ノ産金鑛業ノ發展ヲ要求スル
所ガ大デアルト思ヒマス、此ノ意味カラシ
マシテ先ツ考ヘテ見マスルニ、我國ノ金ノ
埋藏量ト云フモノハ決シテ貧弱ナモノデハ
ナイ、是ハ私ハ確ニ外國ニ誇ルベキ量ヲ
持ツテ居ルモノト確信スルノデアリマス、
唯問題ハ之ヲ如何ニシテ開發スルカト云フ
コトニアルト存ジマス、之ニ付テ現在ノヤ
リ方ニ於テ尙ホ改善ヲ考テ見マスナラバ、
意外ニ良イ實績ヲ示シ得ルト思ハレル點ガ
多クアルヤウニ思ヒマス、之ニ付テノ私ハ
茲ニ數箇條ヲ舉ゲテ見マス、之ニ付テノ私ハ
ラ、商工大臣トシマシテモ御差支ノナイ範
圍内ニ於テ御見解ヲ述ベテ戴キ、又之ニ付テ
若シ御確信ヲ實行ノ上ニ現ハレ得ル點ガア
リマシタラバ、ソレヲモ併セテ御言明戴
ケレバ結構ト思ヒマス

セマシタ所ノ事業計畫ノ遂行ニ付キマシテ
ハ、嚴格ナ注意ヲ致シテ居リマス、殊ニ一
定ノ割當テラレタダケノ産額ヲ實現スル爲
ニハ、坑内ニ値上リヲ待ツテ良イ鑛石ヲ保
存シテ置クコトカ、或ハ比較的富饒デアルト
云フヤウナ部分ハ知ラヌ額ヲシテ掘ラズニ
置クコト云フヤウナコトハ、昔ハイザ知ラズ
最近ハモウサウ云フコトガ出來マセヌ、或
山ノ如キハ大體割當テラレタ産額ヲ實現セ
シメル爲ニ寧ロ良イ所ヲ掘掘シテ居ルト云
フヤウナ實情デアリマス、彼此レ近イ將來
ノコトヲ考ヘマシテモ、民間ノ協力ニ依ツ
テ試掘ヲ實現シテ、何トカモウ少シ鑛物ノ
存在状態ヲ知ツテ、計畫的開發ノ基礎ヲ作
ラナイト相當ナ問題ニ達スル、斯ウ云フ
風ニ考ヘテ居リマス、鶴巻市ノ仰セニナリ
マシタ値上リヲ待ツテ坑内ニ鑛石ヲ貯藏シ
テ置クコト云フヤウナコトハ、今ノ所デハ全
クナイト存ジマス、殊ニ最近増産實現ヲ督
勵スル爲ニ調査ニ廻ラセマシタガ、全クサ
ウ云フ形跡ハゴザイマセヌ

ト農林省トハ密接ナ關係ヲ持ツテモウ少シ
此ノ資料ノ配給ナドニ便宜ヲ圖ツテ戴カ
イト、資料ニ迷惑ヲシテ作業上ニ困難ヲス
ルコトガ多カラウト存ジマス、又、カーバ
イトノ如キニ致シマシテモ、坑内作業ハ
中々暗イ所デヤルノデアリマスカラ、先ツ
「カーバイト」ガ必要デアアルガ、最近此ノ
「カーバイト」ヲ求めントスレバ電力不足ノ爲
ニ、カーバイトガナイ、ソレヲ強ヒテ求メン
トスレバ、カーバイト一噸ガ三圓九十錢位
ノ公定價格ノモノガ三十四圓或ハ四十四、五十
圓、甚シキ時ハ百圓モ出サナケレバ得ラレ
イト云フ状態デアリマス、サウ云フ風ニ必要ナ
ル資料ニ對シテハ、今後ドウ云フ風ニ必要ナ
置クコト云フヤウナコトデアリマス、御同致シマス
○小金政府委員 試掘デモ探掘デモ資料ガ
足ラナイデ困ル、技術者ガ足ラナイカラ何
トカシテ與レト云フヤウナ御要求ガアル方
ガ實ハ非常ニ吾等トシテハ頼モシイノデア
リマス、唯鶴巻サンガ御指摘ニナリマシタ
通り、十分ニ資料ヲ差上ゲルコトトカ、或
ハ急速ニ右カラ左ニ資料ヲ配給スルコトガ
出來ナカウツコトハ相當アルト存ジマス、此
ノ點ハ甚ダ遺憾デゴザイマスガ、今後ノ鑛山
ノ開發ニ付キマシテハ、企業院ノ方トモ今折衝
中デアリマスガ、鑛山用資料ニ付キマシテハ格
別ノ考慮ヲ拂ハメタイト存スル次第デア
リマス、今御指摘ニナリマシタ資料ノ中坑木ノ
問題ガアリマスガ、御説ノ通りデアリマシテ、
坑木ガ足ラナイト坑内作業ガ十分進シテ
行カナイト云フコトハ尤モデアリマス、此
ノ坑木ノ問題ニ付キマシテハ、昨年ノ秋農
林省ニ於テ坑木ヲ確保スル爲ニ儘力省令ヲ
出シテ居ルコトト思ヒマス、併シナガラ一片
ノ農林省ノ省令デハ、満足スベキモノデモ

ナク、機會アル毎ニ只今仰セニナリマシタヤ
ウニ、農林省ト能ク連繫ヲ執リマシテ、眞
ニ必要アリトシテ御要求ノアル分ニ對シテ
ハ、出來ルダケノ配給ヲ確保シタイト具體
的ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ「カーバ
イト」ニ付キマシテハ御指摘ニナリマシタヤ
ウニ、一時非常ニ不足ヲ苦ゲマシタ、是ハ
色々ノ原因ガアツタヤウデアリマスガ、特
別ノ處置ヲ鑛山局ニ於テ講ジマシテ、配給
ノ方ハ化學局ノ方デヤツテ居リマスガ、鑛
山ニ付キマシテハ殆ド他ノ部門ト比較スル
ト問題ニナラヌ程供給シタ實績ヲ持ツテ居
リマス、併シテ是トモ十分デナイ、其ノ爲ニ
只今御指摘ニナリマシタヤウナ間相場ガ出
タカト思ヒマスガ、此ノ「カーバイト」ノ配
給ニ付キマシテモ具體的ニ十分注意致シマ
ス、尙ホ地下足袋トカ其ノ他色々ノ鑛山用
ノ資料不足ノ爲ニ鑛夫ガ働ケナクナツタト
カ、山ノ能率ガ落ちタト云フヤウナコトモ
アルヤウデアリマス

○櫻井委員 鶴巻市君一寸御諒解ヲ願ヒタ
イノデスカ、長野君ガ商工大臣ニ要求シテ
居ラレマシタ、色々大臣ノ御都合モアリマ
シテ延ビテ居リマシタ、今見エマシタカラ
此ノ場合姑ク長野君ノ御説ヲ願ヒタイト
思ヒマス——長野長官君

○鶴巻委員 ソレカラ増産ニ付テ御同致シマ
ス、坑内作業ニ最モ必要デアアル所ノ「カー
バイト」或ハ坑木デアリマスガ、坑木ナド
ハ最近材木ノ統制ノ爲ニ殆ド坑木ノ價格ガ
立木ヨリモ安イ状態デアリマシテ、其ノ爲
ニ坑木ガドウシテモ出ナイ、ソレデ一番坑
内作業ニ必要デアアル坑木資料ニ業者ハ非常
ニ困難シテ居ルヤウデアリマス、今農林省
方面デハ立木ヲ伐ルコトニモ一々係官ガ出
張致シマシテ立木ニ番號ヲ打ツ、サウシテ
ソレヲ出セバ途中ニ係官ガ待ツテ居ツテ一々
ツレヲ寸法ヲ計ルト云フヤウナコトデ中々
手数ガ困難ノヤウデアリマス、今日ノ如
ク至急ニ増産ヲ必要トスル場合ニハ商工省

○櫻井委員 鶴巻市君一寸御諒解ヲ願ヒタ
イノデスカ、長野君ガ商工大臣ニ要求シテ
居ラレマシタ、色々大臣ノ御都合モアリマ
シテ延ビテ居リマシタ、今見エマシタカラ
此ノ場合姑ク長野君ノ御説ヲ願ヒタイト
思ヒマス——長野長官君

○長野委員 長野長官君
私ハ産金事業ニ付テ商工大臣
ニ御答辯ヲ煩シタイト思ヒマス、我國ノ金
鑛業ハ昨年マデノ政府ノ各般ノ政策ニ依リ
マスナラバ、相當ニ増産ノ跡ヲ示シテ居
ケレバナラヌ管デアリマス、然ルニ實際ハ
其ノ吾等ノ豫想通りノ途ヲ辿ツテ居ラヌデ
ハナイカト想像シテ居ルノデアリマス、或
ハ是ハ數字等ニ付テハ御都合ガ惡イト思ヒ
マスガ、大體デ宜シウゴザイマス、如何ナ

○長野委員 御尤モノコトニ存ジマスガ、
ソレダケノ御説明デ諒承シマシタ、然ルニ
此ノ事業ハ我國ノ財政ノ根本ニ關スル重大
問題デアリマシテ、殊ニ我國ガ大陸方面ニ
大發展ヲ爲サナケレバナラス此ノ機運ニ於
テ、一層我國ノ産金鑛業ノ發展ヲ要求スル
所ガ大デアルト思ヒマス、此ノ意味カラシ
マシテ先ツ考ヘテ見マスルニ、我國ノ金ノ
埋藏量ト云フモノハ決シテ貧弱ナモノデハ
ナイ、是ハ私ハ確ニ外國ニ誇ルベキ量ヲ
持ツテ居ルモノト確信スルノデアリマス、
唯問題ハ之ヲ如何ニシテ開發スルカト云フ
コトニアルト存ジマス、之ニ付テ現在ノヤ
リ方ニ於テ尙ホ改善ヲ考テ見マスナラバ、
意外ニ良イ實績ヲ示シ得ルト思ハレル點ガ
多クアルヤウニ思ヒマス、之ニ付テノ私ハ
茲ニ數箇條ヲ舉ゲテ見マス、之ニ付テノ私ハ
ラ、商工大臣トシマシテモ御差支ノナイ範
圍内ニ於テ御見解ヲ述ベテ戴キ、又之ニ付テ
若シ御確信ヲ實行ノ上ニ現ハレ得ル點ガア
リマシタラバ、ソレヲモ併セテ御言明戴
ケレバ結構ト思ヒマス

第六類第六號 礦業法中改正法律案外一件委員會議錄 第五回 昭和十五年三月二日

○長野委員 長野長官君
私ハ産金事業ニ付テ商工大臣
ニ御答辯ヲ煩シタイト思ヒマス、我國ノ金
鑛業ハ昨年マデノ政府ノ各般ノ政策ニ依リ
マスナラバ、相當ニ増産ノ跡ヲ示シテ居
ケレバナラヌ管デアリマス、然ルニ實際ハ
其ノ吾等ノ豫想通りノ途ヲ辿ツテ居ラヌデ
ハナイカト想像シテ居ルノデアリマス、或
ハ是ハ數字等ニ付テハ御都合ガ惡イト思ヒ
マスガ、大體デ宜シウゴザイマス、如何ナ

マ、ソレカラ現地ニ居ツテ明瞭ニ其ノ方
ヲ擔任スル理事トカ取締役、是ハモウ百三
條ノ規定ガ掛ツテ居リマス、本社トカ其ノ
他ニアツテ知ラナイ重役ガ之ニ掛リハシナ
イカト云フヤウナ御質疑ト思ヒマスガ、是
ハ代表取締役デアラウガ、社長デアラウガ、
當該事務ノ分擔者デナイ限リハ責任ハ參リ
マセス、當該事務ヲ分擔シテ居ラレバ、
東京ニ居ラレテモ行クコトガアルカモ知レ
ヌ、斯ウ云フコトヲ御諒願ヒタイト思ヒ
マス、尙ホ礦業警察規則ニ於キマシテハ、
鑛山保安ノ點ニ關シマシテ技術管理者ト云
フノガ大抵居リマス、其ノ技術管理者ガ全
責任ヲ負フコトニナツテ居リマスルノデ刑
事責任モ亦技術管理者ガ全部負フ建前ニナ
ツテ居リマス、此ノ點ハ舊法ト變リアリマ
セヌ

○森田委員 ソレカラ尙ホ砂鑛法ニ付テハ
昨年カラ私等ハ屢々出シテ下サイト言ツテ
居ツタノデアリマシテ、今回御出シニナツ
タノデスカラ別ニ質問ハゴザイマセヌ、是
ハ結構ナコトデアリ、當然ナコトデアルト
考ヘマス、ソレカラ商工省ノ中ニアル鑛業
法ノ改正調査委員會ノ問題デアリマス
ガ、是ハ特別委員會ト云フモノハ十數回
御開キニナツタノデスカ、所ガ他ノ委
員ハ「オブザーバー」トシテ出オウト思ヘバ
出テ來テモ宜イト云フ通知ガアルケレド
モ、マサカ傍聴ニダケ、恰好ノ惡イ、誰モ出
テ行ク者ハナイト思フ、來テモ宜イト云フ
ヤウナコトニスルヨリモ、特別委員デナク
他ノ委員モ一度ニ度トカ三度ニ度ハ呼
ンデ協議シタラモウト廣イ意味ノ調査ガ
出來ルノデハナイカト思フノデスカ、唯單ニ
議會デ法律ヲ通ス爲ノ「カムフラージュ」ノ

一端トシテ衆議院カラモ代表者ガ出テ居リ
マス、貴族院カラモ代表者ガ出テ居リマス
ト言ツテモ、實際ハ斯ウ云フコトデ、ソレ
等ノ代表者ハ殆ド之ニ參畫スルコトナク
出來上ツテシマフ、ダカラ私ハ此ノ點ハ特
ニ當局ニ申上ゲテ置ク、多クハ出テ居ナイ、
幸ニ諸君ノ邪魔ニナル程ハ出テ居ラス、小
人數ナシカラ、皆集メテ、サウシテ斯ウ
云フ重要ナ時ニハ協議ヲシテ貰ウテ宜イ
デハナイカ、強ヒル譯デハナイ、急ガシイ
ノダカラ別ニ出テ行キタイコトハナイガ、
唯一年ニ一回ヤツテ、其ノ日ニ差支ガアツ
テ行ケナカワツト云フ時ニハモウ決ツテシ
マフト云フヤウナ状態デアアルガ、モウ少
シ御親切ニ扱ハレタイト云フコトヲ申上ゲ
テ、私ノ質問ハ何レ先ニ行ツテ試掘權ノ問
題ガ出タ時申上ゲタイト思ヒマス、是デ私
ハ終リマス

○櫻井委員 鶴巻市君
○鶴巻委員 私ハ極ク簡單ニ御質問申上ゲマ
ス、鑛業法ノ三十三條ニテ今度削除サレ
ルコトニナリマシテ、從來試掘權者ガ二箇
年後ニハ優先的ニ又繼續スルコトガ出來得
タノデアラカ、其ノ氣候、風土ノ變リ所
ノ鑛業權者ガテットモ不安ハアリマセヌ
デシタガ、之ヲ今度四年ニ延長サレマシテ、
全國一律ニ此ノ法ヲ施行サレル風ニナリマ
スレバ、例ヘバ北海道トカ樺太トカ東北方
面ノ非常ニ寒イ場所、斯ウ云フ所ガ一律ニ此
ノ法ヲ適用ヲ受ケルコトニナリマスレバ、
寒イ方面ハ局長サンモ御存ジナリマシテ、恐ラ
ク半年以上ハ雪ノ爲ニ仕事ガ出來ナイ、ソ
レデ先づ三百六十五日試掘、探鑛ヲ爲シ得
ラレル所ノ人ニ反シテ、斯ウ云フ風ニ雪ノ
多イ一箇年ノ内、殆ド半分モ仕事ノ出來ナ
イト云フヤウナ所ノ方面ノ人ガ非常ニ此ノ
四年間デハ無理チヤナイカト云フヤウナ考
ヲ起スノデアリマス、サウ云フコトニ付キ
マシテ商工省ノ方デハドウ云フ風ナコトヲ
御考ニナツテ居ルカ、御説明願ヒタイト思
ヒマス

○小金政府委員 氣候、風土其ノ他天然ノ
狀況ニ付キマシテハ十分考慮シタノデゴザ
イマシテ、唯或ル地方ハ斯ウ云フ取扱ヲ
シ、他ノ地方ハ是ト異ツテ取扱アルト云
フコトハ非常ニ困難デゴザイマス、ソコデ
我國ノ鑛業法デハ鑛區ノ坪數ハ百万坪以下
ニ制限シテ居ルコト云フ點ト、ソレカラ一
年中ニ三箇月トカ、四箇月トカ雪ニ掩ハレ
テ居ルコト云フヤウナ地方大體標準ニ致シ
マシテ、四年間ト云フコトヲ定メタノデア
リマス、尙ホ特ニ天變地異デモアリマシタ
場合ハ是ハ又別ニ考ヘテケレバイカスト思
ヒマス

○鶴巻委員 ソレカラ鑛産物ノ開發ニ付テハ
政府ハ隨分有ユル力ヲ注イデ居ラレルヤウ
デアリマスガ、此ノ政府ノ力ヲ入レラレル
割合ニ我國ノ鑛産物ノ増産ガ出來ナイト云
フ理由ハ色々アリマセウガ、私ハ現在世間
デ色々噂サレテ居ル所ノ話ヲ聞キマスレバ
鑛産物ガ現在ノ價格デハ引合ハナイ、現在
ノ價格デハ引合ハナイカラ其ノ爲ニ増産率
ガ非常ニ少イト云フヤウナコトヲ聞イテ居
リマスガ、局長ハ此ノ現在ノ鑛産物ノ價格
ガ適正デアアルカト云フコトヲ御認ニナツテ
居リマスガ

ノ點ハ相當重要ナ問題ト存ジマス、現在
ノ鑛物ノ價格ト申シマシテモ、其ノ鑛物ノ
種類、ソレカラ埋藏状態等ニ依リマシテ一
様デハゴザイマセヌノデ、鑛物ノ價格程、
適正價格ト申シマスカサウ云フモノヲ定メ
ルノニ困難ナモノハナイヤウニ實ハ私モ考
ヘマス、ソコデ或ル程度ノ目途ヲ置イテ、
ソレガ概ニ適正價格デアラウト云フヤウナ
判斷ガ出來レバ、ソレヲ適正價格トスルヨ
リ外非常ニ困難チヤナイカ、例ヘバ工場生
産ニ於キマシテハ原料ノ問題カラ或ハ其ノ
他ノ加工賃、税、償却等ヲ加ヘマシテ、一
定ノ率デ運轉シテ行クコトガ出來ルノデア
リマス、鑛山ノ方ハ品位ガドン／＼變ルト
カ、或ハ鑛床ノ状態ガ變ルトカ、水ガ出ル
トカ、瓦斯ガ出ルトカ云フヤウナコトガ起
リマスノデ、其ノ點ハ非常ニ難カシイ問題
ダト思ツテ居リマス、現在各鑛物ニ付テノ
ソレ／＼ノ公定價格、或ハ協定價格ト云フ
ヤウナモノガアルト存ジマスガ、之ニ付テ
ハ十分考ヘル必要ガアルト存ジマス、一
ニ是ガ安過ギル、或ハ十分デアルト云フヤ
ウナコトハ一寸マダ申上ゲラレマセヌ

○鶴巻委員 現在營業者ノ方デハドウモ今ノ
値段デハ引合ハナイカラモウ少シ値段デモ
高クナルナラバ出サウト云フ具合デ、良イ
所ノ鑛物ヲ坑内ニ貯藏シテ置イテソレヲ出
サナイト云フヤウナ噂モ聞クノデアリマス、
サウ云フ風ナコトニ付テ役所トシテハ御取
調ニナツタコトガゴザイマスガ

セマシク所ノ事業計畫ノ遂行ニ付キマシテ
ハ、嚴格ナ注意ヲ致シテ居リマス、殊ニ一
定ノ割當テラレタケノ産額ヲ實現スル爲
ニハ、坑内ニ値上リヲ待ツテ良イ鑛石ヲ保
存シテ置クトカ、或ハ比較的富鑛デアルト
云フヤウナ部分ハ知ラヌ種ヲシテ掘ラズニ
置タト云フヤウナコトハ、昔ハイザ知ラズ
最近ハモウサウ云フコトガ出來マセヌ、或
山ノ如キハ大體割當テラレタ産額ヲ實現セ
シメル爲ニ寧ロ良イ所ヲ掘掘シテ居ルト云
フヤウナ實情デアリマス、彼此レ近イ將來
ノコトヲ考ヘマシテモ、民間ノ協力ニ依ツ
テ試掘ヲ實現シテ、何トカモウ少シ鑛物ノ
存在状態ヲ知ツテ、計畫的開發ノ基礎ヲ作
ラナイト相當ナ問題ニ達スル、斯ウ云フ
風ニ考ヘテ居リマス、鶴巻市ノ御セニナリ
マシタ値上リヲ待ツテ坑内ニ鑛石ヲ貯藏シ
テ置クト云フヤウナコトハ、今ノ所デハ全
クナイト存ジマス、殊ニ最近増産實現ヲ督
勵スル爲ニ調査ニ廻ラセマシタガ、全クサ
ウ云フ形跡ハゴザイマセヌ

ト農林省トハ密接ナ關係ヲ持テモウ少シ
此ノ資料ノ配給ナドニ便宜ヲ圖ツテ裁カ
イト、資料ニ迷惑ヲシテ作業上ニ困難ヲ
ルコトガ多カラウト存ジマス、又「カー
イト」ノ如キニ致シマシテモ、坑内作業ハ
中々暗イ所デアリマス、先ツ
「カーバイト」ガ必要デアアルガ、最近此ノ
「カーバイト」ヲ求メントスレバ電力不足ノ爲
ニ「カーバイト」ガナイ、ソレヲ強ヒテ求メン
トスレバ「カーバイト」一箇ガ三圓九十錢位
ノ公定價格ノモノガ三圓或ハ四圓、五十
圓、甚シキ時ハ百圓モ出サナケレバ得ラレ
イト云フ状態デアリマス、サウ云フ風ニ必要ナ
ル資料ニ對シテハ、今後ドウ云フ風ニ必要ナ
置テ執ラントスルノデアラカ、御同致シマス
○小金政府委員 試掘モ探掘モ資料ガ
足ラナイデ困ル、技術者ガ足ラナイカラ何
トカシテ與レト云フヤウナ御要求ガアル方
ガ實ハ非常ニ吾々トシテハ頼モシイノデア
リマス、唯鶴巻サンガ今御指摘ニナリマシタ
通り、十分ニ資料ヲ差上ゲルコトトカ、或
ハ急速ニ右カラ左ニ資料ヲ配給スルコトガ
出來ナカワツトハ相當アルト存ジマス、此
ノ點ハ甚ダ遺憾デゴザイマスガ、今後ノ鑛山
ノ開發ニ付キマシテハ金鑛院ノ方トモ今折衝
中デアリマスガ、鑛山用資料ニ付キマシテハ格
別ノ考慮ヲ施ハセタイト存スルマシテハ格
別ノ考慮ヲ施ハセタイト存スルマシテハ格
別ノ考慮ヲ施ハセタイト存スルマシテハ格
別ノ考慮ヲ施ハセタイト存スルマシテハ格

ナク、機會アル毎ニ只今御セニナリマシタヤ
ウニ、農林省ト能ク連絡ヲ執リマシテ、眞
ニ必要アリトシテ御要求ノアル分ニ對シテ
ハ、出來ルダケノ配給ヲ確保シタイト具體
的ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ「カーバ
イト」ニ付キマシテハ御指摘ニナリマシタヤ
ウニ、一時非常ニ不足ヲ告ゲマシタ、是ハ
色々ノ原因ガアツタヤウデアリマスガ、特
別ノ處置ヲ鑛山局ニ於テ講ジマシテ、配給
ノ方ハ化學局ノ方デヤツテ居リマスガ、鑛
山ニ付キマシテハ殆ド他ノ部門ト比較スル
ト問題ニナラヌ程供給シタ實績ヲ持ツテ居
リマス、併シ是トモ十分デナイ、其ノ爲ニ
只今御指摘ニナリマシタヤウナ御相場ガ出
タカト思ヒマスガ、此ノ「カーバイト」ノ配
給ニ付キマシテモ具體的ニ十分注意致シマ
ス、尙ホ地下足袋トカ其ノ他色々ノ鑛山用
ノ資料不足ノ爲ニ鑛夫ガ働ケナクナツタト
カ、山ノ能率ガ落ちタト云フヤウナコトモ
アルヤウデアリマス

○櫻井委員 鶴巻市君
○鶴巻委員 長野君ガ商工大臣ニ要求シテ
イノデスカ、長野君ガ商工大臣ニ要求シテ
居ラレマシタ、色々大臣ノ御都合モアリマ
シテ延ビテ居リマシタ、今見エマシタカラ
此ノ場合姑ク長野君ニ御譲リヲ願ヒタイト
思ヒマス——長野市長君
○長野委員 私ハ産金事業ニ付テ商工大臣
ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、我國ノ金
鑛業ハ昨年マデノ政府ノ各般ノ政策ニ依リ
マスナラバ、相當ニ増産ノ跡ヲ示シテ居
ケレバナラヌ筈デアリマス、然レニ實際ハ
其ノ吾々ノ豫想通りノ途ヲ辿ツテ居ラヌデ
ハナイカト想像シテ居ルノデアリマス、或
ハ是ハ數字等ニ付テハ御都合ガ惡イト思ヒ
マスガ、大體デ宜シウゴザイマス、如何ナ
ル經過ニアリマスガ

第六類第六號 鑛業法改正法律案外一件委員會議錄 第五回 昭和十五年三月二日

○鶴巻委員 ソレカラ増産ニ付テ御同致シマ
ス、坑内作業ニ最モ必要デアアル所ノ「カー
バイト」或ハ坑木デアリマスガ、坑木ナド
ハ最近材木ノ統制ノ爲ニ殆ド坑木ノ價格ガ
立木ヨリモ安イ状態デアリマシテ、其ノ爲
ニ坑木ガドウシテモ困ナイ、ソレデ一番坑
内作業ニ必要デアアル坑木資材ニ業者ハ非常
ニ困難シテ居ルヤウデアリマス、今農林省
方面デハ立木ヲ伐ルコトニモ一々係官ガ出
張致シマシテ立木ニ番號ヲ打ツ、サウシテ
ソレヲ出セバ途中ニ係官ガ待つテ居ツテ一々
手數ガ困難ノヤウデアリマス、今日ノ如
ク至急ニ増産ヲ必要トスル場合ニハ商工省

ノ點ハ相當重要ナ問題ト存ジマス、現在
ノ鑛物ノ價格ト申シマシテモ、其ノ鑛物ノ
種類、ソレカラ埋藏状態等ニ依リマシテ一
様デハゴザイマセヌノデ、鑛物ノ價格程、
適正價格ト申シマスカサウ云フモノヲ定メ
ルノニ困難ナモノハナイヤウニ實ハ私モ考
ヘマス、ソコデ或ル程度ノ目途ヲ置イテ、
ソレガ概ニ適正價格デアラウト云フヤウナ
判斷ガ出來レバ、ソレヲ適正價格トスルヨ
リ外非常ニ困難チヤナイカ、例ヘバ工場生
産ニ於キマシテハ原料ノ問題カラ或ハ其ノ
他ノ加工賃、税、償却等ヲ加ヘマシテ、一
定ノ率デ運轉シテ行クコトガ出來ルノデア
リマス、鑛山ノ方ハ品位ガドン／＼變ルト
カ、或ハ鑛床ノ状態ガ變ルトカ、水ガ出ル
トカ、瓦斯ガ出ルトカ云フヤウナコトガ起
リマスノデ、其ノ點ハ非常ニ難カシイ問題
ダト思ツテ居リマス、現在各鑛物ニ付テノ
ソレ／＼ノ公定價格、或ハ協定價格ト云フ
ヤウナモノガアルト存ジマスガ、之ニ付テ
ハ十分考ヘル必要ガアルト存ジマス、一
ニ是ガ安過ギル、或ハ十分デアルト云フヤ
ウナコトハ一寸マダ申上ゲラレマセヌ

○鶴巻委員 現在營業者ノ方デハドウモ今ノ
値段デハ引合ハナイカラモウ少シ値段デモ
高クナルナラバ出サウト云フ具合デ、良イ
所ノ鑛物ヲ坑内ニ貯藏シテ置イテソレヲ出
サナイト云フヤウナ噂モ聞クノデアリマス、
サウ云フ風ナコトニ付テ役所トシテハ御取
調ニナツタコトガゴザイマスガ

メルヤウニシナケレバナラス、所方其ノ中
小ノ金山ガ何故ニ十分ナル能率ヲ得ル
コトガ出来ナイカト云フコトヲ見テ見マス
ト、詰リ製鍊ト云フコトガ數箇ノ資本ニ依
ツテ行ハレテ居ル、隨テ中小金山ガ皆原鑛
ニ於キマシテハ「ガソリン」ノ關係等ヨリシ
マシテ、「トラック」ノ貨料ガ二倍三倍甚シ
キハ四五倍ニナツテ居ル、ソレカラ物資輸
送ノ關係カラ鐵道輸送ニ非常ナ支障ヲ生ズ
ル、隨テ倉敷其ノ他ノ特別ナ費用ヲ要スル
ト云フコトカシマシテ、只サハ引合ハズシ
テ、實績ト云フコトニ大ナル支障ヲ來スノミ
ナラス、事實ニ於テ其ノ鑛石ヲ製鍊所ガ引
受ケテ、品質ヲ査定検査スルニ於テモ、
相當賣價者ハ經濟的ニ劣位ナ立場ニアリマ
シ、事實上製鍊ノ設備ヲ持ナイ爲ニ、結
局其ノ分析査定ヲ其ノ儘存込マナケレバ
ナラス、又更ニ此ノ製鍊ノ料金ノ如キモノ
相當ニ高率アル、斯ノ如キコトカラシマ
シテ、事實上ソレ等運費、輸送ニ關スル包
裝、ソレカラ製鍊ノ料金、其ノ他此處ニ私
ハ俄ニ明言ハシマセケレドモ、其ノ他種
種ナル不利益ナル條件ノ下ニ、中小ノ金山
ト云フモノガ概々倒レテ行クモノガ少クナ
イ、獎勵金或ハ產金會社等ノ金融ヲ受ケ
シテモ、尙ホソレモ立チ行カナイ、斯ウ
云フコトノ跡ヲ見ルノデアリマス、隨ヒマ
シテ金山ヲ持テ大シテ儲カシテ居ラウト素
人ハ皆考ヘマス、又現ニ金山ヲ經營シテ
儲カルト專門家モサウ思ヒマス、所ガ愈、ヤ
ツテ見ルト大抵悉ク將倒レニ倒レテシマ
フ、其ノ原因ハ種々アリマセウケレドモ、
此ノ點ニモ相當アリハシナイカト考ヘルノ
デアリマス、就キマシテハ此ノ製鍊ト云フ

コトハ、之ヲ政府ニ於テ官營ニスルカ又ハ
官營ニ準ズルヤウナ手段デ、過渡的ナ方法
トシテヤルノモ宜シイ、要スルニ資本ニ依
ツテ此ノ大事ナ我が日本ノ財政ノ根本ニ關
係アル所ノ產金事業ヲ私セシメナイ、恰モ
煙草ハ農民百姓ガ作り、其ノ製造ハ嚴トシ
テ他ノ漏ラサナイヤウニシテ、之ヲ專賣局
所謂政府ガ直營スルト云フガ如キ意味ニ於
テ、商工省ガ乘出シマシテ、此ノ金ノ製鍊
國營ト云フコトヲオヤリニナル必要ガアリ
ハシナイカ、今一ツハ隣國ノ滿洲國ニシマ
シテモ支那ニ致シマシテモ、金ハ或ハ二
十五圓トカ四十圓トカシテ居ル、隨ヒマシ
テ其ノ方面ニ相當金ガ密輸セラレテ居ル、
所謂流レテ行クノハナイカト思フ、之ニ
付テハ色々聞キ込マヌデアリマセウガ、
ソレハ此處ニ述ベル範圍デハナイカラ申上
ゲマセウガ、是亦ヤハリ精選マデハ政府デ
ヤルトシテモ、製鍊マデノ仕事ヲ民間ニヤ
ラセルトシテモ、金ノ比較的多ク流レ出ル原因
ガアル、是モ亦併セテ考慮スル必要ガアリ
ハシナイカ、此ノ金ノ流出ヲ防グコト
ソレカラ第三ニ產金業者ノ製鍊ガ國家本位
ニ建直サレルト云フコトガ必要デアリナイカ、
是ハ先程鶴君カラモ御話ガアツタヤウデア
リマスガ、良質ノ鑛石ガ豐藏ヲセラレル、地
下千尺掘リマシテ、サウシテ或ル良イ鑛脈
ヲ捉ヘル、其ノ際金ハ近イ内ニ多分買上積
段ガ上ルデアラウ、斯ウ想像サレルトソレ
ダケハ掘ラズニ放ツテ置クコト云フコトハ、
是ハアリ得ルコトト考ヘタクハナイノデア
リマスケレドモ、人間世界ニハ、殊ニ金ト
云フモノハ人間ヲ惹ノ地ニ誘導スルモノ
デアリマスカラ、又ナキニシモアラズト考
ヘザルヲ得ナイ、此ノ點モ亦私ハ是レ以上

ハ申シマセウガ、是ダケ申上ゲルニ付テハ
私モ多少確實ナ材料ハ持つテ居リマスケレ
ドモ、是モ亦政策ノ上カラ考ヘナケレバナ
ラスノデアリナイカ、ソレカラ今一ツハ政府
ノ直接關係ヲシテ居リマス日本產金振興會
社、或ハ鑛業關係ノ帝國鑛業開發株式會社
斯ノ如キ政府關係ノ會社ヲシテ、一層徹底
的ニ活動サセルヤウニシテハドウデアルカ、
私ハソレガ必要デアリナイカト思フ、甚開
ハ色々ノ批評モアリマスケレドモ、私ハソ
レ等ノ批評ヲ取ツテ以テ批評スル價值ハナ
イト思フガ、須ク國ト致シマシテハ是等ノ
會社ニ向ツテ更ニ一層ノ資金ヲ與ヘ、人的
設備モモウ少シ充實ヲ致シマシテ、或ハ探
礦ノ指導ト云ヒ或ハ試掘採掘等ニ於ケル所
ノ指導ト云ヒ、少シ技術官ナドヲ十分此ノ
方面ニモ充實サセルト云フコトガ必要デア
ナイカ、此ノ意味ニ於テ政府ハ思切ツテ日
本產金振興會社、及ビ帝國鑛業開發株式會
社ノ擴充ヲセラレル御意思ハナイカ、之ニ
關聯シテ試掘年限ノ問題ハ深刻ナル當業者
ノ訴デアリマシテ、不平等アリマスケレド
モ、其ノ問題ハ後ニ廻シマスガ兎ニ角是等
ノ日本產金振興株式會社等ノ會社ニ十分ノ
資金及ビ人的設備ヲ充實致シマシテ、サウ
シテ是等ガ個人ノ到底及ビ得ザル部分マデ
親切ニ手ヲ加ヘ、サウシテ擇イ所ニ手ノ届
クヤウニ世話ヲシテヤルコトニ依ツテ、此
ノ問題ハ相當ニ當業者ヲシテ安心セシメル
ノデアリナイカト考ヘルノデアリマス

ソレカラ第四ニ精鍊、選鍊技術ノ改善問
題デアリマス、日本ノ現在ノ精鍊選鍊ハ西
洋式ニ依ツテ居リマスガ、段々日本ノ國
ニハ新發明ヲ爲ス者ガアルヤウデアリマス、
私ハ專門家デアリマセウガ、ソレ等ニ
良イモノガアルトカナイト云フコトハ此
處ニ申上ゲマセウケレドモ、色々商工當局
等ト私ハ相携ヘテ、是等ノ新發明ノ問題ニ
付テハ山ニモ行キ、事實モ見テ、調査研究
ヲシマシタガ、專門家モ皆舌ヲ捲イテ居ル
モノノナイデアリナイノデアリマス、是等ノ
モノノ中ニハ若シ是ガ豫期通り行クナラバ、
我國ノ產金ハ十倍或ハソレ以上ニ上リ得ル
ト云フ可能性サハ認メラレルモノガアルノ
デアリマス、此ノ劃期的發明ノ如キモノモ、
我國ノ重要ナル鑛業ノ發明ノ如キモノモ、
ヲ十分育テ上ゲルト云フ構ヘガナイ爲ニ、
アタラ是ガ朽チ果テテ行クト云フコトノ虞
ガナキニシモアラズト云フ現狀デアリ、又
動スモレバ專門家ハ自分ノ専門以外ノ學問
技術等ニ付テハ、之ヲ十分ニ虚心坦懐ニ取
入レルト云フコトヲ、ドチラカト云フト背
ンジナイ、斯ウ云フ偏狹ト云フト語弊ガア
リマスガ、動モスルトサウ云ウタ氣味ガア
ル、ソレデ業ニシテモ電燈ノ如キモノデモ、
日本デ發明、發見ガ發表セラレズシテ、外
國ニ行ツテ之ヲ見付ケナケレバナラスト云
フヤウナ、過去ニ於テ大失敗サヘヤツテ居
ル、私ハ是以上申サナクテモ、商工省ノ當
局ハ斯ル熱心ヲ發明發見ノアルト云フコト
ハ御承知デアリマスカラ、是等ニ對シテ一
ツ十分速ニ良否ヲ鑑別シテ、良キモノニ付
テハ、相當之ヲ以テ我國ノ產金能率ヲ引上
ゲルト云フコトニ盡サレル御意思ガアルカ
ナイカ、之ヲ御答願ヒタイノデアリマス

第五ニ鑛區ノ發見セラレマシタモノニ付
テノ試掘、或ハ探鍊試掘ト云フ問題デアリ
マスガ、探鍊試掘ニ付テ、日本產金振興株
株式會社及ビ帝國鑛業開發株式會社ト云フモ

ノヲ十分ニ活用致シマシテ、ソレカラ商工
省ノ技術員モモウ少シ増員セラレマシテ、
サウシテ或ル程度マデハ能動的ニ、受身デ
ナシニ、役所及ビ役所關係ノ會社カラ能動
的ニ出テ、サウシテ探鍊試掘ト云フ方面ヲ
助成スルト云フコトガ必要デアリナイカ、是
ガ第五デアリマス

ソレカラ第六ハ勞力ノ缺乏デアリマスガ、
是ハ先般稅制改革ノ委員會デ厚生大臣ノ御
意見ヲ承リ、又厚生大臣モ調査ヲ御快諾ニ
ナリマシタガ、金鑛業ト云フモノハ、金鑛
業ニ從事シテ居ル所ノ事務員カラ勞働者ニ
至ルマデ、兎ニ角從業員全部頭割リニシテ、
一日ニ一人ガ一分五厘カラ二分ノ間ノ金ヲ
生産スルナラバ大體採算ガ取レル、又取レ
ナクテハソレハ本當ノ金鑛業デアリナイ、斯
ウ云フコトハ最近專門家ガ實驗ノ結果發表
スル所デアリマシテ、事實ヲ見レバ私モ左
様ニ納得スルノデアリマス、此ノ意味カラ
ラ段々調ベテ行キマスト、其ノ勞働者ト
云フモノハ、農村或ハ山村等ノ農閑ノ頃、
或ル種ノ金鑛業ノ如キ、老幼男女、十四五
歳位ノ女子マデ殆ド動員シテ出来テ居ル
ト云フ、斯ウ云フ實例ガ東北方面ニアル、
是モ商工省ハ二三專門家ヲ御派遣ニナリ、
日本產金株式會社カラモ理事マデ出張サセ
テ十分調査サレテ居リマスカラ、既ニ御報
告モアツテ居ルコト思ヒマスガ、左様ナ
事實モアルノデアリマシテ、從來ハ所謂渡
リ者ヲ集メテ鑛業勞働者トシテ居ツタ、ソ
レヲサウデハナクシテ、其ノ土地ノ閑ノア
ル人間ヲ呼集メテ、之ニ向ツテ安イ賃銀ヲ
與ヘテ仕事ヲサセル、此ノ低廉ナル賃銀ヲ
與ヘテ金ヲ採ルト云フコトガ、是ガ日本ノ
金鑛業ノ秘訣デアルト云フ、斯ウ云フコト

ガ自ラ斯様ナ事實ニ依ツテ證サレテ居ルノ
デアリマス、斯様ナ意味カラ、最後ノ四五
六ト云フヤウナ點ニ綜合シテ、政府ハ相當
積極的ニ是等ノ點ニ御考慮ニナツテ努力サ
レル、サウ云フ心構ヘガ實現セラレテ行ク
ト云フコトニナリマスケレバ、此ノ試掘ノ問
題ナドモ自ラ當業者ハ安心ヲシテ來ルト思
フ、ケレドモ勞働者ハナイワ、資材ハ足ラ
ナイワ、ソレニ持ツテ行ツテ試掘期間四年、
四年間試掘シナケレバ取上ゲル、斯ウ云フ
コトトニナツテシマヒマスト、故ニ不安ト
云フモノガ自ラ生ズルノデゴザイマスカラ、
ソレ等ノ點カラ綜合シテ見マシテモ、又今
日ノ金鑛業ノ劃期的飛躍ヲ實現セシムル上
カラシテモ、是等ノ點ハ極メテ重要ナ點デ
ナケレバナラスト考ヘルノデアリマス、商
工大臣ハ之ニ付テ如何ナル御考ヲ御持チテ
アリマセウカ、又或ル點ニ付キマシテハ政
府委員カラ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○藤原國務大臣 我國ノ產金ノ増加ヲ圖リ
マシテ、此ノ事業ヲ發、獎勵發展セシメナケ
レバナラナイコトニ付キマシテハ、政府ニ
於テモ全ク同様ナ考ヲ持つテ、今日マデモ
色々努力ヲシテ參リマシタコトハ度々申上
ゲタ通りデアリマス、併シナガラ只今長野
君ヨリ極メテ熱心ニ、詳細ニ實情ニ即シタ
御意見ヲ御陳述ニナリマシテ、政府ニ於キ
マシテモ大ニ注意ヲ以テ謹密致シテ居リ
マシタ、洵ニ敬意ヲ以テ謹密致シテ居リ
マシタ、第一ニ御述ニナリマシタ中小ノ金
山ヲモウ少シ活動セシメナケレバ、イケン
イ、又中小金山ハ自ラ製鍊所ヲ持つテ居ラ
ナイデ、民間ノ製鍊所ニ之ヲ賣給スルガ故
ニ、今日ニ於テハ運搬費ノ段々高クナル
シ、其ノ他勞銀モ高イシ、種々ナ事情ガア

ハ申シマセウガ、是ダケ申上ゲルニ付テハ
私モ多少確實ナ材料ハ持つテ居リマスケレ
ドモ、是モ亦政策ノ上カラ考ヘナケレバナ
ラスノデアリナイカ、ソレカラ今一ツハ政府
ノ直接關係ヲシテ居リマス日本產金振興會
社、或ハ鑛業關係ノ帝國鑛業開發株式會社
斯ノ如キ政府關係ノ會社ヲシテ、一層徹底
的ニ活動サセルヤウニシテハドウデアルカ、
私ハソレガ必要デアリナイカト思フ、甚開
ハ色々ノ批評モアリマスケレドモ、私ハソ
レ等ノ批評ヲ取ツテ以テ批評スル價值ハナ
イト思フガ、須ク國ト致シマシテハ是等ノ
會社ニ向ツテ更ニ一層ノ資金ヲ與ヘ、人的
設備モモウ少シ充實ヲ致シマシテ、或ハ探
礦ノ指導ト云ヒ或ハ試掘採掘等ニ於ケル所
ノ指導ト云ヒ、少シ技術官ナドヲ十分此ノ
方面ニモ充實サセルト云フコトガ必要デア
ナイカ、此ノ意味ニ於テ政府ハ思切ツテ日
本產金振興會社、及ビ帝國鑛業開發株式會
社ノ擴充ヲセラレル御意思ハナイカ、之ニ
關聯シテ試掘年限ノ問題ハ深刻ナル當業者
ノ訴デアリマシテ、不平等アリマスケレド
モ、其ノ問題ハ後ニ廻シマスガ兎ニ角是等
ノ日本產金振興株式會社等ノ會社ニ十分ノ
資金及ビ人的設備ヲ充實致シマシテ、サウ
シテ是等ガ個人ノ到底及ビ得ザル部分マデ
親切ニ手ヲ加ヘ、サウシテ擇イ所ニ手ノ届
クヤウニ世話ヲシテヤルコトニ依ツテ、此
ノ問題ハ相當ニ當業者ヲシテ安心セシメル
ノデアリナイカト考ヘルノデアリマス

ソレカラ第四ニ精鍊、選鍊技術ノ改善問
題デアリマス、日本ノ現在ノ精鍊選鍊ハ西
洋式ニ依ツテ居リマスガ、段々日本ノ國
ニハ新發明ヲ爲ス者ガアルヤウデアリマス、
私ハ專門家デアリマセウガ、ソレ等ニ
スレバ自己ノ採算ヲ第一ニスルト云フヤウ
ナ憾ミモアルカラ、モウ少シ之ニ向ツテ產
金會社トカ、帝國鑛業會社等ヲ活動セシメ
テ、國家本位ニ之ヲ運用セシメルト云フコ
トニ付テノ御意見モ、如何ニモ御尤モト存
ジマス

又製鍊、製鋼ニ付テ折角我國ニ於テ發明
シ、改良シタモノヲ十分ニ活用シナイデ居
ルト云フコトハ遺憾デアルカラ、政府ガ努
力シテ之ヲモウ少シ活用セシメタラドウカ
ト云フコトノ御趣意モ、全然同感デゴザイ
マス、努力ヲ致シマシテ、モウ少シサウ云
フ點ニ付テモ工夫ヲ致シテ見タイト存ジマ
ス、尙又鑛區ノ試掘、探鍊ト云フヤウナコ
トニ付テモ、政府デモウ少シ努力ヲシテ、
商工省ノ技術員其ノ他ノ力ヲ貸シテヤルコ
トガ宜カラウト云フ御考モ、御尤モト存ジ
マス、又努力ノコトニ付キマシテモ、從來
ハ金鑛等ニ於キマシテ所謂渡リ者ノヤウナ
勞働者ヲ使用シテ居ツタケレドモ、今後ハ
其ノ土地ノ者ヲ使用スレバ賃銀モ安クテ、
且ツ農民ノ方モソレガ爲ニ臨時ノ收入ガア
ツテ、五ニ都合好クテ、ソレガ爲ニ金山ノ
方ノ收益モ舉ゲ、農民モ喜ブト云フヤウナ
コトニナルカラ、努力方面ニ付テモ、モウ
少シ考ヘタラドウカ、此ノ御趣意ハ御尤モ
ト存ジマス、政府ニ於キマシテモ出來ルダ
ケ慎重ニ色々ノ研究ヲ遂ゲマシテ、御趣意
ニ副フヤウニ努力ヲ致シタイト存ジテ居リ
マスカラ、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマ
ス

○長野委員 能ク分リタシタガ、唯金ノ製
鍊ニ付キマシテハ日本產金振興株式會社、
一般鑛物ニ付テハ帝國鑛業開發株式會社デ
ヤラセルト云フコトヲ研究セラレルトモ

第六類第六號 鑛業法中改正法律案外二件委員會議錄 第五回 昭和十五年三月二日

一ツノ方法ト思ヒマス、併シ又先程申上ゲ
マシタヤウニ、煙草ヲヤツテ居ルガ如ク
ニ、鹽ヲヤツテ居ルガ如クニ、政府ガ直接
産金ノ機關ヲ作りマシテ、サウシテ純粹ニ
政府ガ直接ニヤルト云フコトヲ、只今申サ
レマシタコトト比較研究ノ意味ニ於テ一ツ
御研究願ツテ戴クコトハ出来ナイモノデア
リマセウカ

○藤原國務大臣 篤ト研究致シマシテ、然
ル後ニ適當ニ決定致シタイト存ジマス

○長野委員 今一ツハ石油ノ問題ニ付テデ
アリマスガ、前ノ大臣ノ時代ニ私共同志ト
燃料國策研究会ナルモノヲ中心トシテ石油
増産ニ對シテ色々御願致シ、又意見モ述べ
サセテ戴キマシテ、段々ト此ノ豫算モ増加
シテ現在デハ二千万圓近クニ相成ツテ居リ
マス、然ルニ我國ノ油田ハ世界ニ於テモ有
數ナモノデアルト云フコトハ、専門家ノ一
致シテ見解デアリマス、數字ハ遠慮セナケ
レバナリマセウカ申上ゲマセウカ
モ、兎ニ角商工大臣ハ十分御承知ノコトデ
アラウト思ヒマス、就キマシテハ是ガ開發
ヲ爲スニ當リマシテハ、到底此ノ二千万圓
ソコノ金デハ十分出来ナイ、三十本掘
ツテ一本當ルカ、六十本掘ツテ一本當ルカ
ソレサヘマダ危ブマレテ居リマスカラ、年
々ニ相當井戸ヲ掘リマシテ、サウシテ此ノ
油田ノ發見ヲセナケレバナラヌト思フノデ
アリマス、就キマシテハ既ニ段々ト研究ヲ
致シテアリマスヤウニ、從來ノ物價、勞賃
等ノ關係ヨリ致シマシテ、三億圓ヲ以テ五
箇年間ノ機關事業ト致シマスレバ、便ニ我
國所要石油量ニ近イモノヲ生産シ得ルデア
ラウト云フコトニ相成ツテ居リマシタガ、
最近物價其ノ他ノ騰貴ノ爲ニドウシテモ是

ハ三倍位ヲ要スルデアリナイカト云フ測定ニ
ナツテ居ルノデアリマス、所ガ如何ニ金ガ
アツテモ人ガナイデアラウ、併シ人ハ是亦
専門家ノ技術員ノ調査ヲシマシタガ、轉業
ヲシテ居ルモノ、石油採掘ノ技術者ハ隨
分多イノデアリマス、是等モ厚生省ニ於キ
マシテモ、調査ヲ進メラレテ、相當アルト
云フコトヲ申サレテ居ルノデアリマスカラ、
大シク心配ハナイト思ヒマス、又鐵材等ノ
問題デアリマスガ、是亦既ニ昨年、一昨年
ニ於テ此ノ工作機械會社及ビ鋼管會社ト連
絡ヲ取りマシテ、私共十分ニ調査研究ヲシ
マシテ、當局モ共鳴ヲ致サレ、又實業方面
ニ於テモ大丈夫デアルト云フ數ヲ示シテ戴
キマシテ、一昨年ニ於テ、大體三億圓五箇
年計畫ト云フモノハ、物ト人ニ於テハ事ヲ
缺カナイト云フコトニ相成ツテ居ツタノデ
アリマス、其ノ後モ段々ト技術員モ養成セ
ラレテ居ル次第デアリマスカラ、人ノ問題
ハ幾テカ緩和セラレツツアルモノト見ナケ
レバナリマセウカ、何分此ノ石油ハ重大問題
デゴザイマスカラ、此ノ際政府トセラレマ
シテハ殊ニ御考ヲ願ハナケレバナリマセウカ、
國民ノ前ニ誠心誠意實行ヲ御誓ヒ下サツテ
居ル商工大臣ノ前テ斯様ナコトヲ申上ゲル
ト云フコトハ却テ失禮カト思ヒマスケレド
モ、又商工大臣ノ權威アル御決心ニハ吾々
モ安心シ、喜ンデ居リマスガ、ドウカ一ツ
石油問題ニ付キマシテハ更ニソレ等ノ數字
ヲ基ニセラレテ研究ヲシテ戴キマシテ、是
ナラバ、此ノ程度ナラバ大丈夫ト云フ數字
ヲ得ラレコトガ必要デアル、蓋シ現在御
計畫ニナツテ居ル數字ノ數倍ニマデ達シ得
ルト思ヒマスカラ、是等ニ付テモ十分御研
究ノ上積極的ニ實行シテ戴キタイト思ヒマ

スガ、何分事ハ迫ツタ問題デアリマスカラ、
此處ニ於テ大臣ノ御確信ヲ拜聽致シタイト
思ヒマス

○藤原國務大臣 只今長野委員ヨリ熱心ニ
御述べニナリマシタ石油ノ問題ハ、我國ニ
於テハ今日マデ、動モスレバ石油資源ガ乏
シイカラ、我ガ國內ニ於テ多量ノ石油ヲ得
ルコトハ殆ド不可能ノヤウニ考ヘラレテ居
リマシタ、所ガ最近ニ至リマシテ、段々調
査研究ノ末、決シテサウデアハナイ、學術
的ニ技術的ニ採掘法ヲ研究シ、尙ホ又物理
的ニ色々探掘ヲ探掘等ヲ致シテ參リマシタ結
果、我國ノヤウナ地形地質ノ下ニ於テモ、
相當ノ石油ヲ採取スルコトガ困難デハナイ、
否、多量ノ石油ヲ採掘得ルコト云フヤウナ見
込モ付キマシタノデ、若シサウ云フコトガ可
能デアリトスルナラバ、我國トシテ非常ナ
仕合セナコトデアツテ、國防上カラ申シマ
シテモ、總テノ點カラ申シテ是以上ノ結構
ナコトハナイコトデアリマスカラ、何事ヲ
措イテモ之ニ對シテハ力ヲ盡サナケレバナ
ラナイト云フコトデ、政府ニ於テモ其ノ方
針ノ下ニ著々進ンデ居リマスコトハ長野君
モ御承知ノコトト存ジマス、唯併シ問題ハ
何分深山ノ金ノ要ルコトデアリマシテ、サ
シテ又右カラ左ト云フヤウニ其ノ效果ノ舉
モノデハナイノデアリマシテ、或ル所マデ
金ヲ費シテ努力ヲ致シマシタナラバ、
相當ノ效果ハ必ズ得ラレルデアラウトハ思
ヒマスケレドモ、他ノ事業ノヤウニ是ダケ
ノ金ノ入レラ直ダニ是ダケノ效果ガアル
ト云フモノデモナイノデアリマスカラ、動
モスレバ仕事ガ一般國家ノ財政上ノ見地カ
ラ遲レ勝テニナツテ居ルト云フノガ現状デ
ゴザイマス、是ハ御承知ノ通りデアラウト

カ、金ニ付キマシテハ金ノ買上價段ヲ上ゲ
ルト云フコトガ先ツ第一ニ考ヘラレマス、
併シナガラハ是ハ諸般ノ情勢カラドウシテモ
金ノ買上價段ハ引上ゲル譯ニ行カナイト云
フ建前デ、諸般、昨年ノ終リノ頃金ノ増産
量ニ對スル買上價段ノ割増ト云フヤウナ制
度ヲ作りマシタ、併シ是ガ極メテ不十分デ
アルコトモ吾々承知致シテ居リマスガ、此
ノ制度ヲ改善スルナリ、或ハ新産金ノ爲ニ
相當ナ努力ヲ拂ヒ、且ツ犠牲ヲ忍バレル山
ニ付キマシテハ、何等カノ其ニ具體的ノ填
補策ヲ講ジマシテ、サウシテ只今申上ゲマ
シタ原因ノ中、採算點カラ來ル所ノ條件ノ
惡化ハ買上價段引上ニ依ラズシテ、何トカ
解決出來ル途アルト私共信ジテ居リマス
ノデ、只今其ノ方面ハ大藏省ト相談致シテ
居リマス、委員長ガ御指摘ニナリマシタ何
ノ爲ニ計畫通りノ數字ガ出ナカッタカト云
フコトニ付キマシテハ、色々細カク申上ゲ
ルト、マダ分ケ方モゴザイマスガ、大體把
ニ申上ゲマシテ其ノヤウナ原因竝ニ實情デ
アリマシテ、今後十五年度ノ金ノ増産確保
ニ付キマシテハ、是等ノ原因ヲ極力排除致
シテ其ノ計畫ヲ實施スルヤウニ努メタイ
ト、關係方面トモ折角折衝中デゴザイマス
○櫻井委員長 大藏省ト御折衝ノ點ノ如キ
ガ要點デハナイカト思ヒマスガ、何時モ商
工省ハ大藏省ニ少シ押サレ氣味ノヤウデア
リマスカラ、シツカリオヤリニナルコトヲ
要望致シテ置キマス——長野君、大臣ニ
對スル御質疑ハ是デ宜シウゴザイマスカ
○長野委員 宜シウゴザイマス

○櫻井委員長 私人ノ居デニナル時ニ一寸
御尋シタイト思ヒマス、極ク簡單デス
○櫻井委員長 ソレデハ御尋

存ジマス、併シナガラ政府ニ於テモサウ云
フコトデハ相濟マヌト云フノデ、年々豫算
ヲ増加致シマシテ、今日デハ相當ノ金額
ヲ先ツ奢致シテ居ルノデアリマス、其ノ金額
ノ奢致ノ仕方ハ長野君ノ思召ニ叶ハナイ、
マダ其ノ位ノケチコトデハハイカスデハナ
イカト云フ御説ト存ジマスガ、政府トシテ
ハ相當奢致シテ居ル積リデゴザイマス、併
シナガラ今日ノ國際情勢カラ見マシテモ、ド
ウシテ國內ノ産油ヲモウ少シ増加スルコ
トハ焦眉ノ急務トモ存ジマスカラ、長野君
ノ御説モゴザイマスシ、旁々政府ニ於キマ
シテモ此ノ問題ニ付テハ、更ニ慎重ニ調査
モシ、研究モシ、又技術員モ養成シ、機械
ノコトモ學術上ノコトモ、技術上ノコトモ
色々研究致シマシテ、サウシテ成ベク御希
望ニ副フヤウニ努力ヲ致シタイト考ヘテ居
リマスカラ、ドウソ左様御承知願ヒタイ
ト存ジマス

○櫻井委員長 長野君、商工大臣ハ他ノ委員
會カラ出席ヲ要求シテ參ツテ居リマスカ
ラ……
○長野委員 モウ宜シウゴザイマス、洵ニ
御親切ナル御誠意ノ籠ツタ御答辯ヲ戴キマ
シテ満足致シマス、ドウソ一ツ此ノ點ニ付
テハ宜シク御願致シマス
○櫻井委員長 一寸此ノ場合、商工大臣ノ
居ラレル所デ一ツ申上ゲテ置キタイ、尤モ
大臣ノ御答辯ヲ得ナクテハナラヌトモ限ラ
ヌノデアリマスガ、産金問題ニ付テハ國民
ハ隨分心配シテ居ルト思ヒマス、相當ノ計
畫ヲ立テラレテ、サウシテ國家的ニ大キナ
助成方法ヲ執ラレ、而モ數字ヲ以テ茲ニ御示
ニナルコトハ困難ニシマシテモ、——凡ソ國
民ハドウ位ノ産金ガアルト云フコトハ分ツ

テ居リマスガ、此ノ不成就ガ不可抗力デア
リマスレバ、是ハ政府ノ責任デハナイ、併
シナガラ何等カ政府ノヤリ方ニモウ少シ盡
ス所ガアルベキ餘地ヲ殘シテ、其ノ爲ニ斯
ク云フ不結果ニ終ツトスレバ、又引續イ
テ石炭増産ノ法案ガ此ノ議會ニ現ハレテ來
ル模様デアリマスガ、一體政府ヲ信用シテ
宜イカドウカト云フ重大問題ガアルト思ヒ
マス、故ニドウシテモ産金ニ付テハナゼサ
ウ云フ豫期シテ結果ヲ得ラレナカッタカト
云フ其ノ原因、竝ニ十四年度ハ何等カノ障
碍ノ爲ニ豫期ノ結果ヲ得ラレナカッタカト
トシテモ、十五年度末ニ於テハ、大體ニ於
テ豫期シテ増産ヲ得ラレカドウカト云フ
其ノ見込ト、此ノ二點ニ付テ、茲ニ政府ノ
説明ヲ願ツテ置ク方ガ、今後ノ爲ニ非常ニ
幸ヒカト思ヒマス

○藤原國務大臣 政府委員カラ御答致サセ
マス

○小金政府委員 産金ノコトニ付キマシテ
ハ、昭和十四年度ノ大體ノ見込額ト云フ
モノハ、計畫シタヨリモ少イノデアリマス、
其ノ前年ニ比ベバマスト相當ノ幅増産サレ
テ居リマス、所ガ昨年ノ夏頃カラ計畫通り
ノ數字ニ及バナクナツテ居リマス、内地
モ朝鮮モ、大體サウ云フ現象ヲ呈シテ來タ
ノデアリマス、ソレハナゼカト申シマス
ト、先ツ第一ハ天然自然ノ條件、其ノ自
然ノ條件ノ一ツハ、金礦ハ、長野サンノ御指
摘ニナリマシタヤウニ、又鶴サンモ言ツテ
居ラレマシタガ、決シテ日本デハ悲觀スベ
キ状態デハナイノデアリマス、方々ニ澤山
アリマスケレドモ、唯低品位ノモノデア
ルト云フ状態デアリマシテ、金ノ産額ヲ殖
シテ行キマス爲ニハ、低品位ノ鑛石

ヲ處理シナケレバナラヌ、斯ウ云フ現状ニ
アリマシタノデ、一方ニ於テ選鑛設備或ハ
製鑛設備ト云フヤウナモノガ計畫通りニ必
ズシモ行カナカッタ、第二ニ技術者、勞働
者ト云フヤウナ方面ノ不足ガ原因シテ居
リマス、第三ニ又資材ノ供給、殊ニ、セメン
トトカ、石灰トカ、カーバイト或ハ護謨足
袋ト云フヤウナ豫想シナカッタ物ガ不足ヲ
告ゲタ、斯ウ云フヤウナコトガ原因致シテ
居リマス、ソレカラモウ一ツハ、昨年ノ夏、
朝鮮ヲ初メ内地ニ於キマシテモ相當ナ早
デアリマシテ、其ノ爲ニ電力ガ十分來ナカ
ツタリ、又早産ノ爲ニ選鑛場トカ何トカガ
十分動カナカッタト云フヤウナコト、是ハ
其ノ季節的、天然の條件ガ惡カッタノデア
リマス、只今申上ゲマシタノハ、産金ガ思
フヤウニ行カナカッタ、詰リ計畫通り行カ
ナカッタ天然の原因ヲ主トシタモノデ、ソ
レカラ物トカ人ノ不十分デアツタト云フヤ
ウナ條件ガソレニ附隨シテ居リマス、モウ
一ツハ採算上ノ原因ガ茲ニ現ハレテ參リマ
シタ、是ハ低價物政策トカ或ハ色々配給
ニ依ツテ物資ヲ確保スルト云フヤウナコト
ガ行ハレタノデアリマスガ、何トシテモ色
色ノ點ニ於テ物價ハ上ツテ居ルト云フ現實
ノ問題ガアルト云フコトハ、是ハ見逃スコ
トガ出来ナイデアラウト思ヒマス、ソコデ可
採鑛量ノ減少、即チ引合フ程度ノ品位ノ鑛
石ハ、段々品位ヲ下ゲナケレバナラヌト云フ
コトニナツテ參リマス、ソコニ採算ノ方
面カラ或ル程度マデノ鑛石ノ減少トカ製鑛
ノ減少ガ自然的ニ出テ來ルノデアリマス、
サウ云フヤウナ點ガ原因トシテ舉ゲラレ
マス、然ラバドウ云フ對策ヲ執ツタラ宜イ

カ、金ニ付キマシテハ金ノ買上價段ヲ上ゲ
ルト云フコトガ先ツ第一ニ考ヘラレマス、
併シナガラハ是ハ諸般ノ情勢カラドウシテモ
金ノ買上價段ハ引上ゲル譯ニ行カナイト云
フ建前デ、諸般、昨年ノ終リノ頃金ノ増産
量ニ對スル買上價段ノ割増ト云フヤウナ制
度ヲ作りマシタ、併シ是ガ極メテ不十分デ
アルコトモ吾々承知致シテ居リマスガ、此
ノ制度ヲ改善スルナリ、或ハ新産金ノ爲ニ
相當ナ努力ヲ拂ヒ、且ツ犠牲ヲ忍バレル山
ニ付キマシテハ、何等カノ其ニ具體的ノ填
補策ヲ講ジマシテ、サウシテ只今申上ゲマ
シタ原因ノ中、採算點カラ來ル所ノ條件ノ
惡化ハ買上價段引上ニ依ラズシテ、何トカ
解決出來ル途アルト私共信ジテ居リマス
ノデ、只今其ノ方面ハ大藏省ト相談致シテ
居リマス、委員長ガ御指摘ニナリマシタ何
ノ爲ニ計畫通りノ數字ガ出ナカッタカト云
フコトニ付キマシテハ、色々細カク申上ゲ
ルト、マダ分ケ方モゴザイマスガ、大體把
ニ申上ゲマシテ其ノヤウナ原因竝ニ實情デ
アリマシテ、今後十五年度ノ金ノ増産確保
ニ付キマシテハ、是等ノ原因ヲ極力排除致
シテ其ノ計畫ヲ實施スルヤウニ努メタイ
ト、關係方面トモ折角折衝中デゴザイマス
○櫻井委員長 大藏省ト御折衝ノ點ノ如キ
ガ要點デハナイカト思ヒマスガ、何時モ商
工省ハ大藏省ニ少シ押サレ氣味ノヤウデア
リマスカラ、シツカリオヤリニナルコトヲ
要望致シテ置キマス——長野君、大臣ニ
對スル御質疑ハ是デ宜シウゴザイマスカ
○長野委員 宜シウゴザイマス

○櫻井委員長 私人ノ居デニナル時ニ一寸
御尋シタイト思ヒマス、極ク簡單デス
○櫻井委員長 ソレデハ御尋

○小金政府委員 鑛山用資材ノ配給ニ付キ
マシテハ色々觀點カラ改良ヲ加ヘル必要
ハアルト存ジマス、一口ニ重點主義ト申シ
マシテモ、新シイ鑛區ヲ開クヤウナ場合ニ
付キマシテハ、中々其ノ選定モ困難デアリ
マスシ、色々條件モ亦深ク考慮シナケレ
バナラスコトガアリマス、併シナガラ實情
ニ付キマシテハ、是ハ解決シテ行カナケレバ
ラスモノト存ジマスガ、御趣旨ノ點ハ十分
考究致シマス

○櫻井委員長 ソレデハ鶴君アト御繼續
ヲ……
○鶴委員 大體私ハ是デ宜シウゴザイマス
○櫻井委員長 ソレデハ加藤鐵造君
○加藤委員 簡單ナ問題デアリマスガ、二
三御尋致シテ見タイト思ヒマス、第一ニハ、
鑛物ヲ増産シテ行ク上ニ於キマシテ、努力
資材等、有ル方面ニ於テ不足シテ居ルモ
ノヲ出来ルダケ補充シテ行クコトガ必要デ
アルコトハ申スマデモアリマセウカ、休眠
鑛區ノ開發竝ニ資材、努力共能率化ヲ圖ル

ト多クノ資源ガ發見サレルノデハナイカト
思フアリマス、例ヘバ岐阜縣ノ飛騨ノ
庄川流域地方ハ、昔カラ産金地帯トシテ有
名ナ地方デアリマス、勿論現在ニ
於キマシテモ、此ノ地方ハ多クノ鑛山業者
ガ入りマシテ色々ト調査ヲシ、又試掘權等
モ申請サレテ居ルノデゴザイマス、マ
ダ大規模ナ開發ガ行ハレテ居ラナイノデア
リマス、今日産金ト云フ問題ニ付キマシテ、
政府ハ勿論相當獎勵方針ヲ執ツテ居ルノデ
アリマス、斯ウ云フ地方ニ對シマシテ
ハ、只今私ガ申シマシタヤウニ、大調査團
ヲ政府ガ派遣セラレマシテ、専門ノ技術
ヲ以テ其ノ調査ヲシ、開發ヲサレル必要ガ
アリハシナイカト思フアリマス、是ハ
ホソノ一例デアリマスガ、今後サウ云フ御
方針ヲ御執リニナル意思ガアルカドウカト
云フ點ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○小金政府委員 地下資源ノ開發ニハ調査
ガ基礎デアリマシテ、此ノ調査ヲ出來ルダ
ケ普通のニ且ツ詳シクスルコトハ、國家ト
シテドウシテモ必要ナコトデアリマス、之
ヲ國家機關トシテ今計畫致シテ居リマス、
ハ、商工省ノ地質調査所ノ職員ヲ増シマシ
テ、地質調査ヲ成ベク速ニ進メタイト考ヘ
テ居リマス、是ハ昭和十五年度ノ豫算ニ於
キマシテモ、地下資源調査ノ爲ノ地質調査
ハ、經費ノ増加ヲ更ニ昨年度ニ加ヘテ増加
シテ戴イテ居リマス、尙ホ鑛山監督局ノ技
術者ノ陣容モ亦昭和十五年度ニ於キマシテ
ハ、相當擴充シテ戴イテ居リマス、唯是等
ノ地質調査班トカ、其ノ他ノ鑛物調査隊ヲ
編成シテ臨時派遣スルト云フヤウナ計畫ニ
付キマシテハ、今急激ニハ其ノ通りノコト
ヲ實行スル譯ニハ行カスト考ヘテ居リマス

ガ、御趣旨ヲ能ク體シマシテ、調査團ガ宜
イカ、或ハ調査員ガ宜イカ、出來ルダケ其
ノ需メニ應ジ、又コチカラ必要ニ應ジテ
出掛ケテ行キタイト思ヒマス、地質調査等
ニ付キマシテハ、職員ヲ相當増シテ居ルノ
デアリマスガ、是ハ支那大陸ノ調査ト云フ
ヤウナコトモアツテ、ソレヲ含メテ意味ノ
大キナ調査ヲ今計畫シテ居ルノデアリマス
○岡野委員 一寸關聯シテ：只今加藤君
ヨリ御尋ニナリマシタ地質調査所ト云フ
カ、研究所ト云フカ、職員ヲ出シテ居ルト
云フ御話デアリマス、ソコデ問題ハ、加藤
君ニ致サレマシテモ、今日マダ多少ヤツテ
居ラレルコトハ御承知デアラウト思フ、唯
其ノ點ヲ徹底サシテ貫ヒタイト云フ御希望
デアラウト思フ、就キマシテハ、御話ニ依
リマスト、昨年ヨリ今年ハ豫算ヲ餘計増額
シテ貫ツテ居ルト云フコトデスカラ、昨年
ハ幾ラ、今年ノ増額ハ幾ラト云フ數字ガ分
ツテ居レバ御答願ヒタイト思ヒマス

○小金政府委員 今直グ調べテ後程御答致
シマス

○瀧澤委員 一寸一言：先達テ私御答ヲ
得マシテ一應諒承シタノデスカ、今モ其ノ
御話ガアリマシタノデ、序ニ更ニ私ノ考ヲ
申上ゲ、サウシテ御考ヲ伺ヒタイト思ヒマ
スコトハ、十五年度ノ鑛山監督局ノ豫算ハ、
大正七八年頃ニ比ベテ殆ド倍ニナツテ居ル
ト云フ御話デアリマス、相當費用ヲ増シテ
働カセルヤウニシヨウト云フ御答辯モ得テ
居タノデアリマス、今日モソレト關聯シ
タ御問ガ加藤君ノカラアツタカト思ヒマス
ノデ、更ニ此ノ際申上ゲテ置キタイコトハ、
地方ノ鑛山監督局ニ適當ナ人ヲ得ナイト云
フコトグラウト私ハ思ツテ居リマス、商工

省ノ本省ニ於キマシテハ、色々局課ガ殖エ
マシテ、アノ申ニ居ラレル人ハ非常ニ早タ
出世サレテ居ルヤウニ見エマスガ、地方ノ
鑛山監督局ニ行クト、殆ド今マデ釘付ノ
ヤウニサレテ居リ、尙ホ所長トナルベキ人
ナドモ、地方ニ居ツタ課長ガ所長ニナルコ
トハ稀デ、多クハ中央カラ行カレルヤウナ
ノガ多イカラ、地方ノ人ガ出世スル途ガ非
常ニ塞ガレテ居ルヤウニ私ハ見テ居リマス、
上ノ人ガサウデアリマスカラ、其ノ下ニ働
イテ居ル人モ何年モ何年モ技手ナラ技手
デ、技師ノ師ノ字ニ變ヘルコトデスカ、商
工省ハ、地方鑛山監督局ニ於テハ東京本省
ノ場合ヨリ非常ニ喧シイコトト私ハ信ジテ
居ル、隨テ良イ人ヲ地方ノ鑛山監督局ニ得
ルコトガ困難デアル、費用モ少イ、人モ得
ラレナイ結果、吾々ガ希望シテ居ル指導員
勳ノ任ニ當ルト云フコトガ非常ニ缺ケテ居
ル爲ニ、先程モ色々御話ガアリマシタケレ
ドモ、何か處理サレル件數ナドモ非常ニ少
イト云フコトモ、其ノ費用ニ缺ケテ居ル結果
ガラウト私ハ思ツテ居ル、其ノ費用ガ來年
度ハ非常ニ多ク取ツテアルト仰セニナリマ
シテモ、私ハ本省ノ費用ノ如ク多クナク、
又本省ノ人達ノ如キ早サヲ以テ役人ガ上ニ
上ルコトガ出來ナイト云フヤウナコトガ非
常ニ缺陷デハナカラウカト私ハ承知シテ居
リマス、ソレデ此ノ間モ御答辯ヲ得マシタ
ケレドモ、尙ホ更ニ此ノ人ノ強化ヲ圖ルト
云フコトガナケレバ、此ノ法律ヲ御作リニ
ナリマシテモ、是ダケデハドウシタツテ増
産ナドハ出來ヤシマセス、是等ノ設備ヲ十
分ニナサイマシテ、調査ヲ十分ニナサル、
商工省デナサルト云フコトモ必要ナル事柄
デアリマスケレドモ、民間ノ人ガ命懸ケテ

身上ヲ棒ニ振ツテ仕事ヲ見付ケテ行ク、是
等ノ人ヲ能ク指導スル、サウ云フコトニ付
テ先般モ御考伺ヒマシタガ、之ヲ強化シテ
戴キタイ、此ノ場合ニ於テ更ニ再ビ申上ゲ
テ、御考ヲ伺ツテ置キマス

○小金政府委員 鑛山行政ニ關シマシテ、
中央偏重、地方輕視ト云フコトガ起ラナイ
ヤウニ、殊ニ注意ヲ致シテ居リマス、大變
御同情アル御言葉ヲ戴キマシタガ、地方ノ
鑛山監督局ノ職員ノ給與等ニ關シマシテ
ハ、殊ニ下級技術者ト云フヤウナ者ニ付キ
マシテハ、特ニ留意致シマス
ソレカラ尙ホ本省トノ人事ノ交流等ニ付
キマシテモ、餘リニ是ガ類繁ニ選リマスト、
却テ弊害ヲ生ジマスルシ、餘リニ長ク膠着
状態ヲ呈シマスルト、是亦弊害ヲ來シマス
ノデ、此ノ點ニ付キマシテハ出來ルダケ適
材適所主義ノ見地カラ、御指摘ニナリマシ
タヤウナ弊害ノ起ラナイヤウニ十分注意ヲ
致シタイト存ジマス

○櫻井委員長 次會ノ開會ハ明後四日午後
二時ヨリ開會致シマス本日ハ是ニテ散會致
シマス
午後三時四十三分散會

昭和十五年三月二日印刷

昭和十五年三月三日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第七十五回帝國議會 院 鑛業法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第六回

付託議案
鑛業法中改正法律案(政府提出)
砂鑛法中改正法律案(政府提出)
砂鑛法中改正法律案(政府提出)
有鑛業法中改正法律案(政府提出)(第八三號)

(一五三)

會議

昭和十五年三月四日(月曜日)午後二時二十
六分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 櫻井兵五郎君
- 理事 澤田 利吉君 理事 中井川 浩君
- 理事 篠原 義政君 理事 小山田 義孝君
- 理事 依光 好秋君 理事 川俣 清吉君
- 山本 厚三君 手代木 隆吉君
- 岡野 龍一君 內藤 正剛君
- 小柳 牧衛君 森下 國雄君
- 長野 長廣君 卯尾田 毅太郎君
- 井阪 豐光君 木暮武 大夫君
- 久山 知之君 鶴 惣市君
- 川崎巳之太郎君 原口初 太郎君
- 東條 貞君 森田 福市君
- 瀧澤 七郎君 松本治 一郎君
- 加藤 謙造君 朴 春 琴君
- 長谷 長次君 岩瀬 亮君

三月二日委員石井徳久治君辭任ニ付其ノ補
關トシテ川崎巳之太郎君ヲ議長ニ於テ選定
セリ

三月二日有鑛業法中改正法律案(政府提出)ノ審
査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

- 出席政府委員左ノ如シ
- 內務省土木局長 成田 一郎君
- 北海道廳長官 戸塚九 一郎君
- 大藏政務次官 木村 正義君
- 陸軍主計大佐 森田 親三君
- 農林省山林局長 田中 長茂君

商工政務次官 加藤謙五郎君

商工參事官 喜多壯一郎君

商工省鑛產局長 小金 義照君

商工省鑛產局長 塩谷狩野吉君

商工省化學局長 永田彦太郎君

商工省機械局長 鈴木 英雄君

電氣廳長官 平井出貞三君

鐵道省運輸局長 長崎徳之助君

朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

厚生政務次官 一松 定吉君

厚生省體力局長 佐々木芳遠君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

鑛業法中改正法律案(政府提出)

砂鑛法中改正法律案(政府提出)

有鑛業法中改正法律案(政府提出)

櫻井委員長 ソレデハ是ヨリ會議ヲ開キ

マス、先ヅ一昨日本委員會ニ併託セラレマシ

タ有鑛業法中改正法律案ニ付キマシテ政府ノ説

明ヲ求メマス。商工政務次官

○加藤政府委員 有鑛業法中改正法律案ノ立案

ノ根本趣旨ハ本會議ニ於テ申述ベテ置キマ

シタガ、茲ニハ本法律案ノ内容ニ付テ其ノ

大綱ヲ御説明申上テ、本法律案ノ理由ヲ

明ニ致シタイト考ヘマス、本法律案ノ内外ノ

諸情勢ニ鑑ミ、國防ノ整備並ニ産業ノ發達

ヲ圖ランガ爲ニ、本邦ニ於テ未ダ確立ヲ見

ルニ至ラザル有鑛業法中改正法律案ノ確立

セントスルノ趣旨ニ基キテ立案致シタノデ

アリマス、有鑛業法中改正法律案ノハ、カ

「バイド」又ハ石炭ヲ原料トシ「アセチレ

シ」瓦斯又ハ水性瓦斯等ヨリ發足致シマシ

ル「合成ゴム」「合成トルオール」「メタノ

ル」「アセトン」各種重合樹脂等國防上産業

上重要ナル物資ヲ造成スル事業デアリマシテ、

其ノ範圍ハ極メテ廣汎多岐ニ涉ツテ居リ、

化學工業ノ一重要部門トシテ將來大ナル發

展ヲ期待セラレテ居ルノデアリマシテ、本

法案ハ斯業ノ確立ヲ圖ル爲メ、主要ナル有

鑛業法中改正法律案ノ許可ヲ受クベキ事業ト

爲シ、之ニ對シ適切有效ナル助成監督ヲ行

フコトヲ以テ其ノ骨子ト爲シタモノデアリ

マス、即チ本法案ニ於テハ第一ニ主要ナル

有鑛業法中改正法律案ノ許可ヲ受クベキ

事業ト致シタノデアリマシテ、許可ニ際シ

テハ需要供給ノ關係並ニ製造技術及ビ企業

能力ノ適否等ヲ考慮シ、無用ノ濫立競争ヲ

防止シ、以テ其ノ綜合的計畫的ノ發達ヲ期

スル考デアリマス

尙有鑛業法中改正法律案ノ國防上並ニ産業上ニ於

ケル重要性ニ鑑ミマシテ、許可ヲ受ケ得ル

者ノ資格ヲ制限シ、企業ノ支配權ガ日本人

ノ手ニ在リト認メラルル會社ニ對シテノミ

事業ノ許可ヲ致スコトト致シタノデアリマ

ス

第二ニハ許可ヲ受ケタル會社ニ對シマシ

テハ、社債ノ募集ニ付、商法ノ特例ヲ設ケ

テ資金調達上ノ便宜ヲ與ヘ、又必要ニ應ジ

土地收用ノ權利ヲ特與シ、尙其ノ事業ノ確

立ヲ妨グルノ虞アル物品ノ輸入ヲ制限シ、

又ハ之ニ對シ輸入税ノ増課ヲ爲ス等ノ助成

方策ヲ講ジ、更ニ國防上産業上特ニ重要ナ

ル有鑛業法中改正法律案ニ對シマシテハ、一定

ノ期間所得ニ對スル法人税、營業稅其ノ他

ノ課稅ヲ免除致シマスト共ニ、右ノ會社

輸入致シマスル器具機械ニ付テモ一定期間

輸入税ヲ免除シテ其ノ負擔ヲ輕カラシメテ

居ルノデアリマス、加之重要有鑛業法中改正

製造ヲ爲ス會社又ハ重要有鑛業法中改正

ニ關スル試驗研究ヲ爲ス者ニ對シマシテハ、

必要ニ應ジ獎勵金ヲ交付スル等ノ方策ヲ採

リマシテ斯業ノ速ナル確立ヲ期シタ次第デ

アリマス

第三ニハ上述ノ如ク許可會社ニ對シテ保

護助成ヲ致シマスルト共ニ、之ニ對シ産業

上並ニ國防上適當ナル指導監督ヲ行フコト

ガ必要デアルト認メラレマスノデ、之ニ關

スル規定ヲ設ケタノデアリマス、即チ有鑛

業法中改正法律案ハ毎年事業計畫ヲ定メテ、之

ヲ政府ニ提出シ、又之ヲ變更セントスルト

キハ届出ヲ要スルモノトシ、尙ホ業務ノ

狀況其ノ他ニ關シテモ、常時諸般ノ監督ヲ

爲スコトト致シマシテ、之ニ依ツテ事業ノ

合理的且ツ健全ナル發達ヲ指導シテ行クコ

トト致シタノデアリマス、更ニ有鑛業法中改正

業會社ニ對シテハ、斯業ノ經濟上、將又軍

事上其ノ占ムル重要ナル位置ニ鑑ミマシテ

有鑛業法中改正法律案ノ價格ノ公正ヲ

圖ル爲、必要ナル命令ヲ爲シ、又公益上必

要アリト認ムルトキハ、其ノ設備ノ擴張若

クハ改良又ハ製造方法ノ變更ヲ命ジ得ルノ

構限ヲ政府ニ留保致シマスルト共ニ、有機
合成品ニ關スル軍用上必要ナル事項ヲ政府
ニ於テ命ジ得ルヤウ致シタノデアリマス
第四ニハ有機合成事業ノ重要性ニ鑑ミマ
シテ、學識經驗アル者及ビ官吏ヨリ成ル有
機合成事業委員會ヲ設ケマシテ、本法ノ施
行ニ關スル重要ナル事項ニ付テハ、之ヲ其
ノ委員會ニ付議スルコトヲ致シタノデアリ
マス

最後ニ本法施行ノ際現ニ存スル有機合成
品ノ製造事業者ニシテ、本法ノ適用ヲ受ケ
ベキモノニ關シマシテハ、特ニ是等ノ者ノ
利益ヲ考慮致シマシテ、一定期間内ニ届出
ヲ爲スコトニ依リ、其ノ當時ニ於テ營業ミツ
ツアル事業ハ、本法ニ依リ許可ヲ受ケタル
モノト看做シ、新タニ許可ヲ要セズシテ之
ヲ續行シ得ルコトト爲シタノデアリマス、
以上ハ本法法律案ノ大要デアリマスガ、是ハ
本邦有機合成事業ノ確立ヲ圖ル上ニ於テ極
メテ緊要適切ナ施設デアルト考ヘルノデア
リマス、何卒御審議アラムコトヲ希望致シ
マス

○櫻井委員長 是ヨリ鑛業法中改正法律案
ノ審議ニ入りマス、前會ニ引續キ質疑ヲ繼
續スル順序デアリマスガ、此ノ場合政府ヨ
リ秘密會ノ要求ガアリマシタカラ、其ノ秘密
會ヲ先ニ致シマシテ、秘密會ノ終ルト同時
ニ前會ニ引續イテノ質疑ヲ繼續致シマス、
政府委員以外ノ方ノ御退席ヲ願ヒマス

○櫻井委員長 是ニテ秘密會ヲ解キマス、
是ヨリ質疑ニ入りマス——朴春琴君
○朴委員 私人鑛業法中改正法律案ニ關シ

マシテ主ニ大藏省ニ御尋シタイト思ツテ居
リマシタノデアリマス

○櫻井委員長 一寸朴君ニ申上ゲマスガ
大藏大臣モウ間モナク見エマス
○朴委員 ハア——是ハ直接大藏省ト商工
省ノ密接ノ關係ガアルノデアリマスカラ、
大藏大臣ニ後デ參リマシタラ具體的ニ承リ
タイト思フノデアリマス、御承知ノ通り商工
省ハ産業者ニ對シテ多少認識ガ足ラナイ
ノデヤナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、
此ノ鑛業法中改正法律案ニ對シテハ、試掘
トカ採掘トカ云フ問題ハ私ハ大シク問題チ
ヤナイト思フノデアリマス、併シナガラ之ニ對シ
内地ハ非常ニ重要性ヲ帯ビテ居ルカラト言
ツテ、各方面カラヤカマシク言ハレテ居ル
ト云フコトヲ聽キマシタガ、結局試掘ガ採
掘ニナルト云フ問題デ、是ハ主トシテ税金
ノ關係ガ伴ツテ居ルノデヤナイカト思フノ
デアリマス、要スルニ採掘ノ税金ハ試掘ノ税金ノ
二倍デアル、ソレガ爲ニ各先登議員ノ方々
ガ、今度ノ鑛業法中改正法律案ニ對シテ反
對シテ居ルノデヤナイカト思フ(反對デハナ
イ)ト呼フ者アリ(所ガ大分反對ガアル、ソ
コデ鑛業法ハ商工省ハ内地ノミヲ改正スル
ト云フヤウナ考デアリマスガ、内地ノ鑛
業法ヲ改正スル御考デアリマスガ、第一ニ
ソレヲ承リタイト思フノデアリマス

○小金政府委員 現行鑛業法ノ施行セラレ
ル範圍内ノ改正デアリマス、即チ内地及ビ
樺太ダケデゴザイマス
○朴委員 私人モウ少シ商工省ニ考ヘテ貴
ヒタイト云フノハ、此ノ改正ニ對シ外地ノ
コトモ私ハ考ヘル餘地ガアルノデヤナイカ
ト思フ、是ハ局長サン、能ク知ツテ居ル通

ノ協力ヲシテ一意鑛業開發ニ從事致シテ居
ルノデアリマスガ、何時モ問題ニナツテ居
ル先ニ當リマシテ、今回特ニ改正法律案
ノ中三十三條第二項ヲ削リ、試掘ノ期限ト
云フモノヲ四年ニ延長致シマシタ、反面
ニ於キマシテ從來取扱ヒマシタ所ノ二年毎
ニ更新スルト云フ制度ヲヤメテシマヒマシ
タ、言葉ヲ換ヘテ申上ゲマス、モウ四年
經ツタラ其ノ試掘權ヲ棄テルカ、サモナケ
レバ採掘權ニ改メテ採掘ニ掛ルカ、此ノ二
ツノ途以外ニハナイノデアリマス、此ノ期
限附條件ノ下ニ尙且ツ國家ガ急速ニ其ノ鑛
產物ノ分布ヲ決定シナケレバナラヌ立場ニ
ナツテ居ルコトハ、先程秘密會合ノ席上
ニ於テ厚生政務次官モ承ラレタル如ク、日
本ハ極メテ急需ノ立場ニ立ツテ居ルノデア
リマス、所ガイザ仕事ヲ致シテ參リマスル
ト云フト、不幸ナコトニハ殆ド重要鑛物ト
云フモノノ存在ハ、御手許ニ管理セラレテ
居ル所ノ國立公園ノ分野ノ中ニアルノデア
リマス、道路一本造ル、試掘ヲヤツテ見ル、
調査ヲヤツテ見ル、或ハ其ノ中ニ在ル所ノ
資料等ヲ利用スル、是等ノ點ニ於キマシテ、
悉ク支障ガ起ルノデアリマス、要ラス所ニ
鐵道ヲ付ケテ持ツテ行カナケレバナラヌト
カ、眼ノ前ニズリ、ボタ等ヲ置ケバ宜シイノ
ニ、國立公園地帯ナルガ故ニソレガ邪魔ニ
ナル、恐ラク斯様ナコトデアリマシテ、到
底四年間ニ於キマシテ所期ノ目的ヲ達スル
爲ニハ、茲ニ一ツノ大キナ國立公園ト云フ
モノノ「トラブル」ガアリマスガ爲ニ、私ハ
今厚生省ノ御意見ヲ聊カ御尋申上ゲテ見タ
イノデアリマス

第一點ハ厚生省トシテ事前ニ商工省ト御
連絡ヲ取ラレマシテ、斯カル場合ノ發生セン
リ、外地——所謂朝鮮トカ臺灣トカ云フ
所ハ、此ノ鑛業法ヲ所謂法律ニ定メテ居
ル爲ニ、非常ニ鑛業ヲスル人ニハ不利益
ナコトガ大きいナルト思フノデアリマス
ス、例ヘバ滿洲トカ支那トカト云フ所
ハ別トシテ、我が領土ニナツテ居ル朝
鮮ニ於テ、或ハ臺灣ニ於テモ、御承知
ノ通り墓地ニ付テハ祖先崇拜ノ念ガ強イ爲
ニ非常ニ朝鮮ノ方々ガ大切ニスルコトハ
イ、併シ是ガ爲ニ、法律上デハ鑛區ト墓地
ノ距離ト云フモノガ非常ニ長イ、ソレガ爲
ニ現在マデ捨テ置イタ墓地ニ對シテ鑛區
暴害ノ意味ヲ持ツテ故意ニ法律ヲ楯ニト
ルタメ、非常ニ鑛山ノ關係ガウルサツタツ
來マスタメ、現在鑛業ヲヤツテ居ル人ガ大
分困ツテ居ル、ダカラ是等モ考ヘマシテ、
内地外ト通ジテ改正スル餘地ガアルンデヤ
ナイカト私ハ思フノデアリマス、是ハ朝鮮
總督府ノ權限ニ依ツテ鑛業法ヲ施行スルコ
トニナリマスガドウカ、ソレヲ局長サンニ
承リタイト思フノデアリマス

○小金政府委員 朝鮮ハ恐ラク制令デ内地
ノ鑛業法ノ内容ガ定メラレテ居ルト存ジマ
ス、隨ヒマシテ朝鮮總督府ガ内閣ト御相談
ニナツテ、其ノ制令ノ改正ヲナサルコトト
思ヒマスカラ、内閣ニハ相談ガアルコトト
思ヒマス

○朴委員 ソレカラモウ一ツハ此ノ産金ノ
獎勵ニ於テ今度商工省ガ大藏省ト打合セテ
立テテ増産金割増制度デスガ、是ハ一體局
長サン、アナタハ十分分ツテ居ルノデアリ
マス、私ハ恐ラク局長サンモ專門家デハアルガ能
ク分ラナイノデヤナイカト思フ、字デ讀メ
バ是ハ大體分ルコト云フ人ガアリマスケレド
モ、開ク所ニ依ルト、是ハ作ツタ其ノ人ガ

コトヲ豫知セラレマシテ、何等カノ申合セ
ヲ作リニナル所ノ御意思ガアルカドウ
カ、第二點ハ其ノ申合セヲ爲サレタコトガ
直チニ實行セラレテ、下級官廳ノ手ニ入リ
マシテ、下級官廳ガ其ノ現場々々ニ於ケル
所ノ一切ノ鑛業開發ニ對シテ支障ノナイヤ
ウナ指令ヲ發セラレル必要ガアリハシナイ
カ、此ノ點ニ對スル所ノ御意見ト、第三點
ハ是ハ少シ説明ヲ要スルノデアリマス、御
承知ノ通りニ先程陸軍側ノ御意見ヲ承リマ
シタラ、マダ其ノ内容等ハ私ニハ分リマセ
ヌガ、後カラ商工省ニ御尋致シマス、厚
生政務次官ハ御聽キ及ビデアツタト思フ
ガ、砂鑛ニ關スル限リ——此處デ言ウテハ
イカスカモ知レマセスガ——要塞地帯ノ開
放ト云フコトガアリマシタガ、其ノ點ニ關
シマシテ、厚生省ハ此ノ重大ナル時局ニ
マシテハ、出來得ル限リ國立公園地帯ト
シテノ特殊性ヲ備ケナイ範圍ト云フコトヲ
制限條件ニ致シマシテ、國立公園ヲ開放セ
ラルル意思ハナカラウカ、此ノ點デアリマ
ス、其ノ次ハ法律ノ立法方カラ來ルノデア
リマスガ、試掘權ノ四年ト云フモノガ
リマス、試掘權ニ於キマシテ、色々調査研
究ヲ御許シ願ヘルト致シマシタラ、其
ノ調査研究ヲシタモノガ、殘念ナガラ個人
トシテハ採掘スルコトガ出來ナイト云フ條
件ノ下ニ置カレマス、併シ一旦緩急アツタ
場合ニ於キマシテハ、國立公園ヲ開放セラ
レタル場合ニ於テ、其ノ前者ノ苦勞ト云フ
モノヲ是非トモ認ムルト云フ所ノ申合セヲ
商工、厚生兩省ニ於テ致シテ貰ヒタイノデ
アリマスケレドモ、此ノ點ニ對スル所見如何
ト云フ問題デアリマス、是ダケ一應承ツテ置
キマスガ、是ハ私カラ説明スルマデモナ

分ラスト云フコトデアル、朝鮮ノ所謂専門
家アタリデモ今度ノ割増金制度ト云フモノ
ハ、是ハドンナモノカト云フテキル、實際
自分達モ分ラヌ、作ツタ當局ガ分ラヌト云
フコトニナルト、寧ロ吾々ハ最モ分ラヌ譯
デアル、是ハ局長サン、一體アナタハ能ク
分ツテ居リマスカドウカ、ソレトモ是ハ大
藏省カラ威力サレテ、コンナ詰ラヌコトヲ
承認シタノデアリマスガ、一遍説明ヲ聽キ
タイト思ヒマス

○小金政府委員 昨年十一月公布セラレ
タ産金量出規則、是ガ商工省令デ、基準
産金量ヲ届出ルコトニナツテ居リマス、
又同時ニ出マシタ大藏省令ノ増産金買上規
則ト云フノガアリマス、恐ラク此ノ増産金
買上規則ノコトダト思ヒマス、中々一見致
シマシタノデハ了解シクイ所ガアルト存
ジマスガ、私ハ是ハ分リマス、職掌柄ニ
角分ツテ居リマス、唯實際之ヲ目當ニ金ノ
増産ヲセラレヨウトナサル方ニハ相當不便
ダラウト云フコトモ承知致シテ居リマス、
併シナガラ是ハ何トカシテ産業者ニ金ノ
新ナル増産ヲシタ場合ニ援助シタイト云フ
心構ヘカラ、私共贊成致シマシタノデ、是ガ
無イヨリモマダ宜イト云フノデ贊成致シマ
シタ、併シナガラ是デハ極メテ十分分
ルト存ジマスカラ、只今御指摘ニナリマ
タ増産金買上規則ト産金量出規則、共ニ
是ハ何トカ致シタイト思ツテ居リマス、既
ニ商工省令ノ産金量出規則ノ方ハ改正致
シマシタ、特別ニ二十三年ヲ基準ト致シマス
ルケレドモ、特ニ二十三年ヲ努力ヲシテ出
シタ山ノ基準産金量ト云フモノニ付テハ、商
工大臣ガ査定出來ルト云フ風ヲ建前ニ改正
致シマシタ、大藏省令ノ方ニ付キマシテハ、

ク、臺灣ニモ二ツ國立公園ノ施行地帯ガア
ルノデアリマス、是ガモウ全部金ノ巢窟ナ
デアリマス、此ノ中央山脈ノ金ノ巢窟ガ全部
國立公園ニナツテ居リマス、北海道ノ如キ
ハ、阿寒國立公園ハ殆ド北海道ノ重大ナル
地點ヲ全部包含シテ居ルノデアリマス、ソ
コニ多クノ埋藏物ノアルト云フコトハ説明
スルマデモナイノデアリマス、左様ナ譯デ、
此ノ點ニ關聯致シマシテハ忌憚ノナイ御意
見ヲ承リ、今後日本ノ鑛產開發ニ對シテ厚
生省ハ虚心坦懷ニ一ツ商工省ニ御協力願フ
ト同時ニ、下級官廳ニ對シマシテハ文書其
他ノ點ニ關聯致シマシテ、日時ガ徒ニ延
遷致サレナイヤウニ、十分御指示ガ徹底ス
ルヤウナ取扱ヲ願ヒタイト思フ立場カラ御
尋ヲ致シマシタ

○松政府委員 只今長谷君ノ御尋ニ對シ
マシテ私ノ承知シテ居ル點ダケヲ御答シマ
シテ、尙ホ詳細ノ點ハ他ノ政府委員カラ御
答ヲ願フコトニ致シマス、御承知ノ通り國
立公園ハ優秀ナル國土保存ノ必要カラ制定
サレタ法律デアリマシテ、ソレガ爲ニ一私
人ノ所有權ヲ制限スルコトノアルノハ是ハ
已ムヲ得ナイコトデアリマス、併シナガラ
今御高調ニ相成リマシタヤウニ、今日ノ時
局柄、而モ鑛產資源ノ問題ガ緊迫致シテ居
リマス我國ニ於キマシテ、其ノ貴重ナル
鑛物ヲ開發スルニ必要ナ、國立公園ニ對シテ
幾多ノ制限ノアルノヲ開放シナケレバナラ
ナイト云フコトノ問題ハ、當然起リ得ベキ
問題デアルノデゴザイマスガ、サウ云フヤ
ウナ特殊ナ事情ノアリマス場合ニハ、御
承知ノ如ク此ノ國立公園ノ第八條ノ第二項
ノ第三ニハ、鑛物ノ試掘若クハ採掘、砂鑛
ノ採取、又ハ土砂ノ採掘ト云フヤウナコト

大藏省ト今相談シテ、何トカ簡易化シテ、
モツト早イ效果ヲ上ゲタイト考ヘテ居リマ
ス
○櫻井委員長 朴君一寸御諒解ヲ願ヒマス
ガ、或ハ外地ニ互ル意味ノ御質疑モアルト
思ヒマスガ、サウスレバ朝鮮ノ政府委員
モ御出席ヲ願ツタドウカ、ソレカラ大藏
大臣モ間モナク見エマスガ、ソレニ先シ
マシテ長谷君ガ厚生省ノ政府委員ヲ要求サ
レテ居リマシテ、ソレガ見エタノデアリ
ニ一寸暫クノ間質疑ヲ御譲リヲ願ヒタイト
思フノデアリマス、ドウソ御諒解ヲ願ヒマス——
長谷長次君
○長谷委員 是ハ厚生省當局バカリノ問題
デハナクテ、主タル官廳ト致シマシテハ、内
務省ノ土木局、或ハ農林省ノ林野局、或ハ
水産局、此ノ各官衙ニ共通シタ所ノ質問デ
アリマス、左様ニ御譲取リヲ願ヒタイト思
ツテ居リマス
此ノ重大ナル時局ニ當リマシテ、鑛產資
源ノ急速ナル開發ト云フモノハ、モウ缺ク
ベカラザル所ノ事態ニナツテ參リマシタ
ガ、今回提出セラレマシタ鑛業法中改正法
律案ノ骨子トスル所ハ、全ク日本ノ持ツ
所ノ鑛產物ノイザト云フ時ノ開發狀態ノ直
前マデ進メタ鑛業分布圖ヲ作ラントスル基
本法デアリマス、カルガ故ニ之ヲ作ル上ニ
於テ、吾々ノ一番念頭ニ置カレテ居ル問題
ハ、商工省ノ轄下ニ立ツテ居リマスル所ノ
官廳ト致シマシテハ、鑛山監督局、ソレカ
ラ現在吾々ノ手ノ中ニアリマスルモノハ産
金振興會社、昨年出來マシタ所ノ帝國鑛業
開發株式會社、是等ノモノガアルノデアリ
マス、其ノ外ノモノハ皆民間側ガ之ニ裏表

ガ必要アリマス時ニハ、此ノ第八條ノ規定ニ依リマシテ、主務大臣ノ許可ヲ仰ヘバ、主務大臣ハ之ニ許可ヲ與ヘルコトノ出...

テ適當ナ處置ヲ採ルコトガ至當デアラウト考ヘルノデアリマス、今御質問ニ依リマシ...

テ十分ノ働キヲシテ與レルコトヲ確信致シマス、是ハ親切ノ上ニモ親切ヲ盡シ、努力...

究ノ結果明確ニナリマシタ時ニハ、厚生省ト致シテハ勿論アナタノ御主張ニナル...

ノヤウナ感シガシナイ、マダ方針ガ決ツテ居ラヌナラバ改メテ省御協議ノ上ニ省ノ...

ノデアリマスガ、其ノ點モ吾々當局トシテ十分注意ヲ致シテ居リマス、商工省等カラ...

生省當局ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス、今日ハ有難クゴザイマシタ

○松政府委員 只今ノ長谷君ノ御希望御尤モデアリマスガ、主トシテ國立公園法ト...

テ、許可ヲ得テ場合ニ於テハ鑛區ト爲シ得ルト云フ風ニ改メテ居リマス、其ノ位ノコトデアルカラ、國立公園ニ付キマシテモ、眞ニ其處ニ國家有用ナル鑛物ガアル場合ニ於キマシテハ、之ヲ早ク開發サセト云フコトハ當然デゴザイマシテ、唯今東條サンノ御説ニモアリマシタ、又長谷サンモ仰シヤツテ居リマシタガ、國立公園ヲ造ル本旨カラ自ラ制限ガアリマス、ソレレ其體の申上ガマス、阿蘇國立公園地帯トカ、大雪山國立公園地帯ト云フヤウナ所ニ於キマシテハ、厚生省カラ、此ノ範圍マデハ鑛區ヲ設立シテ宜シト云フヤウナ御案ガ參ツテ居リマス、ソレニ對シテ私共ノ方ハ、此ノ範圍マデハ鑛物ノ存在ガ略、明確ニナツテ居ル又明確ニ致サナケレバナラヌモノダト考ヘテ居ルト云フヤウナ見地カラ、只今折衝致シテ居リマス、ソコデ私ノ方カラ鑛物ノ開發ヲ一刻モ早ク、又少シデモ多ク鑛物ヲ増産シタイト云フ立場カラノミ走リマス、色々ナ弊害モ生ジマス、ソコデ兩方ガ異存ガナイ部分ガアリマスカラ、之ニ對シテハ具體的ナ出願ガアレバ異存ノナイ部分ニ對シテハ許可致シテ居リマス、兩方ノ主張ノ異ツテ居ル部分ニ付テ出願ガアリマシタ場合ニハ、此ノ部分マデハ宜シトカ、此ノ道路マデハ宜シトカ、此ノ澤マデハ宜シトカ、此ノ澤マデハ鑛物ガ斯ウ云フ風ニナツテ居ルカラト云フヤウナコトデ、具體的ニ急イデ此ノ問題ヲ片付ケテ行ク、唯全般的ニ此ノ國立公園ハ此ノ範圍ニ於テ鑛區ヲ認メルトカ、鑛業權ノ設定ヲ認メルト云フコトガ原則的ニマダ出來テ居リマセ

ルダケ早ク折衝シテ決メテ戴イテ居リマス

○木村委員 一寸關聯シテ數字ガケ同ヒタイノデスガ、國立公園地帯ニ對シテ鑛業權ヲ出願シテ居ル鑛區ハドノ位アリマスカ

○小金政府委員 只今ノ御答ノ中少シク補足致シテ置キタイト存ジマス、ハ、是ハ國立公園トハ限リマセスガ、鑛業權ヲ設定シテ善イカ惡イカト云フコトヲマダ研究中デ、是ハ公益ヲ害スルモノトシテ許可シナイ方ガ宜イカ、スル方ガ宜イカト云フヤウナ所ニ於キマシテハ、鑛區設定ノ手續ガ遅レテ居リマス、隨テ鑛業權トシテノ起算點ガソレダケ遅レル譯デアリマス、隨ヒマシテ出願者ニ取ツテハ優先權トカ何トカト云フ地位ヲ失ハナイヤウニナツテ居リマスケレドモ、日本ノ鑛業開發方今日ノ如ク非常ニ急ヲ要スルト云フヤウナ場合ニ於テハ、是非非常ニ支障デアラウト存ジマス、只今木村サンカラ御尋ノ國立公園地帯ノ出願或ハ鑛區ノ設定サレタ數ハ只今取調中デゴザイマスカラ後程御答致シマス

○林委員 我先刻鑛產局長ニ對シテ鑛業權ニ付テ分リマスカト言ヒマシタノハ、アナタヲ侮辱シタノデハアリマセス、專門家タルアナタガ立會ツテ此ノ鑛業權制度ノコトヲヤツタノハ、何デ此ノヤウナ分ラヌ複雜シタインチキノヤウナコトヲシタカト云フノデス、是ハ實際分ラナイ、インチキ即チ鑛業權ト云フハナケレバナラナイ、是ハアナタモ御承知デアラウト思ヒマスガ、今日商工省ハ内外地ヲ通ジテ五箇年計畫ニシタモノハ、半島ガ五箇年間ニ七十五處ニ對シテ、内地ガ五十六處ト云フ計畫ヲシテ居ルト云フコトハ言フマデモアリマセス、併シナガラ今日ノ根本方針ガ矛盾シテ居ル場合ニハ、アナタ方ノ計畫ハ全ク出來ル道理モナ

イシ、ソレカラ又無駄ナ骨折ヲシナケレバナラヌト云フ氣ガ私ハスルノデアリマス、一體日本ガ世界ノ三大國トシテ、所謂國際相場ヲ基準トシテ、内地ニヤラスベキモノヲ、何ガ故ニ國際相場ノ所謂時價以下デヤルカ、而モ其ノ開キガ大キイ、調ベテ見ルト一瓦ニ對シテ一圓位ノ開ガアル、今日ノ日本ノ建前カラ言ヘバ、尙更其ノ國際相場ヲ基準トシテ補助シテ増産計畫ヲヤラナケレバナラヌ立場ニアルニモ拘ハラズ、國際相場ヨリ一瓦ニ對シテ一圓安ク買ツテ、サウシテ今度此ノ下ラナイヤウナ所謂割増金制度ト云フ分ラナイモノヲ何ガ故ニタツ付ケテ居ルノカ、其ノ眞意ガ分ラナイト云フノデアル、鑛產局長ハ能ク私ハ御承知デハナイカ、ニモ拘ラズ議員ノ中ニハ認認ヲ誤ツテ居ル人ハドウ云フコトヲ言ツテ居ルカト云フコト、今日ノ産金ノ値ハ其ノ中ニ上ルカラ、鑛石ガ澤山坑内ニアツテモ外ニ出シテハナラナイト云フヤウナコトヲ云フ認識不足ナ人ガアリマス、内地ハ知ラナイケレドモ、外地ノ朝鮮邊リハ隨分無理ヲシテ出シテ居ル、無理ヲシテ出シテ居ルガ、大體商工省ノ計畫ハ初メ五十六處トカ、七十五處トカ計畫スル當時ニ、私共ハ内地デハ三五瓦トカ四瓦トカアルナラバ引合フト云フヤウナコトヲ聞イテ居ツタノデスガ、是モアナタ方ガ知ツテ居ル通り、鑛量ノ問題デアル、今日ナラバ連モ此ノ三五瓦、四瓦、五瓦、六瓦位デハ引合フヤウナコトハナイト思フ、是モ何處ヲ基準トシテ左様ナコトヲ決メタカ、私共ニハ分ラナイ、一體國際相場ヨリモ一

○委員長退席、依光委員長代理著席

○木村政府委員 只今金ノ買上價格ガ國際水準ニ比較シテ非常ニ安イカラト、其ノ點ニ付テ色々御質問ガアリマシタガ、今林君ノ御話ノヤウナ點ハ、從來カラ産金業者カラ非常ニ強ク主張サレテ居ル點デアリマス、大藏省ニ於キマシテモ、ソレ等ノ點ニ付テハ十分諒解ヲ致シテ居リマス、隨テ金ノ増産ト云フコトハ、國策遂行ノ上カラ、此ノ際最モ重要ナ點デアリマス、各方面ノ意見モ聽キ、又商工省トモ十分打合セテ、ソレ等ニ對シテ對策ヲ考ヘテ居ル次第デアリマス、併シ對策ヲ考ヘテ居ルカラト云フツテ、何モ産金ノ買上價格ガ、斯ウ云フ意味デハアリマセスガ、金ノ増産獎勵ニ付キマシテ、今後從來ノヤリ方ニ再檢討ヲ加ヘテ、サウシテ十分對策ヲ立テタイ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居ル次第デアリマス

○林委員 大藏政府次官ハ特ニ私ノ崇拜シテ居ル政府次官デアリマスカラ、忌憚ナク思切ツテ御聽キシタイト思ヒマス、併シ今ノ政務次官ノ御答辯ニ依ルト、一寸濁ル言葉ガアルノデス、ソレハ上ゲル積リヂヤナイケレドモ、マア特ニ考ヘルト云フコトヲ私ハ聽イタノデアリマス、今度ハ政黨ノ大藏大臣デアリ、政黨ノ政務次官デスカラ、此ノ大藏省ノ内部ヲ根柢カラ改革シナイト、日本ノ物動計畫ト云フモノハ殆ド「ゼロ」ダト思ツテ居ル、何トナレバ、アノ人等ハ唯執ノ上カラ言ヘバ中々頭ガ良イ方ダカ

ラ、コンナ割増金ト云フヤウナインチキ位ノコトハヤルガ、實際ニ打ツ突カツテ仕事ヲスル人ノ身ニナツテ見レバ、コンナ馬鹿ナコトヲ言ツテ居ルノハ、私ハカシクテ仕樣ガナイ、同ジ金ヲ捨テラバ、男ヲシク國際相場ニ釣上ゲレバ宜イデハナイカ、兎ニ角昭和十三年ノ五月カラ此ノ「グラム」三圓八十五錢ト云フモノガ私ハカシク、政務次官モ昭和十三年カラ今日ノ物價ガドノ位騰貴シテ居ルカト云フコトモ御承知デアラウト思ヒマス、第一番ニ外地ニ於ケル勞働賃金、昭和十二年、十三年アタリト比レバ、半島ノ人夫賃金カラ言ヘバ、今日ハ殆ド三倍位ニナツテ居リマス、其ノ當時ハ先ヅ五十錢カラ六十錢位デアツタケレドモ、今ノ坑夫アタリハ一圓二十錢、一圓五十錢位ナラケレバ、重メルトコトガ出來ナイ、其ノ當時今日ハ總テノ物價ガ騰貴シテ、物ニ依ツテハ倍ニナツテ居ル、此ノ間モ私ハ豫算總會デ商工大臣ニ申上ゲタノデスガ、兎ニ角開取引ト云フモノハ取締ラナケレバナラナイ、賣ル者ト買フ者トデスル間取引、是ハ寧ろ買フ人ノ方カラ要求シテ居ルノデス、現在ノ「レール」、アレハ私共ハ殆ド一年位前切符ヲ買ツテ、ソレヲ出シテ居リナガラ手ニ入ラナイ、是モ或所カラ聞クト、一万八千圓與レルナラバ一哩位分ケテヤツテモ宜イト云フ、ソレハ昭和十二年トカ、十三年ニハ二千五百圓、一番安イ時ニハ千六百五十圓位デアツタモノガ、今日一万八千圓位ナラバオ前達ニ讓ツテヤラウト云フヤウナ時代ニナツテ來テ居ル、ソレニモ拘ハラズ産金ニ付テ、昭和十三年ニ兎ニ角決メタモノヲ、今日マデ其儘ニシテ國際相場ヨリ今言ツタヤウニ一圓位

安クシテ買ハナケレバナラヌト云フ理窟ガ僕ハドウ考ヘテモ分ラナイ、ソレデ今日ハドウカト言ヒマス、此處ニ書イテアル通り、是ガ又政府ガ泥濘ヲ作ツテ居ルヤウナモノデアル、此ノ割増金制度ト云フモノハ、是ハ兎レナイヨリ兎レタ方ガ宜イガ、二圓以下一圓マデノ割増金ヲ與ヘルト云フコトハ、是ハ産金業者カラ言ヘバ有難イ、併シ割増金ノ割當テ方ガ非常ニ巧妙ニ出來テ居ル、例ヘバ乙ノ鑛山ニ甲ノ鑛山ニ丙ノ鑛山ヲ同ジ會社ガ持ツテ居ルトスレバ、今マデノ昭和十三年度ヲ基準トシテ、ソレカラ以テ上ニ上ツタモノニ對シテ、二圓カラ一圓ノ割増金ヲヤル、所ガ從來例ヘバ乙ノ鑛山ガ百圓ノ鑛石ヲ出シタト云フコトデアレバ、其ノ百圓ニ對シテハ割増金ヲヤラヌ代リ、百十一圓ニ出タ場合ニハ、百圓ハヤラナイガ、十一圓ニ對スル割増金ヲヤラヌ、斯ウ云フコトニナツテ居ル、所ガ今度此ノ二圓カラ一圓ノ割増金ヲ費フ爲ニ、同ジ會社ガ甲ト乙ト丙ト云フ鑛山ヲ持ツテ居レバ、其ノ甲ヲ助ケル爲ニハ乙ヲ潰サナクテハナラナイ、乙ノ方カラ出タカラ、乙ノ方ニ割増金ヲ與レト云フコトニ私ハナラト思フ、サウ云フ複雜シタコトヲシナケレバナラヌモノカドウカ、私ハ國ガサウシナクテハナラヌモノト思フトカシクテ仕樣ガナイ、モウ一ツハ此ノ割増金ト云フモノヲ與ヘル爲ニハ、第一番ニ役人ト云フモノヲ十數倍使ハナケレバナラナイ、今日ノ金ガナクテ非常ニ困ツテ居ル際ニ何百何千ト云フ金ヲ使ハナクテハナラヌコトニナル、所ガ鑛產局長モ知ツテ居ル通り、割増金ハ中々スルノ一ト貴エルモノデヤナイ、補助金ヲ買フ人ガ假ニ千圓買フトスルナラ

バ、諸費用トシテ先ヅ二割カ三割位ヲ差引カレナクテハナラナイ、手續ヲスルニシテモ何ヤ彼ヤ實ニニルルサ、是モ出セ、アレモ出セ、役所ノスルコトダカラ、一字違フテモ之ヲ突返シテ、コイツハ手續モ知ラナイト云フヤウナコトガ多クアル、コンナムヅカシイコトヲシテ産金業者ヲ苦シメナケレバナラナイ國ノ建前デハナイト私ハ思フツテ居ル、商工省ハ能ク分ツテ居ル、直接間接此ノ鑛山ヲヤツテ居ル者ト、鑛山ノ中間接此ノ鑛山ヲヤツテ居ルカ、能ク分ツテ居ル、分ラヌ者ハ大藏省デアル、殊ニ私ハ言ウテモ差支ナイト思フガ、大藏省ノ事務次官タルアノ大野ト云フ人間、アレハ何モ知ラナイノダ、知ラナイカラ、或ル人ガ割増金制度トカ色々關係ヲ尋ネテ行クト、長向モモ度トカ色々關係ヲ尋ネテ行クト、長向モモズニ頭カラ成スト云フ、サウ云フヤウナ人間ヲ大藏省ガ改革シナケレバ、今ノ物動計畫ト云フモノハ以テノ外ダト思フテ居ル、幾ラ政府ガヤカマシク言ツツテ、ソレハ出來ヤシナイ、ソコデ今日ハ産金ノミデナク、先程鑛產局長ガ或ハ鉛トカ錫トカ云フ物ノコトモ仰シヤツタガ、アナタノ言ハレトハ、是ハ幾ラ政府ガ號令ヲ掛ケタ所デアラウコトナ、日本ノ國ニドウシテモ必要ナラバ値ヲ良クシテ買フ方ガ宜イデヤナイカ、兎ニ角此ノ間吾々ハアノ物動計畫ニ對スル色々ナ説明モ聽キマシタガ、實際情ケナイ、聽テ驚イタ、私共ハ日本ノ國ハソレ程マデハナイカト思フテ居タノデス、例ヘバ此ノ間商工大臣ハ豫算總會デ石炭十萬圓ニ對シテ三萬圓損シテ、日本ノ國ノ儲付ケナガラ外國カラ買フノハドウ云フ譯カト云フ或ル委員ノ質問ニ對シテ、今日ノ日本ノ

現狀デハ背ニ腹ハ代ヘラレナイカラ買ツタト云フ答辯デアリマシタ、併シナガラ其ノ一應ニ對シテ六十五圓日本ノ港ヘ著イタ石炭ヲ買フナラバ、今日ノ日本ニダツテ石炭ガ全然ナイ譯デアリ、相當ニ値ヲ引合ヘバ出ルノデアル、ソナ高イモノヲ外國カラ買ハナイデモ宜イ、外國ノ捨テル金ガアルノニ、國內ニ對シテハギユウ「イ」デメルト云フコトハドウモイケナイ、ソコデ私共モ多少直接ニ經驗ヲ持ツテ居リマスカラ申シマスガ、此ノ増割金制度ニ對スル各方面ノ非難ガ多イト云フコトハ、鑛產局長モ能ク御承知デアラウト私ハ思フ、兎ニ角問題ハ此ノ割増金ト云フモノ、ソレカラ補助金制度、所謂産金獎勵金デスガ、此ノ獎勵金ガ少シ多ク出テハ居ルガ、實際ニ事業ヲヤツテ居ル人ニハ幾ラニモ當ラナイ、是モ無イヨリ有ル方ガ宜イケレドモ、兎ニ角サウ云フムヅカシイコトヲセズニ、價值ヲ國際相場マデ釣上ゲテヤレバ、政府ガソナニ獎勵金ヲ付シテ居ルガ、政府モ、僕ハ産金ハ思フ通りニ五十圓キ七十圓ハ出ルト思フ、一方ハ獎勵ヲ出シ一方ハ金ヲ安ク買フ、ドウモ矛盾シテ居ルト思ヒマス、ソレカラ日本産金振興會社ハ三億萬圓ト云フモノヲ計畫シテ居ルガ、内地ハ九千萬圓、朝鮮ハ一億九千萬圓、臺灣ガ二千萬圓ト云フ割當金ハ結構デアアルガ、併シ片一方デハ之ヲ獎勵スル爲ニ議會ヲ協賛スルヘテ兎ニ角アア云ツタヤウナ豫算ヲ取ツテ居ル、サウシテ一方ハ獎勵金ヲ與ヘ、片一方ハ抑付ケテ居ルト云フコトハ餘リ感心シタコトデハナイト思ヒマス、是ハ大藏省ノ政務次官ハ能ク御承知デアルト思ヒマスガ、例ノ鑛產利得稅、アレハ兎ニ角ヒドイモノダ、

内地ハ二割五分、朝鮮ハ二割三分、ノ爲ニ今日鑛山ノ賣買ト云フモノハモウ既ニ中止シタヤウナ状態デアツテ、朝鮮ノ人ハ一内地ハドウカ知ラナイガ、恐ラク内地モサウチヤナイカト思フガ、實際鑛山ト云フモノハ親子代々マデ掘ラウト云フ意思ヲ持ツテ居ル人ハ少イ、鑛山ヲ早ク見付ケテ、甲ノ會社ヘ賣ルトカ、乙ノ會社ヘ賣ルトカ、丙ノ會社ヘ賣ルトカ云フコトガ多ク、是ガ今日ノ例ノ法律ヲ抑ヘラレル、二割五分ノ額ヲ得ルベシ、之ヲ本當ニ二割五分取ラレル、此ノ利益稅ト云フモノガ又非常ニイシチキニ出來テ居ル、是モ引ク、アレモ引ク、何處ニ中心ヲ置キ、何處ニ基準ヲ置クカ分ラナイ、之ヲ本當ニ二割五分取ル爲ニ、根本的ニ調ベレバ、結局稅行爲方起ル、稅行爲方起レバ兎ニ角之ヲ監獄ニ入レルト云フコトニナル、幾ラデモ監獄ニ入ル者ガ多クナル、國方泥棒ヲ作ルヤウナコトヲヤウテ居ル、一方ノ方デハ獎勵ヲヤリ、獎勵金ヲ出シテ、兎ニ角三億萬圓臺ノ會社ヲ作ツテ居ルト云フコトヲシナガラ、片方デ抑ヘテシマツテ居ルノダカラ、朝鮮ハ殆ド鑛山ノ賣買ハナクナツタ、ナクナツテシマツタカラ、モウ鑛山ヲ見付ケル人モナイ、ソコデ此ノ二割五分ノ利益稅ハドウシテモ取ラナケレバナラヌモノカ、ソレカラ又實際ニ私共ハ大藏省ノ思ツテ居ルコトト反對ニ、是ガナクチヤナラヌト云フ鑛物ヲ出スニハ、所謂勳モスレバ事變ト云フコトヲ盾ニ取ツテ居ルケレドモ、尙ホ更此ノ事變ニナクチヤナラヌ鑛物ヲ掘ルト云フコトヲナラバ、今ノ商工大臣ノ言フ通り背ニ腹ハ代ヘラレナイト云フヤウナ立場カラ、寧ロ鑛產稅ト云フモノハ無稅ニシテ、

金ハ今日ノ日本ニ於テハ無限ニ要ルモノデアリ、此ノ要ルモノヲ掘ルト云フコトガ私ハ國家ノ建前チヤナイカト思フテ居ル、ソレヲ一方デ獎勵シテ置イテ一方デ抑ヘ付ケテ居ル、何ガ何ヤラサツバ分ラナイヤウナ矛盾シタコトヲシテ居ルヤウナ人間ヲ大藏省ニ置クコトハ、是ハ中々容易ナラヌコトダ、何モ大藏省ノ大野サシハ親ヲ殺シタ仇チヤナイガ、併シテ人間ヲ置イテハ駄目ダ、デアリマスカラ、私ノ信賴スル政務次官ガ居ルノダカラ、根柢カラ大藏省ノ立直シヲシナケレバイケナイ、今言ウタウニ國ノ爲ニヤラスベキモノヲ二割五分ノ利益稅ヲ取り、片方デ獎勵金ヲヤル、ドウシテ斯ウ云フヤウナ矛盾シタヤリ方ヲヤラナケレバナラヌカト云フコトヲ、モウ一週大藏政務次官カラハツキリ聽カシテ載キタ

○木村政府委員 只今朴君ノ申サレマシタヤウニ、重要鑛產物ニ對シテ今日ノ時局柄政府ガソレニ適當ナ對策ヲ講ジナクチヤイカスト云フ御議論ニ對シマシテハ、私モ全然同感デアリマス。
(依光委員代理退席、委員長著席)
隨テ今回ノ稅制ノ改正ニ於キマシテモ、此ノ現下ノ差迫ツタ經濟政策トハ十分ナ調和ヲ圖ル、斯ウ云フ見地カラ改正ヲ致シタルデアリマシテ、隨テ例ヘバ金、銀、礦物アルトカ、或ハ銅、鐵、錫、鋅、硫磺、硝石、ニッケル、マンガン、石油、斯ウ云フヤウナ重要鑛產物ニ對シマシテハ、法人稅、分利所得稅、是ハ大體稅率ノ百分ノ二ヲ輕減スル、或ハ事業ヲ開始シタ年及ビ其ノ翌年ヨリ三年間ハ法人稅及ビ營業稅、所得稅ナドモ免除スル、斯ウ云フヤウナ規定ヲ致シテ

居リマスノハ、金クサウ云フヤウナ所カラ起ツテ居ル次第デアリマシテ、之ヲ總テ無稅ニシテシマフコト、ソレモ一ツノ方法カモ知レマセスケレドモ、政府トシテハ只今山上ゲタケ程度ニ於テ、是等重要鑛產物ノ増産、其ノ事業ノ發達ヲ圖ル、斯ウ云フ建前ニ致シテ居ルデアリマス、先程從來ノ臨時利得稅法ノ中ニ規定シテ居リマス讓渡利得、是ノ百分ノ二十五ト云フモノハ多過ギルチヤナイカ、斯ウ云フ御意見デアリマシタガ、是ハ先づ百萬圓自分ノ權利ヲ讓渡シタ者カラ二十五萬圓ダケハ納メサセル、七十五萬圓ダケハ其ノ人ノ所得ニスル、斯ウ云フ建前ト相成ル次第デアリマスカラ、先づ其ノ程度位ノ稅ヲ納ムルコトハマア國ノ爲ニ忍ブベキコトチヤナカラカ、斯ウ云フ趣旨デアリキコトチヤナカラカ、色々大藏省ノ立直シ等ニ付テモ御意見ガアリマシタガ、ソレ等ノ點ハ能ク傾聴致シテ置ク次第デアリマス。
○朴委員 私ハ大藏政務次官ノ御答辯ヲ聽キマシテ、成程吾々日本國民トシテハ、何モ國ニ稅金ヲ納ムルコトヲ喜ムモノデハナイ、アレバ幾ラデモ出ス、此ノ際ハアルダケ出スト云フコトガ國民ノ義務ト私共ハ信ジテ居リマス、併シテナガラ斯ウ云フ矛盾ガアルコトハ政務次官モ御承知アルト思ヒマス、例ヘバ先例申上ゲタ會社、甲ノ會社ハ損ヲシテ居ル、丙ノ會社モ損ヲシテ居ル、乙ノ會社ハ今言ウタ通り百萬圓儲ケテ居ルト假定シマス、甲、丙ハ二百萬圓位損ヲシテ居ル、此ノ二百萬圓損シタト云フコトハ頭ニ置イテナイ、是ハ人間ガ違ツタナラバ別問題デアスガ、同じ朴ナラバ朴ト云フ人間ガ鑛山ヲ持ツテ居ルト假定シテ、同じ人ガ甲モ持

ツテ子供ニ持ツテ置クカラ、子供ガ本當ニ林檢ヲ持ツテ食ヘルモノダト思フ所ガ、ソレガ偶々暴露シテ、初メテ林檢ノ賣買切取ツテ、中ニ砂金ガ入ツテ居ルト云フコトガ分ツタ、サウ云フコトマデヤツテ居ル、之ヲヤル人間ハ、國ノ方針ヲ裏切ツテヤルノダカラ、無論惡イ、惡イケレドモ、兎ニ角國方惡イ事ヲ前ヤレト云ツテヤラシテ居ルヤウナモノダ、今言ヒマシタヤウニ産金ノ獎勵金ヲヤツテ、兎ニ角日本ハソレガナケレバ外國カラ品物ヲ一ツモ買フコトガ出來ナイ今日ノ立場デアルニモ拘ラズ、實際相場ヨリ一圓安ク買ツテ、サウシテ斯ウ云フ馬鹿ナコトヲ隠レテヤラセナケレバナラヌト云フ理由ガ何處ニアルカト云フコトヲ、政務次官カラ第一ニ聽カシテ貰ヒタイト思フ、其ノ理由ガ僕ニハ分ラナイ

○木村政府委員 國際水準ヨリ金ノ買入價格ヲ一圓安クシテ居ルノ理由ガナイ、斯ウ云フ御意見ハ、御話ノ點ダケカラ考ヘマスト御尤ノヤウニモ思ヒマスガ、御承知ノヤウニ政府デハ金ノ集中、民間ニアル積金ノ集中ニ力ヲ盡シテ居リマシテ、是ハ額ヲ申上ゲ惡イト思ヒマスガ、昨年中ニ産金以外ノ金デ政府ノ集メタ額ハ相當額ニ達シテ居リマス、是ハ恐ラク世人ノ想像以上ノ額ニ達シテ居リマシテ、政府ハ一定ノ價格ヲ以テソレ等ノ金ヲ國民カラ買上ゲタ譯デアリマスカラ、茲ニ又金ノ價格ヲ上ゲルト云フコトニナリマス、今日マデ國民ヲ欺イタト云フ風ナ非難モ亦一而生ジテ來ル譯デアリマス、隨テ此ノ際金ノ價格ヲ國際水準マデ直ク引上ゲル、昨年ヨリモ一回ナラ一圓引上ゲル、斯ウ云フコトヲヤリマス、今日マデ國民ガ努力ヲシテ、

相當犧牲的精神ヲ以テ政府ノ爲ニ隨分多クノ金ヲ賣ツテ居ル者カラ、非常ナ不信ヲ政府ガ買フ、斯ウ云フ結果モ一面アリマスカラ、其ノ點ハ國民思想ノ上カラモ十分考慮ヲ致サナクテハナラヌト思ヒマス、然ラバ今朴君ノ御話ニナリマシタヤウニ、金ノ價格ガ國際水準ヨリモ安イ、斯ウ云フコトデアリマスガ、政府ハ増産獎勵金ナリ助成金ナリ、或ハ割増金ノ制度ナリ、色々ナ方法ヲ講ジマシテ、寧ロ國際水準ヨリ或ル點カラ言フト高クナル、斯ウ云フコトモ考ヘラレルトデアリマシテ、必ズシモ金ノ買上價值ヲ變更シナケレバ、産金業者ノ手ニ入ル價格ガ高クナル、高クナラヌ、斯ウ云フ譯ノモノデハナイト思ヒマス、隨テ増産獎勵金ナリ、或ハ助成金ナリ、色々ノ方法ヲ講ジマシテ、金ノ價格ハ或ル點カラ言フト國際水準ヨリモ高クナル、斯ウ云フコトモ考ヘラレル譯デアリマス、色々ノ方法ヲ今日マデ實施シテ來タ経緯等モアリマシタ、今得十分後ノ方法等ニ付テモ考ヘテ見ナクテハナラヌ、斯ウ考ヘル次第デアリマス

○朴委員 政務次官ノ御答辯ハ、成程今マデ民間ノ持ツテ居ル金ヲ大分取上ゲタ關係上、急ニ價格ヲ上ゲルトハ困難デアリ、是ハ御尤モナ所ガアルト思ヒマス、併シ大藏政務次官ハ後ノ答辯ノヤウナコトデハ大間違ヒデアリマス、アナタハモット頭ヲ作ツテ掛ラナケレバナラヌ、獎勵金トカ割増金トカ云フモノヲ與ヘルコトヲ考ヘテ見ルト、今ノ國際相場ヨリ高イデハナイ、成程サウ云フコトニナルカモ知レマセ、所ガ實際ニ獎勵金ヲ買フ人ノコトヲ聞キマス、今日ノ鑛山ニハ實際技術家ガナイ、之ヲ雇フニモ、以前ニハ二百二十圓十百五十圓デ方々

第六期第六號 礦業法中改正法律案外一件委員會議錄 第六回 昭和十五年三月四日

カラ押買フシタノニ、今日ハ五百圓、六百圓デモ來テ呉レ手ガナイ、是ハ實際アリマセ、所ガ補助金等ヲヤルニハ役所ノ人件費ヲ殖ヤサナケレバナラヌ、例ヘバ或ル鑛山ニ鑛機獎勵金トカ、或ハ機械設備ノ補助金トカ、色々ナモノガアリマス、之ヲヤル爲ニハ少クモ鑛山ヲ調査シナクテハナラヌ、ソレカラソレニ要スル機械ニ付テ調ベナクテハナラヌ、或ハ斯ウモシナクテハナラヌト云フコトデヤツテ居ル關係上、行ツタリ來タリ、ソレカラ何ヤ彼ニヤト費用ガ要ルノヲ差引クト、賈フ方ハ餘リ有難クナクナツテ、而モウルサクテ仕樣ガナイ、斯ウ云フヤウナコトガアルノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ、一般ノ人ガ此ノ恩典ヲ蒙ラナイ、是ハ政務次官モ御承知ノ通り、今日鑛機獎勵ノ補助金ヲ程ノ人ハ寧ロ補助ヲシナクテモヨリ得ルダケノ實力ヲ持ツテ居ル、フワチカト云フト本當ニ窮乏シナガラ自分ノ力ヲ以テ鑛山ヲ開發シテ行ク中小鑛業者ハ其ノ恩典ヲ蒙ラナイ、苟モ一般ノ人ニ恩典ヲ蒙ラセルト云フニハ、斯ウ云ツタヤウナヤリ方改善シナクテハナラヌノデハナイカト私ハ思フ、今日ハ私大藏政務次官ヲモットイデメナクテハナラヌト思ヒマス、特ニアナタヲイデメルノデハナクテ、大藏省其ノモノガ今後根柢カラ頭ヲ作ツテ掛ラナクテハイケナイ、其處ニ商工省ノ方モ居リマスケレドモ、商工省ハ氣ノ毒ダ、可哀想ダ、之ニ對シテ始終接觸シテ居ルカラ、何トカシテヤラウト思フデモ、大藏省ニ持ツテ行タト頭カラ懸カサレル、ダカラ出來ヤシナイ、サウナツテ居ル、同じ人デアツテ、同じ内閣デアツテ、同じ閣僚デアリナガラ、始終意見ノ相違ト云フ

コトガアルヤウニ聽イテ居リマス、此ノ事ガ産金或ハ産金ノミデハナク今日ノ鉛トカ、銅トカ、タンクステントカ、有ニル特殊鑛物ニ對スル物動計畫ニ懸念シ案ズル次第デアリマス、故ニ私ハ今ノ獎勵方法ガ惡イト思フ、詰リ今政務次官ノ言フ通りニ、今マデ國民カラ金ヲ取上ゲタ手前カラ、價格ヲ急ニ上ゲルトハ困難デアリ、非難モ多イト云フ建前ナラバ、此ノ獎勵金ノ仕方ヲ變ヘナクテハナラヌ、獎勵金ノ仕方ヲ變ヘルト云フコトハ、ドウ云フコトデアアルカト云フト、獎勵金ノ割當デ擦ツタ採シタヤウコトイコトヲ言ハズニ、先づ砂金一匁ニ幾ラト云フコトニシテ、シカニ朝鮮銀行ニ持ツテ來イ、日本銀行ニ持ツテ來イト云フコトデアツテ行クナラバ、積共今ノ政府ガ考ヘテ居ル五箇年ノ計畫デ殆ド五十六億ト云フコトハ實現スルト思フ、ソレカラモウ一ツ、先程森田委員カラモ話ガアリマシタガ、製鍊問題ノコトデアリマス、是ハ胡麻化ストカ、胡麻化サナイト云フコトハ、中々分リハシナイ、幾ラ胡麻化シテモ分リハシナイ、所ガ所謂製鍊ノ中デモ例ヘバ鑛產局長モ能ク知ツテ居ラレル通り、製鍊ノ中ニハ鉛モ含シテ居レバ鉛モ含シテ居ル、所ガ斯ウ云フコトヲ今ノ日本デハ急ニ研究スルカ何トカ言ツテ居ルケレドモ、遠イ昔カラ研究シテナケレバナラナイコトデアリマス、ハツキリ製鍊分析スルコトガ出來ナイト云フコトニナツテ居ル、是ハ考ヘテ見ルト情ケナイ、本當ニウツト豫算ヲ取ツテ、此ノ捨テルベキ鑛物ヲ生カス

ト云フコトガ商工省ノ建前デアリ、又鑛產局長、アナタノ使命デハナイカト思フ、例

ハバ難ト云フモノハ鉛ニモナラズ、亞鉛ニモナラズ、銅ニモナラズ、銀ニモナラズ、此ノ鑛物ガ今日日本ニハ豊富ニアルニ拘ラズ、日本ノ研究ガ足ラナイ爲ニ之ヲ無駄ニ捨テテシマツテ居ル、製鑛場ニ實績スルトスレバ製鑛所ハ普通ノ鑛石ト比ベルト餘分ニ取ツテキル、今ノ私共ノ理想カラ言ハバ本當ハ國ガ製鑛場ヲ持ツテ居ルベキモノヲ、一個人ノ會社ガ持ツテ居ルベキモノニ此ノ缺點ガ生レルノデアアル、尙製鑛所ニ鑛石ヲ持ツテ行クト内地ハ六瓦或ハ七瓦ナラバ引合フベキモノデアアルガ、朝鮮ニ於テハ十五ナリマシテモ引合ハナイ、所謂鑛石ニ對シテ引合ハナイ、從來ハドウカト云フト、十五瓦ト云フモノヲ豫定シテ居ルモノガ、初メハ何デモ十五瓦トカ、二十五瓦トカ、段段取引スルニ從ツテ、ガラツト落シテシマツテ、十五、八瓦シカ果レナイト云フヤウナ傾向ガアツタ場合ニハ、非常ニ製鑛所ヲ疑ハナクテハナラヌト云フ非常ニ弊害ガアルコトニナル、尙徹底的ニ産金ノ獎勵ヲスルト云フ意味ナラバ、第一番ニ交通カラ決メテ行カナクテハナラヌ、鐵道省ニモ私ハ後デ承リタイノデスガ、兎ニ角交通カラ考ヘナクテハナラヌ、内地ニ於テモサウ言ツタ所ハ澤山アルト思ヒマスガ、朝鮮ノ開發ハ是カラデスガ、交通ガ不便ノ爲ニ相當ノ鑛物ガアツテモ之ヲ掘出スコトガ出來ナイ、ソレナレバ産金道路ト云フモノヲ徹底的ニヤレバドウカト云フコトニナルガ、産金道路ヲ徹底的ニヤラウトスルナラバ、經濟的ニ破綻ヲ來スカラ容易ニ實現シナイ、ソレカラ又鐵道ノ運搬ノコトハ、ドウシテモ日本ノ國ニナケレバナラヌモノヲヤラナケレ

バナラヌカラ、之ニ對シテ相當割引ヲシテ運搬ノ便利ヲ與ヘルコトニシナケレバナラヌ、資源ニ對スル補助ヲスルト云フコトヲ言フガ、現在サウ云ツタヤウナ鑛石ヲ購ヘ持ツテ行ケバ、イヤ他ノ運搬ガ忙シイ、ソナコトハ面倒臭イト云フ位デ捨テテ置ク驛ガ澤山アル、ダカラ此ノ根本方針トシテ、所謂商工省ノ、アナタノヤウナ局長サンノ方デ、斯ウ云ツタヤウナコトハ、今日ノ此ノ鑛業法中改正法律案ト云フモノヲ出ス前ニ、モウ少シソナヤウナ具體的ナ日本トシテ解決スベキ點ガ私ハ澤山アルト思ヒマス、今度ノ鑛業法中改正法律案モ無論ハ私共ハ二年トカ三年トカ四年トカ経テバ權利ヲ奪ヒ取ラレト云フヤウナコトヲ言フケレドモ、私ハ結局腹ヲ割ツテ見レバ、兎ニ角今ノ税金ノ問題、税金ガ兎ニ角採掘ト試掘ト同ジヤウニシテ果レナラバ、採掘デモ試掘デモ同ジコトニナル、所ガ税金ガ採掘ニナルト倍取ラレルカラ、是ハ面倒臭イ問題ニナル、所ガ私ハ前ニ鑛産局長ニ申上ゲタ通り採掘トカ試掘トカ面倒臭イトコトヲセズニ、或ル適當ナ期間ニ於テ相當調査モシ、相當調査ノ機會ヲ與ヘテ、イヤナリ許可制ヲ朝鮮ト同ジヤウニヤラドウカ、私ハ斯ウ思フ、是ハ簡單デ宜イデヤナイイカ、或ル人ハ採掘試掘ノ爲ニ或ル期間ヲ忘レタ爲、立派ニ鑛區ヲ取ラレタト云フコトモアル、又私共結局税金ノ問題デアルカラ、採掘トカ試掘トカ云フコトヲ言ツテモ、内地ハ即チ試掘ノ時ニハ、例ハ貧乏人ガ擔保ニ置カウトシテモ置カトガ出來ナイ、ダカラ採掘ト云フコトヲハツキリ認メルト擔保ニ置クコトガ出來ル、是ハ初メノ方ガ宜イデハナイカト思フ、所ガ中ニハ鑛山「ブローカー」ガ

ル、之ヲ防グ爲ニ私ハ今日法律ガ宜イト思フ、併シ之ニ對スル問題モ、結局税金ガ高ク取ル爲ニ斯ウ云ツタヤウナ種々ナ問題ガ起キテ來ルノデアリマス、ソコデ結局税金ト云フモノハ大藏省ニ關スル問題デアリマスカラ、大藏省ハ、國ニドウシテモナケレバナラヌ、採掘ラナケレバナラヌトシテ、片方デハ補助シテ居リ、三億圓ノ龐大ナル豫算ヲ取ツテ、産金獎勵ガ、採掘トカ言ツテ置キナガラ、頭ヲコソント押ヘテシマフ、サウシテ税金ヲ取ラナケレバナラヌ、二割五分取ラナケレバナラヌ、三割取ラナケレバナラヌ、コナ矛盾シタルコトヲヤル政府ノ役人ガ居ル今日、中々日本ノ此ノ難局ヲ乘切ルコトハ困難ダト思ヒマス、尤モ政治ハ吐ダ、ダカラサウ云ツタヤウナコトヲ根柢カラ破ルト云フ位ノ力アル大臣ガ居リ、力アル政務次官ガアツテ然レバシト私ハ思ヒマス、コナチツボケナ事務官ガ机ヲ並ベテ、サウシテ手前勝手ノ頭デ作ツタヤウナモノヲ、アア左様デゴザイマスカ、是ナラ御尤モダト言ツテ、之ヲヤル人ニ持ツテ行クカラ世ノ中ノ非難ガ多イデアアル、私共非常ニ不安ダト思フノハソコデアリマス、私共ハ隨分言ヒタイコトモアル、今日ノ支那事變ニ對シテモ思切ツテ言ヒタイコトガアルケレドモ、只今ノ日本ノ建前カラ餘リ喋ツタ損スルコトハ言ハスコトデス、本當ニサウ云フコトガアル、吾々日本人トシテ隨分思切ツテヤラナケレバナラヌコトガアルケレドモ、或ハ國際問題トカ何ダ彼ダトカト云フヤウナコトガアルカラ、先ツ今日ノ日本ノ眞ノ吐ノアル者ハ相當言ハズニ忍シテ居ルコトガ澤山アル、所ガ或ル人間ハソナコトヲセズ、ペラ／＼喋ツテ、日本ノ國務大臣

キモ、是ハ國ノ法律デモ何デモナイ、大藏省ト商工省デ決メレバ直グ出來ルコトダ、今ノ特殊鑛物ノ石炭トカ或ハ銀、銅、鉛、亞鉛、タングステン、斯ウ云ツタ物モ、此ノ間報告ヲ聽イテビツクリシタ、ドウシテモ足リナイ物ヲ外國カラ高イ金デ買ウテ取寄セルヨリモ、我國ニアルモノデ間合ハセ資源開發ヲシナケレバナラヌト云フコトガ、國ノ建前デアナイカト僕ハ思フ、是ハ今カラデモ遅クナイノデアリマスカラ、アナタノ方デ此ノインテキチノ、分ラナイヤウナ、胡麻化シタルヤウナコトヲセズシテ、公明正大ニ、今政務次官ガ言ウタヤウニ、上ゲタイケレドモ、國民カラ金ヲ取上ゲタ關係上、急ニ上ゲルコトガ出來ナイカラ今苦シンデ居ル——斯ウ私ハ政務次官ノ答辯ヲ解釋スルヨリ外ナイ、併シソレナラバ此ノ補助金ニ付テモ分ラヌヤウナコトヲセズニ、改革ヲシテ貰ヒタイ、ソレデ今ノ硫化物、日本國內ノ磁鐵鑛ヲ生カスト云フコトニ依ツテ、初メテ磁鐵鑛ノ問題モ解決出來ルシ、肥料ノ問題モ解決出來ルト思ヒマスガ、其ノ問題ニ對シテ鑛産局長ハ如何ニ考ヘテ居ルカ、是ハ眞劍ニ答辯シナケレバイケマセヌヨ、鑛産局長ヲ辭メタラドウデモ宜イト云フ積リデハ駄目デス

云フ意味デナシニ、例ハバ難トシテ扱ハレテ居ル鑛石ノ中ニ、金、銀、銅、鉛、亞鉛ト云フモノガ色々ナ「バーステン」デ入ツテ居リマスノデ、其ノ利用ガ十分デナイト云フ點ヲ御指摘ニナツタノダト思ヒマスガ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、本當ニ是ハ今研究ヲ進メナケレバナラヌ所デアリマシテ、大學等トモ連絡ヲ致シテ進メテ居リマス、併シナガラ此ノ研究ニ付キマシツタラ宜シイカ、即チ藥品ノ進歩ト選鑛技術ノ進歩ヲ圖ルヨリ仕方ガナイト思ヒマス、今例トシテ御指摘ニナリマシタ磁鐵鑛ノ利用ガ足ラヌデハナイカ、是ハ御尤モデアリマシテ、今辨柄ノ原料ニシカ使ツテ居ラヌヤウデアリマス、併シ是モ磁鐵ノ原料デアル硫化鐵鑛ノ材料ニ使ハナケレバナラヌ、又含ニツケルノ磁鐵鑛、是等モ相當ニ今研究ヲ進メラレテ居ルヤウデアリマス、此ノ方面カラ此ノ鑛石カラ「ニケル」ヲ得ルト云フコトモ今ノ所可能ダラウト思ツテ居リマス、是等ニ付キマシテ、國立ノサウ云フ試驗所カ何カヲ持ツト云フコトモ一ツノ方法デアリマスガ、今サウ云フモノヲ作りマシテモ、技術者ヲ此ノ方面ニ動員スルコトハ又摩擦ヲ起シマスノデ、今ヤツテ居ル所ヲ刺戟シテ、サウ云フ試驗研究ノ促進ヲ圖リタイト思ツテ居リマス、重大ナ問題トシテ考ヘマス

○村委員 重大問題トシテ考ヘルト云フガ、是ハ最モ考ヘテ貰ハナケレバナラヌ、今日私ノ申上ゲタノハ難鑛、所謂亞鉛ニモナラズ、金ニモナラズ、銅ニモナラズト云フモノガ、日本ニハ相當存在シテ居リマスガ、是ハ何レモ其ノ製鑛方法ガ行届イテ居ナイ

○小倉政府委員 勿論我國ノヤウナ狀況ニ於キマシテハ、品位ノ惡イ鑛石ヲ處理スルコトニ萬全ノ力ヲ注ガナケレバイケヌト云フコトハ、御説ノ通りデアリマシテ、捨テルヤウナ鑛物ヲ利用スルト云フ點ニ於キマシテハ、或ル意味ニ於テ既ニヤツテ居リマス、例ハバ銅ノ如キハ、外ノ豐富ナ國ノ山デハ拾テルヤウナ品位ノ鑛石ヲ處理シテ居リマス、村サンノ言ハレルノハ恐ラクサウ

○長谷委員 關聯シテ——今木村政務次官モ御説及ビノ通り、村君ハ非常ニ旨イコトヲ言ウテ居ルノデアリマス、事ニ依ツタラ大藏當局ハ實務家デアナイノデスカラ、割増金制度トカ、獎勵金、補助金トカノ關係ヲ御承知ナイト思ヒマス、事實ヲ申上ゲマスト、今日ノ所ドウシテモ十應ノ鑛石ヲ處理シマシテ——但シ萬分ノ二程度ノモノデアリマス、之ヲ處理致シマシテ、採レル金ト云フモノハドレダケカト云フト、マア五三圓ト見テ良イ所六十圓デアリマス、所ガ其ノ十應ノ鑛石ヲ處理スルハ原價、賣材一切ノモノヲ本當ノ「コスト」ニ見テ百五十圓掛カルノデアリマス、サウシタラ其ノ

差額「デフアラレンス」ト云フモノハド
ウシカラ宜イカ、其ノ問題ヲ何トカシテ
補スル對策トシテ今獎勵金トカ補助金トカ
割増金ト云フ問題ガ出タノデスヨ、是ハ能
ク御考ヘ置キテ願ヒマシテ、商工當局ガ御
説明ノ時ニハ、是ガ非デモ大藏當局ハ鑛物
ノ増産ガ刻下ノ急務デアルト云フ見地ニ立
脚シテ善處セラレタイト思フノデアリマス、
ソレヲ朴君ガ續々言フテ居ルノデアリマス、
ソコデ今日茲ニ鑛業法中改正法律案ガ出テ
居リマス、所ガ此ノ改正法律案ハ、イザ鑛
倉ト云フ時ニ直チニ著手出來ル所ノ日本全
國ノ鑛業體系ヲ作ラウトスル基本法ナノデ
アリマス、所ガ此ノ基本法ニサヘモ油ガナ
イノデス、金ガナイ、又豫算ガナイ、此ノ
重要ナ基礎ヲ作ラナケレバ、此ノ次ニ増産
體系ヲ強固スル譯ニハ行カス、増産體系カ
ラ更ニ國家管理ノ線ヘ沿フコトガ出來ナイ
デセウ、其ノ最モ第一番目ニ著手シテ居ル
所ノ此ノ基本法ニサヘモ、マダ金ガナイ、斯
ウ云フ風ナ状態ニ大藏當局ハヨク目ヲ著ケ
テ敷カスト、是ハ中々商工省ガケデ一人歩
キハ出來マセヌノデス、ソコデ大藏當局ニ
ハ此ノ點モ亦御考ヲ願ヒタイ、是ハ商工當
局ハ傍見ヲシナイデ一ツ開イテ置イテ貰ヒ
タイ、此ノ前ニ五千萬圓デ以テ帝國鑛業開
發會社ガ試案トシテ出タ、所ガ到頭三千万
圓ニ値切ラレテシマツタ、其ノ三千万圓ニ
値切ラレタ根本ハ、朝鮮ト臺灣トヲ抜イテ
シマツタ、帝國鑛業株式會社ノ繩張りハ内
地ダケニナツテシマツタ、何故今日此ノ重
要ナル時局下ニ於テ一本建——所謂「
プロック」内デサヘモ一本建ニシナケレバ
ナラス今日、朝鮮又臺灣ハ日本ノ鑛業開發
ニ對シテ一本建ニナツテ居ナイ、斯ウ云フ

點モ大藏當局ハ少シモ願念サレテ居ナイ、
ソレハソレノ總督府管下ニ於テ、臺灣
ノ如キハ著手シタイト云フ希望ヲ持ツテ居
ラレルガ、斯ウ云フ風ナ點ニ對シテモ幾多
申上ゲタイコトモアリマスルガ、今後商工
省ガ大藏當局ニ説明ニ行カレマシタナラバ
ドウカ今日ノ鑛業開發ト云フモノガ彈丸ト
ナツテ現ハレテ來ルノデスカラ、或ハ金ト
コトハ吾々トシテ分リ切ツタコト、國內ニ
於ケル所ノ問題ハ別トシテモ、セメテ此ノ
點ニ關聯致シマシテ、十分ノ御努力ヲ願ヒ
タイ、是ハ希望デアリマス

○木村政府委員 今長谷谷カラ續々産金開
題ニ付テ御話ガアリマシタガ、私共モソレ等
ノ點ニ付キマシテハ御同意ニ考ヘテ居ル點
デアリマシテ、今日ノ時局柄何トシテ新産
金ノ増産ヲ圖ラナクチャナラス、是ハ國策
トシテヤラナクチャナラス、斯ウ云フ見地
ニ立ツテ從來ノ制度ニ檢討ヲ加ヘテ居ル譯
デアリマス、商工當局トモ十分其ノ點ヲ連
絡ヲ取ツテ協議ヲ致シテ居ル譯デアリマシ
テ、別ニ大藏省ト商工當局トノ間ニ、私ハ
今日マデハ存ジマセヌガ、今後ソコニ意見
ノ打格ト云フヤウナモノガアリ得ル筈ハナ
カラウト思ヒマス、何ト致シマシテモ、先
程朴君カラモ御話ニナリマシタヤウニ、唯
此ノ産金ノ買上價格ヲ上げレバ増産ハ必ズ
立ドコロニ出來ル、斯ウ云フコトデアリマ
スルト、是ハ問題ハ簡單デアリマスケレド
モ、併シ必ズシモ皆様方ガ實際ノ仕事ニ從
事セラレテ、唯買上價格ヲ上げタカラ果シ
テ増産ガ出來ルカト云フコトニハ、今日ノ
ヤウナ資材ノ缺乏、勞力ノ缺乏、其ノ他運

輸、電力有ニル方面ノ缺乏シテ居ル時ニ、
唯産金價格ノ値上ダケ増産ニナルカト云
フコトニ付テハ、多大ノ疑問ガアルコトハ
御承知ノ所デアラウト思ヒマス、併シナガ
ラドウシテモ此ノ増産ヲ圖ラナケレバナリ
マセヌカラ、有ニル方法ヲ講ジテ今後此ノ
點ニ付テハ特ニ政府デモ考ヘタイ、斯ウ云
フ積リテ居ル譯デアリマス、商工省トノ關
係等ニ付キマシテハ、御意見ノ通りニ協力
シテ此ノ目的ノ達成ニ努メナケレバナラス
ト考ヘテ居ル次第デアリマス

○川俣委員 關聯シテ一寸伺ヒマスガ、先
程ノ御答辯ノ中ニ産金割増金制度並ニ獎勵
金ニ付テハ、業者方面、或ハ民間側カラ色
色指摘サレテ居ル缺點ガアルガ、大藏省ニ
於テモ其ノ缺點ヲ認メテ居ルト云フヤウナ
御答辯デアリマシタガ、其ノ缺點トハ如何
ナル點ヲ缺點トサレテ御認メニナツテ居ル
ノデアリマスカ

○木村政府委員 缺點ト私ハ申サナカツタ
ト思ヒマスケレドモ、兎ニ角昨年カラ實施
致シテ居リマスル割増金制度ニ付テハ産金
業者間カラモ色々ナ非難ガアルヤウデアリ
マス、アア云フ制度デハ結局金ノ増産ニハ
ナラス、斯ウ云フヤウナ意見モアル譯デア
リマスカラ、サウ云フ點ニ付テ十分檢討ヲ
加ヘテ、其ノ制度ノ不備ノ點ハ是非改メナ
ケレバナラス、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ル
譯デアリマス

○川俣委員 其ノ不備ノ點ト云フノハ如何
ナル點ヲ不備ト御考ニナツテ居ルノデス
カ

○木村政府委員 不備ノ點ト民間言フツテ
居ル點ハ斯ウ云フ點デアルト云フコトヲ私
ハ茲ニ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、從來

カラ吾々ガ總括的ニ聞イテ居ル所デハ、ア
ア云フ風ニ生産シタ後ニ一々計算ヲシテ、
アトデ割増金ヲヤル、斯ウ云フヤウナ制度
デハ困ルト云フ話モ私ハ聞キマシタ、隨テ
何トカモウ少シ當初カラ産金業者ニ責任ヲ
持タセテ増産ヲヤル、斯ウ云フ方法ハナ
イカト云フヤウナ色々ナ話ヲ聞イタダケデ
アリマシテ、唯一般ニ正確ニドノ點ガ惡
イ、斯ウ云フコトヲ聞イテ居ル譯デヤアリ
マセヌ、併シ之ニ非難ガアルト云フコトダ
ケハ御承知ノ通りデ、私共モ知ツテ居ル譯
デアリマス、隨テサウ云フ點ヲ申上ゲタ
次第デアリマス

○川俣委員 甚ダ諄イヤウデアリマスケレ
ドモ、如何ナル點ニ缺點ガアルカト云フコ
トヲ認識サレナケレバ檢討スル目標ガナイ
ノデヤナカラウカト思ヒマス、如何ナル點
ニ缺點ヲ見出し、如何ナル點ニ割増金制度
ハ特長ヲ持ツテ居ルカト云フコトガ明ニナ
ラナケレバ産金ノ根本對策ハ私ハ立タナイ
ト思フノデス、私ノ意見ヲ述ベマス、ト
朴君ノヤウニ唯買上價格ヲ上げレバ云フ
コトニハ私ハ餘リ賛成出來ナイノデス、特
ニ國際價格ニ合セテ上げレバ云フコトニ
付キマシテハ、私ハ日本ノ鑛物全體ノ價格
ノ上カラ實ハ贊成出來ナイノデス、又獎勵
金制度ニ付テモ私ハ餘リ賛成出來ナイノデ
ス、殊ニ割増金制度ニ付テハ幾多ノ缺點ヲ
私ハ茲ニ指摘シタイノデスケレドモ、ソレ
モ申上ゲマセヌ、大藏當局ハ何處ニ缺點ガ
アルカト云フコトニ付テスラ、ドウモ認識ガ
足リナイノデヤナイカ、唯業者方ヲ開イテ
居ルト云フヤウナコトデ、何處ニ一體業者
ノ指摘シテ居ル肚ガアルノカ御存ジニナラ
ナイ、私ハ是ハ業者ノ言フヤウナ缺點ガ

アルト思ヒマス、十三年度ヲ基準ニ致シテ
割増金ヲ出スト云フコトニ付キマシテハ、
朴君ノ言ハレルヤウニ、或ル會社ガ甲乙
丙ノ鑛山ヲ持ツテ居ル所カラ來ル弊害、及
ビ十三年度ヲ基準ト致シテ居リマスガ爲ニ、
十三年度ニ偶々努力致シタ者ガ損ダト云フヤ
ウナ計算、或ハ十四年度ノ上期ハ鑛石ハ
出スケレドモ、十四年度ノ下期ハ寧ろ十五
年度ノ方ヘ繰越シテ出シタ方ガ割増金ヲ多
ク取レルト云フヤウナ色々ナ計算ガ出來テ
居ルヤウデアリマス、サウ云フ缺點モアリ
マスルケレドモ、私ハ根本ノモウ一ツノ大
キイ缺點ハ割増金トカ獎勵金トカ、或ハ唯
價格ヲ上げレバ云フコトダケデ産金獎勵ヲ
考ヘテ居ル點ニアルノデヤナイカト思ヒマ
ス、例ヘバ石炭ニシテ見マスレバ、石炭ノ
生産價格ノ五割カラ六割ハ勞力費デス、ソ
レヲ勞力ノ對策ヲ持タナイデ獎勵金或ハ補
助金或ハ價格ヲ以テ獎勵ノ態度ヲ執ラレテ
居ル所ニ大藏省ノ缺點ガアルノデヤナイカ、
寧ろ朴君ノ言ハレル通り、今日ノ勞働費
銀ガ高イ、結局生産費ヲ引下ゲルヨリ外私
ハ今日處スル道ハナイト思フ、生産費ヲ引
下ゲルニハ勞働費銀ヲ引下ゲナケレバナラ
ナイ、然ラバドウスルカ、ヤハリ生産費
ヲ引下ゲル所ニナケレバナラス、所ガ引下
ゲレバ勞働者ハ得ラレナイ、勞力ヲ得ラレ
ナイト云フ所ニ今日缺點ガアルノデ、此ノ
點カラ考ヘ直シテ行カナケレバナラスチヤ
ナカラウカト思ツテ居リマスガ、尙ホ何レ
明日大臣ニ御伺シタイト思ツテ居リマス

○木村政府委員 私ハ割増金制度ニ何モ缺
陥ガアルト云フコトヲ申上ゲテ居ル譯デア
リマセヌ、唯割増金制度ニ對シテ世間産金
業者ニ非難ガアル、隨テサウ云フ非難ガア
ル點ニ付テ、更ニ檢討ヲ加ヘテ是ガ完全ヲ
期サナクテハナラス、斯ウ云フコトヲ申上
ゲテ居ルノデ、大藏當局ガ缺點ガアル、斯
ウ言ツテ居ル譯デアリマシタヤウデアリマ
ス、其ノ點ハ御承知ノ通りヒタイト思ヒマス、
大藏當局トシテハ此ノ制度ハ昨年カラ實施
シテ居ル譯デアリマスガ、ソレニ對シテ産
金業者間ニ非難ガアルカラ、左様ナ點ニ付
テハ現ニ檢討ヲ加ヘテ居ル、斯ウ云フコト
ヲ申上ゲテ居ル次第デアリマス、隨テ又今
御述ニナリマシタヤウナ點ハ十分今後此ノ
産金獎勵ノ點ニ付キマシテ參考トシテ考ヘ
ナクチャナラス點デアルト思ヒマス

○朴委員 先刻政務次官ハ所謂價ヲ上げタ
カラト云ツテ金ノ増産ハ出來ルカドウカ疑
問ダト仰シヤツテ居リマスケレドモ、私ハ
無理ナコトヲ大藏政務次官ニ要求シテ居ル
譯デアリマシタ、又サウ云フ質問ヲシテ居ル
譯デアリマシタ、唯國際相場ヲ基準トシテ
ヤツテ買ヒタイト云フノデス、是ハ當り前
ノ話デス、是デ反對トカ賛成トカ云フコト
デアリナイカ、併シドウシテモ引合ヌデモヤ
レト云フコトハ無理ナ話デス、私ハ今日ノ國
際相場ヲ基準トシテ金ノ買上價格尙獎勵金ヲ
大部分與ヘルナラバ、政府ガ計畫シタヤウ
ナ五箇年計畫ハ必ズ實現スルモノト見テ居
リマス、モウ一ツハ日本産金振興會社ニ對
シテ、是ハ商工省ノ監督下ニアリマスカラ
此ノ前私ハ商工大臣ニ申上ゲタノデスガ、
是ハ内地ト外地ト切離シテ、外地ハ外地デ
責任ヲ持タシ、内地ハ内地デ責任ヲ持ツテ
ヤラスナラバ、今ノ産金ノ増産ノ上カラ言
フテ力強イ仕事ガ出來ルノデハナイカト見
テ居リマス、同ジ國デアリニシテモ此ノ會

社ニ對シテハ非常ニ「デリケート」ト云ツテ
ハオカシイガ、大體向フカラマツチニ二重手
續ヲシナケレバナラヌト云フコトト、日數
ノ關係、向フニ對スル認識ノ足ラナイト云
フコト、又向フハコウツチノ認識ガ足ラナイ
ト云フコトデ、兩者ノ間ニソナコトハナ
イト思ヒマスケレドモ、大體仕事ガシニク
イト云フコトヲ聞イテ居ル、會社ハコウツ
ニ本社ガアルニシテモ、朝鮮ハ七十五題ノ
計畫ノ爲ニ一億九千万圓ト云フモノハハツ
キリ使フベキモノデアルガ、ソレニ對スル
權限ヲ向フニ持タスベキモノハ持タシテ、
内地ハソレニ對シテ餘計ナコトヲシナイ、
又向フハ内地ニ對シテ其ノ權限ヲ侵スコト
ガ出來ナイト云フ風ニシテ、各責任負擔ヲ
ハツキリ持タシテヤルト云フコトハ非常ニ
宜イト思ヒマスガ、之ニ對シテハ大藏省ニ
モ關係スルシ商工省ニモ關係ガアリマスガ
ラ、其ノ事ヲ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス
○小倉政府委員 先般豫算委員會ニ於キマ
シテ、朴君ノサウ云フ趣旨ヲ御質問ニ對
シテ、商工大臣ハ十分其ノ點ヲ考慮シテ居
リマス、只今内地及ビ外地ノソレレ違ツタ
特殊性ヲ考慮シテ、サウシテ朝鮮ノ産金目
標デアル所ノ一定數量ニ達スルヤウナ産額
ヲ實現スル爲ニハ、其ノ特殊性ヲ考慮シ
テ相當活動ヲ活動ヲセシメル考ハナイカト
云フ御趣旨ノ重ネテ御質問デアリマスル
ガ、之ニ付キマシテハ大藏省及ビ朝鮮總督
府當局ト十分打合セテ至急研究致シタイト
存ジマス

○木村政府委員 只今鑛産局長カラ申シマ
シタヤウニ、朝鮮ハ朝鮮、臺灣ハ臺灣各増
産ニ適當ナル方法ヲ講ズルコトガ必要デア
ルト思ヒマスカラ、同様デアリマス

○朴委員 是非サウシテヤツテ貰ヒタイト
思ヒマス、ソレカラ何時モ同ジコトヲ申ス
ヤウデアリマスガ産金ノ補助金トカ割増金
制度ト云フモノハ是非非常ニ非難ガアルト
云フコトハ政務次官ノ云フ通りデアリマス、
ソコデ之ヲ兩者ノ間デ研究シテ男ラシク、
趣リ諄イコトヲセズニ、産金會社ニ對スル
便宜ヲ與ヘルコトヲ研究シテ貰ヒタイト思
フノデアリマス、ソレカラ鐵道省ノコト
デアリマスガ、鐵道省ハ今言ツタヤウナ現
在鑛石ニ對スル運賃ノ補助ト云フカ運賃割
引ト云ヒマスガ、ソレハドノ程度ノ割引ヲ
シテ居ルカ、ソレヲ承リタイ

○長崎政府委員 御答致シマス、鑛產品ニ
對スル割引ニ付テ御質問デゴザイマスガ、
詳シイコトハ只今茲ニ資料ヲ持ツテ居リマ
スガ爲ニ大體申上ゲマス、第一ハ石炭デ
ゴザイマスガ、是ハ各種産業ノ基礎原料デ
アリマスト云フヤウナ關係デ、増産獎勵ノ
爲ニ普通運賃カラ今回ハ一割五分マデノ割
引ヲ行フコトニシタノデアリマス、ソレカ
ラ金鑛、金銀鑛ニ對シマシテハ、是ハヤハ
リ獎勵ノ目的カラ、從來モ普通ノ運賃カラ
四割引、貴鑛ニ對シマシテハ五割引ヲ行ツ
テ居タノデゴザイマス、ソレヲ今度ハ從來
ノ出荷量ニ對シマシテハ普通ノ運賃カラ五
割引ヲ行フ、詰リ貴鑛モ貴鑛デナイモノモ
同様ノ五割引ヲスル、ソレカラ生産量ガ前
年度ヨリモ増加シタ時ニハ、其ノ増産ノ部
分ニ對シマシテハ八割引ヲ行フ、實ハ此ノ
八割引ト云フヤウナ運賃ハ殆ド運賃ヲ取ラ
ナイモ同様デアリマシテ、全ク運賃ノ石炭
代、ソレカラ機關手ノ給料ト云フ程度ノモ
ノデヲ運ブト云フコトニ致シタイデアリ

マ、ソレカラ金銅鑛ニ對シテハ、從來ハ普通運賃カラ一割六分程度ノ割引ヲ行ツテ居ルアリマス、是ハ又増産獎勵ノ爲ニ從來ノ出荷量ニ對シテハ約一割増産部分ニ對シテハ五割引ヲ行フコトニナツタアリマス、鐵鑛、銅鑛、硫黃鑛等ノ重要鑛石ハ是ハ生産力擴充關係物資ノ原料ニナルモノデゴザイマスカラ、從來ノ一割六分引ノ割引ヲ、普通ニ割引、増産部分ニ對シテハ四割引ヲスルト云フ風ナコトニナツテ居リマス、尙ホ石灰石ニ對シテモ、金屬製鍊用或ハ硫酸、アンモニア、普通製造用ト云フモノニ對シテハ、從來ノ一割六分引ヲ四分上ゲテ二割引ト致シタノデアリマス、大體申上ゲマスト左様ナコトニナツテ居リマス

○村委員 鐵道省ノ只今ノ説明ニ依リマス、大體鑛産ニ對スル便宜ヲ與ヘテ居ラレルト云フコトデ、洵ニ感謝シテ居リマス、尤モサウナクチヤナラナイ、鐵道省ハ相反シタコトヲヤツテ居ルト云フコトヲ言フ人モアリマスケレドモ、今ノ説明ヲ聞キマス、隨分思ヒ切ツタ便宜ヲ與ヘテ居ルト云フコトヲ感じテ居リマス、ソレカラ是ハ國有鐵道タケデスガ、一般私設鐵道ニ對シテハドウ云フ風ナコトニナツテ居リマス、ソレモヤハリ今ノ鐵道省ト同ジヤウナ便宜ヲ與ヘテ與レルノカドウカト云フコトヲ一週聽カシテ貰ヒタイ

○長崎政府委員 會社ノ鐵道ニ對シマシテハ、斯ウ云フヤウナ高率ノ割引ヲ強制スルト云フ譯ニハ參ラナイト思フノデアリマス、併シナガラ私共ノ方トシマシテハ、ヤハリ政府ノ國策ニ順應スルヤウニ能ク話シマシテ、私共今ハツキリハ存ジマセスケレドモ、

大體ニ於テ國有鐵道ノヤツタコトニ則ツテヤツテ居ル事デアリマス

○村委員 國有鐵道ハ今アナタノ説明ノ通りテ開通ナイト思ヒマス、私設鐵道ハ隨分酷イコトヲヤツテ居ル、當然國策ニ副ツテサウアルベキコトヲ、兎ニ角會社ハ相當利益ガアリナガラ、運賃ヲ高ク取ル、内地ハドウカ知ラヌケレドモ、朝鮮デハ金剛鐵道アタリ實ニ酷イコトヲヤツテ居ル、サウ云ツタコトハ鐵道省ガ力ヲ入レバ、私ハ鐵道省ノ氣持ニ副ツテ行クノデアリナイト思フ、ソレハ會社ニ損シナガラヤレト云フコトハ無理ナ話タケレドモ、相當ノ配當ヲ行ツテ居ルヤウナ會社ニ對シテ、國策ニ副ツテ、鐵道當局ノ氣持ト同ジヤウニヤラセルコトデス、鐵道省ノアナタガサウ云フ監督ヲ執行シテベナラヌ立場ト思フノデアリ、私設鐵道ニ對シテ是カラ徹底的ニヤツテ貰ヒタイト云フコトヲ希望スル次第デアリマス

○櫻井委員長 村君、只今ノ御話ハ大切ナ點デスガ、答辯ヲ求メラレタラドウデスカ、總動員ノ精神ニ照シテ見テモ、國策上ソレ程重要ナル認メテ國方割引シテ居ルノ、國有鐵道ノ監督下ニアル私設鐵道ニ對シテ、ドウ行ツテ居ルカハツキリシナイヤウナ御答辯デハドウカト思ヒマス、法律的ニハ命令ハ出來マスマイガ、監督上相當ヤハリ國策ノ線ニ沿ウタ方法ヲ執ツテハドウカト云フコトヲ鐵道省カラ勸告サレタハドウカト云ラウカ、ソレデナケレバ私設鐵道ヲ利用スルモノト國有鐵道ヲ利用スルモノトノ間ニ非常ナ不公平ガ出來ル、是ハ鐵道省ノ方針トシテ勸告セラレルコトノ御答辯ハ如何ナモノデセウカ

○長崎政府委員 先程ノ私ノ説明ガ少し足ラナカッタウニ思ヒマスガ、只今委員長ノ御注意又朴サンノ御話ノ通りデアリマシテ、之ヲ強制スルコトハ致シテ居リマセスガ、サウ云フ風ナ線ニ沿ツテヤレ、ヤツタラドウカト云フ通條ハ出シテ居リマス

○村委員 一ツ責任ヲ以テヤツテ裁キタカテモウ一ツ鐵道局長ニ御伺シタイノハ、産金ノ問題ヲ離レテ、特殊鑛物ノ獎勵ト云フモノハドウナツテ居リマスカ、特殊鑛物詰リ今言ツタヤウナ亞鉛、鉛、タングステン、モリブデン、ト云フモノニ對スル補助ハドウナツテ居リマスカ

○小金政府委員 銅、鉛、亞鉛、錫、所謂金、鐵、石炭ヲ除キテ吾々ノ方デ重要鑛物増産法ノ謂フ重要鑛物デアリマセスガ、今舉ゲタモノヲ除キテ重要鑛物ノ増産ヲ圖ル爲ニ、色々ナ施設ヲヤツテ居リマスガ、其ノ第一ハ從來是等ノ鑛物ヲ採ル爲ニ鐵、マンガ、モ入ツテ居リマスガ、重要鑛物採鑛獎勵金ト云フ制度ヲ設ケテ居リマス、是ガ從來百萬圓ト云フ額ヲ超エテ七百圓バカリデアリマシタガ、之ヲ今四百五十萬圓ニ増加致シマシタ、是ハ採鑛ヲ急ギ必要ガアリマス、探鑛ノ方ニ獎勵金ニ所謂銅、鉛、錫、亞鉛、或ハ硫化鐵ト云フモノガ相當或ル地方ニ固ツテアリマス、サウ云フ場所ニハ選鑛場ヲ設ケテ方々ノ山カラ出テ來ル鑛物ヲ一貫シテ選鑛スル運搬費モ少イ、努力モ忙ガシイ時テ運方モ助カルト云フノデ、鑛物ヲ多ク利用スルト云フ見地カラ選鑛場ヲ建テルモノニ助成スル必要ガアル、是等ノ選鑛場設置助成金トシテ本年新二百二十萬圓計上致シテ居リマス

○長崎政府委員 先程ノ私ノ説明ガ少し足ラナカッタウニ思ヒマスガ、只今委員長ノ御注意又朴サンノ御話ノ通りデアリマシテ、之ヲ強制スルコトハ致シテ居リマセスガ、サウ云フ風ナ線ニ沿ツテヤレ、ヤツタラドウカト云フ通條ハ出シテ居リマス

○村委員 一ツ責任ヲ以テヤツテ裁キタカテモウ一ツ鐵道局長ニ御伺シタイノハ、産金ノ問題ヲ離レテ、特殊鑛物ノ獎勵ト云フモノハドウナツテ居リマスカ、特殊鑛物詰リ今言ツタヤウナ亞鉛、鉛、タングステン、モリブデン、ト云フモノニ對スル補助ハドウナツテ居リマスカ

○村委員 今マデハ特殊鑛物ニ對シテノ補助ト云フモノハナカッタノデアリマス、私ハナカッタト思フノデスガ、今後特殊鑛物ニ對スル範圍ハ、詰リ鉛トカ亞鉛トカ硫化鐵トカ銅トカ鐵、或ハ、タングステン、トカ、モリブデン、トカ錫トカ、斯ウ云フモノハ、ヤハリ今ノ補助ヲ貰フベキ中ニ入ツテ居リマスカドウカ

○小金政府委員 只今朴サンガ御舉ゲニナリマシタ鑛物ハ、全部重要鑛物採鑛獎勵金ヲ貰ヒ得ル鑛物デアリマス

○村委員 ソレカラ此ノ前局長サンニ申上ゲマシタガ、分析ノ問題デアリマス、是非非常ニ非難ガ多イ、御存ジノ通り申々金銀等ノ分析モ全ク間違ヒナカタルノニハ、相當設備ガナクテハナラス、針ノ先ホド違ツテモ大變ノ相違ガアル爲ニ、民間ノ方ハ分析ニ對シテ非常ニ苦勞シテ居ル、又ソレニ對シテ胡麻化サナクテモ胡麻化シタト云フ非難ガ多イコトハ、局長サン御存ジラウト思ヒマス、是ハ到ル所ノ鑛山監督局ノアル土地タケハ必ズ國方サウ云フ民間ノ疑ノナイヤウナ責任ヲ持ツタ分析所ヲ作ツテ貰ヒタイ、其ノ分析所ハ本當ニ實費ヲ分析シテ與レテ持ツテ行ケバ直ダ翌日分ルヤウナ設備ガ至急必要デハナイカト云フコトヲ、此ノ前ノ局長ニ要求シテ居リマシタノデスガ、其ノコトハ今日ドウナツテ居リマスカ

○長崎政府委員 先程ノ私ノ説明ガ少し足ラナカッタウニ思ヒマスガ、只今委員長ノ御注意又朴サンノ御話ノ通りデアリマシテ、之ヲ強制スルコトハ致シテ居リマセスガ、サウ云フ風ナ線ニ沿ツテヤレ、ヤツタラドウカト云フ通條ハ出シテ居リマス

○村委員 一ツ責任ヲ以テヤツテ裁キタカテモウ一ツ鐵道局長ニ御伺シタイノハ、産金ノ問題ヲ離レテ、特殊鑛物ノ獎勵ト云フモノハドウナツテ居リマスカ、特殊鑛物詰リ今言ツタヤウナ亞鉛、鉛、タングステン、モリブデン、ト云フモノニ對スル補助ハドウナツテ居リマスカ

○長崎政府委員 先程ノ私ノ説明ガ少し足ラナカッタウニ思ヒマスガ、只今委員長ノ御注意又朴サンノ御話ノ通りデアリマシテ、之ヲ強制スルコトハ致シテ居リマセスガ、サウ云フ風ナ線ニ沿ツテヤレ、ヤツタラドウカト云フ通條ハ出シテ居リマス

○村委員 今マデハ特殊鑛物ニ對シテノ補助ト云フモノハナカッタノデアリマス、私ハナカッタト思フノデスガ、今後特殊鑛物ニ對スル範圍ハ、詰リ鉛トカ亞鉛トカ硫化鐵トカ銅トカ鐵、或ハ、タングステン、トカ、モリブデン、トカ錫トカ、斯ウ云フモノハ、ヤハリ今ノ補助ヲ貰フベキ中ニ入ツテ居リマスカドウカ

○小金政府委員 只今朴サンガ御舉ゲニナリマシタ鑛物ハ、全部重要鑛物採鑛獎勵金ヲ貰ヒ得ル鑛物デアリマス

○村委員 ソレカラ此ノ前局長サンニ申上ゲマシタガ、分析ノ問題デアリマス、是非非常ニ非難ガ多イ、御存ジノ通り申々金銀等ノ分析モ全ク間違ヒナカタルノニハ、相當設備ガナクテハナラス、針ノ先ホド違ツテモ大變ノ相違ガアル爲ニ、民間ノ方ハ分析ニ對シテ非常ニ苦勞シテ居ル、又ソレニ對シテ胡麻化サナクテモ胡麻化シタト云フ非難ガ多イコトハ、局長サン御存ジラウト思ヒマス、是ハ到ル所ノ鑛山監督局ノアル土地タケハ必ズ國方サウ云フ民間ノ疑ノナイヤウナ責任ヲ持ツタ分析所ヲ作ツテ貰ヒタイ、其ノ分析所ハ本當ニ實費ヲ分析シテ與レテ持ツテ行ケバ直ダ翌日分ルヤウナ設備ガ至急必要デハナイカト云フコトヲ、此ノ前ノ局長ニ要求シテ居リマシタノデスガ、其ノコトハ今日ドウナツテ居リマスカ

○長崎政府委員 先程ノ私ノ説明ガ少し足ラナカッタウニ思ヒマスガ、只今委員長ノ御注意又朴サンノ御話ノ通りデアリマシテ、之ヲ強制スルコトハ致シテ居リマセスガ、サウ云フ風ナ線ニ沿ツテヤレ、ヤツタラドウカト云フ通條ハ出シテ居リマス

○村委員 一ツ責任ヲ以テヤツテ裁キタカテモウ一ツ鐵道局長ニ御伺シタイノハ、産金ノ問題ヲ離レテ、特殊鑛物ノ獎勵ト云フモノハドウナツテ居リマスカ、特殊鑛物詰リ今言ツタヤウナ亞鉛、鉛、タングステン、モリブデン、ト云フモノニ對スル補助ハドウナツテ居リマスカ

○長崎政府委員 先程ノ私ノ説明ガ少し足ラナカッタウニ思ヒマスガ、只今委員長ノ御注意又朴サンノ御話ノ通りデアリマシテ、之ヲ強制スルコトハ致シテ居リマセスガ、サウ云フ風ナ線ニ沿ツテヤレ、ヤツタラドウカト云フ通條ハ出シテ居リマス

前達ニ是ダケノ國際相場ニ昂上ガレヤウニシテヤルノダト云フコトヲ、ハツキリ此ノ産金業者ニ對シテ分ルヤウニシテ貫ヒタイ、ソレニ對シテ内外地ヲ通ジテ、商工省ハ責任ヲ以テヤウテ貫ヒタイト云フコトヲ、局長サンニモウ一度答辯ヲ求メタイト思フ

○小金政府委員 只今御指摘ニナリマシタ増産金買上規則、是ハ大藏省令ニナツテ居リマシテ、大藏省ノ立案並ニ實施ト云フコトニ相成ツテ居リマシテ、私ノ方ニモ相談ガアリマス、朴サンガ御指摘ニナリマシタヤウニ、中々複雑デ分リニクイ規定デアリマス、ドウ強辯致シマシテモ、複雑デ分リニクイト云フコトハ、私モ全ク同意デアリマス、ソレカラ尙ホ今御説明アリマシタヤウニ、産金業者、採算點、即チ算盤ノ方カラ行キマシテモ、亦鑛物ノ品位ノ點、即チ自然の條件ト云フヤウナ方面カラ見マシテモ、必ズシモ良イ方ニバカリハ向ツテ居リマセス、殊ニ唯國ノ爲ニ金ヲ出セ、鑛物ヲ出セト云フコトヲ、私共ハ決シテ強ヒテ諷テモナシ、又ヤウ云フコトモ出來マセ

○朴委員 私人大藏大臣ガ來ラレナカツタノハ、甚ダ遺憾ニ思フデアリマスガ、今日ハ大變長イ時間費シテ居リマスカラ、私ノ質問ハ是デ打切りマス

○櫻井委員長 長谷サン成ベク要點ヲ御話願ヒマス、今日ハ時間モモウ經過シテ居リマスシ、殊ニアナクノ御都合ニ依ツテ今日御許シテ居ルノデスカラ

○長谷委員 承知致シマシタ、簡單ニ申シマス——ソコデ貧窮處理ノ問題ヲ除外致シマシテモ、是ハモウ申スマデモナク今日ハ機械力ヨリ以外ニハナイ、研究力以外ニハナイ、ソコデ私ハ優良鑛ノ開發ニ對スル問題ヲ申上ゲマス、今日商工省ノ下ニ在スルモノハ鑛山監督局ニ、ソレカラ産金振興會社、帝國鑛業開發會社、斯様ナモノガ中間ニアリマシテ、今民間側ノ鑛業者ヲ指導監督致シテ居リマス、所ガ今日ノ立場カラ行キマシテ、アノ四箇年間ニ於キマシテ、假ニ此ノ鑛區ハ非常ニ優良ナル鑛區デアルト云フコトヲ、鑛山監督局ガ認定致シマス、或ハ産金振興會社ガ之ヲ認定致シマス、認定致シマシタ時ニ其ノ「プラン」ヲ産金振興會社ニ持ツテ行ツテ、實ハ金ガ足リナイカラ金ヲ借りタイ、鑛山監督局ノ證明ヲ持ツテ産金振興ニ行ツテ、金ト物ガ欲シノダ、斯ウ言ツテ出タ時ニ萬一ソレガ制ヲラレト云フト、後四年間ノ試験立派ナ鑛區ト分ツトシテモ、産金振興會社ト帝國鑛業開發會社ガ頭ヲ振ツテシマツタラ、到底此ノ問題ハ解決シナイ、優良鑛區ガ採掘權ニ變リ得ナイノデアリマス、所ガ今日ハ、モウ惡イコトハ申上ゲマセヌガ、吾々ガ此處デ口ニスルコトノ出來ナイヤウナコトヲ、産金會社ソレ自身ガヤツテ居ル、鑛山監督局ノ方々ハ手ガ足ラ

○長谷委員 私人御質問申上ゲタイ點ハ、成ベク前者ノ朴君ガ言ハレタコトニ關シテ、マダ御答辯ノ御氣持ヲ去ラナイ間ニ於テ、其ノ點カラ先ヅ御質問致シテ參リマス、今ノ製鍊所ノ問題デアリマスケレドモ、是ハ今日ノ重要鑛物並ニ之ニ關聯シタモノノ獲得ニ付キマシテ、政府ノ方デハドウ云フ風ナ國策ヲ持ツテ居ラレルノカ、重要鑛物ノ開發ニ對スル政府ノ國策デアリマスガ、是ハ私個人ノ意見ヲ申上ゲマス、落チル先ハアマ今日ノ大勢カラ見マシテ、製鍊所ノ國策ト云フ問題ニ落チルダラウト思ツテ居リマスガ、私ノ今申上ゲルコトガ參考ニナリマシタナラバ幸デアリマス、先ヅ民間側ガ獲得致シマシタ重要鑛物ヲ統制販賣スル會社法案、サモナケレバ今ノ製鍊所國策法案、此ノ二點ヲ獲得セラレル必要ガアリマセヌカ、ソレカラ其ノ前提トシテ重要鑛物ノ増産ニ對スル所ノ、強制規定ヲ增加セラレル必要ガアルノデハナイカ、其ノ更ニ前提ガ今回御提出ニナリマシタ所ノ本件ノ立案デアリマス、此ノ點ハ私見デアリマスガ先ヅ御質問致シマス

○小金政府委員 鑛物ノ増産ヲ圖ル立場カラ鑛物ヲ買取り、又ハ販賣スル一ツノ權限ヲ國ガ持ツ、或ハ斯ウ云フ機關ヲ作ルコト、或ハ製鍊所ヲ國營ニスルコト、ソレカラ重要鑛物ノ増産ヲ更ニ強化スル何等カノ措置ヲ採ルコトト云フヤウナ事柄ニ付キマシテハ、重要鑛物増産ト云フ見地カラ色々檢討サルベキ問題ダと思ヒマス、併シテ今現在ノ狀況ニ於キマシテハ、是等ノコトモ急激ニ其ノ方向ニ向ツテ實施シナケレバナラヌト云フヤウニハ考ヘテ居リマセス、唯製鍊所ノ經營トカ鑛物ノ動キトカニ付キ

○長谷委員 製鍊所ノ分析ニ付キマシテ一言附加ヘテ置キマスガ、資料ヲ取ル際ニハ官吏ガ立會フヤウニナツテ居リマス、是ハ運用シナケレバ何ニモナリマセス、ソコデ、此ノ運用ニ付キマシテハ十分心懸ケマス、今御質問ニナリマシタ鑛業法第三十三條ノ二ノ削除スル結果、相當多數ノ鑛區ヲ包容シテ居ラレル向デ、試掘ガ出來ナカツコトト、或ハ試掘ノ結果鑛業ノ價值ナシト云フコトト、其ノ儘期限ガ切レタヤウナ場合ニ於テ、是等ノ振落サレタ鑛區ニ對スル取扱ヲドウスルカト云フ御質問デアリマスガ、此ノ試掘ヲ爲シマシタ結果、採掘權ニ編入サレタモノハ、ソレノ採掘ニ著手スルカ又ハ豫備鑛區或ハ保護鑛區ト云フヤウナ名前デ呼バレテ居リマス形ニ於テ、保存サレテ行ク、斯ウ云フコトニナルト思ヒマス、敢テ此ノ資料努力等ノ不足勝チノ際ニ、此ノ試掘ヲ四年間デヤラナケレバナラヌト云フコトニ付キマシテハ、御諒承ヲ得テ居リマスカラ、其ノ點ニ付キマシテハ洵ニ有難イコトト存ジマスガ、此ノ振落サレ

マシテ、將來或ハ今後國ガ計畫ヲ遂行シテ行ク際ニ於キマシテ、其ノ途上ニドウ云フ風ナ見地カラ、斯ウ云フ問題ヲ取扱ツタラ宜イカト云フコトハ、常ニ心掛ケテ置カレベキ性質ノ問題ダと思ヒマス、今度ノ試掘權ノ制度ノ改正ノ如キハ、長谷サンニハ十分御諒解ヲ得テ居ルト存ジマスガ、是ハモウ何モ彼モ全部ノ其ノ下ヲ流レテ居ル所ノ最モ基本的ナ、根柢ノ問題トシテ提案ニナツタノデアリマス

○長谷委員 唯御注意マデニ少シ附加シテ置キマス、製鍊所ノ國營ノ問題ト云フモノハ斯ウ云フ點ニ立脚シテ居リマス、成程今日ハ非常時下デスカラ、ソレニ關聯シタ所ノ職員ガ能率ヲ低下スルト云フ風ナコトハ、餘リ考慮セラレカモ知レマセス、ソコデ此ノ缺點以外ノ所ハ私全部賛成シテ宜イ意見バカリデハナカラウカト思ツテ居リマス、ソレハ朴君ガ先程指摘致シマシタヤウニ、實際ニ於キマシテ買方ノ側ハ實ニ極メテ巧妙ニ貧乏バカリヲ取上ゲル、ソレカラ分析デモ一番最後ノ辨ノ落チテ來ル時ニ、落チテ來タモノヲ分析スルノデアリマスガ、四ツニ分ケテ居ル時ニ其ノ中ノ一ツガ非常ニ良クテ、後ノ三ツガ全部惡イト云フコトガ殆ド金ノ場合ハ原則デアリマス、所ガ其ノ三ツニツク突ツタモノハ災難デアリマス、是ハ現ニ東京ノ鑛山監督局ニモ其ノ事例ガアリマス、左様ナ譯デ四ツノモノ「ミーン・パリー」ヲ出シテ貰フトマダ結構ナノデアリマスガ、分析デサヘモ斯様ニ至難デアリマス、況シテ民間側ガ分析ヲ擔當致シマス、インテキヤナルト云フコトハ是ハ當然ナ話デアリマス、ソコデ出來ルコトナラバ、現在製鍊場ヲ或ハ分析室ヲ

タ鑛區ニ付キマシテハ全然放置サレル場合モアリマセウシ、又他ノ方ガ出願ヲシテ、昔某方所有シテ居ツタノダカラト云フノデ根柢好ク又試掘ヲシ、或ハ探掘ヲスルト云フヤウナコトガアルト存ジマス、是等ノ點ニ付キマシテハ更ニマダ良イ方法ガアリマスレバ、是ハ國策會社モ二ツアルコトデアリマスカラ、十分考慮致シタイト存ジマス

○長谷委員 今ノ附隨致シマシテ、希望ヲ一點ダケ加ヘテ置キマス、ソレハ現在ノ大學、並ニ専門學校ノ鑛山關係ノ人達ヲ動員スルコトモ、今日非常時下ニ於テ必要デアリマス、鑛山監督局ノ増加ト云フコトモ必要デスガ、是ガ大切デス、ソレカラ更ニ此ノ産金トカ開發ノ技術ヲ十分御監督願ハストイケマセヌ、サウデナイト此ノ中間ニ居ル者ガ全クダラシガナイヤウナ状態ニアツタンデハ、絕對ニ完全ナル地理ノ分布圖ハ出來上リマセヌ

次ニ御尋致ス問題ハ商工省ハ全體ト致シマシテ、先ヅ鑛山開發ニ對スル所ノ根本ノ問題ニナル資料、此ノ資料ト云フノハ手取リノ資料デス、此ノ資料ト云フモノヲ基準ニ於テ之ニ對シテ色々「アレンジメント」ヲシテ行カナケレバナイ、其ノ手取

リノ資料ノ確保ノ根柢ガアルカドウカ、私ハアテラレト考ヘマス、ソコデ御尋致シタイノハ其ノ資料ヲ何處ニ重點ヲ注イダラ宜イカト云フ問題デアリマス、是ハ二ツノ見方ガアルト思フ、先ヅ第一ノ見方ハ日本全國ニ多クノ金並ニ重要鑛物ノ分布ガアルガ、金ナラバ先ヅ臺灣ニ重點ヲ置クトカ、朝鮮ニ重點ヲ置クトカ、北海道ニ重點ヲ置クトカ、是ガ地理、氣候、風土、勞働力、一切ノ關係ニ於テ一番歩留リノ良イ所ニ重點ヲ置カナケレバナラヌコトハ當然ノコトデアル、資料ガ足リナイ、ダカラ重點ヲ資料ニ置カナケレバナラヌ、地理的ニ見マシテ重點ヲ置カナケレバナラヌト思フ、第二番目ノ點ハ是ハ鑛業ノ種別ニ依ツテ、鑛物ノ種別ニ依ツテヤツテ行カナケレバナラヌ問題ダと思ヒマス、何ガ無クテモ金ガアレバ物ガ買ヘル、サウスレバ金ガ一番ダ、何ガナクテモ鐵砲ノ彈ガアレバ宜イノデスカラ、鐵砲ノ彈ノ資料ガアレバ、是カラ其ノ次ニ大切ナモノヲ順次決メテ行ツタナラバ、日本ノ現在ニ於ケル所ノ重要工作物ノ中ノ順序ガ決マル譯デアリマス、サウシタラ第一番目ノモノニ全力ヲ注ガレタラ宜イノデアリマス、所ガ殘念ナコトハ唯一ツ關聯シタ時ノ途中ノ物資ガ足リナイガ爲ニ、全部ノ仕事ガ出來ナイト云フ情勢ニアル、護謨ガ足リナイガ爲ニ、「ドリル」ガ足リナイガ爲ニ配線ガ足リナイガ爲ニ、勞働力ガ足リナイガ爲ニ、唯一ツノ物ガ足リナイガ爲ニ全部ノ仕事ガ出來ヌ、サウ云フ半端ナモノガ各産業ニアルノダ、鑛山ノ中ガサウ云フ風ナコトトハ絕對ニイケナイ、此ノ調整スル根本ガ即チ鑛物ノ順位ヲ決メルコトデアル、鑛物ノ順位ヲ決メテ資料

フ之ニ與ヘテ行カナケレバナラナイ、金方
欲シケレバ金ニ全部ノ資材ヲ與ヘテ、而シ
テ餘ヲ物ヲ與ヘル、石炭ニ與ヘル、
而シテ餘ヲ物ヲ與ヘル、特殊鋼ニ與
ヘル、斯ウ云フ風ニシテ行カナケレバ、金
山ノ連中ハ殘念ナガラ一ツノ物ガナイ爲
ニヤレナイ、鐵山亦然リ、斯ウ云フ跛行的
ナ情勢ヲ其ノ儘ニ置イテハ、絕對ニ現在ノ
重要鑛產物ハ開發サレマセズ、此ノ二ツノ
立場カラ行キマシテ、政府ト云フモノガド
ウ云フ取扱方ヲ取ラナケレバナラヌカト云
フコトハ、十分御考ニナツテ居ルダラウト
思ヒマス、私ハ詳シク説明ハ致シマセズガ、
此ノ點ニ關聯致シマシテ、御答方アリマシ
タラ承リタイト思フ

○小金政府委員 鑛山用資材ノ確保ノ途ニ
付キマシテハ、十分計畫モ持ツテ居リマス
シ、具體的ニ關係方面ト話モ進メテ居リマ
ス、又是等ノ得難イ資材、或ハ勞力等ニ付
キマシテ、重點主義ヲ執ルト云フコトノ心
構モ、十分持ツテ居リマス、併シナガラ鑛
山特ニ金屬山等ニ付キマシテハ、單純ナル
重點主義、或ハ外カラ見テ所謂重點主義ト
云フモノノ採用ガ困難ナ點ガアリマス、ソ
レ等ノ點モ十分考慮致シマス、今ノ長谷委
員ノ御質問ノ趣旨ハ能ク諒承致シマシタカ
ラ、十分サウ云フ點ニ付キマシテ注意ヲ致
シマス

此ノ關「タウキリ」ノ話ガ出テ居リマシタガ、
「タウキリ」ナドハ物ノ數デハナイ、所ガ此
ノ砂金ノ採取ニ對シマシテハ、其ノ資材ニ
於テモ調査ニ於テモ、ソレカラ勞働力ニ於
テモ、實績處理ニ於テモ、製鍊ニ於テモ、
山金ト比較致シマシタナラバ、殆ド問題デ
ナイ安價ナモノガアルノデアリマス、是ハ
今日青年團ヲ動員シ、在郷軍人會ノ人達ヲ
動員致シマシテ、一本ノ川ヲ平均十箇處位
調ベサセマシタナラバ、大抵其ノ川カラ殆
ド吾々ガ期待シナイ程ノ大キナ金額ヲ金ヲ
採ルコトガ出來ル、而モ先程私拜見致シマ
シタガ、砂金ノ試鍊一本當リ五圓ノ補助ガ
アル、サウスレバ此ノ五圓ノ補助ヲ青年團
ナ在郷軍人ノ人達ニ與ヘテ、川ヲ十箇處位
拾ワタナラバ、大抵其ノ川ノ「タウキリ」
リニ「方」出ル、而モ其ノ砂金ト云フモノガ
極メテ有利ナル所ノ立場ニ日本ガアルノデ
アリマス、資材ハ足りナイ、勞働力ガ足りナ
イト喧嘩シテ居ルヨリ、日本ノ根本對策ヲ
砂金ニ持ツテ行ツタラドウカ、吾々ハサウ
思フノデアリマス、此ノ點ヲ承ツテ置キタ
イ

○小金政府委員 砂金ヲ目的トスル試鍊ニ
付キマシテハ、雖ノ穴一本ニ付キ五圓ト云
フ風ニ産金獎勵規則ニ書イテアリマス、ソ
コデ砂金ヲ採取スル者ガ只今ノヤウナ砂金
權者ニ限ラレテ居リマス關係上、砂金業者
ニ此ノ獎勵金ヲ交付致シマス、併シナガラ
砂金ノ採取ガ非常ニ敏速デ有利ナルト云
フコトハ認メテ居リマスノデ、只今御説明
ニナリマシタヤウナ點ニ付キマシテハ、是
亦實際個々ノ場合ニ付キマシテ、具體的安
當ナ處置ヲ執リタイト存ジマス

點デ終リマス、實ハ大藏當局ニ觀念ヲ入レ
タイト思ヒマシテ、先程朝鮮ト臺灣ガ帝國
鑛業開發會社カラ「オミット」シレタコトヲ
尋ネテ置キマシタガ、アノ點ハ其ノ後ドウ
ナツテ居リマスカ、御説明ヲ願ヘタラ結構
デアリマス

○小金政府委員 帝國鑛業開發株式會社ノ
事業計畫並ニ其ノ經營振リニ付キマシテ
ハ、昨年御審議ヲ得タ所デアリマスガ、其
ノ際朝鮮ニ付キマシテハ、色々異ツタ事情
モアリマスルカラ、別ニ何等カノ機關ヲ設
ケテ之ヲ開發スル、臺灣ハ更ニ具體的ノ問
題ガ起ツタ際ニ之ヲ協議スルト云フコトニ
ナツテ居リマシテ、朝鮮ニ於キマシテハ、
其ノ後鐵山トカ其ノ他ノ鑛山ヲ開發スル爲
ニ何カ民間ノ會社ヲ設立セシメテ、之ニ對
シテ一定ノ配當ノ保證ヲスルト云フヤウナ
建前デ、六分配當ノ保證カ何カヲ、豫算デ
スカ、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約カ
何カデ、昭和十五年度ノ豫算ニ出テ居ル答
デアリマス、ソレカラ内外地ヲ通ジテ一本
建ニスルコトニ付キマシテハ、只今ノ所色
色ノ關係デ、其ノ問題ニ對スル十分檢討
ガ出來テ居リマセズ、場合ニ依ツテハ何ト
カシナケレバナラヌカト存ジマスガ、是ハ
色々統治上ノ關係ナドガアリマシテ、私共
ノ手ニ一應負ヘナイト云フ状態デアリマス

○長谷委員 委員長ガ御答キニナツタヤウ
ニ、少シク物足りナイノデアリマス、其ノ
點ハ商工省トシテハモウ少シ御考ヘ下サラ
ナイト困ル、アノタノ方ガ強ク出ラレナイ
ト、鑛業ノ分野ガ一本建ニナラナイデ、各官
廳ガ一本建ニナラウ管方アリマセズ、モウ
少シ基本的ニ色々ノ分野ニ對シマシテモ研
究ラシテヤウテ貫ヒタイト思ヒマス、今日

昭和十五年三月四日印刷

昭和十五年三月五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

ハ私ノ爲ニ長イ間委員長各位ニ御答キ
ヲ願ヒマシテ、洵ニ恐縮デアリマシタ、是
デ私ノ質問ヲ終リマス

○櫻井委員長 次回ハ明五日後一時半ヨ
リ開會致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマ
ス

午後六時四十六分散會

第七十五回帝國議會 院 鑛業法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第七回

付託議案
鑛業法中改正法律案(政府提出)
(第六二號)
砂鑛法中改正法律案(政府提出)
(第六三號)
有機合成事業法案(政府提出)(第六四號)

(二六二)

會 議
昭和十五年三月五日(火曜日)午後一時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 櫻井兵五郎君
理事澤田 利吉君 理事篠原 義政君
理事小山田義孝君 理事依光 好秋君
理事川俣 清吾君

山本 厚三君 岡野 龍一君
内藤 正剛君 高橋壽太郎君
小柳 牧衛君 長野 長廣君
卯尾田毅太郎君 井阪 豊光君
木暮武太夫君 久山 知之君

鶴 惣市君 川崎巳之太郎君
原口初太郎君 東條 貞君
森田 福市君 瀧澤 七郎君
松本治一郎君 加藤 鏡造君
小池 四郎君 長谷 長次君
坂本宗太郎君 岩瀬 亮君

同日委員村松久君辭任ニ付其ノ補闕トシテ高橋壽太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ
出席政府委員左ノ如シ

企畫院總裁 竹内 可吉君
内務省土木局長 成田 一郎君
北海道廳長官 戸塚九一郎君
大藏省理財局長 相田 岩夫君
商工省鑛產局長 相田 岩夫君
商工省鐵鋼局長 小金 義照君
商工省化學局長 永田彦太郎君
逓信政務次官 武知 勇記君

電氣廳長官 平井出貞三君
鐵道政務次官 宮澤 裕君
鐵道省運輸局長 長崎惣之助君
朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君
厚生政務次官 一松 定吉君
厚生參與官 飯村 五郎君
厚生省體力局長 佐々木芳遠君
委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

商工技師 足立 泰雄君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
鑛業法中改正法律案(政府提出)
砂鑛法中改正法律案(政府提出)

櫻井委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、前
回ニ引續キ質疑ヲ續致シマス——卯尾田
毅太郎君
○卯尾田委員 鑛業法、砂鑛法ニ關聯致シ
マシテ、製鐵國策ニ關シテ企畫院總裁ニ
商工當局ニ御尋致シタイト思フノデアリマ
ス、御承知ノ通り昭和十二年ノ春、時ノ商
相デアリマシタ伍堂氏ニ依リマシテ、製鐵
五箇年計畫ヲ樹立セラレマシタガ、事變勃
發以來吉野商相ガソレヲ改訂修正セラレマ
シテ、相當擴大性ノ計畫ヲ實施サレタコト
ハ御承知ノ通りデアリマス、更ニ第七十四
議會青木企畫院總裁ハ十二年ノ實績ニ依リ
ソレヲ基準トシテ鐵鋼或ハ鋼材、礫石ノ一
定比率ノ擴充案ヲ、即チ生産力擴充計畫ヲ
立テラレタコトモ御承知ノ通りデス、僅カ
二年間ノ間ニ四回ニ互ツテ製鐵擴充計畫ニ

對シテノ修正ガアリマシタ、今日歐洲第二
次大戰ノ結果、更ニ國防計畫ノ擴充ト相俟
ツテヨリ以上ノ根本的ナ製鐵擴充計畫ヲ立
テラレルノガ至當デアリ、又本年ノ厄大ナ
豫算ヲ圓滑ニ執行スル上ニ絡ミ合セマシテ
モ、一大改訂、修正ヲサレルノ必要ガアル
ト存ジマス、政府ハ改訂ニ對シテノ確タル
成案ガアルカドウカ御伺致シタイデアリマ
ス

○植谷政府委員 製鐵國策ノ樹立ガ肝要
デアルト云フコトハ只今御話ノ通りデゴザ
イマス、政府モ企畫院ニ於キマシテ、是ニ
決定シマシタ目標ニ依ツテ、各種ノ施設ヲ
行ツテ居ル状態デゴザイマス、勿論種々資
材其ノ他ニ依ツテ制限ヲサレテ居ル状態デ
ゴザイマスカラ、其ノ時々ノ狀況ニ應ジテ、
其ノ實施狀況ハ多少ツツハ違ツテ參ツテ居
リマスケレドモ、其ノ目標ハ飽クマデ企畫
院ノ作成シマシタ其ノモノヲ目標トシテ堅
持シテ居リマス

○卯尾田委員 只今鐵鋼局長カラ御述ベニ
ナリマシタガ、更ニ其ノ趣旨ニ付テ企畫院
總裁カラ伺ヒタイト思ヒマス、御留守デア
リマシタカラ更ニ申シマスガ、伍堂商相カ
ラ吉野商相ヘ、ソレカラ青木企畫院總裁ヲ
經テ、四回ニ互ツテ、製鐵國策ニ對シテ一
大修正ガゴザイマシタ、御承知ノ通り十三
年度ヲ基準トシテ、鐵鋼何割、礫石何倍、
鋼材何倍ト云フ、アノ數字ニ依ラレル計畫擴
充ガ、當然今日ノ事態カラ見テ修正擴大セ
ラレナケレバナラナイト思ヒマスガ、ソレ
ニ付テノ大意ヲ御聽キシタイノデアリマス
○竹内政府委員 途中カラ入りマシテ或ハ
御趣意ヲ能ク吞込メナイカト思ヒマスケレ
ドモ、一應御答申上ゲマス、昨年ノ一月ニ
重要品目ニ付キマシテ生産擴充計畫ガ四箇
年計畫デ出來テ居リマスコトハ、大體御承
知ノコトダト思ヒマス、只今ノ所ドウシテ
モアノ計畫ノ遂行ニ邁進シタイト云フ風ニ
考ヘテ居リマス、サウシテ鐵鋼ニ限リマセ
ヌガ、日滿支ヲ通ジマシテ資源ノ賦存状態
ヲ能ク檢討致シマシテ、一ツノ經濟「ブロッ
ク」デ必要ナ重要資源ヲ確保シテ行クト
云フコトガ、是ハ今日ドウシテモヤウテ行
カナケレバナラヌコトト思フノデアリマス、
唯別ノ機會ニ於テモ申上ゲマシタコトト思
ヒマスガ、今年物資其ノ他ノ關係カラ十四
年度ノ計畫ニ鐵鋼ヲ達シナカッタノハ非常
ニ遺憾デゴザイマス、併シナガラ只今御述
ベナリマシタヤウニ、此ノ鐵鋼ノ自給自足
ト云フモノハ、當初ノ目標ニ出來ルダケ早
ク到達スルヤウニ、努力シテ行クト云フ風
ニ政府デハ考ヘテ居ル次第デゴザイマス
○卯尾田委員 鐵鋼ノ自給自足ハ當然デア
リマスガ、遺憾ナガラ現在既定計畫サヘ擴
充サレテ居ナイ、併シ私達モ鐵鋼ニ付テハ、
日滿支ヲ通ジテ自給自足ハ出來ルト考ヘテ
居リマス、併シナガラ鋼塊鋼材ニ付テハ相
當ナ計畫ヲ立テナケレバ、斷ジテ所期ノ目
的ハ達成出來マセヌ、若シ此ノ鋼材計畫ガ

所期ノ目的ヲ達セヌコトガアリトスルナラバ、是ハ有ル生産擴充ニ影響シ、國防充實ニ至大ノ關係ヲ持ツ問題デアリマス。特ニ私達ハ此ノ鋼鐵鋼材ニ對シテ關心ヲ持ツト同時ニ、鐵鋼局ニ於カレテ積極的ニ是ガ達成ニ努力サレナケレバナラナイト思ヒマスガ、其ノ積極的ニ達成スル方途ニ付テ如何ナル御考ヲ持ツテ居ラレマスカ。

○竹内政府委員 御承知ノヤウニ鋼材ノ生産ニ必要デアリマス。鋼鐵ト云フ問題ガ、鋼材鋼塊ノ自給ト云フコトニ非常ニ關係ガアルヲラウト思ヒマス、全ク御述ベニナリマシタ御意旨モソコニアルト思ヒマスガ、日本ノ現在ノ設備ヲ以テシテハ、急速ニ此ノ實現ガ困難ダト思ヒマス、内外ノ情勢カラ此ノ重要ナ屑鐵ト云フモノヲ、或ル程度デモ鬼ノ角海外ニ依存シテ居ルト云フ状態ハ、一日モ早ク逸脱シテ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、唯之ニハ現在ノ設備ノ改造ト云フ問題ガアリマス、又技術上ノ問題モアルノデアリマシテ、若干ノ困難ハソコニアルト思ヒマスケレドモ、只今ノ方針ハ漸次、而モ一日モ早ク屑鐵ヲ使フト云フコトヲ出來ルゲケ減少スルコトニ依ツテ、鋼材鋼塊ノ自給ト云フ所ニ進マナケレバナラヌト云フノデ、努力シテ居ルヤウナ次第デアリマス。

○卯尾田委員 御話ノ通り、オ五ノ希望ハ其ノ通りデアリマスガ、中々希望ト實現トハ距離ノ遠イモノデアリマシテ、其ノ點ニ付テ鐵鋼局長カラ何カ具體的ナ方策ナリ方針ガアリマスナラバ御伺致シマス。

○塩谷政府委員 大變難カシイ御質問デ、御答ハ致シマスケレドモ、果シテ御満足ニ相成ルカドウカ分リマセヌガ、一應申上テ

テ見マス、御承知ノ通り、今モ企業院總裁カラ申上ゲマシタガ、何ト云フテモ鐵鋼業ノ基礎ヲ安定ニスルコト云フコトガ大切デアリ、所ガ今マデノ狀況ハ屑鐵ノヤウナモノガ外國ニ依存スルコト云フ狀況デ、頗ル心細イ狀況アル、而モ近頃ノ國際情勢ハ、益々自國ノ國産品ヲ自給シテ居ルコト何トカシナケレバナラヌト云フ所マデ押詰メラレテ居ルヤウナ譯デアリマス、政府モ從來出來ルダケ自給自足ノ方針ヲ行カウツ云ツテ今日マデ進ンデ參ツテ居リマシテ、其ノ方針ニ付テハ少シモ變ツテ居リマセヌ、ソレナラバ此ノ自給自足ヲドウスルカト云フ具體的ノ問題デアリマスガ、吾々ノ心構ト致シマシテハ、現ニ日本ノ國ガ支配シ得ル所ノ物及ビ支配シ得ル所ノ人ヲ最モ有効ニ使フ、而モ國家的ニ有効ニ利用スル、外ノ言葉デアリマスト、有ル物ト人トノ界限效用ヲ國家的ニ見テ成ベタ高クスルコト云フノガ、其ノ心構デアリマス、ソコデ其ノ鐵鋼ノ生産ニソレヲ常態メテ見マス、第一ニ我國ノ勢力圈内ニアル原料ヲ出來ルゲケ有效ニ利用シヨウ、ソレハ内地、外地、滿洲、支那等ノ資源ヲ出來ルゲケ開發スル、而モ從來ノヤウニ「バーセンテーゼ」ノ良イ富鐵ダケデナク、極メテ「バーセンテーゼ」ノ低イ富鐵ヲ利用シヨウデハナイカ、更ニ鬼ノ角鐵石ダケ利用サレレドモ、鐵石ダケデハイカス、砂鐵ヲ利用シヨウ、斯ウ云フヤウナ考デアリマス、更ニソレデハ人ノ方ハドウスルカト云フ、是ハ結局頭ノ問題デアリマス、變ナ言ヒ方デアリマスケレドモ、考ヘレバ頭モ一個ノ資源デアリマス、精神活動モ資源ト見テ宜イ、之ヲ最モ有效ニ利用スルコト云フコトガ、現下

ノ經濟ニ於キマシテ最モ大事ナコトデアリマス、ソレデドウ云フ風ナ利用ヲスルカト云フト、從來ノ平爐中心ノ製鐵法デナク、之ヲ出來ルゲケ鐵鋼一貫法ニ改メテ行ク、サウシテ輸入屑鐵カラ出來ルゲケ脱却スルコト云フコトガ大事デアリマス、更ニ「バーセン」法、タルプ法、或ハ電解法ト云フヤウナ、新シイ製鐵法ヲ十分研究モシ、之ヲ利用スルコトニ依ツテ、貧鐵ノ砂鐵ヲモ有テ製鐵スル、更ニ一歩進メマシテ、從來比較的薄カウタノデアリマス、ケレドモ高價ノ副産物ヲ造ルト云フコトハ製鐵業ノ安定ノ上ニモ大切ナコトデアリマス、寧ろ鐵ガ副産物デ、「ペンソール」「トリオール」等安其ノ他ノモノガ主産物ダト云フコトニシタラ鐵鋼業ガ安定スルノデハナイカト云フ考ヘ方モアル譯デ、詰リ鐵鋼業ト化學工業トヲ出來ルゲケ有利ニ結合スルコト云フコトヲ考ヘテ宜クハナイカ、詰リ一口ニ言フト考ヘマシテ、其ノ意味ヲ研究モサセ、指導モシテ居ルヤウナ譯デアリマス、大體コソナ風デアリマス。

○櫻井委員 鐵鋼局長ニ伺ヒマスガ、「ス」カララ「ニ」依ラナイ方法ヲ技術的ニ行ケルノデアリマス、又現ニ相當ナリニナツテ居ルノデアリマス、ソコヲモウ少シ明カニシテ戴キタイ。

○塩谷政府委員 ソレハ是立技師ガ來テ居ラレマスカラ、是立技師カラ申上ケマス。

○足立説明員 技術上ニ涉リマスカラ、私カラ御答申上ゲマス、只今委員長カラ御注意ガゴザイマシテ「ス」カララ「ニ」成ベタ使ハナイヤウナ方法ヲ著々實行シテ居ルカ、斯ウ

云フヤウナ趣旨ノ御尋デゴザイマシタガ、御承知ノ如ク、先程卯尾田委員カラ御示シノアリマシタ通り、伍堂商工大臣ノ際ニ、實ハ鐵ノ生産力擴充計畫ヲ一番初メ立テタノデアリマス、其ノ當時ハ只今企業院總裁ニ於テ御決定ニナツテ居リマス十五品目ノ生産力擴充ト云フモノハ、マダ出來テ居ラナカウタ時デアリマス、昭和八年カラ九年ノ頃デアリマス、此ノ際ニ實ハ鐵ノ關スル限り規模コソ現在ヨリ小サクアリシタケレドモ、鬼ノ角相當ノ規模ノ生産力擴充計畫ヲ立テデアリマシテ、實ハ外ノ産業ヨリ一歩進ンデ居ルト私共ハ信ジテ居ルノデアリマス、其ノ目標ト致シマシタ所ハ、只今御指觸ノアリマシタ「ス」カララ「ニ」餘リニ頼リ過ギテ居ルデハナイカ、是ハ一朝有事ノ際ニ日本ノ製鐵業ヲ非常ニ不安定ナラシメルモノデアルト云フコトニ、吾々モ十分認識ヲ持ツ居リマシタ關係カラ設備ノ増設ハ勿論デアリマス、設備ノ増設ト同時ニ「ス」カララ「ニ」ヲ出來ルゲケ使用ヲ少クスルコト云フ此ノ二ツノ目的ヲ以テマシテ、最初ノ伍堂商工大臣當時ノ生産力擴充計畫ナルモノヲ立テタノデアリマス、其ノ後數回ノ變更ガゴザイマシタノハ勿論デアリマスガ、其ノ都度規模ガ少シク大キクナツテ來タコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、依然トシテ只今ノ二ツノ目的ハ他クマデ一貫シテ其ノ計畫ニ盛ラレテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ先程申シマシタ外ノ物資ヨリ實ハ數年先ニヤツテ居リマシタ關係モアリマシテ、或ル程度ノ「ス」カララ「ニ」ニ依存スルコト云フ程度ハ現在或ル程度實ハ改善サレテ居ルノデアリマス、若シソレガ外ノ産業ト同ジヤウニ

生産力擴充ガ數年後ニ「スタート」ヲ切ツタト致シマスレバ、現在ハモウト恐レベキ程ノ外國「スクラップ」ニ依存ト云フ状態ニ相成ツテ居タラウト思ヒマスガ、幸ニシテ只今申シマシタヤウナ譯デ、相當ノ實ハ改善ガ出來テ居ルノデアリマス、ト申シマスノハ從來日本ノ八幡製鐵所位ガ實ハ「スクラップ」ヲ餘リ使ハナクテモ好イ設備ヲ若干持ツテ居ツタニ過ギナカウタノデアリマスガ、ソレデハ如何ニモ外國ニ依存スル程度ガ大キナリマス、各主要ナ製鐵工場ニハソレ「焙煉爐」建設等ヲ許可致シマシテ、是ガ最近二三年間ニ相當ノ割合デ火ヲ入レルヤウニ相成ツテ居リマス、隨テ鐵鋼屑鐵ノ割合ガ數年前ト現在トハ實ハ非常ニ相違ヲ來シテ居ルノデアリマス、現ニ昨年中ニ於キマシテモ吾々ガ鐵ノ生産計畫ヲ毎三箇月毎ニ立テテ居リマスガ、三箇月ヲ經マシテ鐵鋼屑鐵ノ配合ヲ實ハ變ヘテ居リマス、何時モ屑鐵ノ配合ノ方ヲ極力減ラシテ、鐵鋼ノ配合ヲ多クスルヤウニシテ居リマス、從來日本全體ト致シマシテ鐵鋼ノ配合ハ三割、或ハ「スクラップ」ノ配合ハ七割ト云フヤウナ割合ガ逐次實ハ改善サレテ參ツテ居リマシテ、現在デハ極ク大體ノ所ヲ申シマス、總平均ニ於キマシテ約半々近イ所マデ實ハ改善シテ參ツテ居リマス、此ノ傾向ハ只今企業院總裁カラ御話ニナリマシタ現在ノ生産力擴充計畫ヲ極力遂行シテ行クコトニ依リマシテ、尙ホ一層改善サレルモノト私共ハ見テ居リマス。

○櫻井委員 卯尾田君、企業院總裁ニ對スル御質問ハ終リマシタカ。

○卯尾田委員 モウ少シアリマスケレドモ……

○櫻井委員 先アリニナリマスナラバ、企業院總裁ノ方ヲ先ニドウゾ……或ハ質疑ノ順序上已ムラ得ナケレバ御都合宜シウゴザイマスガ……

○卯尾田委員 只今技術上ノ問題ニ付キマシテ拜承致シマシタガ、逐次「スクラップ」ヲ減少セシムル方法ニ付テ御研究ナリ、御指導ハ相當敬意ヲ持ツテ私共見テ居リマス、併シ實際問題ト致シマシテハ、中々サウ鋼材鋼塊ヲ必要ナ程度ニハ充サレマセヌ、御承知ノ通り亞米利加ニ於キマシテハ從來四千數百萬觔ノ鋼材鐵鋼ヲ製造シテ居リマシタガ、一時非常ニ減少シマシタ、併シナガラ昨今ノ歐羅巴ノ事情ノ變化ガ自然亞米利加ノ製鐵ヲ要求シ、遂ニ昨今八九〇%近クマデ其ノ能率ヲ進メツツアリマス、總テ全「フル」ニナルコト信ジマス、獨リ通商航海條約ノ廢棄ノミガ吾々ノ「スクラップ」ヲ脅威セシムルモノデハナイト思ヒマス、即チ國際情勢ノ變化ガ當然亞米利加自體ニ於キマシテモ「スクラップ」ノ需要ヲ多カラシメルコトト信ズルノデアリマス、茲ニ私達ハ一層鐵鋼一貫作業ノ必要ガアリ、之ニ依ル製鐵獎勵ノ必要ヲ認メルノデアリマスガ、斯ウ云フ點ニ付テ、電氣廳ニモ關係ヲ持ツ問題デアリマスガ、資料ノ點ヤ先程安達サシナカラ御話ニナツタヤウニ電氣ノ方法モ有力ナ一ツノ鐵鋼一貫作業ヲ助長大セシメ得ル一ツノ方法ダト思ヒマス、サウ云フ關係ニ付キマシテハ、相當電力方面ニ付テ資料ノ必要ガアリマスガ、今朝新聞ヲ見マシテ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、遺憾大臣ハ昨日貴族院ニ於ケル答辯ノ中デ、十五年度ニ於ケル發電計畫ノ中ニ、上半期ニ付テハ確信ヲ持タレルガ下半年ニ付テハ甚ダ

心許ナイト云フコトデアリマス、勿論其ノ資料ト云フコトハ明瞭デアリマセヌ、銅モアリマセウ、「セメント」モアリマセウ、併シナガラ鐵鋼資料モ相當ノ必要ナ一ツダト思ヒマス、今日電氣ガ石炭ト同様ニ有ル産業ノ基礎ニナツテ居ルバカリデハナシ、ソレ自身ガ今日不足ヲシテ居ツテ、各方面ニ倉然トシテ非難ノ聲ガ揚ツテ居ル先ニ、サウ云フ發電計畫ニ對シテマデ資料ガ懸念サレルヤウデアリマス、是ハ全體ノ産業ニ及ボス影響、勿論擴充計畫ト物動計畫トガ相一貫不可分性ヲ持ツコトハ御承知ノ通りデアリマシテ、サウ云フ點ニ付テドウ云フ資料供給ニ對スル御考ガアリマス、企業院總裁ヨリ承リタイト思ヒマス。

○竹内政府委員 産業ガ段々發達スレバ勿論コトデアリマス、又生産擴充計畫ヲ計畫通り遂行シテ參リマス爲ニモ電氣ノ需要ト云フモノハ年々殖エテ行タラウト思フノデゴザイマス、ソレデ御承知ノ通り生産擴充計畫品目ノ中ニ發電設備ト云フモノモヤハリ採上ゲラレテ居ルノデアリマシテ、十四年ノ實績ノ十三年ト比ベマス、相當ニ設備ガ殖エテ居ルノデアリマス、唯今年ハ豫期シナイ色々ナ故障ガアリマシタ爲ニ、實際ノ發電ガ減ツタノデアリマスケレドモ、設備トシテハ十四年ニモ相當増加致シテ居リマス、ソレデ十五年以降ニ於キマシテモ此ノ考ヘ方ハ決シテ變ラナイノデアリマシテ、唯十五年以降ニ於キマシテハ、石炭共ノ他基礎的ノ物資ニ重點ヲ置イテ行クコト云フコトモ、是レ亦已ムラ得ナイコトデアリマス、然ラバ石炭共ノ他ドウ云フモノニ重點ヲ置クカト云フコトニナルノデアリマスガ、私共ハ只今ノ考デハ發電モ殆ド

同様ニ基礎的ノモノト考ヘテ居リマス。

○卯尾田委員 勿論電氣、石炭、鐵ト云フモノハ總テノ産業ノ基礎産業デアリマスカラ、當然最優先位ニ置カナケレバナラヌ、隨テ最優先位ニ置ク爲ニハ有ル物資ソレ等ニ供給セシメテ圓滑ナ作業ヲセシムルコトガ擴充計畫ノ圓滑ナラシメ助長セシム、ソレガ一貫シタ物動計畫ヲ萬全ナラシメルコトダト信ジマス、殊ニ企業院總裁ニ對シテ、急イデ居ラレマスカラ、私ハ最後ニ結論ノ希望ヲ申上ゲマスガ、一體鐵ハ石炭ト密接ナ關係ガアリマス、先程安達サシナカラ御述ベニナツタ通り、平爐脫酸法其他電擊法等ニ依ツテ鐵鋼一貫政策ヲ完成セシメ、ソレガ「スクラップ」カラ脱却セシメテ日本ノ物資ヲ自給自足ニ進マセル一ツノ大キイ途ダ、斯ウ云フコトヲ言ハレマシタガ、サウスルコトハ今日當然ダト思ヒマス、ソレニ付キマシテモ先ツ屑鐵ヲ少クシテ、鐵鋼一貫ノ方途ニ進ムニハ、石炭ノ中ノ強粘結炭即チ良イ石炭デナイト、「コーク」ガ能ク取レナイノデス、隨テサウ云フ方面ノ石炭ノ需要ハ相當考ヘナケレバナラナイコトデアリマス、増産ヲ必要トスルコト云フコトデアリマス、又數字ヲ申上ゲルコトハ此ノ際努メテ避ケマスルケレドモ、一體鐵石ハソレ相當ニ交通運輸政策ヲ全クシナケレバ、石炭ト共ニ日本ニハ輸入、移入ガ出來マセヌ、先ヅ製鐵政策ノ擴充、石炭政策ヲ擴充スル爲ニハ、少クトモ交通運輸政策ヲ擴充シナケレバナラマセヌ、サウ云フ見地ニ立ツテ、相關聯シタ政策ガ共ニ調劑ニ進マナケレバ、勿論重點主義ト稱シテ居ラレドモ、中々ソレノ達成ハ出來ナイコトガ多クデアリマス、甚ダ

ナ時代ニ此ノ層鐵ヲ最モ有效ニ使フト云フ
兩方ノ目的ヲ達スル爲ニ作ツタノデアリマ
シテ、決シテ事業ヲ抑壓スルト云フノガ中
心デハナイノデアリマス

ナリ「セメント」ノ回轉爐ヲ使フ「パッセー」
ノ方法ニ付テハ、實ハ私共ノ方デモ前カラ
目ヲ著ケテ居リマシテ、出來レバ之ヲ實行
ニ移シテ行ケバ「スクラップ」ノ代用品ガ之
ニ依ツテ相當出來ルト云フコトヲ見込シテ
居ルノデアリマス、勿論企業院デ只今出來
テ居リマス生産力擴充計畫ニ於キマシテモ、
「クルップ」ノ只今御指摘「ルッペイ」ノ方法
ナドモ擴充計畫ノ中ニ取入レテ居リマス、
ソレカラ「パッセー」ノ方法モ勿論取入レテ
居リマス、唯遺憾ナガラ現在作業ガ漸ク始
マリマシタバカリデ、現在ニ於テハ之ニ依
ツテ大量生産ノ實ヲ上テ居ル所マデハ行
ツテ居リマセヌ、是ハ今後ノ研究ニ依ツテ
相當ノ成果ヲ收メルノデハナイカト云フヤ
ウニ吾々ハ見テ居リマス、又日本鋼管「ト
マス」法ハ私ガ最初申上ゲマシタヤウナ
「スクラップ」ヲ殆ド使ハナクテ鋼ガ出來ル
ト云フノデアリマスカラ、是ハ吾々トシテ
モ非常ニ面白イ方法ト思ツテ居リマス、唯
遺憾ナガラ此ノ方法ハ、御承知思ヒマス
ガ、鑛石ノ品位ト申シマスカ、成分ニ支配
サレル點ガ非常ニ多イデアリマス、サウ
シテ遺憾ナガラ日本ノ勢力圈内ニアル
鐵鑛石ノ共通ノ性質トシテ鐵鑛石ノ中ニ入リ
マス鑛分ノ量如何ト云フ問題カラ檢討シテ
見マス、ト「トマス」ノ方法ニ依ツテ造
ルニハ甚ダ不適當ナ鋼ガ出來ル、サウカト
云ツテ「トマス」ノ反對ノ方法モアリマ
スカ、其ノ方法ニモ不適當デ、鑛ノ含有量
ガ何レノ方法ニ依リマシテモ適當デアリ
云フヤウナ鑛石ノ共通ノ性質ヲ持ツテ居ル
ノガ日本ノ支配シテ居ル鑛石ノ現狀デアリ
マス、全面的ニ是ダケニ依ツテ日本ノ製鐵

ヲ全部「トマス」デヤツテ行クト云フコト
ハ出來ナイと思ヒマスガ、或ル程度之ヲ更
ニ擴張シテ行クトハ考ヘラレルノデアリ
マスガ、現在日本鋼管デヤツテ居ルノモ、
只今ノ鑛石ノ缺點ヲ補フ爲ニ、普通ナラ
バ入レテモ宜イ鑛石ヲ配合シテ、
テ入レテ、或ル程度高メテ「トマス」
「トマス」デ、之ヲ日本ニ全面的ニ及
ボスト云フコトハ相當困難ナルガアラウ
ト思ツテ居リマス、又技術上ニ互リマスガ、
是カラ出來ル鋼ガ總テ「トマス」向ク云フ譯
ニハ遺憾ナガラ行カナイノデアリマス、極
「トマス」ナルモノニ對シテハ宜シ
イノデアリマスガ、一寸規格ヲ付ケラレル
場合、例ヘバ造船ノ板ヲ造ルト云ツタヤウ
ナ規格ヲ作ルト、「トマス」デヤツタモノ
ハ一寸規格シナイ、適當ナ方法デアリト云
フヤウナ缺點モ實ハアルノデアリマシテ、
全面的ニ是ダケ行クト云フコトハ一寸困
難ナルト思ヒマスガ、或ル程度ハ斯ウ云
ツタモノデ御説ノ如ク「スクラップ」ノ足リ
ナイ所ヲ補フコトヲ考ヘナケレバナラヌコ
トハ吾々モ十分考ヘテ居リマス

セヌ、古イ商工省ノ統計ニ依ルト、五千
萬噸アルト稱セラレ、最近ノ技術者ノ報告
ニ依レバ、一億萬噸アルト申サレテ居リマ
ス、假ニ一億萬噸アルトシマス、昨今日
本内地ニアル鐵鑛、赤鐵鑛ノ量ヨリ其
量ガ多イト云フコトデアツテ、甚ダ結構ナ
コトデアリマスガ、一體ハ商工省ノ報告
ノ五千萬噸ガ確實ナカ、或ハ一億萬噸
カ、之ヲ大キク言フ人ハ八億噸アルトサ
言ツテ居リマスガ、斯ウ云フコトニ付テ何
カ調査サレタコトガアルカドウカ、ソレカ
ラ砂鐵ニハ從來「チタン」ガアルカラ、製鐵
ハ甚ダ不完全ナル、假ニ「チタン」ヲ取ル
トガ出來テモ、生産費、即チ「コスト」ノ上
ニ於テ採算ガ成立タスト云フコトカラ、砂
鐵製法ガ額ミラレナカクツタノデアリマス、
會テ久慈デ商工省ガ相當大キナ金額ヲ助成
セラレテ松方サンガ八百萬圓デ砂鐵製鐵ヲ
サレタコトハ御承知ノ通りデアリマス、併
シモノハ出來タガ、採算ガ探レズ、長續キ
ヲシナイデ解散ノ悲運ヲ見タコトハ御承知
ノ通りデアリマス、先程手許ニ配付サレ
マシタ報告資料ノ中デ、日本製鐵ガ調査研
究セラレタ結果、從來「チタニウム」ヲ含
有スル砂鐵鑛ハ熔鑛爐ニ依リ製鐵ハ困難ト
セラレタガ、實際研究ノ結果出來ルヤウニ
ナツタト云フ御報告ヲ得マシテ、日本ノ鐵
鋼界ノ爲ニ甚ダ慶スベキコトデアルト存ジ
マスガ、是モ果シテ「トマス」研究ニ過ギナイ
ノカ、或ハ實際ノ事業價值トシテ「トマス」
デ將來ノ見透シガアルノカ、此ノ點ニ付テ
同ヒタイノデアリマスガ、今日砂鐵ヲ利用
シテ相當ナ額ガ抽出シテ居リマス、其ノ
中ニハ羊頭肉ヲ掲ゲタヤウナ會社モア
リ、又眞ニ世界ニ誇ルベキ會社モアリマス

○足立説明員 私カラ御答申上ゲマス、先
程私ノ御説明致シマシタコトハ言葉ガ足り
マセヌデ、鉄鋼一貫作業ダケデ改善シテ行
クト云フヤウニ響イタカト存ジマスガ、ヤ
ハリ是ハ「トマス」方法デアツテ、其ノ他ニ只
今御指摘ノ如キ電擊法ナリ「ルッペイ」ノ方法

技術ノ問題モ絡ミマスケレドモ、寧ロ經營
技術ノ方ノ問題デアリマシテ、純化學技術ノ
問題ダケヲ考ヘルベキコトデアリマセヌ、
大規模ニヤルトカ、或ハ深山ノ仕事ヤル
爲ニ「チタニウム」デ無理ナコトヲシテモヤ
レバヤツテ行ケルト云フコトモアル譯デ、
是ダケ専門ニヤツテ儲ルカ儲ラヌカト云フ
問題ニナルト、純技術ノ經營ノ問題ガ一精
ニナツテシマヒマスガ、多角ノ經營デモ
ヤレバ案外豫想以上ニ旨ク行クノデハナイ
カト云フコトモ想像セラレマスガ、現在ハ
今申上ゲタ通り適當リノ増産ガ急デアリマ
スカラ、是ハ實施シテ居リマセヌ

○卯尾田委員 只今各方面ノ砂鐵利用ノ社
名ヲ承リマシテ、從來捨テテ顧ミナカウタ
砂鐵ガ一年々幾ラツツデモ、斯ウ云フ時
ニ利用セラレテ日本ノ國策ノ上ニ反映セシ
メルコトハ非常ニ結構ナコトデアルト思ヒ
マス、併シ從來此ノ砂鐵製鐵ニ對シテ如何
ナル助長獎勵ヲサセテ居ルノカ承リタイ
デアリマスガ、是ハ砂鐵製鐵獎勵「トマス」
ルト考ヘマスガ、製鐵事業法ノ第十一條ニハ
御承知ノ通り、砂鐵又ハ前條ノ鐵鑛ヲ配合
シテ製鐵ヲ爲スモノハ免稅出來ルコトニナ
ツテ居リマス、即チ砂鐵ヲ利用シテ製鐵ヲ
拵ヘル事業ニ對シテハ免稅ヲ受ケラレルノ
デアリマスガ、今日一體鐵鑛ガ必要デアル
カ、鋼材鋼塊ガ必要デアルカ、鐵鑛ガ最終
デアルカ、鋼塊鋼材ガ最終デアルカハ、議
論ノ餘地ハアリマセヌ、鐵ト稱シマス、議
材デアリマス、即チ鐵鑛ヲ造ル者ニハ免稅
ノ特典ガアリ、鋼材、鋼塊ヲ造ル者ニハ免稅
ノ特典ガナイト云フコトデアリマス、特
殊ダ製鐵獎勵ニ遺憾ナ點ガアリマス、將來
斯ウ云フ點ニ付テハ、此ノ字句ヲ修正スル
カ、或ハ新タノ法律ニ依ツテデモ改訂シテ、

製鐵全體ニ對シテ思慮ヲ與ヘルコトコソ、
今日製鐵獎勵上必要ノ事項ト思ヒマスガ、
政府ハ之ニ對シテドウ御考ナサレカ
○逄谷政府委員 砂鐵ノ原料トスル鐵鑛ノ
製鐵ニ關スル獎勵法デアリマスガ、從來數
回砂鐵ヲ利用シテ製鐵ヲ造ルコトニ補助金ヲ
出シタコトガゴザイマス、現在ニ於キマシ
テハ研究費トシテ東北興業ニ——是ハ豫算
トシテモ計上シテアル答デアリマスガ、補
助金ヲ出シマシテ、東北帝大ヲシテ研究サ
レテ居ル狀況デアリマス、ソレ以外ニハ現
在特別ノ補助金ト云フモノハアリマセヌ
ガ、製鐵事業法ニ依リ保護ハ結局免稅デア
リマス、免稅ニ付テハ只今御話ノアリマシ
「トマス」製鐵事業法ノ第十一條ニハ成程
「砂鐵又ハ前條ノ鐵鑛ヲ配合シテ製鐵ヲ爲ス
製鐵事業」ト云フコトニナツテ居リマシテ、
一見砂鐵ヲ以テ直接製鐵ヲスル者ニハ及バ
ナイヤウナコトニナツテ居リマスガ、砂鐵
ヲ以テ直接製鐵スルト云フヤウナ場合ハ、
寧ロ第十條ノ規定デ、「特殊ノ設備ヲ新設又
ハ増設ト云フ特殊ノ設備ニ依ツテ造ラレル
モノトノ解釋ヲシテ居リマス、併シナガラ
云フヤウナコトニ付キマシテ豫測ノ出來ナ
イ新シイ發明ガ出來タ、ソレガ非常ニ結構
ダト云フコトニナルナラバ、法ノ缺陷ヲ急
イデ補填スル爲ニ改正ヲスルコトハ勿論
デアリマス、吾々モソレニ付キマシテハ、
此ノ法律ハ非常ニ新シイノデアリマシケレ
ドモ、近頃ノヤウニ「チタン」ノ早イ時代ニ
ハ、絶エズ之ノ改正ヲ考究シナケレバナラ
ヌノデ、常ニソレニ付テハ怠ラナイ積リデ
居ルノデゴザイマス

ガ、ソレ等ノ會社ノ名前ヲ聽キタイトハ申
シマセヌガ、砂鐵利用會社ノ實績等ニ付テ
同ヒタイノデアリマス

○小金政府委員 砂鐵ノ埋藏量ハ日本全國
ニ跨ツテ居リマシテ、其ノ埋藏量ヲ調査ス
ルコトハ容易ナコトデアリマセヌ、從來
一箇所ニ一億噸トカ何トカ云フ砂鐵ガ埋藏
サレテ居ルト言ハレタ場所モアリマシ、
又言ハレタ時期モアリマス、併シ今日デハ
必ズシモサウ澤山アルト云フ結論ハ出テ居
ナイト承知シテ居リマスガ、殆ド全國ニ砂
鐵ガ沖積鑛床ヲ成シテ居ルト云フコトハ甚
ダ頼母シイコトデアルト存ジマス、此ノ砂
鐵ヲ利用ニ付テハ、數年或ハ十數年來隨分
研究モシ、又政府モ助成金其ノ他ノ方法ニ
依ツテ砂鐵ヲ利用ニ努力シテ居ルヤウデア
リマス、「チタニウム」ヲ抽出スルトカ、或
ハ「バナチウム」ヲ抽出スルトカ、或ハ「バ
ナチウム」其ノ他ノモノヲ含メタ特殊鋼ヲ
直接作ルト云フヤウナコトヲ考ヘテ、ソレ
ゾレ企業化シテ居ル部分モアルヤウデアリ
マス、高周波ニ依リ砂鐵ヲ利用ナドハ其ノ
最モ尤ナルモノト思ヒマスガ、砂鐵利用ノ
製鐵事業ニ付キマシテハ鐵鋼局カラ御説明
願ヒタイト思ヒマス

○逄谷政府委員 只今御話ノアリマシタ日
本製鐵ノ熔鑛爐ニ依リ「チタニウム」含有砂
鐵鑛ノ製鐵ノ研究デアリマスガ、是ハ實ハ
技術的ニハ既ニ成功シテ居リマス、唯現在
ハ鐵ノ生産ガ一應デモ多イコトヲ希望シテ
居ル際デアリマシテ、之ヲ直グニ實施スル
ト一般ノ能率ヲ落ス虞ガアルノデ、速ニ直
グ之ヲヤルコトヲ今差控ヘテ居ルヤウナ狀
況デアリマス、併シ技術的ニ成功シテ居リマ
スカラ、是デ經濟的ニドウカト云フコトハ、

第六類第六號 鑛業法中改正法律案外一件委員會議錄 第七回 昭和十五年三月五日

云フ御意見アリマシテ、ソレハ尙ホ十條
デモサウ云フ解釋ハ出來ルコトモアリマス
ガ、ヤハリ是ハ明瞭ニ法文ニ現ハスコトガ
原則ダト考ヘマスカラ、適當ナ時ニ改正ヲ
御願シタイと思ヒマス

最後ニ、砂鐵鑛區ハ全國ニ相當散在シテ
居リマス、併シ先程資料ヲ載キマシタガ、
五十箇所ノ中僅ニ四箇所シカ採掘シテ居リ
マセヌ、是ハ今日ノ時局カラ見テ甚ダ遺憾ナ
コトト思ヒマス、是ハ從來餘リニ願ミラレ
ナカツタ關係モアリマスケレドモ、要スル
ニ政府ニ於テ之ヲ督勵セラレナカツタ關係
モ禍ヒシテ居ルと思ヒマス、今後斯ウ云フ
砂鐵利用ニ依ツテ受ケル效用ヲ考ヘマシテ、
十分砂鐵區ノ利用ヲ獎勵シテ載キタイト
考ヘマス

ソレカラ砂鐵製鐵事業ハ一面相當ナ生産
費ガ過重サレレノデアリマス、斯ウ云フ製
法ニ依ツテナルコトハ、今日ノヤウナ立場
デアラナラバ、或ハ換算ガ取レルカモ知レ
マセヌガ、情勢ガ變ツテ、斯ウ云フ方面ノ
事業ニ一大蹉跌ガ起ル場合モアリマスカラ、
今カラ斯ウ云フ方面ニ對シテ政府ハ監督指
導シ、一面ニ於テハ獎勵助長シ其ノ事業ヲ
發展セシムルト同時ニ、他面ニ於テハ是等
對シテ相當計畫的ニ擴充シ國家危急ヲ救フ
コトヲ考ヘナケレバナラナイと思ヒマス、
サウ云フ點ト相俟ツテ萬遺憾ノナイヤウニ
シテ載キタイと思ヒマス、以上私ノ質問ヲ
終リマス

○塩谷政府委員 只今ノ御意見尙御尤モ
デアリマス、幸ヒ砂鐵カラ出來マス所ノ鐵
ハ特殊鋼ノ原料ニハ非常ニ適シテ居ルモノ
デアリマス、特殊鋼ハ御承知ノ通り現在ノ
國際關係ノゴトノシタ中ニ於テハ、軍備

其ノ他ノ關係係非常ニ重要ナモノデアリマ
スカラ、其ノ原料ニモ過ハスト云フヤウナ
コトニ依ツテ砂鐵業ノ安定ヲ圖ルコトハ出
來ルダラウ、萬ガ一ニモ砂鐵業ニ蹉跌ガ起
ルト云フヤウナコトハナイデアラウト考ヘ
テ居リマス

○櫻井委員 今度ハ川崎君デアリマスガ、
今東條君ガ北海道長官ニ留保サレテ居ル點
ガアリマスカラ、北海道長官ガ間モナク見
エルト思ヒマスガ、見エタ時ニハ川崎君ノ
途中デ御譲リテ願ヒタイと思ヒマス、川
崎君ニ之ヲ譲ル

○川崎委員 私ガ大分最後ニ近イ番ニ廻リ
マシタコト、今マデ先聲同僚諸君カラ専門
的ノ知識ヲ以テ有ル角度カラ御質問ガア
リ、御丁寧ニ御答辯ガアツタコトデ大分色々
ナ點ガ明ニナツテ居リマス、私ハ稍變
ツタ角度カラ三四ノ御尋ヲ簡單明瞭ニ致シ
タイト思フノデゴザイマス

ソコデ鑛業法ノ改正法ガ出來タノデゴザ
イマスガ、此ノ前ニ只今ノ小金局長ガ主任
ニナツテ、重要鑛產物ノ法案ヲ此ノ議會ヘ
當局カラ御出シニナツテ通過致シタ譯デゴ
ザイマスガ、是ガ實行セラレルノハ昨年
頃カラト思ヒマス、サウスルト戰爭ノ
役ニ立セル爲メ重要鑛產物法ノ實施ガ昨年
デスカラ、效能ハ是カラ後ニ漸ク現ハレテ
來ルノデアリマス、戰爭ガ二年モ三年モ經
ツテカラ、少シツツ效キ目ガ出テ來ルト云
フノデ、是コソ泥捲ヲ見テ繩ヲ縛フト云フ
類デアラウト思ヒマスケレドモ、其ノ繩ダ
ケデハ足ラナイデ、鑛業法ノ他ノ部分ヲ改
正シ、砂鐵法ノ他ノ部分ヲ改正スルト云
フ案ヲ御出シニナツタ當局ノ御熱心ハ深
ク敬意ヲ表シマスケレドモ、是ハ泥捲ノ繩

干足シテ、大層手廻レシテ居ルコトヲ遺憾
ト致シマス、併シ是ハ鑛山局ノ當局各位バ
カリデハナク、總テノ方面手廻レシタ、
例ヘバ獨逸デアリマスケレバ、今度戰爭ヲ始
メル共ノ何箇月前カラ既ニ切符制度ヲ平
和ノ時ニ實行シ始メテ、オヤウト思ツテ居
ルト戰爭ガ始ツタ、斯ウ云フ風ニ手取早ク
準備シテ居リマシタガ、日本ハ商品ノ配
給バカリデハナク、獨リ農林省ノ仕事バカ
リデハナク、商工省ノ仕事デモ後述シ
ニナツテ居ルノデアリマス、ソコデ此ノ法
案モ後述シニナツタモノノ一ツデゴザイマ
スガ、此ノ際ニ御伺シタイノハ、此ノ改正
法案ニ依リマシテ、二年ツツ試掘權ヲ切替
ヘテ、別ニ本氣ニヤル積リモノナシ、又ヤル
資力モノイ者ガ何年モ積リシテ、天物カ暴珍
シテ居ルト云フコトノ弊ヲ絶ツコトハ出來
ルデゴザイマセウカラ、幾ラカノ改善ニ
ナツテ結構ダラウト思フ、砂鐵ノ方モサウ
ダラウト思ヒマス、果シテ是デ所期ノ増産
ノ目的ヲ達シ得ルカドウカ、此ノ方法ガ宜
イカドウカハ別ノ問題トシテ、此ノ思ヒ立
ハ大層結構ダト思ヒマシテ、私共贊成ヲ致
シ敬意ヲ表シマス、併シナガラ是ハ如何
ニモ型ノ小サイ話デ、恰度東海道線ノ汽
車ヲ、今マデ石炭電動カシテ居タノヲ大
船ノ少シ先マデ電化シタト云フ程度ノモ
ノデアル、ソレモ前ヨリモ増シデアリマ
スケレドモ時勢ノ要求ニハマダ合ハヌ、時
勢ノ要求ハ何カト云フト、東京カラ馬
關マデ九時間間デ走ルヤウナ廣軌鐵道デナク
テハナラヌト云フコトデ、鐵道省ハ既ニソ
レニ着手シテ居ルノデアリマス、鐵道省ノ
ソレニ比スルト云フト、此ノ商工省ノ鑛業
法ハ其ダ手緩イ、大船マデ電化スルト云フ

今當局ハ餘リ斷乎トシタ方針ヲ御示ニナラ
ヌモノダカラ、ブツ潰レサウナ鐵道ガ、今
マデ保護ヲ受ケテ居ルノニ、今此ノ際、レ
ルノ外シテ賣ツタリシテハキマリガ惡イ
ト云フノデ、損ヲシナガラ銷配當ヲ繼續シ
テ居ルト云フヤウナコトデアル、其ノ實例
ヲ示セト云フナラバ、私ハ澤山示シ得ルモ
ノガアルノデアリマス、左様ナ私設鐵道マ
デ無理ニ世話ヲシテ、サウシテ無用ナ所ニ
鐵ヲ遊バシテ、赤ク錆ビサセテ置キ必要ハ
ナイデハナイカ、是ハ製鐵界ノ相當ノ權威
者カラモ度々懇カサレテ居ル所デアリマス
ガ、今マデ斯様ナ評議ガアツタカドウカ、
ナケレバ此ノ際其ノ邊マデ御研究ニナルカ
ドウカ御答ヲ願ヒタイ、是ハ鐵道省ノ方ハ
御意見モ伺ヒタイ

○櫻井委員 此ノ際委員並ニ政府委員各
位ニ御願致シテ置キマスガ、大體理事ノ間
ノ豫定デハ、本日ヲ以テ質疑ヲ終了致シタ
イト存ジテ居リマス、隨テ質疑應答ハ、共
ニ其ノ要ヲ得ラレンコトヲ御願致シタイト
思ヒマス

○小金政府委員 此ノ鑛山開發ノ基本法デ
アリマス鑛業法及ビ砂鐵法ヲ改正致スニ付
キマシテ、鑛山資源、即チ地下資源ノ開發
ヲ促進シナケレバナラヌト云フ立場カラ出
發シテ居ルト云フ點ニ付テハ勿論デアリマ
スガ、其ノ地下資源デアル所ノ金屬、其ノ
金屬ノ回收アリマスガ、是ハ物質資源計畫
ノ御質問デアリマスガ、是ハ物質資源計畫
ニ於テ企業院ノ方面ニ於テ此ノ事ニ付テモ
十分考ヘテ居リマス、尙ホ其ノ具體的ノ問
題ニ付キマシテハ、他ノ方面カラ御答ガア
ル筈デアリマス

○宮澤政府委員 川崎君カラ色々御質問ガ
願ヒタイと思ヒマス

○川崎委員 第一今度ノ改正案ニ於キマ
シテハ、陸海軍ガ大層難量ヲ示シテ、從來
要塞地帯デハ第一區ハ三百間、ソレカラ第
二區、第三區ト分レテ居リマスガ、其ノ内
ニ鑛石ガアレバ今度ハ開放スルト云フ決心マ
デ現ハレ、ソレガ十分ニ出テ居ルヤウデア
リマス、ソレハ鑛業法第十條ニアルモノヲ
今度ハソコマデ開放スルトコトニナツタ、其ノ
次ノ第十一條ニハ鐵道其ノ他ノコトヲ規定
シテ居ルガ、鐵道ハ鐵道線路ノ三十間ノ外
マデシカ掘ラセナイト規定シテゴザイマス、
此ノ三十間ヲモウ少シ軍ノ奮發ニ共鳴シテ、
ナリニスル意思ハナイカ、ソレハ勿論地盤
ノ如何ニモ依リマセウガ、其ノ位ニシテ宜
イチヤナイカト思フノデアリマス、國有鐵
道建設規定、ソレハ昭和四年七月ノ省令デ
ゴザイマスガ、ソレノ第二十一條ニハ「停
車場外ニ於テハ軌道ノ中心間隔ハ三米六以
上」云々トゴザイマス、中心カラ三米六以
上ノ約七米バカリノ幅ガアレバ停車場外
デアリマス、私共マルキリ素人デゴザイマ
スガ、サウ云フヤウニ見エマス、ソレデス
カラ鐵道ノ土手ノ所デハ三十間ヨリモウ少
シ喰込ンデモ宜ササウニ思フ、此ノ規定ハ
古イ時代ノ話デアリマス、殊ニ下ガ岩石カ
何カ地盤ガ堅イ場合ハ恐ラク心配ハナ
イト思ヒマス、ソレカラ鑛物ニモ依リマセ
ウガ、砂鐵ナレバ三十間以内ヲ切込メバソ
コノ鐵道ヲ切崩シマセウ、又炭坑デモ困
ルデセウ、殘ラズ石炭ヲ掘ツタラボコト土
地方落チル、御承知ノ通り鑛ノ如キハ鑛
脈ガ通ツタ所サハ掘レバ宜イノデス、既ニ
掘リ始マツタ鑛山ノ上ナドハ鐵道ヲ敷イテ

第六類第六號 鑛業法中改正法律案外一件委員會議錄 第七回 昭和十五年三月五日

居ル實例ヲ私ハ知ツテ居ルガ、後カラ鐵道ヲ敷イテ早速此ノ三十間ノ規定ヲ利用シテ、三十間以内ニ入ツテ來テハイカスト云フヤウニヤリマシテ、三十間以内ニアツタ坑ノ孔ナドヲ埋メテシマツタヤウナコトモアリマス、是ハ今ト時勢ノ違フ十數年前ノコトデゴザイマスガ、今日ハ鐵道金ヲアツテ大騒ギヲシテヤツテ居ル時デゴザイマスカラ、其ノ意味デ三十間以内ト云フ一ノ條ノ規定ヲ、地盤ノ關係、鑛物ノ關係ニ依リマシテ、モウ少シ緩和シ、掘リ進マセルトコトヲ得ルコトニナサル御意思アリヤ否ヤ、是モ鐵道省ト鑛山局トノ兩方ノ關係ニナリマスガ、御同致シタクゴザイマス

○小金政府委員 鑛業法第十一條ニ規定ニ依リマシテ、鐵道、軌道ノ周圍三十間以内ノ場所ニ於テハ鑛業ヲ一應休止致シテ居リマスルガ、是ハ全ク安全保持ノ爲デアリマス、此ノ三十間ト云フ標準ヲ決メマシタノハ、一應我國ノ地盤ノ平均シテ所ヲ抑ヘテ、三十間ト定メタモノト心得マス、隨ヒマシテ其ノ鑛物或ハ岩盤ノ狀態ニ依リマシテ、必ズシテ三十間ヲ必要トシナイ場合モアルコトト存シマス、其ノ場合ニ於キマシテハ所轄官廳ノ許可、所有者及ビ關係人ノ承諾ヲ受ケレバ、鑛業權者ハ鑛業ヲ爲スコトガ出來ル、其ノ場合ニ於テ所有者及ビ關係人ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ承諾ヲ拒ムコトヲ得ナイトナツテ居リマスカラ、川崎君ノ只今ノ御質問ノ中ニアリマシタ具體的ノ場合ニ付テハ、解決ガ付クコトト存シマス

○宮澤政府委員 商工當局ノ答辯ヲ以テコトヲ答辯ト致シマス

○櫻井委員 川崎君、一寸今御願シテ置イタ北海道長官ニ對スル質問ガアリマスカ

○東條委員 石炭ノ増産其ノ他鑛物ノ増産ガ急用デアリコトハ申スマデモナイ、殊ニ石炭ニ付キマシテハ、最近政府ハ増産計畫ヲ御提出ニナル狀態ニナツテ居リマス、所ガ石炭ト云フコトニナリマスルト、内地デハ九州及ビ北海道ガ非常ニ重要ナ關係ヲ持ツテ居ルデアリマス、ソコデ此ノ増産ニ最モ必要デアリマスモノハ、申スマデモナク資料ト努力デアリマス、所ガ其ノ資料ニ付キマシテモ、中々必要量ガ得ラレナイデ困ツテ居ルデアリマス、其ノ中デモ一番ニ困リマスノ坑木デアリマス、前年ノ例ヲ見マス、北海道ハ所謂森林國デ、相當ニ木ガ豐富ナ管デアリマスケレドモ、約十五萬石ノ内地カラ北海道ニ移入ヲ致シテ居ルヤウナ狀態デアリマス、政府ノ増産計畫ニ從ヒマシテ、十五年ニ於ケル坑木ノ需要全體ヲ見マスルト、二百十萬石位ノ必要ガアルト云フコトデアリマス、今日デハ民有林モ以前ト違ヒマシテ、非常ニ蓄積ガ不足ニナツテ居リマス、更ニ國策「バルブ」ノ關係ナドデ、民有林ハ此ノ方面ニモ相當豫定サレテ居リマスノデ、中々坑木ガ得ラレナイデ困ツテ居ルヤウナ狀態デアリマス、ソコデ國有林、ソレカラ地方有林或ハ御料林、斯ウ云フ方面カラ坑木ニ向ケラレマスモノヲ十四年ト同一ト見テ、民有林及ビ内地カラ移入致シマスモノノ大體豫定ヲ取ツテ見マシテ、尙ホ約五十萬石近ク不足ヲ見マシヤウナ計算ニナルヤウデアリマス、坑木ガゴザイマセスケレバ、増産トコロカ現在ノ産額ヲ維持スルコトモ出來ナイデアリマス、是ハドウシテモ北海道ノ國有林、地方有林、御料林ト云フヤウナ方面カラ供給

ヲ願ハナケレバナラヌコトニナルデアリマスルガ、北海道ノ林ニ對シマシテハ、研伐計畫ガ立テラレテ居リマシテ、此ノ豫定ニ依ツテ進メテ行カケレバナラヌト云フ大體ノ原則ハ勿論私共能ク承知ヲ致シテ居ル、斯様ノ非常ニ都合デアツテ、而モ石炭ガ有ユル産業ノ基礎デアリマスルコトハ申スマデモナク、所謂非常時ニ對スル非常ノ計畫ガナケレバナラヌデアリマス、國有林ガアルノダカラ、何デモ構ハナイ、之ヲ當ニスルト云フ意味デハナイ、有ユル手段ヲ盡シテ出來ルダケハ民有林カラ之ヲ得ルコトト云フコトハ、勿論ノ話デアリマスガ、ドウシテモ得ラレナイ場合ニ於キマシテハ、増産ヲ豫定ノ通り進メル上カラ行ケバ、勢ヒ今申シタ國有林、地方有林、御料林、此ノ三ツニ依存スル外ハナイト云フコトニナル、御料林ノコトハ別デアリマスルガ、國有林及ビ地方有林ニ付キマシテ、此ノ點ニ付テ長官ノ御考ハ如何デアリマセウカ、ソレヲ此ノ機會ニ伺ツテ置キタイ

○戸塚政府委員 只今ノ坑木ノ御話デゴザイマスルガ、御話ノ中ニアリマシタ内地カラ不足分ヲ入レルト云フコトハ、一寸私今ハツキリ致シテ居リマセウガ、他カラモ多少入レテ居リマセウガ、十三年度ノ實積デ百二十四萬石デアリマシタノガ、十四年度ニハ百五十二萬石ヲ出シテ居リマス、ソレカラ漸増シテ十六年度ニハ二百萬石出ス大體ノ見込ヲ付ケテ今ヤツテ居ルデアリマス、其ノ種類ハ民有林ノ方が多イカモ知レマセウガ、ヤハリ一部ハ國有林其ノ他御料林等カラモ出シテ居ルデアリマス、尙ホ需要ノ増加ニ付キマシテ、將來ノ計畫ヲ立テル意味カラ道廳ト致シマシテモ、今後國有林

或ハ地方有林尙ホ延テハ民有林ニマデモ山林經營ヲ改善シテ將來ノ増産ニ資スルヤウニ目下調査ヲ致シマシテ努力ヲ積リデゴザイマス、又御承知ノ北海道鑛山林業株式會社ガ昨年六月設立ニナリマシテ、此ノ方デ約五萬歩ノ坑木用備林造成ノ計畫ヲ致シテ、或ハ御承知カモ知レマセウガ、ソレノ方法デ參リタイト考ヘテ居リマス、尙ホ只今御話ニアリマシタ非常時ニ際シテ云フ意味カラハ、或ハ或ル場合ニハ或ハ程度山林經營ノ上カラ無理ヲ致シマシテモ已ムヲ得ナイト云フ考モ持ツテ居ルデアリマスガ、是ハ自ラ限度ガアリマス、此ノ點ニ付テハ、實際ニ打突カツテカラデナケレバ、明確ニ御答申上ゲルコトハ出來ナイト思ヒマス

○東條委員 サウ致シマス、有ユル手段ヲ盡シテドウシテモ足ラナイト云フ時ニハ、ソレヲ充スコトニ付テノ御考ガアルト云フヤウナ御趣旨デアリマスルカラ、ソレデ大體豫定サレテ居リマシマス、詰リ十分民有林等ニ於テ之ヲ供給シテ戴ケルト云フ風ニ諒承シテ宜シト存ジマスルカラ、此ノ問題ハ此ノ程度ニ止ママス

ソレカラ第二ニ、北海道ハ御承知ノ通り冬季ニ於キマシテハ、家庭用石炭ハ、或ル意味カラ申セバ米以上ニ大切ナデアリマス、此ノ家庭用石炭ニ或ル規定ヲ加ヘラレルト云フノデ、昨年ノ秋非常ニ道民ガ脅威ヲ感ジテ居ツタデアリマス、丁度長官ハ御赴任初メデアリマシタケレドモ、此ノ問題ハ道民ノ生活安定ノ上カラ非常ニ重大ナル事柄デアリト云フノデ、非常ニ御努力ニ

ナリマシテ、必要量ダケノ供給ガ受ケラレルヤウニナリマシタノデ、道民ハ非常ニ感謝シテ居ルデアリマス、而モ其ノ價格ハ公定價格ヨリモ安ク、私ノ承知シテ居リマス所デハ、物ニ依ツテハ適當リ一圓二十錢乃至一圓七八十錢安ク供給サレテ居ルト云フコトハ、長官及ビ北海道廳ノ御努力ニ依リデアリマシテ、是モ道民ハ非常ニ感謝シテ居リマス、所ガ最近家庭用石炭ノ廻リガ非常ニ惡クナリマシテ、モウ「スト」ノ必要ナ期間モアト精々一箇月位ト云フ時期ニナリマシテ、非常ニ缺乏致シテ居ル地方ガアルデアリマス、併シテアト一箇月トハ言ヒナガラ、零下十何度ト云フ日ガ相當ニアルデアリマスカラ、石炭ナシデハ生活ガ出來ナイデアリマス、此ノ廻リマセス原因ヲ考ヘマス、ヤハリ價格ガ公定價格以下ニ安ク協定サレテアルコトガ原因ノヤウデアリマス、昭和系ノ炭業者ノ如キハ、何レモ大會社デアリ、北海道ニ長年ノ馴染ヲ持ツテ居リマスノデ、僅カナ所デ約東ノモノヲ出サスコトモ出來スト云フヤウナコトデ、ドウカ斯ウカ出シテ居ルラシイ、「アウトサイダー」ノ方面ニナリマス、隨分間デ公定價格以上ニ出セマスル炭ヲ、公定價格ヨリモ以下ニ供給スルコトハ出來ナイト云フヤウナ譯デ、非常ニ家庭用炭ノ供給ガ惡クナツテ居リマス、併シテアト僅ニナツタ場合ニ於テ價格ヲ上ゲルト云フコトモ、安イ管デ供給サレテ居ルモノヲ、中間ノ小賣業者ガ不當利ヲ得ルコトヲ云フヤウナ虞モアリマスノデ、價格ヲ上ゲルコトハ餘程考ヘネバナラヌ事トモ考ヘマスガ、兎モ角モ需要者カラ言ヘバ、値段ニ拘ラス無クテハ困ルデアリマス、昨年以來

ノ御努力序ニ此ノ問題ヲ何トカ御解決ガ願ヒマセスト、僅カナ期間デアリマスケレドモ、道民ノ多數ハ非常ニ脅威ヲ感ジテ居リマス、此ノ點ニ付キマシテ御方針ヲ承ルコトガ出來マスナラバ承リタイト思ヒマス

○戸塚政府委員 家庭用石炭ニ付テ御答ヲ致シマス、其ノ前ニ先程非常時ニ處スル意味相當ニ考ヘテハ居ルト申上ゲマタガ、是ハ自ラ限度ガアルト云フコトダケハ御承知ヲ戴キタイト思ヒマス、家庭用石炭ノ問題デアリマスガ、私ノ所ヘモ所ニ依ツテ配給ガ困難ニナツタ所ガアルト云フヤウナ報告ハ參ツテ居リマス、併シ大體三月マデニ配給減リニナツテ居リマス約東ノ分ガ十方噸、是ハ昭和系モ、「アウトサイダー」ノ方モ何レモ出シテ呉レルコトニ話ハ進メテゴザイマス、大體間ハ合フデアラウ、無論申上ゲルマデモナク、昨年以來道民ハ可ナリ節約ヲ致シテ居ル、ソレト相俟ツテ辛ウジテ此ノ冬ノ越スト云フ程度デアリマスケレドモ、先ツ行キ得ルデハナイイカト云フ風ニ考ヘテ居ルデアリマス、恐ラク今一箇月、或ハ一箇月餘リノ間ト思ヒマス、大體配給ガ出來ル見込デアリマス、是ハ私餘リ意見ガマシイコトハ此處デ申シタクナイデアリマスガ、昨年ノ四月ト思ヒマスガ、大體本年度ノ家庭用炭ノ値ヲ決メル時分ニ、斯様ノ約東ガ出來テ居ツタデアリマス、一ツニハ今御話ニモアリマシタヤウニ、北海道長官コトト仕事ヲシテ居ルト云フノデ、北海道民ニ對スル「サービス」ノ意味デ、業者側ノ誠意ヲ示シタリマスガ、倍テ實際問題ニナルト、今御話

ニアリマシタヤウニ、安イ方ニハ出シ盡ルコトト云フコトハアリ勝テチナコトト思マス、此ノ問題ハ今私モ十分研究致シテ居リマス、將來ニ付テドウ云フ風ニスルノガ宜イカト云フコトニ付テハ研究致シテ居リマシマスガ、今此處デ將來ドウスルト云フコトハ申上ゲ難ナマス、果シテ斯様ニ決マ方アルカ、惡カツタノデアアルカ、將來此ノ方針デ行クノガ宜イカモ思ヒマスノデ、今餘程ムツカシイ問題ダト思ヒマスノデ、今少シ研究シタイト思ヒマス、無論ソレガ爲ニアノ地方デ此ノ冬分ニ石炭ガナクテ困ルト云フコトニナツテハ大變デアリマスノデ、其ノ點ニ付テハ十分注意ヲ致シテ參ル積リデアリマス

○櫻井委員 東條君、マダ大分アリマシカ

○東條委員 モウ濟ミマシタガ、先程委員長ノ御話デハ、本日デ質問ヲ打切ル豫定ニナツテ居ルサウデアリマスカラ、最後ニ極ク簡單ニ一言ダケ鑛産局長ニ御同シタイ、先日ノ質問及ビ各委員諸君ノ御質問ニ對スル御答辯ヲ承ツテ居リマスルト、試掘權ノ問題ハ結局四年經テ取消スノガ、斯ウ言ツテハ諸君ガアルカモ知レマセウガ、威カサナケレバ著業スベキモノモ著業シナイ、ソコデ愚圖キキシテ居レバ權利ハナクナルノダト云フコトニシナケレバイカヌノダト云フヤウニ御考ヘニナリマシタノガ、御提案ノ眞ノ御趣旨ヤウニ思ハレルノデアリマスガ、此ノ點サツクバランノ所ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○小金政府委員 此ノ鑛業法中改正法律案ノ中デ、試掘權制度ニ關スルモノノ趣旨ハ、

本會議及ビ委員會デ御説明ニナリマシタ通りデ、唯私共鑛業行政ヲ擔當シテ居ル者トシテ置キマシテハ、二年先、三年先ノ目途ガ立タナイ、如何ニシテ積リシテモ、人ヲ入レテモ兎ニ角試掘權者ニ一應ノ試掘ヲシ貫ハナケレバ、最早大變ナコトガ起ルト覺悟シナケレバナラヌ、斯ウ云フコトガ確ニ此ノ法案提出ノ動機ノ有力ナモノデアルト云フコトヲ申上ゲマス

○川俣委員 一寸御願シテ……

○櫻井委員 其ノ前ニ先程鑛産資料ノ問題ガ出、又卯尾田君カラ發電設備ノ問題モ出マシタガ、其ノ問題ノ内容ニハ資料ガ含まレテ居リマス、ドウモ選鑛設備ヲスルモノニモ資料、其ノ中デモ「セメント」ガナクテ困ル、其ノ爲ニ全然選鑛設備モ出來ナイト云フヤウナ例モ大分聽クデアリマスカラ、此ノ資料ノ問題ノ出タ機會ニ「セメント」ニ關スル關係ガ現在ハドウナツテ居ルカ、將來ノ見込シハドウナツテ居ルカ、尙工當局カラ茲ニ明ニサレタイノデアリマス、最近東京附近ノ鐵道工事ノ實際ヲ見テモ、新ニ線路ヲ一本積ナス爲ニ、「ガイ」ノ工事ヤツテ居ツタガ、ソレガ途中デ中止サレテ居ル、其ノ原因ハ何カト聽イテ見ルト、「セメント」ガ足ラナイカラデアリ、鐵道ニ於テ然リトスレバ、鑛山ナドハ幾多ノ數ニ互ツテ居ルカラ、尙更其ノ供給ガ惡イノデアリイカト思ヒマス、「セメント」ニ關スル現在ノ需給並ニ將來ニ對スル事ニ付テ一應ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○永田政府委員 只今「セメント」ノ需給狀況ニ付テ話ヲシト云フコトデアリマスカ

ラ、簡單ニ申上ゲマス、御承知ノヤウニ、セメントハ設備ガ是マデ餘ツテ居リマシテ、此ノ夏頃マデハ六割採掘ト云フヤウナコトデ、需要ヲ充テ居ルコトデアリマス、所ガ昨年ノ十月カラ例ノ石炭ノ配給制限ガ行ハレマシテ、セメントノ原料トシテノ石炭ニ付テモ制限ガ加ヘラレマシタガ爲ニ、從來ノ六割制限ヲ六割八分制限マデ強化シナケレバナラヌト云フ状態ニナリマシタ、所ガソレニ反シテ需要ノ方ハ、最近ノ軍需並ニ生産力擴充其ノ他交通或ハ災害復舊等ノ必要カラ急激ニ増加致シマシテ、昨年ノ下半年ダケノ状態ヲ取リマシレバ、恐ラク需要量ニ對シテ供給ハ五割位シカ出來ナカッタノデハナイカト想像スルノデアリマス、尤モ昨年一箇年ヲ通ジマシテハ、大體八割見當ノ供給ハ出來テ居リマシタ、大體八割ソレハ初メノ内ガ一〇〇%ニ供給サレテ居ッタガ爲ニ、サウ云フ風ナ數字ニナツタ譯デアリマシテ、實際問題トシテハ、半分位シカ供給ガナカッタト云フ状態ダト思ヒマス、殊ニ御承知ノヤウニ「セメント」ノ會社ハ、九州カラ中國方面ニ多ク、東北、北海道ノ方ニ少イモノデアリマスカラ、東北カラ北海道ニ掛ケテハ、特ニ「セメント」ノ不足ガ痛切デアツタト思フノデゴザイマス、此ノ點ニ關シマシテ、政府ト致シマシテハ、極力其ノ原料ノ石炭ヲ増スコトヲ努力致シマシテ、昨年ノ十月カラ今年ノ三月マデノ半期分ニ付キマシテモ、最初ノ割當ヨリモ相當量ノ増加ヲ致シマシタ、併シソレデモ到底需要ヲ充テスニハ足りナイノデアリマス、ノデ、此ノ四月以降ノ半期分ニ付テハ、相當大幅ノ増加ヲ致スベク、目下燃料局ト交渉ヲ致シテ居ル次第デアリマス、是ハマダ

最後ノ結論ニハ五ツテ居リマセヌケレドモ、私共トシテハ相當量ノ増加ヲ見込ミ得ルト信ジテ居ル次第デアリマス、斯ノ如クシテ生産ノ確保ヲ致シマスル一面ニ於キマシテ、配給ノ適正ヲ期スルナケレバナラナイト考ヘマシテ、ヤハリ石炭ノ制限カラ「セメント」ノ供給不足ガ感ゼラレマシタ當時ニ依リ共販會社ヲ作ラセマシテ、之ニ依ツテ一元的ニ配給ヲシテ行クト云フ方針ヲ執リマシテ、共販會社モ先月出來マシタノデ、此ノ三月二日ニ「セメント」配給制限規則ヲ公布致シマシテ、將來ハ此ノ規則ニ基キマシテ、必要ナ方面ニ「セメント」ヲ流シテ行クコトガ出來ルヤウニナツタ次第デアリマス、隨テ鑛山方面ノ如ク生産力擴充ノ重要ナ方面ニ對シマシテハ、優先的ニ配給ガ出來ルコトニナリマスノデ、將來ハ「セメント」ノ不足ト云フコトヲ、此ノ數箇月ノ如ク痛切ニ感ズルコトハナクナルモノト確信致シテ居リマス

○櫻井委員長 川崎君、モウ一ツ關聯質問ヲ御覽願ヒマス——川俣君

○川俣委員 時間ガナイカラ簡單ニ坑木ノ問題ニ付テ伺ヒタイ、北海道ハ前々長官ノ石黒君ノ時代ニ各鑛業ノ方ハ坑木ヲ廻スヤウニ致シタガ爲ニ、原本ノナイ内地方ヨリ、寧ろ坑木ノ點ニ付テハ逼迫シテ居ルヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、私共現地ニ參リマシテ、鑛業界及ビ石炭業界見マシテモ、是ハ鑛業規格ノ上カラ言ツテモ甚ダ危険ナ状態ニアル程ニ實ニ低下ラシテ居ル、鑛山界ニ於ケル坑木ノ質ノ低下ト云フコトハ、災害ニ非常ニ大キナ影響ヲ來シハシナイカ、北海道ノ保安、治安ノ上カラ言ツテ、

相當考慮シナケレバナラヌ事態デハナカラウカ、勿論坑木ノ値段ノ昂騰カラ業者ノ誠意ノ足ラザル點モアルカモ知レマセヌケレドモ、配給ノ不圓滑ガ實ニ低下ラシテ、延イテ是ガ治安及ビ保安ノ上ニ影響ヲ來シマシタナラバ、北海道ノ地下埋藏物ノ開發ノ上ニ非常ニ大キナ影響ヲ來スノデハナイカ、産業ノ上ニ、又治安ノ上ニ影響ヲ來スコトヲ慎レルノデアリマシテ、此ノ點ニ付テハ應テ御慮願ヒタイト考ヘマスガ、之ニ付テ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○戸塚政府委員 私モ専門家デナイカラ木ノ種類ガドウト云フコトハハツキリ分リマセヌガ、御話ノ點ハ十分注意ヲ致シマシテ、左様ナ心配ノナイヤウニ致シタイト思ヒマス、尤モ今申上ゲマシタヤウニ、十三年度ノ實績ト現在ノ狀況デハ、需要ノ方ガ餘程殖エテ參ツテ居リマスノデ、坑木モ今マデ使ツテ居ラス樹種ヲ用ヒテ居ルト云フ話モ聞イタコトガゴザイマスガ、サウ云フ不安ノナイヤウニ注意致シタイト思ヒマス

○川俣委員 規格所謂大キサト云フモノニ付テモ、相當低下シテ居ルヤウニ見受ケラレマス、此ノ質ノ低下ガ御存ジノヤウニ據發ノ原因ニモナル、此ノ據發ノ原因ハ單純デスカラ、此ノ單純ナコトカラ災害ヲ起スト云フコトハ、其ノ影響モ非常ニ大キイカラ十分御考慮願ヒタイト思ヒマス

○櫻井委員長 川俣君宜シウゴザイマス

○川俣委員 宜シウゴザイマス

○櫻井委員長 川崎君

○川崎委員 鑛山局長ニ御同致シマス、採掘權ヲ得テ居ル鑛業權者、税金ヲ納メテ現ニ確保シテ居ル鑛區ノ上ニ鐵道ヲ敷クト云フ場合ニハ、普通トシテ手續ヲスルモノデ

セウカ

○小金政府委員 鐵道ヲ敷設スル場合ニ於キマシテハ、ソレガ國有鐵道アルナラバ、其ノ方面ノ手續ヲ執ルト思ヒマスガ、併シナガラ所謂私有鐵道又ハ軌道ト云フヤウナモノデアリマスレバ、其ノ方面ノ法規ノ命ズル手續ヲ執ツテ鐵道省ニ願出ルコトト心得テ居リマス、其ノ場合ニ鑛區ノ上ニ線路ガ通ルト云フヤウナ時ニ於キマシテハ、只今ノ所商工省ニ相談スルト云フヤウナ手續ハゴザイマセヌ

○川崎委員 其ノ法規ト云フノハ土地收用法ト思ヒマスガ、土地收用法ニ依ル不動產ナミニ鑛區主ハ受ケ得ルト思ヒマスガ、土地收用法ニ依ル手續ヲセズシテ——ヨカシナ話デスカラ左様ナ事實ガアツタト假定シテ、サウ云フ時ニハ出直シテ來イト云フコトデ、鐵道ノ敷設ヲ中止セセルコトガ、鑛業ノ保護ノ爲ニ出來マセウカ、又ソレ位ノ熱意ヲ鑛産局ニ於テハ持ツテ居ラツシヤルデセウカ

○小金政府委員 鑛業權ハ土地所有權トハ全然別個ノ獨立シタ權利デゴザイマスノデ、鑛業權ガ土地收用法ノ目的ニナルト考ヘラレマセヌ、鐵道ヲ敷設スル場合ニ於テ、商工省ガ鑛區ノ上ヲ通ル時ニ協議ヲ受ケルコトカ、或ハ場合ニ依ツテハ其ノ鐵道ヲ曲ゲサセルト云フヤウナ權限ハ今ノ所ゴザイマセヌ、又法律ノ建前カラ解釋致シマシテ、公益ヲ害スルカドウカト云フ問題ニナルコトト存ジマス、此ノ鑛業ガ公益トドウ云フ關係ニ立ツカト云フコトニ付キマシテハ、具體的ニ其ノ各個ノ場合ニ付テ檢討スルヨリ外ナイト思ヒマス

○川崎委員 土地所有權ト申シマシタカラ

開闢ヒマシタガ、鑛業法ノ十五條カニ鑛業權ハ物權ナリトアツテ、不動産同ジニ取扱フト云フ明文ガゴザイマスカラ、ソレニ依リマシテ、土地收用法ノ第七條ノ適用ヲ鑛業權ニ對シテ出來ル思ヒマス、七條ニ「關スル權利」是ハ問題ガナイ「其ノ他土地ニ關スル所有權以外ノ權利ノ收用又ハ使用ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス」斯ウアリマス、鑛業權ハ其ノ土地ノ所有權ヲ拂ツテ借カテ、所有權ノ中ノモノヲ税金ヲ拂ツテ借シマシテ「收用又ハ使用ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス」ト云フ明文ガ七條ニゴザイマスカラ、土地收用法ニ依ル保護ヲ主張シ得ルト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウカ

○小金政府委員 其ノ鑛業權ガ其ノ中ニ入ルカドウカト云フコトノ解釋ニ付テハ、私共マダ入ルノデアル、或ハ入ラナイノデアルト云フ十分確定シタ解釋ヲドウモ持兼テ居リマス、サウ云フ場合ニハ各個ノ具體的ノ場合ニ付テ、具體的ニ解決スルヨリ外ナイデアラウト思ヒマス

○川崎委員 ソレデハ此ノ點モ御考ノ決ツテ居ナイモノヲ無理ニ御同シテモ如何ト思ヒマスカラ此ノ程度ニ止マサガ、鑛業法ノ改正案三十一條ニ依リマシテ「鑛業出願地他人ノ異種ノ鑛物ノ鑛區ト重複スル場合ニ於テ他人ノ鑛業ニ妨害アリト認メタルキハ其ノ妨害アリト認メタル部分ニ付テハ其ノ出願ヲ許可セス」斯様ナコトヲ特ニ設ケテ非常ニ鑛業權ヲ厚ク保護シテ下サルコトニナツテ居リマスカラ、私ノ積リデハ、土地收用法ノ七條ノ條文モアリマシ、

今時節柄最モ必要ナ鑛區内デ、土地收用法ノ手續ヲ履マズシテ、サウシテ鐵道ヲ敷設スルノハ、是ハ鑛產物ノ採掘出願トハ違ヒマスケレドモ、ヤハリ時節柄非常ニ必要ナ採掘權ヲ妨害スルコトデゴザイマスカラ、此ノ重複シテ妨害スルモノト云フ明文ノ意味ニ副ウテ、サウシテ禁止スルヤウニシテ載キタイト私ハ希望致スノデアリマスガ、何カ御考ガアレバ承ツテ置キタイト思ヒマス

○小金政府委員 ソレハ鐵道ト一口ニ申シマシテモ、御説ノ中ニハ鐵道、軌道、或ハ其ノ他簡單ナ路線ヲ敷クモノモアルト存ジマス、各個ノ場合ニ付キマシテ、其ノ豫定ノ線路ガ非常ニ重要ナ鑛物地帯ヲ通ルヤウナ場合ニ於キマシテハ、鐵道省其ノ他ト出來ルダケ接觸ヲ保ツテ解決シテ參リタイト思ヒマス

○宮澤政府委員 今商工當局カラ御答辯ガアリマシタガ、鐵道省トシマシテモ、實際問題ニ付テ御指示ガアレバ別デゴザイマスガ、抽象的ニハ今御答辯シ兼ネルノデアリマスガ、ヤハリ鑛區ノ採掘權ノ所有者ト能ク協議致シマシテ、鐵道ヲ架ケマス場合ニモ、兩方成ベク安全性ヲ害シナイヤウニ、而シテ採掘權ニモ煩ヒノナイヤウニシテ、サウシテ實際問題トシテハ能ク協議シテヤウテ行キタイモノダ、又從來モヤツテ居ルヤウニ開イテ居リマス、サウナクテハナラスト思ツテ居リマス、鐵道ハ安全第一デアリマスカラ、之ニ聊カノ危険不安モ與ヘルヤウナコトガアツテハ相成ラスノデアリマスカラ、若シ既設ノ線路ノ地下ガサウ云フ風ナ鑛區ニ入りマシタ場合、而シテソレヲ採掘シマス場合ニハ、何處マデモ其ノ安全性ヲ害シナイヤウニ採掘權者ニ處置ヲサシ

タ上デノ採掘セシムルト云フコトニナルデアラウト考ヘテ居リマス、又サウシタイモノト考ヘテ居リマス、尙ホ新シタ鑛區ニ線路ヲ通シマス場合モ、ソレガアルカラト云ウテ必ズシモ線路ヲ迂迴サセヨウナドトハシマセヌデ、ヤハリ鑛區權者ト能ク協定致シマシテ、向フ採掘權ニ色々支障ヲ來サナイヤウニ、コツチモヤツテ行ク、斯ウナルデアラウト考ヘテ居リマス

○川崎委員 其ノ點ニ關スル兩當局者ノ御答辯ハ洵ニ満足致シマス、鐵道ノ方ハソレデ終リマス

最後ニ日本産金會社ノ營業振リニ付テ一ツ御同致シタイト思ヒマス、非常ニ時節柄有益ナ會社デ、之ヲ鞭撻シテ大イニ時局ノ急ヲ救ツテ貰ヒタイト云フコトデ、政府ガ提案セラレ、吾々贊成シタノデゴザイマスガ、實際營業ヲ始メテ見ルト、初メテデ不慣レノセイカ、或ハ馬鹿ニ用心スルカ致シマシテ、營業振リガ甚ダ遅キナラデス、ソレデ私共實例モ持ツテ居リマスガ、金ヲ借ルコトヲ申込デカラ平均約二箇月半デ解決スル、一番長クテ六箇月ダ、斯ウ云フシテ居リマスガ、ドウモ實際ハ一年位掛ツテモ解決シナイノガアルヤウデアリマス、ソチカラ御提供ニナツタ材料ニ依リマシテモ、五百三十五件申込デノニ、貸付ケタノガ百七十七件ダ、ソレハ一年ト二箇月餘リ掛ツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フコトデ甚ダ遅キトシテ困ツテ居ル、ソレデ、此ノ遅イガ爲ニ、此ノ頃坑ノ中ハ小サイ「レール」ヲ入レルノ非常ニ骨ガ折レタ實例ガアル、ソレハ私ノ知ツテ居ル或ル鑛山主デ、エライ工面ヲシマシテ、ソレヲ手ニ入

レール約束ヲシテ、必要ナ長サダケ買フコトニシタ、サウシテ一方産金會社ノ方ハマダカマダカト責メタガ、半年以上モ経ツテモ貸シテ與レナイノデ、折角約束買フアツタ「レール」ヲ他ハ賣ラレシマツテ、後デ金ヲ貸シテ買ツタ時ニハ、モウ品物ガ無イカラ駄目ダト云フヤウナ羽目ニ陥ツテ居ルノナドガアリマス、ソコデ、監督ヲ十分ニサトルハ宜シイガ、餘リ揚枝ヲ掘ルヤウナ風ニ執務ヲサセルト一向效キ目ガナイノデス、何時カ農村ノ疲弊ノ時ニ勸銀ノ金ヲドツサリ貸サシテ、政府ガ最後ノ尻拭ヒヲ二億トカ三億トカシタコトガアリマス、高橋大藏大臣ノ時代デス、サウスルト、勸業銀行ヤ地方ノ農工銀行デハ、保證人ダ何ダト云フヤウナコトヲ喧シク言ツテ、ソレガ其ノ十分ノ一モ貸シ切レナクテ、詰リ其ノ政策ガ駄目ニナツタト云フコトガゴザイマスカラ、今度産金會社デ左様ナヤリ方ヲサレテハ困ルノデ、大イニ督促シテ時勢ノ急ニ應ズルヤウニ事務ヲ執ツテ載キタイ、斯様ニ希望スルノデアリマスガ、左様ナ希望ヲ容レテ監督ヲナサル御意思ガアリマス十否ヤト云フコトヲ御答辯願ヒマシテ、ソレデ私ノ質問ヲ打切りタイト思ヒマス

○小金政府委員 日本産金振興株式會社ノ營業振リニ付キマシテ御話ガアリマシタガ、只今例トシテ御舉ゲニナリマシタ日本産金振興株式會社ニ金融其ノ他ノ申込ヲ爲シテ、六箇月位ガ最長トナツテ居ルガ、一年二箇月モ掛ツタ實例ガアルト云フヤウナ御話デアリマシタガ、是ハ實ハ非公式ニ御話ガアリマシテカラハ、六箇月以上ノモノモアルト思ヒマス、私ノ方ノ出シマシタ統計ハ、恐ラク正式ニ會社ガ書面其ノ他ノ受付ヲ爲

シテ、ソレカラ處理ノ終ルマデト云フ勘定ニナツテ居ルノデ、其ノ間實際上ノ交渉開始以來ハ、六箇月以上掛ツタモノモ相當アルト存ジマス、ソコヲ點ハ一ツ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス、ソレカラ又非常ニ其ノ處理ガ遅レルト云フコトニ付キマシテハ、是ハ社長初メ重役職員ハ全部熱心ニ業務ニ當ツテ居ルノデアリマスガ、技師其ノ他ノ人員ノ不足モアリマス、又不足シテ居ルバカリデナク、不慣レノ爲ナドカラ隨分能率ガ惡イト云フヤウナ結果ガ出テ居ルト思ヒマス、ソコデ吾々ノ監督上ノ問題デアリマスガ、是ハ監督官制度ト云フヤウナモノガアツテ、會社ノ業務ニ付テ著ノ上ゲ下シマデ喧シイコトヲ言フノチヤナイカ、斯ウ云フ風ヲ見方サレテ居ル向モ一面ニアリマス、併シナガラ、私ノ關スル限リニ於キマシテハ、日本産金振興會社ニシテモ、帝國鑛業開發會社ニ致シマシテモ、是ハソコトヲシタノデハ業績ガ擧ゲナイ、殊ニ日本産金振興株式會社ノ業務振リニ付キマシテハ、寧ロコナラハ相當積極的ニ業務ヲ進メテ行クト云フコトニ付テ、サウ云フ方針ヲ進シテ居リマス、サウシテ萬一間違ツタナラバ監督官ハ其ノ責任ヲ執ル積リデアリマス、決シテ消極的ナ干渉ガマシイコトハ致シテ居リマセヌ、若シ間違ツタラ責任ヲ取ル、唯責任ヲ取レバソレデ済ムト云フ考デハ毛頭アリマセヌガ、サウ云フ心組デ臨ンデ居リマス、尙ホ今後ノ日本産金振興株式會社ノ營業振リノ改善トカ、或ハ其ノ處理ヲ促進スルト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、十分意ヲ用ヒマシテ、決シテ此ノ會社設立ノ趣旨ニ違ザカルト云フヤウナ結果ニナラナイヤウニ十分氣ヲ付ケマス、又其ノ

昭和十五年三月六日印刷

昭和十五年三月七日發行

會致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス
午後四時三分散會

決心デ臨ンデ居リマス
○川崎委員 洵ニ御親切ナ御答辯デ有難ウゴザイマス、ソレデ事實ヲ述ベタイノデアリマスガ、ヤヤコシクナリマスシ、公ノ場所デハ相應シクナイト思ヒマスカラ略シマス、其ノ御決心ノ下ニヤツテ戴キタイト思ヒマス、丁度アナタノ局ノ渡邊事務官ニ度御督促申上ゲタリ、御繰リ申上ゲタリシテ、事務官ノ方モ板挟ミニナツテ困ツテ居ルト云フヤウナ懸々タル事實ガアルノデゴザイマスカラ、其ノ點ハ空談デハナイノデゴザイマスカラ、能ク御聴取願ヒマシテ、十分ニ時局ニ沿フヤウニ御監督御獎勵ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ハ是デ終リマス
○澤田委員 此ノ委員會ニハ現ニ付託サレタモノモアリ、是カラ又重要ナ案ガ來ルノデス、隨テ此ノ鑛業法ハ適當ノ機會ニ質問ヲ打切ワテ、最後ノ決定ヲセンケレバナラスト思フノデゴザイマス、尙ホ質問者ガ二人バカリ殘ツテ居リマスカラ、今日ハ此ノ程度デ打切ツテ、サウシテ明日開イテ、私共ノ考トシテハ大體明日三時頃マデ質問ヲ繼續シタイ、尙此ノ案ニ對シテハ質問者ヲ通ジテ考ヘテ見マシテモ、委員全體デ懇談シテ、サウシテ最後ニドウ云フ風ニスルカト云フコトヲ能ク協議スルコトハ、此ノ案ヲ審議スル上ニ適當ダト思ヒマスカラ、ドウカ委員長ニ於テ左様ニ御取計ヒヲ願ヒマス
○櫻井委員長 澤田君ノ御發議ニ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○櫻井委員長 御異議ナシト認メマス、仍テ左様ニ決シマス、明日ハ午後一時ヨリ開

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第七十五回帝國議會 院 鑛業法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第八回

付託議案
鑛業法中改正法律案(政府提出)
砂鑛法中改正法律案(政府提出)
有機合成藥業法案(政府提出)(第八三號)

會議

昭和十五年三月六日(水曜日)午後一時四十分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 櫻井兵五郎君
- 理事 澤田 利吉君 理事 中井川 浩君
- 理事 松尾 三藏君 理事 篠原 義政君
- 理事 小山田 義孝君 理事 依光 好秋君
- 理事 川俣 清吾君
- 山本 厚三君 手代木 隆吉君
- 內藤 正剛君 高橋 壽太郎君
- 小柳 牧衛君 伊藤 五郎君
- 西田 銳吉君 井阪 豐光君
- 木暮 武夫君 鶴 惣市君
- 川崎 巳之太郎君 原口 初太郎君
- 箸本 太吉君 東條 貞吉君
- 瀧澤 七郎君 村 春琴君
- 小池 四郎君 長谷 長次君
- 武田 德三郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
鑛業法中改正法律案(政府提出)
砂鑛法中改正法律案(政府提出)

○櫻井委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、前會ニ引續キ質疑ヲ繼續致シマス——高橋壽太郎君

○高橋委員 商工大臣、大藏大臣ニ伺ヒタ

イコトモゴザイマスガ、大臣方ノ御居デ

時ニ更ニ質問ヲ御許サシマス、先日本會

議デ私ハ質問ヲ致シマス、先日本會

其ノ節政府委員ヨリ御答辯ハ一應ハ瞭解

致シマス、此ノ機會ニ重ネテ御答

ガゴザイマスカラ、此ノ機會ニ重ネテ御答

ヲ致シタト思ヒマス、私最近ニ委員ヲ命

ゼラレマシタノデ、實ハ委員會ノ質問應答

ノ經過等ハ能ク存ジテ居リマス、ケレドモ、

速記録ニ依ツテ第一回カラ第四回マデノ委

員會ノ模様ハ承知致シマス、其ノ後ノ

コトハ分リマス、或ハ重複スル點ガ

アルカモ知ラセマス、其ノ點ハ委員長ニ

於テ御注意ヲ願ヒマス、第一ニ伺ヒタイコ

トハ、此ノ前ノ委員會ニ政府委員ヨリ試掘

鑛區ガ約二萬、其ノ中履行シテアルモノガ

一割二分ニ過ギナイノデ、斯ウ云フ御話デ

アリマシタガ、今度ノ試掘權ノ改正ノ結果、

是等ノ休職鑛區ガ一齊ニ活動シ始メ半分ノ

一萬位ノ試掘鑛區ガソレノ探鑛ヲ開始ス

ル、然ル場合ニ必要スル資金、資材、努力、

運搬ト云フモノハ莫大ナ數量ニ上ルト思フ

ノデアリマスガ、政府ハソレ等ノコトヲ十

分ニ調辨ノ出來ルヤウニ御手配方願ヘルノ
デアリマスガ、其ノ點ノ關係ヲ御察致シマ
ス

○小金政府委員 約二萬ニ達スル試掘鑛區

ガ試掘ヲ開始シマス場合ニ必要スル資材、勞

力、資金、技術者等ニ付テ、ドウ云フ計畫

ヲシテ居ルカト申上ゲマス、此ノ二萬ニ

達スル試掘鑛區ノ中既ニ一割二分ハ大體試掘

ヲ行ツテ居リマス、其ノ外ノモノノ中デモ

當然試掘權ト爲シテ差支ナイヤウナモノモ

相當ゴザイマス、是ハ何割ヲ占メルカト云

フ計畫ハハツキリ出マセマス、相當ナ數ニ

上ルモノト推定出來ルノデアリマス、殘餘

ノ試掘鑛區ニシテ所謂隱匿申デアルト云フ

ヤウナモノガ試掘ヲ開始シタ場合ニ於テ要

スル資材、努力、或ハ資金ト云フヤウナモ

ニ付キマシテハ、現下ノ鑛產物ノ重要性

ニ鑑ミマシテ、十分トハ行カナクとも、其

ノ活動ノ模様ニ依リマシテ、物資動員計畫

中ニ繰込ム豫定デゴザイマス、唯此ノ試掘

ナルモノハナリ方ガアリマシテ、相當大規

模ニナラナケレバナラス部分モゴザイマス

ルガ、五人、十人ノ鑛夫ヲ使ツテ露頭ノ發

見、或ハ露頭ノ維持シテ生産ノモノデアリマ

スレバ、是ハ各自ノ鑛鑛費ニ依リマシテ、

或ハサウ長イ期間ヲ費サズシテ試掘ノ目的

ヲ完了シ得ルモノト考ヘマス、其ノ間ノ事

情ハ私共ノ方デハ十分デアルトハ考ヘマセ

マスガ、何トカシテ試掘ヲシテ貫ヒタイノデ

デアリマス、試掘ヲシテ早ク鑛物ノ存在點ニ

其ノ賦存ノ有様ヲ明瞭ナラシメナイ限リハ、
段々チリ食ニナツテ行ク處ガアリマス、ソ
コデ四年間ト云フ年限ヲ切リマシテ試掘ヲ
促進スル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデゴ
ザイマス

○高橋委員 活動ニ移ツタ試掘鑛區ガ假令

一萬アリト致シマシテ、惜デ試掘鑛區ノ探

鑛ハハシタ金デハ出來ナイノデアリマス、

假ニ各鑛區一萬圓ヲ要スルト致シマシテモ

一億圓デアリマス、技術者ハ無論當分維持

チニシテ十分ニハ得ラレマス、努力モ

ドウヤラ農閑期ノ努力ヲ使ヘバ宜シト云フ

オ話モアツタヤウデアリマスガ、今日ノ農村

云フモノハ努力不足デアリマシテ、昔ノヤウ

ナ農閑期ハアリマセ、農閑期ニハ木炭ヲ燒

クツト云フノデアリマス、唯此ノ點ガ農

閑期ノ努力ガ利用サレルモノト考ヘラレ

ルハ私ハ間違デハナイカト思フノデアリマ

ス、ガソリンノ配給ガ十分デナケレバ三

倍、四倍ノ「トラクタ」買出シマシテモ、物

ノ輸送ハ出來ナイト云フ現狀デゴザイマス、

今鑛產局長ハ物動計畫ニ繰込ムデ、サウ云

フコトハ出來ルダケ辨ジテヤルト仰セラレ

ルノデアリマスガ、サウナナルノハ當然デ

デアリマスガ、何様現在ノ鑛業界ノ現狀ヲ見

テミマスルト、果シテサウ云フ風ニ手ガ廻

ルノデアアルカドウカト云フコトニ多大ノ疑

問ヲ存シテ居ルノデアリマス、是ハ此ノ程

度デ別ニ御答ハ要シマセマスガ、私共ガ試掘

權ノ制度ノ變革ニ對シテ、第一番ニ頭ニ浮

第六類第六號 鑛業法中改正法律案外一件委員會會議錄 第八回 昭和十五年三月六日

プロトハ、吾々ノ考テハ鑛業権者ハ何トカ
 シテ山ヲ開發シテ行キタイノダケレドモ、
 事情ガ許サナイカラ寶ノ山ヲ持テ居ルニ
 ト云フ儘ミヲ抱イテ居ル、斯ウ云フ風ニ考
 ヘルノデアリマスガ、政府當局ノ方ハサウ
 デナク、試掘鑛區ノ休眠状態ナルモノハ、
 概ネ一攫千金ヲ夢見ル怪シカラヌ「プロ
 カ」連ガ多イト云フヤウナ御觀察デアリ
 マス、故ニ少カラザル認識ノ相違ガアルト
 思ヒマス、中ニハサウ云フモノモアリマセ
 ウ、外ノ山ガ開發サレテ、自分ノ近所マデ
 來テ、自然ニ山ノ値上リガ出ルノヲ待ツテ
 居ル者モナイデアリマセスガ、併シ多ク
 鑛業権者ト云フモノハ、サウデハナイト
 思フ、隨テ試掘鑛區ノ變革ハ善意ナシテ
 權者ヲ苦シメルト云フ結果ニナリハシナイ
 カト云フコトヲ慮レルノデアリマス、試掘
 權制度ノ變革ニ依ツテ試掘鑛區ノ強固ス
 ル、ソレガ重要鑛物増産計畫ノ基礎ノ材料
 ニナルノダ、ソレヲ今ナラシメ置クト云
 フ考ハ御尤モデアリマスガ、併シサウ強固
 スルヨリモ、モウ少シ仕事ガ出來ルヤウナ
 風ニ仕向ケテラドウカ、私共厚ッポツタイ
 外奈ハ春風ガ吹ケバ脱グ、寒イ間外奈ハ脱
 ゲナイノデアリマスガ、ドウカ試掘方四
 年デ完成スルト云フコトノ本當ニ出來易イ
 ヤウニ仕向ケテ戴ク、可能ナルコトヲセシ
 メルノダ、不可能ナルコトヲ強ヒルノデナ
 イ、斯様ナコトガ明ニ分ルヤウニ特別ナル
 御配慮ヲ煩シタイノデアリマス、此ノ點ニ
 關シテ簡單ナル御説明ヲ願ヒマス

○小金政府委員 試掘鑛區ノ中所謂轉賣ヲ
 目的トスルモノモ相當ゴザイマス、是ハ鑛
 物ノ値上リ或ハ今例トシテ御舉ゲナリマ
 シテ鑛區ノ開發ニ依ツテ自分ノ鑛區ノ價

値ヲ高メテ、其ノ際ニ寶ルト云フノデ何等
 鑛山ヲ開發スル意思ナクシテ鑛區ヲ據シテ
 居ラレル向キモ相當アルモノト認定致シマ
 ス、ソレハ格テ措キ、眞ニ試掘セントスル
 熱意ヲ有スル者ニ對シテ其ノ試掘ガ實行出
 來ルヤウナ具體的ノ方法ヲ取レト云フ御言
 葉ハ、洵ニ御尤モゴザイマシテ、技術者
 ノ不足トカ、勞力ノ不足トカ、或ハ「ガソ
 リン」、「カーバイド」鋼材、護謨袋ト云フ
 ヤウナ、サウ云フ資材ノ配給ニ付キマシテ
 モ、現ニ特別ノ措置ヲ執リツツアリマス、
 尙ホ是モ不十分デアリマスガ、併シナ
 ガラ技術者ガ足ラナイ、勞力ガ足ラナイト
 云フヤウナコトカラ、若シ試掘ガ行ハレナ
 イト云フヤウナ現狀ノ儘デ放置シテラバ、
 是ハ由々シイ問題ヲ惹起スル、斯ウ云フコ
 トモ亦考ヘラレルノデアリマス、ソコデ私
 共ハ正直ニ申上ゲマス、眞ニ試掘ヲスル
 ノダ、金ガナイ、物資ガナイ、是レレノ
 資材ガ足ラナイト云フコトヲ御申出ニナリ
 マシテハ、是ハ極力、出來得ルコトナ
 ラバ、官廳ヲ動員シテ此ノ方ニ御協力ヲ申上
 ゲテ居ルノデアリマス、併シナガラ是モマ
 ダ十分デアラゴザイマセスノダ、今回ノ豫算
 ニ於キマシテ、鑛山監督局ノ職員モ増シマ
 ス、ソレカラ又産金關係ノ豫算デアリマス
 ル所ノ鑛獎勵金ノ補助モ、昭和十四年度
 以來從來ノ百八十万圓ヲ三百萬圓ニ致シマ
 シテ、ソレカラ又選鑛場、製鍊場ノ建設助
 成金ノ豫算百六十二萬圓ヲ百八十万圓ニ
 増シ、更ニ五百萬圓ニ昭和十四年度ハ殖
 産ニ居リマスガ、是モ昭和十五年度ニハ五
 百四十萬圓ノ豫算ヲ計上シテ居リマス、其ノ
 他金山現場係員ノ養成、色々ナ施設ヲ併セ
 行ヒマシテ、其ノ方面カラモ試掘或ハ採掘

ニ對シテ御協力ヲ申上ゲル、其ノ外ニ機械
 ノ貸與トカ色々ノコトモゴザイマスガ、眞
 ニ試掘ヲシタイト云フ御熱意ノアル向ニ對
 シマシテハ、マダ會社ノ營業振リニ付テ見
 角ノ批評ハ免レ得ナイト存ジマスガ、日本
 産金振興株式會社或ハ帝國鑛業開發株式會
 社ノ内容ノ充實及ビ其ノ執務振リニ付キマ
 シテモ、改善ヲ加ヘテ併行シテヤウテ行キ
 タイト存ズルノデアリマス

○高橋委員 只今鑛山關係ノ豫算ガ飛躍的
 ニ膨脹シタト云フ御説明デアリマス、正ニ
 其ノ通りデアリマス、私共初メ鑛業關係
 ニ興味ヲ持チ始メタ當時ハ、探鑛獎勵金ガ
 僅カ五萬圓シカナカッタノデアリマス、一
 躍シテ百萬圓トナリ、年々増加シテ今御述ベ
 ニナリマシタヤウナ莫大ニ數字ニ達シタコ
 トハ事實デアリマス、殆ド無ヨリ有テ生ジ
 タト云ヒマスガ、鑛山監督局ノ技術官其ノ
 他ニ於テモ、皆無ノ状態カラ今マデノ陣容
 ヲ整ヘラレタコトニ關シテハ、鑛産局長以
 下各位ノ非常テ努力ニ對シテ洵ニ敬意ヲ表
 スルモノデアリマス、唯ソレハ比較的ニ見
 ルトサウデアリマスガ、絕對量ノ見地カラ
 見マスルト、洵ニ豫算ガ少イ、今日百三億ノ
 豫算ガアリ、其ノ内ノ何レ七割六割ハ物資
 デアリマス、物資ノ中ノ主ナ物ハ鑛産物デ
 アル、ソレガ物動計畫ノ基礎ヲ成シ、今日
 ノ乘戰遂行、國民生活ノ確保、ウウ云フコ
 トニ至テハ關係ノアル時代ニハ、千萬ヤ二
 千萬ノ豫算ハ目標ト云フテモ宜シイ、是デ以
 テ物動計畫ノ大事ナ部分ヲ擔任サレルコト
 ニ對シテハ、寧ろ大膽過ギル豫算デアリマ
 ス、カト思フノデアリマス、是ハ商工大臣ニ申
 上ゲル管デアツクノデアリマスガ、此ノ機
 會ニ申述ベテ置イタガ宜カラウト思ヒマ

ガ少シ不用意ナ點ガゴザイマシタノデ
 訂正サシテ戴キタイト思ヒマス、豫算
 ノ絕對數ニ於テマダ極メテ不十分デア
 ルト云フ高橋君ノ御警告ニ對シマシテ
 ハ、十分留意致シマス、私共是デ十分デ
 アルトハ毛頭考ヘテ居ラヌノデアリマス、
 唯急激ニ豫算ヲ膨脹致シマシテモ、技術者
 其ノ他ノ關係ヲ弊害ヲ生ズル虞ナシトモ斷
 ジ得ラレマセスノデ、漸ヲ逐ツテ多クシテ
 御趣旨ニ副ヒタイト存ジマス、只今申上ゲ
 マシタノハ金ダケノ獎勵金或ハ補助金デゴ
 ザイマシテ、此ノ外ニ重要鑛物即チ銅、鉛、
 亞鉛、錫其ノ他ノ鑛物ヲ目的トシテ重要鑛
 物ノ探鑛獎勵金ガ從來百七十八萬圓デアリ
 マシタガ、ソレヲ昭和十五年度ハ百五十萬
 圓ニ殖シマシテ、又新ニ是等ノ鑛物ノ選鑛
 場ヲ立テル向ニ對シマシテ、其ノ設置補助
 或ハ助成ト云フ意味ニ於キマシテ、新ニ百
 二十萬圓ヲ加ヘマシタ、其ノ外鐵ニ付キマ
 シテハ、鐵鑛石ニ付テ是ハ國策會社ヲシテ
 其ノ開發ニ當ラシメ、石炭ニ付キマシテハ、
 別途又計畫ガゴザイマスノデ、金及ビ銅、
 鉛、亞鉛、錫其ノ他ノ重要鑛物、斯ウ云フ關
 係ニ於キマシテ、今申上ゲマシタヤウナ數
 字ニナルノデゴザイマス、是ハ今後モ十分
 御言葉ニ從ヒマシテ、萬全ノ策ヲ講ジタイ
 ト存ジマス

次ニ只今御質問ノ鑛業法第二十四條ニ
 關聯致シマシテ、採掘出願地ガ尙ホ試掘
 ヲ要スルモノト認メタル場合ニ於キマシ
 テハ、其ノ採掘出願ヲ試掘ニ轉換セシメ得
 ルト云フノデゴザイマシテ、是ハ實地調査
 其ノ他ノ場合ニ於キマシテ、尙ホ試掘ヲ要
 スルト云フ時ニハ、其ノ採掘出願ヲ試掘ニ變
 ヘシメル、其ノ場合ニ於キマシテハ採掘出

ヲ出シタ其ノ日時ヲ後カラ出シテ出願ニ與
 ヘル、斯ウ云フ取扱デゴザイマス

○高橋委員 今鑛山局長ノ御話ノ前段ノコ
 トハ、鑛山局長ガ屢々繰返サレテ居リマス國家
 機關ニ國家的費關ト云フ御言葉ノ中ノ、國
 家の機關デアアル特殊社會ニ付テノ質問ノ際
 ニ申上ゲタイト思ヒマス

鑛山ノ採掘出願地デモ試掘ヲ要スルカ
 ラ、ソレニ試掘サセルノダト云フダケノコト
 デアリマスレバ、私ノ質問ハサツバリ意味
 ヲ成サナイノデアリマスガ、私ノ伺ヒタイ
 ノハ、此ノ際出願者ノ鑛業權ハドウナルカ、
 例ヘバ委員會デ盛ニ論議サレマシタ保護鑛
 區、豫備鑛區、サウ云フモノガ採掘ニシヨ
 ウト思ツテ出願スル、所ガ何レサウ云フ
 モノハマダ試掘モ不十分デアリマシテ、尙
 ホ試掘ヲ要スルモノト認メラルベキ條件ヲ
 備ヘテ居ルと思フ、サウ云フ際ニ是ガ適用サ
 レタノデハ、保護鑛區モ豫備鑛區モ設定ス
 ル譯ニ行カナイ、斯ウナルノデアリマスガ、
 此ノ關係ハドウナリマスカ

○小金政府委員 此ノ條項ハ採掘出願ガア
 リテ、眞ニマダ鑛物ノ試掘ヲ必要トスル
 ト云フ場合デアリマシテ、保護鑛區或ハ豫
 備鑛區ト云フヤウナ名前デ呼バレテ居リマ
 ス鑛區ニ付キマシテハ、尙ホ試掘ヲ要スル
 モト認メラルカ、或ハ採掘ニ適スルモノト
 認メラルカハ、實地調査、其ノ他、サンプル、
 プレ、或ハ現場ノ具體的ノ狀況ニ依リマシテ
 認定スルノデアリマシテ、所謂保護鑛區或
 ハ豫備鑛區ト云ハレルモノノ中ニハ、試掘
 鑛區ト採掘鑛區ガ相當アルコトト存ジマス、
 ソレヲ今回ノ改正ニ依リマシテ、四年間ハ
 試掘鑛區デ其ノ便宜シイノデアリマスガ、
 四年ノ間ニ試掘ヲシテ貰ツテ、其ノ鑛物ノ

大體ノ狀況ヲ測ベテ貰ス、サウスレバ其ノ
 豫備鑛區ト云フヤウナモノハ鑛物ノ大體ノ
 狀態ガ分ツテ居ル豫備鑛區デアリマスカラ、
 眞ニ豫備鑛區ノ儲キヲ爲ス、斯ウ云フ風ニ
 考ヘテ居ルノデアリマス

○高橋委員 此ノ三十七條ノ、試掘鑛區採
 掘ニ適スルト認メタ時ハ採掘ノ出願ヲシロ、
 言フコトヲ聽カナケレバ鑛業權ヲ取消ス、
 今度ノ改正デサウ云フ意味ニ讀マレルヤウ
 デアリマスガ、之ヲ轉換命令ト鑛産局長ハ
 説明シテ居ラレマシタガ、此ノ轉換命令ガ
 アリマスレバ、之ヲ活用サヘスレバ試掘權
 制度ノ變革ヲ行ハナクテモ所謂ノ目的ガ達
 セラレルノデハナイカ、折角斯ウ云フ風ニ改
 正サレナガラ、之ヲ活用シナイデ、自動的
 ニ四年間テバ試掘權ガ消滅スルト云ツタヤ
 ウナコトヲ企テラレル如キコトハ、何ダカ牙
 盾ガアリハシナイカ、諒解ニ苦シムノデア
 リマスガ、是ハドウ云フ目的ヲ以テ此ノ法
 文ヲ設ケラレマシタカ、ソレヲ伺ヒタイ

○小金政府委員 第三十七條ハ、從來試掘
 鑛區ヲ持ツテ居ラレル方ガ、其ノ期限ガ切
 レタトカ、或ハ廢業シテ直チニ其ノ土地ニ
 付テ試掘ヲ出シシタル場合、試掘鑛區
 アル間ニ採掘鑛區ニ適スルト認メタル場合ニ
 採掘權ニセヨト云フ所謂轉換命令ナルモノ
 ガ出ルノデアリマス、今回改正致シマシタ
 點ハ、試掘鑛區デアリマシテマダ現在試掘
 權ガ存積シテ居ル間ニ於テ、實地調査トカ、
 或ハ他ノ方法ニ依リマシテ、其ノ試掘鑛區
 ガ採掘鑛區トスルニ適スルト云フコトヲ認
 定シタ場合ニ、期間ガ切レテ、次ノ出願ガ
 出ルノヲ俟タズシテ採掘權ヲ出スコトヲ命
 ジ得ルヤウニ今度ハ改正致シタノデアリマ
 ス、是ガアレバ保護鑛區ガ一應無クナル筈

スカラ申上ゲマスガ、數年前ニ小川郷太郎
 氏ノ商工大臣時代ト思ヒマス、丁度液體燃
 料ノ問題ガ起キタ時ニ、海軍省ガ非常ニ肩
 ヲ入レタノデアリマス、サウシテ數億圓ノ
 豫算ヲ編成サレタ、其ノ時分ニ商工當局ノ
 考ハ億ト云フ數ナドハ夢ニモ考ヘテ居ラレ
 ナカウツラシイノデアリマス、兎角陸海軍
 ノ豫算ハ單位ガ大キイモノデアリマスカラ、
 隨テ豫算ノ數字モ大キイ、ソレガ可ナリ商
 工當局ヲ難題スルヤウナ意味ニナツテ、ア
 ア云フ豫算ガ出來上ツタト云フコトヲ其ノ
 當時海軍當局カラ承ツテ居ル、是ハ私共モ
 會テ軍事豫算ヲ扱ツタコトガアリマスガ、
 其ノ限カラ見マス、鑛山關係ノ豫算ナド
 ハ、マダ「數倍ノ飛躍ヲ爲サナケレバ急
 需ニ應ジラレナイ、私共モ其ノ必要ノ前ニ
 ハソレ等ノ經費ヲ御協賛申スコトニ決シテ
 存デハナイノデアリマス、ドウカ今マデノ
 歴史カラ何倍カノ膨脹ダトカ幾何級數デ上
 ツテ來タト云フコトバカリ御考ヘナラナイ
 デ、モット大局カラ善處セラレンコトヲ特
 ニ希望スル次第デアリマス

次ハ鑛業法ノ中ニ死文デアリナイカ、餘リ
 活用セラレナイチヤナイカト思フヤウナ法
 文ガ二三アルノデアリマス、ソレニ對シテ
 御尋シテ見タイト思フノデアリマス、鑛業
 法ノ第二十四條ニ試掘出願地採掘ニ適スル
 モト認メタル時ハ採掘ノ出願ヲ命ス（シ）
 トアルノデアリマスガ、ソレニ關聯シタ條文
 ノ中ニ「採掘出願地仍試掘ヲ要スルモノト
 認メタル場合ニ之ヲ準用ス」トアリマスガ、
 是ハドウ云フ場合ニ此ノ法文ガ適用サレル
 ノデアリマスカ

○小金政府委員 只今私ガ豫算ニ關シマ
 シテ計數ヲ申上ゲタノデアリマス、所